







目次

本書について	15
想定される前提条件	15
ヘルプが必要な場合の参照先	15
表記規則	15

ユーザーインターフェイス	18
ツール	18
Scissors XTensionsソフトウェア	21
Shape of Things XTensionsソフトウェア	22
メニュー	22
QuarkXPressメニュー (Mac OS Xのみ)	22
ファイルメニュー	23
編集メニュー	23
スタイルメニュー	25
アイテムメニュー	
ページメニュー	
レイアウトメニュー	
テーブルメニュー	31
表示メニュー	32
補助メニュー	
ウィンドウメニュー	
ヘルプメニュー	
コンテキストメニュー	
パレット	38
高度なイメージ制御パレット	
ブックパレット	
コールアウトスタイルパレット	40
カラーパレット	40
カラーブレンドパレット	40
条件付きスタイルパレット	41
コンテンツパレット	41
コンテンツ変数パレット	41
脚注スタイルパレット	42
字形パレット	43
グリッドスタイルパレット	43
ガイドパレット	44
HTML5パレット	44
ハイパーリンクパレット	45

索引パレット	45
アイテムスタイルパレット	46
レイヤーパレット	46
リストパレット	47
メジャーパレット	47
メジャーパレット - Mac OS X	48
メジャーパレット - Windows	50
ページレイアウトパレット	51
プロファイル情報パレット	52
変更履歴パレット	52
リフローのタグ付けパレット	52
サイズ変更パレット	52
スタイルシートパレット	52
テーブルスタイルパレット	53
ツールパレット	53
パレットグループおよびパレットセット	53
レイアウトコントロール	55
表示と表示セット	56
ウィンドウの分割	56
ウィンドウの作成	57
ストーリーエディタ表示の使用	57
表示セット	58

プロジェクトとレイアウト......60

プロジェクトの使用	60
印刷レイアウトのオプション	61
QuarkXPressプロジェクトの保存と命名	62
レイアウトおよびプロジェクトの書き出し	62
カスタムページサイズ	62
レイアウトの使用	64
プロジェクトレベルリソースとレイアウトレベルリソース	65
ガイドの使用	65
コラムガイドおよびマージンガイド	66
ルーラーガイド	66
ガイドへの吸着	67
ダイナミックガイド	67
アクションの取り消しおよびやり直し	68

ネイティブのQuarkXPressオブジェクト......69 既存のアイテムからネイティブのQuarkXPressオブジェクトへの変換........69 オブジェクトをネイティブのQuarkXPressオブジェクトとして取り込む.......70

コンテンツ変数	72
コンテンツ変数の編集	73
カスタムコンテンツ変数の作成	74
コンテンツ変数の挿入	76

ボックス、ライン、およびテーブル	77
アイテムとコンテンツの理解	77
ハンドルの理解	78
ベジエ形状の理解	80
Drop Shadow XTensionsソフトウェア	82
Item Find/Change XTensionsソフトウェア	83
ボックスの使用	85
テキストボックスおよび画像ボックスの作成	85
ボックスのサイズ変更	86
ボックスや画像の縦横比のロック	87
ボックスの形状変更	87
ボックスへのフレームの追加	
ボックスへのカラーの適用	
ボックスへのブレンドの適用	
ボックスの融合および分割	
ボックスへのテキストと画像の追加	
ボックスタイプの変更	90
クリッピングパスからのボックスの作成	90
Super Step and Repeat XTensionsソフトウェア	90
シェイプメーカーXTensionsソフトウェア	91
ラインの使用	95
ラインの作成	96
直角ラインのラインモード	96
ラインのサイズ変更	97
ラインの形状変更	97
ラインのアピアランスの制御	
ラインの連結	
オープンなパスの連結、拡張、およびクローズ	
アイテムの操作	98
アイテムの選択	
アイテムの移動	
アイテムのカット、コピー、およびペースト	
アイテムのスタック順序の制御	100
アイテムのグループ化	100
アイテムの複製	101
複数アイテムの配置	102
アイテムの回転	102
アイテムの傾斜	103
アイテムのロックおよびロック解除	103
テキスト内のアイテムおよびグループへのアンカーの付加	103
コールアウトの使用	103
コールアウトの理解	104
コールアウトの作成	106
コールアウトアンカーの設定	107
コールアウトスタイルの使用	108
コールアウトと回り込み	109

テーブルの使用	109
テーブルの描画	109
テキストからテーブルへの変換	111
Excelテーブルの取り込み	112
Excelチャートの取り込み	113
インラインテーブル	114
テーブルスタイル	115
テーブルへのテキストと画像の追加	116
テーブルテキストの編集	116
テーブルのセルのリンク	117
テーブルのフォーマット	117
グリッドラインのフォーマット	118
行と列の挿入と削除	119
セルの統合	119
テーブル、行、列の手動でのサイズ変更	119
テキストへのテーブルの変換	120
テーブルおよびグループの使用	120
他の場所でのテーブルの継続	120
Table Import XTensionsソフトウェア	124

テキストと組版	125
テキストの編集	
ボックスをテキストに合わせる機能	125
テキストの取り込みおよび書き出し	126
Unicodeオプション付きテキストの取り込みおよび書き出し	
テキストの検索と置換	127
特殊文字コード	129
脚注と文末脚注の使用	130
脚注と文末脚注の挿入	131
脚注/文末脚注スタイル	132
脚注セパレータ	134
スペルチェック	137
ユーザー辞書	139
単語および文字のカウント	140
文字属性の適用	141
文字属性の適用 フォントの適用	141
文字属性の適用 フォントの適用 フォントの適用	141 141 141
文字属性の適用 フォントの適用 フォントサイズの選択 文字飾りの適用	141 141 141 142
文字属性の適用 フォントの適用 フォントサイズの選択 文字飾りの適用 カラー、シェードおよび不透明度の適用	141 141 141 142 143
文字属性の適用 フォントの適用 フォントサイズの選択 文字飾りの適用 カラー、シェードおよび不透明度の適用 横比率または縦比率の適用	141 141 141 142 143 143
文字属性の適用 フォントの適用 フォントサイズの選択 文字飾りの適用 カラー、シェードおよび不透明度の適用 横比率または縦比率の適用 ベースラインシフトの適用	141 141 141 142 143 143 143
文字属性の適用 フォントの適用フォントの適用	141 141 141 142 143 143 143 143 144
文字属性の適用 フォントの適用フォントの適用	141 141 142 143 143 143 143 144 144
文字属性の適用	141 141 142 143 143 143 143 144 144 144
文字属性の適用	141 141 142 143 143 143 143 144 144 144 144

テキストからボックスへの変換1	189
フォント使用状況の制御1	189
組み方の指定1	189
テキストとの間隔の指定1	188
垂直方向のテキストの位置揃え1	188
ベースライングリッドの使用1	187
テキストボックスのテキストの位置1	187
箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインおよびスタイルシート1	186
アウトラインスタイルの使用1	184
箇条書き自動番号スタイルの使用	182
	181
筒条書きおよび番号付きリスト	180
条件付きスタイルの編集 1	180
条件付きスタイルマーカーの使用	178
条件付きスタイルの解除	178
条件付きスタイルの適用	177
条件付きスタイルの作成 1	175
条件付きスタイルの使用	173
スタイルシートの追加 1	173
スタイルシートの適用 1	172
文字スタイルシートの作成および編集	170
段落スタイルシートの作成および編集.	168
スタイルシートの使用	167
字送り	67
トラッキングテーブルの編集 1	167
手動トラッキング	166
トラッキングの制御 1	166
(任音ハイフンの使用) 1	166
例外ハイフンファイル 1	157
M外ハイフンの指定 1	157
日動力 ニンク	155
「丁刧/J ーノノ」 白動カーニング 1	154 157
ノー ノ ノソリ型 手動カーニング 1	154
盲丸のコヒ ^ー / 加回し	
宗則又子ビットの使用	153
リィトリ行およびオーノアン行の制御 林則立ウセットの使用	152
	152
11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	152
	151
1 ンテントの制御1	150
17月20日間111111111111111111111111111111111111	149
	149
複数の文字属性の適用1	148
行の文字揃え1	146

ラインおよびテキストパスにテキストを回り込ませる	190
テキストボックスにテキストを回り込ませる	191
テキストの画像への回り込み	191
回り込みパスの微調整	192
回り込みパスの編集	193
テキストパスの使用	193
ドロップキャップスの作成	194
段落上下の罫線の作成	194
アンカーボックスの使用	195
テキスト内のボックスおよびラインへのアンカーの付加	195
アンカーボックスおよびラインのカット、コピー、ペースト、および削除	195
ボックスおよびラインのアンカー解除	195
OpenTypeフォントの使用	195
OpenTypeスタイルの適用	196
合字の使用	199
OpenType書式セットの使用	200
字形パレットの使用	203
特殊キャラクタの表示	204
特殊文字の挿入	204
スペースの挿入	204
その他の特殊文字の挿入	204
文字言語の指定	204
未定義キャラクタの代替の使用	205
フォントマッピングルールの使用	205
デザイングリッドの使用	206
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解	206 206
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本	206 206 210
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用	206 210 221
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用	206 210 221 224
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用	206 210 221 224 224
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用 ルビ揃えのオプション	206 210 221 224 224 228
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用 ルビ揃えのオプション	206 210 221 224 224 226 228 231
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用 ルビ揃えのオプション モノルビ	206 210 221 224 224 226 228 231 232
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用 ルビ揃えのオプション モノルビ ルビベース揃えのオプション 張り出しルビのオプション	206 210 221 224 224 228 231 232 232 234
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 226 231 232 234 234 236
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用 ルビ対えのオプション モノルビ ルビベース揃えのオプション 張り出しルビのオプション ぶら下がり文字の使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 234 236 239
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 236 239 239 240
デザイングリッドの使用 デザイングリッドの理解 デザイングリッドの基本 グリッドスタイルの使用 デザイングリッドの使用 ルビ文字の使用 ルビ文字の使用 ルビベース揃えのオプション もノルビ ルビベース揃えのオプション 張り出しルビのオプション ふら下がり文字の使用 ぶら下がり文字セットの作成 ぶら下がり文字セットの適用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 234 239 239 240 240
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 239 239 240 240 240 241
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 239 239 240 240 240 241 241
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 239 240 240 240 241 241 241
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 239 239 240 240 240 241 241 241 241
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 232 234 239 240 240 240 241 241 241 241 244 244 244
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 239 239 240 240 240 241 241 241 241 244 245
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 236 239 240 240 240 241 241 241 241 244 245 245 246
デザイングリッドの使用	206 210 221 224 224 228 231 232 234 239 239 240 240 240 241 241 241 241 244 245 246 246 247

通貨の作成	248
単語スペーストラッキング	248
ラインチェック	248
カスタムアンダーライン	249
ハイパーリンク	250
リンク先の作成	251
アンカーの作成	252
既存のリンク先を使用したハイパーリンクの作成	253
ハイパーリンクの新規作成	253
ハイパーリンクパレットでのリンクの表示	253
ハイパーリンクのフォーマット	254
リンク先の編集と削除	254
アンカーの編集と削除	254
ハイパーリンクの編集と削除	254
ハイパーリンクパレットの使用へのナビゲーション	254

画像	256
画像の使用	256
画像の取り込み	256
画像の移動	257
画像のサイズ変更	257
画像の切り抜き	257
画像の回転と傾斜	257
画像へのカラーおよびシェードの適用	258
画像のフリップ	258
画像の一覧表示、状況確認、および更新	258
画像バックグラウンドカラーの指定	258
画像属性の保持	259
クリッピングパスの使用	259
クリッピングパスの作成	259
埋め込みクリッピングパスの使用	261
クリッピングパスの操作	261
クリッピングパスを使用した特殊効果の作成	261
アルファマスクの使用	262
PSD画像の使用	263
PSDファイルの準備	263
PSDレイヤーの使用	
PSDチャンネルの使用	264
PSDパスの使用	
PSD Importによる印刷	
クロス参照	267
クロス参照の挿入	
クロス参照の同期	269

カノー、 个迈明反、 のみしトロッノンャト ノ	27	2	2	7	7	1	(((
-------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	--	--	---

カラーの使用	.270
カラーパレット	.270
カラーダイアログボックス	271
カラーの作成	.271
マルチカラーブレンドの作成	.272
カラーの編集	.275
カラーの複製	.275
色の削除	.275
色の選択ツールを使用してカラーを追加する	.275
別アーティクルやプロジェクトからのカラーの取り込み	278
カラーの一括変換	.278
カラーとシェードの適用	.278
カラーおよびシェードをテキストに適用	.279
ラインへのカラーとシェードの適用	279
不透明度の使用	.279
不透明度の指定	.279
グループの不透明度の指定	.280
透明度のあるブレンドの作成	.280
カラーマネージメント	.280
ソースセットアップおよび出力セットアップ	.281
カラーマネージメントの紹介	.281
カラーエキスパートからのソースセットアップと出力セットアップの使用	.282
レガシーカラーマネージメント環境での作業	.283
画面上でのカラーのプルーフ(ソフトプルーフ)	.283
エキスパート向けカラーマネージメント	.284
ソースセットアップの作成	.284
出力セットアップの作成	.285
プロファイルの管理	.286
ドロップシャドウの使用	.287
ドロップシャドウの適用	.287
ドロップシャドウのカスタマイズ	.288
アイテムとのドロップシャドウの結合	.288

カスタムブリード	
カスタムブリードの使用	
ブリード限度でのクリップの使用	

DejaVu XTensionsソフトウェア (Windowsのみ)291

ドキュメントの構築	
自動ページ番号設定の使用	292
自動テキストボックスの作成	292
マスターページの使用	293
マスターページの作成	
マスターページの適用	
マスターページの更新	

マスターページとレイアウトファミリー	.298
レイヤーの使用	.298
レイヤーの理解	.299
レイヤーの作成	.299
レイヤーの選択	.300
レイヤーの表示および非表示	.300
アイテムが存在するレイヤーの判断	.301
レイヤーの削除	.301
レイヤーオプションの変更	.302
別のレイヤーへのアイテムの移動	.302
レイヤー間でのアイテムのコピーとペースト	.303
レイヤーのスタック順の変更	.303
レイヤーおよびテキストの回り込み	.304
レイヤーの複製	.304
レイヤーの統合	.304
レイヤー上のアイテムのロック	.305
レイヤー付きマスターページの使用	.305
レイヤーを印刷しない	.305
PDFレイヤーの使用	.306
リストの使用	.306
リストの準備	.306
リストの作成	.307
別のドキュメントからのリストのインポート	.308
	308
$\mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} $	
リストの作成	.309
リストでのチビケーション リストの作成 リストの更新	.309 .309
リストでのチビケーション リストの作成 リストの更新 索引の使用.	.309 .309 .309
リストでのチビケーション リストの作成 リストの更新 索引の使用 索引マーカの色の指定	.309 .309 .309 .309 .309
リストでのチビケーション リストの作成 リストの更新 索引の使用 索引マーカの色の指定 索引の見出し語の作成	.309 .309 .309 .309 .309 .310
リストでのチビケーション リストの作成 リストの更新 索引の使用 索引マーカの色の指定 索引の見出し語の作成 クロス参照の作成	.309 .309 .309 .309 .309 .310 .312
リストでのチビケーション リストの作成 マストの更新 索引の使用 索引マーカの色の指定 索引の見出し語の作成 クロス参照の作成 索引見出し語の編集	.309 .309 .309 .309 .309 .310 .312 .313
 リストでのチビケーション リストの作成 リストの更新 索引の使用 南引マーカの色の指定 南引の見出し語の作成 クロス参照の作成 索引見出し語の編集 南引見出し語の削除 	.309 .309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313
リストでの作成	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313
リストの作成	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .314 .315
リストでの作成	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315
リストでの リストの リストの 更新	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .314 .315 .315 .315
リストでの「ビリーション リストの作成	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .316 .317
 リストでのチビグーション リストの作成 東引の使用	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .317 .317
リストでのチビリーション	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .317 .317 .317
リストでのチビグーション	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .317 .317 .319 .320
 リストでのチビリーション リストの作成 リストの更新 索引の使用 索引の見出し語の作成 クロス参照の作成 索引見出し語の編集 索引見出し語の削除 索引見出し語の削除 索引で使用する約物の指定 索引の作成 最後の索引の編集 ブックの使用 ブックの作成 チャプターの使用 ページ番号の制御 チャプターの印刷 	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .315 .315 .315 .315 .317 .317 .317 .317 .319 .320 .321
 リストでの) ビリーション リストの作成 リストの更新 索引の使用 索引の見出し語の作成 クロス参照の作成 索引見出し語の編集 索引に使用する約物の指定 索引の作成	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .317 .317 .317 .319 .320 .321 .322
リストでの作成	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .315 .317 .317 .317 .317 .320 .321 .322 .323
リストでのチビリーション リストの作成 リストの更新 索引の使用. 索引の見出し語の作成 マロス参照の作成 索引見出し語の編集 索引見出し語の削除 索引見出し語の削除 索引で使用する約物の指定 索引の作成 最後の索引の編集 ブックの使用 ブックの作成 チャプターの使用 ページ番号の制御 チャプターの同期 チャプターの同期 チャプターの同期 チャプターの同期 テャプターの同刷 ブックの索引と目次の作成 ライブラリの使用	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .317 .317 .317 .317 .317 .320 .321 .322 .323 .323
リストででのチビケーション リストの作成. リストの更新	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .314 .315 .315 .315 .315 .317 .317 .317 .317 .320 .321 .321 .323 .323 .324
リストででのチビケーション リストの作成. リストの更新	.309 .309 .309 .309 .310 .312 .313 .313 .313 .313 .315 .315 .315 .315

ライブラリアイテムの操作	
ラベルの使用	
ライブラリの保存	
Guide Manager Pro XTensionsソフトウェア	
ガイドパレットの使用	
ガイドパレットメニュー	
Guide Manager Proを使用したガイドの作成	
Guide Manager Proを使用したグリッドの作成	
行と列の作成	
ブリードとセーフティガイドの作成	
Scale XTensionsソフトウェア	
クローナーXTensionsソフトウェア	
イメージグリッドXTensionsソフトウェア	
リンクスターXTensionsソフトウェア	

出力	343
印刷レイアウト	343
画像パスの更新	
印刷ダイアログボックスの制御に関する設定	343
印刷ダイアログボックス	345
色分解の印刷	350
カラーコンポジットの印刷	351
レイアウトの書き出し	352
EPS形式でのレイアウトの書き出し	353
PDF形式でのレイアウトの書き出し	354
PostScriptファイルの作成	355
レイアウトを画像として書き出す	356
Using Collect for Output	356
出力スタイルの使用	357
App Studioの出力スタイル	358
トラップの使用	360
平滑化の理解と製品の問題点	360
PDF Filter XTensionsソフトウェア	
画像ボックスへのPDFファイルの取り込み	

グループ作業およびシングルソース	362
共有コンテンツの使用	362
コンテンツの共有および同期	
同期オプションの理解	365
同期アイテムの配置	
同期コンテンツの配置	
共有コンテンツライブラリへのコンテンツの取り込み	
Composition Zonesの使用	
コンポジションゾーンの理解	
Composition Zonesアイテムの作成	
コンポジションゾーンアイテムの配置	373

配置したComposition Zonesアイテムでの複数ページの管理	373
Composition Zonesアイテムの属性の編集	374
コンポジションゾーンアイテムから画像への変換	375
コンポジションゾーンアイテムの同期の解除	375
コンポジションレイアウトの編集:コンテンツ	375
コンポジションレイアウトのコンテンツの編集	375
コンポジションレイアウトの同期の解除	376
コンポジションレイアウトの削除	376

ノート	
ノートの作成	
ノートの使用	
ノートの開始と終了	
ノートの表示および非表示	
ノートの削除	
ノートおよびテキストの相互変換	
作成者、日付、名前、または色別のノートの表示	
ノートの移動とサイズ変更	
ノートの印刷	
PDFのノート	

変更履歴	
トラッキングの切り替え	
トラッキングされた変更内容の表示	
変更内容の同意および拒否	

ジョブジャケット	.383
ジョブジャケットの理解	383
ジョブジャケットとは	384
ジョブジャケットの構造	384
ジョブジャケットのワークフロー例	388
ジョブジャケットの使用	389
基本モードと詳細設定モード	389
ジョブジャケットファイルの作成	390
ジョブチケットの使用	394
ジョブチケットテンプレートの作成	394
ジョブチケットへのレイアウト定義の追加:詳細設定モード	399
プロジェクトへのジョブチケットテンプレートの適用	400
プロジェクトへのレイアウト定義の適用	403
ジョブチケットの書き出しと取り込み	403
デフォルトのジョブジャケットファイル	404
デフォルトジョブチケットテンプレートの編集:ファイルメニュー	404
デフォルトジョブチケットテンプレートの編集:補助メニュー	405
デフォルトジョブジャケットファイルの編集	405
リソースの使用:詳細設定モード	406
リソースへのアクセス:詳細設定モード	406

リソースの設定:詳細設定モード	
リソースの場所の指定:詳細設定モード	
レイアウト仕様の使用	
レイアウトの仕様の作成:詳細設定モード	
レイアウトへのレイアウトの仕様の適用	410
ルールおよびルールセットの使用	412
ルールの作成:詳細設定モード	413
ルールセットへのルールの追加:詳細設定モード	
レイアウトへのルールセットの適用	416
レイアウトの評価	418
ジョブジャケットのロック	
JDF出力での印刷	

多言語の使用	
文字言語の適用	423
表示言語の変更	424

XTensionsソフトウェア	425
XTensionsモジュールの使用	425
XTensionsモジュールのインストール	
XTensionsの有効化と無効化	425
XTensionsセットの使用 (Windowのみ)	426
Item Styles XTensionsソフトウェア	426
 アイテムスタイルパレットの使用	
アイテムスタイルの作成	
アイテムスタイルの使用状況の確認	429
Script XTensionsソフトウェア	429
ボックスツールサブメニュー	430
グリッドサブメニュー	
イメージサブメニュー	
画像ボックスサブメニュー	431
保存中サブメニュー	431
特殊サブメニュー	431
ストーリーサブメニュー	
テーブルサブメニュー	
組版サブメニュー	432
Word Filter	432
XTensionsのその他のモジュール	433

環境設定	435
環境設定の理解	
環境設定が一致しませんという警告	
QuarkXPress環境設定への変更	
環境設定ファイルの内容	
アプリケーションの環境設定	437
環境設定 - アプリケーション - 表示	438

環境設定 - アプリケーション - カラーテーマ	438
環境設定 - アプリケーション - キーショートカット	439
環境設定 - アプリケーション - 入力設定	439
環境設定 - アプリケーション - 未定義キャラクタの代替	440
環境設定 - アプリケーション - 取り消し	441
環境設定 - アプリケーション - 開く&保存	441
環境設定 - アプリケーション - XTensionsマネジャー	442
環境設定 - アプリケーション - 共有	442
環境設定 - アプリケーション - フォント	442
環境設定 - アプリケーション - テキストのハイライト	442
環境設定 - アプリケーション - 東アジア	443
環境設定 - アプリケーション - ダイナミックガイドのカラー	443
環境設定 - アプリケーション - ファイルリスト	443
環境設定 - アプリケーション - デフォルトパス	444
環境設定 — アプリケーション — 索引	444
環境設定 - アプリケーション - ジョブジャケット	444
環境設定 - アプリケーション - ノート	445
環境設定 - アプリケーション - PDF	445
環境設定 - アプリケーション - 変更履歴	445
環境設定 - アプリケーション - スペルチェック	446
環境設定 - アプリケーション - テーブル	447
環境設定 - アプリケーション - 分数/通貨	447
プロジェクトの環境設定	447
環境設定 - プロジェクト - 一般	447
レイアウト環境設定	448
環境設定 - レイアウト - 一般	448
環境設定 - レイアウト - 単位	449
環境設定 - レイアウト - 段落	450
環境設定 - レイアウト - 文字設定	451
環境設定 - レイアウト - ツール	453
環境設定 - レイアウト - ガイドとグリッド	453
環境設定 - レイアウト - グリッドセルの塗りつぶし	454
環境設定 - レイアウト - カラーマネジャー	454
環境設定 – レイアウト – レイヤー	455

本書について

QuarkXPress®の資料を最初から最後まですべて読む必要はありません。本書を使用して簡単に必要な情報を調べながら、作業を進めてください。

想定される前提条件

本書では、ユーザーがコンピュータの操作に慣れていると同時に、下記の操作方法を理 解していることを想定しています。

- アプリケーションの起動
- •ファイルを開く、保存する、閉じる
- メニュー、ダイアログボックス、およびパレットの使用
- ネットワークで接続されたコンピュータ環境での作業
- マウス、キーボードコマンド、および修飾キーの使用

これらの操作に関する情報が必要な場合は、ご使用のコンピュータに付属のマニュアル や他のリソースを確認してください。

ヘルプが必要な場合の参照先

初めてQuarkXPressをご使用になる場合、またはある機能について調べる場合は、下記 のリソースを参照してください。

- サードパーティの出版物
- DTPに関する一般的な出版物

たとえば、ファイルの保存、ファイルの移動、フォントのアクティブ化など、問題がシ ステムレベルの場合は、ご使用のコンピュータに付属されているマニュアルを参照して ください。

表記規則

本書では、ユーザーが必要な情報をすばやく見つけることができるように、表記規則を 使用して重要な情報を強調表示しています。

- ボールド体:ダイアログボックス、フィールド、およびその他のコントロールの名前はすべてボールド体で表記されています。例:「OKをクリックします。」
- 注釈:機能の説明では、括弧内の注釈でそれらの機能の場所が分かるようになっています。例:「検索/置換ダイアログボックス(編集メニュー)でテキストを置換できます。」
- 矢印:矢印(>)は機能へアクセスするためのメニューパスを示すもので、頻繁に使用されます。例:「編集>スタイルシートを選択して、スタイルシートダイアログボックスを表示します。」
- アイコン:多くのツールやボタンは、ツールチップで表示される名前で説明されますが、ユーザーが見つけやすいようにアイコンで示される場合があります。例:「メジャーパレットの■ボタンをクリックして、テキストをセンター揃えにします。」
- クロスプラットフォームの問題: このアプリケーションは、異なるオペレーティン グシステム間での整合性があります。ただし、ユーザーインターフェイス規則やそ の他の要因により、アプリケーションのラベル、ボタン、キーの組み合わせなどに ついて、Mac OS®とWindows®間で違いが生じる場合があります。そのような場 合は、Mac OSとWindowsの両方のバージョンが記載されています。両バージョン はスラッシュで区切られ、Mac OSバージョンが先に記載されます。たとえば、 Mac OSバージョンのボタンの名前が選択で、Windowsバージョンの名前が参照の 場合、説明は「選択/参照をクリックします」となります。プラットフォーム間の 違いがより複雑な場合は、ノートや括弧を使用して説明されます。

技術情報

Quarkは、出版者が組版、カラー、グループ作業を管理できるように、Mac OS Xおよ びWindows向けのQuarkXPressを開発しました。QuarkXPressは、独自の組版管理に 加えて、TrueType®、OpenType®、およびUnicode®のサポートなどの、総合的なフォ ントサポートを提供します。設計者は、PANTONE®(PANTONE MATCHING SYSTEM®)、Hexachrome®、Trumatch®、Focoltone®、DIC®、およびTOYOを使 用して、ページレイアウトに色を追加できます。

複数のファイルフォーマットでコンテンツの取り込みや書き出しを実行したり、デザイ ンコンポーネントの他ユーザーとの共有を可能にするQuarkXPressは、出版環境におけ るグループ作業のハブとして機能します。Microsoft® Word、Microsoft Excel®、 Adobe® Illustrator®、Adobe Photoshop®などのアプリケーションからファイルを取 り込むことができます。QuarkXPressは外部アプリケーションからのコンテンツのコピー やペーストをサポートし、取り込まれたベクトルの画像データをネイティヴ・オブジェ クトへ変換できます。コンテンツをPostScript®またはAdobe Acrobat® Reader®用の PDF形式で出力できます。QuarkXPressでは、デジタル出力をePub、Kindleフォーマッ ト、およびHTML5出版物へ書き出すことができます。ePubファイルは、主なすべての ePubリーダー、およびGoogle Chromeと互換性があります。KindleファイルはKindle デバイスと互換性があります。また、Internet Explorer®、Safari®、Google Chrome®、Firefox®を使用して表示可能なファイルを書き出すこともできます。Job Jackets®やComposition Zones®などの機能を使用すると、複数のユーザーが同じ出版 物に対して同時に作業しているときでも、仕様を共有して一貫性のある出版物を作成で きます。 QuarkXPressのソフトウェアアーキテクチャにより、ユーザーやソフトウェア開発者が 使用できる出版機能が強化されます。XTensions®のソフトウェア技術を使用して、サー ドパーティの開発者はQuarkXPressのカスタムモジュールを作成できます。

QuarkXTensions®(Quark® XTensionsソフトウェア)も、特定の出版ニーズに合わ せたモジュール単位のアプローチを提供します。さらに、Apple®のスクリプト記述言語 であるAppleScript®を使用してスクリプトを記述できれば、多くのQuarkXPressアク ティビティを自動化できます。

ユーザーインターフェイス

QuarkXPressユーザーインターフェイスを見ると、使い慣れた、用途が一目で分かるコマンドが多いことが分かります。QuarkXPressのメニューとダイアログボックスに慣れると、キーボードコマンドとパレットを使用して、メニューからもアクセスできる機能に簡単にアクセスできるようになります。

ツール





- アイテム(ボックス、ライン、テキストパス、およびグループ)の選択、移動、サイズ変更、および形状変更を行うには、アイテムツールを使用します。アイテムツールが選択されていない場合、Command/Ctrlキーを使用して、一時的にアイテムツールにアクセスできます。
- テキストボックスを描画し、ボックス内のテキストを使用するには、テキストコン
 テンツツール
 テンツ
- テキストボックスをリンクするには、**テキスト連結**ツールを使用します。
- テキストボックスをリンク解除するには、テキスト連結解除ツール¹⁰を使用します。
- 画像ボックスを描画し、ボックス内の画像を使用するには、**画像コンテンツ**ツール
- 方形ボックスを作成するには、方形ボックスツールを使用します。正方形ボックスを描画するには、Shiftキーを押したまま描画してください。
- 楕円形ボックスを作成するには、**楕円形ボックス**ツールを使用します。正円形 ボックスを作成するには、Shiftキーを押したまま描画してください。
- ・ 星形ボックスを作成するには、**星形**ツールなを使用します。
- コンポジションゾーンボックスを作成するには、コンポジションゾーンツール
 を使用します。
- 任意の角度を持つ直線の対角線を作成するには、**ライン**ツール を使用します。 ライン角度を45度に制限するには、Shiftキーを押したまま描画してください。
- 直角ラインツール+を使用して、直角のラインを作成します。
- ベジエラインとベジエボックスを作成するには、ベジエペンツールなを使用します。ライン角度を45度に制限するには、Shiftキーを押したまま描画してください。
- 任意のパスのタイプにポイントを追加するには、ポイント追加ツールを使用します。コンテンツボックスにポイントを追加すると、コンテンツボックスは自動的にベジエアイテムに変更されます。
- 任意のパスのタイプからポイントを削除するには、**ポイント削除**ツール**ジ**を使用 します。
- コーナーポイントを曲線ポイントに、曲線ポイントをコーナーポイントに自動的に

変換するには、ポイント変換ツール × を使用します。クリックしてドラッグする ことによって、ポイントの位置、曲線セグメントの曲線、直線セグメントの位置を 変更します。このツールを選択して、方形ボックスや直線をクリックして、アイテ ムをベジエボックスやベジエラインに変換します。

- 1アイテムを別個のパスに切り分けるには、はさみツールジャを使用します。
- 曲線やポイントを選択して移動または削除できるようにするには、ポイント選択ツー

ル を使用します。複数のポイントを選択するには、Shiftキーを押しながらクリックします。シンメトリカルポイントにするには、Option/Altキーを押しながらクリックします。

任意の形状を持つラインやボックスを描画するには、フリーハンド描画ツール を使用します。フリーハンドボックスを閉じなければ、ラインは保持されます。フ リーハンドボックスを自動的に閉じるには、Option/Altキーを押します。

- テーブルを作成するには、**テーブル**ツールを使用します。
- ドキュメント表示の拡大や縮小を行うには、ズームツールを使用します。
 アクティブレイアウトの位置を変更するには、パンツールを使用します。
- ▶ 方形ボックスツールを使用してボックスを描画するとき、キーコマンドを使用してコンテンツタイプを宣言できます。描画するときにRを押すと画像コンテンツが、Tを押すとテキストコンテンツが宣言されます。既存のボックスについてコンテンツの種類を変更するには、ボックスを右クリックし、コンテンツ > テキストを選択して、画像またはなしを選択します。
- ➡ ベジエボックスとベジエラインについての詳細は、「ベジエボックスの作成」および「ベ ジエラインの作成」を参照してください。
- ➡ ペンツールを選択しているときにレイアウトをパンするには、Shift+スペースを押して、 クリックアンドドラッグします。
- ラインまたはパスにテキストを追加するには、テキストコンテンツツール て、ラインまたはパスをダブルクリックします。
- ➡ コンポジションゾーンについての詳細は、「Composition Zonesアイテムの作成」を参照してください。
- ➡ ユーザーは、ウィンドウメニューのツールパレットを垂直方向にも水平方向にも表示できます。パレットを水平方向に表示するには、WindowsではタイトルバーをCtrl+ダブルクリックし、 Mac OS Xではツールパレットを上端にドッキングします。

ツールキーコマンド

アクティブなテキストボックスまたはテキストパスがない場合、下記のキーコマンドを 使用して、ツールをすばやく切り替えられます。

ツール	Windows	Mac OS X
アイテムツール	\vee	\vee

ツール	Windows	Mac OS X
テキストコンテンツ ツール	Т	Т
テキスト連結 ツール	Т	Ν
テキスト連結解除 ツール	Т	Ν
画像コンテンツ ツール	R	R
方形ボックス ツール	В	В
楕円形ボックス ツール	В	В
星形 ツール	В	В
コンポジションゾーン ツール	L	В
ライン ツール	Р	L
直角ライン ツール	Р	Ľ
ベジエペンツール	Р	Ρ
ポイント追加 ツール	Р	Ρ
ポイント削除 ツール	Р	Р
ポイント変換 ツール	Р	Ρ
はさみツール	Р	Ρ
ポ イント選択 ツール	Р	Р
フリーハンド描画ツール	Р	Р
テーブル ツール	G	G
ズームツール	Z	Z
パン ツール	X	X

Scissors XTensionsソフトウェア

Scissors XTensionsソフトウェアは、**ツール**パレットに**はさみ**ツールを追加します。**は さみ**ツールを使用すると、ボックスのアウトラインをカットしてラインに変換するか、 ラインまたはテキストパスを2つにカットできます。

Scissors XTensionsソフトウェアがロードされると、**はさみ**ツールは、QuarkXPressの **ツール**パレットに表示されます。**はさみ**ツールの使用については、下記の手順に従って ください。

1 はさみツールを選択します。

- テキストボックスをカットすると、ボックスはテキストパスに変換されます。
- テキストパスをカットすると、パスは2つのリンクされたパスに変換されます。

2 ポイント選択ツールを選択し、ポイントをクリックアンドドラッグして調整します。

Shape of Things XTensionsソフトウェア

Shape of Things XTensionsソフトウェアは、QuarkXPressに**星形**ツールを追加しま す。このツールを使用して、すばやく簡単に星形のボックスを作成できます。

星型ツールの使用

星形の画像ボックスを作成するには、下記の2つの方法があります。

1 星形ツール を選択して、クリックアンドドラッグします。

2 星型ボックスを作成するとき特定の属性を定義するには、**星型**ツールを選択してから、 星型ボックスを作成する場所へ十字ポインタ + を移動し、1回クリックします。**星形**ダ イアログボックスが表示されたら、下記のフィールドに値を入力して**OK**をクリックしま す。

- 星形の幅
- 星形の高さ
- 尖端の数
- 尖端の高さ:尖端の先から尖端のベースまでの任意の距離をパーセントで入力します。
- 尖端のランダム配置: 0から100の値を入力します。0はランダムが適用されず、100 は、フルランダムが適用されます。

メニュー

下記のトピックは、QuarkXPressで利用できるメニューおよびメニューアイテムを説明 します。

QuarkXPressメニュー (Mac OS Xのみ)

QuarkXPress for Mac OS Xには、**QuarkXPress**メニューがあります。このメニュー には、QuarkXPressとその他のアプリケーションの表示、非表示の切り替え、環境設定 へのアクセス、およびQuarkXPressの終了などの、他のMac OS Xアプリケーションと 同様のコマンドが含まれています。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- QuarkXPressについて:このコマンドを使用して、QuarkXPressのバージョン番号などの情報を表示します。
- ライセンスコードを編集: このコマンドを使用して、インストール済みの QuarkXPressのバリデーションコードを変更できます。このコードを変更すること で、QuarkXPressの無料お試し版バージョン(以前の「評価版」)から全機能バー ジョンへの変更、ユーザーインターフェイスでサポートされる言語の変更、または QuarkXPressのPlus版への変更が可能です。
- QuarkXPressのアクティブ化:コンピュータでQuarkXPressをアクティブ化します。QuarkXPressがデモモードで実行されている場合にのみ利用できます。
- アップデートを確認: QuarkXPressのアップデートを確認します。

- Quarkアップデートの設定:自動アップデートの設定を行います。
- 環境設定:デフォルトの値と設定を指定します。詳細は、「環境設定」を参照して ください。
- QuarkXPressの終了:アプリケーションを終了します。
- ファイルメニュー

ファイルメニューでは、作成、開く、印刷、および保存などの複数の方法で電子ファイルを操作できます。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- 新規:新規サブメニューのオプションを選択して、プロジェクトを作成します。チケットから新規プロジェクト作成を選択すると、プロジェクトを作成できるジョブチケットを選択できます。また、このサブメニューを使用して、新しいライブラリおよびブックを作成できます。
- 開く: プロジェクトファイルを開きます。
- 最近読んだ作品を開く (Mac OS Xのみ。Windowsでは、最近開いたファイルの 一覧がファイルメニューの末尾に表示されます): 最近開いたファイルのリストから、プロジェクトを選んで開きます。
- 閉じる:アクティブなプロジェクトを閉じます。
- 保存: アクティブなプロジェクトを保存します。
- 新規保存:アクティブなプロジェクトのコピーを保存します。
- 復帰:アクティブなプロジェクトを最後に保存された状態に戻します。
- 取り込み:このコマンドを使用して、テキストボックスにテキストを取り込むか、 画像ボックスに画像を取り込みます。
- テキスト保存:アクティブなテキストボックスのコンテンツを別のファイルとして 保存します。
- 追加:別のファイルからのスタイルシート、カラー、レイアウト、およびさまざま なその他の種類のリソースを追加します。
- •書き出し:レイアウトを別のファイルの種類またはバージョンとして保存します。
- 出力ファイルの収集:1つのフォルダにファイル、出力レポート、および選択された リソースをコピーします。収集と出力は、プロジェクトのすべてのレイアウトに対 して実行できます。
- ジョブジャケット:このサブメニューを使用して、レイアウトの作成および検査に 関する仕様とルールへのアクセス、ジョブジャケットファイルへのプロジェクトの リンク、ジョブチケットの設定、およびレイアウトの評価を行います。
- •印刷:アクティブなファイルを印刷します。
- 終了 (Windowsのみ): アプリケーションを終了します。

編集メニュー

編集メニューには、下記のコマンドがあります。

- **取り消し**:最後のアクションを取り消します。
- やり直し: 取り消されたアクションをやり直します。

- **カット**:選択されたコンテンツをカットします。
- **コピー**:選択されたコンテンツをクリップボードにコピーします。
- ペースト: クリップボード上のコンテンツをアクティブなページにペーストします。
- フォーマットなしのペースト: クリップボードのコンテンツを、プレーンテキスト としてペーストします。
- 同位置にペースト:複製またはコピーされたアイテムをアクティブなページ上のコ ピー元と同じ場所にペーストします。
- ネイティヴ・オブジェクトとしてペースト:ペーストするアイテムを、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトへ変換します。
- **削除 (Windowsのみ)** : アクティブなコンテンツを削除します。
- すべて選択:アクティブなボックスまたはテキストパスのすべてのコンテンツを選択します。
- **クリップボード表示(Windowsのみ)**: クリップボードのコンテンツを表示します。
- 検索/置換:検索/置換パレットを表示します。このパレットでは、コンテンツ、 フォーマット、または両方をベースにテキストの検索と置換を行えます。
- アイテム検索/置換:アイテム検索/置換パレットを表示および隠します。
- 環境設定(Windowsのみ): デフォルトの値と設定を指定します。詳細は、「環 境設定」を参照してください。
- **カラー**:カラーの定義を追加、編集、および削除します。詳細は、「カラーの使用」 を参照してください。
- スタイルシート:スタイルシートの定義を追加、編集、および削除します。詳細は、 「スタイルシートの使用」を参照してください。
- アイテムスタイル:アイテムスタイルパレット(ウィンドウメニュー)を使用して、 QuarkXPressアイテムに適用できるアイテム定義を追加、編集、および削除しま す。
- **コールアウトスタイル**:コールアウトスタイルを追加、編集、および削除します。 詳細は、「*コールアウトの使用*」を参照してください。
- 条件付きスタイル:条件付きスタイルを追加、編集、および削除します。詳細は、 「*条件付きスタイルの使用*」を参照してください。
- 箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインスタイル: 箇条書き記号、箇条書 き自動番号、アウトラインスタイルを追加、編集、および削除します。詳細は、「 *箇 条書きおよび番号付きリスト*」を参照してください。
- 脚注スタイル:脚注スタイルを追加、編集、削除します。詳細は、「*脚注と文末脚 注の使用*」を参照してください。
- アンダーラインスタイル:アンダーラインスタイルにアクセスし、設定します。
- ハイパーリンク: URL、アンカー、およびページのリンクを含むハイパーリンクを 追加、編集、および削除します。
- ぶら下がり文字:カスタムぶら下がり文字の定義を追加、編集、および削除します。 詳細は、「ぶら下がり文字の使用」を参照してください。

- リスト:リストの定義を追加、編集、および削除します。リスト機能は、コンテン ツおよびその他のリストされたコンテンツの種類のテーブルを自動的に生成するツー ルです。詳細は、「リストの使用」を参照してください。
- H&J: H&J (ハイフネーション&ジャスティフィケーション)の定義を追加、編集、 および削除します。H&Jを使用して、テキストの分割を制御できます。詳細は、「/1 イフネーション&ジャスティフィケーションの制御」を参照してください。
- グリッドスタイル:テキストコンポーネントに適用できる、印刷されないデザイン グリッドのパターンを追加、編集、および削除します。詳細は、「デザイングリッ ドの使用」を参照してください。
- ダッシュ&ストライプ:カスタムラインパターンを追加、編集、および削除します。
- **フォントセット**:特定のフォントのカスタム比率、サイズ、および効果を追加、編 集、および削除します。
- ➡ この機能はCJK機能とみなされ、(QuarkXPress/編集 >環境設定 > CJK)で CJKの環境設定を有効にしている場合のみ利用できます。
 - 出力スタイル:出力スタイルの定義を追加、編集、および削除します。出力スタイルでは、異なる出力オプションを簡単に切り替えることができます。詳細は、「出力スタイルの使用」を参照してください。
 - **文字組み**:文字組みセットおよびクラスを追加、編集、および削除します。詳細は、 「文字組みセットとクラスの使用」を参照してください。
- ➡ この機能はCJK機能とみなされ、(QuarkXPress/編集 >環境設定 > CJK)で CJKの環境設定を有効にしている場合のみ利用できます。
 - 禁則文字セット:ダブルバイト文字セットのルールを追加、編集、および削除します。
- ➡ この機能はCJK機能とみなされ、(QuarkXPress/編集 >環境設定 > CJK)で CJKの環境設定を有効にしている場合のみ利用できます。
 - カーニングペア (Mac OS Xのみ): インストールされたフォントのカーニングを 制御できます。
 - フォントトラッキングテーブル (Mac OS Xのみ): インストールされているフォントのトラッキングを制御できます。
 - 選択内容からツールの環境設定を設定 (Mac OS Xのみ) : ツールの環境設定を、 現在選択されているボックスの属性に合わせて設定します。
 - ツールの環境設定をデフォルトに復元 (Mac OS Xのみ): ツールの環境設定をデフォルトに戻します。
 - カラーのセットアップ:ソースおよび出力セットアップの設定にアクセスし、設定します。
 - 表示言語 (Windowsのみ): ユーザーインターフェイスの言語を変更します。

スタイルメニュー

スタイルメニューは、テキストボックス、画像ボックス、またはラインがアクティブか どうかによって変化します。

テキストのスタイルメニュー

テキストの**スタイル**メニューには、文字属性と段落フォーマットを指定するためのコマンドが含まれます。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- •フォント:選択したテキストのフォントを変更できます。
- サイズ: 選択したテキストのサイズを変更できます。
- 文字飾り:選択したテキストにボールド、イタリック、またはアンダーラインなどの文字飾りを適用できます。文字飾りサブメニューには、アンダーラインスタイル、 分数の作成、通貨の作成、およびカスタムアンダーラインをクリア(Mac OS X) も含まれています。
- **カラー**: 選択したテキストのカラーを変更できます。
- シェード:適用したカラーの色調を設定できます。
- 不透明度:選択したテキストの透明度を制御できます。
- 文字の変形 (Windowsのみ): 選択したテキストを水平または垂直方向に引き延ばします。
- カーニング (Windowsのみ): 文字間に適用されているすべての手動カーニング を追加または削除でき、またカーニングペアからカーニングを削除できます。
- 縦組み/横組み:選択したテキストボックスの縦組み/横組みを指定できます。
- ➡ この機能はCJK機能とみなされ、(QuarkXPress/編集 >環境設定 > CJK)で CJKの環境設定を有効にしている場合のみ利用できます。
 - **ルビ**: テキストに適用されているルビ文字を制御できます。
- ➡ この機能はCJK機能とみなされ、(QuarkXPress/編集 (>環境設定>CJK)で CJKの環境設定を有効にしている場合のみ利用できます。
 - 縦組み中の文字回転:水平テキストを、縦組みに配置できます。
- ➡ この機能はCJK機能とみなされ、(QuarkXPress/編集 >環境設定 > CJK)で CJKの環境設定を有効にしている場合のみ利用できます。
 - ・行揃え:アクティブな段落を、左、右、または中央に揃えられます。選択した段落の両端揃え、または強制両端揃えも実行できます。
 - 文字揃え:アクティブな文字を上、中央、ベースライン、または下に揃えられます。
- CJK環境設定では、平均字面上、平均字面下、仮想ボディ上辺、仮想ボディセンター、 仮想ボディ下辺、欧文ベースラインオプションが使用できます。これらのオプショ ンにより、大きな文字によって指定される平均字面に、小さい文字のラインを揃え ることができます。縦組みのテキストフレームの場合、平均字面上/右では平均字 面の右にテキストが揃えられ、平均字面下/左では平均字面の左にテキストが揃え られます。
 - ベースラインシフト (Windowsのみ): ライン間隔を変更せず、選択したテキストをベースラインに対して上下に移動できます。

- 文字設定 (Windowsのみ):文字属性ダイアログボックスを表示し、選択したテ キストの文字フォーマットのすべての設定を制御できます。
- 行送り (Windowsのみ): 選択した段落のライン間隔を変更できます。
- 段落設定(Windowsのみ):段落設定ダイアログボックスを表示し、選択したテキストの段落フォーマットのすべての設定を制御できます。
- タブ (Windowsのみ): 選択した段落のタブストップを設定できます。
- 段落罫線 (Windowsのみ): 選択した段落の上下に自動ラインを作成できます。
- •段落スタイルシート:選択したテキストに段落スタイルシートを適用できます。
- 文字スタイルシート:選択したテキストに文字スタイルシートを適用できます。
- 脚注/文末脚注:脚注と文末脚注を表示、追加、編集できます。
- 脚注セパレータのスタイル:脚注セパレータに各種のスタイルを適用できます。
- スタイルシートのアップデート:適用されているスタイルシートへのローカルな変 更を基にして、文字や段落のスタイルシート定義をアップデートできます。
- アイテムスタイル:適用されているアイテムスタイルを表示およびアップデートできます。
- 大文字/小文字の変更:選択したテキストを大文字、小文字、またはタイトル文字 に変更できます。
- •水平フリップ: 選択したテキストを水平方向にフリップします。
- **垂直フリップ**: 選択したテキストを垂直方向にフリップします。
- クロス参照: クロス参照の挿入と同期を実行できます。
- ハイパーリンク:ハイパーリンク、ページリンク、またはアンカーを変更して、選択したテキストに適用できます。
- アンカー:選択したテキストのアンカーを作成または変更できます。
- ・手動カーニングをクリア (Mac OSのみ): 文字間に適用されている全手動カーニングを削除したり、カーニングペアからカーニングを削除できます。
- アンダーラインスタイル (Windowsのみ):アンダーラインスタイルを変更して、選択したテキストに適用できます。

画像のスタイルメニュー

画像の**スタイル**メニューには、画像をフォーマットして編集するためのコマンドが含ま れます。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- カラー: 選択したグレースケールや1ビット画像にカラーを適用します。
- シェード:適用したカラーの強度を設定できます。
- 不透明度:選択した画像の透明度を制御できます。
- ハーフトーン(Windowsのみ):選択したグレースケール画像に、ハーフトーン 画面パターンを適用できます。
- **画像をボックスに合わせる**:選択した画像を、画像ボックスに合わせて水平および 垂直方向に拡大/縮小します。

ユーザーインターフェイス

- **画像をボックスに合わせる(縦横比を保持)**:選択した画像を、画像ボックスに合わせて拡大/縮小します。ただし、この場合は縦横比が維持されます。
- ボックスを画像に合わせる:選択した画像のサイズに合わせて、画像ボックスを拡 大または縮小します。
- アイテムスタイル:適用されているアイテムスタイルを表示およびアップデートできます。
- 画像を中央に配置:選択した画像を、その画像ボックスの中央に配置します。
- 水平フリップ: 選択した画像を水平方向にフリップします。
- 垂直フリップ:選択した画像を垂直方向にフリップします。
- ネイティヴ・オブジェクトへ変換:既存のアイテムを、ネイティブのQuarkXPress オブジェクトへ変換します。
- ハイパーリンク:ハイパーリンク、ページリンク、またはアンカーを変更して、選択した画像またはボックスに適用できます。
- アンカー:選択した画像またはボックスのアンカーを作成または変更できます。

ラインのスタイルメニュー

ラインの**スタイル**メニューには、以下のコマンドが含まれます。

- ラインの種類:選択したラインにラインのスタイルを適用できます。
- 矢印の先端:選択したラインに矢印の先端スタイルを適用できます。
- 幅: 選択したラインの幅を調整できます。
- **カラー**: 選択したラインのカラーを変更できます。
- シェード:適用したカラーの強度を設定できます。
- 不透明度:選択したラインの透明度を制御できます。
- アイテムスタイル:適用されているアイテムスタイルを表示および更新できます。
- ハイパーリンク:ハイパーリンク、ページリンク、またはアンカーを変更して、選択したラインに適用できます。
- アンカー:選択したラインのアンカーを作成または変更できます。

アイテムメニュー

アイテムメニューには、アイテム属性、位置、グループ化、共有、その他を制御するためのコマンドがあります。

- 設定 (Windowsのみ):アイテムのカラー、シェード、位置、サイズ、フレーム、回り込み、クリッピングパスなどの総合的なコントロールのセットにアクセスできます。
- フレーム (Windowsのみ): アイテムの幅、スタイル、カラー、および不透明度 などのフレーム属性を指定できます。
- 回り込み (Windowsのみ) : テキストが画像または画像ボックスの内部や外部に 入り込んだり、または画像や画像ボックスを通すように指定できます。
- **クリッピング** (Windowsのみ) : 特定アイテムのクリッピングタイプを選択して、クリッピングタイプの距離を制御できます。

- •複製:アイテムとアイテムのコンテンツのコピーを作成できます。
- 連続複製 (Windowsのみ): アクティブなアイテムを複数回、指定した位置に複 製できます。
- 高性能連続複製:アクティブなアイテムを複数回複製して、複製の縮小率、回転、 およびシェードを指定できます。
- 削除:選択したアイテムとアイテムのコンテンツを削除できます。
- ロック:アイテムの位置やコンテンツをロックすることによって、アイテムとアイ テムのコンテンツを不用意に変更してしまうことを防ぎます。
- ボックスをテキストに合わせる:含まれているテキストのサイズに合わせて、テキ ストボックスを拡大または縮小します。
- **重なり順** (Mac OS Xのみ): アイテムを、ページまたはレイヤーの重なり順で1 レベル後ろ、一番後ろ、一番前、または1レベル前へ移動できます。
- ひとつ後ろへ (Windowsのみ): アイテムをページやレイヤーのスタック順序で 1レベル後ろに移動します。
- ・背面へ送る(Windowsのみ):アイテムをページやレイヤーの一番後ろに移動します。
- ひとつ前へ (Windowsのみ): アイテムをページやレイヤーのスタック順序で1 レベル前に移動します。
- 前面へ出す (Windowsのみ): アイテムをページやレイヤーの一番前に移動しま す。
- グループ:複数のアクティブなアイテム(ライン、ボックス、テキストパス、テーブル、およびその他のグループ)を1つのグループにまとめられます。
- **グループ解除**:現在選択されているグループ化されたアイテムを、グループ解除します。
- すべてグループ解除:1つのグループをコンポーネントアイテムまたはグループに分割します。
- インラインテーブルの挿入:インラインテーブルを挿入します。
- 複数アイテムの配置:選択したアイテムを、アイテム同士が均等になるように、あるいはページまたはスプレッドに対して均等になるように配置できます。
- 制限:アイテムが制限されている境界を越えて移動できないように、アイテムを制 限できます。
- •制限解除:アイテムに適用されている制限を解除します。
- 内容:アイテムのコンテンツタイプを変更できます。
- 形状:アクティブなアイテムの図形を変更できます。
- 融合:選択したアイテムをさまざまな方法で融合します。 (Mac OS X:パスの融合または分割)
- 分割:重なりがない図形を含むボックス、図形内にある図形を含むボックス、または自身と交差するボーダーを含むボックス(図8)を分割できます。(Mac OS X: パスの融合または分割)
- ポイント/セグメントの種類:アイテムのポイントやセグメントの種類を変更する ことで、ポイント、曲線ハンドル、およびラインセグメントを操作できます。

- テキストからボックスへの変換:選択したテキストボックスのコンテンツをベジエボックスに変換できます。
- •編集:アイテムの図形、回り込み、またはクリッピングパスを変更できます。
- 図形をフリップ:フレーム内のベジエ形状を垂直または水平方向にフリップできます。
- 共有:アイテムの共有プロパティにアクセスして、テキスト、画像、ボックス、ライン、およびコンポジションゾーンなどのコンテンツの同期または再利用を行えます。
- サイズの同期を解除:アイテムの他の使用(または同期属性)に影響を与えること なく、アイテムの単一インスタンスの同期を削除します。
- アイテム/コンテンツの同期を解除:アイテムの他の使用(または同期属性)に影響を与えることなく、アイテムの単一インスタンスの同期を削除します。
- ドロップシャドウ (Windowsのみ):アイテムのドロップシャドウを適用または 変更できます。
- 他のレイアウトにコピー:選択したアイテムを他のレイアウトにコピーできます。
- コールアウトアンカー:コールアウトアンカーとコールアウトを設定できます。詳細は、「コールアウトの使用」を参照してください。
- **コンポジションゾーン**:コンポジションゾーンを作成または変更できます。
- デジタルパブリッシング: ePub、Kindle、App Studio、およびHTML5出版物の 出力フォーマットでのデジタルパブリッシング用に、アイテムを設定できます。詳 細は、『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください。
- クリッピングパスから新規ボックスを作成: クリッピングパスからボックスを作成 できます。
- **サイズ変更**: サイズ変更設定を変更できます。
- **注記**: ノートの挿入、削除、およびノート間の移動を行います。詳細は、「ノート」 を参照してください。
- ページメニュー

ページメニューには、ページを挿入、削除、移動し、ガイド、グリッド、および選択したオブジェクトを使用し、ページ間を移動するためのコマンドなどがあります。

- 挿入:新規ページを追加できます。
- **削除**:ページを削除できます。
- •移動:ページを別の場所に移動できます。
- マスターガイド&グリッド:ページガイドの配置を変更して、マスターページ上の グリッドをデザインできます。
- **セクション**:レイアウトや、レイアウトのページ範囲での番号付け方法を変更できます。
- 前ページへ:前のページに移動します。
- 次ページへ:次のページに移動します。
- 先頭へ: 最初のページに移動します。

- 最後へ: 最後のページに移動します。
- •移動:特定のページに移動できます。
- 表示:ページやマスターページを表示できます。
- レイアウトメニュー

レイアウトメニューには、レイアウトを使用し、レイアウトに移動するためのコマンド があります。

- •新規:新規レイアウトを追加できます。
- 複製:1つのレイアウトを複製し、そのアイテムとコンテンツを別のレイアウトにコ ピーできます。
- 削除:レイアウトを削除できます。
- レイアウト仕様の新規作成/編集:レイアウトのジョブジャケットプロパティを作成または編集できます。
- レイアウトプロパティ:名前、タイプ、およびサイズなどのレイアウトプロパティ を変更できます。
- 詳細レイアウトプロパティ:レイアウトの共有プロパティを変更できます。
- eBookのメタデータ: eBook向けに書き出すためのレイアウトに、メタデータを適用できます。詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください。
- ページをリフローに追加:ページのコンポーネントをリフローのタグ付けパレット へ追加し、リフローePubへ書き出せるようにします。
- 前ページへ:現在のレイアウトの前にアクティブだったレイアウトタブをアクティブにします。
- 次ページへ:アクティブなレイアウトのすぐ右に位置するレイアウトタブをアクティブにします。
- 先頭へ: 一番左のレイアウトタブをアクティブにします。
- •最後へ:一番右のレイアウトタブをアクティブにします。
- 移動:特定レイアウトをアクティブにし、サブメニューでそのレイアウトを選択で きます。

テーブルメニュー

テーブルメニューには、行と列のテーブルへの追加、テーブル属性の変更、テーブルの 変換などを行うコマンドがあります。

- 挿入: 行や列をテーブルに追加できます。
- 選択:行や列のパターン、またはその他のテーブル要素を選択できます。これによって、1行おきにシェードを適用するなど、別のフォーマットを簡単に適用できるようになります。
- 削除:テーブルから選択内容を削除できます。
- **セルを統合**: 行全体や列全体など、隣接するテーブルセルで構成される長方形の選 択範囲を、単一セルに統合します。

- テーブル分割:別の位置にテーブルの続きを表示します。テーブル分割は、これを 超えるとテーブルが2つの連結されたテーブルに分割される最大サイズです。
- 各テーブルを作成:継続テーブル間の連結を解除し、各テーブルを完全に独立させます。こうすることで、テーブルの一部を変更しても、継続する全テーブルに影響が及ばなくなります。
- ヘッダーとして連続複製: ヘッダー行が、テーブルの継続インスタンス内で自動的 に繰り返されるように指定できます。
- フッターとして連続複製:フッター行が、テーブルの継続インスタンス内で自動的 に繰り返されるように指定できます。
- テキストのテーブル変換:テキストボックスに既に取り込まれている、または入力 されているテキストを、テーブルに変換します。これは、情報がどのように列と行 に分割されるかが分かるように区切られているテキストの場合に最適です。
- テーブル変換:テーブルの情報を、テキスト、または関連ボックスのグループに変換できます。現在のデータを簡単に書き出す場合や、またはQuarkXPressの以前の バージョンでサポートされていない機能を含むドキュメントを保存する場合に、テー ブルを変換します。
- テーブルの方向:テーブルの水平または垂直の方向を指定できます。
- テキストセルをリンク:テキストボックスとテキストパスをリンクするのと同じように、テーブルセルを互いにリンクできます。リンクされたセルに入力、取り込み、またはペーストされているテキストが最初のテキストセルに入力されてから、リンクされている後続のセルにフローされます。
- ジオメトリを保持: 行や列を挿入または削除するとき、テーブルの幅と高さが変化 しないようにします。

表示メニュー

表示メニューには、ドキュメントを表示し、メニューアイテムのチェック時に画面に表示される対象を指定するためのオプションが用意されています。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- 全体表示:レイアウトウィンドウのページ全体に合わせるように、ビューを自動的にサイズ調整します。
- •50%:レイアウトビューを50%に拡大します。
- •75%: レイアウトビューを75%に拡大します。
- 原寸大: レイアウトビューを100%に拡大します。
- 200%: レイアウトビューを200%に拡大します。
- サムネール:各ページの縮小版を表示します。これらは並べ替えや、プロジェクト 間でのコピーが行えます。
- 全画面表示を開始 (Mac OS Xのみ): 全画面表示モードに切り替えます。
- ダイナミックガイド:ページ上でアイテムの作成や操作を行うときにラインを表示します。これらのラインは印刷されません。これらのラインは、位置とメジャーの値を表示し、ページ上でアイテムと他のアイテムとの相対的な位置を揃える、編集する、および変換するために役立ちます。表示されるサブメニューでは、ダイナミックガイドのオン/オフ、およびダイナミックガイドと表示されるフィードバックの種類の指定(アイテムの中央に揃える、アイテムのエッジに揃える、ページの中央

に揃える、同じ寸法で表示、同じ間隔で表示、および寸法/間隔の単位を表示)を 行えます。ガイドはドキュメントの設定であるのとは異なり、ダイナミックガイド の表示はアプリケーション固有の設定です。

- ガイド:マージンガイド、ボックスのアウトライン、空の画像ボックスの「X」パ ターン、およびルーラーガイドなど、アイテムをページに配置するために使用され、 印刷されないラインを表示します。
- 選択項目を隠す: QuarkXPress を、選択内容がドキュメント内で視覚的に示されない(テキストのハイライトやハンドルの表示を行わない)モードに切り替えます。 ただし、選択内容は依然として内部的に記憶されています。
- ページグリッド:アクティブなレイアウトページの基となるマスターページ用に定義されている、印刷されないグリッドラインを表示します。
- テキストボックスグリッド:テキストボックスに適用されている、印刷されないグ リッドラインを表示します。
- ガイドへの吸着:アイテムを迅速にガイドに整列させ、最も近いガイドにアイテム が吸着されるようにします。
- ページグリッドへの吸着:アイテムを迅速にページグリッドに整列させ、最も近い ガイドにアイテムが吸着されるようにします。
- **ルーラー**: ルーラーを表示します。そのルーラーを使用して、レイアウトウィンド ウの左上端、または右上端に沿ってアイテムとガイドを配置できます。
- ルーラー方向:レイアウトウィンドウの左上端、または右上端にページルーラーを 配置できます。
- 特殊キャラクタ:テキストのスペース、タブ、段落改行など、編集可能で印刷され ない文字を表示します。
- ビジュアルインジケータ:ハイパーリンクや不足フォントのハイライトなど、印刷 されない要素のインジケータを表示します。
- コンテンツ変数をハイライト:コンテンツ変数のインジケータを表示します。
- **クロス参照をハイライト**: クロス参照のインジケータを表示します。
- トリムビュー:ページの境界を越えて広がるアイテムを切抜いてトリムを実行した場合の、ページの外観をシミュレートします。環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集>環境設定)のディスプレイペインでこのアイテムを選択したときに表示されるペーストボードのカラーを制御できます。
- 出力しない要素を隠す: 設定ダイアログボックスのボックス、ライン、画像、またはレイアウトペインで出力しないボックスがオンになっているアイテムを、メジャーパレットも含めて(Mac OS Xのみ)、すべて非表示にします。また、属性ダイアログボックスで出力しないがオンになっているレイヤーも非表示にします。さらに、このオプションで、ハイパーリンクのアンダーライン、ハイパーリンクのアンカー、索引マーカ、テキストのオーバーフロー記号も非表示にできます。
- ノートを表示/非表示にする:プロジェクトのノートを表示または隠すことができます。
- 出力のプルーフ:別のメディアや、別の印刷方法で出力した場合にレイアウトがどのように見えるかをプレビューできます。このディスプレイシミュレーションは、 ソフトプルーフ用途には十分に正確です。

- ストーリーエディタ:アクティブストーリーをストーリーエディタ表示で表示しま す。詳細は、「*ストーリーエディタ表示の使用*」を参照してください。
- •表示セット:各種の表示オプションを作成し、簡単に切り替えることができます。

補助メニュー

補助メニューには、下記のコマンドがあります。

- **文字を挿入**:特殊な改行ありスペースと改行なしスペースを含む、特殊文字を簡単 に挿入できます。
- コンテンツ変数:コンテンツ変数の挿入と、新規作成、編集、取り除く(削除では ありません)、テキストへの変換を行えます。
- 英文スペルチェック:このサブメニューを使用すると英文スペルチェックパレット が表示され、単語、選択したテキスト、ストーリー、レイアウト、またはレイアウ ト内のすべてのマスターページのスペルチェックを行います。Mac OS Xでは、ユー ザー辞書とユーザー辞書の編集は、英文スペルチェックサブメニューの一部です。
- ユーザー辞書(Windowsのみ):スペルチェックに使用するユーザー辞書を指定 できます。
- ユーザー辞書の編集 (Windowsのみ): アクティブな レイアウト に関連付けられているユーザー辞書を編集できます。
- 単語数と文字数:サブメニューを使用して、単語数と文字数ダイアログボックスを 表示します。このダイアログボックスには、アクティブなテキストコンポーネント、 またはレイアウトに含まれる全角文字、半角文字、その他各種の文字の数が表示さ れます。
- ラインチェック:サブメニューを使用して、ウィドウ、オーファン、正しく両端揃 えされていないライン、ハイフンで終わるライン、およびオーバーフローの状況を 見つけることができます。
- IMEの再変換: IMEの再変換は、次の方法でサポートされます。
- 1 Mac OS Xの場合: IMEの再変換は、IMEメニューによりサポートされます。ただし、これは日本語IMEでのみ動作します。
- 2 Windowsの場合:IMEの再変換は、QuarkXPressの補助メニューのIMEの再変換 メニューオプションと、コンテキストメニューによりサポートされます。これは日 本語IME、韓国語IME、およびいくつかの簡体字および繁体字中国語IMEで動作し ます。
- Windowsと Mac OS Xのどちらでも、IMEの再変換はキーボードでもサポートされます。
 - •標準ハイフン:テキスト挿入ポイントを含む単語の標準ハイフンを表示します。
 - **例外ハイフン**:サブメニューが表示され、例外の編集や、言語固有の例外ハイフン リストを含む.xmlファイルの取り込みや書き出しを行えます。**例外ハイフン**ダイア ログボックスが表示されます。
 - プロジェクト言語の変換:特定の文字言語を使用するアクティブなプロジェクト内の文字すべてを、異なる文字言語に変換できます。
 - 使用状況:レイアウトで使用されているフォント、画像、カラープロファイル、テーブル、コンポジションゾーン、アセットの状況を表示し、アップデートできます。

複数の移動されたデジタルファイルを、**使用状況**ダイアログでまとめてアップデートできるようになりました。

- アイテムスタイルの使用状況:適用されているアイテムスタイルを表示およびアップデートできます。
- ジョブジャケットマネジャー:ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスが 表示されます。
- 索引作成:索引パレットのコンテンツから索引を作成します。
- プレースホルダテキストを挿入:アクティブなテキストボックスにランダムなテキ ストを生成して、実際のコンテンツがない場合でも、テキストがどのようにフロー してスタイル設定されるかをプレビューできます。
- **クローナー**: **クローナー**ダイアログボックスが表示されます。詳細は、「クローナー *XTensionsソフトウェア*」を参照してください。
- イメージグリッド:イメージグリッドダイアログボックスが表示されます。詳細は、 「イメージグリッドXTensionsソフトウェア」を参照してください。
- トラッキングの編集 (Windowsのみ): インストールされたフォントのトラッキ ングを制御できます。
- カーニングエディタ (Windowsのみ): インストールされたフォントのカーニン グを制御できます。
- リンクスター: リンクスターダイアログボックスが表示されます。詳細は、「リンクスターXTensionsソフトウェア」を参照してください。
- シェイプメーカー:シェイプメーカーダイアログボックスが表示されます。詳細は、 「シェイプメーカーXTensionsソフトウェア」を参照してください。
- 手動カーニングをクリア (Windowsのみ):文字間に適用されている全手動カー ニングを削除したり、カーニングペアからカーニングを削除できます。
- フォントマッピング:プロジェクトから要求されたフォントがコンピュータにイン ストールされていない場合に、そのフォントを新しいフォントで代替するためのルー ルを作成して編集できます。
- コンポーネント状況 (Windowsのみ): 必須ソフトウェアコンポーネントの状況 を表示できます。
- PPDマネジャー:印刷ダイアログボックスに、どのPostScript Printer Description ファイル(PPD)を読み込むかを制御できます。
- 旧アンダーラインの変換: QuarkXPress 3.x (Stars & Stripes) フォーマットのア クティブなテキストチェーンにある全アンダーラインを、Type Tricksフォーマット に変換します。
- XTensionsマネジャー:アプリケーション起動時に、どのXTensionsモジュールを 読み込むかを制御できます。
- プロファイルマネジャー:アプリケーション起動時に、どのカラープロファイルを 読み込むかを制御できます。
- QRコードの作成:ベクトル形式のクイックレスポンス(QR)コードを直接 QuarkXPressで生成し、好みのスタイルやカラーにできます。ベクトルベースとピ クセルベースのQRコードのどちらかを選択できるようになりました。ピクセルベー スのQRコードを選択した場合、Documentsフォルダに作成されます。QRコードダ イアログを再度呼び出すと、QRコードの基礎になるデータが表示されます。

- 変更履歴:サブメニューを使用して自動トラッキングおよびハイライト機能のオン とオフを切り替えます。このサブメニューを使用して変更履歴パレットを表示する こともできます。
- ライセンスのチェックアウト/ライセンスのチェックイン: Quark License Administrator (QLA) とともに使用するアプリケーションがインストールされて いる場合にのみ表示されます。ライセンスのチェックインとチェックアウトができ ます。

ウィンドウメニュー

ウィンドウメニューで、開いているウィンドウとパレットの画面表示を制御できます。 このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- 新規ウィンドウ:新しいウィンドウにアクティブなプロジェクトが表示されます。 各ウィンドウにそのプロジェクトの別の部分を表示できます。
- ウィンドウ分割:プロジェクトウィンドウを2つの部分に分割します。ウィンドウの 各部分にそのプロジェクトの別の部分を表示できます。
- **すべて前面へ出す (Mac OS Xのみ)**:開いているすべてのウィンドウを配置して 表示します。
- カスケード (Windowsのみ): 各プロジェクトのメニューバー部分のみが表示されるように、複数の開いているプロジェクトを重ねて表示します。
- タイル (Mac OS Xのみ):開いているすべてのウィンドウを画面に合わせて水平 方向に並べます。
- •上下に並べて表示(Windowsのみ):開いているすべてのウィンドウを画面に合わせて水平方向に並べます。
- 左右に並べて表示(Windowsのみ):開いているすべてのウィンドウを画面に合わせて垂直方向に並べます。
- アイコン整列(Windowsのみ): すべてのアクティブなプロジェクトを最小化します。
- 全て閉じる (Windowsのみ): すべてのアクティブなプロジェクトを閉じます。
- パレットセット:サブメニューを使用してパレットの配置の保存および取り消しを 行います。
- ・非表示を有効化 (Mac OS Xのみ):ドッキングされたパレットのグループの表示、非表示を切り替えます。
- 高度なイメージ制御:高度なイメージ制御パレットの表示、非表示を切り替えます。
- App Studioパブリッシング: App Studioパブリッシングパレットの表示、非表示を切り替えます。詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください。
- **ブック**: **ブック**パレットの表示/非表示を切り替えます。詳細は、「*ブックの使用*」 を参照してください。
- コールアウトスタイル:コールアウトスタイルパレットを表示します。詳細は、 「コールアウトスタイルの使用」を参照してください。
- カラー: カラーパレットの表示、非表示を切り替えます。
- カラーブレンド:カラーブレンドパレットの表示/非表示を切り替えます。詳細は、 「マルチカラーブレンドの作成」を参照してください。
- 条件付きスタイル:条件付きスタイルパレットを表示します。詳細は、「*条件付き* スタイルの使用」を参照してください。
- 脚注スタイル:脚注スタイルパレットの表示/非表示を切り替えます。詳細は、「脚 注と文末脚注の使用」を参照してください。
- 内容:内容パレットの表示、非表示を切り替えます。
- •コンテンツ変数:コンテンツ変数パレットの表示/非表示を切り替えます。
- 字形:字形パレットの表示、非表示を切り替えます。
- グリッドスタイル: グリッドスタイルパレットの表示、非表示を切り替えます。
- ガイド:ガイドパレットの表示、非表示を切り替えます。
- HTML5: HTML5パレットの表示、非表示を切り替えます。
- ハイパーリンク: ハイパーリンクパレットの表示、非表示を切り替えます。
- 索引:索引パレットの表示、非表示を切り替えます。
- アイテムスタイル:アイテムスタイルパレットの表示、非表示を切り替えます。
- レイヤー: レイヤーパレットの表示、非表示を切り替えます。
- リスト:リストパレットの表示、非表示を切り替えます。
- テーブルスタイル:テーブルスタイルパレットの表示/非表示を切り替えます。
- メジャー:メジャーパレットの表示、非表示を切り替えます。
- ページレイアウト:ページレイアウトパレットの表示、非表示を切り替えます。
- プロファイル情報:プロファイル情報パレットの表示、非表示を切り替えます。
- 変更履歴:変更履歴パレットの表示、非表示を切り替えます。
- リフローのタグ付け:リフローのタグ付けパレットを表示します。詳細は、「リフ ローの使用」を参照してください。
- サイズ変更:サイズ変更パレットの表示、非表示を切り替えます。詳細は、「Scale XTensionsソフトウェア」を参照してください。
- スタイルシート:スタイルシートパレットの表示、非表示を切り替えます。
- ツール:ツールパレットの表示、非表示を切り替えます。
- •ようこそ画面:ようこそ画面を表示します。

また、このメニューには開いているすべてのウィンドウのアイテムが含まれます。これ らのメニューアイテムを使用して、ウィンドウを簡単に切り替えられます。

ヘルプメニュー

ヘルプメニューでは、オンラインヘルプにアクセスすることができます。このメニュー には、下記のコマンドが含まれます。

- 検索ローカルヘルプファイルを検索します。
- ヘルプトピック (Mac OS Xのみ): このコマンドを使用して、オンラインヘルプ を表示します。

- コンテンツ(Windowsのみ): このオプションを使用して、ヘルプウィンドウの コンテンツタブを表示します。
- **索引 (Windowsのみ)** : このオプションを使用して、**ヘルプ**ウィンドウの**索引**タ ブを表示します。
- 新機能: QuarkXPressのこのバージョンに搭載されている新機能を表示します。
- QuarkXPressライセンスを転送 (Windowsのみ) : このオプションを使用して、他のコンピュータヘライセンスを転送します。
- QuarkXPressについて (Windowsのみ): このコマンドを使用して、 QuarkXPressのバージョン番号やビルド番号などの情報を表示します。
- ライセンスコードを編集 (Windowsのみ): このコマンドを使用して、インストール済みのQuarkXPressのバリデーションコードを変更できます。このコードを変更することで、QuarkXPressの無料お試し版バージョン(以前の「評価版」)から全機能バージョンへの変更、ユーザーインターフェイスでサポートされる言語の変更、またはQuarkXPressのPlus版への変更が可能です。
- アップデートを確認(Windowsのみ): QuarkXPressのアップデートを確認します。
- Quarkアップデートの設定(Windowsのみ):自動アップデートの設定を行います。

コンテキストメニュー

QuarkXPressは、コンテキストメニューによってさまざまな機能を提供しています。コ ンテキストメニューを表示するには、テキスト内、画像上、またはパレット上でControl キーを押しながらクリック(**Mac OS X**)、または右クリックします。

パレット

パレットを開く、または表示するには、**ウィンドウ**メニューのパレット名をオンにしま す。

パレットを閉じるかまたは開くには、パレットの左上の閉じるボックスをクリックする か、**ウィンドウ**メニューのパレット名をオフにするか、または適切なキーボードの組み 合わせを使用します。

(Mac OS Xのみ)パレットを画面の左端と右端に垂直にドッキングできます。画面の 端にドッキングされたパレットはグループを構成し、グループとして移動できます。ま た、ウィンドウ>非表示を有効化を選択すると、ドッキングされたパレットのグループ を非表示にできます。ドッキングされたパレットには吸着機能が含まれており、アプリ ケーションの統一された表示を実現しています。ドキュメントウィンドウでは、サイズ 変更(+)ボタンを使用して、ウィンドウをパレットに吸着/吸着解除できます。ウィ ンドウとパレットの端の間には分割線が追加されるため、パレットのサイズを変更する とウィンドウのサイズも変更されます。

➡ メジャーパレットは、幅の関係から、画面の上端または下端に水平にのみドッキングできます。 ツールパレットは、垂直にも水平にもドッキングできます。

(Mac OS Xのみ) パレットをドラッグして、任意のパレットグループに結合できます。 ドラッグするとき、そのパレットが結合されるか、上に配置されるかを示すサムネール が表示されます。パレットグループには、そのパレットがドロップされる位置を示す青 線のインジケータが表示されます。

高度なイメージ制御パレット

高度なイメージ制御パレットでは、取り込んだイメージの表示を制御できます。詳細は、「*PSD画像の使用*」を参照してください。



高度なイメージ制御 パレットでは、取り込んだイメージを操作できます。

ブックパレット

ブックパレットは、ブックの編集に使用します。 このパレットの上端にあるボタンを使 用して、ブックの作成、ブックを開く、およびブックのチャプターを追加、編集、削除 する操作を行えます。

詳細は、「ブックの使用」を参照してください。

ブック	\times
なし 🗸 🗘 🕇 🖡 🗷 🖨 🔛 🖂	
検索	Q,
M チャプター ページ 状況 プロジェクト	
	\sim
	~
J	

ブックパレットは、ブックの編集に使用します

コールアウトスタイルパレット

コールアウトスタイルパレットでは、コールアウトスタイルに関する作業ができます。 詳細は、「*コールアウトスタイルの使用*」を参照してください。

カラーパレット

カラーパレットでは、アクティブなプロジェクトに定義されたカラーを表示し、適用す ることができます。このパレットの上部にあるボタンにより、カラーを作成、編集、削 除できます。

ユーザーは、**カラー**ダイアログボックス(**編集 > カラー**)を使用して、カラーを作成し ます。詳細は、「*カラーの使用*」を参照してください。

	×
+ / 🔲 🔺 🔲	Ē
> ב ∽ ド: 100%	~
🔕 互 互 オーバープリント]	
検索	Q,
 □ イエロー □ シアン ■ ブラック ■ マゼンタ 	
■レジストレーション □白	
	\sim
×	14

カラーパレットでは、カラーの表示および適用を行えます。

カラーブレンドパレット

カラーブレンドパレットでは、マルチカラーブレンドを定義して適用できます。

詳細は、「*マルチカラーブレンドの作成*」を参照してください。

			Х
• カ	ラーブレン	۴	G
種類:	なし		<
10		一完全な放射状	
4		∎l t⊡	
	50% ~	_ 50% ∨	
2	50% ~		

カラーブレンドパレットでは、マルチカラーブレンドを定義して適用できます。

条件付きスタイルパレット

条件付きスタイルパレットでは、条件付きスタイルに関する作業ができます。詳細は、 「*条件付きスタイルの使用*」を参照してください。

コンテンツパレット

共有コンテンツライブラリのアイテムには、**コンテンツ**パレットからアクセスできます。 このパレットを使用して、異なるレイアウト間でコンテンツを複製して同期できます。 このパレットの上端にあるボタンを使用して、コンテンツの追加、取り込み、挿入、編 集、および同期の制御を行えます。

ユーザーは、**共有アイテムのプロパティ**ダイアログボックス(**アイテム > 共有**)で共有 アイテムを作成できます。詳細は、「*共有コンテンツの使用*」を参照してください。

	X
▼ コンテンク	P
共有済み 🕂 🖆 I 🖍 🔟	Ē
🛛 🔝 画像アイテム	
■ 画像	
▶情報	

共有コンテンツライブラリのアイテムには、**コンテンツ**パレットからアクセスできます。

コンテンツ変数パレット

コンテンツ変数パレットで、コンテンツ変数にアクセスできます。このパレットでは、 コンテンツ変数の追加、編集、複製が行えます。また、コンテンツ変数の検索や、既存 のコンテンツ変数をテキストへ変換することもできます。このパレットには、定義済み のコンテンツ変数が一覧表示され、各種のコンテンツ変数タイプから新しいコンテンツ 変数を作成することもできます。 既存のコンテンツ変数をハイライトするには、**表示 > コンテンツ変数のハイライト**メ ニューアイテムを使用します。 また、ユーザーは**補助 > コンテンツ変数**メニューアイテ ムを使用して、コンテンツ変数を挿入、追加、編集できます。詳細は、「*コンテンツ変* 数」を参照してください。



コンテンツ変数パレットで、コンテンツ変数にアクセスできます。

脚注スタイルパレット

脚注スタイルパレットでは、下記の操作を行えます。

- 脚注スタイルを追加、編集、削除、複製する。
- 新しい脚注および文末脚注を挿入するか、カスタムの脚注/文末脚注オプション/ ボタンを使用して既存の脚注および文末脚注を変更する。
- 親テキストの脚注/文末脚注への参照を選択し、パレットで目的のスタイルをクリックして、別の脚注/文末脚注スタイルに切り替える。

また、ユーザーは**編集 > 脚注スタイル**メニューアイテムを使用して、脚注スタイルを挿 入、追加、編集できます。

さらに、ユーザーは**スタイル > 脚注/文末脚注**メニューアイテムを使用して、脚注を挿 入し、脚注と参照テキストとを切り替えることができます。詳細は、「*脚注と文末脚注* の使用」を参照してください。

						*
▼脚	主スタ	イル				i.
÷	Z	Ø				Û
•	デフ	ォルト	、の脚注	ミスタイ	π	
	デフ	ォルト	の文末	関注ス	タイル	

脚注スタイルパレットで、脚注にアクセスできます。

字形パレット

字形パレットでは、コンピュータ上の各フォントのすべての文字に簡単にアクセスする ことができます。選択したフォントのすべての文字を表示したり、2つ目のドロップダウ ンメニューのオプションを選択して選択内容を絞り込んだりすることができます。選択 した文字のUnicode値が右下に表示されます。また、文字をダブルクリックして、ストー リーに文字を追加することもできます。パレットの下部にある**好みのグリフ**領域を使用 すると、頻繁に使用する文字に簡単にアクセスできるように、これらを保存できます。



字形パレットでは、各フォントのすべての文字に簡単にアクセスすることができます。

グリッドスタイルパレット

グリッドスタイルは、グリッドを説明するための設定の名前付きパッケージです。デザ イングリッドのスタイルシートに該当します。グリッドスタイルをテキストボックスに 適用すると、それらをマスターページグリッドの基礎として使用できます。また、グリッ ドスタイルを他のグリッドスタイルに基づいて使用することもできます。グリッドスタ イルは**グリッドスタイル**パレット(**ウィンドウ**メニュー)に表示されます。詳細は、「グ *リッドスタイルの使用*」を参照してください。

0		\$
▼7	リッドスタイル	e
÷	/ 🦻	Î
Ħ	スタイル解除	
Ħ	新規グリッドスタイル	
I	標準	
_		_

0		\$
▼ 7	リッドスタイル	P
÷	10	Î
Ħ	スタイル解除	
Ħ	新規グリッドスタイル	
Ħ	標準	
14行	テ x 38セル = 532	
00	*	
-		

グリッドスタイルパレットでは、グリッドスタイルの作成と適用ができます。

ガイドパレット

ガイドパレットでは、ガイドに関する作業ができます。詳細は、「*ガイドパレットの使 用*」を参照してください。

HTML5パレット

HTML5パレットでは、デジタルレイアウト用にムービー、スライドショー、ボタンなど を作成し、設定できます。デジタル作成の詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパブ リッシング』を参照してください。

ハイパーリンクパレット

ハイパーリンクパレットでは、ドキュメントにハイパーリンクを追加、および編集でき ます。詳細は、「*ハイパーリンク*」を参照してください。



ハイパーリンクパレットでは、ドキュメントのハイパーリンクを操作できます。

索引パレット

索引パレットで、テキストに索引用タグ付けすることができます。索引作成時には、**索 引**パレットで作成したすべてのタグは、カスタマイズ可能な索引に自動的に変更されま す。詳細は、「*索引の使用*」を参照してください。

			\times
▼ 索引			G
見出し 語			
テキスト			
読み <mark>(A)</mark> :			
v ~²/↓ (_):	第1レベル		~
参照			
スタイル	見出し語のスタイル		~
範囲 <mark>(C</mark>):	選択範囲の先頭		~
ц ц ч	y /		ŧ
ゆ 見出ι	0	該当件数	[
検索			Q,

索引パレットで、自動生成される索引に含めるテキストにタグ付することができます。

アイテムスタイルパレット

アイテムスタイルパレットでは、アイテムスタイルに関する作業ができます。詳細は、 「*Item Styles XTensionsソフトウェア*」を参照してください。

レイヤーパレット

レイヤーパレットで、レイヤーの作成、レイヤープロパティの編集、レイヤーの表示と 印刷の制御、およびレイヤー間のオブジェクトの移動を行えます。詳細は、「*レイヤー の使用*」を参照してください。

	×
▼ v1+~	Ð
▲ 답 ▲	Ē
● ▲ レイヤ	
● □ レイヤー2	
 レイヤー1 	
● □デフオルト	1

レイヤーパレットで、レイヤーとレイヤー上のオブジェクトを使用できます。

リストパレット

リストパレットでは、リストの表示や生成を行えます。この機能は、目次などを作成す る場合に役立ちます。**リスト**ダイアログボックス(**編集 > リスト**)を使用して、リスト を作成できます。

リスト名ドロップダウンメニューで、アクティブプロジェクトで定義するリストの中か ら選択できます。また、**更新**ボタンを使用すると、現在パレットに表示されているリス トを更新できます。

検索ボタンを使用すると、**リスト**パレットのアイテムを検索できます。また、パレット で単語や見出しをダブルクリックすると、その単語または見出しに移動できます。

作成ボタンは、アクティブなテキストチェーンにアクティブなリストを挿入するために 使用します。ストーリーに既にリストが存在する場合は、別のコピーを挿入するのでは なく、そのリストを更新できます。リストのスタイルスタイルシートは、自動的に適用 されます。

	×
▼ リスト	G
表示リス	作業中レイアウト
リスト名:	Table of Contents ~
検索:	更新 作成

リストパレットでは、目次などを作成することができます。

メジャーパレット

Windowメニューのメジャーパレットで、一般的に使用する多くのコントロールをすば やく編集できます。メジャーパレットにあるオプションは、選択されているツールやア イテムに応じて変化します。同じタイプの複数アイテム(3つの個別の画像ボックスな ど)を選択すると、メジャーパレットのコントロールは、選択したアイテムすべてに適 用されます。

メジャーパレットを50%拡大するオプションがあります。画面が小さく解像度が高い場合に便利です。

メジャーパレットには、パレットの中央の上にナビゲータタブと呼ばれる、アイコン行 が表示されます。Command+Option+;/Ctrl+Alt+;を押すと、**メジャ⊠⊠**ットナビ ゲータタブ内を左から右に移動できます。Command+Option+,/Ctrl+Alt+,を押すと、 逆方向(右から左)に移動できます。 ナビゲータタブを常に表示するには、メジャーパレットのタイトルバーをControlを押し ながらクリックするか、または右クリックして、タブバーを常に表示を選択します。ナ ビゲータタブを常に非表示にするには、メジャーパレットのタイトルバーをControlを押 しながらクリックするか、または右クリックして、常にタブバーを隠すを選択します。 ナビゲータバーをインタラクティブに表示するには、メジャーパレットのタイトルバー をControlを押しながらクリックするか、または右クリックして、ロールオーバーにタブ を表示を選択します。

メジャーパレット - Mac OS X

メジャーパレットに表示されるタブの選択は、アクティブであるアイテムによって異なり、タブの表示はアクティブなアイテムに適合するように変化します。利用できるタブを以下に挙げます。

• **ホーム**タブ:よく使用されるコントロールが含まれています。テキストボックス、 画像ボックス、ライン、テーブルで、それぞれ表示は異なります。



• 文字タブ:現在選択されているテキストの文字属性を設定するためのコントロール が含まれています。

 Construction
 Construction

• 段落タブ:現在選択されているテキストボックスの段落属性を設定するためのコン トロールが含まれています。

• 段落罫線タブ:現在選択されているテキストボックスの段落罫線属性を設定するためのコントロールが含まれています。

• **タブ**タブ:現在選択されているテキストボックスのタブを設定するためのコントロー ルが含まれています。

テキストボックスタブ:現在選択されているテキストボックスのテキスト属性を設定するためのコントロールが含まれています。



• **画像ボックス**タブ:現在選択されている画像ボックスの画像属性を設定するための コントロールが含まれています。

• **クリッピング**タブ:現在選択されている画像ボックスのクリッピング属性を設定す るためのコントロールが含まれています。

フレームタブ:現在選択されているボックスのフレーム属性を設定するためのコントロールが含まれています。

 Image: marked by the start of the

• 回り込みタブ:現在選択されているオブジェクトのフレーム属性を設定するための コントロールが含まれています。テキストボックス、画像ボックス、ラインで、そ れぞれ表示は異なります。

★ ホーム ■ 自然ホックス ごうレーム 2 グリッピング 回 回込み 転 後数パクタムの計算 中 Fロップ □ DX外の登載 3 D pt 9 日 Dt 9 C が形のみ ■ 反転 単 形 107 9 □ 円 Dt 9 日 Dt 9 C ボックスに知識 ノイズ 2pt 9 スムーズネス 2pt 9

• 複数アイテムの配置タブ:複数アイテムの配置サブメニュー(アイテム>複数アイ テムの配置)のコントロールが含まれています。

 ドロップシャドウタブ:現在選択されているオブジェクトのドロップシャドウ属性 を設定するためのコントロールが含まれています。

にロップシャドウを選用 100% 2 ● 135 0 0 0 ● 角度を用剤 ● アイテムがドロップシャド ● ドロップシャドウを選邦 ● 不透明度を継承 時 75% 2 ■ 6 px 0 ■ 6 px 0 ● 6 px 0 ● グ ドロップシャドウに回り込

テーブルタブ:現在選択されているテーブルのテーブル属性を設定するためのコントロールが含まれています。

- コンポジションゾーンタブ:現在選択されているコンポジションゾーンの属性を設定するためのコントロールが含まれています。
- コンポーネントタブ:現在選択されているコンポーネントの属性を設定するための コントロールが含まれています。

▶ 画像を含む画像ボックスを選択すると、メジャーパレットのホームタブで、有効画像解像 度アイコン の横に、画像の有効解像度が表示されます。実際の画像の解像度を画像の 縮小率で割ったものが有効解像度です。たとえば、実際の画像解像度が100dpiの画像を 取り込み、縮小率を100%から200%に拡大すると、有効解像度は50dpiになります。有 効解像度が高くなるほど、再生成される画像の質が高くなります。有効解像度が異なる複 数の画像ボックスを選択すると、有効画像解像度アイコンの隣に数値は表示されません。

メジャーパレット - Windows

メジャーパレットに表示されるタブの選択は、アクティブであるアイテムによって異なり、タブの表示はアクティブなアイテムに適合するように変化します。利用できるタブを以下に挙げます。

- **クラシック**タブ:よく使用されるコントロールが含まれています。テキスト ボックス、画像ボックス、ライン、およびテーブルによって表示が変化します。
- ・ テキストタブ:設定ダイアログボックス(アイテム>設定)のテキストタブのコントロールが含まれています。
- **フレーム**タブ: 設定ダイアログボックスのフレームタブのコントロールが含まれています。
- 回り込みタブ:設定ダイアログボックスの回り込みタブのコントロールが含まれています。テキストボックス、画像ボックス、およびラインによって表示が変化します。
- クリッピングタブ:設定ダイアログボックスのクリッピングタブのコントロールが含まれています。
- **文字属性**タブ:文字属性ダイアログボックス(スタイル>文字)のコント ロールが含まれています。
- 段落設定タブ:段落設定ダイアログボックス(スタイル>段落設定)のフォー マットタブのコントロールが含まれています。
- デキストパスタブ:設定ダイアログボックスのテキストパスタブのコントロールが含まれています。
- **退** 複数アイテムの配置タブ:複数アイテムの配置サブメニュー(アイテム>複 数アイテムの配置)のコントロールが含まれています。
- **書き出し**タブ:設定ダイアログボックスの書き出しタブのコントロールが含まれています(ウェブレイアウトのみ)。
- グリッドタブ:設定ダイアログボックスのグリッドタブのコントロールが含まれています(選択したテーブルのみ)。
- **ドロップシャドウ**タブ:設定ダイアログボックスの**ドロップシャドウ**タブの コントロールが含まれています。

タブタブ:段落設定ダイアログボックスのタブタブのコントロールが含まれています。

➡ 画像を含む画像ボックスを選択すると、メジャーパレットのクラシックタブで、有効画像 解像度アイコン の隣に、画像の有効解像度が表示されます。実際の画像の解像度を画 像の縮小率で割ったものが有効解像度です。たとえば、実際の画像解像度が100dpiの画 像を取り込み、縮小率を100%から200%に拡大すると、有効解像度は50dpiになりま す。有効解像度が高くなるほど、再生成される画像の質が高くなります。有効解像度が異 なる複数の画像ボックスを選択すると、有効画像解像度アイコンの隣に数値は表示されま せん。

× X: 2.097"	W: 3.938"	h 4	0°	\$ ⊠.	100%	×	→☆自動	\$ E 0 3	Arial	~	12 pt	8	~	Q.		100%	~
Y: 1.757"	H: 3.104"	۲۰۶۵ ک	1	\$ Q	100%	×	↑ ♣¥ 0	\$ ₽ =			В	I	f.	N.	Q	100%	~

メジャーパレットの中央の上に、タブバーが表示されます。

ページレイアウトパレット

ページレイアウトパレットには、ページを操作して移動するためのさまざまな機能が用 意されています。

	X
▼ ページレイアウト	P
	Ē
A-マスターA	
A	î
1	
A2	
<u>^</u>	
A	Ų
26 ~ ² ~~ジ ≪	>

ページレイアウトパレットで、マスターページとレイアウトページを使用できます。

パレットの一番上の部分で、マスターページを作成、複製、および削除できます。マス ターページを表示して編集するには、マスターページをダブルクリックします。マスター ページがアクティブなプロジェクトウィンドウに表示されます。片面のマスターページ は長方形として表示され、見開きのマスターページは2つの角が折りたたまれた状態で表 示されます。

パレットの一番下の部分で、アクティブなレイアウトのページを移動できます。レイア ウトページに移動するには、パレットのこの部分をダブルクリックします。 マスターページをレイアウトページに適用するには、マスターページアイコンをレイア ウトページアイコンにドラッグします。または、パレットでレイアウトページアイコン を選択してから、Command/Ctrlを押しながらマスターページアイコンをクリックす ることができます。

プロファイル情報パレット

プロファイル情報パレットで、画像のカラーマネージメント設定を表示して更新できます。詳細は、「カラーマネージメント」を参照してください。

	×
▼ プロファイル情報	
ファイルの種 JPEG カラースペー RGB	
プロファイル デフォルト	~
レンダリング方法 ソースによる定義	
変換先がRGBの場合もカラー管理する	

プロファイル情報パレットで、画像のカラーマネージメント設定を正確に制御できます。

変更履歴パレット

変更履歴パレットは、プロジェクトに加えられた変更点の追跡をセットアップするため に使用します。

詳細は、「*変更履歴*」を参照してください。

			×
▼ 変更履歴			
2	+ +	•	

変更履歴パレットでは、変更履歴の追跡を設定できます。

リフローのタグ付けパレット

リフローのタグ付けパレットでは、リフローePub用にコンテンツをタグ付けできます。

サイズ変更パレット

サイズ変更パレットでは、高度なサイズ変更の操作を実行できます。詳細は、「Scale XTensionsソフトウェア」を参照してください。

スタイルシートパレット

スタイルシートパレット(ウィンドウ>スタイルシート)では、スタイルシート名をク リックして、文字スタイルシートおよび段落スタイルシートを適用できます。このパレッ トにある各セクションの一番上にあるボタンで、スタイルシートを作成、編集、複製、 更新、および削除できます。 スタイルシートの横にあるプラス記号は、ローカルフォーマットが適用されていることを 示します。

	\times
▼ スタイルシート	P
9+ 0 / C	Ē
検索	Q,
¶ スタイル <i>解除</i> ¶ 標準	
A 0 / C	Ē
検索	Q,
<u>A</u> スタイル <i>解除</i> A 標準	

スタイルシートパレットで、段落スタイルシートおよび文字スタイルシートを表示して、 適用できます。

テーブルスタイルパレット

テーブルスタイルパレットでは、テーブルスタイルを追加、編集、削除できます。

۲	*
▼ 表のスタイル	C.
Ę 🥖 🤌	Ï
国 テーブルスタイルなし	
目 デフォルト	

テーブルスタイルパレットで、テーブルスタイルにアクセスできます。

ツールパレット

ツールパレットで、レイアウトを使用するためのさまざまなツールを簡単に切り替えら れます。詳細は、「*ツール*」を参照してください。

パレットグループおよびパレットセット

QuarkXPressには、パレットを管理するため、パレットグループおよびパレットセット という2つの機能が用意されています。

パレットグループの使用

パレットグループ機能を使用すると、複数のパレットを1つに連結できます。

	\times
▼ カラ∽	G
+ / 🛛 🖻 🗌	÷
シェード: 100% 🗸 🔛 100%	\sim
() 🖉 🚪 [/ックアウト]	
	^
■マゼンタ 🔹	
■レジストレ デ ション □白	
	\vee
	1 4
147- Fourth 10	
	^
	~
	_
9+010	Ē
検索	Q
1 スタイル解除	
A 0 1 C	
検索	Q,
A スタイル解除	

このパレットグループには、1つのパレットとしてリンクされた**カラー、高度なイメージ** 制御、および**スタイルシート**パレットが表示されるので、これらの機能に簡単にアクセ スでき、スペースを節約できます。

(Windowsのみ) パレットグループにパレットをリンクするには、パレットグループ のタイトルバーをControlキー+クリック/右クリックし、オンになっていないパレット 名を選択します。既に表示されているパレットをリンクすると、そのパレットは移動し てパレットグループの一部になります。パレットグループからパレットを分離するには、 そのパレット名をControlキー+クリック/右クリックし、[パレット名]を分離を選択 します。

(Mac OS Xのみ) パレットグループにパレットをリンクするには、パレットの右上隅 にある * アイコンをクリックし、オンになっていないパレット名をリストから選択しま す。既に表示されているパレットをドラッグし、パレットグループに結合することもで きます。ドラッグするとき、そのパレットが結合されるか、上に配置されるかを示すサ ムネールが表示されます。パレットグループには、そのパレットがドロップされる位置 を示す青線のインジケータが表示されます。

(Mac OS Xのみ) 画面の端にドッキングされたパレットは、パレットグループを構成 し、グループとして移動できます。パレットグループは自動的に表示、または非表示に なるよう設定できます。

パレットセットの使用

パレットセット機能を使用すると、開いているすべてのパレットおよびライブラリの位 置と状況を保存および無効にできるため、異なるパレット構成を簡単に切り替えること ができます。

パレットセットを作成するには、最初に、その特定のタスクに必要なすべてのパレット を表示し、その他のすべてのパレットを隠します。次に、ウィンドウ>パレットセット >パレットセットの保存を選択してパレットセットの保存ダイアログボックスを表示し、 名前を入力します。また、必要に応じてキーコマンドを割り当てます。

パレットセットを取得するには、ウィンドウ>パレットセット>パレットセット名を選 択するか、キーボードのそのパレットセットの組み合わせを押します。

レイアウトコントロール

プロジェクトを開くと、プロジェクトウィンドウの左下部分から、一部の基本機能にす ぐにアクセスできます。



レイアウトコントロール

- ズーム:ズームの倍率をパーセント単位で入力するか、ドロップダウンメニューで値を 選択します。ズームの倍率は最大で8000%です。
- 2 ページ番号:ページ番号フィールドにページ番号を入力するか、フィールドの右にある 上向き矢印をクリックすると表示されるページリストからページを選択します。
- 3 前のページ:前のページに移動します。
- 4 次のページ:次のページに移動します。
- 5 マスターページの表示:アクティブなレイアウトページと、そのマスターページとの表示を相互に切り替えます。
- 6 分割表示(水平方向): 複数の独立したペインを上下に並べて、レイアウトを表示しま す。
- 7 分割表示(垂直方向): 複数の独立したペインを左右に並べて、レイアウトを表示します。
- 8 **書き出し**:書き出しオプションを表示します。ファイル>書き出しを選択した場合に表示されるのと同じものです。
- 9 ページプレビュー:レイアウトにある全ページのサムネールビューを表示するには、ページ番号フィールドの隣にある上向き矢印をクリックします。 Mac OS Xユーザーは、上矢印をクリックし続けることで、サムネールを拡大できます。

表示と表示セット

QuarkXPressでは、複数の方法でレイアウトを表示できます。ウィンドウを分割するか 新しいウィンドウを作成すると、2つの異なるレイアウトを表示したり、同じレイアウト を2つの異なる表示方法で表示したりできます。ストーリーエディタ表示を使用すると、 レイアウトを見る必要がないため、テキストに集中できます。また、表示セット機能を 使用すると、さまざまな表示オプションを作成して、簡単に各表示オプションを切り替 えることができます。

ウィンドウの分割

ウィンドウを複数のペインに分割することによって、1つのプロジェクトで複数のビュー を同時に表示でき、すべてのペインで変更を同時に表示できます。 各ペインで異なる表 示モードを使用したり、リアルタイムに1つのペインで編集を確認しながら他のペインで 更新することもできます。1つのウィンドウ内で水平方向、または垂直方向に複数ビュー を分割できます。



ウィンドウを分割することによって、同時にさまざまな倍率で作業を表示できます。 ウィンドウを分割するには、下記の3つの方法があります。

- ウィンドウ>ウィンドウ分割>水平方向またはウィンドウ>ウィンドウ分割>垂
 直方向を選択します。
- (Windowsのみ) スクロールバーの右(垂直分割の場合)、または上端(水平分割の場合)にある分割バーをクリックします。
- プロジェクトウィンドウの一番下にあるレイアウトコントロールバーの分割画面ア イコンをクリックします。

ウィンドウが分割されると、分割ペインの間にあるバーをドラッグすることで、分割ペインの幅と高さを変更できるようになります。

ウィンドウから分割ペインを削除するには、下記のいずれかの方法を使用します。

- ウィンドウ>ウィンドウ分割>全てを消去を選択します。
- ウィンドウの右上隅にある、閉じるボタンをクリックします。

ウィンドウの作成

アクティブなプロジェクトを表示する新しいウィンドウを作成するには、**ウィンドウ>** 新規ウィンドウを選択します。

➡ 1つのプロジェクトを表示する複数のウィンドウを開いた状態でプロジェクトを変更し、 それらのウィンドウを閉じようとしても、プロジェクトを表示する最後のウィンドウを閉 じようとするまで、プロジェクトの保存を促すメッセージは表示されません。

ストーリーエディタ表示の使用

ストーリーエディタ表示では、レイアウトを気にせずに、ストーリーのテキストに集中 できます。ストーリーエディタ表示では、すべてのテキストが同じサイズ、同じフォン トで、ウィンドウ全体にテキストが表示されます。また、ボールドやイタリックのよう な最も基本的な文字フォーマットのみ表示されます。赤いバックグラウンドは、ストー リーの最後のテキストボックスまたはパスからテキストがあふれている部分を示してい ます。

新しいストーリーエディタウィンドウでアクティブストーリーのコンテンツを表示する には、対象となるストーリーが含まれているボックスまたは行を選択して、表示>ストー リーエディタを選択します(ストーリーエディタウィンドウをすでに開いている場合は、 選択したアイテムのストーリーがそのウィンドウに表示されます)。

見やすいサイズでテキストの編集時にページ全体の外観を確認するには、**ストーリーエ** ディ**タ**ウィンドウを、同じストーリーを表示しているレイアウトウィンドウの横に配置 します。



レイアウトビュー(左)でのストーリーと、**ストーリーエディタ**ウィンドウ(右)での ストーリー

表示セット

表示メニューには、レイアウトの表示方法を指定するためのさまざまなオプションがあ ります。 ガイド、グリッド、特殊キャラクタ、ビジュアルインジケータなどの表示や非 表示が可能です(詳細は、「<u>表示メニュー</u>」を参照してください)。表示セット機能を 使用すると、これらの設定をさまざまな組み合わせで保存して呼び出すことができます。 表示セットには下記の設定が保存されています。

- •表示 > ガイド
- 表示 > ページグリッド
- 表示 > テキストボックスのグリッド
- 表示 > ルーラー
- •表示>ルーラー方向
- •表示 > ビジュアルインジケータ
- 表示 > 特殊キャラクタ
- •表示 > トリムビュー
- 表示 > 出力しない要素を隠す

QuarkXPressには、下記のような複数のデフォルト表示セットが組み込まれています。

- デフォルト:デフォルトの表示オプションのセットです。QuarkXPressを初めて起動してレイアウトを作成するときの表示に使用されます。
- 出力プレビュー:この表示セットでは、印刷ページに限りなく近いイメージをシミュレートできます。ガイド、グリッド、特殊キャラクタ、ビジュアルインジケータが非表示になります。表示>トリムビュー、表示>出力しない要素を隠すがオンになります。環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定)のディスプレイペインで指定するカラーを使用すると、ペーストボードが表示されます。
- オーサリング表示: この表示セットでは、ガイド、特殊キャラクタ、ビジュアルインジケータ、ルーラーが表示されます。

表示セットを作成するには、最初に、表示セットに保存する表示オプションのみを有効 にします。次に、表示>表示セット>表示セットとして保存を選択して表示セットとし て保存ダイアログボックスを表示し、名前を入力します。また、必要に応じてキーコマ ンドを割り当てます。

表示セットに切り替えるには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- 表示 > 表示セット > [表示セットの名前]を選択します。
- その表示セット用のキーボードの組み合わせを押します。
- 表示セットパレット(表示>表示セット>表示セットの管理)を表示し、パレットにある表示セットの名前をクリックしてから、適用 ✓ をクリックします(または、表示セットの名前を直接ダブルクリックします)。

作成済みの表示セットを管理するには、表示 > 表示セット > 表示セットの管理を選択します。表示セットパレットが表示されます。このパレットの上部にあるボタンを使用して、選択した表示セットの編集
✓、適用 ✓、削除

 ができます。



表示セットパレット

表示セットはアプリケーションレベルで保存されます。ただし、表示セットを使用してレ イアウトに適用する表示設定は、そのレイアウトとともに保存されます。

プロジェクトとレイアウト

QuarkXPressファイルはプロジェクトと呼ばれ、各プロジェクトには1つ以上のレイア ウトが含まれています。すべてのレイアウトは1つのプロジェクト内に保存され、すべて のプロジェクトには少なくとも1つのレイアウトがあります。各レイアウトは最大2,000 ページを含むことができ、サイズは最大で224"×224"(2ページのスプレッドでは 112"x224")です。プロジェクトには、レイアウトを無制限に保存できます。

複数のレイアウトを1つのファイルに保存することができるため、たとえばレターサイズ とA4レイアウトサイズの文面が同じ手紙など、種類の異なるドキュメント間でコンテン ツを容易に共有できます。

QuarkXPressプロジェクトには、印刷とデジタルの2種類のレイアウトを含めることが できます。1つのプロジェクトを使用して、印刷、PDF、ePub、ネイティブアプリ、 Kindleブック、HTML5出版物など、各種メディアのコンテンツを作成できます。

プロジェクトの使用

プロジェクトを作成するには、ファイル > 新規 > プロジェクトを選択します。新規プロ ジェクトダイアログボックスが表示されます。

プロジェクトとレイアウト

新規プロジェクト	
レイアウト名: レイアウ レイアウトタイプ: 印刷	ト 1 ♀ 単独レイアウトモード
ページ サイズ: レター ♀ 様: 8.5" 縦: 11" 方向: ● 縦置き ● 横置き ページ数: 1 ■ 見開き ■ 左側に奇数ページを評 ■ テキストボックスの自動作	マージンガイド 天: 0.5" 地: 0.5" 左: 0.5" 右: 0.5" コラムガイド
	キャンセルOK

印刷レイアウトタイプ用の新規プロジェクトダイアログボックス

QuarkXPressプロジェクトそれぞれに、少なくとも1つのレイアウトが含まれています。 したがって、プロジェクトを作成するときは、そのファイルのデフォルトのレイアウト を指定する必要があります。デフォルトレイアウトの種類を指定するには、**レイアウト タイプ**ドロップダウンメニューから**印刷**または**デジタル**を選択します。

デジタルレイアウトの詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照 してください。

➡ QuarkXPressの各国語版で作成されたプロジェクトは、他の言語版で、編集、印刷、保存が可能です。使用可能なスペルチェック辞書と自動ハイフンルールはすべて、各国語版でサポートされています。

印刷レイアウトのオプション

デフォルトのレイアウト名を使用したり、**レイアウト名**フィールドにレイアウトの新し い名前を入力したりできます。

デフォルトでは、プロジェクトの各レイアウトのプロジェクトウィンドウ上部にタブが 表示されます。これらのタブが表示されないようにするには、**単独レイアウトモード**を オンにします(プロジェクトに引き続きレイアウトを追加できますが、単独レイアウト モードではなくなります)。

ページ領域では、コントロールを使用してデフォルトレイアウトのページサイズと方向 を設定できます。 カスタムのページサイズを使用する方法は、「カスタムページサイズ」を参照してください。

見開きチェックボックスでは、スプレッドを作成できます。デフォルト設定が横組みの プロジェクトでは、左側に奇数ページを許可チェックボックスによって、左側を奇数ペー ジにできるかどうかを制御できます。デフォルト設定が縦組みのプロジェクトでは、右 側に奇数ページを許可チェックボックスによって、右側を奇数ページにできるかどうか を制御できます。

テキストボックスの自動作成チェックボックスによってレイアウトのデフォルトマスター ページにテキストボックスを追加できます。

マージンガイドのコントロールを使用してレイアウトのデフォルトマージンを設定でき、 コラムガイド領域では、コントロールを使用してマルチコラムのページをデフォルトで 作成できます。

ページ数では、最初に作成するページ数を指定できます。

QuarkXPressプロジェクトの保存と命名

初めてQuarkXPressプロジェクトを保存する場合には、新規保存ダイアログボックスが 表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト名、ロケーション、 および種類を指定します。

QuarkXPressプロジェクトを保存するには、**タイプ/タイプとして保存**ドロップダウン メニューからオプションを選択します。

- 変更できるプロジェクトを保存するには、プロジェクトを選択します。
- 読み取り専用プロジェクトを保存するには、プロジェクトテンプレートを選択します。

レイアウトおよびプロジェクトの書き出し

アクティブなプロジェクト内のレイアウトを書き出すには、ファイル>書き出し>レイ アウトをプロジェクトとしてを選択します。新規保存フィールドに名前を入力し、保存 場所を指定します。

プロジェクトにすべてのレイアウトを書き出すには、**レイアウト**領域の**すべて選択**チェッ クボックスをオンにします。個々のレイアウトを書き出すには、この領域で各レイアウ トにチェックマークを付けます。

QuarkXPressの以前のバージョンで開くことができるレイアウトを書き出すには、バー ジョンドロップダウンメニューから、以前のバージョン番号を選択します。

カスタムページサイズ

特定のカスタムページサイズを多用する場合、そのページサイズを定義し、**新規プロジェ クト**ダイアログのページサイズドロップダウンメニューに追加できます。これらのカス タムページサイズは、印刷および電子書籍のレイアウトに使用できます。

カスタムページサイズを作成するには、下記の手順に従ってください。

1 ファイル>新規>プロジェクトを選択します。新規プロジェクトダイアログボックスが 表示されます。

新規プロ	コジェクト
レイ 新規 レイ A3 刷 A4 ペー リーガル	◇ 単独レイアウトモード マージンガイド
サイス ✓ レター 横: 8.5" 縦: 11" 方向: ○ 縦置き ○ 横置き	大: 0.5" 地: 0.5" 左: 0.5" 右: 0.5"
ページ数: 1 □ 見開き □ 左側に奇数ページを許可 □ テキストボックスの自動作成	コラムガイド コラム数: 1 コラム間隔: 0.167"
	キャンセル OK

2 レイアウトタイプドロップダウンメニューから印刷またはデジタルを選択します。

3 ページサイズ:ドロップダウンメニューから新規を選択します。カスタムページサイズ ダイアログボックスが表示されます。

	カスタムのページサイズ		
名前:		ОК	
横:	8.5"	キャンセル	
縦:	11"		
		追加	
		削除	

- 4 新しいカスタムページサイズの名前を入力し、幅と高さを定義します。方向は、幅と高 さに入力された値に応じて自動的に割り当てられます。
- ➡ 複数のカスタムページサイズを作成するには、追加をクリックします。新しいカスタム ページサイズがリストに表示され、別のサイズを作成できるようになります。カスタム ページサイズを削除するには、リストでそのサイズを選択し、削除をクリックします。カ

スタムページサイズを編集するには、リストでそのサイズを選択し、幅と**高さ**フィールド を再定義します。

5 OKをクリックします。

作成したカスタムページサイズはすべて新規プロジェクトおよび新規レイアウトダイア ログボックスのページサイズドロップダウンメニューに表示され、新しい印刷および電 子書籍形式のレイアウトを作成するときに選択できますが、印刷レイアウト用に定義さ れたカスタムページサイズは新しい印刷レイアウトを作成するときのみ使用でき、電子 書籍レイアウト用に定義されたカスタムページサイズは新しい電子書籍レイアウトを作 成するときのみ使用できます。環境設定を削除し、新しい環境設定を作成すると、カス タムページサイズも削除されます。

新規レイアウトダイアログを使用してカスタムページサイズを作成することもできます (レイアウト > 新規)。

レイアウトの使用

レイアウト間の移動、およびレイアウトの追加、複製、削除は簡単です。

デフォルトでは、プロジェクトの各レイアウトのプロジェクトウィンドウ上部にタブが 表示されます。 Mac OS Xでは、レイアウト名のタブをドラッグアンドドロップするこ とで、レイアウトタブにレイアウトが表示される順序を変更できます。この設定はドキュ メントと共に保存され、順序が保持されます。

レイアウト間を移動するには、プロジェクトウィンドウの上部にあるタブを使用します。

アクティブプロジェクトにレイアウトを追加するには、**レイアウト>新規**を選択するか、 レイアウトタブをクリックしてコンテキストメニューから**新規**を選択します。

レイアウトを複製するには、複製するレイアウトを表示してから**レイアウト > 複製**を選 択するか、**レイアウト**タブのコンテキストメニューから**複製**を選択します。レイアウト タイプとして**デジタル**を選択すると、印刷レイアウトをデジタルレイアウトへ複製でき ます(詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください)。

レイアウトのプロパティを変更するには、レイアウトを表示して**レイアウト > レイアウ** トプロパティを選択するか、レイアウトタブのコンテキストメニューからレイアウトプ ロパティを選択します。レイアウトプロパティダイアログボックスが表示されます。こ のダイアログボックスを使用して、レイアウトタイプに基づく制限付きで、レイアウト プロパティを変更できます。ただし、デジタルレイアウトタイプへの変更や、デジタル レイアウトタイプからの変更はできません(詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパ ブリッシング』を参照してください)。

レイアウトを削除するには、レイアウトを表示して**レイアウト > 削除**を選択するか、**レ** イアウトタブのコンテキストメニューから**削除**を選択します。

下記のコマンドを使用すると、結果の出力にはアクティブレイアウトだけが含まれます。

- •ファイル > 書き出し > PDF形式のレイアウト
- •ファイル > 書き出し > プロジェクト形式のレイアウト
- •ファイル > 書き出し > EPS形式のページ
- •ファイル > 書き出し > ePub形式のレイアウト

- •ファイル > 書き出し > Kindle形式のレイアウト
- •ファイル > 書き出し > HTML5出版物形式のレイアウト
- •ファイル > 書き出し > 画像形式のレイアウト
- ➡ レイヤーを作成および編集すると、アクティブなレイアウトに適用されます。
- ➡ 編集>取り消しなどプロジェクトレベルのアクションを実行すると、そのアクションは すべてのレイアウトの「履歴」の取り消しに追加されます。
- 補助メニューの英文スペルチェックを実行すると、アクティブレイアウトだけがチェック されます。
- ➡ 編集メニューの検索/置換機能で検索できるのは、アクティブレイアウトだけです。

プロジェクトレベルリソースとレイアウトレベルリソース

リソースには、プロジェクトレベルで定義されるリソースと、レイアウトレベルで定義 されるリソースがあります。

プロジェクトレベルリソース

プロジェクトレベルリソースは、プロジェクトのすべてのレイアウトで使用することが でき、使用されるすべてのレイアウトで同じです。プロジェクトレベルリソースには、 アプリケーション環境設定、スタイルシート、カラー、H&J、リスト、およびダッシュ とストライプがあります。

作成するすべてのリスト定義はプロジェクト内の任意のレイアウトで使用できますが、リ ストは、リストを作成するときのアクティブなレイアウトからのみ描画されます。

レイアウトレベルリソース

レイアウトレベルリソースは、プロジェクトのすべてのレイアウトに固有のリソースに することができます。レイアウトレベルリソースには、下記のリソースがあります。

- レイアウト環境設定(QuarkXPress/編集>環境設定>レイアウト)
- (Windowsのみ) カーニング設定(補助 > トラッキングの編集)
- (Mac OS Xのみ) カーニング設定(編集 > カーニングペア)
- (Windowsのみ) トラッキング設定(補助 > カーニングエディタ)
- (Mac OS Xのみ) トラッキング設定(編集 > フォントトラッキングテーブル)
- 例外ハイフン
- ズーム値

ガイドの使用

ガイドとは、印刷されないガイドラインのことで、レイアウト上にアイテムおよびテキ ストを配置するときに役立ちます。ガイドには、**ルーラーガイド、コラムおよびマージ** ンガイド、ダイナミックガイドの3種類があります。 **デザイングリッド**も印刷されないガイドラインで、テキストサイズおよび位置に従って アイテムやテキストを整列させるときに使用できます。

詳細は、「*Guide Manager Pro XTensions*ソフトウェア」および「*デザイングリッド* の*理解*」を参照してください。

コラムガイドおよびマージンガイド

マージンガイドおよびコラムガイドは、ページの外側のマージンの位置およびコラムの 配置場所を示します。

印刷レイアウトを新たに作成すると、自動的にコラムガイドとマージンガイドが配置されます。各ガイドの位置は、新規プロジェクトダイアログボックス(ファイル > 新規 > プロジェクト)のコラムガイドフィールドおよびマージンガイドフィールド、または新 規レイアウトダイアログボックス(レイアウト > 新規)で指定できます。

プロジェクトウィンドウにマスターページが表示されると、マスターガイド&グリッド ダイアログボックス(ページ>マスターガイド&グリッド)を使用してコラムガイドお よびマージンガイドの配置場所を変更できます。新規プロジェクトダイアログボックス (ファイル>新規>プロジェクト)または新規レイアウトダイアログボックス(レイア ウト>新規)でテキストボックスの自動作成チェックボックスをオンにしている場合は、 マージンガイド領域で指定した値によって、自動作成されるテキストボックスのサイズ と配置場所が決まります。

コラムガイドおよびマージンガイドの作成については、「*マスターページグリッドの設 定*」を参照してください。

詳細は、「Guide Manager Pro XTensionsソフトウェア」を参照してください。

ルーラーガイド

ルーラーガイド(または単に「ガイド」)は、手動で配置できる印刷されないガイドラ インです。縦横揃えルーラー(**表示 > ルーラー**)からドラッグして、ルーラーガイドを 作成できます。マスターページおよび個々のレイアウトページ上で、ルーラーガイドを 作成できます。

- 水平ルーラーガイドを作成するには、上部ルーラーをクリックします。#ポインタが 表示されたら、ルーラーガイドをページ上の位置にドラッグします。垂直ルーラー ガイドを作成するには、垂直ルーラーをクリックします。+++ポインタが表示された ら、ルーラーガイドをページ上の位置にドラッグします。ルーラーガイドをドラッ グするときにメジャーパレットが開いていると、垂直ルーラーガイドの場合はXフィー ルドに、水平ルーラーガイドの場合はYフィールドに、ガイドの位置が示されます。
- 水平ルーラーガイドの作成時、ルーラーガイドがペーストボード上にあるときにマウスボタンを放すと、スプレッドのペーストボードおよび全ページにわたってルーラーガイドが延長されます。水平ルーラーガイドがドキュメントページ上にあるときにマウスボタンを放すと、ルーラーガイドはそのページにのみ表示されます。
- ルーラーガイドの位置を変更するには、ルーラーガイドをクリックしてから、ガイ ドポインタが表示されているときに別の位置にドラッグします。また、アイテムツー ルを選択した状態でルーラーガイドをダブルクリックし、Guide Manager Proダ イアログボックスに新しい位置を入力できます。
- ルーラーガイドを消去するには、ガイドをページ外にドラッグします。

- あるページからすべてのルーラーガイドを消去するには、ページの一部が表示されるまでスクロールし、Option/Altキーを押しながらガイドをドラッグしてルーラーに戻します。
- スプレッドのペーストボードからすべてのルーラーガイドを消去するには、ペース トボードの一部が表示されるまでスクロールし、Option/Altキーを押しながらルー ラーの一部をクリックします。

「Guide Manager Pro XTensionsソフトウェア」も参照してください。

ガイドへの吸着

QuarkXPressでは、ガイドの近くにアイテムをドラッグするとアイテムが自動的にガイドに揃えられる、いわば「磁場」をガイドの周囲に作ることができます。この機能はガイドへの吸着(表示メニュー)と呼ばれ、磁場の幅をガイド吸着距離と呼びます。

QuarkXPressコントロールで吸着を制御するには、表示 > ガイドへの吸着をチェックします。距離を指定するには、QuarkXPress/編集 > 環境設定 > 印刷レイアウト > ガイ ドとグリッドを選択して、ガイド吸着距離フィールドにピクセル値を入力します。

表示 > ページグリッドへの吸着を選択して、マスターページグリッドにアイテムを揃え ることもできます。ガイド吸着距離フィールドの値は、マスターページグリッドにも適 用されます。詳細は、「*デザイングリッドへのアイテムの吸着*」を参照してください。

ダイナミックガイド

ダイナミックガイドはページのアイテムを作成または操作するときに一時的に表示され るガイドで、印刷はされません。これらのガイドは、レイアウト内でアイテムと、他の アイテムやページとの相対位置を揃えるために役立ちます。表示されるダイナミックガ イドやフィードバックの種類を指定できます。

アイテムの作成、変換、または移動を行うとき、新しいアイテムと既存のアイテムやページとの相対位置を指定するため、ダイナミックガイドが自動的に表示されます。

ガイドをオン/オフするには、表示 > ダイナミックガイド > ダイナミックガイドを表示 /隠すを選択します。

表示 > ダイナミックガイドサブメニューを使用して下記のオプションを選択すると、ダ イナミックガイドの表示時期と表示方法を変更できます。

- アイテムの中央に揃えるを選択すると、アイテムの中心を他のアイテムの中心やエッジと揃えるとき、ガイドラインが生成され、表示されます。これらは、アイテムの 作成および移動時に表示されます。
- アイテムのエッジに揃えるを選択すると、アイテムのエッジを他のアイテムのエッジと揃えるとき、ガイドラインが生成され、表示されます。これらは、アイテムの 作成および移動時に表示されます。
- ページの中央に揃えるを選択すると、アイテムのエッジや中央をページの中央に揃えるとき、ガイドラインが生成され表示されます。これらは、アイテムの作成および移動時に表示されます。
- 同じ寸法で表示を選択すると、アイテムの寸法が他のアイテムの寸法と等しいとき、 ガイドラインが生成され表示されます。これらは、アイテムの作成およびサイズ変 更時に表示されます。

- 同じ間隔で表示を選択すると、アイテム間の水平または垂直の距離が、ページ上の他のアイテム間の距離と等しいとき、ガイドラインが生成され表示されます。これらは、アイテムの作成および移動時に表示されます。
- 寸法/間隔の単位を表示を選択すると、同じ寸法で表示が選択されているときは寸法の値、同じ間隔で表示が選択されているときは間隔の値が表示されます。
- このオプションは、同じ寸法で表示または同じ間隔で表示が選択されているときの み利用可能です。
- ➡ デフォルトではダイナミックガイドはオンで、すべてのオプションが選択されています。
- アイテムの中央に揃えるおよびアイテムのエッジに揃えるが選択されている場合は、他の テキストボックスの中心やエッジを揃えるときだけでなく、周囲のテキストボックスに含 まれているコラムの中央やエッジを揃えるときも、ガイドが生成されます。

Windowsでは、環境設定ダイアログボックスのダイナミックガイドのカラーペインを 使用して、ダイナミックガイドの種類ごとにカラーを指定できます。「*環境設定 - アプリ* ケーション - ダイナミックガイドのカラー」を参照してください。 Mac OS Xでは、環 境設定ダイアログボックスのカラーテーマペインを使用して、ダイナミックガイドのカ ラーを設定できます。「*環境設定 - アプリケーション - カラーテーマ*」を参照してくださ い。

アクションの取り消しおよびやり直し

編集メニューの取り消しコマンドで、アイテムで実行された最後のアクションを元に戻します。たとえば、画像ボックスを誤ってカットしてしまった場合、取り消しコマンドを使用して、画像ボックスをクリップボードからレイアウト内に戻すことができます。 編集メニューのやり直しコマンドで、取り消したアクションを再度実行できます。

最後に実行したアクションを元に戻すには、編集 > 取り消し(Command+Z/Ctrl+Z) を選択します。メニューアイテムでは、取り消しできるアクションが特定されます。た とえば、削除の取り消しコマンドは、アイテム > 削除コマンドを使用した後に、編集メ ニューで使用できます。取り消し機能を使用できない場合は、取り消し不能がグレイの テキストで表示されます。

アクションを再度実行するには、アクションを取り消した後に、**編集 > やり直し** (Command+Shift+Z/Ctrl+Y)を選択します。

ネイティブのQuarkXPressオブジェ クト

QuarkXPressでは、Excel、Illustrator、PowerPoint、InDesignなど他のアプリケー ションや、PDF、Illustrator、WMF、EPSファイルのアイテムを、ネイティブの QuarkXPressオブジェクトへ変換できます。

これによって、次のような作業が可能になります。

- AI、WMF、EPS、PDFなど、サポートされているファイルフォーマットから、ロゴ などのベクトルデータを変換して編集する。
- 編集可能なPDFを変換し、コンテンツを更新して、PDFまたはQuarkXPressでサポートされている他のフォーマットで再発行する。
- PDFからカラーや組版を抽出し、QuarkXPressで使用する。

ネイティブのQuarkXPressオブジェクトは、下記の方法で取得できます。

- 既存のアイテムの変換:ドキュメントに取り込まれているファイルを、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトへ変換します。
- アイテムの取り込み:アイテムをコピーしてから、ネイティブのQuarkXPressオブ ジェクトとしてペーストします。

これによって生成されるオブジェクトは、ベクトルグラフィックの完全に編集可能なベジエ版、および編集可能テキストです。カラーとフォントの情報は自動的に抽出されます。

既存のアイテムからネイティブのQuarkXPressオブジェクトへの変換

既存のアイテムをネイティブのQuarkXPressオブジェクトへ変換するには、下記の手順 に従ってください。

オブジェクトを右クリックし、コンテキストメニューのネイティヴ・オブジェクトへ変換を選択します(または、スタイル>ネイティヴ・オブジェクトへ変換を選択します)。
 ネイティヴ・オブジェクトへ変換ダイアログが表示されます。

ネイティブのQUARKXPRESSオブジェクト



- 変換する画像には、ベクトルまたはテキストコンポーネントが含まれている必要があります。ラスターのみの画像では、ネイティヴ・オブジェクトへ変換機能はサポートされません。
- 2 変換されたオブジェクトと、取り込まれたソース画像とを比較するには、ソース画像ボックスの保持をチェックします。
- 3 ソース画像のソフトマスクを変換から除外するには、**ソフトマスクを無視**をチェックします。
- 4 ソース画像に適用されている透明なブレンドを無視するには、透明ブレンドモードを無 視をチェックします。
- **5 OK**をクリックします。

オブジェクトをネイティブのQuarkXPressオブジェクトとして取り込む

アイテムをネイティブのQuarkXPressオブジェクトとして取り込むには、下記の手順に 従ってください。

- 1 オブジェクトを、対象のアプリケーションからクリップボードへコピーします。
- 2 プロジェクトで、オブジェクトを配置する場所を右クリックし、コンテキストメニューのネイティヴ・オブジェクトとしてペーストを選択します(または、編集>ネイティヴ・オブジェクトとしてペーストを選択します)。ネイティヴ・オブジェクトとしてペーストダイアログが表示されます。

ネイティブオブジェクトとしてペースト	×
□ ソフトマスクを無視する(I)	
□ 透明ブレンドモ ー ドを無視する(I)	
UK tv/	2/1

➡ このダイアログをスキップするには、コンテキストメニューのネイティヴ・オブジェクト としてペーストを選択するとき、Optionキー (Mac OS X) またはAltキー (Windows)を押したままにします。

- ➡ このダイアログで選択したオプションは保存され、ダイアログを表示しない選択をしたときに使用されます。
- 3 ソース画像のソフトマスクを変換から除外するには、**ソフトマスクを無視**をチェックします。
- 4 ソース画像に適用されている透明なブレンドを無視するには、透明ブレンドモードを無視をチェックします。
- 5 OKをクリックします。 プロジェクトにアイテムが、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトとしてペーストされます。
- そのアイテムに含まれているフォントがシステムにインストールされていない場合、警告 が表示されます。このとき、システムで利用できないフォントのリストを表示でき、それ らを置き換えることもできます。

コンテンツ変数

コンテンツ変数は、ドキュメントに挿入するアイテムで、コンテキストにより変化する ものです。たとえば、**最後のページ番号**変数は、ドキュメントの最後のページのページ 番号を表示します。ページを追加または削除すると、それに応じて変更がアップデート されます。

コンテンツ変数は、テキストと同様に回り込みおよび改行され、必要に応じてハイフネー ションも行われます。

コンテンツ変数内のテキストは、**検索/置換**パレットを使用して検索できます。検索対 象のテキストがコンテンツ変数内に含まれている場合、変数の全体がハイライトされま す。

現在のプロジェクトに含まれているすべての変数をハイライトするには、**表示 > コンテ** ンツ変数をハイライトを選択します。

QuarkXPressには、下記のプリセットコンテンツ変数が含まれており、ドキュメントに 挿入できます。

- 作成日
- 現在のページ番号
- ファイル名
- 最後のページ番号
- 修正日
- 次のページ番号
- 出力日
- 前のページ番号

これらの変数の形式を編集するか、独自の変数を作成できます。

定義済みの変数のセットに加えて、以下のようなテキストタイプの追加変数を作成できます。

- カスタム変数:テキスト文字列を他の定義済み変数と組み合わせることができます。
- 継続ヘッダー:この変数タイプは、ドキュメント内で段落または文字のスタイルシートを参照し、ソースデータを選択するために使用します。この変数タイプをマスターページに適用して、継続ヘッダーを自動的に更新できます。たとえば、左側のページに書籍のタイトルを、右側のページにチャプター/セクションのタイトルを表示できます。
- ページ参照:この変数は、既存のアンカー機能を使用して既存のレイアウトオブジェクトへの参照を作成します。このオブジェクトはドキュメント内の別の場所から参照でき、参照先のオブジェクトのページ番号を含めることもできます。
- スタティックテキスト:単純なスタティックテキスト変数を作成し、ドキュメントのどこにでも挿入できます。たとえば、ドキュメント全体で同じ企業名を参照し、それらの企業名を同時に変更するような場合は、この変数を使用すると便利です。

コンテンツ変数の編集

コンテンツ変数を編集するには、**ウィンドウ>コンテンツ変数**を選択し、**コンテンツ変** 数パレットを表示します。このパレットの上端にあるボタンを使用して、コンテンツ変 数の追加、編集、複製を行えます。既存のコンテンツ変数を選択して グボタンをクリッ クすると編集でき、 ・ ボタンをクリックすると新しいコンテンツ変数を追加できます。

コンテンツ変数の編集ダイアログボックスが表示されます。

➡ 新しいコンテンツ変数を追加するときは、補助>コンテンツ変数を選択し、ドロップダ ウンメニューから新規を選択しても、このダイアログを表示できます。

名前フィールドに名前を入力します。新しいコンテンツ変数を追加する、または既存の コンテンツ変数を複製するときは、ドロップダウンメニューからコンテンツ変数のタイ プを選択します。コンテンツ変数の属性を指定します。これらの属性は、編集するコン テンツ変数のタイプによって異なります。

- 作成日:作成日には、ドキュメントが最初に保存された日時が挿入されます。日付の前や後にテキストを挿入でき、すべての日付変数について、ドロップダウンメニューを使用して日付形式を変更できます。
- 現在のページ番号:この変数は、現在のプロジェクトにおける現在のページ番号を、 ドキュメントへ挿入します。
- カスタム変数:詳細は、「カスタムコンテンツ変数の作成」を参照してください。
- ファイル名この変数は、現在のファイル名をドキュメントへ挿入します。選択ファイル名の拡張子を含めるには、拡張子を含めるをチェックします。ファイル名変数は、ファイルを新しい名前で保存、または新しい場所へ保存するごとにアップデートされます。拡張子は、ドキュメントが保存されるまでは表示されません。
- フローボックスのページ番号:この変数は、現在のボックスが複数のページにまたがり、それらのページが連続していない可能性があるとき、継続先(または継続元)のページ番号を挿入します。コンテキストドロップダウンメニューから、次のボックスまたは前のボックスを選択し、ボックスの継続先と継続元のどちらのページ番号を挿入するかを指定します。
- 最後のページ番号:この変数は、現在のプロジェクトに含まれる最後のページ番号を、ドキュメントへ挿入します。最後のページ番号のタイプは、一般的な3/12ページの形式を使用して、ドキュメントのヘッダーやフッターに合計ページ数を追加するために便利です。この場合、12という数値は最後のページ番号によって生成され、ページが追加または削除されるたびにアップデートされます。範囲ドロップダウンメニューで、セクションとレイアウトのどちらについて最後のページ番号を使用するかを選択します。

- 修正日:修正日には、ドキュメントが最後に保存された日時が挿入されます。日付の前や後にテキストを挿入でき、すべての日付変数について、ドロップダウンメニューを使用して日付形式を変更できます。
- 次のページ番号: この変数は、現在のプロジェクトに含まれる次のページ番号を、 ドキュメントへ挿入します。範囲ドロップダウンメニューで、セクションとレイア ウトのどちらについて次のページ番号を使用するかを選択します。
- 出力日: 出力日には、ドキュメントが印刷または書き出しされた日時が挿入されます。日付の前や後にテキストを挿入でき、すべての日付変数について、ドロップダウンメニューを使用して日付形式を変更できます。
- ページ参照:ページ参照変数の前後にテキストを挿入できます。ドロップダウンメニューからアンカー名を選択します。ハイパーリンクの作成を使用して、テキストにハイパーリンクを作成できます。
- 前のページ番号: この変数は、現在のプロジェクトに含まれる前のページ番号を挿入します。範囲ドロップダウンメニューで、セクションとレイアウトのどちらについて前のページ番号を使用するかを選択します。
- 継続ヘッダー:ヘッダーに表示するソーススタイルシートを選択してから、ページ で最初に出現する場所、ページで最後に出現する場所、スプレッドで最初に出現す る場所、スプレッドで最後に出現する場所のうち、どれを表示するかを選択します。
- スタティックテキスト:このコンテンツ変数を挿入するときに表示されるテキスト を入力します。

終了したら、**OK**をクリックします。

➡ コンテンツ変数を追加またはアップデートすると、補助>コンテンツ変数ドロップダウ ンメニューとコンテンツ変数パレット(ウィンドウ>コンテンツ変数)にも一覧表示さ れます。テキストにコンテンツ変数を挿入するとき、新しい変数を利用できるようになり ます。

カスタムコンテンツ変数の作成

QuarkXPressで提供されている既存のプリセットコンテンツ変数に加えて、カスタムコ ンテンツ変数を作成してプロジェクトに使用することもできます。カスタム変数は、テ キストストーリー内のどこかでテキストコンテンツを使用し、同じコンテンツを別のス トーリーや別の場所でも使用する場合に便利です。カスタム変数のコンテンツを変更す ると、使用されているすべての場所で変更されます。

カスタムコンテンツ変数を作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 変数を表示する場所に挿入ポイントを置きます。
- 2 補助>コンテンツ変数を選択し、ドロップダウンメニューで新規を選択します。
 コンテンツ変数の編集ダイアログボックスが表示されます。
- 3 名前フィールドに名前を入力します。
- **4 タイプ**ドロップダウンメニューで**カスタム変数**を選択します。



		コンテン	ツ変数の編	集	
名前:	カスタム変数 1				
種類:	カスタム変数		\$		
テキ	スト文字列	^			0
	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	~			
				キャンセル	ОК

- 5 このカスタムコンテンツ変数を使用するとき、**テキスト文字列**または**テキスト変数**の挿 入を選択できます。
 - テキスト文字列を挿入するカスタム変数を作成するときは、このコンテンツ変数を 挿入したときに表示されるテキストを入力します。テキストに行を追加するには、 プラス(+)記号をクリックします。
 - テキスト変数を挿入するカスタム変数を作成するには、ドロップダウンメニューで 目的のテキスト変数を選択します。プラス記号をクリックして別のテキスト変数を 追加すると、2つ以上のテキスト変数を組み合わせることができます。

テキスト変数	0	作成日	$\circ \bigcirc \bigcirc$
テキスト変数	۵	現在のページ番号	$\circ \bigcirc \bigcirc$
<作成日><現在のペーシ	/番号>		

- 6 OKをクリックします。
- ➡ カスタムコンテンツ変数を追加すると、補助 > コンテンツ変数ドロップダウンメニュー とコンテンツ変数パレット(ウィンドウ > コンテンツ変数)にも一覧表示されます。テ キストにコンテンツ変数を挿入するとき、新しい変数を利用できるようになります。

コンテンツ変数の挿入

プロジェクトにコンテンツ変数を挿入するには、下記の手順に従ってください。

- 1 変数を表示する場所に挿入ポイントを置きます。
- 2 補助>コンテンツ変数を選択し、挿入する変数をドロップダウンメニューから選択します。

ドキュメントに入力したのと同様に、変数がページに表示されます。

➡ コンテンツ変数は、リストおよびインデックスへ挿入できます。

ボックス、ライン、およびテーブル

使いやすいページレイアウトを作成するには、ボックスを使用する必要があります。ボッ クスを使用すると、テキストや画像を整然と配置できます。ボックスとは、テキストや 画像を含むことができるアイテムであり、ページ上にカラフルなデザイン要素を作成す るような場合は、コンテンツなしで作成することもできます。ボックスの境界により、 テキストと画像の形状やサイズ、ページ上の位置が決まります。

アイテムとコンテンツの理解

QuarkXPressは、アイテム(コンテナ)とコンテンツ(アイテムの内容)の概念を対象 とします。

アイテムとは、ページレイアウトの構成ブロックです。**アイテム**ツール を使用する ことで、アイテムの移動、サイズ変更、回転、形状変更、カット、コピー、およびペー ストなどを実行できます。

基本的なアイテムのタイプを以下に挙げます。

- テキストボックス、画像ボックス、およびコンテンツなしボックスなどを含むボックス。ボックスは、矩形、円、およびベジエなどのさまざまな形状を取ることができます。
- 「標準的な」ラインとテキストを含められるテキストパスを含むライン。ラインも また、まっすぐにもベジエにもできます。
- 単一アイテムのように振舞うよう、互いに「貼り付け」られたアイテムの集合であるグループ。
- テキストと画像の両方を含めることができる**テーブル**。

コンテンツは基本的にテキストと画像です。レイアウトを作成するには、通常いくつか のテキストボックスと画像ボックスを描き、そのボックスの中にテキストと画像を挿入 します。

アイテムとコンテンツは異なるため、それぞれの操作には異なるツールを使用します。

テキストコンテンツツール
 では、矩形テキストボックスを作成し、テキストボックス内やテキストパス上のテキストを書式設定できます。テキストコンテンツツールを使用して、テキストのカット、コピーおよびペーストも行うことができます。

・
画像コンテンツツール
・
では、矩形画像ボックスを作成し、画像ボックス内の画像を操作できます。
画像コンテンツツールを使用して、画像のカット、コピーおよびペーストも行うことができます。

ハンドルの理解

選択したテキストパス、線、およびボックスの境界ボックスには、**アイテムハンドル**という小さな白い四角があります。これらのハンドルを使用して、選択したアイテムをサイズ変更して回転できます。

アイテムハンドル

アイテムをサイズ変更するには、そのアイテムハンドルをクリックしてドラッグします。 アイテムを回転させるには、アイテムのいずれかの角ハンドルのすぐ外側をクリックし てドラッグします。マウスのポインタをハンドル上やハンドルの近くに移動すると、マ ウスのポインタが変化して実行できるアクションを示します。



アイテムハンドルを使用して、アイテムのサイズ変更や回転を行うことができます。

画像ハンドル

画像コンテンツツールを選択して、画像を含む画像ボックスをクリックすると、ハンド ルを示す大きな円と一緒に画像が表示されます。このようなハンドルを、**画像コンテン** ツハンドルと呼びます。画像オーバーレイの任意の部分をクリックすると、移動ポイン タ⁽¹¹⁾を使用して、画像ボックス内で画像を移動できるようになります。



画像コンテンツハンドルが表示された画像ボックス

選択された画像がその画像ボックスのサイズよりも大きい場合でも、画像コンテンツハ ンドルは表示されます(上図参照)。ボックスの境界をはみ出して画像が表示されます。 画像ボックスをサイズ変更して、画像を切り抜くことができます。

画像コンテンツハンドルを使用すれば、その画像ボックスのサイズや角度を変更することなく、画像のサイズ変更や回転を行うことができます。

- サイズ変更ポインタ: *********
- ・回転ポインタ: 「いな?」 いた(



回転していないボックス内の回転した画像

画像ボックスを移動したり、透明なオーバーレイがない状態でその切り抜きの見え方を 確認したりする場合は、Command/Ctrlキーを押します。これにより、一時的にオー バーレイが解除され、アイテムツールを選択したときと同様にボックスを対話操作でき ます。

画像ボックスハンドルと画像コンテンツハンドルとが重なる部分にマウスのポインタがある状態で、画像コンテンツツールでクリックしてドラッグすると、画像のサイズ変更または回転のみが行われます。アイテムハンドルを移動するには、アイテムツールを選択します。

ベジエ形状の理解

ベジエボックスとベジエラインを形状変更するまえに、以下の定義を理解しておく必要 があります。

ポイント:ラインセグメントを接続し、ラインセグメントの始点と終点を定義します。 曲がったラインセグメントを接続するポイントには、曲線の形状を制御する曲線ハンド ルがあります。QuarkXPressには、コーナーポイント、スムーズポイント、およびシン メトリカルポイントの3種類のポイントがあります。

コーナーポイント:コーナーポイントは2本の直線、1本の直線と1本の曲線、または2本 の不連続な曲線を接続します。曲線が2本の場合、コーナーポイントの曲線ハンドルは独 立して操作でき、2つのセグメント間に鋭角的な変化を持たせることができます。

AAC

コーナーポイントの例

スムーズポイント:スムーズポイントは、2本の曲線を接続して1本の連続した曲線を構成します。曲線ハンドルは常にポイントを通る直線上に残りますが、独立して間隔を開けることができます。



スムーズポイント

シンメトリカルポイント:シンメトリカルポイントは、2本の曲線を接続して1本の連続した曲線を構成します。結果はスムーズポイントに似ていますが、曲線ハンドルは常にポイントから等距離のところにあります。



シンメトリカルポイント

曲線ハンドル:曲線ハンドルは、ポイントのいずれかの側に伸び、曲線の形状を制御します。



曲線ハンドル(左上)

ラインセグメント:ラインセグメントは、2ポイント間に位置する直線部分または曲線部 分です。



ラインセグメント

ポイント選択ツールがアクティブなベジエボックスやベジエライン上に配置されると、 ポイント、曲線ハンドル、またはラインセグメントを選択できるかどうかを示すさまざ まなポインタが表示されます。ポインタを使用してクリックおよびドラッグし、ベジエ ボックスやベジエラインを形状変更します。

- 形状を完全に変更するには、アイテム>形状サブメニューから別のオプションを選択します。
- **ベジエペン**ツールとを使用してベジエボックスにポイントを追加するには、ライ
- ンセグメントをクリックします。または、ポイント追加ツール 🌽 を使用します。
- ベジエペンツール くを使用してベジエボックスからポイントを削除するには、ポ

イントをクリックします。または、ポイント削除ツール 🌽 を使用します。

ベジエペンツールを使用してポイントを別のタイプのポイントに変換するには、
 Option/Altキーを押しながらポイントをクリックします。または、ポイント変換

- **ベジエペン**ツール を使用してポイントを移動またはラインセグメントの形状を 変更するには、Command/Ctrlキーを押しながらポイントまたはラインセグメン トをドラッグします。
- 曲線やポイントを選択して移動または削除できるようにするには、ポイント選択ツー

ル を使用します。複数のポイントを選択するには、Shiftキーを押しながらクリックします。Option/Altキーを押しながらポイントをクリックすると、シンメトリカルポイントになります。

ペンツールを選択しているときにレイアウトをパンするには、Shift+スペースを押して、 クリックアンドドラッグします。

Drop Shadow XTensionsソフトウェア

Drop Shadow XTensionsソフトウェアを使用すると、レイアウトのアイテムおよびテキストに、自動的に羽根付きドロップシャドウを適用できます。

アクティブなアイテムにドロップシャドウ効果を適用するには、メジャーパレットのドロップシャドウタブを使用する方法と、設定ダイアログボックス(アイテムメニュー)のドロップシャドウペインを使用する方法があります。いずれの方法においても、オプションは下記のとおりです。

- •角度フィールド:180°から-180°の値(増分0.001)を入力し、ドロップシャド ウを作成する「光源」の角度を指定します。
- 角度を同期チェックボックス:これをオンにすると、この機能がオンにされたレイ アウト内のその他のドロップシャドウに、角度を同期します。角度を同期がオンに されたドロップシャドウの角度値を変更すると、このボックスがオンにされたすべ てのドロップシャドウが同期されます。

- 距離フィールド:アイテムのオフセット値を入力します。ドロップシャドウのオフ セットは、アイテムの境界ボックスの左上の角から測定されます。
- 縮小率フィールド:0から1,000%の値を入力し、元のアイテムに比例するドロップ シャドウのサイズを指定します。
- **ぼかし**フィールド:値を入力して、ドロップシャドウのエッジのぼかしを指定しま す。値が大きいほど、エッジのぼかし効果が大きくなります。
- **傾斜**フィールド:-75°から75°の値を入力し、特定の角度でドロップシャドウを 傾斜します。
- カラー、シェード、および不透明度:ドロップダウンメニューからカラーを選択し、 フィールドに値を入力して、ドロップシャドウのカラー、シェード、および不透明 度を指定します。
- ・ドロップシャドウを重ねる:この設定は、シャドウとそのバックグラウンドをどのように連結するかを制御します。このボックスをオンにすると、シャドウのカラーまたは「乗算」ブレンドモードを使用するカラーは、バックグラウンドと連結し、より暗くなります(オーバープリントに類似した効果です)。このボックスをオフにすると、バックグラウンドのカラーはシャドウのカラーと連結し、画面上に表示される中間シェードを作成します。通常、このボックスは、シェードまたは不透明度の設定に関係なくシャドウが黒である場合にはオンにし、より明るいカラーである場合にはオフにします。
- アイテムの不透明度を継承する:これをオンにすると、ボックスのバックグラウンドとフレームで不透明度が違うように、アイテムによって異なる不透明度をドロップシャドウに適用します。
- アイテムがドロップシャドウに優先:これをオンにすると、ボックスからシャドウが透過しないようにするなど、シャドウがアイテムの半透明領域から透過表示されないようにします。
- ドロップシャドウに回り込み:これをオンにすると、回り込みタブ(アイテム>設定)で指定したテキスト回り込みの輪郭にドロップシャドウを含めます。回り込み外部値は、ドロップシャドウのエッジから測定されます。たとえば、テキストがドロップシャドウを使用して方形の本文抜粋見出し周囲に回り込んできる場合、ドロップシャドウに回り込みがオンになっていると、テキストはドロップシャドウに重なりません。
- ドロップシャドウ付きのテキストを作成するには、バックグラウンドがなしになっている ボックスにテキストを配置し、そのボックスにドロップシャドウを適用します。
- 複数のグループ化されていないアイテムにドロップシャドウを適用すると、アイテムが重なる場合に、アイテムは相互にシャドウをかけることができます。ただし、グループにドロップシャドウを適用すると、そのグループ全体に1つのシャドウが適用されます。

Item Find/Change XTensionsソフトウェア

このXTensionsソフトウェアによって、QuarkXPressにアイテム検索/置換パレット(編集>アイテム検索/置換)が追加されます。このパレットを使用して、テキストボックス、画像ボックス、コンテンツなしボックス、ライン、およびテキストパスに対し、検

索置換操作を実行できます。ロケーション、図形、カラー、不透明度、フレームスタイ ル、画像の縮小率、列数などの属性を検索し、変更できます。

			74	~ ~	FU9797F7	177.Sec	
検索			置接	Į			_
○ 左肩の横座標	0 mm			左肩	の横座標	0 mm	
○ 左肩の縦座標	0 mm		0	左肩	の縦座標	0 mm	
□横	25.4 mm			横		25.4 mm	
□ 縦	25.4 mm			縦		25.4 mm	
● 角度	0°			角度		0°	
□ 傾斜	0°			傾斜		0°	
□ 形状	方形	\$		形状		方形	+
角の半径	0 mm			角の	半径	0 mm	
□ アンカー揃え	ペースライン	\$		アン	カー揃え	ペースライン	*
🗌 水平フリップ	左揃え	\$		水平	フリップ	左揃え	4
□ 垂直フリップ	下揃え	\$		垂直	フリップ	下揃え	*
() 印刷	オン	\$		印刷		オン	
□ 縦横比	ロックなし	\$		縦横	±	ロックなし	÷
公売計会た41四							
皮来对家 在刺散		-	-1 -12				,

アイテム検索/置換パレット

➡ アイテム検索/置換は、テーブルをサポートしません。

アイテム検索/置換パレットは下記のとおり機能します。

- 上部のタブには、検索できる属性の種類が表示されます。これらの属性の種類は、 ボックス、ボックスのカラー、フレーム、ライン、画像、テキスト、およびドロッ プシャドウです。各ペインの属性は、アイテムの各種類の設定ダイアログボックス (アイテムメニュー)の属性に対応します。
- 各ペインには、検索および置換の2つのサイドが含まれます。パレットの検索サイド で検索する属性をオンにし、置換サイドで変更する属性をオンにします。複数のペ インの属性で同時に検索できます。
- パレットメニューでは、パレットの検索サイドに、選択したアイテムの属性を配置できます。属性をすべて取得を選択してアイテム検索/置換パレットのすべてのペインのオプションを指定するか、パネル属性を取得を選択して1度に1つのペインずつ実行できます。ペインをクリアするには、すべての属性のクリアおよびパネル属性のクリアを使用できます。
- •概要ペインは、すべてのペインの設定を概要表示します。
- パレットの下部にあるチェックボックスを使用すると、特定の種類のアイテムに検索を絞り込むことができます。すべての種類のアイテムを検索置換するには、これらのボックスをすべてオフにします。
- 検索をクリックすると、アイテム検索/置換機能により、初めから終わりまで、レイアウト全体が検索されます。アクティブなスプレッドに検索を制限するには、検索ボタンをOption/Altキー+クリックします。

ボックスの使用

ボックスには、テキストボックス、画像ボックス、コンテンツなしボックス(コンテン ツが**なし**のボックス)の3種類があります。3種類のボックスにはいずれも、カラー、 シェード、ブレンド、フレームが含まれています。テキストボックス、画像ボックス、 またはコンテンツなしボックスを描画する場合、作成したボックスの種類に対応するコ ントロールを使用できます。ただし、画像を含む画像ボックスにテキストを取り込んだ り、テキストを含むテキストボックスに画像を取り込んだりすることができます。コン テンツの種類だけでなく、図形やボックスの他の属性も変更できます。

テキストボックスおよび画像ボックスの作成

ボックスを作成するには、下記の3つの方法があります。

• コンテンツなしボックス(画像ボックスにもテキストボックスにも変更できるボッ

クス)を作成するには、方形ボックスツール 橋円ボックスツール 、また

は**星形**ツール な使用して、クリックアンドドラッグします。テキストコンテン ツを宣言するには、コンテンツのないボックスの描画中にTを押します。画像コンテ ンツを宣言するには、コンテンツのないボックスの描画中にRを押します。

- ・方形テキストまたは画像ボックスを作成するには、テキストコンテンツツール
 ま
 たは画像コンテンツツール
 を使用してクリックアンドドラッグします。
- ベジエボックスを作成するには、ベジエペンツールとなります。詳細は、「ベジエボックスの作成」を参照してください。
- ➡ 方形ボックスを正方形に、楕円ボックスを円に制限するには、ドラッグしながらShiftキーを押します。

下記のツールを使用してボックスを作成できます。

コンテンツなしボックスをテキストボックスに変更するには、Command+E/Alt+Eキー を押し、テキストファイルを取り込みます。

コンテンツなしボックスを画像ボックスに変更するには、Command+E/Alt+Eキーを 押し、画像ファイルを取り込みます。

アイテム>形状サブメニュー、または**メジャー**パレットの**ボックスの角のスタイル**ドロッ プダウンメニューを使用して、方形ボックスの角の種類を角円形、逆角丸形、または角 切形に変更できます。角円形の角を追加および変更するには、**メジャー**パレットの**ホー ム/クラシック**タブの**ボックスの角半径**フィールドに値を入力します。Windowsでは、 **角の半径**フィールド(**アイテム > 設定 > ボックス**タブ)に値を入力しても、角丸形の角 を追加および変更できます。

ベジエボックスの作成

ベジエペンツール くでは、直線および曲線セグメントを持つ複数面のベジエボックスおよびラインを描画できます(「ベジエ形状の理解」を参照してください)。

別の方法で独自の形状のボックスを作成するには、「シェイプメーカーXTensionsソフ トウェア」を参照してください。 ベジエボックスを描画するには、下記の手順に従ってください。

- 1 ツールパレットでベジエペンツールとを選択します。ページ上の任意の位置に十字ポ インターを移動し、クリックして開始ポイントを決定します。
- 2 次のポイントにする位置にポインタを移動します。ページに対して45度の角度にポイン タの動きを制限するには、Shiftキーを押します。
- 3 クリックして、ポイントおよびラインセグメントを作成します。
 - ドラッグせずにポイントをクリックすると、直線およびコーナーポイントが作成されます。曲線セグメントおよびスムーズポイントを作成するには、クリックしてから次のポイントにする位置にドラッグします。2つの曲線ハンドルがついたポイントが表示されます。曲線ハンドルをドラッグすれば、カーブのサイズと形状を制御できます。Option/Altキーを押しながらスムーズポイントをドラッグして、曲線セグメントおよびコーナーポイントを作成します。
- 4 必要に応じて、描画中にベジエ形状を編集します。
 - 既存の図形セグメントにポイントを追加するには、ポイントを置きたいラインセグ メントをクリックします。
 - ・ 描画中にアクティブな図形からポイントを削除するには、削除するポイントをクリックします。
- 5 ボックスを閉じるには、ラインの開始点にマウスポインタを置いてパスを閉じ、クローズボックスポインタ → が表示されたらクリックします。
- ➡ いずれかの描画ツールがアクティブになっている場合、Command/Ctrlキーを押せば、 一時的にポイント選択ツールに切り替わります。ポイント選択ツールがアクティブな場 合、Command+Option/Ctrl+Altを押すと一時的にアイテムツールに切り替えること ができます。
- ➡ 既存のオープンなパスを連結、拡張、またはクローズできます。詳細は、「オープンなパ スの連結、拡張、およびクローズ」を参照してください。

ボックスのサイズ変更

ボックスのサイズは、境界ボックスのサイズを変更することによって変更できます。境 界ボックスは、すべてのボックスを囲んでいる印刷されない矩形の枠です。ボックスの アイテムハンドルは、境界ボックスの境界を定めます。境界ボックスを明確に表示する には、**アイテム**ツールを使用して、ベジエボックス上でアイテムハンドルを選択する方 法が最善です。

アクティブボックスは、下記の方法のいずれかを使用してサイズ変更できます。

アイテムツール またはコンテンツツール 定を選択します。選択したボックスのアイテムハンドル上にマウスのポインタを置くと、形状がサイズ変更ポインタに変化します。ハンドルをクリックし、新しい位置までドラッグして、ボックスを縮小または拡大します。Shiftキーを押してボックスの縦横比を保持します。

Option/Altキーを押して中心からのボックスのサイズを変更します。Command/Ctrl キーを押して、ボックスに合わせてボックスのコンテンツのサイズを変更します。

- メジャーパレットのホーム/クラシックまたは複数アイテムの配置タブのWフィー ルドとHフィールドに値を入力して幅と高さを変更し、Return/Enterキーを押しま す。
- (Windowsのみ) アイテム>設定(Command+M/Ctrl+M)を選択し、ボッ クスタブをクリックします。幅フィールドと高さフィールドに値を入力してボック スのサイズを正確に変更し、OKをクリックします。
- ➡ ボックスの縦横比はロックできます。その場合、Shiftキーを押して縦横比を保持する必要がなくなります。詳細は、「ボックスや画像の縦横比のロック」を参照してください。

ボックスや画像の縦横比のロック

選択したボックスの縦横比をロックするには、メジャーパレットのホーム/クラシック タブを表示して、WフィールドとHフィールドの横にある、縦横比ロックのコントロー ルをクリックします。このコントロールをロックすると、QuarkXPressでは、サイズ変 更時にアイテムの縦横比が保持されます。Windowsでは、設定ダイアログボックスの ボックスタブでボックスの縦横比をロックすることもできます。



ロック解除状態(上)とロックされた状態(下)の、縦横比ロックのコントロール

選択したボックスの画像の縦横比をロックするには、メジャーパレットのホーム/クラ シックタブを表示して、X%フィールドとY%フィールドの横にある、縦横比ロックのコ ントロールをクリックします。このコントロールをロックすると、QuarkXPressでは、 サイズ変更時に画像の縦横比が保持されます。Windowsでは、設定ダイアログボックス の画像タブでボックスの縦横比をロックすることもできます。

縦横比ロック機能をアイテム検索/置換機能とともに使用するには、**アイテム検索/置** 換パレット(編集メニュー)のボックスタブまたは画像タブを表示して、検索領域また は置換領域の縦横比チェックボックスをオンまたはオフにします。

縦横比ロック機能をアイテムスタイルとともに使用するには、**アイテムスタイルの編集** ダイアログボックス(**編集 > アイテムスタイル**)のボックスタブまたは**画像**タブを表示 して、**縦横比**をオンにします。

ボックスの形状変更

ボックスは下記の3つの方法で形状を変更できます。

アイテム > 形状サブメニューから異なるオプションを選択することによって、形状を完全に変更することができます。

- (Windowsのみ)角の半径フィールド(アイテム>設定>ボックスタブ)に値を 入力すると、方形ボックスに角の丸型を追加したり、変更したりできます。
- メジャーパレットのホーム/クラシックタブまたは複数アイテムの配置タブの、ボックスの角半径フィールドを使用することもできます。
- ポイント、曲線ハンドル、およびラインセグメントの位置を変更することによって、 ベジエボックスの形状を変更できます。詳細は、「ベジエ形状の理解」を参照して ください。

ボックスへのフレームの追加

フレームは、任意のタイプのボックスを囲むために使用できる装飾的な境界線です。ア クティブなボックスのフレームコントロールにアクセスするには、下記の操作を行って ください。

- (Windowsのみ) アイテム>フレームを選択して、設定ダイアログボックスのフレームタブを表示します。
- メジャーパレットのフレームタブを表示します。

これらのタブのコントロールを使用して、フレームのスタイル、幅、カラー、および不 透明度を指定します。フレームスタイルにギャップが含まれる場合は、ギャップのカラー および不透明度を指定することもできます。

編集メニューの**ダッシュ&ストライプ**ダイアログボックスでユーザー独自のフレームス タイルを作成して、アイテムスタイルでフレーム設定を指定できます。アイテムスタイ ルについての詳細は、「*Item Styles XTensionsソフトウェア*」を参照してください。

ボックスへのカラーの適用

アクティブなボックスにバックグラウンドカラーを適用するには、下記のいずれかを実 行します。

- (Windowsのみ) アイテム>設定(Command+M/Ctrl+M)を選択してボッ クスタブをクリックし、ボックス領域のコントロールを使用します。
- カラーパレット(ウィンドウ>カラー)を表示し、バックグラウンドカラーボタン
 をクリックして、カラーパレットのコントロールを使用します。
- メジャーパレットのホーム/クラシックタブのコントロールを使用します。

これらのタブおよびパレットでは、下記のコントロールを使用できます。

- ボックスまたはバックグラウンドカラー:ボックスのバックグラウンドカラーを指定します。
- シェード:バックグラウンドカラーの色調を指定します(0%=白、100%=フルカラー)。
- 不透明度:ボックスのバックグラウンドの透明度を制御します(0%=完全に透明、 100%=完全に不透明)。

アイテムスタイルでもボックスのカラーを指定できます。アイテムスタイルについての 詳細は、「*Item Styles XTensionsソフトウェア*」を参照してください。

ボックスへのブレンドの適用

ブレンドとは、あるカラーから別のカラーに徐々に変化していく状態です。アクティブ なボックスのバックグラウンドにブレンドを適用する方法については、「マルチカラー ブレンドの作成」を参照してください。

ボックスの融合および分割

アイテムメニューの**パスの融合または分割**サブメニューのオプションを使用して、既存 の複数のボックスから複雑なベジエボックスを作成できます。たとえば、方形ボックス と楕円形ボックスが重なっている場合、このサブメニューのオプションを選択して、同 じコンテンツを含む単一のボックスを作成できます。2つの画像ボックスを融合すると、 融合されたボックスに1つの画像として表示されます。2つのテキストボックスを融合す ると、テキストは、1つのストーリーとして両方のボックスに流し込まれます。

融合機能を使用するには、アイテムを2つ選択して、**パスの融合または分割**サブメニュー で下記のオプションのいずれかを選択します。

- **交差**コマンド:アイテムが重なっている領域を保持して、残りの領域を削除します。
- 連合コマンド:重なっている領域と重なっていない領域の両方を保持して、すべてのアイテムを1つのボックスにまとめます。
- 差分コマンド:前面にあるアイテムを削除します。重なっている領域はすべて削除 されます。
- 逆差分コマンド:背面にあるアイテムを削除します。重なっている領域はすべて削除されます。
- **排中的交差**コマンド: 図形の形状はそのまま保持されますが、重なっている部分は すべて削除されます。削除領域を囲んでいるポイントを編集する場合は、2本の線が 交差する場所すべてに表示されている2つのポイントを使用します。
- 連結コマンド: 排中的交差コマンドと似ていますが、ポイントで囲まれた削除領域 の、2本の直線が交差する位置にポイントは表示されません。
- 分割コマンド:融合ボックスを複数のボックスに分割したり、パスの中にパスが含まれる複雑なボックスを複数のボックスに分割したり、ボーダーが交差するボックス(数字の8のような形)を分割したりします。このコマンドを使用するには、アイテムを2つ選択して、パスの融合または分割サブメニューで下記のオプションのいずれかを選択します。
- **外側パス**コマンド:重なっていない複数の図形を含む融合ボックスに対して使用し ます。**外側パス**は、外側のパスの情報をすべて保持し、重なっていない外側のパス を複数のボックスに分割します。
- 全パスコマンド:複雑なボックス内のすべての図形を使用して複数のボックスを作 成します。

ボックスへのテキストと画像の追加

ボックスにテキストを追加するには、テキストコンテンツツール **エ**を選択してボックス をダブルクリックしてから、テキストを入力するか、他の場所からコピーアンドペース トするか、またはファイル > テキストの取り込みを選択します。 ボックスに画像を配置するには、**画像コンテンツ**ツール を使用してボックスを選択し、画像を他の場所からコピーアンドペーストするか、ファイル > 画像の取り込みを選択します。

ボックスタイプの変更

選択されているボックスのタイプを別のタイプに変換するには、アイテムメニューのコ ンテンツサブメニューから画像、テキスト、またはなしを選択します。また、ファイル> 取り込みを選択して画像を選択し、テキストボックスを画像ボックスに変更することも できます。ファイル>取り込みを選択してテキストファイルを選択し、画像ボックスを テキストボックスに変更することもできます。

選択されているテキストボックスをテキストパスに変換するには、**アイテム > 形状**サブ メニューからラインの形状を選択します。

ボックスツールでは、次の修飾キーを使用してテキストボックスまたは画像ボックスを 作成できます。

- テキストボックスを作成するには、描画中にTを押します。
- 画像ボックスを作成するには、描画中にRを押します。

クリッピングパスからのボックスの作成

画像ボックスに、(埋め込みまたは自動作成の)関連付けられたクリッピングパスがあ る場合、画像ボックスを選択して**アイテム > クリッピングパスを新規ボックスで開く**を 選択することによって、そのクリッピングパスの形状で新規ボックスを作成できます。

Super Step and Repeat XTensionsソフトウェア

高機能連続複製を使用すると、アイテムを複製しながら、拡大縮小、回転、および傾斜の変形を加えることができます。

Super Step and Repeatの使用

Super Step and Repeatを使用して、アイテムを回転、拡大縮小、または傾斜しながら、それらのアイテムを素早く簡単に複製できます。Super Step and Repeatの使用については、下記の手順に従ってください。

- 1 画像ボックス、テキストボックス、テキストパス、またはラインを選択します。
 - アイテムが複製される回数を指定するには、繰り返す回数フィールドに1から100までの数字を入力します。
 - 元のアイテムに対して水平方向にコピーを配置するには、水平距離フィールドに値 を入力します。負の値を指定すると、元の位置から左にコピーが配置され、正の値 を指定すると、右に配置されます。
 - 元のアイテムに対して垂直方向にコピーを配置するには、垂直方向フィールドに値 を入力します。負の値を指定すると、元の位置から上にコピーが配置され、正の値 を指定すると、下に配置されます。
 - 複製された各アイテムを回転するには、アイテムの角度フィールドに、回転値を角度で指定します。たとえば、10を入力すると、初めに複製されたアイテムは、元の

アイテムから10度回転し、2つ目の複製アイテムは、元のアイテムから20度回転します。回転は、元のアイテムから時計回りに実行されます。

- 最終的な複製フレーム(画像ボックスまたはテキストボックス)または最終的な複 製ライン(テキストパスまたはライン)の厚みを指定するには、最後のフレーム/ラ インの太さまたは最後のラインの太さフィールドにポイント値を入力します。
- ボックスまたはラインを複製するときに、最後のボックスのシェードまたは最後の ラインのシェードフィールドに0%から100%の値を入力し、最終的な複製ボックス のバックグラウンドカラーのシェードまたは最終的な複製テキストパスまたはラインのラインカラーのシェードを指定します。
- バックグラウンドがブレンドされているボックスを複製すると、最後のボックスのシェード(2)フィールドを使用できます。最後のボックスのシェード(2)フィールドに0%から100%の値を入力し、最終的な複製ボックスにブレンドの2つ目のバックグラウンドのシェードを指定します。
- 最終的な複製画像ボックス、テキストボックス、テキストパス、またはラインの縮 小率を指定するには、最後のアイテムのサイズまたは最後のラインのサイズフィー ルドに1%から1,000%の値を入力します。
- 複製ボックスを傾斜するには、最後のアイテムの傾斜フィールドに最終的な複製ボックスの傾斜または傾きを75°から-75°の値を入力して指定します。
- 複製ボックスに合わせるように拡大縮小された画像ボックス、テキストボックス、 またはテキストパスのコンテンツのサイズを変更するには、コンテンツのサイズ変 更をオンにします。
- アイテムの回転またはサイズ変更の基準となるポイントを指定するには、相対サイズ変更/回転の基点ドロップダウンメニューからオプションを選択します。相対サイズ変更/回転の基点ドロップダウンメニューの選択したポイントは、ベジエアイテム上のポイントが選択されている場合にのみ利用可能です。
- 2 OKをクリックします。

シェイプメーカーXTensionsソフトウェア

シェイプメーカーXTensionsソフトウェアを使用すると、さまざまな複雑な形状を作成 できます。新しい形状を最初から作成するか、または新しい形状を既存のボックスに適 用できます。

シェイプメーカーダイアログボックスを表示するには、**補助 > シェイプメーカー**を選択 します。

シェイプメーカーダイアログボックスには、さまざまな種類の形状を作成できるタブが あります。すべてのタブに、下記のコントロールがあります。

- アイテム:テキストボックス、画像ボックス、コンテンツなしボックス、テキスト パス、ルールパスの作成を選択できます。
- 幅および高さ:ボックスまたはパスの幅と高さを指定できます。補助>シェイプメーカーを選択したときにアイテムが選択されていると、これらの値は、選択したアイテムに合わせて自動的に指定されます。
- コラムおよびコラム間隔:テキストボックスをアイテムメニューから選択すると、 これらのフィールドを使用して、テキストボックス内の列数と、コラム間隔の幅を 指定できます。

- ラインおよび間隔:テキストパスをアイテムメニューから選択すると、これらのフィールドを使用して、作成するラインの数と、各ラインの間隔を指定できます(ボックスを選択して、ラインを0に設定すると、そのボックスで定義された領域をすべて埋める数のパスが作成されます)。
- 現在のボックスを変更:補助>シェイプメーカーを選択したときにボックスが選択 されていると、新規アイテムは作成されず、そのボックスの形状が更新されます。

タブ内のコントロールについては、以下のトピックで説明します。

シェイプメーカーの波形タブ

シェイプメーカーダイアログボックス(補助>シェイプメーカー)の波形タブでは、側面が波状のボックスを作成できます。このタブを使用するには、使用する波形を波形1および波形2の領域で定義し、タブの上部にあるコントロールでその波形をボックスの4つの側面に割り当てます。

波形 ポリゴン 渦巻き 四角形 プリセット	
上: フラット ÷ 左: 波形 + 下: フラット ÷ 右: 波形 1 ÷ 右: 波形 1 ÷ ✓ 波形を並行にする	リセット 左-右 上-下 すべて
波形1: サイン波 キ	波形2: サイン波 キ
1 0° 36 px 周期 0° 公相 35 %	2 0° 172 px 10期 位相 数幅
アイテム: テキストボ・・・ 🗧	コラム数: 1
幅: 360 px	コラム間隔: 18 px
高さ: 360 px	□ 現在のポックスを変更
	キャンセル 作成 作成 () 作成 () 作成 () () () () () () () () () () () () ()

シェイプメーカーダイアログボックスの**波形**タブ

このタブにあるコントロールは下記のとおりです。

上、左、下、右:これらのコントロールで、ボックスの4つの側面を設定できます。波形 1、波形2、またはフラットを選択できます。

リセット:ボックスの4つの側面をすべてフラットにします。

左-右:波形1の設定を、ボックスの左と右の側面に適用します。

上-下: 波形1の設定を、ボックスの上と下に適用します。

すべて:波形1の設定を、ボックスのすべての側面に適用します。

波形を並行にする:ボックスのどちらか一方の側面の波形を、もう一方と並行にします。

波形1領域と**波形2**領域のコントロールで、使用する波形の種類、波形の周期、波形の位相(出発点)、波形の振幅(深度)を選択できます。

シェイプメーカーの多角形タブ

シェイプメーカーダイアログボックス(**補助 > シェイプメーカー**)の**多角形**タブでは、 多角形のボックスを作成できます。

波形 ポリゴン 渦巻き 四角形 プリセット	
種類: 通常のポリゴン 🛟	
側面: 5	
内側半径: 50% 0 セカンダリ:	75%
エッジ: フラット ; カーブ: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	ポイントのランダム化: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
アイテム: テキストボー *	コラム数・1
47. 200	
990 px	コラム间隔: 18 px
高さ: 360 px	○ 現在のボックスを変更
	キャンセル 作成

シェイプメーカーダイアログボックスの**多角形**タブ

このタブにあるコントロールは下記のとおりです。

種類ドロップダウンメニューでは、作成する多角形の種類を選択できます。このドロッ プダウンメニューのすぐ下にあるコントロールは、選択した多角形の種類に応じて変化 します。

- •通常のポリゴン:多角形の側面の数を指定できます。
- **星**:多角形の側面の数を指定する他に、尖端内のスペースの半径を指定したり、サイズの異なるもう1つの星を重ねたりすることができます。
- ポリグラム:星と似ていますが、半径を指定する代わりに、側面を相互に合わせる 方法をポイントスキップフィールドで制御できます。
- **スピログラム**:ポリグラムと似ていますが、アウトラインのみ作成します。
- **ランダムポリゴン**: ランダムな側面の多角形を作成できます。
- 黄金四角形: 黄金比(約1:1.618)の多角形を作成できます。
- •2乗:2つの隣接する正方形で多角形を作成できます。

エッジ:ボックスのエッジをフラットにするかカーブさせるかを制御できます。フラット以外のオプションを選択した場合は、カーブコントロールで側面のカーブを指定できます。いずれかの**渦巻き**のオプションを選択した場合は、方向コントロールで渦巻きの方向を指定できます。

ポイントのランダム化:図形のランダムの度合いを、0(なし)から100(最大)の間で 制御できます。

新規ランダム:図形に特定のランダムを適用します。

シェイプメーカーの渦巻きタブ

シェイプメーカーダイアログボックス(補助>シェイプメーカー)の渦巻きタブでは、 渦巻きの形状を作成できます。

ボックス、ライン、およびテーブル

変形 ポリゴン 湯巻き 四角形 ブリセット 種類: アルキメデス ま 回転: 3 レート: 50% ● 右回り 左回り	
回転あたりのセグメント: 12	スムーズネス:
アイテム: テキストバス : 幅: 360 px 高さ: 360 px	コラム数: 1 コラム関隔: 18 px 現在のポックスを変更 キャンセル 作成

シェイプメーカーダイアログボックスの**渦巻き**タブ

このタブにあるコントロールは下記のとおりです。

種類:アルキメデス(均等な間隔で配置された円形の渦巻き)、**黄金渦巻き**(黄金比で 作成された渦巻き)、または**カスタム**(これを選択すると**回転**フィールドが使用可能に なり、渦巻きの回転数を制御できます)を選択できます。

レート:渦巻きの幅を増やす速さを制御できます。

右回りと左回り:渦巻きの方向を制御できます。

回転あたりのセグメント:渦巻きの円形の度合いを制御できます。

スムーズネス:渦巻きのなめらかさを制御できます。回転あたりのセグメントの値やス ムーズネスの値を小さくすると、よりハードエッジな形状にできます。

シェイプメーカーの方形タブ

シェイプメーカーダイアログボックス(補助>シェイプメーカー)の方形タブでは、方形のボックスを作成して角をカスタマイズできます。



シェイプメーカーダイアログボックスの**方形**タブ

このタブでは、すべて同じをオフにすることによって、ボックスのそれぞれの角を個別 に設定できます。または、すべて同じをオンにして、1つのコントロールで4つの角をす べて設定できます。どちらの方法でも、ドロップダウンメニューを使用して角の種類(標準、丸形、角切形、角丸形、鋭角、開始位置)と、直径(直径を含むオプションの場合) を指定できます。

カーブ: カーブを含んでいるオプションを選択した場合は、角のカーブを制御できます。

バランス:一部のオプションでは、角をボックスの側面の方向に傾けるか、上方向に傾けるかを制御できます。

放射相称:一部のオプションでは、ボックスの角をボックスの中央と揃えるかどうかを 制御できます。

シェイプメーカーのプリセットタブ

シェイプメーカーダイアログボックス(補助>シェイプメーカー)のプリセットタブでは、必要な設定を保存して、後で再利用できるようにできます。

波形 ポリゴン 渦巻き 四角形 プリセット		
	名前:	
	置換	
	削除	
	保存	
	改名	
	設定を使用	
	gへC戻g	
アイテム: 画像ポックス 💠		コラム数: 1
幅: 360 px		コラム間隔: 18 px
高さ: 360 px		□ 現在のボックスを変更
		キャンセル 作成

シェイプメーカーダイアログボックスのプリセットタブ

シェイプメーカーダイアログボックスのすべてのタブのすべての設定を保存するには、 名前フィールドに名前を入力して、保存をクリックします。参照していた最後のタブの 図形のイメージで、エントリが左側のリストに追加されます。

保存した設定を読み込むには、左側のリストでその設定を選択して、**設定を使用**をクリックし、必要なタブに移動して、図形を作成します。

エントリとともに保存した設定を置き換えるには、そのエントリを選択して**置換**をクリックします。

エントリを削除するには、そのエントリを選択して削除をクリックします。

エントリを改名するには、そのエントリを選択して改名をクリックします。

シェイプメーカーダイアログボックスのすべてのタブを、ダイアログボックスを開いた 時点の設定に戻すには、**すべて戻す**をクリックします。

ラインの使用

ラインには、直線とベジエラインの2種類あります。どちらの種類のラインにも、カラー やラインのスタイルを適用できます。

ラインの作成

ラインを作成するには、**ツール**パレットから**ライン**ツール を選択して、十字ポイン タ**十**をページの任意の場所まで移動します。クリックアンドドラッグして、ラインを描 画します。

➡ ラインの描画中にShiftキーを押すと、ラインの角度を、0度、45度、または90度に制限できます。

直角ラインツール+を使用して、直角ラインも作成できます。

ベジエラインの作成

ベジエペンツール く では、直線および曲線セグメントを持つ複数面のベジエボックス およびラインを描画できます(「ベジエ形状の理解」を参照してください)。

ベジエラインを描画するには、下記の手順に従ってください。

- 1 ツールパレットでベジエペンツールとを選択します。ページ上の任意の位置に十字ポ インタキを移動し、クリックして開始ポイントを決定します。
- 2 次のポイントにする位置にポインタを移動します。ページに対して45度の角度にポイン タの動きを制限するには、Shiftキーを押します。
- 3 クリックして、ポイントおよびラインセグメントを作成します。
 - ・曲線セグメントを作成するには、クリックしてから次のポイントにする位置にドラッグします。2つの曲線ハンドルがついたポイントが表示されます。曲線ハンドルをドラッグすれば、カーブのサイズと形状を制御できます。
 - コーナーポイントを作成するには、クリックする前にOption/Altキーを押します。
 曲線ハンドルをクリックしたままドラッグすると、コーナーポイントの半径を指定できます。
 - 既存の図形セグメントにポイントを追加するには、ポイントを置きたいラインセグ メントをクリックします。
 - ・
 描画中にアクティブな図形からポイントを削除するには、削除するポイントをクリックします。
- 4 ラインを完了するには、ダブルクリックします。
- ➡ いずれかの描画ツールがアクティブになっている場合、Command/Ctrlキーを押せば、 一時的にポイント選択ツールに切り替わります。ポイント選択ツールがアクティブな場 合、Command+Option/Ctrl+Altを押すと一時的にアイテムツールに切り替えること ができます。

直角ラインのラインモード

ラインモードには、**両端、左端、センター**、および**右端**の4つがあります。**ライン**タブ (**アイテム>設定**)(Windowsのみ)または**メジャー**パレット(**ホーム/クラシック**ま たは**複数アイテムの配置**タブ)で選択したモードに応じて、ラインの長さと位置は異な る形式で表現されます。

- 両端モード:最初の終端について、X1フィールドは水平方向の、Y1フィールドは 垂直方向の位置をそれぞれ表します。X2フィールドは終端の水平方向の位置を表 し、Y2フィールドは終端の垂直方向の位置を表します。
- 左端モード:最も左にある終端について、X1フィールドは水平方向の、Y1フィー ルドは垂直方向の位置をそれぞれ表します。
- センターモード: ラインのセンターについて、XCフィールドは水平方向の、YC フィールドは垂直方向の位置をそれぞれ表します。
- 右端モード:最も右にある終端について、X2フィールドは水平方向の、Y2フィー ルドは垂直方向の位置をそれぞれ表します。

ラインのサイズ変更

アクティブな直線は、下記の方法のいずれかを使用してサイズ変更できます。

- アイテムツール を選択し、矢印ポインタをハンドルの理解の上に置きます。形 状がサイズ変更ポインタに変化します。ハンドルをクリックし、新しい位置までド ラッグして、ラインの長さを短縮または伸張します。
- (Windowsのみ) アイテム>設定(Command+M/Ctrl+M)を選択し、ラインタブをクリックします。モードドロップダウンメニューをクリックして、4つのモードオプションを表示します(「直角ラインのラインモード」を参照してください)。左端、センター、または右端を選択して、長さフィールドを表示します。長さフィールドに値を入力してラインの長さを正確に変更し、OKをクリックします。
- メジャーパレットのホーム/クラシックまたは複数アイテムの配置タブにあるラインモードドロップダウンメニューから、左端、センター、または右端を選択し、L(長さ)フィールドを表示します。ラインの長さを正確に変更するには、Lフィールドに値を入力してからReturn/Enterキーを押します。

ベジエラインのサイズは、境界ボックスのサイズを変更することによって変更できます。 変更するには、**アイテム > 編集 > 形状**がオフになっていることを確認してから、ボック スと同じようにしてラインをサイズ変更します。

ラインの形状変更

ラインは下記の方法で形状を変更できます。

- アイテム > 形状サブメニューから異なるオプションを選択することによって、形状 を完全に変更することができます。
- ポイント、曲線ハンドル、およびラインセグメントの位置を変更することによって、 ベジエラインの形状を変更できます。詳細は、「ベジエ形状の理解」を参照してく ださい。
- ペンツールを選択しているときにレイアウトをパンするには、Shift+スペースを押して、 クリックアンドドラッグします。

ラインのアピアランスの制御

アクティブなラインのアピアランスを制御するには、下記の場所にあるコントロールを 使用します。

- メジャーパレットのホーム/クラシックタブ
- (Windowsのみ) 設定ダイアログボックス(アイテムメニュー)のラインタブ
- カラーパレット(ウィンドウメニュー)。これはラインカラーの場合のみ使用できます。

カラー、シェード、不透明度の他にも、次のようなラインの特徴を設定できます。

- ラインの種類:ラインの全般的なアピアランスを制御します。デフォルトでいくつかのラインの種類が用意されていますが、編集メニューのダッシュ&ストライプダイアログボックスを使用して種類を追加できます。
- 幅: ラインの幅を任意の単位で指定できます。ヘアライン幅も指定できます。印刷 されるヘアライン罫線の幅は、PostScriptイメージセッターの場合で0.125ポイン トです。一部のレーザープリンタでは、これよりも太くなります。
- 矢印の先端:矢印の先端ドロップダウンメニューを使用して、ラインに矢印の先端 を適用できます。

また、アイテムスタイルでもラインのアピアランスを指定できます。アイテムスタイル についての詳細は、「*Item Styles XTensionsソフトウェア*」を参照してください。

ラインの連結

2つのラインを連結して1つにすることができます。これを行うには、アイテムツール

で結合するラインを選択して、**アイテム>融合>二端連結**を選択します。二端連結 コマンドは、ラインまたはテキストパスの両端の距離が6ポイント以内である場合に使用 できます。

オープンなパスの連結、拡張、およびクローズ

既存の形状の終端をクリックすると、そのポイントが選択されて通常の描画モードが開 始され、次にクリックすると、選択したラインに新しいポイントとセグメントが追加さ れます。追加するセグメントの数に制限はありません。

終端をダブルクリックすると、ラインはオープンなパスとして完了します。

反対側の終端をクリックすると、パスがクローズされます。これは、元の描画操作で行うのと同様です。

描画中に、別のオープンなパスの終点をクリックすると、描画中のパスと、クリックし たパスとが連結されます。これらの方法を組み合わせて、パスを拡張して別のパスと連 結することができます。

アイテムの操作

アイテムに対して、新しい場所へのカットアンドペースト、移動を防ぐためのロック、 複製、特殊な視覚効果を実現するためのスタック化など、さまざまな操作を行うことが できます。

アイテムの選択

アイテムを操作するには、最初にアイテムを選択する必要があります。選択すると、ほ とんどのアイテムでは形状変更用のアウトラインとハンドルが表示されます。

アイテムを選択するには、先にアイテムツールで、テキストコンテンツツール

または**画像コンテンツ**ツールとそを選択してから、矢印ポインタをアイテム上に移動します。単一のアイテムを選択するには1回クリックし、複数のアイテムを同時に選択するに

はShiftキーを押しながら個々のアイテムをクリックします。アイテムツール・を選択して、アイテムを含む領域を描画しても、複数アイテムを選択できます。

(Windowsのみ) アイテムツール が選択されている状態でテキストボックスをダ ブルクリックすると、設定ダイアログボックスが表示されます。画像コンテンツツール が選択されている状態で、空の画像ボックスをダブルクリックすると、取り込みダイ アログボックスが表示されます。画像ボックスに画像が含まれている場合、画像コンテ ンツツール が選択され、オリジナルを編集ダイアログボックスが表示されます。 アクティブなアイテムを選択解除するには、そのアイテム以外の場所でクリックします。

アイテムツール が選択されている場合、Tabキーを押して任意のアクティブなアイ テムを選択解除できます。

アイテムの移動

アイテムを移動するには、下記のいずれかの操作を行ってください。

- (Windowsのみ) 設定ダイアログボックス(アイテムメニュー)の左肩の横座標 および左肩の縦座標フィールドに値を入力します。
- メジャーパレットのホーム/クラシックタブにある、XおよびYフィールドに値を入力します。
- アイテムツール を使用して、手作業でアイテムを移動します。ボックスまたは テキストパスを動かす前にマウスのボタンを押したままにすると、コンテンツを表 示したままアイテムを移動できます。アイテムツールを選択し、キーボードの矢印 キーを押すことによって、アイテムを「少しずつ動かす」こともできます。
- ボックスのアイテムハンドルは、境界ボックスの境界を定めます。境界ボックスを明確に 表示するには、アイテムツールを使用して、ベジエボックス上でアイテムハンドルを選択 する方法が最善です。

アイテムのカット、コピー、およびペースト

アイテムツール を選択すると、アクティブなボックス、ライン、およびテキストパ スに対して、**編集**メニューの**カット、コピー、ペースト**コマンドを使用できます。クリッ プボードに保存されているアイテムのコピーをプロジェクトウィンドウのセンターに配 置するには、**編集 > ペースト**(Command+V/Ctrl+V)を選択します。 **アイテム**ツール が選択されているとき、**削除**コマンドでアイテムを削除できます。 削除されたアイテムは、クリップボードにコピーされません。

アイテムのスタック順序の制御

複数のアイテムが重なっている場合、各アイテムはそれぞれ他のアイテムの前面または 背面に配置されています。「スタックの順序」とは、ページ上のさまざまなアイテムの 前後関係のことです。作成された各アイテムは、各自のレベルに応じたスタック順序で 配置されます。アイテムを作成するたびに、新しいアイテムが前面に配置されていきま す。

アイテムメニューには、アイテムのスタック順序を制御するためのコマンドがあります。

- アイテムをページまたはレイヤーの背面に移動するには、アイテム > 背面へ送るを 選択します。
- アイテムをページまたはレイヤーの前面に移動するには、アイテム > 前面へ出すを 選択します。
- Mac OS Xの場合、ページまたはレイヤーでアイテムを1レベル後ろに移動するには、Optionキーを押してアイテム>ひとつ後ろへを選択します。Windowsの場合は、アイテム>ひとつ後ろへを選択します。
- Mac OS Xの場合、ページまたはレイヤーでアイテムを1レベル前に移動するには、 Optionキーを押してアイテム>ひとつ前へを選択します。Windowsの場合は、ア イテム>ひとつ前へを選択します。
- ▶ レイヤーを使用したドキュメントの場合、レイヤー自体が特定のスタック順序に配置され、さらに各レイヤー内で各アイテムが独自のスタック順序に配置されます。アイテムメニューで背面へ送る、ひとつ後ろへ、前面へ出す、およびひとつ前へコマンドを実行すると、レイヤー内でのアイテムのスタック順序が変更されます。

他のアイテムの背後に隠れているアイテムをアクティブ化するには、**アイテム**ツール を選択して、Command+Option+Shift/Ctrl+Alt+Shiftキーを押しながら、複数のアイ テムが重なっているポイントを繰り返しクリックします。 Command+Option+Shift/Ctrl+Alt+Shiftを押しながらクリックすると、スタックの前 面アイテムから後方アイテムの順に次々とアクティブ化されていきます。

アイテムのグループ化

ページまたはスプレッド上の複数のアイテムを、1つのグループにまとめることができま す。複数のアイテムを同時に選択したり移動したりする場合は、アイテムをグループ化 すると便利です。移動、カット、コピー、複製の他、さまざまな機能をグループに対し て実行できます。たとえば、出版物の発行人欄に使用されているすべてのアイテムをグ ループ化して、そのグループ全体を単一のボックス、ライン、またはテキストパスとし て変更または移動できます。

グループ化した後でも、グループの関係を維持したまま、個々のアイテムを編集、サイズ変更、および位置変更できます。グループのコピーをQuarkXPressライブラリに保存して、他のドキュメントで使用することもできます。

アイテムのグループ化は、複数のアイテム(ライン、ボックス、テキストパス、または 他のグループなど)がアクティブになっている場合に行うことができます。**アイテム**ツー

ルで複数のアイテムを選択するには、Shiftキーを押しながら各アイテムをクリック するか、マウスをドラッグしてグループ化するアイテムを点線で囲みます。アイテム> グループ(Command+G/Ctrl+G)を選択して、選択されている複数のアイテムを単一 のグループにまとめます。

複数のグループをグループ化したり、グループと個々のボックス、ライン、テキストパ スを混ぜて複数選択して、より大きなグループを作成したりできます。

アイテムツール を選択すると、グループの移動、カット、コピー、ペースト、複製、 回転、およびカラーの適用を行うことができます。テキストコンテンツツール または **画像コンテンツ**ツール を選択すると、個々のアイテムを、クループ化されていないア イテムと同じように操作できます。

グループ内でアイテムを移動するには、CommandキーまたはCtrlキーを押して、アイ テムツール・キストコンテンツツール または画像コンテンツツールを使用 してアイテムを選択します。

- (Windowsのみ) アクティブなグループが、同じ種類のアイテムのみで構成される場合 (すべて画像ボックスの場合など)は、それらのアイテムのみを指すタブが設定ダイアロ グボックスに表示されます。アクティブなグループにさまざまな種類のアイテムが含まれ る場合、設定ダイアログボックスにはグループタブのみが表示されます。
- (Mac OS Xのみ) メジャーパレットタブのアクティブなフィールドは、現在アクティブなグループに影響します。

アイテム > グループ解除(Command+U/Ctrl+U)を選択して1つのグループを解除す るか、**アイテム > すべてグループ解除**を選択して、他のグループが含まれている1つのグ ループで、すべてのグループを解除します。

グループ化されたアイテムのサイズ変更

グループ内のすべてのアイテムを同時にサイズ変更するには、グループのアイテムハン ドルをクリックしてドラッグします。グループのサイズ変更中に Command+Shift/Ctrl+Shiftキーを押すと、すべてのフレームの幅、ラインの太さ、画 像、およびテキストが縦横比を保持してサイズ変更されます。グループのサイズ変更中 にCommand/Ctrlキーを押すと、フレームの幅、画像、およびテキストがサイズ変更さ れますが、縦横比は保持されません。

アイテムの複製

QuarkXPressでは、ボックス、ライン、およびテキストパスのコピーを作成できます。

選択されているアイテムのコピーを1つ作成するには、**アイテム**メニューの**複製**コマンド を使用します。アイテムまたはアイテムのグループをドラッグしながらOption/Altキー を押して、複製を作成することもできます。 アイテムの多数のコピーを均等間隔で配置したデザイン要素を作成する場合は、高性能 連続複製機能を使用すると便利です。アイテムメニューの高性能連続複製コマンドを使 用してアイテムのコピーを複数作成し、各コピーの間隔を指定します。

別の方法で独自の形状のボックスを作成するには、「シェイプメーカーXTensionsソフ トウェア」を参照してください。

複数アイテムの配置

アイテム > 複数アイテムの配置サブメニュー、または**単位**パレットの**複数アイテムの配** 置タブを使用して、複数選択されたアイテムの相対位置を制御できます。

単位パレットにある8個の間隔オプションと6個の位置揃えオプションから選択でき、選択したアイテム、ページ、または(見開きの印刷レイアウトの)スプレッドを基準にした位置揃えを指定できます。**アイテム>複数アイテムの配置**サブメニューには、以下で説明する「アイテムを均等配置」および「ページ相対配置」モードが含まれます。**単位** パレットにも「スプレッド相対配置」という3つ目のモードが含まれます。

複数アイテムの配置モードを以下に挙げます。

- アイテム均等配置モード ■では、アクティブなアイテムの移動しない最上部を基準にして、アイテムが配置されます。最上位アイテムは、アイテム上部端の位置により決まります。複数のアイテムに同じ上端がある場合、最も左にあるアイテムを基準にアイテムが間隔設定されます。
- ページ相対配置モード IIIでは、ページの端(上下左右)を基準にしてアイテムが配置されます。
- スプレッド相対配置モード ■は、見開きを含むアクティブな印刷レイアウトに利用 できます。スプレッドのあるレイアウトを開き、左ページのアイテムと右ページの 別アイテムを選択しているとします。その後、単位パレットのスプレッド相対配置 モードアイコンをクリックして、左右センターを基準に均等配置 ■を選択すると、 選択されているアイテムはスプレッドの左端と右端に配置されます。

アイテムの回転

アクティブなアイテムを回転させるには、下記のいずれかを実行します。

- アイテムツールを選択し、角ハンドルにマウスのポインタを置きます。回転ポインタが表示されたら、クリックして回転ポイントを確定し、円周方向にドラッグしてアイテムを回転させます。ドラッグすると、矢印ポインタとアイテムの位置が表示されます。回転時にShiftキーを押すと、移動は45度の角度までに制限されます。
- (Windowsのみ) アイテム>設定(Command+M/Ctrl+M)を選択し、角度 フィールドに値を入力して、OKをクリックします。
- メジャーパレット(ホーム/クラシックおよび複数アイテムの配置タブ)上の
 フィールドに値を入力し、Return/Enterキーを押します。

直線を回転させるには、モードドロップダウンメニュー(設定ダイアログボックス、またはメジャーパレット)で、左端、センター、または右端を選択して、角度フィールドを表示します。

アイテムの傾斜

アクティブなアイテムを境界ボックス内で傾けるには、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ) アイテム>設定(Command+M/Ctrl+M)を選択し、ボッ クスタブをクリックします。傾斜フィールドに値を入力します。
- メジャーパレットのホーム/クラシックタブにあるボックスの傾斜フィールドに値 を入力します。

正の値でアイテムは右に傾き、負の値でアイテムは左に傾きます。

アイテムのロックおよびロック解除

ロック機能によって、アイテムおよびコンテンツが誤って変更されるのを防ぐことがで きます。ロック機能を使用して、下記の操作を行うことができます。

- アイテムのサイズや位置の変更、およびアイテムの削除を防ぐには、アイテム>ロック>設定位置を選択します。
- アイテムのコンテンツが編集されるのを防ぐには、アイテム>ロック>ストーリー、
 またはアイテム>ロック>画像を選択します。

選択されているアイテムをロック解除するには、アイテム>ロックサブメニューで該当 するオプションのチェックマークをオフにします。または、Windowsではアイテム>設 定を選択して、フィールドの横にあるロックアイコン量をクリックします。

テキスト内のアイテムおよびグループへのアンカーの付加

アイテムまたはグループに**アンカー**を付加して、それらをテキスト中の文字とすること ができます。テキスト中のアイテムまたはグループにアンカーを付加するには、**アイテ**

ムツール を使用してアイテムまたはグループを選択し、**編集 > コピー** (Command+C/Ctrl+C) または**編集 > カット**(Command+X/Ctrl+X)を選択しま

す。次に、テキストコンテンツツール イテムまたはグループの場所にテキスト挿入ポイントを配置して、編集>ペースト (Command+V/Ctrl+V)を選択します。

QuarkXPressでは、アンカーのネスト構造(アンカーが適用されたアイテムに、さらに アンカーが適用されたアイテムが含まれる構造)もサポートされています。

コールアウトの使用

コールアウト機能を使用すると、付随するコンテンツとして同じページまたはスプレッド上に常に表示されるフローティングボックスを作成できます。たとえば、以下のような機能があります。

- •ページごとに参照を伴う画像やテキストを用いた図を作成できます。
- 引用を作成して、ソーステキストがある他のページに自動的に移動するようにできます。
- 段落の左側のスペースに配置され、その段落がヒントや、注記、警告などであるこ とを示す、「フローティング」アイコンを作成できます。

詳細は、以下のトピックを参照してください。

コールアウトの理解

コールアウトとは、付随するコンテンツとして同じページまたはスプレッド上に常に表示されるフローティングボックスです。各コールアウトは、**コールアウトアンカー**と呼ばれるテキストストーリー内の特定の場所に固定されます。コールアウトアンカーは、文字と同様に、テキストとともに移動します。コールアウトアンカーが新しいページやスプレッドに移動すると、コールアウトもコールアウトアンカーとともに移動します。 ガイドが表示されると、各コールアウトアンカーと、コールアウトアンカーに関連付けられたコールアウトがある場合は、線でリンクされます。

dabilis apparatus bellis 1am umbraculi vix nedibiliter fortiter cor-1stus iocari saburre,



, semper aegre perspii suffragarit apparatus Aegre saetosus rures imputat satis bellus umbrac.

関連付けられたコールアウトとコールアウトアンカー

レイアウト内のコールアウトの位置は、下記の2つの要素に基づきます。

- コールアウトアンカーの場所。コールアウトは、常にそのコールアウトアンカーと 同じページまたはスプレッド上にあります。
- コールアウトアンカーの設定。スプレッド、ページ、ボックス、コールアウトアン カーが含まれているセル、コールアウトアンカーが含まれている段落、コールアウ トアンカー自体にコールアウトを配置できます。

たとえば、水平方向の位置は必ず外側のマージンに対して寄せられ、垂直方向の位置は 必ずコールアウトアンカーを含んでいる段落に揃えるようなコールアウトを設定できま す。この設定は、下記のようになります。

水平方向のコール	アウトの位置基準	隼: ページ	+
コールアウ	トの位置揃え:	左端	÷
	位置:	ページの左端	+
	オフセット:	0 px	
垂直方向のコール	アウトの位置基準	隼: ページ	÷
コールアウ	トの位置揃え:	[上端	÷
	位置:	ページの上端	÷
	オフセット:	0 рх	
✓ 手動でのコール	アウトの配置を	許可	

水平方向の位置は固定で、垂直方向の位置は可変のコールアウトの設定

コールアウトの設定は、コールアウト自体ではなく、コールアウトアンカーとともに保存 することをお勧めします

コールアウトアンカーを直接設定するか、コールアウトスタイルをコールアウトアンカー に適用することによって、コールアウトの位置を制御できます。コールアウトスタイル とは、パレット内に表示されるコールアウト設定の名前付きパッケージです。コールア ウトスタイルは、さまざまなコールアウト設定を繰り返し使用するようなドキュメント で役立ちます。コールアウト設定を毎回作成し直すのではなく、コールアウトスタイル パレットでコールアウトアンカーを選択して、最適なコールアウトスタイルをクリック するだけです。



コールアウトスタイルパレット

コールアウトスタイルは、スタイルシートと同様のものと考えることができます(詳細は、「スタイルシートの使用」を参照してください)。スタイルシートや他のリソースと

ボックス、ライン、およびテーブル

同様に、コールアウトスタイルはジョブジャケットで管理できます(詳細は、「*ジョブ* ジャケット」を参照してください)。

コールアウトは選択することも選択しないこともできます。コールアウトを選択すると、 赤いアウトラインで表示され、コールアウトスタイルがある場合は、**コールアウトスタ イル**パレットで選択されます。

matrimonii, quam dras. Pompeii inci

選択されたコールアウトアンカー(左)と、選択されていないコールアウトアンカー (右)

ガイドをオフにすると、選択したコールアウトアンカーだけが表示されます。

カット&ペーストまたはコピー&ペーストするテキストに、関連付けられたコールアウトのあるコールアウトアンカーが含まれている場合、そのコールアウトはテキストとともにカット&ペーストまたはコピー&ペーストされます。

コールアウトの作成

コールアウトを作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 **テキストコンテンツ**ツール**工**を選択してから、コールアウトアンカーを付加するテキス ト内の位置に、テキストカーソルを配置します。
- 2 アイテム>コールアウトアンカー>コールアウトアンカーの挿入を選択します。コール アウトアンカーが挿入され、自動的に選択されます。



- 3 コールアウトの対象にするアイテムまたはグループを選択します。
- **4 アイテム > コールアウトアンカー > コールアウトアンカーと関連付け**を選択します。ア イテムまたはグループがコールアウトになり、コールアウトとコールアウトアンカーの 間に線が表示されます。

nalis

dabilis apparatus bellis uam umbraculi vix nedibiliter fortiter coristus iocari saburre,

, semper aegre perspii suffragarit apparatus



Aegre saetosus rures imputat satis bellus umbrac.

コールアウトと関連付けられたコールアウトアンカー

- 5 コールアウトアンカーを設定します。コールアウトアンカーを設定するには、下記の2つ の方法があります。
 - コールアウトスタイルをコールアウトアンカーに適用するには、コールアウトスタイルパレット(ウィンドウメニュー)を表示して、コールアウトスタイルの名前を クリックします。または、アイテム>コールアウトアンカー>コールアウトスタイ ル>[コールアウトスタイル名]を選択します。詳細は、「コールアウトスタイルの 使用」を参照してください。
 - コールアウトアンカーの設定を直接編集するには、アイテム>コールアウトアンカー
 >コールアウトの設定の編集を選択します。コールアウトスタイルがコールアウト アンカーに適用されている場合、変更を行うと、コールアウトスタイルの設定は上 書きされます。

コールアウトアンカーまたはコールアウトスタイルを設定する方法の詳細は、 「*コールアウトアンカーの設定*」を参照してください。

コールアウトアンカーの設定

コールアウトアンカーを設定するプロセスは、コールアウトスタイルを設定する場合や、 コールアウトアンカーを直接設定する場合と基本的に同じです。

コールアウトアンカーを設定するには、下記の手順に従ってください。

- 1 コールアウトアンカーを選択して、アイテム>コールアウトアンカー>コールアウトの 設定の編集を選択します。コールアウトの設定の編集ダイアログボックスが表示されます。
- 2 コールアウトの水平方向揃えを制御するには、**水平方向のコールアウトの位置基準**領域 のコントロールを使用します(オフセットフィールドでは、コールアウトを本来の位置 から水平方向にどれだけずらすかを調整できます)。

- ▶ 水平方向のコールアウトの位置基準ドロップダウンメニューからスプレッドを選択して、 水平方向のオフセットを指定すると、左側ページでは、そのオフセットは反転します。た とえば、コールアウトが右側ページで必ず内側のマージンの0.25インチ内側になるよう に設定できます。そのようなオフセットの場合、コールアウトは右に移動しますが、左側 ページでは、オフセットによってコールアウトは左に移動する必要があります。
 - 3 コールアウトの垂直方向揃えを制御するには、**垂直方向のコールアウトの位置基準**領域 のコントロールを使用します(オフセットフィールドでは、コールアウトを本来の位置 から垂直方向にどれだけずらすかを調整できます)。
- 4 コールアウトの配置を手動で変更できるようにするには、手動でのコールアウトの配置 を許可をオンにします。オンにした後は、コールアウトを移動させると、オフセット フィールドの値は自動的に更新され、コールアウトの新しい位置が反映されます。 コールアウトの配置を手動で変更できないようにするには、このボックスをオフにして おきます。
- 5 コールアウトがページのマージンを超えて拡大されないようにするには、マージン内で 保持するをオンにします。
- 6 **OK**をクリックします。
- コールアウトスタイルの使用

コールアウトスタイルによって、頻繁に使用する設定を簡単にコールアウトアンカーに 適用できます。コールアウトスタイルの作成、編集、複製、または削除を行うには、**コー** ルアウトスタイルダイアログボックス(編集>コールアウトスタイル)を使用します。 このダイアログボックスを使用して、他のプロジェクトからコールアウトスタイルを追 加することもできます。

(00.15) / L. / L. MIJ, / I	2 C 2 T . U PA,		
回のた.44年3,47 の位置揃えの対抗 ルアウトの位置	シェン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	エニパロン酸化 モードの位置揃え: セット:0 px:手動	- /// / / · · · · · · · · · · · · · · ·
回知へ、44回, 4 の位置揃えの対 ルアウトの位置打 許可: TRUE; マー	↓ 象: ページ; 参照 揃え: 上端; オフ・ −ジン内で保持す	エニンロンRAL モードの位置揃え: セット:0px;手動 "る:TRUE	上端; コー での配置を
ローロン・4 mai, 41 の位置揃えの対抗 ルアウトの位置持 許可: TRUE; マー 新規	シモノー・S pA, 象: ページ; 参照 揃え: 上端; オフ・ ージン内で保持す 編集	エニノバーンRAL モードの位置揃え: セット:0px;手動 る:TRUE 複製	上端; コー での配置を 削除

コールアウトスタイルダイアログボックス

▶ デフォルトのコールアウトスタイルは、編集はできますが、削除することはできません。
コールアウトと回り込み

回り込みのあるコールアウトによってそのコールアウトアンカーが移動した場合、エラー 状態になる可能性があります。たとえば、コールアウトの回り込みによってコールアウ トアンカーが次のページに押し出されると、コールアウトは次のページに移動します。 また、コールアウトアンカーが前のページに戻ると、コールアウトは前のページに戻り ます。以降も同じ状態になります。

このような状況がQuarkXPressによって検出されると、下記のような事象が発生します。

- コールアウトが、デフォルトのコールアウトスタイルで定義されている設定に切り替わります。コールアウトアンカーが選択されている場合、コールアウトスタイルパレットで、コールアウトスタイルの名前の隣に←アイコンが表示されます。
- 2 まだエラーが発生する場合は、QuarkXPressによってスタイル解除の設定がコールアウトに適用され、コールアウトが最後に有効だった場所に配置されます。
- 3 アプリケーションで有効な場所が見つからない場合は、コールアウトに対する回り込みが無効になります。このようにコールアウトの回り込みがQuarkXPressによって無効になった場合、コールアウトに、このビジュアルインジケータも配置されます。
- ビジュアルインジケータを表示するには、表示>ビジュアルインジケータをオンにします。

このようなコールアウトに対して回り込みを有効に戻すには、設定ダイアログボックスの回り込みタブ(アイテムメニュー)、またはメジャーパレットの回り込みタブにあるドロップダウンメニューを使用します。

テーブルの使用

QuarkXPressでのテーブルは、テキストボックス、画像ボックス、テキストパス、また はラインのような明確なアイテムです。テーブルを使用する場合、セルは、個々の画像 ボックス、テキストボックス、またはコンテンツなしのボックスと同じように考えるこ とができ、他のアイテムを使用するときと同じようにセルを使用できます。行や列など のテーブル自体の要素を使用して作業する場合は、**テーブル**メニューを使用します。

テーブルの描画

テーブルの描画およびそのプロパティの指定については、下記の手順に従ってください。

1 **ツール**パレットからテーブルツールを選択して、最終的に作成するテーブルと同じく らいのサイズの方形を描き、マウスボタンを放します。テーブルのプロパティダイアロ グボックスが表示されます。

テープルの	プロパティ
行数: 62	コラム数: 142
縦組み/横組み	セルタイプ
• 水平方向	テキストセル
○ 垂直方向	○ 画像セル
テーブルの方向	オートフィット
• 水平方向	□ 行数
○ 垂直方向	_ 列
タブの順序: Z, 🗧	🗌 セルをリンク
リンクの順序: 乙、+	○ ジオメトリを保持
	□ 外部データヘリンク
	キャンセル OK

テーブルのプロパティダイアログボックス

- 2 行数フィールドで行の数を指定し、列数フィールドで、列の数を指定します。
- 3 デフォルトのセルタイプを指定するには、セルタイプ領域で、テキストセルまたは画像 セルをクリックします。後で、必要に応じて、特定のセルを選択してコンテンツのタイ プを変換できます。
- チキストが追加されるのにしたがって拡張するテキストセルを作成する場合は、オート フィットエリアのコントロール類を使用します。
- 5 Tabを押してテーブル内でセルを移動するときの順序を変更したい場合は、**タブの順序**ドロップダウンメニューで別のオプションを選択できます。
- 6 テキストセルをリンクさせて、取り込んだテキストが(リンクされたテキストボックスのように)特定のセルをフローするようにするには、セルをリンクチェックボックスをオンにします。セルをリンクチェックボックスをオンにすると、リンクの順序ドロップダウンメニューから、テキストセルをリンクする順番を選択できます。
- この方法でセルをリンクしない場合は、後で連結ツール、またはテーブルメニューのテキ ルトセルをリンクコマンドを使用してリンクすることができます。または、テキストセル をリンクしない場合でも、データの入力または編集時にTabを使用してセル間を移動でき ます。
 - **7** Excelからデータを取り込む場合は、**外部データへリンク**チェックボックスをオンにしま す。詳細は、「*Excelテーブルの取り込み*」を参照してください。
 - 8 行を追加または削除してもテーブルを同じサイズのままにしておく場合、ジオメトリを 保持をオンにします。
 - 9 テーブルのセルの縦組み/横組みを指定するには、縦組み/横組み領域で、水平方向または垂直方向をクリックします。
 - 10 テーブルの方向を指定するには、テーブルの方向領域で、水平方向または垂直方向をク リックします。

11 OKをクリックします。

テキストからテーブルへの変換

テキストをテーブルに正常に変換できるかどうかは、テキストの準備自体に依存してい ます。テキストブロック内では、段落、タブ、スペース、またはカンマ(QuarkXPress で変換可能な文字)を一貫性のある方法で使用することが重要です。これらの文字は、 行および列を定義するためにテーブル変換で使用されるからです。ユーザーがワードプ ロセッサを使用して列を並べる場合は、適切なタブストップを設定するよりも、複数の タブ文字を使用するのが一般的です。変換するテキストブロックにそのようなタブ文字 が複数含まれている場合、おそらくそのテキストブロックでは、データ列の間にあるタ ブの数に一貫性がありません。そのような場合は、タブ文字に一貫性を持たせてから、 テキストをテーブルに変換する必要があります。

テキストをテーブルに変換するには、下記の手順に従ってください。

- 1 **テキストコンテンツ**ツール **エ**を使用して、テーブルに変換するすべてのテキストを選択します。
- 2 テーブル>テキストのテーブル変換を選択して、テキストのテーブル変換ダイアログボックスを表示します。QuarkXPressは、選択されたテキストに基づいて、次の値で行を分割、次の値で列を分割、および選択されたテキストでの最悪のシナリオで必要とされる行および列の値を推測します。

テキストのテーブル変換 X
次の値で行を分割(R): <mark>段落 ></mark>
次の値で列を分割(C): タブ 🛛 🗸
行数(W): 1
コラム数 1
セル〜の流し込み方向 🛛 🔼 💌
オ ート フィッ □ 行数(S) □ コラム数(O)
OK キャンセル

テキストのテーブル変換ダイアログボックス

- 3 テキストが追加されるのにしたがって拡張するテキストセルを作成する場合は、オート フィットエリアのコントロール類を使用します。
- 4 テーブル内の情報を別の方法で流し込む場合(たとえば、現在の値は降順でも、昇順の ほうが効果的な場合)は、流し込み方法を変更できます。セルへの流し込み方法ドロッ プダウンメニュー(デフォルトは、左から右へ、上から下へ)からオプションを選択し ます。
- 5 OKをクリックします。元のテキストボックスから分かれて新しいテーブルが作成されま す。

Excelテーブルの取り込み

テーブルのデータは多くの場合、Excelなどのスプレッドシートプログラムで作成されて おり、このようなテーブルデータは画像の取り込みと同じように取り込むことができま す。手法は多少異なりますが、同じ結果が得られます。テーブルデータの取り込みの場 合は、QuarkXPressのテーブルをExcelファイルとリンクさせてトラッキングやアップ デートを行います。

ᄥ .xlsxファイルのみをQuarkXPressへ取り込むことができます。

テーブルのプロパティダイアログボックスの**外部テーブルへリンク**機能を使用してExcel からテーブルを取り込む場合は、画像の使用状況をトラッキングする場合と同じように テーブルの使用状況をトラッキングできます。これによって、ソーステーブルが変更さ れた場合には通知を受けることができ、レイアウトを出力(印刷、出力ファイルの収集、 PDF形式での保存)するとき確実に最新のテーブルデータを使用できます。テーブルの状 況をチェックするには、**補助 > 使用状況**を選択して、**テーブル**タブをクリックします。

テーブルは画像と同じ方法でアップデートできますが、下記の点に注意する必要があります。

- Excelテーブルを最初に取り込むときに、テーブルのリンクダイアログボックスの フォーマットを含むチェックボックスをオンにすると、QuarkXPressでもExcel フォーマットが可能な限り保持されます。後でテーブルをアップデートすると、以 前にQuarkXPressで適用したローカルフォーマットが消去され、Excelファイルの フォーマットで置き換えられます。
- Excelテーブルを最初に取り込むときに、テーブルのリンクダイアログボックスの フォーマットを含むチェックボックスをオンにしない場合、テーブルのExcelフォー マットは破棄されます。後でテーブルをアップデートすると、以前にQuarkXPress でテーブルに適用したローカルフォーマットが保持されます。

QuarkXPressでの、Excelテーブルの取り込みおよびリンクの保持については、下記の手順に従ってください。

- 1 **テーブル**ツールを使用して、必要な大きさのテーブルをドラッグして描画します。マウ スボタンを放すと、**テーブルのプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。
- 2 外部データヘリンクチェックボックスをオンにします。
- 3 OKをクリックすると、テーブルのリンクダイアログボックスが表示されます。

テープルのリンク
ソース
種類: Excel 🗢
名前: 10.7:Users:quark:Desktop:Backt 参照
テーブル
シート: Sheet2 ᅌ
範囲: A1:U23 \$
オプション
✓ 非表示行を含む
✓ 非表示列を含む
○ スタイルシートを含む
□ インラインテーブル
ヘッダー行: 0 √ ボックスに適合
表の書式: テーブルスタイルなし ◇
キャンセル ОК

テーブルのリンクダイアログボックス

- 4 参照をクリックして、取り込むExcelファイルの場所を選択します。
- 5 ファイルに複数のワークシートが含まれている場合は、シートドロップダウンメニュー から取り込むシートを選択します。データの一部のみを取り込みたい場合は、範囲フィー ルドにセルの範囲を指定するか、ドロップダウンメニューから規定の範囲を指定します。
- 6 オプション領域で、取り込む属性のチェックボックスをオンにします。
- 7 OKをクリックします。
- 数式および参照は取り込まれません。ただし、数式や参照によって得られる値は取り込ま れます。挿入された画像は取り込まれません。自動フィルタ、または詳細フィルタ(デー タ>フィルタ)が適用されたテキストは、スタティックテキストとして取り込まれます。
- ➡ Excelデータからすばやくテーブルを作成する方法、つまり、アップデート用にソーステー ブルをQuarkXPressプロジェクトにリンクさせずにテーブルを作成する方法は、コピー アンドペーストすることです。これを行うには、Excelワークシートで取り込みたいデー タを部分的に選択して、選択したデータをコピーします。次に、QuarkXPressに切り替 えて、編集>ペーストを選択します。QuarkXPressは、そのデータに適したテーブルを 作成して、テキストを挿入します。

Excelチャートの取り込み

Excelで挿入>グラフまたは挿入>図を使用して作成したチャート(グラフ)や画像 (図)をQuarkXPressレイアウトで使用する場合、他の画像を取り込むのと同じ方法で、 チャート(グラフ)や画像(図)を取り込めます。これには、画像の取り込みダイアロ グボックス(ファイルメニュー)のチャートを挿入を使用します。Excelから取り込んだ チャートおよび画像は、他の画像と同じように、使用状況ダイアログボックス(ユーティ リティメニュー)の画像タブで追跡できます。

インラインテーブル

EXcelのテーブルを取り込み、テキストとインラインに挿入できます。

インラインテーブルには、デザイナーテーブルと比べて次の利点があります。

- 複数のページにまたがる大きなテーブルを作成するときは、インラインテーブルの 方がはるかに高速です。
- テーブルスタイルは、インラインテーブルにのみ適用できます。

インラインテーブルの挿入

Excelテーブルを取り込んで、テキストとインラインに挿入するには、下記の手順に従っ てください。

- 1 テキストのうち、テーブルを挿入する場所にカーソルを置きます。
- 2 アイテム>インラインテーブルの挿入 を選択します。 [テーブルのリンク] ダイアログ ボックスが表示されます。

	テーブルのリンク
ソース	
種類:	Excel
名前:	10.7:Users:quark:Desktop:Backt 参照
テーブル	
シート:	Sheet2
範囲:	A1:U23
オプション	
🔽 非表示行を含	む 🔽 フォーマットを含む
✓ 非表示列を含	含む 🔽 ジオメトリを含む
□ スタイルシー	- トを含む
	テーブル
ヘッダ	ー行: 0 ✓ ボックスに適合
表の	書式: テーブルスタイルなし ◇
	キャンセル OK

テーブルのリンクダイアログボックス

3 参照をクリックして、取り込むExcelファイルの場所を選択します。

- 4 ファイルに複数のワークシートが含まれている場合は、シートドロップダウンメニューから取り込むシートを選択します。データの一部のみを取り込みたい場合は、範囲フィールドにセルの範囲を指定するか、ドロップダウンメニューから規定の範囲を指定します。
- 5 オプション領域で、取り込む属性のチェックボックスをオンにします。
- 6 ヘッダー行フィールドで、何行のヘッダー行を含めるかを指定します。
- 7 テーブルスタイルドロップダウンメニューで、取り込まれたテーブルに適用するテーブ ルスタイルを選択します(オプション)。詳細は、「テーブルスタイル」を参照してく ださい。
- 8 OKをクリックします。

テーブルスタイル

テーブルスタイルを編集するには、ウィンドウ>テーブルスタイルを選択し、テーブル スタイルパレットを表示します。このパレットの上端にあるボタンを使用して、テーブ ルスタイルの追加、編集、複製を行えます。既存のテーブルスタイルを選択して ンをクリックするか、国ボタンをクリックして新しいテーブルスタイルを追加します。

テーブルスタイルの編集ダイアログが表示されます。

• 名前フィールドに、テーブルスタイルの名前を入力します。入力しない場合、アプ リケーションによりデフォルト名の「新規テーブルスタイル」が使用されます。

7	゠ーブルスタイルの	編集	
名前: 新しいテープルスタイル			
幅広い表形式:			
フレーム:	0 pt 💠	■ ブ…	100% 🗘
コーナー: 「 0 px 0 テキ	キストポックスの幅:	100% ¢ セル	/閒隔: 0 px 0
жп			1 1
デフォルト			
+ -			
湿切した冬桂についてフォーフット			
通知した来自についてフォーマット:			
セルのパディング: 🗐 0 pt	: 🔹 📃 0 pt	🗘 📃 🛛 pt 🗘	🗐 0 pt 🗘
バックグラウンドカラー: 🗌 白	0	100% 🗘	100% 🗘
左のグリッドライン:	— 💿 🗮 🛛 pt		100% \$
上のグリッドライン:	- 🔿 🔳 0 pt	 ↓ ↓	100% \$
右のグリッドライン:			100% =
下のグリッドライン			
			100%
テキストスタイルシート: ¶標	準 ᅌ		
□ 画像	をセルに合わせる		
		キャン	ел ок

• 新しいテーブルスタイルに適用するテーブル属性を指定します。

終了したら、**OK**をクリックします。

ボックス、ライン、およびテーブル

➡ テーブルスタイルを追加すると、テーブルスタイルパレット(ウィンドウ>テーブルス タイル)に一覧表示されます。インラインテーブルを挿入するとき、この新しいスタイル を使用できます。

テーブルへのテキストと画像の追加

テーブルを操作するときには、テーブルセルをテキストボックスや画像ボックスと同じ ようなものとして考えることができます。各ボックスには、次のセルにリンクされるか、 またはリンクされないテキストや個々の画像、または何もなし(単なるブレンド)など のコンテンツが含まれます。このため、テキストの入力やインポート、または画像のイ ンポートによって、ボックスに追加したコンテンツと同じ量のコンテンツをテーブルに も追加できます。

テキストセルから画像セルへの変換は、テキストボックスを画像ボックスに変換するのと 同じ方法で実行できます。変換するすべてのセルを選択してから、アイテム>コンテン ツ>画像を選択します。

テーブルテキストの編集

テーブル内のテキストの編集では、セル間のナビゲート方法とフォーマット用テキスト の選択方法の2つの重要事項を理解しておく必要があります。テキストを使用する場合は 通常、先に**テキストコンテンツ**ツール

テーブルでのナビゲートは下記の要領で行います。

- テキストの入力や取り込みを行うセルでクリックします。
- Tabを押して、次のセルに移動します。
- Shift+Tabを押して、前のセルに戻ります。
- 矢印キーを押して、セルのテキスト内を移動し、別のセルに移動します。
- ➡ テキストセルにタブ文字を入力するには、Control+Tabを押します。右インデントタブ を入力するには、Option+Tab/Control+Shift+Tabを押します。テーブル内で小数点 やその他の文字で数値を揃えるには、各テーブルセルにタブを挿入して、該当する揃えタ ブストップ(スタイル>タブ)を指定します。

行と列にあるテキストの選択は下記の要領で行います。

- 1行のすべてのテキストを選択するには、テーブルの右エッジまたは左エッジの外側 をクリックします。
- 1例のすべてのテキストを選択するには、テーブルの上エッジまたは下エッジの外側 をクリックします。
- 複数の行や列にまたがるすべてのテキストを選択するには、テーブルのエッジに沿ってドラッグします。
- 隣接していない行や列にあるテキストを選択するには、Shiftを押しながら特定の行 や列をクリックします。
- さまざまな行と列にあるテキストを選択するには、テーブルメニューにある選択サ ブメニューのオプションを使用します。オプションには、セル、行、奇数行、偶数 行、列、奇数列、偶数列、全てのセル、ヘッダー行、フッター行、および本文のセ

ルがあります。テーブルメニューの選択コマンドは、1つおきの行や列に異なるフォー マットを適用するのに便利です。

テーブルのセルのリンク

セルがリンクされると、セルに入力、インポート、またはペーストされるテキストが、 リンクされたストーリーの最初のテキストセルに入力され、さらにリンクされた後続の 各セルにフローされます。リンクされたボックスのテキストと同様に、リンクされたセ ルのテキストフローを制御するには、次列キャラクタ(数字キーパッドのEnter)を使う と便利です。テーブルのセルを互いにリンクするだけでなく、セルをテキストボックス やテキストパスにリンクしたり、テキストボックスやテキストパスからリンクしたりで きます。

- テーブルのすべてのセルをリンクするには、テーブルの作成時にテーブルのプロパ ティダイアログボックスのセルをリンクをオンにします。
- テーブル内で選択したセルをリンクするには、テーブル>テキストセルをリンクを 選択します。選択したセルのうち、最初のセル以外はすべて空になっている必要が あります。
- テーブルのセルを手動でリンクするには、連結ツールを使用します。テキストボックスのリンクと同様に、開始セルをクリックして選択してから、追加したい次のセルをクリックします。既存のリンクをリダイレクトするには、連結ツールを使用してShiftキーを押しながらクリックします。
- テーブルのセルをリンク解除するには、連結解除ツールを使用して、リンクされたセル間にある矢印の尖っていないほうの端をクリックします。
- テーブルのセルをテキストボックスまたはテキストパスにリンクするには、連結ツー
 ルシケ使用します。
- テーブル>セルを統合を使用してリンクされたセルを連結する場合、連結されたセルは テキストチェーンから削除され、残りのリンクは影響を受けません。テーブル>セルを 分割を使用して連結されたセルを分割する場合、リンクは保持され、テキストは指定した リンクの順序に従ってフローします。

テーブルのフォーマット

Windowsでは、QuarkXPressの他のアイテムと同様に、テーブルにもテーブル属性を フォーマットするための設定ダイアログボックス(アイテムメニュー)があります。設 定ダイアログボックスで利用できるペインは、選択した項目によって異なります。たと

えば、テーブル全体を選択するにはアイテムツールを使用します。1つまたは複数 のセルを選択するにはテキストコンテンツツールを使用します。または、特定のグ リッドラインや画像セル、テキストセルを選択できます。メジャーパレットとカラーパ レットのオプションには選択したテーブルも反映されるため、ある程度の調整ができま す。

Mac OS Xでは、コンテンツツールが選択されているときはメジャーパレットのテーブ ルタブを使用できます。それ以外の場合、ホームタブでこれらのオプションを使用でき ます。

グリッドラインのフォーマット

グリッドラインは、各行の間の水平方向の線、および各列の間の垂直方向の線のことで す。グリッドラインが選択されているとき、**設定**ダイアログボックス(Windows)の**グ** リッドタブ、またはメジャーパレットのホーム/クラシックタブを使用して、ラインの スタイル、幅、カラー、ギャップカラー、シェード、および不透明度を指定できます。

- 1 グリッドラインをフォーマットするには、まず下記の操作を行います。
 - 個々のグリッドラインを選択する場合は、テキストコンテンツツールTでグリッド ラインをクリックします。
 - 複数のグリッドラインを選択する場合は、Shiftキーを押しながら各グリッドライン をクリックします。
 - テーブル全体についてすべての水平グリッドライン、またはすべての垂直グリッド

ラインを選択する場合は、アイテムツールでテーブルを選択します。次に、設定ダイアログボックスで設定を行います。

- テーブルメニューの選択サブメニューからオプションを選択します。選択肢は、水
 平グリッド、垂直グリッド、ボーダー、または全てのグリッドです。
- 適切なグリッドラインを選択してから、Windowsではアイテム>設定を選択し、グ リッドタブをクリックします。

ーブル 回りえ	込み グリッド	Kovt	クシャドウ			
プレビュー:						
					m	
横(<u>₩</u>):	1 pt	~				
スタイル(Y):			^ኛ ット2		~	
ライン			ギャップ			
カラー(⊆):	■ ブラック	~	カラー(<u>0</u>):	■ ブラック	~	
シェード(<u>s</u>):	100%	~	シェード(<u>E</u>):	20%	~	
「透過度(P):	100%	~	不透過度(<u>I</u>):	50%	~	

設定ダイアログボックスの**グリッド**タブ

- 3 すべてのグリッドライン、垂直グリッドライン、または水平グリッドラインを選択するには、プレビュー領域の右側にあるボタンの1つをクリックします。選択できるボタンは、上から全てのグリッドライン、水平グリッドライン、または垂直グリッドラインです。
- 4 **グリッド**タブで値を変更する場合は、**適用**ボタンを押して**プレビュー**領域で確認しなが ら値を決定できます。
- メジャーパレットのホーム/クラシックタブには、選択したグリッドラインの書式を指定 するためのセクションがあります。

行と列の挿入と削除

テーブルの任意の位置に行と列を挿入できます。行を追加する位置のすぐ上またはすぐ 下にあるセルをクリックします。または、列を追加する位置のすぐ右またはすぐ左にあ るセルをクリックします。その後、テーブル>挿入>行またはテーブル>挿入>列をク リックします。

削除する行や列を選択するには、テーブルエッジに矢印ポインタをドラッグしてShiftを 押しながら矢印ポインタをクリックするか、テーブルメニューの選択サブメニューにあ るコマンド(奇数行など)を使用します。その後、テーブル>削除>行またはテーブル> 削除>列を選択します。

テーブルメニューのジオメトリを保持がオンになっている場合に列や行を削除すると、削除された列や行のスペースを埋めるように既存の列や行のサイズが大きくなります。ジオメトリを保持がオフになっている場合、テーブルは必要に応じて小さくなります。

セルの統合

セルを統合するには、テキストコンテンツツール でShiftを押しながらクリックして、 セルを長方形で選択します。テーブル > セルの統合を選択します。セルの統合を取り消 して周りのテーブルに合わせるには、統合されているセルを選択してテーブル > セルを 分割を選択します。

テキストや画像を含むリンクされていないセルを統合する場合、選択したセルの左上のセルのコンテンツが統合後のセルに残ります。

テーブル、行、列の手動でのサイズ変更

QuarkXPressの他のアイテムと同様に、行、列、テーブルをドラッグしてサイズを変更 できます。行または列のサイズを変更するには、グリッドラインをクリックしてサイズ 変更ポインタを表示します。ポインタを上または下にドラッグして行のサイズを変更す るか、左右にドラッグして列のサイズを変更します。テーブル全体をサイズ変更するに は、サイズ変更ハンドルをドラッグしているときに、下記のいずれかのキーボードコマ ンドを押します。

テーブルでの効果	Mac OS Xのコマンド	Windowsのコマンド
サイズ変更されるテーブルとコ ンテンツ	Command+-	Ctrl
比率を保ちながらサイズ変更さ れるテーブル(コンテンツでは ない)	Shift‡—	Shift‡—

テーブルでの効果	Mac OS Xのコマンド	Windowsのコマンド
比率を保ちながらサイズ変更さ れるテーブルとコンテンツ	Command+Shift	Ctrl+Shift

テキストへのテーブルの変換

データをWordファイルとして保存するなど、テーブルにある現在のデータをエクスポートする必要がある場合、情報をテキストに変換できます。これには、テーブルを選択してから**テーブル > テーブル変換 > テキスト化**を選択します。

テーブルおよびグループの使用

柔軟性を高めるため、**グループ**コマンド(**アイテム**メニュー)を使用してテーブルを他 のアイテムにグループ化できます。また、グループ化された一連のテキストボックス、 画像ボックス、またはその両方にテーブルのセルを変換することによって、テーブルを 分解できます。この方法で、テーブルの要素を分離し、それらの要素をレイアウト内の 他の場所で使用できます。この操作を行うには、テーブルを選択し、**テーブル > テーブ ル変換 > グループ化**を選択します。個々のボックスを操作するには、**アイテム > グルー プ解除**を選択します。

他の場所でのテーブルの継続

テーブルは、1つのページまたはスプレッド(つまり、デザイン内に割り振られたスペー ス内)に必ず収まるとは限らないため、レイアウト内の他の場所に自動的に継続するよ うに設定できます。

テーブルを継続するには、下記の2つの方法があります。

- テキストボックス内のテーブルにアンカーを付加する。簡単に使用できるため、多くの場合、テーブルを分割する際の望ましい方法です。
- テーブルを手動で分割する。この方法は、テーブルを水平方向に分割する場合に必要です(たとえば、テーブルの先頭5列を1ページに配置して、残りの3列を別のページに配置するような場合)。

テーブルが継続されるときでも、テーブルの内容について説明する凡例が必要になりま す。凡例は、自動的に作成および同期されるヘッダー行とフッター行の形で追加できま す。また、先頭以降のテーブル部分に対して、特別な「継続」テーブルのヘッダーを作 成できます。

テキスト内のテーブルへのアンカーの付加

別の場所でテーブルを継続する1つの方法として、テキストボックス内のテーブルにアン カーを付加します。アンカーテーブルは、他のアンカーオブジェクトと同様に、テキス トとともに移動します。また、長すぎてボックス内に入りきらない場合や、アンカーテー ブルを含んでいる段落内の唯一のオブジェクトである場合は、自動的に分割されます。

テーブルにアンカーを付加するには、下記の手順に従ってください。

- 1 テーブルを作成します。
- **2** アイテムツールでテーブルを選択します。
- 3 編集>カットを選択します。

- **4** テキストコンテンツツール を選択してから、テーブルにする位置にテキスト挿入ポイントを配置します。
- **5 編集 > ペースト**を選択します。

この時点で、テーブルは、テキスト内を移動するように、自動的に分割されます。ただし、ヘッダーを追加していない場合は、ヘッダーはありません。詳細は、「テーブルへのヘッダー行とフッター行の追加」を参照してください。

手動でのテーブルの分割

別の場所でテーブルを継続するための1つの方法として、テーブル分割を指定します。 テーブル分割は、これを超えるとテーブルが2つの連結されたテーブルに分割される最大 サイズです。継続テーブルでは、1つのテーブルで列を挿入するなどの変更が加えられる と、その変更がテーブル全体に反映されます。手動でテーブルの継続インスタンスを作 成するには、下記の手順に従ってください。

1 テーブル>テーブル分割を選択して、テーブル分割プロパティダイアログを表示します。

テー ブル分割オプション
□ アンカーテーブルに自動分割を許可
✔ 横: 357 px
✓ 縦: 383 px
ヘッダー行: 1
☑ 継続ヘッダー
最初のヘッダー行
○全てのヘッター行
フッター行: 1
キャンセル OK

テーブル分割プロパティダイアログボックス

- 2 幅がフィールドの値を超えたときにテーブルを分割するには、幅をオンにします。デフォ ルトでは、テーブルの現在の幅が幅フィールドに表示されます。この値を小さくすると テーブルが分割されます。
- 3 高さがフィールドの値を超えた場合にテーブルを分割するには、高さをオンにします。 デフォルトでは、テーブルの現在の高さが高さフィールドに表示されます。この値を小 さくするとテーブルが分割されます。
- 4 ヘッダー行フィールドに値を入力することによって、ヘッダー行の数を指定できます(詳細は、「テーブルへのヘッダー行とフッター行の追加」を参照してください)。
- 5 テーブルにヘッダーがある場合は、継続ヘッダーをオンにして、テーブルの継続インス タンスで表示する、別バージョンのヘッダーを作成できます。たとえば、テーブルの先 頭部分のヘッダーが「List of Contributors」である場合、継続ヘッダーは、「List of

Contributors(continued)」のようになります。最初のヘッダー行をクリックして、 継続ヘッダーを先頭ヘッダー行に限定するか、または全てのヘッダー行をクリックして、 すべてのヘッダー行から継続ヘッダーを作成します。

継続ヘッダーの内容を設定するには、このダイアログボックスを閉じてから、先頭以降 のテーブル部分に移動して、そこでヘッダーの内容を変更します。

- 6 フッター行フィールドに値を入力することによって、フッター行の数を指定できます。
- 7 OKをクリックします。テーブルの高さまたは幅がテーブル分割の基準を満たすと、テーブルは2つ以上の連結されたテーブルに分割されます。継続テーブルは、レイアウト内の他の場所に移動させることができます。テーブルは、後で行や列のサイズを変更したり追加したりして調整を加えると、分割される可能性があります。

List of Cor	ntributors
John Smith	
Bob Smith	
Joan Smith	
Eric Smith	



List of Con (contin	tributors ued)
Albert Smith	
Dan Smith	
Bill Smith	
Betty Smith	

継続ヘッダーで分割されたテーブル

テーブル分割機能は両方向で機能します。つまり、テーブルが大きくなると、必要に応じて追加のサブテーブルを使用してテーブルを継続させ、テーブルが小さくなると、必要に応じてテーブルを再結合します。

継続テーブル間の連結を切断するには、継続テーブルのいずれかのインスタンスを選択し、**テーブル > 各テーブルを作成**を選択します。

テーブルへのヘッダー行とフッター行の追加

ヘッダー行とフッター行は、テーブルの継続インスタンスで自動的に繰り返されるよう に指定できます。さらに、ヘッダー行とフッター行は自動的に同期されるため、テキス トの変更が継続テーブルのすべてのインスタンスに反映されます。

List of Cont	tributor	s	List of Con (contin	tributors ued)	
Name	BP	MO	Name	BP	мо
Bob Smith			Tina Smith		
Joan Smith			Albert Smith		
Eric Smith			Dan Smith		
Diane Smith			Bill Smith		
Tom Smith			Betty Smith		
Denise Smith					

この継続テーブルでは、テーブル見出しと列見出しの先頭2行が、テーブルの継続インス タンスのヘッダー行として繰り返されます。先頭の行が継続ヘッダーです。

テーブルにヘッダー行とフッター行を追加するには、下記の手順に従ってください。

- 1 分割するテーブルの設定を行います。詳細は、「*手動でのテーブルの分割*」および「*テキスト内のテーブルへのアンカーの付加*」を参照してください。
- 2 ヘッダー行とフッター行を作成するには、下記の2つの方法があります。
 - ・自動ヘッダーを作成するには、テーブルの先頭の1行または複数の行を選択して、
 テーブル > ヘッダーとして連続複製を選択します。自動フッターを作成するには、
 テーブルの最後の1行または複数の行を選択して、テーブル > フッターとして連続
 複製を選択します。
 - テーブル>テーブル分割を選択します。テーブル分割オプションダイアログボック スが表示されます。ヘッダー行とフッター行の数を設定するには、ヘッダー行フィー ルドとフッター行フィールドにそれぞれ値を入力します。

テーブル分割プロパティ
テープル分割オプション
✓ アンカーテーブルに自動分割を許可
□ 横: 195 px
□ 縦: 109 px
ヘッダー行: 1

フッター行: 0
キャンセルOK

アンカーテーブルの**テーブル分割プロパティ**ダイアログボックス

先頭以降のテーブル部分に表示するセカンダリヘッダーを作成するには、継続ヘッダー をオンにします。たとえば、テーブルの先頭部分のヘッダーが「List of Contributors」 である場合、継続ヘッダーは、「List of Contributors(continued)」のようになりま す。最初のヘッダー行をクリックして、継続ヘッダーを先頭ヘッダー行に限定するか、 または全てのヘッダー行をクリックして、すべてのヘッダー行から継続ヘッダーを作成 します。

終了したら、**OK**をクリックします。

- **3** 継続ヘッダーまたはフッターの内容を設定するには、先頭以降のテーブル部分に移動して、そこでヘッダーの内容を変更します。
- テーブルメニューのヘッダーとして連続複製またはフッターとして連続複製をオフにすれば、ヘッダー行またはフッター行を継続テーブルからいつでも削除できます。
- ➡ 自動ヘッダー行および自動フッター行を追加すると、残りのテーブル行は"本文のセル"と みなされます。テーブルメニューの選択サブメニューにあるオプションにより、継続テー

ブルのすべてのインスタンスで**ヘッダー行、フッター行**、および**本文のセル**すべてを選択 できます。

Table Import XTensionsソフトウェア

Table Import XTensionsソフトウェアでは、データソースにMicrosoft Excel (.xlsx) ファイルを使用して、QuarkXPressでテーブルを作成し、Excelファイルのデータの変更 に合わせて、そのQuarkXPressテーブルを更新できます。また、このXTensionsモジュー ルを使用すると、Microsoft Excelからチャートと画像を取り込み、更新できます。

Table Import XTensionsソフトウェアがアクティブであるかロードされている場合、 QuarkXPressのインターフェイスに下記が追加表示されます。

- **外部データへリンク**チェックボックスは、テーブルのプロパティダイアログボック スに追加されます。
- テーブルタブは、使用状況ダイアログボックスに追加されます。
- **チャートを挿入**タブは、**画像の取り込み**ダイアログボックスに追加され、ワークブッ ク内のすべてのチャートが表示されます。

テキストと組版

テキストは、ほとんどすべての出版物に不可欠なものです。QuarkXPressでは、出版物 内でテキストを直接作成して編集できる他、多くの主要なワードプロセッ シングアプリ ケーションからテキストを取り込むこともできます。標準的なテキストフォーマットと 編集の機能に加え、QuarkXPressには、テキストとその属性の検索と置換、スペルチェッ ク、カスタムスペルチェック用辞書、およびプロジェクト全体でテキストフォーマット を変更するためのフォントの使用状況ユーティリティなどの機能が備わっています。

組版とは、意味や雰囲気がよく伝わるようにテキストの見栄えを整える技術です。 QuarkXPress書体、文字飾り、行送り、間隔を含む、組版のあらゆる面を調整すること で、テキストの雰囲気を調整できます。

➡ ● アイコンで示されるテキスト機能は東アジア言語固有の機能で、QuarkXPress/編 集>環境設定>東アジアメニューで東アジア言語の環境設定を有効にしている場合のみ 利用できます。

テキストの編集

アクティブなテキストボックスにテキストを入力したり取り込むには、**テキストコンテ** ンツツール を使用します。文字は**テキストの挿入ポイント**に入力されます。テキスト 挿入ポイントは点滅した線で示されています。

ストーリーは、テキストボックス内の全テキストです。一連のボックスをつなげると、 全ボックスのテキストがすべて1つのストーリーにまとめられます。

マウスを複数回クリックしてテキストを選択することもできます。ダブルクリックする と、テキスト挿入ポイントを含む単語を選択できます。3回クリックすると、テキスト挿 入ポイントを含む行を選択できます。4回クリックすると、テキスト挿入ポイントを含む 段落全体を選択できます。5回クリックすると、ストーリー全体を選択できます。

ダブルクリックで単語を選択し、それをカットまたはコピーする場合、アプリケーショ ンが単語の文脈を考慮して、新しい場所にその単語をペーストしたときに、必要に応じ てスペースを自動的に追加または削除します。この機能をスマートスペースといいます。 選択する語句に約物を含める場合、語句と隣接する約物の間をダブルクリックします。

ボックスをテキストに合わせる機能

入力されたテキストがテキストボックスに収まらない場合、オーバーフロー記号が表示 されます。テキストが収まるようにボックスのサイズを自動的に調整するには、コンテ キストメニュー(または**アイテム**メニュー)の**ボックスをテキストに合わせる**を選択し ます。**ボックスをテキストに合わせる**機能は、どのような形状やサイズのテキストボッ クスでも使用できます。



➡ この機能は、ロックされているボックスや、ボックスの縦横比がロックされているときは 使用できません。

オーバーフローやアンダーフローが発生しているボックスに、**ボックスをテキストに合わせる**機能を使用できます。

ボックスをテキストに合わせる機能は、リンクされているボックス、マルチコラムのボッ クス、回転されているボックスなど、あらゆる種類のテキストボックスに使用できます。 各種の属性が適用されているテキストや、脚注および文末脚注を含むテキストにも使用 できます。

テキストの取り込みおよび書き出し

テキストを取り込むには、下記のいずれかを実行します。

- テキストコンテンツツール
 を選択し、テキストの挿入ポイントを指定してから ファイル > 取り込みを選択します。引用符を変換オプションをオンにすると、二重 ハイフンをemダッシュに変換できます。また、フィートやインチの記号をタイプ セッターのアポストロフィや引用符に変換できます。スタイルシートを含むチェッ クボックスをオンにすると、Microsoft Wordからスタイルシートを取り込むか、 または「XPress Tag」をフォーマットテキストに変換できます。
- テキストファイルをファイルシステムからテキストボックス上にドラッグします
- テキストを別のアプリケーションからテキストボックス上にドラッグします
- Command/Ctrlキーを押しながら、テキストファイルをファイルシステムから画 像ボックスまたはコンテンツなしボックスにドラッグします。
- Command/Ctrlキーを押しながら、テキストを別のアプリケーションから画像ボックスまたはコンテンツなしボックスにドラッグします。

すでにテキストまたは画像が入っているボックスにコンテンツをドラッグすると、ドラッ グされたコンテンツ用に、QuarkXPressが新しいボックスを作成します。新しいボック スを作成せずにボックスのコンテンツを置き換えるには、ボックスにコンテンツをドラッ グしながらCommand/Ctrlキーを押します。ドラッグされたコンテンツに対して常に 新しいボックスを作成するには、Option/Altキーを押したままドラッグします。 取り込まれたテキストがすべてテキストボックスに収まらない場合、オーバーフロー記 号が表示されます。テキストをボックスへ取り込んでから、コンテキストメニュー(ま たはアイテムメニュー)のボックスをテキストに合わせるを選択できます。自動ページ 挿入(QuarkXPress/編集>環境設定>印刷レイアウト>一般ペイン)が有効な場合、 テキストを自動テキストボックスへ取り込んだときに、テキストを含めるため必要に応 じてページが挿入されます。

テキストを書き出すには、まずテキストボックスでテキスト挿入ポイントを指定する (ボックス内のテキストをすべて保存する場合)か、または書き出すテキストを選択し ます。次にファイル>テキスト保存を選択し、形式ポップアップメニューからオプショ ンを選択し、名前を入力して場所を指定してから保存をクリックします。

.docxフォーマットで書き出すには、形式ドロップダウンメニューからWord文書を選択します。

Unicodeオプション付きテキストの取り込みおよび書き出し

テキストの取り込みおよび書き出し時にエンコードの種類を指定することもできます。 エンコードの種類により、テキストで表示される各字形を表すため使用されるバイトシー ケンスが決まります。このオプションは、次のように動作します。

- プレーンテキストまたは「XPress Tag」テキストのファイルを選択した場合、取り込みダイアログボックスにエンコーディングドロップダウンメニューが追加されます。ソフトウェアが選択したテキストファイルのエンコードを決定して適切なエンコードの種類を適用しようとします。ただし、テキストに対して別のオプションを指定することもできます。
- プレーンテキストまたはXPress Tagテキスト形式でテキストを書き出す場合、テキ スト保存ダイアログボックスにエンコーディングドロップダウンメニューが追加さ れます。
- 引用符を変換オプションでは、引き続き直接引用符をタイプセッターの引用符に変換する、あるいは二重ハイフンをemダッシュに変換できます。

テキストの検索と置換

検索/置換パレット(編集メニュー)を使用すると、標準的な検索および置換の操作を 実行できます。さらに、このパレットを使用して下記の操作を実行できます。

- ワイルドカード文字を使用した検索および置換: Command+Shift+?/Ctrl+Shift+?
- スタイルシート、フォント、サイズ、色、入力スタイル(OpenTypeスタイルを含む)など、テキストの書式の検索および置換
- テキストに含まれている、改行ありまたは改行なしのスペース/ダッシュ/ハイフンに基づいて検索と置換を行います(たとえば、改行ありのスペースをすべて検索し、改行なしのスペースに置き換えることができます)。
- 検索/置換の操作を単一のストーリーまたはレイアウト全体に制限
- 文字の言語に基づいた検索および置換(「文字言語の適用」を参照)
- 合字の検索および置換
- •特殊文字の検索および置換(「特殊文字コード」を参照)

- 圏点の検索および置換(CJK設定の場合)
- ロックされたコンテンツの検索
- 脚注/文末脚注のテキストの検索および置換。脚注の検索を有効にするには、最初にレイアウトを選択する必要があります。脚注の検索オプションがチェックされているとき、属性無視オプションは無効になり、この時点ではテキストのみを検索および置換できます。

Option/Altキーを押すと、検索ボタンが最初を検索に変わります。

過去10回の検索テキストは、**検索**および**置換**のドロップダウンメニューに保存されています。

Find/Change			×
Find What		Change To	
	~		~
□レイアウト	Whole Word	Ignore Case	Ignore Attributes
Search Locked Content	Search in Footnote		
検索(D)	C <u>h</u> ange, then Find	<u>C</u> hange	Cha <u>n</u> ge All

テキストの検索および置換を行うには、検索/置換ダイアログボックスを使用します。

フォーマットの属性に基づいて検索および置換を実行するには、**属性無視**チェックボッ クスをオフにします。



Trova			Cambia con		
<mark>∕ <u>T</u>esto:</mark>	∖ m	~	☑ <u>T</u> esto:	\m	~
Eoglio stile:	¶ Normale	~	Eoglio stile:	¶ Normale	×
Eont:	Arial	\sim	Eont:	Arial	\sim
<u>Dimensioni</u> :	12 pt	~	Dimensioni:	12 pt	~
<u>C</u> olore:	Nero	~	Colore:	Nero	Y
<u>S</u> tile carattere:	РВГ <u>⊍</u> ₩ Ә € ® S К к	2 * 2	Stile carattere:	₽₿₮௶⊻ቒቒ®₿Ҡк≆	*2 2
Lingua:	Inglese (US)	\times	Lingua:	Inglese (US)	×
Speciale:	Divisibile	~	Speciale:	Divisibile	~
Legature			Legature		
▼OpenType			□ ▼OpenType		
Leg. standard Leg. discr.	Numeri tabulari. Numeri proporzionali.		Leg. standard	Numeri tabulari. Numeri proporzionali.	
Maiuscoletto Tutto maiuscole	Numeri lineari.	_	Maiuscoletto	Numeri lineari.	
Frazioni	Lettere ornate		Frazioni	Lettere ornate	
Ordinali	Alt. titolat.		Ordinali	Alt. titolat.	
✓ Alt. contestuali Posizione	Forme localizzate		Alt. contestuali	Forme localizzate	
Nessuna		~	Nessuna		\sim
Set stilistici:			Set stilistici:		
Nessuna		~	Nessuna		\sim
]Layout	Parola intera		Ignora maiuscole	e 📃 Ignora attributi	
<u>]Ricerca</u> contenuto	bloccato Cerca in note	a piè <u>d</u> i pag	gina		
rova il prossimo	Cambia e trova		Cambia	<u>C</u> ambia tutto	8

特殊文字コード

特殊文字コードを使用して、特殊文字の検索および置換ができます。また、条件付きス タイルの作成時にも、これらのコードを使用できます。

コード	文字
Tab	¥t
新規段落	¥p
新規行	¥n
新規列	¥c
新規ボックス	¥b
バックスラッシュ	¥¥
句点スペース	¥.
フレックススペース	¥f
任意ハイフン*	¥h
インデント位置	¥i
任意改行	¥d

コード	文字
emスペース	¥m
enスペース	¥e
1/3 emスペース	¥5
1/4 emスペース	¥\$
1/6 emスペース	¥^
数字スペース	¥8
極細スペース	¥{
細いスペース	¥[
ゼロ幅スペース	¥z
ゼロ幅スペース(ゼロ幅改行なしスペー ス)*	¥j
条件付きスタイルマーカー(検索/置換 のみ)	¥r
脚注/文末脚注の参照マーカー*	¥o
コンテンツ変数の参照*	¥γ

*条件付きスタイルには適用できません。

➡ *脚注/文末脚注の参照マーカー、またはコンテンツ変数の参照は、検索のみ実行できます。これらを置き換えることはできません。

脚注と文末脚注の使用

脚注と文末脚注は、2つのリンクされた部分で構成されます。テキストに表示される参照 番号と、テキストの下端に表示される脚注/文末脚注テキストです。脚注テキストはペー ジの最後に、文末脚注テキストはストーリーの最後に作成されます。

脚注と文末脚注を挿入/削除すると、テキストへの追加、またはテキストからの削除の ときに自動的に番号が振られます。新しいストーリーごとに最初から番号が振られます。 脚注と文末脚注について、番号のスタイル、表示形式、レイアウトを定義できます。

脚注と文末脚注を、アンカーボックス(ネスト構造のアンカーボックスも含む)内のテ キストへ適用できます。アンカーテキストの脚注テキストはページの下端に表示され、 文末脚注テキストはドキュメントの末尾に表示されます。

脚注/文末脚注は、次の規則に従います。

- QuarkXPressでは、どのような形式でも、脚注/文末脚注のテキスト書き出しはサポートされていません。
- それぞれの脚注/文末脚注のテキストは別のストーリーであるため、ユーザーは脚 注/文末脚注のテキストをまとめて選択できません。

- ・
 脚注/文末脚注は同じプロジェクト内や、プロジェクト間でコピーアンドペーストできます。
- ・脚注/文末脚注は、Microsoft Word (.docx) ファイルから取り込むことができます。

脚注と文末脚注の挿入

脚注や文末脚注を挿入するには、下記の手順に従ってください。

- 1 脚注/文末脚注の参照番号を表示する場所に挿入ポイントを置くか、脚注/文末脚注を 追加する単語を選択します。
- 2 スタイル>脚注/文末脚注を選択します。
- 3 ドロップダウンメニューで、脚注の挿入、文末脚注の挿入、カスタムの脚注/文末脚注 のいずれかを選択します。カスタムの脚注/文末脚注を選択すると、脚注/文末脚注の 挿入ダイアログボックスが開きます。

脚注/文末脚注の挿入
スタイル: 💽 デフォルトの脚注スタイル 🗘
番号を振り直す
開始番号: 1
□ カスタムの脚注/文末脚注
文字: *
キャンセル OK

このダイアログボックスでは、脚注のスタイルを選択できます。 ユーザーは、適用され ている脚注スタイルを別のスタイルに変更するか、文末脚注スタイルに、またはその逆 に変更できます。

脚注/文末脚注は、リンクされているテキストチェーンおよび複数列のボックスでサポートされます。脚注/文末脚注テキストは、テキストチェーン全体にわたって流し込むことができます。

自動番号を新しく開始オプションを使用して、脚注/文末脚注の自動番号を新しく開始 できます。

脚注/文末脚注オプションを使用して、脚注/文末脚注の参照番号にカスタムマークを 指定できます。

4 脚注/文末脚注のテキストを入力します。

脚注/文末脚注がドキュメントへ追加されます。

挿入ポイントが脚注テキスト内にあるとき、スタイル>脚注/文末脚注を選択し、参照 に戻るを選択して、参照されているテキストへ戻ることができます。

- 脚注/文末脚注の参照番号を選択して、スタイル>脚注/文末脚注を選択し、脚注/文 末脚注へ移動を選択して、対応する脚注/文末脚注のテキストへジャンプできます。
- ➡ 次のショートカットキーコマンドを使用して、脚注/文末脚注を挿入、または参照へ戻る ことができます。
 - ・脚注の挿入:Ctrl+Alt+Shift+F1(Windows)、Cmd+Opt+Shift+F1(MacOS X)
 - 文末脚注の挿入:Ctrl+Alt+Shift+F2(Windows)、Cmd+Opt+Shift+F2(Mac OS X)
 - ・参照に戻る:Ctrl+Alt+Shift+F4(Windows)、Cmd+Opt+Shift+F4(MacOS X)

脚注/文末脚注スタイル

脚注/文末脚注スタイルを編集するには、ウィンドウ>脚注スタイルを選択し、脚注ス タイルパレットを表示します。

		*
▼ 脚注	主スタイル	(
÷	/ Ø 🗈	Ũ
D	デフォルトの脚注スタイル	
	デフォルトの文末脚注スタイル	

脚注スタイルを追加、編集、複製、削除するには、脚注スタイルパレットを使用します。

このパレットの上端にあるボタンを使用して、脚注スタイルの追加、編集、複製、削除 を行えます。また、パレットで該当のスタイルをクリックすると、既に適用済みの脚注 /文末脚注の参照番号に、別の脚注/文末脚注スタイルを適用することもできます。パ レットのカスタムの脚注/文末脚注ボタンを使用して、脚注/文末脚注の挿入ダイアロ グにアクセスできます。

新しい脚注/文末脚注スタイルを追加する、または既存の脚注/文末脚注スタイルを編 集するには、既存の脚注スタイルを選択して��ボタンをクリックするか、��ボタンをク リックします。

脚注スタイルの編集ダイアログが表示されます。

➡ 編集>脚注スタイルを選択して脚注スタイルダイアログを表示してから、このダイアログを表示することもできます。既存の脚注スタイルを選択して編集ボタンをクリックするか、新規ボタンをクリックします。

脚注スタイルの編集	×
名前:	Default Footnote Style
参照タイプ:	
箇条書き自動番号スタイル:	123 デフオルト番号スタイル 🗸 🗸
マーカースタイル:	上付き ~
開始番号:	1
番号を振り直す:	削除しない
脚注/文末脚注のフォーマン	> h
段落スタイル:	【¶標準 ~
- ۱ -۲:	マーカースタイルから継承 🗸 🗸
接頭辞: スペースセパレータ	接尾辞: ▶
□ 文末脚注を新しい~~~	ジで開始する OK キャンセル

脚注/文末脚注スタイルの属性を指定します。ダイアログの上半分にある属性は脚注/ 文末脚注の参照テキストに適用され、ダイアログの**脚注/文末脚注のフォーマット**セク ションより下にある属性は実際の脚注テキストに適用されます。

- 名前:このフィールドに名前を入力します。入力しない場合、アプリケーションに よりデフォルト名の「新しい脚注スタイル」が使用されます。
- 参照タイプ:これが脚注と文末脚注のどちらのスタイルかを示します。
- 箇条書き自動番号スタイル:脚注/文末脚注参照番号に適用される自動番号スタイルを、箇条書き自動番号スタイルドロップダウンメニューから選択します。箇条書き自動番号スタイルを作成するには、「箇条書き自動番号スタイルの使用」を参照してください。
- マーカースタイル:参照テキストに表示されるマーカースタイルを、マーカースタイルドロップダウンメニューから選択します。上付き、下付き、箇条書き自動番号から継承の3つのオプションを選択できます。箇条書き自動番号から継承オプションを選択すると、選択した箇条書き自動番号スタイルに適用されている文字スタイルが、マーカースタイルとして適用されます。
- 開始番号:ストーリー内の最初の脚注に使用される番号を指定します。ドキュメン
 トの各ストーリーは、同じ開始番号から始められます。
- 自動番号を新しく開始:自動番号をどのタイミングで新しく開始するかを指定しま す。プロジェクト全体について、自動番号を一切新しく開始しない場合は、しない

テキストと組版

を選択します。選択**各ページ**または**各セクション**を選択すると、それらのタイミン グで脚注の自動番号スタイルが新しく開始されます。このオプションは脚注のみで 使用でき、文末脚注には使用できません。

- ・段落スタイル:段落スタイルシートを脚注/文末脚注スタイルと関連付けるには、
 段落スタイルドロップダウンメニューでオプションを選択します。段落スタイルシートを作成するには、「段落スタイルシートの作成および編集」を参照してください。
- ・文字フォーマット:マーカースタイルから継承を選択すると、脚注/文末脚注の参照番号に適用されたスタイルが保持されます。脚注/文末脚注マーカーに別の文字スタイルを関連付けるには、文字フォーマットドロップダウンメニューで利用可能な文字スタイルシートのリストから、文字スタイルシートを選択します。文字スタイルシートを作成するには、「文字スタイルシートの作成および編集」を参照してください。
- 接頭辞:脚注マーカーの前に表示されるテキストを入力します。
- 接尾辞:脚注マーカーの後に表示されるテキストを入力します。
- 空白セパレータ:脚注/文末脚注のマーカーと、注釈のテキストとの間に表示され る空白セパレータを選択します。
- ・文末脚注を新しいページで開始する:文末脚注を新しいページから開始するか、ストーリーの末尾の直後、同じページから開始するかを指定します。このオプションは文末脚注のみで使用でき、脚注には使用できません。デフォルトでは、文末脚注スタイルの文末脚注を新しいページで開始するオプションはオフになっています。
- ◆ 文末脚注を新しいページで開始するを選択した場合、環境設定の自動ページ挿入を オフに設定しないようにしてください。これを設定すると文末脚注は表示されなく なります。
- ➡ 脚注テキストに適用されている段落スタイルの前段落との間隔および次段落との間 隔設定を使用して、2つの脚注/文末脚注の間隔を指定できます。

終了したら、**OK**をクリックします。

▶ 脚注/文末脚注スタイルを追加すると、脚注スタイルダイアログ(編集>脚注スタイル) と、脚注スタイルパレット(ウィンドウ>脚注スタイル)に一覧表示されます。この新 しいスタイルは、テキストにカスタムの脚注/文末脚注を挿入するとき使用できます。

➡▶ 脚注スタイルは、他のプロジェクトから追加できます。

脚注セパレータ

脚注セパレータは、親テキストと脚注テキストとの間に存在するラインセパレータです。 脚注セパレータのスタイルはボックス属性なので、同じストーリー内の別のボックスや、 同じレイアウト内の別のストーリーに対して、別の脚注セパレータを適用できます。

脚注セパレータのスタイルを追加または編集するには、**編集 > 脚注スタイル**を選択し、 **脚注スタイル**ダイアログを表示します。

脚注スタイル ×
表示(S): 脚注セパレータのスタイル 〜
Default Footnote Separator Style
🔜 新規脚注セパレータスタイル
スタイルの種類:脚注セパレータ;前段落との間隔: へ 自動;次段落との間隔:自動
こう (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
新規(N)▼ 編集(E) 複製(D) 削除(L)
追加(A) 保存(V) キャンセル

表示:の下のドロップダウンメニューで、**脚注セパレータのスタイル**を選択します。既存の脚注セパレータのスタイルが一覧表示されます。既存の脚注セパレータのスタイルを選択して**編集**または**複製**ボタンをクリックするか、**新規**ボタンをクリックします。

脚注セパレータのスタイルの編集ダイアログが表示されます。

脚注セパレータのスタイルの編集	×
名前(N): 新規脚注セパレータ	2.2.2.1.
前段落との間隔: 自動 🛛 🗸	次段落との間隔: 白動 ──
☑セパレータスタイルの段落置	
スタイル: >	/リッド ~
太さ: 1pt 🗸	カラー: ■ブラック 🗸
シェ ード : 100% ~	不透過度: 100% ~
左からの距離(L): 0"	右からの距離(R): 0 [®]
☑ 継続セパレータスタイルの段落員	
スタイル: >	/リッド ~
太さ: 1pt 🗸	カラー: ■ブラック ∨
›≖∽ド: <u>100%</u> ∨	不透過度: 100% 🗸 🗸
左からの距離(L): 0"	右からの距離(R): 0"
	OK キャンセル

脚注セパレータのスタイルについて、次の属性を指定します。

- 名前:このフィールドに名前を入力します。入力しない場合、アプリケーションに よりデフォルト名の「新しい脚注セパレータスタイル」が使用されます。
- 前段落との間隔:セパレータの上(本文とセパレータとの間)にどれだけの間隔を 空けるかを指定します。
- 次段落との間隔: セパレータの下(セパレータと脚注/文末脚注テキストとの間) にどれだけの間隔を空けるかを指定します。
- セパレータスタイルのルール:メインの脚注セパレータスタイルの属性を指定する 場合、このボックスをチェックします。
- ➡ このボックスがチェックされていない場合、テキストと脚注との間にセパレータは 表示されません。
 - 連続セパレータスタイルのルール:脚注が次のページやコラムへ続く場合のセパレー タスタイルの属性を指定する場合は、このボックスをチェックします。
- ➡ このボックスがチェックされていない場合、脚注テキストが次のページやコラムへ オーバーフローすると、2番目のページまたはコラムでは、テキストと脚注との間に セパレータが表示されません。

- スタイル:スタイルドロップダウンメニューで、セパレータのラインスタイルを選択します。
- •幅:幅ドロップダウンメニューでセパレータの幅を選択するか、値を入力します。
- **カラー**: **カラー**ドロップダウンメニューで、セパレータのカラーを選択します。
- シェード:シェードドロップダウンメニューで、スライダツールを使用してセパレー タのシェードを選択するか、値を入力します。
- **不透明度**: **不透明度**ドロップダウンメニューで、スライダツールを使用してセパレー タの不透明度を選択するか、値を入力します。
- **左から**: セパレータの左インデントオフセットを指定します。値は、絶対値または ボックスに対する相対値(パーセント単位)で指定できます。
- 右から: セパレータの右インデントオフセットを指定します。値は、絶対値または ボックスに対する相対値(パーセント単位)で指定できます。

終了したら、**OK**をクリックします。

➡ 脚注セパレータのスタイルを追加すると、脚注スタイルダイアログ(編集>脚注スタイ ル)に一覧表示されます。

新しい脚注セパレータスタイルを適用するには、スタイル > 脚注セパレータのスタイル を選択し、新しいスタイルを選択します。

スペルチェック

スペルをチェックするには、補助 > 英文スペルチェックサブメニューで、単語、ストー リー、レイアウトのいずれかのオプションを選択します。英文スペルチェックパレット が表示されます。

チェック: レイアウト 〜 環境設定…
□ ロックさわた コンテンツク
チェックする単語: optimus
罟換: optimums
optimums 🔨
optimum
opiums
optimism
optimist
optimal
opiumism
options
optime
optimi 🗸
スキップ 置換 全て置換
最後にスキップした 追加 検索
英語(米国) 終了

英文スペルチェックパレット

スペルチェックの範囲を変更するには、**チェック**ドロップダウンメニューからオプショ ンを選択します。使用可能なオプションは、**単語、選択、ストーリーの末尾、ストー リー**、または**レイアウト**です。レイアウトを選択した場合、スペルチェックは適用され たマスターページアイテムをスキップし、すべてのレイアウトページ上でスペルチェッ クをした後でマスターページをチェックします。

ロックされたテキストボックス、テキストセル、およびテキストパスのスペルチェック を行うには、**ロックされたコンテンツの検索**チェックボックスをオンにします。スペル チェックは常にテキスト挿入ポイントから開始されます。

スペルチェックを開始するには、開始をクリックします。アクティブストーリーの先頭からスペルチェックを開始するには、Shiftキーを押しながら開始をクリックします。

間違ったスペルの単語を置換するには、正しいスペルを**置換単語**フィールドに入力する か、正しい単語をリストから選択してから、**置換**をクリックします。間違ったスペルの 単語が登場する箇所すべてを置換するには、**全て置換**をクリックします。

置換単語フィールドの単語の候補を検索するには、検索をクリックします。

選択された単語をスキップするには、スキップをクリックします。単語をスキップする と、最後にスキップしたボタンが有効になります。このボタンをクリックすると、最後 にスキップした単語へ戻ることができます。スキップの履歴は、現在のスペルチェック セッションの間のみ保持されます。

置換単語フィールドの単語をユーザー辞書に追加するには、追加をクリックします。ユー ザー辞書が開いていない場合、追加をクリックした後でユーザー辞書を選択または作成 できます。すべてのチェックする単語をユーザー辞書に追加するには、Option+Shiftキー /Alt+Shiftキーを押しながら全て追加をクリックします。 英文スペルチェックパレットを閉じるには、終了をクリックします。

- ▶ スペルチェックは、表示されているレイヤーのテキストボックスのみに制限されます。
- 英文スペルチェックパレット以外の場所をクリックしてからパレットに戻ると、スペル チェックを再開できます。
- 英文スペルチェックパレットでの変更を元に戻すには、編集 > 「テキストの変更」の取り消しを選択します。
- スペルチェックの環境設定を表示するには、環境設定をクリックします。詳細は、「環境 設定 - アプリケーション - スペルチェック」を参照してください。

ユーザー辞書

スペルチェックで単語にフラグが付かないようにするには、 **ユーザー辞書**を作成し、そ こに単語を追加します。ユーザー辞書を作成するには、下記の操作を行ってください。

- (Windows)補助>ユーザー辞書を選択し、名前を入力して新規をクリックします。
- (Mac OS X) 補助 > 英文スペルチェック > ユーザー辞書を選択し、名前を入力 して新規をクリックします。
- ユーザー辞書に用語を追加するには、下記の操作を行ってください。
 - (Windows) 補助 > ユーザー辞書の編集を選択します。
 - (Mac OS X) 補助 > 英文スペルチェック > ユーザー辞書の編集を選択します。
- ➡ QuarkXPress 2015から、ユーザー辞書は.xml形式で保存されるようになりました。ユー ザーはQuarkXPress 2016で従来のバージョンのドキュメントとユーザー辞書を開くこ とができますが、辞書は.xml形式に変換されます。

アーティクルで一度に開くことのできるユーザー辞書は1つだけです。**ユーザー辞書**ダイ アログボックスの**閉じる**をクリックするまで、または別のユーザー辞書を開くまでユー ザー辞書とアーティクルの関連付けが保持されます。

ユーザー辞書は、独立したファイルとしてハードドライブに保存されます。アーティク ルのユーザー辞書のパスはプロジェクトとともに保存されるため、開いているユーザー 辞書を別のフォルダまたはボリュームに移動すると、アプリケーションはその辞書を検 索できなくなります。

英文スペルチェックパレットを閉じずにユーザー辞書を作成または開くには、保持する 単語をハイライトした状態で**追加**をクリックします。

すべてのチェックする単語をユーザー辞書に追加するには、Option+Shiftキー/Alt+Shift キーを押しながら**全て追加**をクリックします。

単語および文字のカウント

レイアウトやストーリーの単語数および文字数を表示するには、**補助 > 単語数と文字数** サブメニューで、**レイアウト**または**ストーリー**のオプションを選択します。**ストーリー** オプションは、ストーリーが選択されているときのみ利用可能です。

単語数と文字数	×
単語数 - レイアウト	
総単語数:	47
同一語を無視:	29
文字数	
全角文字:	0
半角文字:	327
文字数合計:	327
注音符号:	0
▶ハンゲル:	0
▶ かな:	0
漢字:	0
シンボル:	0
私用領域文字:	0
閉じる	

単語数と文字数	×
単語数 - レイアウト	
総単語数:	75
同―語を無視:	49
文字数	
全角文字:	0
半角文字:	684
文字数合計:	684
注音符号:	0
▶ハンゲル:	0
▶ かな:	0
漢字:	0
シンボル:	0
私用領域文字:	0
閉じる	

単語数と文字数ダイアログボックス

単語数領域に、ストーリーやレイアウトに含まれているすべての単語数と、固有の単語 数が表示されます。

文字数領域に、ストーリーやレイアウトに含まれているすべての文字数と、特定言語の 文字数が表示されます。

➡ 私用領域文字は、Unicode文字の範囲外で指定された固有の文字で、個人、組織、ISOおよびUnicodeに関するコンソーシアムに参加していないソフトウェアベンダーによって登録されたものです。

文字属性の適用

QuarkXPressでは、テキストフォーマットを文字単位で制御して精度を維持できます。

フォントの適用

選択したテキストにフォントを適用するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- スタイル>フォントを選択し、サブメニューからフォントを選択します。
- (Windowsのみ):文字属性ダイアログボックス(スタイル>文字設定)を表示し、フォントメニューからフォントを選択します。
- メジャーパレットのホーム/クラシックまたは文字/文字属性タブにあるフォント ドロップダウンメニューからフォントを選択します。
- Command+Option+Shift+M/Ctrl+Alt+Shift+Mを押すと、メジャーパレットの フォントフィールドに直接移動します。フォント名が認識されるまで最初の方の文 字をいくつか入力してReturn/Enterキーを押します。

フォント一覧の上部に最後に使用したフォントが表示されます。

- (Windowsのみ)フォントメニューにフォントのプレビューを表示するには、環境設定 ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のフォントペインにあるフォント メニューに表示チェックボックスをオンにします。この環境設定を一時的に上書きするに は、Shiftキーを押します。
- (Mac OS Xのみ): QuarkXPressでは、フォントのポップアップにすべての書体のプレビューが自動的に表示されます。この環境設定を一時的に上書きするには、Shiftキーを押します。

フォントサイズの選択

2~16128ポイントのフォントサイズを適用できます。選択したテキストにサイズを適用 するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- スタイル > サイズを選択し、サブメニューからポイントサイズを選択します。
- 現在のフォントサイズの横にある矢印をクリックし、ポイントサイズの一覧を表示します。次にその一覧からサイズを選択するか新しいポイントサイズを入力します。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。

Mac OS X

- 1ポイント拡大: Command+Option+Shift+>
- 1ポイント縮小: Command+Option+Shift+<
- プリセット範囲で拡大: Command+Shift+>
- プリセット範囲で縮小: Command+Shift+<

Windows

- 1ポイント拡大: Ctrl+Alt+Shift+>
- 1ポイント縮小: Ctrl+Alt+Shift+<
- プリセット範囲で拡大: Ctrl+Shift+>
- プリセット範囲で縮小: Ctrl+Shift+

文字飾りの適用

選択したテキストに文字飾りを適用するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- •スタイル>文字飾りを選択し、サブメニューから文字飾りを選択します。
- (Windowsのみ):スタイル>文字設定を選択し、文字飾り領域のチェックボックスをオンにします。
- メジャーパレットのテキストスタイルドロップダウンメニューから文字飾りを選択します。テキストスタイルドロップダウンメニューの左にあるアイコンを使用してボールドおよびイタリックの文字飾りを適用します。選択したテキストからすべての文字飾りを削除するには、テキストスタイルドロップダウンメニューから文字飾りを全て削除を選択します。

既存フォントは、「Times New Roman MT Std」フォントファミリー内の「Times New Roman MT Std Bd」など、フォントファミリーに組み込まれた異なるフォントス タイルです。

シミュレートされたフォントは、ボールド、イタリック、またはボールドイタリックを シミュレートするために変更された標準既存フォントです。フォントファミリーに別個 の既存フォントとしてボールドまたはイタリックの形式が含まれていない場合、オペレー ティングシステムが、ボールドまたはイタリック形式のフォントを作成する**変換**を実行 できるようにボールドおよびイタリックの文字飾りを適用することができます。この結 果作成されるのがシミュレートされたフォントです。

ボールドを標準フォントに適用すると、アプリケーションはまずボールド形式の既存フォ ントを見つけようと試み、そのフォントが見つからない場合は、ボールド形式のシミュ レートされたフォントを作成します。

シミュレートされたフォントは出力時に問題を発生させる可能性があるため、警告アイ コンがレイアウト内のシミュレートされたフォントを特定します。シミュレートされた フォントは、警告アイコンによって、メジャーパレット、字形パレット、文字属性ダイ アログボックス、スタイル>文字飾りサブメニュー、文字スタイルシートの編集ダイア ログボックス、検索/置換パレットの置換領域、使用状況ダイアログボックス(補助メ ニュー)のフォントペイン、使用状況ダイアログボックスからアクセス可能なフォント 置換ダイアログボックス、ルビダイアログボックスの文字属性タブで表示されます。

カラー、シェードおよび不透明度の適用

選択したテキストにカラー、シェードおよび不透明度を適用するには、下記の操作のい ずれかを行ってください。

- スタイル>カラー、スタイル>シェードおよびスタイル>不透明度のサブメニュー からオプションを選択します。
- カラーパレット(ウィンドウ>カラーパレット表示)を表示し、シェードおよび不 透明度の値を選択または入力します。
- メジャーパレットのホーム/クラシックまたは文字属性タブにあるカラー、シェード、および不透明度のコントロールを使用します。

横比率または縦比率の適用

選択したテキストに横比率または縦比率を適用するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- (Windowsのみ):スタイル>文字の変形を選択し、縮小率ドロップダウンメニューから水平方向または垂直方向を選択します。フィールドに値を入力し、OKをクリックします。
- メジャーパレットの文字/文字属性タブからテキスト比率を水平方向に合わせるまたはテキスト比率を垂直方向に合わせるを選択し、フィールドに値を入力します。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。横比率と縦比率の両方が適用 されているテキストの範囲を選択してキーボードコマンドを使用すると、縦横の比 率に応じてテキストが増減します。

➡ 横比率と縦比率の値を同時に適用することはできません。

Mac OS X

- 5%縮小: Command+[
- 5%拡大: Command+]
- 1%縮小: Command+Option+[
- 1%拡大: Command+Option+]

Windows

- 5%縮小: Ctrl+[
- 5%拡大: Ctrl+]
- 1%縮小: Ctrl+Alt+[
- 1%拡大: Ctrl+Alt+]

ベースラインシフトの適用

段落の間隔に影響を与えずにベースラインの上下に文字を移動できます。テキストを上 に移動するには正の値を指定し、テキストを下に移動するには負の値を指定します。選 択したテキストにベースラインシフトを適用するには、下記の操作のいずれかを行って ください。

- (Windowsのみ):スタイル>ベースラインシフトを選択してベースラインシフトフィールドに値を入力し、OKをクリックします。
- メジャーパレットの文字/文字属性タブのベースラインフィールドに値を入力します。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。

Mac OS X

- 下に1ポイント: Command+Option+Shift+-
- 上に1ポイント: Command+Option++

Windows

- 下に1ポイント: Ctrl+Alt+Shift+9
- 上に1ポイント: Ctrl+Alt+Shift+0

圏点の適用

文字に圏点を適用するには、文字を選択して**メジャー**パレットの**段落/段落設定**タグの ドロップダウンメニューにある**圏点**をクリックし、表示される圏点のオプションのいず れかをクリックします。これらのオプションは、**スタイル > 文字飾り**の下にある**圏点**ド ロップダウンメニューからも選択できます。Windowsでは、**文字属性**パレット(**スタイ ル > 文字設定**)の**圏点**ドロップダウンメニューでもこれらのオプションを選択できます。

半角文字の制御

縦組みの文で、半角文字(欧文文字など)を常に水平にするには、下記の操作を行って ください。

- (Windowsのみ) 文字属性ダイアログボックス(スタイル>文字設定)の半角幅
 文字を常に縦向きにするチェックボックスをオンにします。
- (Mac OS Xのみ) メジャーパレットの文字設定タブにある、半角幅文字を常に縦 向きにするチェックボックスをオンにします。

文字のカウント

文字数ダイアログボックス(補助メニュー)には、アクティブストーリーで使用されて いる全角、半角、注音符号、ハングル、かな、および漢字の文字数が表示されます。こ のダイアログボックスには、選択したストーリーのシンボルおよび私用領域の文字数も 表示されます。

フォントセットの使用

アルファベット(欧文)と漢字など、異なるタイプの文字がテキスト中に混在している場合、フォントセットを使用して、それらがどのように表示されるかを制御できます。

フォントセットの編集ダイアログボックス(編集>フォントセット)で、新規フォント セットを作成できます。各フォントセットは、それぞれに独自の設定があるフォントタ イプのセットから構成されます。
100%
100%
100%
100%
100%

フォントセットの編集ダイアログボックスを使用して、フォントセットを設定します。

フォントセットの各タイプについて、以下に挙げる項目を制御できます。

- •フォント:文字グループの各タイプのフォントを指定します。
- 相対サイズ:レイアウトで使用されているフォントサイズを基準にした、各フォントの相対サイズを指定します。たとえば、レイアウトのフォントサイズが12ポイントであれば、200%の相対設定を指定すると、フォントは24ポイントで表示されます。
- ベースラインシフト:ベースラインからフォントを上下にずらす値を指定します。
- 拡大縮小方向:フォントを水平方向と垂直方向のどちらに拡大縮小するかを指定します。
- 拡大縮小値:フォントを水平方向または垂直方向に拡大縮小する量を指定します。

ダイアログボックスの**テキストサンプル**領域には、フォントセットに含まれる各フォン トを使用したテキストサンプルが表示されます。

テキストにフォントを適用するのと同じ方法で、テキストにフォントセットを適用でき ます。テキストを選択してから、**メジャー**パレットにあるフォントドロップダウンメ ニューでフォントセットを選択するだけです。フォントセットは、リストの上位に表示 されます。

プロジェクトにフォントセットを追加するには、フォントセットダイアログボックス(編 集>フォントセット)にある追加ボタンを使用します。

縦組み用グループ化文字の使用

●垂直ラインのテキストに欧文文字などの水平文字のグループを含めるには、縦組み中の文字回転ダイアログボックス(スタイルメニュー)を使用します。縦組み用グループ化文字は常に水平方向に表示され、行末で改行しません。選択した文字を縦組み用にグループにするには、下記の手順に従ってください。

- 1 スタイル > 縦組み中の文字回転をクリックします。
- 2 縮小率ドロップダウンメニューで垂直方向または水平方向を選択して、縮小率ドロップ ダウンメニューの右隣にあるフィールドにパーセントを入力します。

- 3 文字間隔を変更するには、トラッキング/字送りフィールドに値を入力します。
- **4 OK**をクリックします。

行の文字揃え

文字揃えの機能を使用すると、同じテキスト行にある最も大きい文字に合わせて、小さい文字を複数の方法で揃えることができます。ベースライン、仮想ボディまたは平均字面に基づいて文字を揃えることができます。

仮想ボディは文字の境界ボックスです。**平均字面**(ICF)とは仮想ボディ内部の境界のこ とで、この境界を超えて字形を拡張することはできません。平均字面は、CJKのテキスト フローの字形が互いに触れないようにするために必要です。 下図の赤い部分は、仮想ボ ディの境界を示しています。黄色い部分は、平均字面を示しています。



赤は仮想ボディを示しています。黄色は平均字面を示しています。

テキストの同じ行に出現する最も大きい文字に対して、次のいずれかの方法で小さい文字を揃えることができます。

- •スタイル>文字揃えサブメニューからオプションを選択します。
- (Windowsのみ): スタイル>段落設定を選択し、段落設定タブの下にある文字 配置ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- (Mac OS Xのみ):メジャーパレットの段落タブにある文字配置ドロップダウン メニューから、オプションを選択します。

文字配置のオプションは下記のとおりです。

•平均字面上:平均字面の上部に合わせて小さい文字を配置します。

- 仮想ボディ上辺:水平テキストの行内で最も大きい文字の仮想ボディの上端に合わせて、小さい文字を配置します。
- 仮想ボディ下辺:水平テキストの行内で最も大きい文字の仮想ボディの下端に合わせて、小さい文字を配置します。
- 仮想ボディセンター:最も大きい文字の仮想ボディの中央に合わせて、小さい文字 を配置します。
- 仮想ボディ右辺:垂直テキストの行内で最も大きい文字の仮想ボディの右端に合わせて、小さい文字を配置します。
- 仮想ボディ左辺: 垂直テキストの行内で最も大きい文字の仮想ボディの左端に合わせて、小さい文字を配置します。
- 欧文ベースライン:最も大きい文字のベースラインに合わせて、小さい文字を配置 します。
- 平均字面下:平均字面の下部に合わせて小さい文字を配置します。



水平方向の文字揃えの例



垂直方向の文字揃えの例

複数の文字属性の適用

すべての文字属性を同時に参照し、編集するには、 Windowsでは文字属性ダイアログボックス(スタイル>文字設定)、 Mac OS Xではメジャーパレットの段落タブを使用します。

空白のフィールドとグレイのチェックボックスは、選択したテキストに複数のスタイル が適用されていることを示しています。たとえば、**フォント**フィールドが空白である場 合、選択したテキストに複数のフォントが適用されています。

空白のフィールドに値を入力すると、選択したテキストのすべてにその値が適用されま す。グレイのチェックボックスをオンにすると選択したすべてのテキストにスタイルの 設定が適用され、オフにすると選択したすべてのテキストからスタイルの設定が削除さ れます。

文字設定	Х
フオント Aria 〜 サイズ(Z): 12 pt 〜 カラー(R): ■ブラック 〜 シェード 100% 〜 不透明: 100% 〜 縮小率(L): 水平方向 〜 100% カーニング(M): 0 ベースラインシフト(E): 0 pt	文字飾 □ 標準(P) □ ボールド(B) □ オールキャップス □ イタリック(I □ スモールキャップス □ シャドウ(H □ アンダーライン(U □ 上付き(T) □ ワードアンダーライン □ 下付き(T) □ 取り消し線(K) □ 肩文字(S) □ 二重取り消し線(D) □ アウトライン(□ 圏点(A) ドット ✓
 □半角幅文字を常に縦向きにする ☑ CJK以外の文字に字送りを適用 □ 合字を使用 ▶ OpenType 	言語: 英語 (米国) 🗸 🗸
	OK キャンセル 適用(A)

文字属性ダイアログボックスを使用してテキストをフォーマットします。

段落設定の適用

段落設定は、段落全体に適用されるフォーマットオプションです。この設定オプション には、行揃え、インデント、行送りおよびタブなどがあります。選択した段落に設定を 適用するには、**メジャー**パレットの**段落/段落設定**タブを使用します。Windowsでは、 **段落設定**ダイアログボックス(**スタイル > フォーマット**)も使用できます。

適用されている段落フォーマットは、同じボックスまたはテキストチェーンの段落間で コピーできます。適用されている段落フォーマットをコピーするには、変更する段落ま たは段落の範囲を選択し、コピーするフォーマットが適用されている段落の任意の場所 をOption/Alt+Shiftキーを押しながらクリックします。この方法で段落フォーマットを コピーすると文字属性は変更されません。

行揃えの制御

段落の行揃えは、左揃え、センター、右揃え、両端揃え、および強制割付という5つのオ プションから選択できます。強制割付オプションは、左インデントと右インデント間の すべての行を両端揃えする点はジャスティファイオプションと同じですが、段落の最後 に改行がある場合は最終行も両端揃えします。

選択したテキストの行揃えを設定するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- スタイル > 行揃えサブメニューから行揃えを選択します。
- メジャーパレットのホーム/クラシックタブまたは段落/段落設定タブにある行揃え アイコンをクリックします。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。

Mac OS X

- ・ 左揃え■: Command+Shift+L
- ・センター■: Command+Shift+C
- 右揃え■: Command+Shift+R
- ジャスティファイ■: Command+Shift+J
- 強制割付■: Command+Option+J

Windows

- ・ 左揃え■: Ctrl+Shift+L
- ・センター畫:Ctrl+Shift+C
- 右揃え■: Ctrl+Shift+R
- 両端揃え■: Ctrl+Shift+J
- 強制割付■: Ctrl+Alt+Shift+J

インデントの制御

選択した段落にインデントを指定するには、下記のいずれかの操作を行ってください。

- スタイル > 行揃えサブメニューを使用します。
- (Windowsのみ): 段落設定ダイアログボックスを使用します(スタイル>段落 設定)。
- •メジャーパレットの段落/段落設定タブを使用します。

インデントを指定するには、下記のフィールドを使用します。

- ボックスまたは列の左端から段落がインデントされる距離を指定するには、左イン デントフィールドに値を入力します。
- ・左インデントの値から段落の最初の行をインデントする距離を指定するには、第1行 フィールドに値を入力します。第1行のインデントは、段落に適用されている左イン デントに関連します。たとえば、左インデントを0.5"、第1行のインデントを0.5"に 設定すると、最初の行はテキストボックスの左端から1"離れた位置から開始します。
- ボックスまたは列の右端から段落がインデントされる距離を指定するには、右イン デントフィールドに値を入力します。OKをクリックします。
- ぶら下がりインデントを作成するには、左インデントに正の値、第1行のインデント に負の値を指定するか、列のルーラーのインデントアイコンをドラッグします。
 Windowsでは、段落設定ダイアログボックス(スタイル>段落設定)の段落設定 タブにある適用ボタンを使用して、ぶら下がりインデントを試すことができます。

段落設定としてぶら下がりインデントを設定する以外に、特殊文字を入力してその位置 から次の段落の改行にあるすべてのテキスト行をインデントすることもできます。Mac OS Xの場合はCommand+¥、Windowsの場合はCtrl+¥を押して、特殊なインデント位 置文字を入力します。インデント位置文字は不可視文字です。不可視文字を表示するに は、表示>特殊キャラクタ(Command+I/Ctrl+I)を選択します。 行揃えとインデントはいずれも、Windowsの設定ダイアログボックス(アイテムメ ニュー)のテキストタブで指定されたテキストとの間隔フィールド、またはメジャーパ レットのテキストボックスタブのテキストとの間隔フィールドの値に基づいて測られま す。テキストとの間隔の値は、テキストボックス内部の列ではなくテキストボックスの 上部、下部、左部、右部に影響します。

行送りの制御

行送りは行間隔の測定単位で、段落のテキストベースラインの間隔を表しています。行 送りの値を指定すると、選択した段落のすべての行に適用されます。行送りは、下記の3 つの方法で指定できます。

- 絶対行送りでは、行の文字サイズに関係なくテキストのベースラインの間隔を特定の値に設定します。たとえば、段落に対して絶対行送りの値を16ポイントに指定すると、すべてのベースラインの間隔が16ポイントになります。絶対行送りを指定する場合、垂直方向におけるテキストベースライン間の合計距離を示す値を使用します。
- 増幅値による自動行送りでは、行送りフィールドで指定した絶対値と、自動行送りの基本値を組み合わせます。行送りの増幅値の前には、必ずプラス記号(+)またはマイナス記号(-)を付ける必要があります。
- 自動行送りでは、行送りの自動設定フィールド(QuarkXPress/編集>環境設定
 >段落ペイン)の値がアプリケーションで使用され、パーセント単位または増幅値
 単位での自動行送りが発生するかどうかが決定されます。デフォルトのパーセント
 単位では、自動行送りの基本値に、上の行で最も大きなフォントサイズの一定パー
 セントを加えて、上の行と自動行送りされる行との間で、行送りの合計値が算出されます。自動行送りのパーセント単位のデフォルト値は20%です。自動行送りを指定するには、行送りフィールドに自動を入力します。

選択した段落の行揃えを設定するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- (Windowsのみ):スタイル>行送りを選択して、絶対行送りの値、またはプラ ス記号やマイナス記号が前に付いた行送りの増幅値を入力します。または行送り フィールドに自動を入力します。
- •メジャーパレットの行送りコントロールを使用します。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。

Mac OS X

- 1ポイント縮小: Command+Shift+:
- 0.1ポイント縮小: Command+Option+Shift+:
- 1ポイント拡大: Command+Shift+"
- 0.1ポイント拡大: Command+Option+Shift+"

Windows

- 1ポイント縮小: Ctrl+Shift+:
- 0.1ポイント縮小: Ctrl+Alt+Shift+:
- 1ポイント拡大: Ctrl+Shift+"

• 0.1ポイント拡大: Ctrl+Alt+Shift+"

前段落との間隔および次段落との間隔の制御

前段落との間隔および次段落との間隔のコントロールを使用して、選択した段落の前後 の間隔を指定できます。

選択した段落の前後の間隔を設定するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- (Windowsのみ): スタイル>段落設定を選択し、前段落との間隔または次段落 との間隔フィールドに値を入力します。
- メジャーパレットの段落/段落設定タブにある前段落との間隔および次段落との間隔 コントロールを使用します。

タブの設定

以下の6種類のタブストップから選択できます。

- **左揃え**では、タブストップでテキストが左揃えになります。
- **センター**では、タブストップ上でテキストが中央揃えになります。
- **右揃え**では、タブストップ上でテキストが右揃えになります。
- デシマルでは、小数点(ピリオド)上でテキストが揃います。
- **カンマ**では、最初のカンマ上でテキストが揃います。
- 特定キャラクタでは、指定した任意の文字上でテキストが揃います。このタブを選択すると、特定キャラクタフィールドが表示されます。既存の入力内容を選択して、 揃えの基準とする文字を入力します。
- カスタムタブを設定しない場合、デフォルトの左揃えタブがそれぞれ0.5インチに設定されます。

選択した段落にタブを指定するには、下記のいずれかの操作を行ってください。

- (Windowsのみ) : 段落設定ダイアログボックス(スタイル>タブ)のタブタブ にあるコントロールを使用します。
- メジャーパレットのタブタブのコントロールを使用します。メジャーパレットを使用すると画面スペースを節約できるため、タブ設定を変更しながら、効果の更新を継続的に確認できます。ルーラーにタブアイコンをドラッグしたり、テキストにタブアイコンを直接ドラッグできます。ルーラーやテキストにタブをドラッグすると、タブの配置先を決めるための垂直線が画面に表示されます。

ウィドウ行およびオーファン行の制御

ウィドウおよびオーファンは、組版上好ましくない種類の行です。従来からウィドウは、 列の上部にくる段落の最終行と定義されています。オーファンは、列の下部にくる段落 の最初の行と定義されています。

ウィドウ/オーファンの制限機能を使用して、段落のすべての行が列内またはページ内 に収まらない場合にすべての段落を次の列またはページの上部に移動させて、段落が分 割しないようにできます。また、段落が分割される場合に列やボックスの下部に残す行 数、および次の列やボックスの上部に移動する行数を指定できます。次段落との分割不 可機能を使用して、特定の段落と次の段落が分割しないようにできます。この機能を使 用すると、サブ見出しと次の段落が分割されないようにしたり、論理的に分割できない その他のテキスト行を分割しないようにできます。

一般的に、次段落との分割不可は見出しおよびサブ見出しのスタイルシートに、ウィド ウ/オーファンの制限(通常始点および最後パラメータを使用)は本文テキストのスタ イルシートに指定されます。

選択された段落に対して**ウィドウ/オーファンの制限**および次段落との分割不可機能を オンまたはオフにするには、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ): スタイル>フォーマットを選択して、段落設定ダイアログボックスのフォーマットタブを表示し、ウィドウ/オーファンの制限および次段落との分割不可チェックボックスをオンまたはオフにします。
- (Mac OS Xのみ): メジャーパレットの段落タブを使用します。

禁則文字セットの使用

禁則文字セットとは、行の先頭または末尾に置けない文字と、途中に改行を入れることができない文字です。禁則文字セットダイアログボックス(編集 > 禁則文字セット)
 には、日本語(強い)、日本語(弱い)、韓国語(標準)、簡体中文(標準)、および
 繁体字中国語(標準)用のデフォルト禁則文字セットが含まれています。

カスタム禁則文字セットを作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 編集 > 禁則文字セットを選択します。禁則文字セットダイアログボックスが表示されま す。
- **2 新規**をクリックします。
- 3 名前フィールドに名前を入力します。
- **4 行頭禁止文字の指定:**、**行末禁止文字の指定:**、および**禁則文字の指定:**の各フィールドに 文字を入力します。
- 5 OKをクリックします。
- **6 保存**をクリックします。
- ➡ 段落に禁則文字セットを適用するには、H&Jの編集ダイアログボックス(編集 > H&J > 編集)の禁則文字設定ドロップダウンメニューから禁則文字セットを選択します。

書式のコピー/貼付け

書式のコピー/貼付けは、テキストの一部に適用されている書式設定をコピーし、別の テキストへ適用するために使用します。書式のコピー/貼付けは、そのテキストに適用 されているすべての書式設定を、適用されているスタイルシート(段落および文字)も 含めてコピーし、適用します。

書式のコピー/貼付けを使用するには、下記の手順に従ってください。

- 1 目的の書式設定が適用されているテキストを選択します。
- ホーム/クラシックまたはメジャーパレットの文字/文字属性タブで、書式のコピー/
 貼付け を選択します。

- 3 目的の書式設定を適用するテキストを選択します。
- ➡ 重要:書式のコピー/貼付けが文字の書式設定だけを適用するか、段落の書式設定も適用 するかは、最初の選択範囲によって決定されます。数文字を選択した場合は文字の書式設 定のみが適用され、数行を選択した場合は段落の書式設定も適用されます。スタイルシー トは書式のコピー/貼付けでは適用されません。

カーニングの制御

カーニングは、文字ペアの間隔を調整します。カーニングすると、特定の文字ペアの形 がよくなり見栄えが向上します。自動カーニングを使用できます。また、手動カーニン グのコントロールを使用して、文字間のカーニングを追加することもできます。

カーニング値は、emスペースの1/200単位で表されます。正のカーニング値では文字 間隔が増加し、負の値では文字間隔が減少します。

手動カーニング

2文字間のカーニングを適用するには、下記の操作のいずれかを行ってください。

- (Windowsのみ):スタイル>カーニング値を選択してからカーニングフィール ドに値を入力します。OKをクリックします。
- メジャーパレットのカーニングコントロールを使用します。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。

Mac OS X

- 1/20em下げる : Command+Shift+{
- 1/20em上げる:Command+Shift+}
- 1/200em下げる: Command+Option+Shift+{
- 1/200em上げる: Command+Option+Shift+ }

Windows

- 1/20em下げる:Ctrl+Shift+{
- 1/20em上げる: Ctrl+Shift+ }
- 1/200em下げる:Ctrl+Alt+Shift+{
- 1/200em上げる: Ctrl+Alt+Shift+}

自動カーニング

ー定ポイント以上のテキストを自動カーニングするには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集メニュー)の文字設定ペインを表示し、自動カーニング(>)をオ ンにしてからフィールドに値を入力します。

QuarkXPressでは、フォントに組み込まれたカーニング情報(フォントの**カーニングテー** ブル)を使用します。カーニングテーブルには、さまざまな文字ペア(例:「Ta」)が 含まれています。またこのテーブルにはペアごとの関連するカーニング値も含まれてい ます。フォントのカーニングテーブルは変更できませんが、**カーニングエディタ**ダイア ログボックス(補助メニュー)を使用して、任意のフォントに対してカスタムのカーニ ングテーブルを作成することは可能です。このダイアログボックスを使用して、カーニ ングペアで水平方向(**文字組方向**)と垂直方向(**交差方向**)のスペースをカスタマイズ できます。

QuarkXPress独自のカーニングテーブルを作成することもできます。

ハイフネーション&ジャスティフィケーションの制御

ハイフネーション&ジャスティフィケーション(H&J)仕様は、テキスト行のマージン を越える単語に対するハイフネーションと単語および文字の間隔を調整するための設定 の名前付きパッケージです。H&Jは、個々の段落に適用したり、段落スタイルシートに 関連付けることができます。H&Jの編集ダイアログボックス(編集>H&J>新規)を使 用してこれらの設定を制御します。

H&Jの編集 ×
名前(N): 新規H&J
☑ 自動ハイフン(H ジャスティファイ
分割最小文字数(W): 6 最小 最適 最大
分割後の前半文字数(≥)(B): 2 +CJK約物(U): 0% 0% 5%
が割扱い扱キ文字数(2)(A): 3 tかな(K): 0% 0% 5%
✓固有名詞等の分割(E) +漢字(I): 0% 0% 5%
連続ハイフン行数 2 ダ 英数字(C): -2% 0% 2%
ハイフン領域(Z): 0 ⁺ 実行領域(F): 0 ⁺
禁則文字設定: なし ∽ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓
禁則方式: [標準] □ スペースで分割(0)
†EAジャスティフィク~ション設定を有効/無効にするには、 環境設定 > レイアウト > 一般へ移動します

H&Jの編集ダイアログボックス

- 自動ハイフン: 自動的にハイフネーションを行うかどうかを指定します。
- 分割最小文字数:ハイフネーションを行うために必要な、1単語当たりの最小文字数 を指定します。
- 分割後の前半文字数(≧):ハイフンの前にくる最小文字数を指定します。
- 分割後の後半文字数(≧):ハイフンの後にくる最小文字数を指定します。
- **固有名詞等の分割**:固有名詞等の単語に対してハイフネーションを行うかどうかを 指定します。
- 連続ハイフン行数:ハイフン付きの単語が行末に連続できる数を指定します。

- ハイフン領域:ハイフネーションを行うことのできる右インデント前の領域を指定します。たとえば、ハイフン領域を0.05インチに設定すると、その単語の適当なハイフネーションポイントが右インデントから0.05インチ以内にあった場合、ハイフネーションが行われます。ハイフネーションが行われた単語の前の単語はハイフン 領域内に入りません。
- ハイフン領域:欧文文字を含む単語に対して、ハイフネーションを行うことのできる右インデント前の領域を指定します。たとえば、ハイフン領域を0.05インチに設定すると、その単語の適当なハイフネーションポイントが右インデントから0.05インチ以内にあった場合、ハイフネーションが行われます。ハイフネーションが行われます。ハイフネーションが行われた単語の前の単語はハイフン領域内に入りません。
- •ジャスティファイ設定:単語間隔および文字間隔の設定方法を指定します。
- スペース:両端揃えまたは強制割付が適用された段落において、単語間の最小および最大のスペースを指定します。すべての段落の単語間について、揃え方にかかわらず最善のスペース量を指定します。
- 文字:両端揃えまたは強制割付が適用された段落において、文字間の最小および最 大のスペースを指定します。すべての段落の文字間について、揃え方にかかわらず 最善のスペース量を指定します。
- 禁則方式:ドロップダウンメニューから禁則方式を選択します。両端揃えされた テキスト行の最後の文字が行末禁則文字である場合、追い込みでは、最小フィール ドの値に基づいて、次の行の最初の文字が現在の行に引き上げられます。追い出し では、最大フィールドの値に基づいて、文字が次の行へ押し出されます。詳細は、 「禁則文字セットの使用」を参照してください。
- **英単語間隔**:両端揃えされた段落の、欧文文字を含む単語の間隔を指定します。 行揃えに関係なく、すべての段落の欧文文字を含む単語の最適な間隔を指定します。
- ● CJK約物:両端揃えされた段落のCJK約物文字について、間隔の最小値および最大値を指定します。行揃えに関係なく、すべての段落のCJK約物文字の最適な間隔を指定します。
- () かな/ハングル/注音: 両端揃えされた段落のかな文字、ハングル文字、または 注音文字の間隔の最小値および最大値を指定します。行揃えに関係なく、すべての 段落のかな文字、ハングル文字、または注音文字の最適な間隔を指定します。
- (1) 漢字: 両端揃えされた段落の漢字文字の間隔の最小値および最大値を指定しま す。行揃えに関係なく、すべての段落の漢字文字について最適な間隔を指定します。
- ● 英数字:両端揃えされた段落の欧文文字について、間隔の最小値および最大値を 指定します。行揃えに関係なく、すべての段落の欧文文字の最適な間隔を指定しま す。
- 実行領域: 右インデント前の領域を指定します。両端揃えされた段落の最終行では、 最後の単語がこの領域内でなければ、その行の両端揃えは行われません。たとえば、 1"を入力すると、ハイフネーション&ジャスティフィケーション仕様が適用される 段落の最終行は、行の最後の単語が右インデントから1"以内にくるまで両端揃えさ れません。

- ジャスティファイ機能:両端揃えされた段落の行に1つだけ単語が存在する場合、その単語を左インデントから右インデントまで広げるかどうかを指定します。このボックスがオフの場合、行の1単語は左揃えになります。
- ➡ H&Jで指定されているEA Punct、Han、Kana/Hangul/ZhuYinのCJKテキストカテ ゴリのジャスティフィケーション設定を使用/使用停止するには、環境設定>レイアウ ト>一般へ移動します。

例外ハイフンの指定

QuarkXPressでは、 **例外ハイフン**に関する言語固有のリストを作成できます。 **例外ハ イフン**ダイアログボックス(補助 > **例外ハイフン** > 編集)には、例外ハイフンの適用対 象とする言語を指定できる言語ドロップダウンメニューがあります。段落の自動ハイフ ン時には、該当する段落の言語向け例外ハイフンリストがチェックされます。

標準ハイフンダイアログボックス(補助メニュー)には、段落に指定されているハイフ ネーション設定と、段落の言語向け例外ハイフンを基に、単語の推奨ハイフネーションが 表示されます。

例外ハイフンファイル

例外ハイフンリストは、別の.xmlファイルに保存できます。その後でこれらの.xmlファ イルをプロジェクトに取り込むことができ、書き出して他のユーザーやプロジェクトと 共有することもできます。 これによって、同じ例外ハイフンリストを複数のプロジェク トで使用できます。

例外ハイフンファイルをレイアウトレベルで取り込んで適用できるため、同じプロジェ クト内で別のレイアウトに別の.xmlファイルを適用することもできます。目的の外部例 外ハイフンファイルは、ジョブジャケット経由でジョブジャケットリソースとしてレイ アウトに適用します(「*例外ハイフン付きのジョブジャケット*」を参照してください)。

例外ハイフンファイルをプロジェクトへ適用した後で.xmlファイルに変更を加えると、 プロジェクトを次に開いたとき、それらの変更がプロジェクトに反映されます。さらに、 プロジェクトの例外ハイフンに加えられた変更は、リンクされている.xmlファイルに反 映されます。

 この双方向リンクは、.xmlファイルがジョブジャケット経由でリンクされている場合の み動作します。.xmlファイルはレイアウトに直接リンクされません。

例外ハイフンファイルの取り込み

例外ハイフンファイルを取り込むには、下記の手順に従ってください。

1 補助>例外ハイフン>取り込みを選択します。 例外ハイフンファイルの選択ダイアログ ボックスが表示されます。

📴 例外ハイフ	ンファイルの選	択				×
Look in:	HE Files		~	G 🜶 🖻	.	
Quick access	Name IE1	^		Date modified 5/18/2016 10:	d 30 AM	Type XML Docu
Desktop						
Libraries						
This PC						
I	<					>
Network	File name:			~		Open
	Files of type:	(*xml)		~		Cancel
	◉既存のもの	に追加す。				
	○全て置換					

例外ハイフンファイルの選択ダイアログボックス

- 2 インポートする例外ハイフン.xmlファイルを検索して選択します。
- 3 既存のリストに例外ハイフンを追加するには、**既存のものに追加する**(デフォルト)を チェックします。
- ➡ 古いリストと、追加しようとするリストとの間に単語の競合がある場合、競合の解決ウィンドウが開きます。ここでは、古い例外ハイフンを保持する(既存設定を使用)か、取り込む.xmlファイルの新しい例外ハイフンに置き換える(置換)かを選択できます。



競合の解決ウィンドウ

4 全て置換をチェックすると、既存の例外ハイフンはすべて、選択したファイルの例外ハ イフンに置き換えられます。すべての競合に適用するをチェックすると、取り込み中に 発生するすべての競合について、同じ動作が行われます。

- ➡ 取り込むファイルに特定の言語の例外ハイフンが含まれていない場合、その言語について 既存のすべての例外ハイフンが消去されます。
- 例外ハイフンはアプリケーションまたはレイアウトのレベルで追加できるため、下記の規則が適用されます。
 - プロジェクトが開いていないときに例外ハイフンを取り込むと、すべての言語についてアプリケーションレベルで例外ハイフンが取り込まれます。
 - 複数のレイアウトを含むプロジェクトが開いているときに例外ハイフンを取り込む
 と、プロジェクトの現在のレイアウトに例外ハイフンが取り込まれます。

例外ハイフンファイルの書き出し

ユーザーは、例外ハイフンをQuarkXPressから外部の**.xml**ファイルに書き出すことができます。 例外ハイフンファイルを書き出すには、下記の手順に従ってください。

1 補助>例外ハイフン>書き出しを選択します。 例外ハイフンファイルの新規作成ダイア ログボックスが表示されます。

	例外ハイフンファイルの第	所規作成
名前	:	
	Ⅲ 📰 🔻 🗀 HE Files	÷ Q
よく使う項目	Color	deutsch.xml
A. アブリケーション	Documents	deutsch2.xml
	Entities.xml	deutsch3.xml
デスクトップ	🖾 FolderIcon	deutsch4.xml
四 書類	FontRules.xsd	DeutschHE.xml
Ø ダウンロード	🚞 HE Files	eng.xml
	🚞 Help	▶ eng2.xml
	🔘 libAmazonS3.dylib	eng3.xml
🎜 ミュージック	🔘 libCurlPP.dylib	eng4.xml
◎ ピクチャ	🔘 libDOMXT.dylib	Espanol.xml
_	🔘 🔘 libicudata.dylib	Espanol2.xml
共有	🔘 libicui18n.dylib	Espanol3.xml
🗐 pserver-usa 🔺	libicule.dylib	Espanol4.xml
amontova-w7	libicuuc.dylib	Francais.xml
	libLocking.dylib	Francais2.xml
🕎 avarela-w/	libmico2.3.12.dylib	Francais3.xml
🖳 ccook-w7	Ulibmicocoss2.3.12.dylib	Francais4.xml
chancock-hp	libOLoager.dvlib	Italiano.xml
新規フォルダ		キャンセル保存

例外ハイフンファイルの新規作成ダイアログボックス

- 2 .xmlファイルの場所と名前を指定します。
- 3 保存をクリックします。

- プロジェクトが開いていないときに例外ハイフンを書き出すと、すべての言語についてアプリケーションレベルでQuarkXPressに存在する例外ハイフンを含む、外部の.xmlファイルが作成されます。
 - 複数のレイアウトを持つプロジェクトが開いているときに例外ハイフンを書き出すと、プロジェクトの現在のレイアウトに存在する例外ハイフンを含む、外部の.xmlファイルが作成されます。

例外ハイフン付きのジョブジャケット

新しい**例外ハイフン**リソースがジョブジャケットレベルで追加されました。 この機能を 使用して、同じジョブジャケットからプロジェクトを作成するユーザー間で例外ハイフ ンを共有できます。 ユーザーは、ジョブジャケットレベルで多くの例外ハイフンリソー スを作成できます。 これらのリソースはジョブチケットレベルでは利用できませんが、 レイアウトアイテム内で参照できます。

例外ハイフンファイルをジョブジャケットリソースとして追加するには、下記の手順に 従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- 2 左側のリストで、ジョブジャケットファイルを開くごか、または作成じします。ジョブジャケットファイルのリソースカテゴリは、右上のリストにアルファベット順に表示されます。
- 3 左側のリストから、目的のジョブジャケットを選択します。
- 4 右上のリストにあるリソースタイプの一覧から例外ハイフンを選択します。

t i / L t t - C D i				
名前		リソース:プロジェクト1	Job Jacket	
🗄 🎯 New Job Jacket	~	デバイスリンテス		
⊞		フオントセット		
		ユーザー辞書(1)		
日 🍘 プロジェクト1 Job Jacket		リスト		
Default Job Ticket		11-11 11-11		
回 Default Job Ticket 1:プロジェ		n-neyr		
☆ プロジェクト1*				
		ユーザー辞書		
		■ □ ユーザー辞書		
		у - х	ファイル	\$
		ಗೆಸ	参照	Θ
		デフオルト	いいえ	÷
	V .			

既存の例外ハイフンリソースは右下のリストに一覧表示されます。

5 ごをクリックし、例外ハイフンファイルをリソースとして追加します。 このファイルを デフォルトの例外ハイフンファイルにすることを選択できます。 ジョブチケットレベル にレイアウトアイテムが存在しない場合、このファイルが、ジョブチケットで定義され るレイアウトに適用されるデフォルトの例外ハイフンファイルになります。

6 目的の.xmlファイルを参照して選択します。

例外ハイフンリソースアイテムには3つの属性があります。

- 出典:外部の例外ハイフンファイルを参照用に選択するために利用可能な、リポジ トリのタイプを指定します。デフォルトではファイルです。
- パス:外部の例外ハイフンファイルのURIを示します。この属性を使用して、この 例外ハイフンリソースアイテムへ参照される、外部の例外ハイフンファイルを選択 できます。選択したソースのタイプに応じて、ユーザーがソースブラウザを起動し て外部の例外ハイフンファイルを選択するよう求められます。
- デフォルト: ジョブジャケットに定義されているジョブチケットにレイアウトアイ テムが定義されていない場合、このリソースアイテムを例外ハイフンファイルとす ることを指定します。この属性のデフォルト値はNoです。デフォルトにするには、 この値をYesに変更します。デフォルトとして宣言できる例外ハイフンリソースア イテムは1つだけです。
- ジョブジャケットを変更するときは、その後でファイル>ジョブジャケット>プロジェ クトのリンクを使用して、新しいジョブジャケットをプロジェクトへリンクする必要があ ります。

ジョブチケットと例外ハイフン

例外ハイフンは、プロジェクトレベルではなくレイアウトレベルに存在します。 この機 能を使用するには、ジョブチケットにレイアウトアイテムを追加し、利用可能な例外ハ イフンリソースアイテムの1つを関連付ける必要があります。

重要なポイントは下記のとおりです。

- 外部の例外ハイフンファイルがジョブチケットのレイアウトアイテムと関連付けられている場合、その例外ハイフンファイルからの例外ハイフンは、新たに作成されたプロジェクトの対応するレイアウトに取り込まれます。
- ユーザーは、レイアウトアイテムをいくつでも作成できます。プロジェクト内に作成される各レイアウトには、そのレイアウトアイテムに関連付けられている外部の 例外ハイフンファイルに存在する例外ハイフンが含まれます。
- レイアウトアイテムに例外ハイフンが存在する場合、アプリケーションに例外ハイ フンが存在しても、それらの例外ハイフンはレイアウトの一部にはなりません。
- ジョブジャケットに例外ハイフンリソースアイテムが存在しても、レイアウトアイ テムやデフォルト例外ハイフンアイテムが定義されていなければ、アプリケーショ ンに存在する例外ハイフンがレイアウトに含まれます。
- ユーザーが、プロジェクト(例外ハイフンを持たないもの)を、例外ハイフンを含 むジョブジャケットにリンクすると、そのプロジェクトのレイアウトに例外ハイフ ンが取り込まれます。
- ユーザーが、プロジェクト(既に例外ハイフンを含むもの)を、別の例外ハイフン を持つジョブジャケットにリンクすると、そのプロジェクトのレイアウトに含まれ る例外ハイフンは、ジョブジャケットのものに置き換えられます。

ユーザーが、既にプロジェクトとリンクされているジョブジャケットの例外ハイフンリソースアイテムに関連する変更を行うと、それらの変更すべては、そのプロジェクトが同じジョブジャケットと再リンクされた後でのみ反映されます。

レイアウト仕様に例外ハイフンを追加するには、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助>ジョブジャケットマネジャー) を開き、左側のリストで目的のジョブジャケットを選択します。
- 2 ジョブジャケットから目的のジョブチケットを選択し、そのジョブチケットを開くごか、 新しいジョブチケットファイルを作成します。ジョブチケットファイルのリソースカ テゴリは、右上のリストにアルファベット順に表示されます。
- 3 右上のリストにあるリソースタイプの一覧からレイアウトを選択します。ジョブチケット内のレイアウト定義は、すべて右下のリストに表示されます。
- 4 右下のリストにあるレイアウトの一覧から既存のレイアウトを選択するか、 プをクリックして新しいレイアウト定義を作成します。
- 5 レイアウト定義名の横にある展開ボタンをクリックして、レイアウト定義のフィールド を表示します。
- 6 **例外ハイフン**まで下方向にスクロールし、選択したレイアウトにリンクする例外ハイフ ンファイルを選びます。

	Ì					
名前		[リソ ース: Default Job Ticket			
🗄 🇊 New Job Jacket	\sim		フオントセット			
🗄 🍻 New Job Jacket 2			ユーザー辞書			
🗄 🇊 New Job Jacket 3			リスト			
🗆 🗊 Projet1 Job Jacket			//-//			-
Default Job Ticket			ルールセット			_
🗇 🗇 🗇 🕞 🕞 🕞 🕞 🕞 🕞 🕞 🕞 🕞 🕞			レイアフト (1)			
Cross reference*		۰.				
			Ŭ 0 0 💼			
		Шř				
			ロレイデントエ	+> 1	▲	
			シーティーの	40	*	
			ジョブの詳明	7 21	÷	
			メディアタイプ	任音	÷	
			ソースカラー設定	なし	\$	
			出力のプルーフ	なし		
			名前: レイアウト1			1
	\sim					1

既存の例外ハイフンリソースは右下のリストに一覧表示されます。

例外ハイフンファイルとレイアウトとの同期

QuarkXPressでは、例外ハイフンファイルがジョブジャケットリソースの一部であると き、レイアウトと例外ハイフンファイルとの同期がサポートされています。

ジョブジャケットからプロジェクトを作成し、例外ハイフンの参照が含まれている場合、 例外ハイフンファイルに加えられたすべての変更は、そのプロジェクトが次に開かれた とき、またはジョブチケットに再リンクされたときに、レイアウトへ反映されます。レ イアウト内のいずれかの例外ハイフンを追加/削除/変更した場合、プロジェクトを保 存するとき、新たに追加された例外ハイフンが例外ハイフンファイルへ反映されます。

同期の動作

- ジョブジャケットで参照されている外部の例外ハイフンファイルに対する変更は、
 同じジョブジャケットから作成されたプロジェクトのレイアウトに、そのプロジェクトが次に開かれたときに反映されます。
- QuarkXPress内から例外ハイフンに加えられた変更は、ユーザがプロジェクトを保存するとき、参照されている外部の例外ハイフンファイルへ反映されます。
- ユーザが例外ハイフンリソースアイテムをデフォルトとして定義している場合、ジョ ブチケットにレイアウトアイテムが定義されていなくても、この同期機能は動作し ます。
- 例外ハイフンリソースアイテムに関連する変更が、既にプロジェクトとリンクされているジョブジャケットに加えられた場合、同期は行われません。変更を反映するには、ユーザーがプロジェクトを同じジョブジャケットに再リンクする必要があります。
- 同期機能はすべての言語について動作します。

Quark Publishing Platformとの統合

ジョブジャケットと、Quark Publishing Platform serverにチェックインされている外 部の例外ハイフンファイルとを統合するには、下記の手順に従ってください。

ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助>ジョブジャケットマネジャー)
 を開き、ジョブジャケットを開くボタン ⁽¹⁾ をクリックします。ドロップダウンのQuark
 Publishing Platformを選択します。

	ジョブジャケットマネージャー	
C4 G 😥 📑 🍝 🕒 🗇 📋		<u>@</u>
名前 ファイル	New Job Jacket	
New Je Quark Publish	ing Platform	
▶ 🥶 New Job Jacket 2	Publication Layout Targets	
🕨 🚭 Project1 Job Jacket	Publication Specifications	
	Tandem Bindings	
	ぶら下がり文字クラス	
	ぶら下がり文字セット	
	アウトラインスタイル	
	<i><i><i></i></i></i>	
	L 70 9 R 2 9 A M	
	中 / @ 筒	
		閉じる 保存

- ➡ ジョブジャケットを開くボタン ⁶⁷の下のドロップダウンメニューは、QuarkXPressが Quark Publishing Platform XTensions付きで起動されたときのみ表示されます。ファ イルを選択してローカルジョブジャケットを開き、Quark Publishing Platformを選 択して、サーバーからジョブジャケットを開きます。
 - 2 目的のコレクションの場所を参照します。

	ジョブジャケッ	ットを選択	
コレクション: ジョブチケット ▼ 🐊 Defau □ Def	ジョブジャケッ Home ・ Home ・ Images ・ kshitij ・ test001 ト ① test002 (Q.クイック検索	/トを選択	
		キャンセル	OK

3 目的のジョブジャケットを選択し、OKをクリックします。

ジョブジャケットを選択	
Home/kshitij	
ジョプチケットテンプレートの選択	
🕞 🎲 Default Job Jacket	
🔻 💱 QPPjj	
Default Job Ticket	

- 4 右上のリストで、リソースタイプのリストから例外ハイフンを選択し、 をクリックして、例外ハイフンファイルをリソースとして追加します。
- **5 ソース**属性をクリックし、ドロップダウンメニューの**Quark Publishing Platform**を 選択します。

⊑, ⊑, ⁄ 🖻 🖆 🕒 📋	11V = 7: New Job Jackst		2
 ♥ ○ New Job Jacket □ デフォルトジョブチケット ▶ ○ New Job Jacket 2 ♥ ○ New Job Jacket 3 □ デフォルトジョブチケット ▶ ○ Project1 Job Jacket 	グリッドスタイル コールアウトスタイル ジョブの説明 ソースセットアップ ダッシュ&ストライブ デバイスリソース フォントセット ユーザー辞書(1)	*	
	1 - ザー辞書 マユーザー辞書 ソース バス デフォルト	ファイル (Quark Publishing Platform 参照 いいえ	•

6 参照ボタンをクリックし、目的の例外ハイフンファイルを選択して、**OK**をクリックします。

Platform上の例外ハイフンファイルの同期

ジョブジャケットからプロジェクトを作成し、例外ハイフンの参照が含まれている場合、 例外ハイフンファイルに加えられたすべての変更は、そのプロジェクトが次に開かれた とき、またはジョブチケットに再リンクされたときに、レイアウトへ反映されます。レ イアウト内のいずれかの例外ハイフンを追加/削除/変更した場合、プロジェクトを保 存するとき、新たに追加された例外ハイフンが例外ハイフンファイルへ反映されます。

Quark Publishing Platform環境内での同期の動作

- サーバーにチェックインされている外部の例外ハイフンファイルに加えられた変更は、プロジェクトが次に開かれた、またはチェックアウトされたとき、プロジェクトのレイアウトへ反映されます。
- QuarkXPressから例外ハイフンへ加えられた変更は、ユーザーがプロジェクトの保存またはチェックインを行ったとき、参照されている外部の例外ハイフンファイルへ反映されます。参照されている例外ハイフンアセットの新しいリビジョン(メジャー)は、ユーザーへの通知なしにサーバーで作成されます。

任意ハイフンの使用

テキストの自動ハイフンに加え、手動、つまり任意のハイフンを挿入(Command+-(ハ イフン)/Ctrl+-(ハイフン))することで、改行とテキストフローを制御できます。任 意ハイフンが挿入されるのは、単語が行末で分断される場合のみです。

トラッキングの制御

トラッキングでは、選択した文字や単語の間隔を調整して、割付および組版の効果を得ることができます。トラッキング値は、emスペースの1/200単位で表されます。正のトラッキング値では各文字の右側の間隔が増加し、負の値ではその間隔が減少します。

一般的に、トラッキングは割付に使用されます。ただし、過剰なトラッキングはデザインや読みやすさを損なう恐れがあります。割付のためにトラッキングを使用する場合、 下記のガイドラインを考慮してください。

- •1行や1単語ではなく段落全体をトラッキングします。
- •たとえば+3~-3など、トラッキングのガイドラインを作成します。
- 垂直方向で隣接する段落に同様のトラッキングを適用します。

これらは一般的なルールです。適切なトラッキング値は、デザイン、フォント、列幅、 および他の要素によって異なります。

手動トラッキング

選択したテキストにトラッキングを適用するには、下記の操作のいずれかを行ってくだ さい。

- (Windowsのみ):スタイル>トラッキングを選択し、トラッキング値フィール ドに値を入力して、OKをクリックします。
- メジャーパレットのトラッキング値コントロールを使用します。
- 下記のキーボードコマンドのいずれかを使用します。

Mac OS X

- 1/20em下げる: Command+Shift+{
- 1/20em上げる: Command+Shift+ }
- 1/200em下げる: Command+Option+Shift+{
- 1/200em上げる: Command+Option+Shift+ }

Windows

- 1/20em下げる:Ctrl+Shift+{
- 1/20em上げる: Ctrl+Shift+ }
- 1/200em下げる:Ctrl+Alt+Shift+{
- 1/200em上げる:Ctrl+Alt+Shift+ }

トラッキングテーブルの編集

アプリケーションでは、フォントに組み込まれたトラッキング情報(フォントのトラッ キングテーブル)を使用します。フォントのトラッキングテーブルは変更できませんが、 トラッキングの編集ダイアログボックス(補助メニュー)を使用して、任意のフォント に対してカスタムのトラッキングテーブルを作成することは可能です。

字送り

字送りで、水平テキストにある連続する文字境界ボックスの左端間の距離、または垂 直テキストにある連続する文字境界ボックスの上端間の距離を修正できます。字送りを 適用するには、テキストを選択してから、メジャーパレットにあるホーム/クラシック または文字/文字属性タブのトラッキング値フィールドに、2mmや8qなどの明示的な値 を入力します。Windowsでは、別の方法として、スタイル>トラッキング/字送りを選 択して、文字属性ダイアログボックスのトラッキング値フィールドに、2mmや8qなどの 明示的な値を入力することもできます。

- トラッキング値フィールドに数値を入力しても測定単位を指定しないと、字送りの代わり にトラッキングが適用されます。字送りを適用するには、測定単位を指定します。
- 中国語、日本語、韓国語ではない文字に字送りを適用できます。文字属性ダイアログボックス(Windowsでは編集 > 文字、Mac OS Xではメジャーパレットの文字タブ)で、 CJK以外の文字に字送りを適用チェックボックスをオンにします。

スタイルシートの使用

スタイルシートとは、1回の操作で選択した段落と文字に適用できる、段落属性、文字属 性、またはその両者から構成されるグループです。未フォーマットテキストを見出し、 サブ見出し、キャプション、または本文などのスタイルに変換するには、スタイルシー トを使用します。スタイルシートを使用して1回の操作で多数の文字属性および段落属性 を適用すると、レイアウト時間を節約でき、組版の整合性を保つことができます。

段落スタイルシートの作成および編集

段落スタイルシートは、段落および文字の属性に関する名前付きのパッケージです。テ キストに段落スタイルシートを適用するだけで、段落スタイルシートのフォーマット属 性をすべてテキストに適用できます。段落スタイルシートの作成、編集、複製、または 削除を行うには、**スタイルシート**ダイアログボックス(**編集 > スタイルシート**)を使用 します。

スタイルシートの対象 プロジェクト1 X	
表示(W): 全スタイルシート 🛛 🗸	
¶ 標準 A 標準	
「行揃え:左辺;左インデント:0";第1行:0";右イン」 ▲]
デント:0"; 行送り:自動; 前段落との間隔:0"; 次段 落との間隔:0"; H&J:標準; 箇条書きスタイル:なし; ▼	
新規(N) ▼ 編集(E) 複製(U) 削除(D)	
追加(A) 保存(S) キャンセル	

スタイルシートを作成、編集、または削除するには、**スタイルシート**ダイアログボック スを使用します。

段落スタイルシートを作成するには、新規ドロップダウンメニューから**段落**を選択しま す。**段落スタイルシートの編集**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボッ クスのコントロールを使用して、スタイルシートの属性を設定します。

テキストと組版

段落スタイルシートの編集	×
名前(N): 標準	
一般 フォーマット タブ 段落罫線	
ち ~ 割り当て(0)・	
~~ス(D): ¶ スタイル解除 ∨	
次のスタイル(X): ¶標準 ~	
文字スタイル(S): A 標準 🗸 編集(E)	
^같 고 그 다 쪼	
設定[7]音 行揃え:左辺;左インデント:0";第1行:0";右インデント:0";行 ▲	
送り:自動; 前段落との間隔:0"; 次段落との間隔:0"; H&J:標準; 箇条書きスタイル:なし; 文字揃え:ベースライン; ぶら下がり文	
字セット: なし; 次のスタイル: 標準; 段落の列のまたがる範囲: < なし>; 段落の列の分割: <なし>; 段落の列の内側の間隔: 0"; 段	
落の列の外側の間隔: 0"; 段落の列の再開フロー: False; 後の段落 >	
	71

段落スタイルシートを設定するには、**段落スタイルシートの編集**ダイアログボックスを 使用します。

まず、一般タブにある下記のコントロールを設定します。

- 名前:このフィールドに名前を入力します。入力しない場合、アプリケーションで はデフォルト名の「新規スタイルシート」が使用されます。
- キー割り当て:スタイルシートにキーボードコマンドを定義するには、キー割り当 てフィールドにキーボードコマンドを入力します。ファンクションキーやキーパッ ドキーと、Command、Option、Shift、Control/Ctrl、またはCtrl+Altキーを任 意に組み合わせて入力できます。
- 既存のコマンドも定義するキーシーケンスを使用して、スタイルシートのキーボードに該当する属性を定義すると、テキストコンテンツツールTが選択されていてテキストボックスが有効な場合、スタイルシートのコマンドが既存のコマンドよりも優先されます。
- ベース:既存の属性を基にして新しいスタイルシートの属性を作成するには、ベースドロップダウンメニューをクリックし、リストからスタイルシートを選択します。
 段落スタイルシートの編集ダイアログボックスのベースドロップダウンメニューを
 使用して、既存の属性に基づいてスタイルシートの属性を定義する場合、元のスタイルシートの属性に対して行なった変更が自動的にベースとなる属性にも適用されます。

- 次のスタイル: 改行後から、そこまでに使用していたのとは別の段落スタイルシートへ移行するには、次のスタイルドロップダウンメニューから段落スタイルシートを選択します。
- スタイル:文字スタイルシートと段落スタイルシートを関連付けるには、文字属性 領域のスタイルドロップダウンメニューからオプションを選択します。文字スタイ ルシートを作成するには、「文字スタイルシートの作成および編集」を参照してく ださい。

次に、**段落設定、タブ**、および**段落罫線**タブを使用して、段落スタイルシートの追加属 性を指定します。選択したら、**OK**をクリックして**スタイルシート**ダイアログボックスに 戻ります。次に**保存**をクリックしてスタイルシートを保存します。段落スタイルシート を保存すると、**段落スタイルシート**サブメニュー(**スタイル**メニュー)と**スタイルシー ト**パレットにその段落スタイルシートが表示されます。

- プロジェクトが開かれていない状態でスタイルシートを作成すると、そのスタイルシート がデフォルトのスタイルシートリストの一部となり、以降作成されるすべてのプロジェク トに含まれます。プロジェクトを開いた状態でスタイルシートを作成すると、そのスタイ ルシートはアクティブなプロジェクトのスタイルシートリストのみに含まれます。
- 段落設定済みテキストに基づいて段落スタイルシートを作成するには、まず、段落スタイ ルシートに必要なフォーマット属性を使用している段落内で、テキストの挿入ポイントを 指定します。編集 > スタイルシートを選択して、スタイルシートダイアログボックスを 表示します。新規 > 段落を選択し、名前フィールドに名前を入力します。保存をクリッ クします。その後、新規スタイルシートを段落に適用します。「作成後にスタイルシート を適用」チェックボックスをオンにすると、現在選択している段落にスタイルシートが自 動的に適用されます。

段落スタイルシートの更新

ローカルフォーマットが均一に適用されている段落内にポインタを置いて更新ボタン をクリックすると、そのテキストに適用されているスタイルシートが更新されてこのロー カルフォーマットが含まれるようになります。また、スタイル > スタイルシートの更新 > 段落を選択することもできます。

テキストに適用されている段落スタイルシートおよび文字スタイルシートを更新してロー カルフォーマットが反映されるようにするには、スタイル>スタイルシートの更新>両 方を選択します。

文字スタイルシートの作成および編集

文字スタイルシートは、文字属性の名前付きパッケージです。テキストに文字スタイル シートを適用するだけで、文字スタイルシートのフォーマット属性をすべてテキストに 適用できます。文字スタイルシートの作成、編集、または削除を行うには、**スタイルシー ト**ダイアログボックス(**編集 > スタイルシート**)を使用します。

文字スタイルシートを作成するには、新規ドロップダウンボタンから文字設定を選択し ます。文字スタイルシートの編集ダイアログボックスが表示されます。このダイアログ ボックスのコントロールを使用して、スタイルシートの属性を設定します。

テキストと組版

文字スタイルシートの編集	×
名前(N): <mark>新規スタイルシート</mark> キ ー割 り当て(Q): ベース(D): <u>A</u> スタイル解除	
フォント Arial 文字飾 サイズ(Z): 12 pt カラー(R): ブラック シェード 100% アンダーラ アンダーラ 不透明: 100% 縮小率(L): 水平方向 100% トラッキング/字送り(M): 0 ベースラインシフト(E): 0 pt	□ボールド(B) ップス □イタリック(I ャップス □シャドウ(H イン(U □上付き(T) ダーライン □下付き(T) &(K) □肩文字(S) 乳 線(D) □アウトライン(ドット
 □ 干角幅义字を常に組向きにする ○ CIK以外の文字に字送りを適用 □ 合字を使用 ■ 首語: ▼ OpenType □ 任意の合字 □ プロポーショナル □ スモールキャ □ うイニング □ 全てのスモールキ □ オールドスタイル □ アーカライズドフ 	 英語(米国) ↓ イタリ →分数 □ スワッ □ 序数 □ タイトル用字 ☑ 対議関係に依存する字
 □ 縦書き用/横書き用仮名の使 設定位置: なし 代替メトリク なし (代替字体: なし 書式セット: なし 	OK キャンセル

文字スタイルシートを設定するには、**文字スタイルシートの編集**ダイアログボックスを 使用します。

まず、一般タブにある下記のコントロールを設定します。

- 名前:このフィールドに名前を入力します。入力しない場合、アプリケーションで はデフォルト名の「新規スタイルシート」が使用されます。
- キー割り当て:スタイルシートにキーボードコマンドを定義するには、キー割り当 てフィールドにキーボードコマンドを入力します。ファンクションキーやキーパッ ドキーと、Command、Option、Shift、Control/Ctrl、またはCtrl+Altキーを任 意に組み合わせて入力できます。
- ベース:既存の属性を新しいスタイルシートの属性の基にするには、ベースドロップダウンメニューからスタイルシートを選択します。

次に、**文字スタイルシートの編集**ダイアログボックス下部のセクションから文字属性を 選択します。選択したら、**OK**をクリックして**スタイルシート**ダイアログボックスに戻り ます。次に**保存**をクリックしてスタイルシートを保存します。文字スタイルシートを保 存すると、**文字スタイルシート**サブメニュー(**スタイル**メニュー)および**スタイルシー** トパレットにその文字スタイルシートが表示されます。

文字スタイルシートの更新

ローカルフォーマットが均一に適用されているテキストを選択して**更新**ボタン**と**をクリックすると、そのテキストに適用されているスタイルシートが更新されてこのローカル

フォーマットが含まれるようになります。また、スタイル>スタイルシートの更新>文 字を選択することもできます。

テキストに適用されている段落スタイルシートおよび文字スタイルシートを更新してロー カルフォーマットが反映されるようにするには、スタイル>スタイルシートの更新>両 方を選択します。

スタイルシートの適用

選択したテキストにスタイルシートを適用するには、下記の操作のいずれかを行ってく ださい。

- スタイル>段落スタイルシートサブメニューまたはスタイル>文字スタイルシート サブメニューからスタイルシート名を選択します。
- スタイルシートパレット(ウィンドウメニュー)を表示し、パレットのスタイルシー ト名をクリックします。
- スタイルシートパレットのスタイルシート名の横に表示されているキーボードコマンドを必要に応じて使用します。

さらに、**スタイルシート**パレットメニューとスタイルシートのコンテキストメニューに は、下記のオプションがあります。

- スタイルシートの適用とローカルの文字飾りの保持:選択したスタイルシートを適用します。ボールドやイタリックなど、ローカルの文字飾りのみ保持します。
- スタイルシートの適用、ローカルの文字飾りとOpenTypeスタイルの保持:選択したスタイルシートを適用します。ボールドやイタリックなどのローカルの文字飾りとOpenTypeの文字飾りの両方は保持します。
- スタイルシートの適用とローカルフォーマットの削除:選択したスタイルシートを 適用し、すべてのローカルフォーマットを削除します。スタイルシート名で Option/Altキーをクリックしても同じことができます。
- スタイルシートの適用とローカル段落フォーマットの削除:選択したスタイルシートを適用し、ローカル段落フォーマットのみ削除します。ローカル文字フォーマットはすべて保持されます。
- スタイルシートの適用とアピアランスの保持:選択したスタイルシートを適用しま す。また、段落の現在のアピアランスを保持するために必要なローカルフォーマッ トをすべて適用します。

下記のコマンドのいずれかを使用すると、QuarkXPressで、選択したテキストに、指定 した段落スタイルシートが適用されます。そのスタイルシートに次のスタイルが指定さ れている場合は、そのスタイルが以降の段落に適用されます。このプロセスは、 QuarkCopyDeskで次のスタイルが指定されていない段落が見つかるまで続きます。こ の機能のオプションは下記のとおりです。

- 次のスタイルを使用して適用:通常どおりにスタイルシートを適用します。
- 次のスタイルを使用して適用とローカルの文字飾りの保持:スタイルシートを適用 します。ボールドやイタリックなど、ローカルの文字飾りは保持します。
- 次のスタイルを使用して適用、ローカルの文字飾りとOpenTypeスタイルの保持: スタイルシートを適用します。ボールドやイタリックなどのローカルの文字飾りと OpenTypeの文字飾りの両方は保持します。

次のスタイルを使用して適用とローカルフォーマットの削除:スタイルシートを適用します。また、各段落の現在のアピアランスを保持するために必要なローカルフォーマットをすべて適用します。

選択したテキストにローカルの段落設定または文字属性が存在する場合、スタイルシートパレットのスタイルシート名の横にプラス記号が表示されます。ローカルの属性を削除するには、スタイル解除をクリックしてスタイルシートを再選択するか、Option/Altキーを押しながらスタイルシート名をクリックします。

スタイルシートの追加

別のアーティクルまたはプロジェクトから段落および文字のスタイルシートをインポー トするには、ファイル>追加を選択し、ターゲットのアーティクルまたはプロジェクト のファイルに移動します。次にスタイルシートペインを表示してターゲットのスタイル シートをインポートします。

ソースファイルのスタイルシートがターゲットプロジェクトのスタイルシートと同じ名 前で定義が異なる場合、コンフリクトの追加ダイアログボックスが表示されます。この ダイアログボックスを使用してコンフリクトの処理方法を定義できます。

条件付きスタイルの使用

条件付きスタイルを使用すると、テキストの内容に基づいて、自動的にテキストにフォー マットが適用されます。たとえば、以下のようなイメージで示されるテキストフォーマッ トのルールがあるとします。

Syrtes Miscere Optimus

Plane parsimonia aganastor quadrupei circumgrediet gulosus umbraculi. Cathedras senesceret adfabilis zothecas. Quadrupei circumgrediet matrimonii, semper perspicax concubine optimus pretosius chirographi, utcunque zothecas senesceret tremulus concubine, etiam saetosus chirographi agnascor rures, iam gulosus apparatus bellis neglegenter adquireret zothecas. Oratori celeriter imputat incredibiliter saetosus ossifragi.

Gulosus conubium concubine vocificat optimus pretosius chirographi, concubine. Augustus syrtes, et adfabilis oratori matrimonii. – *Quadrupei Circumgrediet*

条件付きスタイルでフォーマットが適用されるテキスト ここで使用されるルールは、以下のように記述できます。

- 1 Headlineという段落スタイルシートを最初の段落に適用します。
- 2 Bold Bodyという文字スタイルシートを、2番目の段落の最初の文章に適用します。

- 3 Bodyという段落スタイルシートを、ストーリーの最後まで適用します。
- 4 最後まで到達したら、方向を変えて、Bylineという文字スタイルシートを、emダッシュ に到達するまで逆方向に適用します。
- 各ステップは、前のステップの実行後のみ実行されます。また、前のステップが終了した テキストの位置から実行されます。いずれかのステップがエラーになった場合は、残りの ステップは実行されません。

条件付きスタイル機能では、このような指示を取り込んで、その内容を自動的にテキストに適用できます。たとえば、上記のルールは、以下のような条件付きスタイルに取り込むことができます。

当前:	新規条件付きスタイル 3											
適用	\$	A	標準	÷	直前まで	\$	1	文字列	\$	00		
適用	\$	A	標準	\$	直前まで	\$	1	文字列	\$	00		
適用	÷	A	標準	\$	直前まで	\$	1	文字列	‡	00		

上記のフォーマットを作成する条件付きスタイル

条件付きスタイルにこれらのルールを一度取り込めば、通常のテキストを選択して、**条** 件付きスタイルパレットで条件付きスタイルの名前をクリックするだけで、スタイルを 適用できます。

0	\$
▼ 条件付きスタイル	Ŀ
+ / Ø	Î
条件付きスタイルなし	
新規条件付きスタイル	
新規条件付きスタイル 2	

条件付きスタイルパレット:

重要な点として、条件付きスタイルは段落単位で適用されます。各段落には、1つしか条件付きスタイルを適用できません。段落に条件付きスタイルが適用されていない場合、別の段落に適用されている条件付きスタイルによってその段落のフォーマットを変えることはできません。

また、条件付きスタイルを連続した段落に適用すると、その条件付きスタイルは、その 連続した段落**のみ**に作用します。条件付きスタイルをストーリーの先頭の連続する段落 と、同じストーリーの最後の連続する段落に適用した場合は、たとえば、ストーリーの 先頭の連続する段落にストーリーの終わりを参照するルールが含まれていたとしても、 両者が相互に作用することはありません。

条件付きスタイルの作成

条件付きスタイルを作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 編集>条件付きスタイルを選択します。条件付きスタイルダイアログボックスが表示されます。
- 2 新規をクリックします。条件付きスタイルの編集ダイアログボックスが表示されます。

H03.	相乃	见宋1	+1)2×	.91	<i>N</i> 3	_	_		
適用	;	A	標準	ŧ	直前まで	\$	1	文字列	\$ 00
適用	ŧ	A	標準	\$	直前まで	ŧ	1	文字列	\$ 00
適用	\$	A	標準	\$	直前まで	\$	1	文字列	\$ 00
- 41	+ (+):	± 7	タイルオ	= sa n	返す 回惑ご	بر		*	

条件付きスタイルの編集ダイアログボックス

- 3 名前フィールドに条件付きスタイルの名前を入力します。
- 4 ルールの作成を開始するには、最初の列でオプションを選択します。
 - 適用:このオプションを使用すると、テキストにフォーマットが適用されます。
 - 移動:このオプションを使用すると、テキスト内の別の場所に移動します。移動ルール以降のルールは、移動ルールが停止した場所から適用が開始されます。

最初の列で選択するオプションによって、他の列で使用できるオプションが決まります。

- 5 最初の列で適用を選択した場合、2番目の列には適用する段落スタイルシートまたは文字 スタイルシートを選択します。
- 6 その次の3つの列を使用して、スタイルを適用するテキスト、またはジャンプさせるテキ ストを指定します。3番目の列から開始します。
 - 直前まで:前方に移動し、指定された場所の直前で停止します。

- •指定範囲まで:前方に移動し、指定された場所の直後で停止します。
- 直後まで:後方に移動し、指定された場所の直前で停止します。
- •指定範囲(後方)まで:後方に移動し、指定された場所の直後で停止します。
- ➡ 5番目の列で選択したオプションでは、これらのオプションのすべてをこの列で使用できるかどうかを制御します。
 - 7 4番目の列には、適用する位置またはそこまでの範囲に対して5番目の列のオプションが 発生する回数を指定します。
 - 8 5番目の列では、ジャンプまたはフォーマットを行う位置またはそこまでの範囲の対象と なるエンティティを選択します。
 - カーソル位置:このオプションを選択すると、移動せずに、現在の場所に段落スタ イルシートを適用します。
 - 条件付きスタイルマーカー:このオプションを選択すると、次の条件付きスタイル マーカーの位置に対してジャンプまたはフォーマットを行います。詳細は、「条件 付きスタイルマーカー」を参照してください。
 - 文字:このオプションを選択すると、特定の文字が対象となります。次の列に文字 を入力します。複数の文字のいずれかまで、またはその範囲に移動する場合は、その間の文字以外のすべての文字を入力します。たとえば、ここで「abc」と入力すると、「a」、「b」、または「c」でアプリケーションが停止します。
 - 数字:このオプションを選択すると、次に数字が現れる位置またはそこまでの範囲 に対してジャンプまたはフォーマットが行われます。
 - 文字列:このオプションを選択すると、特定のテキストのまとまりが対象となりま す。次の列にテキストを入力します。
 - **文字数**:このオプションを選択すると、特定の文字数に対してフォーマットが行われます。
 - 単語数:このオプションを選択すると、特定の単語数に対してフォーマットが行われます。
 - **文の先頭**:このオプションを選択すると、現在の文の先頭にさかのぼってフォーマットが行われます。
 - **文の終わり**:このオプションを選択すると、現在の文の終わりの位置までの範囲に 対してフォーマットが行われます。
 - 段落の先頭:このオプションを選択すると、現在の段落の先頭の位置にさかのぼっ てジャンプまたはフォーマットが行われます。
 - 段落の終わり:このオプションを選択すると、現在の段落の終わりの位置までの範囲に対してジャンプまたはフォーマットが行われます。
 - 次の段落:このオプションを選択すると、次の段落の位置またはそこまでの範囲に 対してジャンプが行われます。
 - 最後の段落:このオプションを選択すると、最後の段落の位置またはそこまでの範囲に対してジャンプが行われます。

- ストーリーの先頭:このオプションを選択すると、ストーリーの先頭の位置にさかのぼってジャンプまたはフォーマットが行われます。文の数:このオプションを選択すると、特定の文の数に対してフォーマットが行われます。
- ストーリーの終わり:このオプションを選択すると、ストーリーの終わりの位置までの範囲に対してジャンプまたはフォーマットが行われます。
- ➡ 条件付きスタイルの一部としてテキストを使用する場合、特殊文字も使用できます(「 株文字コード」を参照)。
- **9** ルールを追加するには、最初の行の行末にある+ボタンをクリックします(ルールを削除するには、-ボタンをクリックします)。
- **10** ルールを繰り返すには、**条件付きスタイルを繰り返す**をオンにして、下記のオプション を選択します。
 - 文字列: このオプションを選択すると、特定のテキストのまとまりが見つかった場合に繰り返されます。フィールドに対象のテキストを入力します。
 - 文字:このオプションを選択すると、特定の文字が見つかった場合に繰り返されます。次の列に対象の文字を入力します。複数の文字のいずれかの各インスタンスまで繰り返す場合は、その間にある文字以外のすべての文字を入力します。たとえば、ここで「abc」と入力すると、アプリケーションでは、「a」、「b」、または「c」が見つかるまで繰り返します。
 - 条件付きスタイルマーカー:このオプションを選択すると、条件付きスタイルマー カーが見つかった場合に繰り返されます。
 - •段落ごと:このオプションを選択すると、段落ごとの先頭の位置で繰り返されます。

11 OKをクリックします。

条件付きスタイルパレットで新規 やをクリックしても、条件付きスタイルを作成できます。条件付きスタイルパレットで複製 のをクリックすると、条件付きスタイルを複製できます。

条件付きスタイルの適用

条件付きスタイルを適用するには、下記の手順に従ってください。

1 ウィンドウメニューの条件付きスタイルパレットを表示します。



条件付きスタイルパレット:

- 2 テキストコンテンツツール を選択してから、対象とする段落を選択するか、または条 件付きスタイルを開始する位置にテキストカーソルを配置します。
- 3 条件付きスタイルパレットで、条件付きスタイルの名前をクリックします。

条件付きスタイルをテキストに適用すると、条件付きスタイルを解除するまで、そのテ キストの書式設定は自動的に継続されます。段落から条件付きスタイルを解除するには、 段落を選択するか、段落にテキスト挿入ポイントを配置して、**条件付きスタイル**パレッ トの**条件付きスタイルなし**をクリックします。

条件付きスタイルの解除

適用されている条件付きスタイルをテキストから解除するには、下記の2つの方法があり ます。

- 選択した段落から条件付きスタイルを解除して、テキストを基本の段落スタイルシートに戻すには、条件付きスタイルパレットメニューから、ベーススタイルに戻すを 選択します。
- 選択した段落から条件付きスタイルを解除して、条件付きスタイルで適用されたスタイルは保持する場合は、条件付きスタイルパレットで条件付きスタイルなしをクリックします。または、条件付きスタイルパレットメニューから条件付きスタイルの解除を選択します。

条件付きスタイルマーカーの使用

特定の文字や文の終わりなど、テキストフローの特徴がなく、条件付きスタイルの適用 を停止または開始できない場合は、**条件付きスタイルマーカー**と呼ばれるゼロ幅文字を 挿入できます。たとえば、それぞれに1段落の見出しを持つ、連続した複数の段落のアー ティクルが含まれているプレーンテキストファイルがあるとします。この場合も、条件 付きスタイルを使用して、下記のようにフォーマットを設定できます。

1 条件付きスタイルマーカーを各見出しの先頭に挿入します。条件付きスタイルマーカー を挿入するには、補助>文字を挿入>特殊文字>条件付きスタイルマーカーを選択しま す。 Agricolae divinus praemuniet

Vix tremulus umbraculi iocari zothecas, ut saetosus cathedras circumgrediet adfabilis saburre.

Ossifragi agnascor catelli

Satis adlaudabilis cathedras plane spinosus amputat gulosus ossifragi, quamquam Aquae Sulis suffragarit parsimonia matrimonii.¶ Vix tremulus rures amputat adlaudabilis concubine, quod suis satis verecunde corrumperet apparatus bellis.¶

Catelli insectat quadrupei

Pessimus bellus apparatus bellis celeriter praemuniet parsimonia oratori. etiam rures suffragarit fragilis cathedras. Medusa vocificat

条件付きスタイルマーカー(黄色のハイライト)が挿入されたプレーンテキスト

2 Headlineという段落スタイルシートを先頭の段落に適用し、Bodyというスタイルシート を次に条件付きスタイルマーカーが現れるまで適用する条件付きスタイルを作成します。 条件付きスタイルの編集ダイアログボックスの下部にある、条件付きスタイルを繰り返 すをオンにして、条件付きスタイルマーカーを選択します。

-		-					•	
適用	Ŧ	91	新規ス…	指定範囲まで	Ŧ	段落の終わり		00
四用	•	1	和观人…	• 間前年で	•	米田リュスタイルマールー		90

条件付きスタイルマーカーを使用している条件付きスタイル

3 条件付きスタイルをテキストに適用します。各アーティクルに、自動的にフォーマット が適用されます。

Agricolae divinus praemuniet

Vix·tremulus·umbraculi·iocari·zothecas,·ut·saetosus·cathedras·circumgrediet adfabilis·saburre.¶

Ossifragi agnascor catelli¶

Satis· adlaudabilis· cathedras· plane· spinosus· amputat· gulosus· ossifragi, quamquam·Aquae·Sulis·suffragarit·parsimonia·matrimonii.¶

Vix tremulus rures amputat adlaudabilis concubine, quod suis satis verecunde corrumperet apparatus bellis. ¶

Catelli insectat quadrupei¶

Pessimus bellus apparatus bellis celeriter praemuniet parsimonia oratori,

条件付きスタイルが適用されたテキスト

条件付きスタイルの編集

条件付きスタイルを編集するには、下記の2つの方法があります。

- 編集>条件付きスタイルを選択します。条件付きスタイルを選択して、編集をクリックします。
- 条件付きスタイルパレットで条件付きスタイルを選択して、編集

 をクリックします。

条件付きスタイルを削除するには、**条件付きスタイル**ダイアログボックスの**削除**ボタン を使用します。または、**条件付きスタイル**パレットで条件付きスタイルを選択して、**削** 除**前**をクリックします。

箇条書きおよび番号付きリスト

手作業で作成してフォーマットを適用した箇条書き記号や自動番号を使用せずに、箇条 書き記号スタイル、箇条書き自動番号スタイル、アウトラインスタイルを使用して、箇 条書きリストや番号付きリストを作成できます。

箇条書き記号スタイルでは、箇条書き記号の外観、テキストとの間隔、位置揃えについて記述します。

箇条書き自動番号スタイルでは、番号の外観、書式、テキストとの間隔、位置揃えにつ いて記述します。

アウトラインスタイルでは、最大9段階のインデントレベルでインデントを定義します。 箇条書き記号スタイルまたは箇条書き自動番号スタイルを、それぞれのレベルと関連付 けることができます。また、一部の種類のアウトラインと同様に、前のレベルからの番 号を使用するかどうかを選択できます。

箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインスタイルを適用するには、メジャーパ レットの段落/段落設定タブの右側にある・/123ドロップダウンメニューを使用します。 アウトラインスタイルを適用した場合は、インデントを減らすボタンとインデントを増 やすボタンで、段落のインデントレベルを増やしたり減らしたりできます。
									● デフ: 123 デフ:	ŧルト記号スタイル ŧルト番号スタイル
									「唐 簡易」 「唐 デフ: 「唐 デフ:	Pウトライン ŧルト記号アウトライン ŧルト毎号アウトライン
<u></u>	T 文字	¶ 段落	■ 段落葵線	🗐 テキストポックス	() フレーム	値 回り込み	旦 複数アイテムの配置	ドロップシャドウ		
0 px	0 🔚 0 рх	0 🟦 🕻 💷		H&J: 標準	÷ 🖬 1	8 🗆 🚳	 ・ ・ ・	■ 🐴 ページグリッド 🗧	·/123 4L	0
0 px	0 px	8 🖺 8 0 px	• = =	目 なし	÷ = 3	0	● 始点: 2 最後:	2 ペースライン :	1.2 рх	0 0 4, 1 0

•/123ドロップダウンメニューとインデントのボタン

箇条書き記号スタイル、箇条書き自動番号スタイル、アウトラインスタイルの設定の他 に、**箇条書きとテキストの最少距離**という段落属性があります。

- (Windows) スタイル > フォーマット > 段落設定タブ
- (Mac OS X) メジャーパレットの段落タブ

この値を使用すると、左揃えまたはセンター揃えの自動番号が段落内に入り込むような 状況に対応できます。

箇条書き記号スタイルの使用

箇条書き記号スタイルでは、箇条書き記号の外観、テキストとの間隔、位置揃えについ て記述します。

箇条書き記号スタイルを作成するには、**編集 > 箇条書きスタイルとアウトラインスタイ** ルを選択して、次に、**箇条書きスタイルとアウトラインスタイル**ダイアログボックスの 新規ボタンから**箇条書き記号スタイル**を選択します。**箇条書き記号スタイルの編集**ダイ アログボックスが表示されます。

	箇条書	き記号スタイ	ルの編集
名前:	箇条書き記号スク	タイル	
文字スタイル:	A 段落から継ば	承	÷
行頭文字:	•]	
位置:	-6.35 mm	• 絶対	○ 相対(単位:全角)
サイス:	100% ‡		
加入:	4 •	,	キャンセル OK

箇条書き記号スタイルの編集ダイアログボックス

箇条書き記号のスタイルを制御するには、**文字スタイル**ドロップダウンメニューからオ プションを選択します。**段落から継承**を選択して、箇条書き記号に対する段落の文字 フォーマットを使用します。または、文字スタイルシートを選択して、その文字スタイ ルシートのフォーマットを使用します。

行頭文字フィールドで、実際の箇条書き記号の文字を入力します。

箇条書き記号を段落から継承する場合は、**サイズ**フィールドを使用して、箇条書き記号 の文字のサイズを変更できます。

位置の値で、箇条書き記号の段落からの距離を制御できます。この距離は、絶対単位で 指定できます。または、相対(単位:全角)をクリックして、emスペースで値を指定し ます。相対(単位:全角)オプションは、サイズが異なるテキストで箇条書き記号スタ イルを使用する場合に適しています。



箇条書き記号の位置

行揃えでは、箇条書き記号の位置を揃える方法を制御します。



左揃え、センター揃え、右揃えの箇条書き記号

箇条書き記号スタイルは、下記の3つの方法で適用できます。

- メジャーパレットの段落/段落設定タブにある・/123メニューから、箇条書き記号 スタイルの名前を選択します。この方法の場合、箇条書き記号は、位置の値によっ て、段落の先頭行のインデントの左に配置されます。
- メジャーパレットの段落/段落設定タブにある・/123メニューから、箇条書き記号 スタイルを使用するアウトラインスタイルを選択します。この方法の場合、箇条書 き記号の位置は、アウトラインスタイルによって制御されます。詳細は、「アウト ラインスタイルの使用」を参照してください。
- ・箇条書き記号スタイルを段落スタイルシートと関連付けてから、そのスタイルシートをテキストに適用します。詳細は、「箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインおよびスタイルシート」を参照してください。

箇条書き自動番号スタイルの使用

箇条書き自動番号スタイルでは、番号の外観、書式、テキストとの間隔、位置揃えにつ いて記述します。

箇条書き自動番号スタイルを作成するには、編集 > 箇条書きスタイルとアウトラインス タイルを選択して、次に、箇条書きスタイルとアウトラインスタイルダイアログボック スの新規ボタンから箇条書き自動番号スタイルを選択します。箇条書き自動番号スタイ ルの編集ダイアログボックスが表示されます。

	箇条書き自動番号スタ	イルの編集
名前:	箇条書き自動番号スタイル	
文字スタイル:	▲ 段落から継承	\$
形式:	1,2,3,4	\$
接頭辞:		接尾辞:
位置:	-6.35 mm ● 絶対	○ 相対(単位:全角)
サイズ:	100% ‡	
揃え:	左 \$	キャンセル OK

箇条書き自動番号スタイルの編集ダイアログボックス

箇条書き自動番号のスタイルを制御するには、文字スタイルドロップダウンメニューか らオプションを選択します。段落から継承を選択して、箇条書き自動番号に対する段落 の文字フォーマットを使用します。または、文字スタイルシートを選択して、その文字 スタイルシートのフォーマットを使用します。

形式ドロップダウンメニューから自動番号のフォーマットを選択します。

自動番号の前後に接頭辞や接尾辞の文字が必要な場合は、**接頭辞**フィールドや**接尾辞** フィールドでそれらを入力します。

箇条書き自動番号を段落から継承する場合は、**サイズ**フィールドを使用して、箇条書き 自動番号のサイズを変更できます。

位置の値で、それぞれの箇条書き自動番号の段落からの距離を制御できます。この距離 は、絶対単位で指定できます。または、相対(単位:全角)をクリックして、emスペー スで値を指定します。相対(単位:全角)オプションは、サイズが異なるテキストで箇 条書き自動番号スタイルを使用する場合に適しています。

箇条書き自動番号の位置揃えとオフセットの機能は、箇条書き記号の位置揃えとオフセットと同じです。詳細は、「箇条書き記号スタイルの使用」を参照してください。

箇条書き自動番号スタイルは、下記の3つの方法で適用できます。

- メジャーパレットの段落/段落設定タブにある・/123メニューから、箇条書き自動 番号スタイルの名前を選択します。この方法の場合、箇条書き自動番号は、位置の 値によって、段落の先頭行のインデントの左に配置されます。
- メジャーパレットの段落/段落設定タブにある・/123メニューから、箇条書き自動 番号スタイルを使用しているアウトラインスタイルを選択します。この方法の場合、 箇条書き自動番号の位置は、アウトラインスタイルによって制御されます。詳細は、 「アウトラインスタイルの使用」を参照してください。
- 箇条書き自動番号スタイルを段落スタイルシートと関連付けてから、そのスタイル シートをテキストに適用します。詳細は、「*箇条書き記号、箇条書き自動番号、ア* ウトラインおよびスタイルシート」を参照してください。

段落の開始番号を変更するには、下記の操作を行ってください。

• (Windowsのみ): スタイル>段落設定を選択し、自動番号を新しく開始チェックボックスをオンにして、開始番号フィールドに開始番号を入力します。

• (Mac OS Xのみ):メジャーパレットの箇条書きおよび番号付きリストタブを使用します。

アウトラインスタイルの使用

アウトラインスタイルでは、最大9段階のインデントレベルでインデントを定義します。 箇条書き記号スタイルまたは箇条書き自動番号スタイルを、それぞれのレベルと関連付 けることができます。また、一部の種類のアウトラインと同様に、前のレベルからの番 号を使用するかどうかを選択できます。

アウトラインスタイルを作成するには、編集 > 箇条書きスタイルとアウトラインスタイ ルを選択して、次に、箇条書きスタイルとアウトラインスタイルダイアログボックスの 新規ボタンからアウトラインスタイルを選択します。アウトラインスタイルの編集ダイ アログボックスが表示されます。

	'ウトラインスタイ	JL	
レベル	インデント	箇条書きスタイル	下位レベル/セパレータを含む
1	0.25"	なし	\$
2	0.25"	なし	‡ □ .
3	0.25"	なし	¢ 🗍 .
4	0.25"	なし	↓ □ .
5	0.25"	なし	¢ 🗍 .
6	0.25"	なし	‡ □ ·
7	0.25"	なし	¢ 🗍 .
8	0.25"	なし	‡ □ ·

アウトラインスタイルの編集ダイアログボックス

各アウトラインスタイルには9段階のレベルがありますが、9段階すべてを使用する必要 はありません。各レベルにインデントがあり、**インデント**フィールドでそのレベルを指 定できます。インデントは累積的に適用されます。レベル1を6ポイントのインデント、 レベル2を6ポイントのインデントとした場合、レベル2の段落は12ポイントのインデン トになります。

アウトラインスタイルのインデントは、段落のインデントの上に適用されます。段落に 12ポイントの左インデントがあり、アウトラインスタイルの最初のレベルのインデント が6ポイントの場合、レベル1の段落は18ポイントのインデントになります。

レベルごとに箇条書き記号スタイルまたは箇条書き自動番号スタイルを指定できます。 またはどちらも指定しないようにできます。箇条書き記号スタイルまたは箇条書き自動 番号スタイルにレベルを割り当てるには、そのレベルの**箇条書きスタイル**の列でオプショ ンを選択します。



この図は、レベルインデントと箇条書き記号の位置の関係を説明しています。箇条書き 自動番号の位置も同様です。

下位レベル/セパレータを含む列では、下位レベルの番号を番号の先頭に追加するかどうか選択できます。また、各レベルの番号の区切りを指定できます。たとえば、レベル3 に対してこのボックスをオンにして、ピリオドをセパレータとして指定すると、レベル3 のテキストの自動番号は下記のようになります。

1.3.1 この段落がレベル3です。

1.3.2 この段落がレベル3です。

1.3.3 この段落がレベル3です。

特定のレベルについて、レベル間に挿入される文字を変更するには、**下位レベル/セパ レータを含む**チェックボックスの右をダブルクリックして、新しい文字を入力します。

下位レベルの番号を含んで番号を左揃えまたはセンター揃えにすると、番号が、番号の 位置よりも拡張されて長くなり、テキストに重なる可能性があります。この可能性に対 処するには、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ): 箇条書きとテキストの最少距離(スタイル>フォーマット> フォーマットタブ)という段落属性があります。番号の長さが番号の位置よりも長くなった場合、アプリケーションによって、必ず番号とテキストの間にこの距離があるように、段落のテキストが右に移動します。
- (Mac OS Xのみ):メジャーパレットの段落タブに、箇条書きとテキストの最少 距離段落属性があります。

テキストと組版



箇条書きとテキストの最少距離の値が適用された状態

数値の最後にあるゼロを含めるには、最後のゼロを含めるオプションをオンにします。 たとえば、このボックスをオンにし、アウトラインが3レベルある場合、次のように番号 付けが行われます。

- 1.0.0 この段落は、3レベルのアウトライン中のレベル1です。
- 1.1.0 この段落は、3レベルのアウトライン中のレベル2です。
- 1.1.1 この段落は、3レベルのアウトライン中のレベル3です。
- ➡ 親のレベルで別のアウトラインのスタイルが適用されても、下のレベルに適用されるアウ トラインのスタイルは保持されます。

下記の2つの方法で、アウトラインスタイルをテキストに適用できます。

- メジャーパレットの段落/段落設定タブにある・/123メニューから、アウトライン スタイルの名前を選択します。
- アウトラインスタイルを段落スタイルシートと関連付けてから、そのスタイルシートをテキストに適用します。詳細は、「箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインおよびスタイルシート」を参照してください。

箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインおよびスタイルシート

箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインスタイルを段落スタイルシートと関連 付けるには、下記の手順に従ってください。

- 1 段落スタイルシートの編集ダイアログボックス(編集>スタイルシート>新規または編集)のフォーマットタブを表示します。
- 2 •/123ドロップダウンメニューから、箇条書き記号、箇条書き自動番号、またはアウト ラインスタイルを選択します。

	段落スタイルシートの編集
名前: 標準	
一般 フォーマット	 ・タブ 段落罫線
左インデント:	0 px
第1行:	0 px \$ 文字数: 1
右インデント:	0 px 行数: 3
行送り:	自動
前段落との間隔:	0 px 全行送る
次段落との間隔:	0 px
*行揃え:	左辺 ᅌ 次段落との分割不可
*H&J:	標準 🔷 🗍 グリッド固定・
•文字配置:	ペースライン 📀 ページグリッド 🗘
	ペースライン
・ぷら下がり文字	0設定: なし ♀
	•/12: √ なし
	● デフォルト記号スタイル
	123 デフォルト番号スタイル
	簡易アウトライン
	デフォルト記号アウトライン
 これらの属性を依 の画像へ変換をオ 	開す 〒 デフォルト番号アウトライン ンにし OK

箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインスタイルと段落スタイルシートの関連 付け

このスタイルシートを段落に適用すると、箇条書き記号、箇条書き自動番号、またはアウトラインスタイルも適用されます。

テキストボックスのテキストの位置

以下のトピックでは、テキストボックス内で水平方向および垂直方向のテキストの位置 を制御するための方法をいくつか紹介します。

ベースライングリッドの使用

QuarkXPressバージョン7.0以前には、ベースライングリッドという機能が含まれていました。ベースライングリッドとは、各ページの上から下まで均等な間隔で配置された、 一連の表示されない水平ラインです。段落をベースライングリッドにロックすると、列 と列の間、ボックスとボックスの間、またはページやスプレッドの全体にわたって、ベー スラインを揃えることができます。

QuarkXPress 8.0およびそれ以降では、ベースライングリッド機能に代わってデザイン グリッド機能が使用されます。詳細は、「*デザイングリッドの使用*」を参照してくださ い。

垂直方向のテキストの位置揃え

テキストボックス内にあるテキスト行の垂直方向の位置を決定するオプションは4つあり ます。

- 上:上揃えが適用されたテキストボックスでは、最初の行の上部が1行目のベースライン領域で指定された位置にくるようにテキストボックスにテキスト行が配置されます。
- センター:センターが適用されたテキストボックスでは、1行目のベースラインのアセントとテキストボックス下部の中間にテキスト行が配置されます。
- 下:下揃えが適用されたテキストボックスでは、最終行とテキストボックス下部が 一致するようにテキスト行が配置されます。
- 両端揃え:両端揃えが適用されたテキストボックスでは、最初の行が1行目のベース ライン領域で指定された位置に、最後の行がテキストボックス下部のテキストとの 間隔に一致するように、テキストボックスにテキスト行が配置されます。残りの行 はその間で両端揃えされます。垂直方向でテキストを両端揃えする場合、垂直方向 の段落間隔の最大値を指定できます。

これらのオプションを使用するには、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ) 種類ドロップダウンメニュー(アイテム>設定>テキストタブ >ボックス内の行位置領域)のオプションを選択します。
- (Mac OS Xのみ) メジャーパレットのテキストボックスタブからオプションを選 択します。

種類ドロップダウンメニューのジャスティファイを選択した場合にのみ利用可能な**段落** 間スペース(≦)フィールドを使用すると、垂直方向で両端揃えされた段落間に挿入する間 隔を指定できます。

センター、下揃えおよびジャスティファイの位置揃えオプションは方形のテキスト領域の みを対象としています。また、アイテムに妨害されて分断される可能性があります。

テキストとの間隔の指定

テキストとの間隔を指定することで、テキストボックスの内部エッジから文字までの**余** 白が決まります。アクティブなテキストボックスについて、テキストとの間隔を指定す るには、テキストとの間隔コントロールを使用して、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ) アイテム>設定>テキストタブのテキストとの間隔領域を使用 します。
- (Mac OS Xのみ) メジャーパレットのテキストボックスタブを使用します。

上下左右に同一の間隔を指定するには、**間隔を個別指定**チェックボックスをオフにした まま、**すべての端**フィールドに値を入力します。上下左右に異なる間隔を指定するには、 **間隔を個別指定**チェックボックスをオンにして、**上**、下、左、右の各フィールドに値を 入力します。

組み方の指定

丘から右と上から下、または上から下と右から左にテキストが流れるように、テキストを配置できます。組み方を指定するには、スタイル>縦組み/横組みを選択してから、水平方向または垂直方向を選択します。

フォント使用状況の制御

フォントの表示および置換を行うには、**使用状況**ダイアログボックス(**補助**メニュー) の**フォント**ペインを表示します。このペインには、アクティブなプロジェクトで使用さ れているすべてのフォントが表示されます。同じ種類のフォントをすべて置換するには、 そのフォント名を選択して**置換**をクリックし、置換フォントを選択します。

フォントタブ(補助>使用状況)に表示されている[フォント名]の前に負数が付いている場合、使用しているシステムにそのフォントがインストールされていないことを示しています。この場合、必要なフォントをインストールして再度ドキュメントを開きます。または、使用状況コマンドを使用してそのフォントの登場箇所を特定し、別のフォントを適用することもできます。

テキストからボックスへの変換

- 選択した1つ以上の文字をベジエボックスに変換するには、アイテム>テキストのボック ス化サブメニューからオプションを選択します。
- 選択したテキストをアンカーしないベジエボックスに変換するには、**アイテム > テキス** トをボックスに変換 > アンカーしないを選択します。
- 選択したテキストをアンカーするベジエボックスに変換するには、アイテム>テキスト をボックスに変換>アンカーする

 を選択します。
- 1つ以上のテキストボックスのコンテンツ全体をアンカーしないベジエボックスに変換するには、**テキスト > テキストをボックスに変換 > ボックス全体を変換**を選択します。
- 詳細は、「ベジエ形状の理解」および「アンカーボックスの使用」を参照してください。
- ➡ バージョン8以降のQuarkXPressでは、一度に複数のテキスト行をボックスに変換できます。

テキストの回り込みの使用

テキストの回り込み機能を使用することで、アイテムおよび画像の背面、周囲、または 内部にテキストを回り込ませる方法を制御できます。実際のアイテムにテキストを回り 込ませるように指定することもできる他、カスタム回り込みパスを作成して、手動でパ スを変更することもできます。 Matrimonii corrumperet chiChirographi fermentet aegre utilitas catelli, utcunque Octavius pessimus fortiter conubium santet Caesar, et cathedras incredibiliter frugaliter corrumperet concubine, utcunque lascivius suis verecunde lo cari concubine, quod adfabilis umbraculi spinosus vocificat syrtes, etiam fiducias aegre verecunde fermentet incredibiliter lascivius suis, et optimus adlaudabilis fiducias pessimus spinosus deciperet suis, quamquam satis pretosius matrimonii va Matrimonii car

回り込みは、視覚的な特色をページに与えるための優れた方法です。

アイテムの4隅にテキストを回り込ませる

アイテムのすべての側面にテキストを回り込ませるには、**テキストコンテンツ**ツール または**アイテム**ツールでテキストボックスを選択し、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ): 設定ダイアログボックス(アイテムメニュー)のテキストタ ブを表示し、全面にテキストの回り込みチェックボックスをオンにします。
- (Mac OS Xのみ):メジャーパレットのテキストボックスタブを使用します。
- 全面にテキストの回り込みはデフォルトでオンになっています。
- テキストをアイテムの周囲三方と四方のどちらに回り込ませるかは、テキストの表示を妨 げているアイテムではなく、テキストボックスにより決まります。これはテキストボック ス自体に従って動作する唯一の回り込み制御です。その他すべての回り込み制御は、テキ ストボックスの前面にあるアイテムに従って動作します。

ラインおよびテキストパスにテキストを回り込ませる

テキストボックスの前にあるラインまたはテキストのパスにテキストを回り込ませるに は、ラインまたはテキストのパスを選択し、 Windowsではアイテム>回り込みを選択 し、 Mac OS Xではメジャーパレットの回り込みタブを使用して、種類ドロップダウン メニューのオプションを選択します。

- **なし**を選択すると、テキストがラインまたはテキストパスの後ろに回り込みます。
- アイテムを選択すると、テキストがラインまたはテキストパスに回り込みます。テキストから選択したアイテムの4隅(上、下、左、および右)までの距離を指定できます。選択したアイテムがテキストパスの場合、他のテキストはパス上のテキストではなくパスのみに回り込みます。

手動を選択すると、編集可能な回り込みパスが作成されます。テキストから新しいパスまでの距離を指定できます、その後で、Windowsではアイテム>編集>回り込みを選択し、Mac OS Xではメジャーパレットの回り込みタブから適切なフィールドを選択して、パスを変更できます。回り込みパスの変更に関する詳細は、「回り込みパスの微調整」および「回り込みパスの編集」を参照してください。

テキストボックスにテキストを回り込ませる

別のテキストボックスの前にあるテキストボックスにテキストを回り込ませるには、手 前のテキストボックスを選択してから、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ) : アイテム>回り込みを選択してから、種類ドロップダウンメ ニューのオプションを選択します。
 - なしを選択すると、テキストがアクティブなテキストボックスの後ろに回り込みます。
 - アイテムを選択すると、テキストがアクティブなテキストボックスに回り込みます。テキストボックスが方形の場合、上揃え、左揃え、下揃え、および右揃えの各フィールドに値を入力し、回りこみ領域の外側、内側を設定します。テキストボックスが方形でない場合、外部フィールドのみが表示されます。
- (Mac OS Xのみ): メジャーパレットの回り込みタブを使用します。

テキストの画像への回り込み

画像編集アプリケーションを使用すると、画像にパスおよびアルファチャンネルを埋め 込むことができます。パスはスムーズなベジエ形状ですが、アルファチャンネルは通常、 グレイスケール画像です。通常、画像の表示対象部分、非表示対象部分や透明対象部分 を判断するのに、パスとアルファチャンネルの両方が使用されます。

パスやアルファチャンネルが組み込まれている画像を取り込むと、そのパスやアルファ チャンネルを使用してその画像へのテキストの回り込みを制御できます。つまり、アプ リケーションがパスやチャンネルを検索し、その情報に基づいてテキストの回り込みパ スを作成できます。

テキストボックスの前面にある画像ボックスにテキストの回り込みを適用するには、画 像ボックスを選択してから、 Windowsではアイテム > 回り込みを選択し、種類ドロッ プダウンメニューでオプションを選択します。 Mac OS Xでは、メジャーパレットの回 り込みタブを使用します。

- アクティブな画像コンポーネントの背面にテキストを回り込ませるには、なしを選 択します。
- ・画像コンポーネントの境界にテキストを回り込ませるには、アイテムを選択します。 画像コンポーネントが方形の場合、上揃え、左揃え、下揃え、および右揃えの各 フィールドに値を入力して、回り込み領域の外側、内側を設定します。画像コンポー ネントが方形ではない場合、外部フィールドのみが表示されます。
- ・ 画像の白以外の領域を基にベジエクリッピングと回り込みパスを作成するには、
 ・
 ・
 動イメージを選択します。
- 画像編集アプリケーションで画像が埋め込まれたパスにテキストを回り込ませるには、**埋め込みパス**を選択します。

- ・ 画像編集アプリケーションで画像が埋め込まれたアルファチャンネルにテキストを
 回り込ませるには、アルファチャンネルを選択します。
- 画像の対象に基づいて回り込みパスを作成するには、**白以外の領域**を選択します。 回り込みパスは、**限界**フィールドの値に応じて、全体に白や白に近いバックグラウ ンド内で、暗い形状部分のアウトラインを描きます(またはその逆)。
- テキスト回り込みパスを、クリッピングタブで選択したクリッピングパスに設定するには、クリッピングと同様を選択します。
- 取り込んだ画像ファイルの、方形の「キャンバス領域」に沿ってテキストを回り込ませるには、画像境界を選択します。これには、元の画像ファイルで保存されている白のバックグラウンドも含まれます。上揃え、左揃え、下揃え、および右揃えの各フィールドに値を入力して、画像境界からのテキストの外側、内側を決定します。
- プレビュー領域の内側のパスは回り込みパスを表し、外側のアウトラインは画像ボックス を表します。

設定	×
ボックス 画像 フレーム 回り込み	クリッピング ドロップシャドウ
種類(Y): <u>埋め込みパス</u> ~ パス(P): Skull Path ~ 余白(T): Opt 許容値 ノイズ Opt スムマズネス Opt	プレビュ 「「「」」 再スキャン(S) ドックス切り抜き(C)
限界(出): □ 反転① ☑ 外形のみ(Q) ☑ ボックスに制限(X)	情報: アルファチャン 0 ネル: 6 埋め込みパス:
	OK キャンセル 適用(A)

回り込みのプレビューを表示している画像ダイアログボックスの回り込みタブ

(Mac OS Xのみ): テキストボックスの前面にある画像ボックスにテキストの回り込みを適用するには、画像ボックスを選択し、メジャーパレットの回り込みタブを使用します。

回り込みパスの微調整

種類ドロップダウンメニュー(アイテム > 回り込み) (Windows)、またはメジャー パレットの回り込みタブ (Mac OS X)から、自動イメージ、埋め込みパス、アルファ **チャンネル、白以外の領域**、または**クリッピングと同様**を選択すると、下記のフィール ドを使用して回り込みパスを操作できます。

- 1 **外部**で、回り込みパスのサイズを変更します。値を正にすると回り込みパスは元の設定 からふくらみ、値を負にすると回り込みパスに含まれる画像の量が減少します。
- **2 ノイズ**で、最小許容閉じパスを指定します。ノイズ値より小さい閉じパスは無視されま す。ノイズ値は、回り込みパスを整理し、出力しやすくするのに便利です。
- **3 スムーズネス**で、パスの精度を制御します。値を低くすると、ポイント数が大きくより 複雑なパスが作成されます。値を高くすると、より精度が低いパスが作成されます。
- **4 限界**で、「白」の定義方法を決定します。「白」と定義された全ピクセルが除外されま す。たとえば、**限界**が20%の場合、ピクセルのグレイ値が20%以下であれば、そのピク セルは「白」と考えられ、回り込みパスから除外されます。

回り込みパスの編集

回り込みパスを調整するには、**回り込み(アイテム > 編集**)チェックボックスをオンに します。回り込みパスはマゼンタのアウトラインで表示されます。こうすることで、ベ ジエオブジェクトの場合と同様にパスを編集できます。

また、**単位**パレットのコントロールを使用すると、回り込みパスのポイントやセグメントの種類を変更できます。ポイントの種類を変更するには、下記の3つのボタンのいずれかを使用します。

- シンメトリカルポイント

 シンメトリカルポイントは、2本の曲線をつなげて、
 1本の曲線にします。出来上がる曲線はスムーズポイントに似ていますが、各曲線ハンドルは常にポイントを通る直線上にあり、かつポイントから等距離にあります。
- スムーズポイント ():スムーズポイントは、2本の曲線をつなげて、1本の曲線にします。各曲線ハンドルは常にポイントを通る直線上にありますが、ポイントからの距離が同じである必要はありません。
- ・コーナーポイント → : コーナーポイントは、2本の直線、直線と曲線、または2本の曲線をつなぎます。2本の曲線の場合、コーナーポイントの各曲線ハンドルを個々に操作して、2つのセグメント間に鋭角的な変化を持たせることができます。

ラインセグメントの特性を変更するには、下記のボタンのいずれかを使用します。

- 直線セグメント : アクティブなセグメントを直線にします。
- 曲線セグメント 🥂 : アクティブなセグメントを曲線にします。
- ポイントおよびセグメントの種類は、スタイル>ポイント/セグメントの種類サブメ ニューを使用して変更することもできます。

テキストパスの使用

テキストパスは、テキストを追加できるラインのことです。テキストをパス上に乗せる 方法、およびテキストの属性(フォント、色、サイズなど)およびパスの形状やスタイ ルの属性を操作できます。

テキストと組版

ラインまたはパスにテキストを追加するには、**テキストコンテンツ**ツール**工**を選択して、ラインまたはパスをダブルクリックします。

選択したテキストパスに、テキストがどのように乗るかを制御するには、下記の操作を 行ってください。

- ・ (Windowsのみ) アイテムメニューの設定ダイアログボックスのテキストパスタ ブを表示し、文字の効果領域のボタンをクリックして、テキストがパスに乗る方法 を選択します。また、テキスト揃えドロップダウンメニューのオプションを選択し て、フォントのどの部分を使用してパス上に文字を配置するかを決定することもで きます。
- (Mac OS Xのみ) メジャーパレットのテキストボックスタブを使用します。

ドロップキャップスの作成

ドロップキャップスは、段落の先頭行以下の複数行にかかる最初の文字です。自動ドロッ プキャップス機能を使用すると、ドロップキャップス文字が拡大され、自動的に段落が 回り込みます。ドロップキャップス文字の書式やスタイルは、他の段落部分と同じにな ります。

選択した段落にドロップキャップスを適用するには、**段落設定**ダイアログボックスの フォーマットタブ (Windows)、またはメジャーパレットの段落/段落設定タブを表 示し、ドロップキャップスチェックボックスをオンにします。ドロップキャップスとし て使用する文字数を指定するには、文字数フィールドに1から127までの値を入力しま す。ドロップキャップス文字がかかる行数を指定するには、行数フィールドに2~16の値 を入力します。

atrimonii corrumperet chiChi. fermentet aegre utilitas catel. cunque Octavius pessimus foi bium santet Caesar, et cathedras increa frugaliter corrumperet concubine, utcui civius suis verecunde iocari concubine

ドロップキャップスを使用すると、テキストを視覚的に目立たせることができます。

ドロップキャップスは、ポイントではなく比率で指定します。ドロップキャップスを選択 すると、デフォルトのサイズは100%となっています。

段落上下の罫線の作成

段落罫線は、段落を区切る、関連情報を表示する、または単にページデザインにグラ フィックスタイルを追加するなどの目的で、テキストの上下で頻繁に使用するものです。 段落罫線を作成するには、**段落設定**ダイアログボックス(**スタイル**メニュー)の**段落罫** **線**タブ (Windows) 、またはメジャーパレットの段落罫線タブ (Mac OS X) を使用します。

アンカーボックスの使用

テキスト中にある任意の形状のボックスとラインをペーストすることでと、文字と同じ ようにテキストと一緒に配置できます。これは、テキストを再配置する時に特に便利で す。アンカーアイテムがテキスト中の他の文字と同じように再配置されるためです。ア イテムがアンカーされていない状態でテキストを再配置すると、アイテムは移動してし まい、テキストと重なる場合があります。

アンカーオブジェクト(ボックス、ライン、テーブル)は必要なだけネストでき、階層の制限はありません。

テキスト内のボックスおよびラインへのアンカーの付加

アンカーされたアイテムは、テキスト内に配置された文字のように動作します。アイテ ムをアンカーするには、下記の手順に従ってください。

- 1 アイテムツールを選択してから、アンカーするアイテムを選択します。
- 2 編集 > カット、または編集 > コピーを選択します。
- 3 **テキストコンテンツ**ツール **エ**を選択してから、アイテムをアンカーする位置にテキスト 挿入バーを配置します。
- 4 編集>ペーストを選択して、テキスト挿入ポイントにアイテムをアンカーします。

アンカーボックスおよびラインのカット、コピー、ペースト、および削除

アンカーアイテムをカットまたはコピーするには、任意の文字列と同様にアイテムを選 択し、編集>カットまたは編集>コピーを選択します。アンカーアイテムを別の場所に ペーストするには、別の場所にテキスト挿入バーを置き、編集>ペーストを選択します。 アンカーアイテムを削除するには、アイテムを選択するか、またはアイテムの後ろにテ キスト挿入バーを置いて、DeleteキーまたはBackspaceキーを押します。

ボックスおよびラインのアンカー解除

アイテムのアンカーを解除するには、そのアイテムを**アイテム**ツールで選択し、**アイテム > 複製**を選択して、アイテムのアンカー解除後のコピーを作成します。複製されたア イテムは、高性能連続複製ダイアログボックス(アイテムメニュー)の設定に応じてペー ジに配置されます。その後、テキストコンテンツツール Delete/Backspaceキーを押すと、テキストからアンカー付きアイテムを削除できます。

アンカーオブジェクトを、テキストボックスの境界外に保持する、またはアンカー付け 対象のテキストボックスよりも幅広にするには、**コールアウト**機能を使用します。

OpenTypeフォントの使用

OpenTypeとは、AdobeとMicrosoftによって開発されたクロスプラットフォームフォ ントフォーマットであり、大規模な文字セットと字形が含まれ、通常の場合、分数、任 意の合字、旧スタイルの数字などが含まれます。テキストにOpenTypeフォントが適用 されているとき、スタイル > 文字メニューから文字属性ダイアログボックスを開く (Windowsのみ)か、メジャーパレットの文字/文字属性タブから、そのフォントに 組み込まれている任意のスタイルオプションにアクセスできます。

- ★ 文字と字形との違いを理解すると、OpenTypeスタイルの働きが分かりやすくなります。 文字とは、書き言葉の要素であり、大文字、小文字、数字、および約物はすべて文字で す。字形とは、実際には文字を表す画像であり、他の形状を取る場合があります。たとえ ば、標準の数字1は文字ですが、旧スタイルの数字1は字形です。別の例を挙げると、互 いに隣り合う"f"と"i"とは文字ですが、"fi"合字は字形です。
- 文字と字形との間には、常に一対一の関係があるわけではありません。ある場合では、3 文字(1と斜線と4)が単一の分数字形を構成します。また、1文字が3つの字形(3つの 異なるアンパサンド記号など)で表されることがあります。使用されている字形に関わら ず、フォーマットと編集用に個別の文字を選択できます。

OpenTypeスタイルの適用

文字にOpenType「スタイル」を適用すると、異体字(別の特殊なデザインの字形)を 現在のフォントで表示できるようになります。たとえば、分数を適用すれば、既存の文 字のサイズや位置を変更して手動で分数を構成せずに分数固有の字形を使用できます。 同様に、標準の合字を適用すると、フォントで使用可能な合字に応じた文字を使用でき ます。詳細は、「合字の使用」を参照してください。さまざまなスタイルを組み合わせ て適用できますが、上付き字形と下付き字形などは相互に排他的です。

OpenTypeスタイルを適用するには、文字属性ダイアログボックス(スタイル>文字設 定) (Windowsのみ) またはメジャーパレットの文字/文字属性タブを使用します。文 字と段落のスタイルシートを設定するには文字属性の編集ペイン(編集>スタイルシー ト)を使用します。OpenTypeの横にある矢印をクリックしてスタイルを表示し、チェッ クボックスを使用してスタイルを適用します。チェックボックスが使用できなかったり ドロップダウンメニューオプションがブラケットで囲まれている場合は、現在のフォン トでサポートされていないOpenTypeスタイルであることを示しています。

テキストと組版

Character	Attributes		×
Font: Size: Color: Shade: 不透過 Scale:	Aria 12 pt ■ ブラック 100% 100% 水平方向 ~ [カーニング(M): [Baseline Shift: [Type Styles Plain All Caps Small Caps Small Caps Underline Word Underline Single Strikethrough Single Strikethrough Double Strikethrough O pt	
Enable	e Ligatures	Language: 英語(米国)	~
OpenT Stan Discr Small All Sr Local	ype dard Ligatures etionary Ligatures I Caps mall Caps lized Forms	□ Tabular Figures □ Fractions □ Proportional Figures □ Swashes □ Lining Figures □ Ordinals □ Oldstyle Figures □ Titling Alternates □ Oldstyle Figures ☑ Contextual Alternates	21
Positior 書式セジ	n: なし > なし	~ ~ OK キャンセル Apply	

	后住		~
XTXX1007-100			^
名前(N): き〜割り当て(Q):	新規スタイルミ	>~	
~~~ X (D):	<u>9</u> スタイル第	988 	×
フオント Arial サイズ(Z): 12 pt カラー(R): ■ブラック シェード 100% 不透明: 100% 縮小率(L): 水平方向 トラッキング/字送り( ベースラインシフト(	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	文字飾 夕 常準(P) コオールキー スモール・ アンダー フワードアン 回 取り消し 約 回 圏 点(A)	□ ボールド(B) マップス □ イタリック(I モャップス □ シャドウ(H ライン(U □ 上付き(T) ンダーライン □ 下付き(T) 泉(K) □ 肩文字(S) 肖し線(D) □ アウトライン( ドット
☑ CJK以外の文字に字 □ 合字を使用	送りを適用	言語:	英語 (米国) 🗸 🗸 🗸
▼OpenType			
<ul> <li>✓ 標準の合字</li> <li>□ 任意の合字</li> <li>□ スモールキャ</li> <li>□ スモールキャ</li> </ul>	□ 等幅 □ プロ □ ライ	数字 ポーショナル ニング	□ イタリ □ <b>分数</b> □ スワッ □ 序数
		70 F A X 170	□ タイトル用字
✓ ローカライズドフ □ 縦走き田/構走き田	仮夕の使		▶ 1112(美)1余に11/1子 / つ子
設定位置にない		~	
代替メトリク なし		~	
代替字体: ない	,	~	
書式セット: ない	,	~	
			ОК キャンセル

文字属性ダイアログボックスで使用可能なOpenTypeスタイル

OpenTypeスタイルには、下記のスタイルがあります。

- •標準の合字:読みやすさが向上する標準的な合字を適用します。
- **任意の合字**:特殊な合字を適用します。この機能では、特殊な効果を得る合字をユー ザーが選択できます。
- 等幅数字: 数字に等幅を適用します。
- プロポーショナル数字:数字に不均等な幅を適用します。
- スモールキャップス:小文字のテキストに、通常より小さい大文字を適用します。
- 全てのスモールキャップス: すべての大文字、タイトル文字、および小文字テキストに、通常より小さい大文字を適用します。
- **ライニング数字**: すべてが大文字のテキストとよく調和する近代的な数字スタイル を適用します。
- オールドスタイル数字:テキストに組み込まれている番号に最適な数字スタイルを 適用します。
- イタリック: イタリックの字形を適用します。
- 分数:スラッシュで区切られた分数の字形を適用します。
- スワッシュ:装飾的な字形を適用します。
- 序数: 序数の字形を適用します。

- **タイトル用字形**:通常より大きなポイントサイズで大文字のタイトル用字形を適用 します。
- 前後関係に依存する字形:テキストの前後関係に基づいてさまざまな代替字形を適用します。
- ローカライズドフォーム:字形のデフォルトフォームをローカライズドフォームに 置き換えます。この機能は、ベーステキストのテキスト言語に依存します。
- **●** 縦書き用/横書き用仮名の使用:組み方(縦組み/横組み)に応じた特殊な横書 き用仮名または縦書き用仮名のフォームを適用します。
- 設定位置:選択したテキストに上付き字形、下付き字形、科学用下付き字形、分子 および分母の字形を適用します。
- ()代替メトリクス:組み方(縦組み/横組み)に基づいた高さの代替幅を適用しま す。

代替垂直半角メトリクス:字形を個々のプロポーショナルの高さに合わせます。

代替垂直メトリクス:全角の高さの中間にくるように字形を配置します。

プロポーショナル代替メトリクス:字形を個々のプロポーショナルの幅に合わせます。

全角幅: 全角幅以外の字形を全角幅に置換します。

半角幅:全角幅の字形を半角幅に置換します。

3分の1幅:3分の1幅以外の字形を3分の1幅に置換します。

4分の1幅:4分の1幅以外の字形を4分の1幅に置換します。

- プロポーショナル代替幅:字形を個々のプロポーショナルの幅に合わせます。
  - ● 代替字体: JIS2004字体、JIS78字体、JIS90字体、簡体字体、旧字体などの代 替字体のフォームを適用します。これらの字体は、いくつかの日本語のOpenType フォント用に特別に考案されたものです。

#### 合字の使用

合字を使用するには、レガシー方法とOpenType方法の2つの方法があります。レガシー 方法では、PostScriptフォントに含まれるfiやflなどの標準の合字がサポートされます。 OpenType方法では、標準の合字とOpenTypeフォントに含まれる任意の合字の両方に アクセスできます。いずれの方法も文字属性として適用されるため、任意のテキストに 適用することができます。

- 選択したテキストにレガシー方法で合字を適用するには、ウィンドウメニューから メジャーパレットを開き、文字/文字設定タブにある合字を使用チェックボックス をオンにするか、スタイル>文字メニューで文字属性ダイアログボックスを開き、 合字チェックボックスをオンにします(Windowsのみ)。
- 選択したテキストにOpenType方法で合字を適用するには、OpenTypeを使用する テキストを選択してから、ホーム/クラシックメニュー、またはウィンドウメニュー でメジャーパレットを開き、文字/文字設定タブ上で、OpenTypeメニューから、 標準の合字を選択します。これにより、フォントに組み込まれているfi、fl、ff、ffi、 ffl、fj、ffj、およびthなどの合字が適用されます。さらに、任意の合字を選択するこ とで、ct、sp、st、およびfhなどのまれな合字を適用できます。いずれかの合字オ

プションが括弧内に表示されている場合、使用中のOpenTypeフォントではその合 字機能はサポートされていません。Windowsでは、文字属性ダイアログボックスの OpenType領域にある標準の合字、および任意の合字チェックボックスもオンにで きます。

### 合字環境設定

合字の環境設定は、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定> 印刷レイアウト>文字設定)の文字設定ペインで行うことができます。

- カーニング(>)で分割:このフィールドの値は、それより大きくなると合字が分割されるトラッキングまたはカーニングの値を指定します。デフォルト値は1で、テキスト+1のトラッキング値に設定すると(emスペースは1/200)、合字は標準文字に戻ります。
- "ffi"または"ffl"は使用しない:現在のフォントにffiおよびffl合字が存在しない場合に、「office」や「waffle」などの単語でfiおよびflの合字を行わないようにするには、このボックスをオンにします。

### OpenType書式セットの使用

多くの代替文字を持つ一部のOpenTypeフォントでは、それらの代替文字が書式セット として編成されています。これによって、それぞれの代替文字を個別に選択し、どの組 み合わせが最も見た目が良いかを探すという、時間を浪費する作業が不要になります。

OpenType書式セットにより、関連する代替文字のグループを、即座にテキストへ適用 できます。メジャーパレットを使用して、利用可能な書式セットのいずれかを選択する と、選択されているテキスト全体へ同時に適用されます。

選択したテキストへ書式セットを適用するには、メジャーパレットでOpenTypeフォン トアイコン 🚇 をクリックし、ドロップダウンメニューの**書式セット**を選択します。

## テキストと組版



新しいスタイルシートを追加するとき、または既存のスタイルシートを編集するときに、 スタイルシートへ書式セットを適用することもできます。新規スタイルシートの文字属 性ダイアログで、OpenType > 書式セットドロップダウンメニューを選択します。

Font:	Gabriola	~	Type Styles	<u> </u>	_
Size:	12 pt	~	Plain		Bold
Color:	<b>ゴ</b> ラック	~		, aps	Shadow
Shade:	100%	~	Underlin	ne	Superscript
不透過	100%	~	Word U	nderline triketbrouch	Subscript
Scale:	水平方向 🗸	100%	Double	Strikethrough	
;	カ <b>∽</b> ニング(M):	0		-	
	Ĩ				
	Baseline Shift:	0 pt			
]Enable	Baseline Shift: [ Ligatures ype lard Ligatures	0 pt	Language:	英語 (米国)	~
Enable OpenTy Stand Discre Small All Sm	Baseline Shift: [ Ligatures ype lard Ligatures etionary Ligatures Caps hall Caps zed Forms	0 pt	Language: ular Figures portional Figures g Figures tyle Figures	英語(米国)	ernates ual Alternates
Enable OpenTy Stand Discre Small All Sm Locali Position	Baseline Shift: Ligatures ype dard Ligatures etionary Ligatures Caps nall Caps zed Forms : なし	0 pt	Language: ular Figures portional Figures g Figures tyle Figures	英語(米国) □ Fractions □ Swashes □ Ordinals □ Titling Alt ☑ Context	ernates Jai Alternates
Enable のpenTy Stand Discre Small All Sm Locali Position 豊式セッ	Baseline Shift:	0 pt	Language: Jar Figures ortional Figures g Figures tyle Figures	英語(米国) Fractions Swashes Ordinals Titling Alt Context	ernates ual Alternates
Enable のpenTy Stand Discre Small All Sm Locali Position 書式セッ	Baseline Shift:	0 pt	Language: Jar Figures portional Figures g Figures tyle Figures	英語(米国) Fractions Swashes Ordinals Titling Alt ✓ Contexta	ernates ual Alternates

**字形**パレットを使用すると、各フォントに対して使用可能な書式セットを参照できます。 それぞれの書式セットについて、グループ化されている代替文字が表示されます。

													$\times$
•	字形	Ż											Ð
Gab	riola									~	P	В	I
(ss0	)1)									~	0		a,
検索	:		[	文字	設定	2	~						
в	D,	E	F,	G	H,	١,	J,	κ	l,	M	N	٥,	^
Ρ,	Q,	R,	Т,	u,	ν,	w,	x,	Ŷ,	z,	Ď,	Ð	È,	
É	Ê,	Ě	Ë,	Ē	Ĕ	Ė,	Ę	Ĝ	Ğ	Ġ	Ģ	Ĥ,	
Ħ,	Ì,	í,	î,	ĩ	ï	ī,	ĭ	i,	1.	IJ,	ĵ,	Ķ,	
Ĺ	Ľ	Ļ	ł,	Ŀ	Ń	Ň	Ñ	Ņ,	ò,	Ó,	ô,	Õ,	
Ö,	Ō,	Ŏ,	Ő,	ø,	Ó,	Œ	Ŕ,	Ř,	Ŗ,	Ť,	Τ.	Τ.	
							_						~
▶好	- <i></i> до,	グリ	7								Unic	ode	:

➡ 書式セットがテキストへ適用された後で、検索/置換パレットを使用して、適用されている書式セットに基づいてテキストを検索でき、適用されている書式セットを変更することもできます。

#### 字形パレットの使用

字形とは、フォントの最小単位です。たとえば、各大文字はそれぞれの字形から構成されます。フォントにあるすべての字形(特にOpenTypeフォントは数万個の字形から構成されます)にアクセスするには、完全な文字マップを表示する必要があります。このような文字マップには、**字形**パレット(**ウィンドウ**メニュー)からアクセスします。ここから、選択したフォントの全字形、ボールドとイタリック字形を表示したり、字形をダブルクリックしてテキストに挿入したり、簡単にアクセスできるようにお気に入り字形を保存したりできます。

													$\times$
•	字形	2											P
Aria											$\sim$	P B	I
フォント全体 🗸 🔍 🗨									Q,				
検索: 文字設定 ~													
				İ.	"	#	\$	%	&	1	(	)	^
*	+	,	-		1	0,	1,	2	3,	4	5,	6	
7,	8,	9,	:	;	<	=	>	?	@	A,	B	С	
D,	Ε,	F,	G,	H,	Ι,	J	K,	L,	M,	N,	0,	P,	
Q,	R,	S	T,	U	V,	W	X	Y,	Z,	[	1	]	
^	_	`	a	b,	c,	d ,	e,	f	g,	h	i,	j,	
k,	١,	m,	n,	٥,	p,	۹,	r,	s,	t,	u,	v,	w,	~
▶好	- <i>み</i> の	シグリ	7			_	_						

**字形**パレットを使用することで、大規模な文字セット、およびプロフェッショナル品質 フォントを操作することが容易になります。

フォントにある字形を表示するには、**字形**パレット(**ウィンドウ**メニュー)を表示して、 左上にあるフォントメニューからフォントを選択します。字形パレットで利用できるオ プションを以下に挙げます。

- ボールドおよびイタリックボタンを使用して、字形のボールド版、およびイタリック版を表示できます。フォントのボールド、イタリック、またはボールドイタリックインスタンスがシステム上でアクティブではない場合に、メジャーパレットを使用してボールドおよびイタリック文字飾りを適用すると、その字形のボールド、イタリック、またはボールドイタリックがシミュレートされます。
- フォントの字形のサブセットを表示するには、表示ドロップダウンメニューからオ プションを選択します。

- ある字形に対応するあらゆる代替字形を表示するには、個別の字形セルの右下コー ナーにあるボックスをクリックします。
- 必要に応じて、パレット上のズームツールをクリックして、字形を拡大します。
- HTMLオーサリングを行うときなど、字形のUnicodeコードポイントが必要な場合は、パレットの下部でUnicodeコードを確認できます。
- テキストの挿入ポイントに字形を挿入するには、字形パレットにある字形をダブル クリックします。
- フォントにある特定の字形を頻繁に使用する場合、該当する字形をお気に入りとして保存することで、素早くアクセスできます。お気に入りリストを作成するには、 字形パレット(ウィンドウメニュー)内、好みのグリフの隣にある展開ボタンをクリックします。次に、好みのグリフ領域にある空のセルに字形をドラッグします。お気に入りを削除するには、字形の上でControlキーを押しながらクリック/右クリックして、コンテキストメニューを使用します。選択した字形のUnicode値は、 右下隅に表示されます(好みのグリフペインの上)。

## 特殊キャラクタの表示

特殊キャラクタオプション(表示メニュー)を使用すると、スペース、タブ、段落改行 文字などの一般的な「非表示文字」を確認できるため、テキストの編集時や印刷状態の 微調整時に便利です。

#### 特殊文字の挿入

組版やフォーマット設定を目的とするさまざまな特殊文字があります。キーボードのコ マンドを使ってこれらの特殊文字を入力できます。また、**補助>文字を挿入**サブメニュー から選択することもできます。非表示文字を表示するよう設定している場合(**表示 > 特 殊キャラクタ**)、各文字の表示が異なります。

#### スペースの挿入

全角スペースなど特定のスペースをテキスト挿入ポイントに挿入するには、補助>文字 を挿入>特殊文字>全角スペースまたは補助>文字を挿入>特殊文字(改行なし)>全 角スペースを選択します。改行なしスペースサブメニューのオプションは、2つの語句ま たは数字を「連結」する役割を果たします。たとえば、行末で「連結」された2つの要素 の間で改行が行われないようにします。

#### その他の特殊文字の挿入

全角ダッシュや現在のページ番号のプレースホルダ文字など、スペース以外の特殊文字 をテキスト挿入ポイントへ挿入するには、補助>文字を挿入>特殊文字または補助>文 字を挿入>改行なし特殊文字を選択します。

## 文字言語の指定

ハイフネーションとスペルチェックに使用する言語を指定するには、テキストに文字言 語を適用します。これにより、同一段落に複数言語の単語を混ぜても、問題のあるハイ フネーションの発生を防いで**スペルチェック(補助**メニュー)にある**チェックする単語**  を減らすことができます。文字に特定言語を適用することに加え、**なし**を適用することで、ハイフネーションやスペルチェックから単語を除外することもできます。

選択した文字に言語を適用するには、文字属性ダイアログボックス(スタイル>文字) (Windowsのみ)、またはメジャーパレットの文字/文字属性タブにある言語ドロッ プダウンメニューを使用します。

### 未定義キャラクタの代替の使用

未定義キャラクタの代替がオンである場合、現在のフォントで表示できない文字が使われると、システム上のアクティブなフォントを検索して、その文字を正しく表示できるフォントを見つけます。たとえば、テキスト挿入ポイントにHelveticaが適用されていて、漢字を含むテキストの取り込みやペーストを行うと、その文字にはヒラギノフォントが適用される場合があります。その文字を含むアクティブなフォントが見つからない場合、文字はボックスや記号として表示されます。

未定義キャラクタの代替は、アプリケーションの環境設定として実装されているため、 プログラム内で機能をオン/オフを切り替えられます。この機能はデフォルトでオンに なっていますが、オフにする必要がある場合は、**環境設定**ダイアログボックス

(QuarkXPress/編集>環境設定)の未定義キャラクタの代替ペインにある未定義キャラクタの代替をオフにします。

未定義キャラクタの代替機能についての詳細は、「*環境設定 - アプリケーション - 未定義 キャラクタの代替*」を参照してください。

#### フォントマッピングルールの使用

プロジェクトを開くと、テキストに適用されているすべてのフォントがシステム上でア クティブであることが確認されます。アクティブではないフォントが見つかると、**不足** フォントという警告が表示されます。このときに、不足フォントをアクティブなフォン トに置き換えられます。このような置き換えをグローバルな「フォントマッピングルー ル」として保存できます。これは、プロジェクトを開くたびに自動的に適用できます。

フォントマッピングルールを作成するには、最初に不足(アクティブではない)フォントを使用しているプロジェクトを開きます。使用フォントリストをクリックして、不足フォント警告を表示します。置換ボタンを使用して不足しているフォントの代替フォントを選択してから、ルールとして保存をクリックします。一部の代替フォントのみが選択されている場合でも、不足フォント警告の一覧にあるすべての代替フォントがルールとして保存されます。代替フォントを変更する場合は、その行を選択してからリセットをクリックします。アーティクルを開いてから、ファイル>復帰を選択することもできます。これにより、不足フォント警告が再度表示され、変更が行えるようになります(変更の適用先はそのアーティクルのみであり、保存したルールではありません)。

**不足フォント**警告にある**ルールとして保存**をクリックしてフォントマッピングルールを 作成すると、ルールはアプリケーションの環境設定に保存され、すべてのアーティクル に適用されます。フォントマッピングルールの変更、削除、共有を行う場合は、**補助>** フォントマッピングを選択します。

フォントペイン(QuarkXPress/編集>環境設定)を使用して、デフォルトの代替フォントを指定し、不足フォントのあるプロジェクトを開いたときに**不足フォント**警告を表

示するかどうかを制御できます。詳細は、「*環境設定 - アプリケーション - フォント*」を 参照してください。

## デザイングリッドの使用

デザイングリッド機能は、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのバージョン7以前に あったベースライングリッド機能の拡張版です。デザイングリッドを使用することで、 さらに容易にグリッドを定義することができるようになるため、ページレベルおよびテ キストボックスレベルの両方で、テキストとオブジェクトを正確に揃えることができま す。

デザイングリッドの環境設定に関する詳細は、「*環境設定 - レイアウト - ガイドとグリッド*」を参照してください。

デザイングリッドに関連する環境設定についての詳細は、「*環境設定 - レイアウト - ガイ* ドとグリッド」および「環境設定 - レイアウト - グリッドセルの塗りつぶし」を参照して ください。

## デザイングリッドの理解

**デザイングリッド**とは、テキストとアイテムを揃えるための、一連の印刷されないガイ ドラインのことです。

## グリッド線

各デザイングリッドには、ボトムライン、ベースライン、センターライン、トップラインという4つの**グリッドライン**が含まれています。さらに、デザイングリッドには**セル全体のボックス**も含まれています。これは文字を垂直方向または水平方向に揃えやすくするためのものです。テキストとアイテムをこれらのグリッドラインのいずれかに合わせることもできます。



デザイングリッドのラインには、ボトムライン、ベースライン、センターライン、およ びトップラインが含まれます。



横組みの場合、デザイングリッドのラインには、ボトムライン、ベースライン、センター ライン、トップライン、およびセル全体のボックスが含まれます。



縦組みの場合、デザイングリッドのラインには、左ライン、ベースライン、右ライン、 トップライン、およびセル全体のボックスが含まれます。

## マスターページおよびテキストボックスのグリッド

デザイングリッドには、デフォルトでマスターページグリッドとテキストボックスグリッドという2種類があります。すべてのページおよびテキストボックスがデザイングリッド に関連付けられています。表示>ページグリッドまたは表示>テキストボックスのグリッ ドを選択して、デザイングリッドをレイアウト全体に対して表示または非表示にできま す。

ページのマスターページを表示してからページ>マスターガイド&グリッドを選択する と、ページのデザイングリッドを構成できます。テキストボックスのコンテキストメ ニューからグリッド設定を選択すると、テキストボックスのデザイングリッドを制御で きます。

# テキストと組版



マスターページグリッドとすべてのグリッドラインのみが表示されたページ。



マスターページグリッドとセル全体のボックスのみが表示されたページ。



テキストボックスグリッドとすべてのグリッドラインのみが表示されたテキスト。



テキストボックスグリッドとベースラインおよびセル全体のボックスが表示されたテキ ストボックス。

詳細は、「*マスターページグリッドの使用*」を参照してください。

➡ QuarkXPress 7.xおよびQuarkCopyDesk 7.x以前にあったベースライングリッド機能 を使用するには、ベースラインを表示してから他のグリッドラインを隠します。

## グリッドスタイル

**グリッドスタイル**は、グリッドを説明するための設定の名前付きパッケージです。デザ イングリッドのスタイルシートに該当します。グリッドスタイルをテキストボックスに 適用すると、それらをマスターページグリッドの基礎として使用できます。また、グリッ ドスタイルを他のグリッドスタイルに基づいて使用することもできます。グリッドスタ イルは**グリッドスタイル**パレット(ウィンドウメニュー)に表示されます。詳細は、「グ *リッドスタイルの使用*」を参照してください。

## デザイングリッドの基本

下記のトピックでは、デザイングリッドの操作方法について説明します。グリッドスタ イルについての詳細は、「グリッドスタイルの使用」を参照してください。

### マスターページグリッドの設定

マスターページグリッドを設定するには、マスターページを表示して**ページ>マスター** ガイド&グリッドを選択します。マスターガイド&グリッドダイアログボックスが表示されます。

マスターガイド&グリッド
マージンガイド コラムガイド
天: 0.5" コラム数: 1
地: 0.5" コラム間隔: 0.167"
左: 0.5" ,,,
右: 0.5" ゴ
コンテンツの大きさ: 7.268" x 10.693"
テキスト設定表示設定
フォントサイズ: 12 pt
フォント比率: 水平方向 💠 100%
行間隔: 2.4 pt 行送り = 14.4 pt
文字間隔: 0" 字送り = 0.167"
ペースラインの位置
<ul> <li>● 位置 12% 基点 ボトムライン ≑</li> </ul>
○ フォントから読み取り: ヒラギノ明朝 Pro W3
(12% from ボトムライン)
オフセット: トップライン キ) 0*
行当たりのセル数: 43 調整
マージン内の行数: 53
<ul> <li>✓ プレビュー</li> <li>設定の読み込み…</li> <li>OK</li> </ul>

**マスターガイド&グリッド**ダイアログボックスを使用してマスターページグリッドを制御 します。

マージンガイドの上揃え、下揃え、左揃えおよび右揃えフィールドを使用して、ページの上端、下端、左端および右端に対するマージンの位置を指定できます。上揃えと下揃えまたは左揃えと右揃えの各フィールドの値を同期するには、フィールドの横にあるチェーンアイコンをクリックします。

- コラムガイドの列数フィールドに値を入力し、マスターページの列数を指定します。 コラム間隔フィールドに値を入力してコラム間隔を定義します。
- コンテンツの大きさフィールドには、マージンガイド内の領域が表示されます。
- グリッドの位置と間隔を制御するには、テキスト設定タブのコントロールを使用します。詳細は、「デザイングリッド:テキスト設定タブ」を参照してください。
- グリッドの表示を制御するには、表示設定タブのコントロールを使用します。詳細は、「デザイングリッド:テキスト設定タブ」を参照してください。
- 行った変更をプレビューするには、プレビューをオンにします。
- 既存のマスターページグリッド、グリッドスタイルまたはスタイルシートの仕様を 使用するには、設定の読み込みをクリックします。詳細は、「グリッド設定の読み 込み」を参照してください。

## テキストボックスグリッドの設定

テキストボックスグリッドを設定するには、そのテキストボックスをControlキーを押し ながらクリックするか、または右クリックして**グリッド設定**を選択します。**グリッド設** 定ダイアログボックスが表示されます。

PARRE CIN	揃え 表示設定
フォントサイズ:	12 pt
フォント比率:	水平方向 ≑ 100%
行間隔:	2.4 pt 行送り = 14.4 pt
文字間隔:	0" 字送り = 0.167"
ペースラインの位	立置
<ul> <li>● 位置</li> <li>○ フォント</li> </ul>	12% 基点 ボトムライン キ トから読み取り: ヒラギノ明朝 Pro W キ (12% from ボトムライン)
オフセット: ト	ップライン キ) 0*
オフセット: ト 	ップライン ÷ 0" レ数:28
オフセット: ト 行当たりのセル ポックス内のラィ	ップライン ÷ 0" レ数: 28 イン: 14
オフセット: ト 行当たりのセル ポックス内のライ	ップライン ÷ 0" レ数: 28 イン: 14

**グリッド設定**ダイアログボックス

・ グリッドの位置と間隔を制御するには、テキスト設定タブのコントロールを使用します。詳細は、「デザイングリッド:テキスト設定タブ」を参照してください。

- セルの行揃えを制御するには、セル揃えタブのコントロールを使用します。詳細は、 「デザイングリッド:セル揃えタブ」を参照してください。
- 表示するグリッドラインを指定するには、表示設定タブのコントロールを使用します。詳細は、「デザイングリッド:表示設定タブ」を参照してください。
- 行った変更をプレビューするには、**プレビュー**をオンにします。
- 既存のマスターページグリッド、グリッドスタイルまたはスタイルシートの仕様を 使用するには、設定の読み込みをクリックします。詳細は、「グリッド設定の読み 込み」を参照してください。

## デザイングリッド:テキスト設定タブ

デザイングリッドのサイズ、縮小率、および位置を決定するには、テキスト設定タブの コントロールを使用します。テキスト設定タブは、マスターガイド&グリッド、グリッ ドスタイルの編集、およびグリッド設定ダイアログボックスに表示されます。

プレビューチェックボックスをオンにすると、デザイングリッドに加えた変更結果を表示 できます。

テキスト設定 セル揃え 表示設定
フォントサイズ: 12 pt
フォント比率: 水平方向 ≑ 100%
行間隔: 2.4 pt 行送り = 14.4 pt
文字間隔: 0 px 字送り = 12 px
ベースラインの位置
● 位置 12% 基点 ボトムライン ≑
○ フォントから読み取り: ヒラギノ明朝 Pro W ↓
(12% from ポトムライン)
オフセット: トップライン 💠 0 px
行当たりのセル数:36
in the second se
ボックス内のライン: 19
ボックス内のライン: 19
ボックス内のライン: 19 □ プレビュー
ボックス内のライン: 19 コプレビュー 設定の読み込み キャンセル OK

**グリッド設定**ダイアログボックスのテキスト設定タブ

- フォントサイズ:サイズを入力して、デザイングリッド内の各行の高さを決定しま す。またこの値により、セル全体の高さと幅も決まります。
- 縦比率:フォントサイズに基づいて、デザイングリッド内の各行の高さを調節する パーセント値を入力します。
- フォント比率:水平方向または垂直方向を選択し、フィールドにフォントサイズの 割合を入力します。水平方向を選択した場合、この値によりセル全体の幅が決まり ます。垂直方向を選択した場合、この値によりセル全体の高さが決まります。
- ・行間隔および行送り:行間隔および行送りの値により、グリッドの間隔が決まります。行間隔は次の公式に基づいています。フォントサイズ×縦比率+行間隔=行送り。たとえば、フォントサイズが12pt、縦比率が100%、行間隔が2ptの場合、行送りは14ptになります。
- 行間隔および行送り:行間隔および行送りの値により、グリッドおよびセルの間隔が決まります。行間隔は次の公式に基づいています。フォントサイズ×垂直方向または水平方向のフォント縮小率+行間隔=行送り。たとえば、フォントサイズが12pt、縦比率が100%、行間隔が2ptの場合、行送りは14ptになります。
- デザイングリッドが段落スタイルシートを基にしている場合、行送りの値はそのス タイルシートで定義されます。行送りの値は指定した数値になります。または値が 自動の場合は、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集 > 環境設定) の段落タブにある行送りの自動設定の値から取得されます。スタイルシートとグリッ ドスタイルの関連付けについての詳細は、「グリッド設定の読み込み」を参照して ください。
- 文字間隔および字送り:文字間隔および字送りの値により、段組みが水平方向の場合の塗りつぶしセルの間隔と、段組みが垂直方向の場合の塗りつぶしセルの間隔が決まります。
- ベースラインの位置:デザイングリッドでベースラインの位置を指定するには、この領域で位置を選択します。

オフセットの基点を指定するには、位置をクリックして次の中から選択ドロップダウメ ニューでトップライン、センターラインの上、センターラインの下、またはボトムライ ンを選択してからフィールドにパーセント値を入力し、トップライン、センターライン、 またはボトムラインに対するベースラインの相対的な位置を指定します。

オフセットの基点をフォントから読み取るには、**フォントから読み取り**をクリックして、 ドロップダウンメニューからフォントを選択します。選択したフォントに対して定義し たベースラインにより、グリッド内の各行のベースラインの位置が決まります。フォン トリストの下に表示されるパーセント値は、フォントのデザインでのベースラインとボ トムラインの関係を示しています。

- オフセット:ページまたはボックスでデザイングリッドの第1行の位置を制御するには、トップライン、センターライン、ベースライン、またはボトムラインを選択し、フィールドに単位の値を入力します。
- 調整: クリックするとマスターページグリッドの**マージン内の行数を調整**ダイアロ グボックスが表示されます。詳細は、「マージン内の行数を調整ダイアログボック ス」を参照してください。
- 調整: クリックすると、マスターページグリッドの場合はマージン内の行数を調整 ダイアログボックス、テキストボックスグリッドの場合はボックス内でのラインの

**調整**ダイアログボックスが表示されます。詳細は、「*マージン内の行数を調整ダイ アログボックス*」を参照してください。

- マージン内の行数またはボックス内の行数:このフィールドには、上の設定に基づいたページまたはボックスに収まる行数が表示されます。
- 行当たりのセル数: このフィールドには、上の設定に基づいた行に収まるセル数が 表示されます。
- マージン内の行数を調整ダイアログボックス

マージン内の行数を調整ダイアログボックス(マスターガイド&グリッド>調整)を使用して、マスターページのマージン内に収まるグリッドライン数を変更します。 マージン内の行数を調整ダイアログボックス(マスターガイド&グリッド>調整)を使用して、マスターページのマージン内に収まる1行当たりのセル数およびグリッドライン数を変更します。このダイアログボックスにあるコントロールの多くは、テキスト設定タブにも存在し、変更は両方の場所で反映されます。

Font Size:	12 pt	<b>‡</b>	+ -
Vertical Scale:	100%	¢	+ -
Line Spacing:	6 pt	\$	+ -
	Leading	= 18 pt	
Offset:	ベース	ライン キ	
	0 mm	0	+ -
Top Margin:	20 mm	<b>;</b>	+ -
Bottom Margin:	20 mm	تـ ()	+ -

**マージン内の行数を調整**ダイアログボックスを使用して、マスターページのグリッド設定を調整します。

- ページ当たりの行数フィールドにページの行数が表示されます。この値は、変更の 都度更新されます。
- ページの行数を1行ずつ増減するには、フィールドの横にある+または-をクリックします。たとえば、ページ当たりの行数値が50、フォントサイズ値が12pt、垂直方向のフォント縮小率が100%で、フォントサイズの横にある+をクリックした場合、ページ当たりの行数値は51に増加し、フォントサイズ値は11.765ptに縮小されます。
- 行当たりのセル数およびページ当たりの行数フィールドに値を入力し、ページのセル数および行数を変更します。

- マージンを調整をクリックすると、行当たりのセル数およびページ当たりの行数フィールドに対する変更がコンテンツの高さおよびコンテンツの幅の値に反映されます。間隔を調整をクリックすると、行当たりのセル数およびページ当たりの行数フィールドに対する変更が行送りおよび字送りの値に反映されます。
  - 増幅値バーは、グリッドパターンがページに収まらない割合を0~+1のパーセントで表示します。グリッドの増幅値がページと完全に一致すれば、この増幅値バーには0が表示されます。グリッドの増幅値がページと完全に一致しない場合、その割合が算出されて増幅値バーに表示されます。
  - ページごとの文字数フィールドには、現在の値に基づいてページに収まる文字数が 表示されます。
  - マージンを調整をクリックすると、マージンガイドの位置に対する変更に基づいて 行当たりのセル数およびページ当たりの行数の値が調整されます。9つの正方形のう ち1つをクリックして、変更を計算するときのベースになるマージンを固定します。
     外側の4つの正方形で、左上部、右上部、左下部、右下部のマージンを固定します。
     中間の正方形でマージンの固定と対応するマージンのリンクを行います。
- コンテンツの高さおよびコンテンツの幅フィールドは、マージンの変更に応じて更新されます。
  - 間隔を調整をクリックすると、行間隔および文字間隔フィールドに対する変更に基づいて行当たりのセル数およびページ当たりの行数の値が調整されます。行送りおよび字送りの値は変更に応じて更新されます。
  - その他の調整を開き、フォントサイズ、オフセットおよび文字の変形のコントロールにアクセスします。これらの値を変更すると、行当たりのセル数およびページ当たりの行数の値が増減します。
  - リセットをクリックすると、すべてのフィールドの値がダイアログボックスを表示 する前の状態に戻ります。
- このダイアログボックスを表示する前にプレビューをオンにすると、行った変更の結果を 参照できます。

#### ボックス内でのラインの調整ダイアログボックス

ボックス内でのラインの調整ダイアログボックス(グリッド設定>調整)を使用して、 1行当たりのセル数およびテキストボックス内に収まるグリッドライン数を変更します。 このダイアログボックスにあるコントロールの多くはテキスト設定タブにも存在し、変 更は両方の場所で更新されます。

ポックス内でのラインの調整					
行当たりのセル数: 34 + -	ボックス内のライン: 25 <b>+ -</b>				
ポックス内の文字: 850	U +1				
● テキストポックスのサイズ調整					
ポックスの幅: 419 px	ポックスの高さ: 360 px				
<ul> <li>間隔を調整</li> </ul>					
行間隔: 2.4 pt 🗘	文字間隔: 0 px 🗘				
行送り: 14.4 pt	字送り: 12 px				
その他の調整					
フォントサイズ: 12 pt 🗘	水平方向 💠 100% 🗘				
オフセット: トップライン 🗧 0 px 🗘					
リセット	キャンセルOK				

**ボックス内でのラインの調整**ダイアログボックスを使用して、アクティブなテキストボックスのグリッド設定を調整します。

- 行当たりのセル数およびボックス内のラインフィールドに値を入力し、アクティブ なボックスのセル数および行数を変更します。
- 増幅値バーは、グリッドパターンがボックスに収まらない割合を0~+1のパーセントで表示します。行当たりのセル数またはボックス内のラインの増幅値がボックスと完全に一致すれば、この増幅値バーには0が表示されます。グリッドの増幅値がボックスと完全に一致しない場合、その割合が算出されて増幅値バーに表示されます。
- ボックス内の文字フィールドには、ボックス内でのラインの調整ダイアログボック スの値に基づいてアクティブなテキストボックスに収まる文字数が表示されます。 このフィールドは編集できません。
- テキストボックスのサイズ調整をクリックすると、行当たりのセル数およびボック ス内のラインの値の変更に応じて自動的にテキストボックスのサイズが調整されます。ボックスの幅およびボックスの高さフィールドは、変更に応じて更新されます。
- 間隔を調整をクリックすると、行間隔および文字間隔フィールドに対する変更に基づいて行当たりのセル数およびボックス当たりの行数の値が調整されます。行送りおよび字送りの値は変更に応じて更新されます。
- その他の調整を開き、フォントサイズ、オフセットおよび文字の変形のコントロールにアクセスします。これらの値を変更すると、行当たりのセル数およびボックス当たりの行数の値が増減します。
- リセットをクリックすると、すべてのフィールドの値がダイアログボックスを表示 する前の状態に戻ります。
- ボックス内でのラインの調整ダイアログボックスを表示する前にプレビューをオンにする と、ダイアログボックスを閉じたときの変更結果を参照できます。
## デザイングリッド:表示設定タブ

デザイングリッドには、トップライン、センターライン、ベースライン、およびボトム ラインを示す個々の線が含まれます。 デザイングリッドには、トップライン、センター ライン、ベースライン、ボトムラインを示す個々の線、およびセル全体のボックスが含 まれます。グリッドラインを表示または非表示にする、またはグリッドラインの色、幅、 スタイルなどを指定するには、表示設定タブのコントロールを使用します。表示設定タ ブは、マスターガイド&グリッド、グリッドスタイルの編集、およびグリッド設定ダイ アログボックスに表示されます。

テキスト設定 セル揃え 表示	設定	
🗌 トップラインを表示		1px ‡
🗌 センターラインを表示		1px ‡
🗹 ペースラインを表示		1px ‡ +
🗌 ボトムラインを表示		1px ‡ 🗕 ‡
□ 全セルを表示		1px ‡ 🗕 ‡
		形状: 四角 🛟
設定の読み込み…		<u>キャンセル</u> OK

#### マスターガイド&グリッドダイアログボックスの表示設定タブ

- <グリッドラインの種類>を表示チェックボックスをオンにすると、グリッドを表示 したときに各種グリッドラインが表示されます。
- •各グリッドラインの色を指定するには、カラーボックスをクリックします。
- 幅ドロップダウンメニューから幅を選択します。
- スタイルドロップダウンメニューからスタイルを選択します。
- •形状ドロップダウンメニューからセルの形状を選択します。

 マスターガイド&グリッドダイアログボックスのみ:マスターページグリッドの境 界線を指定するには、グリッドを表示ドロップダウンメニューからマージン内、ペー ジ全体、またはペーストボードを選択します。

## デザイングリッド:セル揃えタブ

グリッド内のセルの揃え方を指定するには、**セル揃え**タブを使用します。

テキスト設定	セル揃え 表示語	设定	
	⊙ 左または上		○ 右または下
	○ センター		<b>○ ジャスティファイ</b>
<ul> <li>プレビ.</li> <li>設定の読</li> </ul>	1- み込み		キャンセル OK

**グリッド設定**および**グリッドスタイルの編集**ダイアログボックスのセル揃えタブ

## グリッド設定の読み込み

マスターページグリッド、またはテキストボックスグリッドの基礎として、グリッドス タイル、スタイルシート、またはマスターページグリッドを使用するには、下記の手順 に従ってください。

1 マスターガイド&グリッド、グリッド設定、またはグリッドスタイルの編集ダイアログ ボックスの設定の読み込みをクリックします。設定の読み込みダイアログボックスが表 示されます。

	設定の読み込み	
表示: 全てする		\$
A-マスターA (I	レイアウト 1)	
¶標準		
田 標準		
	( <b>*</b> # 2/# # )	OK
	++721	UK

**設定の読み込み**ダイアログボックスで、グリッドスタイル、スタイルシート、またはマ スターページを選択します。

- 2 表示ドロップダウンメニューで、全ての、グリッドスタイル、マスターページ、または 段落スタイルシートを選択します。
- 3 リストから既存のグリッドスタイル、スタイルシート、またはマスターページを選択し、 OKをクリックします。
- 読み込んだグリッドスタイル、スタイルシート、またはマスターページの仕様が、マス ターガイド&グリッド、グリッド設定、またはグリッドスタイルの編集に表示されます。 読み込み後にこれらのグリッド設定を変更できます。

	グリッドス	タイルの編集
名前: 新規グリッ	/ドスタイル	
キスト設定 セル捕	前え 表示設定	
フォントサイズ:	12 pt	Sector Contractor
フォント比率:	水平方向 🗧	100%
行間隔:	2.4 pt	行送り = 14.4 pt
文字間隔:	0 px	字送り = 12 px
~	- 100	
~-x91 201		
● 位置 12	2% 基点	ボトムライン キ
() フォント	から読み取り:	Lucida Grande
	(	(12% from ボトムライン)
オフセット: ト	ップライン	¢ 0 px
□ 段落スタイル:	シートヘリンク	原準
設定の読み込み		キャンセル OK
HALF AND		

## 「本文」スタイルシートが読み込まれたグリッドスタイル

グリッドスタイルのスタイルシートを読み込む場合、スタイルシートに変更を行うとグ リッドスタイルも自動的に更新されるようにすることができます。これには、**段落スタ** イルシートへリンク <スタイルシート名>チェックボックスをオンにします。フォントと 間隔のコントロールが利用できなくなります。

	グリッドス	タイルの編集
名前: 新規グリッ	ドスタイル	
キスト設定セル捕	前え 表示設定	
フォントサイズ:	12 pt	
フォント比率:	水平方向 🗧	100%
行間隔:	自動	行送り = 自動
文字間隔:	0 px	字送り = 12 px
○ 位置 20 ⊙ フォント	).7% 基点 から読み取り: (	ボトムライン ÷ Lucida Grande 20.7% from ボトムライン)
オフセット: ト	ップライン	-0.116 px
🗹 段落スタイル:	シートヘリンクオ	栗準
設定の読み込み、		キャンセル OK

「本文」スタイルシートが読み込まれ、リンクされたグリッドスタイル

## グリッドスタイルの使用

グリッドスタイルには、テキストボックスに適用したり、マスターページグリッドやその他のグリッドスタイルの基礎として使用できるグリッド属性が含まれます。

## グリッドスタイルの作成

グリッドスタイルの作成、編集、複製、または削除を行うには、**グリッドスタイル**ダイ アログボックス(**編集 > グリッドスタイル**)を使用します。

田 新規グリッドスタ	イル
田標準	
名前: 新規グリッドスタ	タイル; フォントサイズ: 12 pt; 増幅
値: 18 pt; 字送り: 12	pt; 横方向の倍率: 100%; 縦比率:
100%; オフセット: 0 r	mm; 段落スタイルシート: 標準; 段落
	ク・しない・行揃え・左揃えまたはト
スタイルシートヘリン	
スタイルシートヘリン・	· 復製 削除
スタイルシートヘリン・ 新規 編	複製         削除           キャンセル         保存

グリッドスタイルを作成、編集、または削除するには、**グリッドスタイル**ダイアログボッ クスを使用します。

**グリッドスタイル**ダイアログボックスで新規、編集、または複製をクリックすると、グ リッドスタイルの編集ダイアログボックスが表示されます。

グリッドスタイルの編集
名前: 新規グリッドスタイル
テキスト設定 セル描え 表示設定
フォントサイズ: 12 pt
フォント比率: 水平方向 💠 100%
行間隔: 2.4 pt 行送り = 14.4 pt
文字間隔: 0 px 字送り = 12 px
ペースラインの位置
④ 位置 12% 基点 ボトムライン      キ
○ フォントから読み取り: Lucida Grande ↓
(12% from ボトムライン)
オフセット: トップライン ÷ 0 px
□ 救済スタイルシートへリンク 標準
設定の読み込み トレーンセル OK

**グリッドスタイルの編集**ダイアログボックス

- グリッドスタイルの名前を指定するには、名前フィールドに値を入力します。
- グリッドの位置と間隔を制御するには、テキスト設定タブのコントロールを使用します。詳細は、「デザイングリッド:テキスト設定タブ」を参照してください。
- グリッドに対するセル全体の揃えを制御するには、セル揃えタブのコントロールを 使用します。詳細は、「デザイングリッド:セル揃えタブ」を参照してください。
- 表示するグリッドラインを指定するには、表示設定タブのコントロールを使用します。詳細は、「デザイングリッド:表示設定タブ」を参照してください。
- 既存のマスターページグリッド、グリッドスタイルまたはスタイルシートの仕様を 使用するには、設定の読み込みをクリックします。詳細は、「グリッド設定の読み 込み」を参照してください。
- プロジェクトが開かれていない状態でグリッドスタイルを作成すると、そのグリッドスタ イルがデフォルトのグリッドスタイルリストの一部となり、以降作成されるすべてのプロ ジェクトに含まれます。

## テキストボックスへのグリッドスタイルの適用

選択したテキストボックスにグリッドスタイルを適用するには、下記の手順に従ってく ださい。

 テキストボックスグリッドを表示するには、表示 > テキストボックスのグリッドをオン にします。 2 グリッドスタイルパレットを表示するには、ウィンドウ>グリッドスタイルをオンにします。

+	10	Î
<b>#</b>	スタイル解除	
▦	新規グリッドスタイル	
Ħ	標準	

**グリッドスタイル**パレットを使用して、テキストボックスにグリッドスタイルを適用します。

3 グリッドスタイルパレットでグリッドスタイル名をクリックします。

## デザイングリッドの使用

テキストボックスにデザイングリッドを適用したり、マスターページグリッドを構成す ると、行揃えにグリッドを使用できるようになります。デザイングリッドにアイテムを 視覚的に揃えることも、**表示 > ページグリッドへの吸着**を選択して、マスターページグ リッドにアイテムを強制的に揃えることもできます。

### マスターページグリッドの使用

レイアウトページのマスターページグリッドを指定するには、プロジェクトページにマ スターページを適用します。

#### グリッドへのテキストの固定

スタイルシート、またはローカル段落フォーマットを使用することで、マスターページ グリッドやテキストボックスグリッドにテキストを固定できます。グリッドにテキスト を固定するには、下記の手順に従ってください。

1 スタイルシートのテキスト固定を設定するには、編集>スタイルシートを選択して段落 スタイルシートを選択し、編集をクリックしてから、フォーマットタブをクリックしま す。段落のテキスト固定を設定するには、段落を選択してからスタイル>フォーマット を選択(Windowsのみ)するか、メジャーパレットの段落/段落設定タブを使用しま す。



メジャーパレットの段落設定タブ

- **2 フォーマット**タブで、**グリッド固定**チェックボックスをオンにします。
- 3 テキストの固定先とするグリッドを指定するには、グリッド固定の下にある最初のドロッ プダウンメニューでページグリッド、またはテキストボックスグリッドを選択します。
- 4 テキストの固定先とするグリッドラインを指定するには、グリッド固定の下にある2番目のドロップダウンメニューでトップライン、センターライン、ベースライン、またはボトムラインを選択します。

## デザイングリッドへのアイテムの吸着

マスターページグリッドラインにアイテムを吸着させ、テキストボックスのサイズ変更時にテキストボックスのグリッドに吸着させることができます。

マスターページグリッドラインに吸着させるには、マスターページグリッドを表示(表 示>ページグリッド)し、表示>ページグリッドへの吸着を選択します。

ページグリッドへの吸着(表示メニュー)が選択されている場合、環境設定ダイアログ ボックスにあるガイドとグリッドペインのガイド吸着距離フィールドで、デフォルトで6 ピクセルであるページグリッドにアイテムが吸着される距離を変更できます。

テキストボックスのサイズ変更時にテキストボックスのグリッドに吸着させるには、テ キストボックスのグリッドを表示して、ボックスをサイズ変更します。

#### 揃え用グリッド

マスターページグリッドラインやガイドにテキストボックスグリッドラインを揃えるに は、下記の手順に従ってください。マスターページグリッドラインやガイドにテキスト ボックスグリッドラインやセルを揃えるには、下記の手順に従ってください。

- 1 表示>ガイド、表示>ページグリッド、および表示>テキストボックスグリッドがオンであることを確認します。
- 2 アイテムツールを選択します。
- 3 テキストボックスにあるグリッドラインをクリックしてから、ボックスをドラッグします。グリッドラインを移動するときにも、ボックスの元の位置が表示され続けます。ボックスにある他のグリッドライン、マスターページグリッドライン、またはガイドに、選択したグリッドラインを揃えられます(下記ライブドラッグに関する注を参照してください)。
- 4 テキストボックスにあるグリッドライン、またはセルをクリックしてから、ボックスを ドラッグします。選択したグリッドラインやセルを移動すると画面に反映されますが、 ボックスの元の位置は画面上に引き続き表示されます。ボックスにある他のグリッドラ

インやセル、マスターページグリッドライン、またはガイドに、選択したグリッドラインを揃えられます。

ライブドラッグとは、アイテムの移動中にアイテムのコンテンツを表示するための機能です。ただし、ライブドラッグがアクティブであっても、選択したグリッドラインやセルは表示されません。

## ルビ文字の使用

ルビ文字は、ベーステキストの意味や発音を明確にするものです。ベーステキストについては縦組み、横組みのいずれも可能で、ルビ文字の組方向は通常ベーステキストに従います。ルビ文字は、縦組みのベーステキストの左右に、横組みのベーステキストの上下に配置できます。

ルビ文字には、モノルビとグループルビの2種類があります。**モノルビ**とは、ベーステキ ストの単一文字に関連付けられているルビ文字です。**グループルビ**とは、ベーステキス トの複数文字に関連付けられているルビ文字です。

ルビ文字の揃え、配置、縮小率、フォント、カラー、不透明度、シェード、文字飾り、 および相対サイズを操作できます。さらに、関連付けられていないベーステキストに張 り出すルビ文字を制御するためのオプションを選択できます。

**ルビ**ダイアログボックス(**スタイル**メニュー)を使用して、選択したベーステキストに ルビ文字を追加します。

_	иt	2		
キスト文字属性	_		_	-
<mark>ルピ文</mark> 字:	Rubi text		ルピを取得	
ペーステキスト:	sdf sadf safdsafsaf sadf			
ルビテキストの設定				
ルピ揃え:	1-2-1 (JIS) … ‡	相対サイズ:	50%	\$
ルビの配置:	( <u>+</u> +)	オフセット:	0 pt	\$
ルビテキストの張り	出し			
張り出しルビ:	ルビ文字1個まで	\$		
ペース揃え:	1-2-1 (JIS) ルール	\$		
	✓ 端線上に自動揃え			
		通用	キャンセル 0	ĸ

## **ルビ**ダイアログボックス

ー定範囲のテキストを選択して、Command+Option+R/Ctrl+Alt+Rを押すと、スペー スまたは約物で区切られている、連続した単語に自動ルビを適用できます。自動ルビの 詳細は、下記の「テキストタブ」のリストにある**ルビ文字**の箇条書きを参照してくださ い。

#### テキストタブ

ルビダイアログボックスのテキストタブで、下記のオプションを制御できます。

- ルビ文字:選択したベーステキストに適用するルビ文字を指定するには、このフィールドを使用します。新しいルビのためにルビダイアログボックスを表示すると、アプリケーションによって、自動的に、インプットメソッドエディタ(IME)からこのフィールドにベーステキストの読み方が入力されます。この機能は、IMEの辞書が使用できる言語に対して有効です(本書では、中国語と日本語のみ)。
- ルビを取得:このボタンを使用して、IMEからルビ文字フィールドの内容をリフレッシュできます。
- ベーステキスト: このフィールドには、選択したベーステキストが表示されます。
- ルビ揃え:非張り出しルビ文字のベーステキストとの揃え方を制御するには、このドロップダウンメニューを使用します。詳細については、「ルビ揃えのオプション」を参照してください。
- ルビの配置:横組みベーステキストの上下のどちらに、または縦組みベーステキストの左右のどちらにルビ文字を表示するかを指定するには、このドロップダウンメニューを使用します。
- 相対サイズ:ベーステキストを基準にしたルビ文字のサイズを指定するには、この フィールドを使用します。
- オフセット:ベーステキストからのルビ文字のオフセット距離を制御するには、このフィールドを使用します。
- ・張り出しルビ:ルビ文字に関連付けられていないベーステキスト上にどれだけルビ 文字が張り出せるかを制御するには、このフィールドを使用します。詳細について は、「張り出しルビのオプション」を参照してください。ベース揃えがなしに設定 されている場合、この機能は無効となります。
- ベース揃え:ベーステキストと張り出しルビ文字との揃え方を制御するには、この フィールドを使用します。詳細については、「*ルビベース揃えのオプション*」を参 照してください。
- 端線上に自動揃え:ルビ文字がベーステキストに張り出してテキストボックスのエッジに触れる場合に、ルビ文字をテキストボックスのボーダーに自動的に揃えるようにするには、このチェックボックスをオンにします。

## 文字属性タブ

ルビダイアログボックスの**文字属性**タブで、ルビ文字フォーマットを制御できます。

ルピ	×
テキスト       文字属性         フオント(F):       Aria         サイズ(Z):       6 pt         カラー(R):       ブラック         シェード(D):       100%         不透過度(Y):       100%         縮小率(L):       水平方向 > 100%         トラッキング/字送       0         ベースラインシフト       0 pt	文字飾り ☑ 標準(P) □ ポールド(B) □ オールキャップス(( □ イタリック) □ スモールキャップス □ シャドウ(H) □ アンダーライン( □ アウトライン( □ 取り消し線(K) □ 二重取り消し線(D)
	☑ルビ専用仮名
	OK きャンセル 適用(A)

ルビ文字の表示方法を指定するには、文字属性タブを使用します。

- フォント、サイズ、カラー、シェード、不透明度、縮小率、トラッキング/字送り、
   ベースラインシフト、および文字飾りコントロールで、テキストに基本フォーマットを適用できます。
- ルビ文字専用にデザインされた、かな字形の使用の有効/無効を切り替えるには、 ルビ専用仮名チェックボックスをオン/オフにします。これらの字形が利用できるのは、一部の日本語OpenTypeフォントでのみです。

## ルビ揃えのオプション

**ルビ**ダイアログボックス(**スタイル**メニュー)のテキストタブにある**ルビ揃え**オプショ ンでは、下記の操作が可能です。

- 左揃え: 横組みでルビ文字がベーステキストに対して左揃えになります。
- センター:横組みまたは縦組みで、ルビ文字がベーステキストに対して中央揃えに なります。
- 右揃え: 横組みでルビ文字がベーステキストに対して右揃えになります。
- •上揃え:縦組みでルビ文字がベーステキストに対して上揃えになります。
- 下揃え:縦組みでルビ文字がベーステキストに対して下揃えになります。
- 両端揃え:下図のように、ベーステキストの上または横にあるルビ文字を中心揃え にします。



ルビ文字の**両端揃え** 

• 強制割付: 横組みの場合ルビ文字をベーステキストの両端に揃えるか、または縦組 みの場合ベーステキストの上下にルビ文字を揃えます。



ルビ文字の**強制割付**揃え

• 1-2-1 (JIS) ルール:1:2:1の比率でルビ文字をベーステキストに揃えます。また、ルビ文字のラインの両端に一定のスペースが残ります。



ルビ文字の1-2-1 (JIS) ルール揃え

• 均等割付:ルビ文字のラインの両端およびルビ文字間のスペースが等間隔になるようにルビ文字を揃えます。



## ルビ文字の**均等割付**

• 1ルビスペース:ルビ文字のラインの両端のスペースがルビ1文字の幅と等しくなり、 各ルビ文字間のスペースとは等しくならないように、ルビ文字を揃えます。ルビ文 字間のスペースは等しくなります。



ルビ文字の1ルビスペース揃え

## モノルビ

個々のルビ文字の配置を制御するには、**ルビ**ダイアログボックス(**スタイル**メニュー) の**ルビ文字**フィールドで、ルビ文字の間にバックスラッシュまたは円記号を挿入します。

ルビ文字(T):	m\mm
ベーステキスト(B):	мм

## ルビ文字間のバックスラッシュはモノルビを示します。

たとえば、3つのルビ文字に関連付けられる2つのベーステキスト文字を選択し、最初の ルビ文字のみを1文字目のベーステキスト文字に置き、残り2つのルビ文字を次のベース 文字に配置する場合、バックスラッシュを1番目と2番目のルビ文字の間に挿入します。 バックスラッシュはベーステキスト文字間のスペースに当たるため、必要に応じてバッ クスラッシュ間に任意の文字数のルビ文字を配置できます。



バックスラッシュはベーステキスト文字間のスペースに当たります

#### ルビベース揃えのオプション

**ベース揃え**オプションを適用できるのは、ルビ文字がベーステキストから張り出している場合のみです。**ベース揃え**オプションは下記のとおりです。

- なし: ベーステキストの揃えが適用されません。
- 左: 横組みで、ベーステキストがルビ文字に対して左揃えになります。
- センター:ルビ文字が均等にベーステキストの両端から張り出すように、ルビ文字の下または横にベーステキストを揃えます。
- 右: 横組みで、ベーステキストがルビ文字に対して右揃えになります。
- •上:縦組みで、ベーステキストがルビ文字に対して上揃えになります。
- 下: 縦組みで、ベーステキストがルビ文字に対して下揃えになります。
- 両端揃え:下図のように、ルビ文字の下または横に、ベーステキストを中心揃えにします(この図では、張り出しルビがなしに設定されていることを前提としています。ルビ文字が一定量張り出すよう設定されている場合、そのルビ文字はベーステキストの文字列の両端からその分だけはみ出します。また、ベーステキストが残りのスペースで調整されます)。



ベーステキストの両端揃え

 ・強制割付:ベーステキストを、横組みではベーステキストをルビ文字の左と右に、 縦組みではルビ文字の上と下に揃えます(この図では、張り出しルビがなしに設定 されていることを前提としています。ルビ文字が一定量張り出すよう設定されてい る場合、そのルビ文字はベーステキストの文字列の両端からその分だけはみ出しま す。また、ベーステキストが残りのスペースで強制割付および中心揃えされます)。



ベーステキストの 強制割付 揃え

• 1-2-1 (JIS) ルール:1:2:1の比率でベーステキストをルビ文字に揃えます。ベー ステキストの行の先頭と末尾に一定量のスペースが残ります。



ベーステキストの1-2-1 (JIS) ルール揃え

 均等割付:ベーステキスト行の先頭、末尾、およびベーステキスト間でスペースが 等間隔になるように、ベーステキストを揃えます(この図では、張り出しルビがな しに設定されていることを前提としています。ルビ文字が一定量張り出すよう設定 されている場合、そのルビ文字はベーステキストの文字列の両端からその分だけは み出します。また、ベーステキストが残りのスペースに分配されます)。



ベーステキストの均等割付

## 張り出しルビのオプション

ルビダイアログボックス(スタイルメニュー)のテキストタブにある張り出しルビオプ ションを使用することで、張り出しルビテキスト文字には関連付けられていないベース テキスト文字の、いずれかの側へのルビテキスト文字の張り出し距離を制御できます。 以下の色付き図にさまざまな張り出しルビオプションを図示します。黄色は、互いに関 連付けられているベーステキストとルビ文字を表します。青は、張り出しルビ文字とは 関連付けられていないベーステキストを表します。

• なし:張り出しは行われません。

• ルビ文字1個まで: 関連付けられていないベーステキスト文字の上に、ルビテキスト 文字1個分の張り出しを認めます。



## ルビ文字1個まで

• ルビ文字1/2個まで: 関連付けられていないベーステキスト文字の上に、ルビテキス ト文字1/2個分の張り出しを認めます。



ルビ文字1/2個まで

• ベース文字1個まで: 関連付けられていないルビテキスト文字の下に、ベーステキス ト文字1個分の配置を認めます。



#### ベース文字1個まで

• ベース文字1/2個まで: 関連付けられていないルビテキスト文字の下に、ベーステキ スト文字1/2個分の配置を認めます。



ベース文字1/2個まで

•制限なし:張り出しが制限なしに行われます。

## ぶら下がり文字の使用

ぶら下がり文字セットでは、**ぶら下がり約物とマージン揃え**の両方を処理します。マー ジン揃えでは、文字をマージン外部に部分的にぶら下げることで、マージンに沿った視 覚的に統一されたテキストの揃えを作成できます。ぶら下がり約物では、約物文字を完 全にマージン外部にぶら下げることで、テキストの行頭(先頭)やテキストの行末(末 尾)での均一なマージンで、テキストを揃えることができます。たとえば、以下の最初 のテキストサンプルにある引用符記号は先頭マージンの外部にぶら下げられているため、 テキストの1行目にある最初の文字をその下のテキストの行と均等に揃えられます。以下 の2番目のテキストサンプルにある引用符記号は、末尾マージンの外部にぶら下げられて います。たとえば、2番目のテキストサンプルにあるピリオドは、末尾マージンの外部に ぶら下げられています。

# "This is a sentence that has a hanging quotation at the beginning."

The opening quotation mark in this sample text is a leading hanging character

## "This is a sentence that has a hanging quotation at the end."

The closing quotation mark in this sample text is a trailing hanging character

このサンプルテキストの2行目の場合、左側のサンプルにはぶら下がりはありませんが、 右側のサンプルには行頭ぶら下がりがあります。



#### このサンプルテキストでは、約物文字が未尾のぶら下がり文字です。

カスタムの**ぶら下がり文字クラス**、および**ぶら下がり文字セット**を作成することも、ソ フトウェアに含まれるデフォルトのクラスとセットを使用することもできます。ぶら下 がり文字クラスとは、マージン外部に常にぶら下げられるか、同一パーセントでマージ ン内部にインデントされる必要のある文字のグループのことです。ぶら下がり文字セッ トとは、ぶら下がり文字クラスからなるグループのことです。ぶら下がり文字セットを 使用することで、段落に1つまたは複数のぶら下がり文字クラスを適用できます。

ぶら下がり文字セットとクラスの表示、作成、編集、複製、および削除を行うには、ぶ ら下がり文字ダイアログボックス(編集 > ぶら下がり文字)を使用します。

プロジェクト1のぶら下がり文字	$\times$			
表示(W): すべてのぶら下がり文字 ~				
■■CJK約物(行の収まりを優先)	^			
■CJK約物(行の収まりを優先) ■■ぶら下がり約物 ■末尾約物100% ■末尾約物20%				
□末尾約初30%	~			
このセットに含まれるクラス:CJK約物(行の収まりを 優先)				
新規(№) ▼ 編集(E) 複製(U) 削除(D	)			
<mark>追加(A)…</mark> 保存(S) キャンセ	л			

## **ぶら下がり文字**ダイアログボックス

ぶら下がり文字セットの前には、 **Ⅲ**アイコンが付きます。 ぶら下がり文字クラスの前に は、 **Ⅲ**アイコンが付きます。 ダイアログボックスの中央ペインでぶら下がり文字セットを選択すると、そのセットに 属すぶら下がり文字クラスが下のペインに表示されます。ダイアログボックスの中央ペ インでクラスを選択すると、選択したクラスが属すセットと選択したクラスの属性が下 のペインに表示されます。

ぶら下がり文字セットやクラスを比較するには、ぶら下がり文字ダイアログボックスで2 つのクラスまたはセットを選択し、Option/Altキーを押します。追加ボタンが比較ボタンに変化します。

#### ぶら下がり文字クラスの作成

ぶら下がり文字クラスに含まれる文字、クラスのぶら下がり率、ぶら下がり文字クラス を先頭と末尾のどちらにするかを指定するには、ぶら下がり文字クラスの編集ダイアロ グボックス(編集 > ぶら下がり文字 > 新規 > クラス)を使用します。

ぶら下がり文字クラスの編集 X
名前: 新規ぶら下がり文字クラス
種類: 行末 🛛 ぶら下がり 100% 🗸
☑ 行の収まりがぶら下がりに優 文字*
•>
* ヱの場合は、みら下かりは行いよ □ プレビュ* OK キャンセル

#### ぶら下がり文字クラスの編集ダイアログボックス

文字ペインで文字を入力します。ぶら下がり率ドロップダウンメニューからぶら下がり 率を選択します。ぶら下がり率は、表示される字形に対する一定のぶら下がりまたはイ ンデントの割合を指定するものです。たとえば、-50%を選択すると、文字クラスの文字 が、表示される文字幅の半分だけ行端よりも内部にインデントされます。100%を選択す ると、文字クラスの文字が、表示される字形の分だけ行端の外にぶら下がります。

次に、文字クラスを**行頭と末尾**のどちらにするかを指定します。**行頭**クラスの文字は行 頭の外側へぶら下がります。 **末尾**クラスの文字は末尾の外側へぶら下がります。

ぶら下がり文字クラスをぶら下がり文字セットに保存後、プレビューチェックボックスを オンにすると、編集時にぶら下がり文字クラスへの変更を表示できます。

## ぶら下がり文字セットの作成

ぶら下がり文字セットに含めるぶら下がり文字クラスを指定するには、ぶら下がり文字 セットの編集ダイアログボックス(編集>ぶら下がり文字>新規>セット)を使用しま す。

ぶら下がり文字セットの編集	×
名前: 新規ぶら下がり文字セット	]
以下のクラスがこのセットに含まれ	
<ul> <li>□ 末尾約物100%</li> <li>□ 末尾約物20%</li> <li>□ 末尾約物30%</li> <li>□ 末尾約物50%</li> <li>□ 行頭約物100%</li> <li>□ 行頭約物20%</li> <li>□ 行頭約物30%</li> </ul>	
クラスの編集 OK(O) キャンセル	

#### **ぶら下がり文字セットの編集**ダイアログボックス

ダイアログボックス中央のペインに、使用できるぶら下がり文字クラスがすべて表示されます。これらのぶら下がり文字クラスはぶら下がり文字セットに追加できます。追加 するぶら下がり文字クラスの横にあるチェックボックスをオンにし、ぶら下がり文字セットの名前を指定してから**OK**をクリックします。

新しいぶら下がり文字セットを保存する前にぶら下がり文字クラスを編集するには、ク ラスを選択してから**クラスの編集**をクリックします。

ぶら下がり文字セット内で同じ文字に対して、異なる先頭または末尾の値を指定すること はできません。

#### ぶら下がり文字セットの適用

テキストにぶら下がり文字セットを適用するには、**段落設定**ダイアログボックス(編集>フォーマット)のぶら下がり文字セットドロップダウンメニューからオプションを選択します。

段落スタイルシートにぶら下がり文字セットを適用するには、**段落スタイルシートの編** 集ダイアログボックス(編集>スタイルシート>新規>段落または編集>スタイルシー ト>編集)のフォーマットタブにあるぶら下がり文字セットドロップダウンメニューか らオプションを選択します。

## 文字組みセットとクラスの使用

文字組み機能で、指定した約物文字が特定の位置にある場合の間隔を制御できます。 この機能を使用するには、文字組み文字クラスと文字組みセットを選択または作成する 必要があります。

- **文字組み文字クラス**とは、特定の方法で常に間隔を置く必要がある、約物文字の名 前付きセットのことです。
- 文字組みセットとは、文字の仮想ボディの幅に基づく一連の文字間隔仕様です。文字組みセットによる規定の例を挙げると、開き約物が行頭にある場合には固定長の半角間隔を使用し、閉じ約物が行末にある場合には半角間隔または全角間隔を使用する、などです。各文字組みセットは、1つの文字組み文字クラスに関連付けられます。

文字組み機能を使用するには、段落に文字組みセットを適用します。文字組みセットの 設定は、関連付けられている文字組み文字クラスの文字に適用されます。

2つの全角文字間にある小括弧が全角の仮想ボディ幅を占めないようにするには、小括弧 を含む文字組み文字クラスを作成し、その文字組みセットの設定で、2つの全角仮想ボ ディ幅文字間にある小括弧が、常に半角の仮想ボディ幅を使用するように設定します。

- ➡ 段落ごとに、適用できる文字組みセットは1つだけです。
- 文字と字形の違いについての詳細は、「字形パレットの使用」を参照してください。

#### 文字組み文字クラスの作成と編集

**文字組み文字クラス**は、文字組みセットで使用するように設計されている約物文字の名 前付きセットです(詳細は、「文字組みセットとクラスの使用」を参照してください)。 カスタムの文字組み文字クラスを作成することも、ソフトウェアに含まれているデフォ ルトの文字組み文字クラスを使用することもできます。

カスタムの文字組み文字クラスを作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 編集 > 文字組み > 文字クラスを選択します。文字組み文字クラスダイアログボックスが 表示されます。
- 2 新規をクリックします。文字組み文字クラスの編集ダイアログボックスが表示されます。
- 3 名前フィールドに名前を入力します。
- **4 約物起こし**フィールド、約物受け(括弧)フィールド、約物受け(句読点)フィールド、 および中付き約物フィールドに文字を入力します。
- 5 OKをクリックします。
- **6 保存**をクリックします。
- ➡ 句読点は、日本語で「ピリオドおよびカンマ」に相当する文字です。

#### 文字組みセットの作成および編集

文字組みセットは仕様のセットで、文字組みの文字クラスに関連付けてから、段落に適 用できます。詳細は、「*文字組みセットとクラスの使用*」を参照してください。 文字組みセットを作成するには、**編集 > 文字組み > セット**を選択して、文字組みセット ダイアログボックスを表示します。次に**新規**をクリックします。文字組みセットの編集 ダイアログボックスが表示されたら、名前フィールドに名前を入力し、クラスドロップ ダウンメニューから文字組みの文字クラスを選択します。

**文字組みセットの編集**ダイアログボックスの設定により、指定した文字組みの文字クラ スについて、文字の幅や文字間隔を制御できます。また、どの調整を優先するか制御す ることもできます。

文字組の編集			×
<b>名前:</b> 半角-全角~半角-	全角/半角 単位:	文字	□幅/分 ∨
クラ 標準日本語文字クラ	クラ 標準日本語文字クラス ~		
- 起こし約	文字幅設定		重要度
行頭:	半角固定	$\sim$	-
行中:	全角~半角	$\sim$	中 ~
段落後の行頭:	半角固定	$\sim$	-
受け約物			
行中 (括弧類)	全角~半角	$\sim$	中 ~
行中(句読点):	全角~半角	$\sim$	中 ~
行末:	全角/半角	$\sim$	低~
中付き約物			
行頭:	全角固定	$\sim$	-
行中:	全角固定	$\sim$	中、、
行末:	全角固定	$\sim$	-
段落後の行頭:	全角固定	~	-
連続す る約物	文字間設定		
起こしと起こ	アキ無し	$\sim$	in v
受け(括弧類)と起	2 半角アキ~アキ無し	$\sim$	中 ~
受け(句読点)と起	半角アキ~アキ無し	$\sim$	中 ~
受けと受	アキ無し	$\sim$	市
受けと中付	四分アキ	~	· □ ·
中付きと起こ	四分アキ	$\sim$	高くく
和文(約物以外)と欧文	四分アキ	~	高。
□プレビュ~	復帰 OK		キャンセル

#### **文字組みセットの編集**ダイアログボックス

- •名前:編集する文字組みセットの名前を表示します。
- •単位:このダイアログボックスで使用する表示単位を指定します。
- クラス:編集する文字組みの文字クラス名を表示します。

## 約物起こし

- 行頭: 行の先頭で使用する始め括弧の文字幅または文字間隔を指定します。
- 行中: 行の中間で使用する始め括弧の文字幅または文字間隔を指定します。
- 段落の開始: 段落の先頭で使用する始め括弧の文字幅または文字間隔を指定します。 この設定は、行頭の設定よりも優先されます。

## 約物受け

- 行中(括弧):行の中間で使用する終わり括弧の文字幅または文字間隔を指定しま す。
- 行中(句読点):行の中間で使用する句読点の文字幅または文字間隔を指定します。 句読点は、日本語で「ピリオドおよびコンマ」に相当する文字です。
- 行末:行の末尾で使用する終わり括弧の文字幅または文字間隔を指定します。

#### 中付き約物

- 行頭: 行の先頭で使用する中付き約物の文字幅または文字間隔を指定します。
- 行中: 行の中間で使用する中付き約物の文字幅または文字間隔を指定します。
- 行末: 行の末尾で使用する中付き約物の文字幅または文字間隔を指定します。
- 段落の開始: 段落の先頭で使用する中付き約物の文字幅または文字間隔を指定しま す。この設定は、行頭の設定よりも優先されます。

#### 連続する約物

- 始め括弧 始め括弧: 始め括弧どうしが隣接する場合の文字幅または文字間隔を指定します。例:((
- 終わり括弧 始め括弧:終わり括弧と始め括弧が隣接する場合の文字幅または文字 間隔を指定します。例:)(
- 句読点 始め括弧:始め括弧に隣接する句読点の文字幅または文字間隔を指定します。 句読点は、日本語で「ピリオドおよびコンマ」に相当する文字です。例:。(
- 終わり括弧 終わり括弧:終わり括弧どうしが隣接する場合の文字幅または文字間 隔を指定します。例:))
- 行中受け:隣接する約物受けと中付き約物の間の文字幅または文字間隔を指定します。例:;)
- 行中起こし:中付き約物と始め括弧が隣接する場合の文字幅または文字間隔を指定します。例:(:

#### CJK/欧文間スペース

中国語、日本語、または韓国語の文字と欧文が隣接する場合の文字間隔を指定します。この機能は、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定)の文字設定ペインにあるCJK/欧文間スペースフィールドで指定する値よりも優先されます。ただし、この機能が影響するのは、文字組みの文字セット内の文字のみです。

#### 文字幅の設定、文字間隔の設定

約物起こし、約物受け、中付き約物、および連続する約物の文字幅または文字間隔を指 定します。

- 全角に固定: 文字幅をすべて全角に固定します。
- •半角に固定:文字幅をすべて半角に固定します。
- 全角から半角: 文字幅を全角に指定しますが、半角に縮めることもできます。
- •半角から全角:文字幅を半角に指定しますが、全角に拡大することもできます。

## テキストと組版

- **全角または半角**:文字を全角と半角のどちらかの幅に収めます。全角が優先されます。
- 半角または全角:文字を半角と全角のどちらかの幅に収めます。半角が優先されます。
- 全角スペース:表示される文字間のスペースを全角に指定します。
- •半角スペース:表示される文字間のスペースを半角に指定します。
- **全角からスペースなし**: 表示される文字間のスペースを全角に指定しますが、スペー スなしに変更することもできます。
- 半角からスペースなし:表示される文字間のスペースを半角に指定しますが、スペー スなしに変更することもできます。
- スペースなしから半角:表示される文字間のスペースをなしに指定しますが、半角 スペースに変更することもできます。
- •1/4角スペース:表示される文字間のスペースを1/4角に指定します。
- 1/4角からスペースなし:表示される文字間のスペースを1/4角に指定しますが、スペースなしに変更することもできます。

#### 優先度

文字組みの間隔調整の優先順位を指定します。

- 高:最初に調整します。
- 中:2番目に調整します。
- **低**:最後に調整します。

#### プレビュー

幅および間隔の設定に関する編集可能なプレビューを有効または無効にします。

#### 文字組みセットの適用

段落に文字組みセットを適用するには、**段落設定**ダイアログボックス(スタイル>フォー マット)(Windows)、またはメジャーパレットの段落タブ(Mac OS X)の文字組 みセットドロップダウンメニューから名前を選択します。

段落スタイルシートに文字組みセットを適用するには、**段落スタイルシートの編集**ダイ アログボックス(編集>スタイルシート>新規>段落または編集>スタイルシート> 編集)のフォーマットタブにある文字組みセットドロップダウンメニューから文字組み セット名を選択します。

➡ 1つの段落に適用できる文字組みセットは1つだけです。

#### レガシープロジェクトにおける文字のマッピング

8.0より前のQuarkXPressのCJKバージョンで保存されたプロジェクトには、Unicode のテキストが含まれません。より正確に言うと、プロジェクトには、GB2312、Big5、 ShiftJIS、x-mac-koreanなどの特定のエンコーディングで保存されたテキストが含まれ ます。QuarkXPress 8以降でこのようなファイルを開くと、エンコーディング固有の文 字がアプリケーションによって自動的にUnicode文字に変換されます。ただし、デフォルトのUnicode変換では下記の種類の文字を正常に変換できない可能性があります。

- 中国語(繁体字)エンコーディングのUDA/VDA(ユーザ定義領域/ベンダ定義領域)範囲の文字
- エンコーディングのカスタム文字範囲の文字

これらの文字はUnicode固有の字形にマッピングできないことがあります。そのためこ れらのコードポイントに対応する字形はフォントによって異なる可能性があります。た とえば、エンコーディングのUDA/VDA範囲の文字をマッピングする場合、台湾Big5の 文字マッピング標準を使用するフォントと香港Big5の文字マッピング標準を使用するフォ ントでは異なる字形になる可能性があります。エンコーディングのカスタム文字範囲の 文字は、特定の言語や業界に固有の字形にマッピングされる可能性があります。

最初の問題については、QuarkXPressに付属するマッピングテーブルで容易に解決でき ます。カスタム文字を使用するプロジェクトについても、独自のマッピングテーブルを 作成することで対応できます。

#### UDA/VDA文字を使用するプロジェクトのマッピング

QuarkXPress 3または4の中国語版で作成されたプロジェクトを開くと、QuarkXPress で自動的にすべてのUDA/VDA文字がハイライトされ、それらの文字が正しい字形で表 示されているかどうか確認する必要があることを示します。環境設定ダイアログボック ス(QuarkXPress/編集 > 環境設定)のフォントペインでフォントメーカーによって 定義された繁体字の文字範囲に入っている文字をハイライトするチェックボックスをオ フにすると、このハイライトを無効にできます。

プロジェクトでハイライトされた字形が正しく表示されていない場合、 マッピングテー ブルを使用して、そのプロジェクトの文字をUnicodeへマッピングする必要があります。 マッピングテーブルはテキストファイルの一種で、Unicodeへの特殊なエンコード方法 を使用するテキストの変換方法をQuarkXPressに通知します。各マッピングテーブルに は、エンコード固有のコードポイントと対応するUnicodeコードポイントのリストが含 まれています。

8.0以前のプロジェクトで、たとえばHong Kong Big5エンコードを使用することがわ かっている場合、QuarkXPress 8.0以降でプロジェクトを初めて開いたときにHong Kong Big5のマッピングテーブルを使用してその文字をUnicodeに変換できます。 QuarkXPressにはこのようなマッピングテーブルがいくつか収録されています。これら のマッピングテーブルのいずれかを使用するには、まず"CustomMappingTables"フォ ルダへ移動します。

- Mac OS X: [ドライブ]:Library:Application Support:Quark:QuarkXPress[パージョン]:CustomMappingTables
- Windows: [ドライブ]:ProgramData¥Quark¥QuarkXPress[バージョン]¥CustomMappingTables

このフォルダ内には、下記のマッピングテーブルファイルがあります。

- chinsimpmac.txt: Mac OS Xの中国語(簡体字) エンコードを使用するレガシー ファイルに使用します。
- chintradbig5.txt:中国語(繁体字)エンコードを使用するレガシーファイルに使用します。

- japanesemac.txt: Mac OS Xの日本語エンコードを使用するレガシーファイルに 使用します。
- japanesewin.txt: Windowsの日本語エンコードを使用するレガシーファイルに 使用します。
- koreanmac.txt: Mac OS Xの韓国語エンコードを使用するレガシーファイルに使用します。
- koreanwin.txt: Windowsの韓国語エンコードを使用するレガシーファイルに使用します。

インストールすると、これらのマッピングテーブルにカスタムマッピングの作成手順が 追加されますが、実際のマッピングは含まれません。特殊なマッピングを使用するには、 これらのファイルのいずれかを、特殊なエンコードのマッピングを含むファイルに置き 換える必要があります。これらのファイルは("CustomMappingTables"フォルダ以下 の)"LegacyMappingTables"フォルダ内にあります。

- 香港(広東)語: Hong Kong Big5文字をUnicodeにマッピングする"chintradbig5.txt"ファイルが含まれています。
- 韓国語: Mac OS XのハングルをUnicodeにマッピングする"koreanmac.txt"ファ イルが含まれています。
- 台湾(北京)語: Taiwan Big5文字をUnicodeにマッピングする"chintradbig5.txt"ファイルが含まれています。

たとえば、Hong Kong Big5エンコードを使用する8.0以前のプロジェクトがある場合、 LegacyMappingTables/Hong Kongフォルダから"CustomMappingTables"フォルダ へ"chintradbig5.txt"フォルダをコピーし、既存の"chintradbig5.txt"ファイルを置き換 えます (元の"chintradbig5.txt"ファイルのコピーを別の場所に保存することもできま す)。その後QuarkXPressを終了してから再起動し、プロジェクトを開きます。プロジェ クトを開くと、QuarkXPressで香港(広東)語固有のマッピングテーブルを使用してプ ロジェクトのBig5テキストがUnicodeに変換されます。

➡ マッピングテーブルを使用するのは、8.0以前のプロジェクトを開いた場合のみです。プ ロジェクトを最新バージョンのQuarkXPress形式で保存すると、テキストがUnicodeで 保存されるため、マッピングテーブルが不要になります。

## カスタム文字を使用するプロジェクトのマッピング

古いプロジェクトの文字が拡張コードの範囲を使用する場合、QuarkXPress 8.0以降で そのプロジェクトを開くと、これらの文字が正しく表示されない場合があります。この 問題を解決するには、カスタムのマッピングテーブルを使用して問題の文字とUnicode 文字のマッピング方法を変更します。マッピングテーブルはテキストファイルの一種で、 Unicodeへの特殊なエンコード方法を使用するテキストの変換方法をQuarkXPressに通 知します。各マッピングテーブルには、エンコード固有のコードポイントと対応する Unicodeコードポイントのリストが含まれています。

マッピングテーブルを作成するには、まず"CustomMappingTables"フォルダへ移動します。

• Mac OS X : [ドライブ]:Library:Application Support:Quark:QuarkXPress[バージョン]:CustomMappingTables

 Windows: [ドライブ]: ¥Documents and Settings¥ProgramData¥Quark¥QuarkXPress[バージョ ン]¥CustomMappingTables

このフォルダ内には、下記のマッピングテーブルファイルがあります。

- chinsimpmac.txt: MacOSXの中国語(簡体字)エンコードを使用するレガシー ファイルに使用します。
- chintradbig5.txt:中国語(繁体字)エンコードを使用するレガシーファイルに使用します。
- japanesemac.txt: Mac OS Xの日本語エンコードを使用するレガシーファイルに 使用します。
- japanesewin.txt: Windowsの日本語エンコードを使用するレガシーファイルに 使用します。
- koreanmac.txt: Mac OS Xの韓国語エンコードを使用するレガシーファイルに使用します。
- koreanwin.txt: Windowsの韓国語エンコードを使用するレガシーファイルに使用します。

インストールすると、これらのマッピングテーブルにカスタムマッピングの作成手順が 追加されますが、実際のマッピングは含まれません。カスタムマッピングを作成するに は、ターゲットプロジェクトで使用するエンコードに対応するファイルを開き、ファイ ルで必要なマッピングの作成手順に従います。その後QuarkXPressを終了してから再起 動し、プロジェクトを開きます。プロジェクトを開くと、QuarkXPressでカスタムのマッ ピングテーブルを使用してプロジェクトの文字がUnicodeに変換されます。

➡ マッピングテーブルを使用するのは、8.0以前のプロジェクトを開いた場合のみです。プ ロジェクトを最新バージョンのQuarkXPress形式で保存すると、テキストがUnicodeで 保存されるため、マッピングテーブルが不要になります。

## **TypeTricks**

Type Tricksは、いくつかの組版機能を追加するXTensionsソフトウェアです。追加され る組版機能は、分数の作成、通貨の作成、単語スペーストラッキング、ラインチェック、 およびカスタムアンダーラインです。

### 分数の作成

分数の作成コマンド(スタイル > 文字飾り)を使用すると、分数を自動的にフォーマットできます。このコマンドは、分数が選択された場合、またはカーソルが分数を構成する文字の隣(および同じ行)に置かれると、アクティブになります。フォーマットできる分数の例は、11/42、131/416、および11/4xなどです。

文字を分数に変換するには、文字を選択し、**スタイル > 文字飾り > 分数の作成**を選択し ます。

分数の文字は、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集 > 環境設定 > アプ リケーション>分数/通貨)の分数/通貨タブで指定したベースラインシフトおよびフォー マットを使用して変換されます。

## 通貨の作成

通貨の作成コマンド(スタイル > 文字飾り)を使用すると、通貨を自動的にフォーマットできます。このコマンドは、通貨としてフォーマットできるテキスト(\$1.49、 f20.00、およびa.bcなど)が選択されている場合、またはこれらの文字の隣(および同 じ行)にポインタがある場合に利用できます。通貨には、ピリオドまたはカンマで示さ れる基数(デシマルシンボル)を含める必要があります。基数の前後の文字は、文字ま たは数字である場合があります。

文字を通貨に変換するには、フォーマットする文字を選択し、スタイル > 文字飾り > 通 貨の作成を選択します。

通貨の作成を適用すると、QuarkXPressは、基数に続く文字に肩文字飾りを自動的に適用します。

変換された分数と通貨の表示形式は、環境設定ダイアログボックス(編集>環境設定> アプリケーション>分数/通貨)の分数/通貨タブで入力した値および選択内容によって 決定されます。

#### 単語スペーストラッキング

単語スペーストラッキング機能では、単語スペースにのみトラッキングを適用できます (トラッキング値は、通常文字間および単語間に適用されます)。この機能は、キーボー ドコマンドでのみアクセスできます。

## Mac OS X

・ラッキング値 Commandキー	
スペースを0.05emずつ増やします。	Commnad+Control+Shift≠-+]
スペースを0.005emずつ増やします。 Commnad+Control+Option+Shiftキー	
スペースを0.05emずつ減らします。 Commnad+Control+Shiftキー+[	
スペースを0.005emずつ減らします。 Commnad+Control+Option+Shiftキ-	

#### Windows

トラッキング値	Command+-
スペースを0.05emずつ増やします。	Control+Shift≠—+@
スペースを0.005emずつ増やします。	Control+Alt+Shift≠—+@
スペースを0.05emずつ減らします。	Control+Shift≠-+!
スペースを0.005emずつ減らします。	Control+Alt+Shift≠—+!

単語スペーストラッキングは、選択されたスペースの後に手動カーニングを適用することによって適用されます。単語スペーストラッキングを削除するには、テキストを選択してから補助>手動カーニングをクリア(Windows)またはスタイル>手動カーニングをクリア(Mac OS X)を選択します。

#### ラインチェック

ウィドウ、オーファン、両端揃えされた行、ハイフンで終了する行、およびテキストボックスのオーバーフローを検索するには、**ラインチェック**機能を使用します。**ラインチェッ** 

**ク(補助>ラインチェック)**は、不確かな行をハイライトしながら、ドキュメント全体 を移動します。

ラインチェックで検索する対象を指定するには、検索対象ダイアログボックス(補助> ラインチェック>検索対象)を表示し、検索対象とする望ましくない組版のカテゴリを チェックします。

- 不適ワードスペースは、両端揃えされた行で、その段落に適用されているハイフネーションおよび両端揃え仕様における最大の単語または文字間隔を超過する、単語または文字間隔を含むものです。
- 自動ハイフンの行の末尾には、自動ハイフネーション機能によりハイフンが配置されます。
- 手動ハイフンの行の末尾には、ユーザーがハイフンを入力します。
- ウィドウは段落の最後の行で、メジャー全体の幅より短く、次のコラムまたはページの先頭に回されるものです。
- オーファンは、コラムまたはページの末尾に置かれる段落の最初の行です。
- テキストボックスのオーバーフローは、テキストボックス内にテキストを表示できないときに発生します。この状態を示すため、テキストボックスの右下隅にオーバーフロー記号が表示されます。

Search Criteria	×
Loose Justification	11
Auto Hyphenated	5
Manual Hyphenated	1
Widow	0
✓ Orphan	1
Text Box Overflow	0
Count OK	Cancel

ドキュメント全体を検索するには、テキストの任意の場所にポインタを置き、補助>ラ インチェック>第1行を選択します。ポインタの位置からドキュメントの最後まで検索す るには、検索を開始する位置にポインタを置き、補助>ラインチェック>次行を選択す るか、Commandキー+;/Ctrlキー+;を押します。検索を続けるには、Commandキー +;/Ctrlキー+;を押します。

## カスタムアンダーライン

カスタムアンダーライン機能を使用すると、アンダーラインのカラー、シェード、幅、 およびオフセットをカスタマイズできます。カスタムアンダーラインは、文字飾りアン ダーラインとほとんど同様に動作しますが、アンダーラインの属性をさらに制御しなが ら、カスタマイズできます。

カスタムアンダーラインのスタイルは、スタイルシートとほとんど同様に機能します。 アンダーラインスタイルを作成、編集、または削除するには、**編集 > アンダーラインス タイル**を選択します。カスタムアンダーラインスタイルを適用するには、**Windows**で はスタイル > アンダーラインスタイルサブメニューから、Mac OS Xではスタイル > 文 字飾り > アンダーラインスタイルサブメニューから、それぞれ名前を選択します。

カスタムアンダーラインを適用するには、適用対象のテキストを選択し、Windowsで はスタイル > アンダーラインスタイル > カスタムを、Mac OS Xではスタイル > 文字飾 り > アンダーラインスタイル > カスタムを選択します。アンダーラインの属性ダイアロ グボックスでは、アンダーラインのカラー、シェード、幅、およびオフセットを指定で きます。

カスタムアンダーラインを削除するには、テキストを選択してから、 Windowsではス タイル > 文字飾り > カスタムアンダーラインをクリア、 Mac OS Xではスタイル > 文 字飾り > アンダーラインスタイル > カスタムアンダーラインをクリアを選択します。

### ハイパーリンク

ほとんどのHTMLツールでは、ハイパーリンクを作成するのに、テキストの一部または 画像を選択してから、フィールドにURLを入力します。QuarkXPressでは、若干違う方 法を使用します。

	$\times$	
▼ ハイパーリンク	P	
94 J /		
表示: 🚱 🕹 📋 名前	$\sim$	
検索	٩	
ハイバーリンク解除		

**ハイパーリンク**パレット

## リンク先

**リンク先**は、特定URLの「コンテナ」です。QuarkXPressプロジェクトにカラーとスタ イルシートのリストを含めることができるのと同じように、リンク先のリストを含める ことができます。各リンク先には、下記のタイプのURLの1つが含まれます。

- URL: ウェブ上の特定リソースを指し示します。
- •ページ:同じレイアウトの特定ページを指し示します。
- アンカー: レイアウトのページにある特定部分を指し示します。
- ➡ ユーザーインターフェイスはURL、ページ、およびアンカーで異なりますが、書き出されるHTMLファイルに含まれる実際のリンクは常にURLです。

カラーおよびスタイルシートと同じように、各リンク先には名前があります。リンク先には好きな名前を付けられます。たとえば、URL http://www.quark.comのリンク先に「Quark Webサイト」という名前を付けることができます。

**カラー**パレットでプロジェクトのカラーのリストを表示できるのと同じように、**ハイパー リンク**パレットでプロジェクトのリンク先のリストを表示できます。**カラー**パレットで カラーを適用できるのと同じように、**ハイパーリンク**パレットでハイパーリンクをクリッ クして、選択したテキストやアイテムのリンク先を「適用」できます。

**ハイパーリンク**ダイアログボックス(**編集**メニュー)で、リンク先のリストを編集でき ます。カラーと同様に、プロジェクトのリンク先リストに、実際にはプロジェクトで使 用されないリンク先を含められます。

QuarkXPressでは、何かをクリックしてからURLを入力する方法でハイパーリンクを作 成することもできます。ただし、この場合、リンク先を作成していること、リンク先がプロジェクトのリンク先のリストに追加され、ハイパーリンクパレットにリストされること に注意してください。

#### アンカー

**アンカー**は、レイアウトに含まれるオブジェクトに付加されているマーカーです。アン カーを付加できる対象を以下に挙げます。

- ラスターやテキストボックス、またはパス上のテキストにある語、文字、または文 字列
- 画像ボックス
- イメージマップの特定領域
- テーブルの特定セル
- 空のボックス
- ・ライン

QuarkXPressでは、アンカーインジケータは 🍄 や 🔍 のように表示されます。

#### リンク先の作成

リンク先には、ハイパーリンクが示すURLが入っています。リンク先を作成するには、 下記の手順に従ってください。

- 1 ウィンドウ>ハイパーリンクを選択します。ハイパーリンクパレットが表示されます。
  - URLを手動で指定するには、URLを選択してから、URLフィールドにURLを入力するか、または選択ボタンを使用して特定のファイルへのパスを作成します(書き出されるHTMLページでもそのパスが有効であることを忘れずに確認してください)。URLフィールドの横のドロップダウンメニューを使用して、4つの共通プロトコルから選択することができます。
  - 同じレイアウトで別のページにリンクするには、種類フィールドでページを選択してから、ページドロップダウンメニューでページを選択します。
  - 同じレイアウトで特定のアンカーにリンクするには、種類フィールドでアンカーを 選択してから、アンカードロップダウンメニューでアンカーを選択します。

**2** OKをクリックします。(複数のリンク先を追加する場合は、Shiftを押しながらOKをクリックすると、新規ハイパーリンクダイアログボックスが開いたままになります)。

新規ハ	イパーリンク X
名前:	<u> </u>
種類:	URL ~
URL:	✓ 参照…
	OK キャンセル

新規ハイパーリンクダイアログボックスを使用して、リンク先を作成します。

## アンカーの作成

アンカーとは、レイアウト内の特定の場所へのポインタのことです。アンカーの作成に ついては、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィンドウ>ハイパーリンクを選択します。ハイパーリンクパレットが表示されます。
  - ハイパーリンクパレットで、新規アンカーボタンをクリックします。
  - スタイル > アンカー > 新規を選択します。
  - ハイパーリンクパレットメニューを表示して、新規アンカーを選択します。
  - 選択したテキストのコンテキストメニューを表示するか、アンカー>新規を選択します。
- 2 アンカー名フィールドにアンカーの名前を入力するか、ドロップダウンメニューから未 使用のアンカー名を選択します。
- **3 OK**をクリックします。

新規アンカ	_	×
アンカー	アンカー1	~
	ОК	キャンセル

**新規アンカー**ダイアログボックスを使用して、新規アンカーの設定を行います。

■ "空"のアンカーを作成するには、すべてを選択解除して、ハイパーリンクパレットの新規 アンカーボタンをクリックします。自分がアクセス権を持たない、またはまだ作成してないレイアウト内のアンカーを参照するハイパーリンクを作成する場合には、この方法を使用します。
# 既存のリンク先を使用したハイパーリンクの作成

ハイパーリンクとは、特定のリンク先をポイントするテキスト文字列、ボックス、また はラインのことです。既存のリンク先を使用してハイパーリンクを作成するには、ハイ パーリンクとして使用するテキストや画像の範囲を選択して、下記の操作を行ってくだ さい。

- **ハイパーリンク**パレットにあるリンク先をクリックします。
- スタイル > ハイパーリンク > [リンク先] を選択します。
- 選択したテキストやアイテムのコンテキストメニューを表示して、ハイパーリンク
   [リンク先]を選択します。

#### ハイパーリンクの新規作成

ハイパーリンクとは、特定のリンク先をポイントするテキスト文字列、ボックス、また はラインのことです。ハイパーリンクとリンク先を同時に作成するには、下記の手順に 従ってください。

- 1 ハイパーリンクとして使用するテキストまたはアイテムの範囲を選択します。
  - ハイパーリンクパレットで新規ハイパーリンクボタンをクリックします。
  - スタイル > ハイパーリンク > 新規をクリックします。
  - 選択したテキストまたはボックスでコンテキストメニューを表示させ、ハイパーリンクを選択します。
  - URLを手動で指定するには、URLを選択してから、URLフィールドにURLを入力するか、または選択ボタンを使用して特定のファイルへのパスを作成します(書き出されるHTMLページでもそのパスが有効であることを忘れずに確認してください)。 URLフィールドの横のドロップダウンメニューを使用して、4つの共通プロトコルから選択することができます。
  - 同じレイアウトで別のページにリンクするには、ページを選択し、ページドロップ ダウンメニューからページを選択します。
  - 同じレイアウトで特定のアンカーにリンクするには、アンカーを選択し、アンカー ドロップダウンメニューからアンカーを選択します。
- 2 **OK**をクリックします。

# ハイパーリンクパレットでのリンクの表示

**ハイパーリンク**パレットにある表示ボタンおよびドロップダウンメニューにより、パレットのスクロールリストに表示する内容を制御できます。

- リンク先を表示するには、**リンク先を表示**ボタンをクリックします。
- アンカーを表示するには、アンカーを表示ボタンをクリックします。
- このレイアウトのページへのリンクを表示するには、ページへのリンクを表示ボタンをクリックします。
- 名前でリスト内のアイテムを表示するには名前を、URLでリスト内のアイテムを表示するにはリンクを、それぞれ選択します。

# ハイパーリンクのフォーマット

デフォルトでは、ハイパーリンクテキストは下線が引かれ、環境設定ダイアログボック ス(印刷レイアウトまたはデジタルレイアウト>一般)で定義されているデフォルトカ ラーに従って色付けされています。個々のハイパーリンクのデフォルトアピアランスを 上書きするには、ハイパーリンクの特定の単語を選択して、目的のフォーマット(カ ラー、サイズ、フォント)を適用します。

ハイパーリンクテキストが含まれる段落の書式を変更すると、デフォルトのカラーと下 線付きテキストの書式はそのままで、ハイパーリンクに段落のフォントとフォントサイ ズが適用されます。

#### リンク先の編集と削除

リンク先の名前やURLを編集するには、**ハイパーリンク**パレットでリンク先を選択して 編集ボタン をクリックします。リンク先を使用するこのレイアウト上の全ハイパーリ ンクに、すべての変更が適用されます。

リンク先を削除するには、**ハイパーリンク**パレットでリンク先を選択し**削除**ボタン を クリックします。このリンク先に対するすべてのハイパーリンクがレイアウトから削除 されます。

他の方法では、**ハイパーリンク**ダイアログボックス(**編集**メニュー)を使用して、リン ク先の編集と削除を行えます。

#### アンカーの編集と削除

アンカーの名前を編集するには、**ハイパーリンク**パレットでアンカーを選択して**編集**ボ タン *タ*ン *を*クリックします。アンカーの名前とアンカー自体を編集できます。アンカーに 名前がない場合、**ハイパーリンク**パレットにアンカーのみが表示されます。

アンカーを削除するには、**ハイパーリンク**パレットでアンカーを選択して**削除**ボタン をクリックします。このアンカーへのすべてのハイパーリンクがレイアウトから削除さ れます。

他の方法では、**ハイパーリンク**ダイアログボックス(**編集**メニュー)を使用して、アン カーの編集と削除を行えます。

#### ハイパーリンクの編集と削除

ハイパーリンクのリンク先を編集するには、レイアウトでハイパーリンクを選択し**ハイ** パーリンクパレットで編集ボタンをクリックして、URLフィールドに新しい値を入力す るか、URLフィールドの隣にあるドロップダウンメニューからオプションを選択します。

ハイパーリンクのリンク先を削除するには、レイアウトでハイパーリンクを選択し**ハイ** パーリンクパレットでハイパーリンク解除をクリックするか、スタイル > ハイパーリン ク > 削除を選択します。

# ハイパーリンクパレットの使用へのナビゲーション

**ハイパーリンク**パレットでハイパーリンクを作成するだけでなく、**ハイパーリンク**パレットを使用して、アクティブQuarkXPressレイアウトのハイパーリンクやアンカーにアクセスできます。**ハイパーリンク**パレットの使用をナビゲーションするには:

- URLである保存先を表示するには、ハイパーリンクパレットでその保存先をダブル クリックします。URLが指定したウェブブラウザに渡されます。
- アクティブレイアウトのアンカーにアクセスするには、ハイパーリンクパレットに あるアンカーの名前をダブルクリックします。

画像

画像編集アプリケーションや他のグラフィックアプリケーションから、画像をQuarkXPress に取り込めます。画像をボックスに取り込むと、位置の変更、サイズの変更、傾斜、ま たはフリップなど、その画像に対して多くの操作を実行できます。

## 画像の使用

QuarkXPressには、画像で使用するための多様なツールが用意されています。

#### 画像の取り込み

画像を取り込むには、下記のいずれかを実行します。

- ファイル > 取り込みを選択します。
- **画像コンテンツ**ツール を選択した後、画像ボックスを指定し、ファイル > 取り 込みを選択します。
- **画像コンテンツ**ツール を選択した後、画像ボックスを指定し、クリップボード から画像をペーストします。
- 画像ファイルをファイルシステムから画像ボックス上にドラッグします。
- 画像ファイルをファイルシステムからページ上にドラッグします。
- 画像を別のアプリケーションから画像ボックス上にドラッグします。
- Command/Ctrlキーを押しながら、画像ファイルをファイルシステムからテキストボックス、コンテンツなしボックス、空の画像ボックス、または画像が入っているボックスにドラッグします。
- Command/Ctrlキーを押しながら、画像を別のアプリケーションからテキストボックス、コンテンツなしボックス、空の画像ボックス、または画像が入っているボックスにドラッグします。

すでにテキストまたは画像が入っているボックスにコンテンツをドラッグすると、ドラッ グされたコンテンツ用に、QuarkXPressが新しいボックスを作成します。新しいボック スを作成せずにボックスのコンテンツを置き換えるには、ボックスにコンテンツをドラッ グしながらCommand/Ctrlキーを押します。ドラッグされたコンテンツに対して常に 新しいボックスを作成するには、ドラッグしながらOption/Altキーを押します。 画像を取り込むとき、イメージはフルサイズで取り込まれ、ボックス内の境界ボックス

の左上角が起点(左上角)になります。**画像コンテンツ**ツールを選択すると、画像の イメージ全体がボックス境界を越えて表示されます。

画像がボックス内に収まるようにするには、画像を取り込んだ後にサイズ変更または位 置変更を行う必要があります。

#### 画像の移動

ボックス内で画像を移動するには、下記のいずれかの方法を使用してください。

- 画像コンテンツッール
- メジャーパレット
- (Windowsのみ) 設定ダイアログボックス (アイテム > 設定)

選択した**画像コンテンツ**ツールにより、ボックス内での位置に関係なく、イメージの 任意の部分をクリックできます。また、矢印キーを使用してボックス内の画像を少しず つ動かすこともできます。

**アイテム**ツール を選択した状態でキーボードの矢印キーを使用すると、ボックス内 の画像ではなく ボックス自体が動きます。画像の移動の詳細については、「アイテムの 移動」を参照してください。

# 画像のサイズ変更

画像を拡大/縮小するには、下記のいずれかの方法を使用してください。

- 画像コンテンツッール
- メジャーパレット
- スタイルメニュー
- (Windowsのみ) アイテムメニュー (アイテム > 設定)

画像をボックスに取り込んだ後は、コンテキストメニュー(または**スタイル**メニュー) から**ボックスを画像に合わせる**または**画像をボックスに合わせる(縦横比を保持)**を選 択できます。**画像コンテンツ**ツールによって画像のサイズを変更しながらShiftキー

を押すと、縦横比を維持したままで画像のサイズが変更されます。

# 画像の切り抜き

画像の一部分のみが必要な場合は、ボックスのサイズを調整して手動で切り抜くことが できます。

#### 画像の回転と傾斜

画像を回転させるとボックス内での画像の角度が変わり、画像を傾斜させると画像が傾いて表示されます。

画像を回転させるには、画像コンテンツツール を選択し、画像の角ハンドルの1つに マウスのポインタを置きます。選択した角に応じた回転ポインタ↓ が表示されます。ポ インタをドラッグして画像を回転させます。また、画像の回転角度を、 Windowsの設 定ダイアログボックス(アイテム > 設定 > 画像)、またはメジャーパレット(ホーム/ クラシックタブ)の画像の角度フィールドに入力することもできます。

画像を傾斜させるには、 Windowsの設定ダイアログボックス(アイテム>設定)、またはメジャーパレット(ホーム/クラシックタブ)の画像の傾斜フィールドに値を入力します。

#### 画像へのカラーおよびシェードの適用

シャドウ、白黒の中間調、およびグレイスケールの画像に、カラーとシェードの値を適 用できます。これには、カラーパレット(ウィンドウ>カラー)、設定ダイアログボッ クス (Windowsのみ) (アイテムメニュー) (スタイル>画像)、メジャーパレッ ト、またはスタイルメニューを使用します。画像バックグラウンドおよびボックスバッ クグラウンドにもカラーを適用できます。

- 白黒またはグレイスケールの画像にカラーを適用するには、画像カラーアイコン
   を選択して、カラー名をクリックします。
- 白黒またはグレイスケールの画像のバックグラウンドにカラーを適用するには、画像バックグラウンドカラーアイコン■を選択して、カラー名をクリックします。

#### 画像のフリップ

画像ボックスのコンテンツは、スタイルメニュー(スタイル > 水平フリップまたはスタ イル > 垂直フリップ)またはメジャーパレットのホーム/クラシックタブ(水平フリッ プアイコン◆または垂直フリップアイコン◆をクリック)を使用して、左から右または上 から下へフリップできます。

#### 画像の一覧表示、状況確認、および更新

使用状況機能(補助メニュー)では、取り込んだ画像すべてをトラッキングできます。 この機能を使用するには、補助 > 使用状況を選択し、画像をクリックして画像ペインを 表示します。

表示ボタンを使用すると、選択した画像がレイアウト上に表示されます。

更新ボタンを使用すると、移動されている画像および変更された画像を更新できます。 確認のための警告を出さずに変更された画像を更新するには、Option/Altキーを押しな がら**更新**ボタンをクリックします。

#### 画像バックグラウンドカラーの指定

画像で選択できるデザインオプションを増やすため、ボックスのカラー、画像カラー、 および画像バックグラウンドカラーを変更できます。詳細は、「*画像へのカラーおよび シェードの適用*」を参照してください。

- グレイピクセルの場合は、画像カラーと画像バックグラウンドカラーが混合されます。
- 画像カラーまたは画像バックグラウンドカラーにさまざまな不透明度を指定する場合は、カラーがお互いに、およびボックスカラーと相互作用します。

グレイスケールおよび1ビット画像のみ:以前のバージョンのQuarkXPressからプロジェ クトを開く場合は、ボックスカラーが画像バックグラウンドカラーにマッピングされるた め、画像の外観は同じになります。

#### 画像属性の保持

画像を画像ボックスに取り込む場合は、その画像ボックスに画像が入っているかどうか に関係なく、すべての画像属性を保持できます。たとえば、テンプレートの空の画像ボッ クスで、画像を50%に縮小して90度回転させるように指定されている場合は、新しい画 像を取り込んでそれらの属性を自動的に適用することができます。

画像を取り込み、そのボックスおよび/または既存の画像に指定されている属性を保持 するには、**取り込み**ダイアログボックス(**ファイル**メニュー)で**画像属性を保持**をオン にします。

# クリッピングパスの使用

クリッピングパスとは、画像のどの部分を表示し、どの部分を透明として扱うかを示す、 閉じたベジエ形状です。クリッピングパスは、元の画像ファイルのバックグラウンドか ら画像の標題を分離するときなどに、特に役立ちます。

クリッピングパスは、QuarkXPressまたはQuarkCopyDeskで新規作成したり、埋め込 みパスまたはアルファチャンネル情報を使用して作成したりできます。QuarkXPressま たはQuarkCopyDeskで作成されたクリッピングパスは、画像ファイルに基づき、レイ アウトとともに保存されます。



クリッピングパスを使用すれば、画像のどの部分を表示し、非表示にするか、制御できます。

# クリッピングパスの作成

クリッピングパスの作成または割り当てを行うには、Windowsではアイテム > クリッ ピング を選択し、種類ドロップダウンメニューからオプションを選択します。Mac OS Xでは、メジャーパレットのクリッピング タブを使用します。

イメージをボックス境界に合わせて切り抜くには、アイテムを選択します。アイテムを選択するだけではクリッピングパスは作成されません。ボックスの形に合わせて画像が切り抜かれるだけです。

- 既に画像ファイルに埋め込まれているパスに沿って画像をクリップするには、埋め込みパスを選択します。画像ファイルに複数のパスが埋め込まれている場合は、パスドロップダウンメニューから目的のパスを選択します。
- ・既に画像ファイルに埋め込まれているアルファチャンネルに沿って画像をクリップ するには、アルファチャンネルを選択します。画像ファイルに複数のアルファチャ ンネルが埋め込まれている場合は、アルファドロップダウンメニューから目的のア ルファチャンネルを選択します。アルファチャンネルに沿ってクリッピングパスを 使用すると、ブレンドされた効果ではなくハードエッジが作成される点に注意して ください。半透明のブレンドが必要な場合は、アルファマスクを使用してください (「アルファマスクの使用」を参照してください)。
- ・ 画像の主体に基づいてクリッピングパスを作成するには、白以外の領域を選択します。クリッピングパスは、イメージと限界フィールドの値に応じて、全体に白または白に近いイメージ内で、白以外の形状部分のアウトラインを描きます(またはその逆)。白以外の領域オプションは、イメージの不要な部分が画像の主体よりも明るい場合(または暗い場合)に使用すると効果的です。
- 取り込んだ画像ファイルの、矩形の「キャンバス領域」に沿って画像をクリップするには、画像境界を選択します。これには、元の画像ファイルで保存されている白のバックグラウンドも含まれます。上、左、下、および右の各フィールドに値を入力して、画像境界からのクリッピングパスの距離を決定します。正の値は距離を増やし、負の値は距離を減らします。

設定	×
ボックス 画像 フレーム 回り込み	クリッピング ドロップシャドウ
プレビュ	種類(): 画像境界 🗸 🗸
	上辺(I): 0 pt
	左辺(L): 0 pt
at the	下辺(B): 0 pt
	右辺(R): 0 pt
再スキャン(S) [《] ックス切り抜き(C	
情報: アルフアチャン 0 ネル: 0 埋め込みパス: 4 ポイント:	<ul> <li>□ 反転①</li> <li>□ 外形のみ(Q)</li> <li>□ ボックスに制限(X)</li> </ul>
	OK キャンセル 適用(A)

## 設定ダイアログボックスの**クリッピング**タブ

プレビュー領域の緑のパスはクリッピングパスを表し、青のアウトラインは画像ボックス を表します。

# 埋め込みクリッピングパスの使用

画像編集アプリケーションを使用すれば、イメージにパスおよびアルファチャンネルを 埋め込むことができます。これらの情報を格納している画像がQuarkXPressに取り込ま れると、Windowsでは 設定ダイアログボックスのクリッピングタブ、 Mac OS Xで は メジャーパレットの クリッピング タブを使用して、パスとチャンネルの情報にアク セスできます。

TIFFとPSDには、パスおよびアルファチャンネルを埋め込むことができます。EPS、 BMP、JPEG、PICTファイルには、パスのみを埋め込むことができます。

# クリッピングパスの操作

クリッピングパスの適用後、アイテム>編集>クリッピングパスを選択して、クリッピ ングパスの編集を有効にします。次に、ポイント選択ツール、ポイント追加ツール 、ポイント削除ツール、およびポイント変換ツール、のいずれかを選択し ます。詳細は、「ツール」を参照してください。

**メジャー**パレットのコントロールを使用してクリッピングパスを操作することもできま す。ポイントの種類を変更するには、下記の3つのボタンのいずれかを使用します。

- ・シンメトリカルポイント : シンメトリカルポイントは、2本の曲線を接続して1 本の連続した曲線を構成します。できあがる曲線はスムーズポイントに似ています が、各曲線ハンドルは常にポイントを通る直線上にあり、かつポイントから等距離 にあります。
- スムーズポイント

   スムーズポイントは、2本の曲線を接続して1本の連続した 曲線を構成します。各曲線ハンドルは常にポイントを通る直線上にありますが、ポ イントからの距離が同じである必要はありません。
- ・コーナーポイント → : コーナーポイントは2本の直線、1本の直線と1本の曲線、 または2本の不連続な曲線を接続します。2本の曲線の場合、コーナーポイントの各 曲線ハンドルを個々に操作して、2つのセグメント間に鋭角的な変化を持たせること ができます。

ラインセグメントの特性を変更するには、下記のボタンのいずれかを使用します。

- 直線セグメント : アクティブなセグメントを直線にします。
- 曲線セグメント 🥂 : アクティブなセグメントを曲線にします。
- ポイントおよびセグメントの種類は、アイテム>ポイント/セグメントの種類サブメ ニューを使用して変更することもできます。

# クリッピングパスを使用した特殊効果の作成

**クリッピング**タブの各種オプションを使用して、クリッピングパスを反転させたり、外 形のみを使用して画像をクリップするかどうか、または画像をボックスの内側に配置す るかどうかを指定したりできます。可視領域の透明化および透明領域の可視化、パス内 での穴の使用、画像ボックスの形に合わせた画像の切り抜き、またはクリッピングパス のボックス境界からはみ出た部分の削除などの特殊効果を作成できます。

# アルファマスクの使用

クリッピングパスはスムーズエッジを生成し、これは主に前面イメージをバックグラウ ンドイメージと分離するために使用されます。これに対してアルファマスクは透明度情 報を含み、新しいバックグラウンドに前面イメージを微妙にブレンドできます。 QuarkXPressでアルファマスクを使用するには、まずAdobe Photoshopなどの画像編 集アプリケーションでアルファマスクを作成する必要があります。それから、作成した アルファマスクをQuarkXPressで使用します。



# フレーム上のアルファマスクを使用して、バックグラウンドのテキストを表示できます。

QuarkXPressでアルファマスクを使用するには、アルファチャンネルをサポートする形 式で画像とともに保存する必要があります。

選択した画像にアルファマスクを適用するには、メジャーパレットのマスクドロップダ ウンメニューからアルファチャンネルを選択します。Windowsでは、アイテムメニュー から設定ダイアログボックスを開き、画像タブのチャンネルドロップダウンメニューで アルファマスクを適用することもできます。

デフォルトでは、このドロップダウンメニューはコンポジットに設定されており、この状態ではイメージ全体の透明度が保持されます。

# PSD画像の使用

Adobe Photoshopの変更されていないネイティブの画像ファイルを、PSD Import XTensionsソフトウェアを使用して、QuarkXPressに直接取り込むことができます。いっ たんファイルが取り込まれると、Photoshop(PSD)ファイルで保存されたレイヤー、 チャンネル、およびパスを操作できるようになります。このようにPhotoshopと QuarkXPressを統合することで、ワークフローが効率的になり、変更をスキップできま す。また、ネイティブファイルを操作できるのでハードディスクのスペースを節約でき、 レイヤー、チャンネル、パスへアクセスできるため、創造面での可能性が広がります。

PSD Import XTensionsソフトウェアが実行されていると、ファイル > 取り込みを使用 して、選択したQuarkXPress画像ボックスにPSDファイルを取り込むことができます。

イメージのレイヤー、チャンネル、パスを使用するには、**ウィンドウ > 高度なイメージ** 制御を選択します。 高度なイメージ制御パレットを使用すれば、レイヤーをブレンドしたり、カラーチャンネルを使用したり、パスを選択したりできます。

# PSDファイルの準備

高度なイメージ制御で使用する画像をPhotoshopで準備する場合は、下記の点を念頭に 置く必要があります。

- イメージを別のファイル形式で保存する必要はありません。したがって、レイヤー を平滑化する必要もありません。
- テキストを周囲に回り込ませる輪郭のアルファチャンネルまたはクリッピングパス を作成します。
- 別のスポットカラーまたは光沢を適用する領域のチャンネルを作成します。
- 高度なイメージ制御では、レイヤー効果を使用する画像を含む、特定画像のレイヤー 情報を読み込めません。代わりにコンポジット画像が使用されます。
- 高度なイメージ制御では、グレースケール、RGB、CMYK、索引、Duotone、マルチ チャンネルの各モードのPSDファイルがサポートされます。

#### PSDレイヤーの使用

レイヤーを使用していろいろと試すことで、レイアウト全体のコンテキストの中でさま ざまなイメージを確認できます。さらに、レイヤーの不透明度を変更したり、ディゾル ブ、明、差分などのさまざまなブレンドモードを試したりして、デザインの残りの部分 にこれらの効果がどのように影響するかを確認できます。

PSD画像内のレイヤーの不透明度を表示、非表示、ブレンド、変更するには、**高度なイ メージ制御**パレットの**レイヤー**ペインを使用します。**高度なイメージ制御**パレットでは、 画像ファイルがどのように作成されたかの情報が表示されますが、画像ファイルに基本 的な変更を加えることはできません。

- レイヤーペインを使用しても、レイヤーを作成、命名、コピー、複製、整列、位置の変更、削除、または結合できません。
- PSDファイルにレイヤーがない場合、高度なイメージ制御パレットにはバックグラウンドレイヤーだけが表示されます。

QuarkXPressでPSDファイルを使用するには、PSD Import XTensionsをロードしてお く必要があります。

# PSDレイヤーのブレンド

レイヤーペインのブレンドモードドロップダウンメニューでは、選択されているレイヤー のピクセルが、そのレイヤーのすべての下位レイヤーのピクセルとどのように対話する かを制御します。ブレンドモードは、画像編集アプリケーションのものとほぼ同じで、 乗算、覆い焼きカラー、除外、および彩度などのオプションを使用できます。

#### Photoshopレイヤーの表示および非表示

表示のレイヤーは画面に表示し、印刷できます。非表示のレイヤーは画面に表示されず、 印刷されません。高度なイメージ制御を使用して、バックグラウンドレイヤーを含む任 意のレイヤーを非表示にできます。

- レイヤーを表示するには、そのレイヤーの左にある空のボックスアイコンをクリックします。
- すべてのレイヤーを表示するには、Option+Shift/Alt+Shiftキーを押しながら、空のボックスアイコンをクリックします。
- レイヤーを非表示にするには、目アイコン[®]をクリックします。
- 1レイヤーを除いたすべてのレイヤーを非表示にするには、Option/Altキーを押し ながら目アイコン[®]をクリックします。

レイヤーのブレンドと不透明度を変更して得られた結果が望ましくない場合、**高度なイ** メージ制御パレットメニューのレイヤー復帰または全レイヤー復帰オプションを使用し て、取り込んだPSDファイルの元の状態にレイヤーを戻すことができます。

# PSDレイヤーの不透明度の変更

**レイヤー**ペインのフィールドを使用して、選択したレイヤーでのピクセルの透明度を制 御できます。透明度は、0%(完全に透明)から100%(完全に不透明)までの範囲で指 定できます。

#### レイヤーマスクの使用

PSDファイルにレイヤーマスクが保存されている場合、**高度なイメージ制御**パレットの レイヤーペインで、Shiftキーを押しながらレイヤーマスクのサムネールプレビューをク リックすると、マスクを有効/無効にできます。

# PSDチャンネルの使用

Photoshopチャンネルは、画像に関するカラー情報を保存しています。デフォルトでは、 グレイスケールおよびインデックスカラーイメージには1つのチャンネル、RGBイメージ には3つのチャンネル、CMYKイメージには4つのチャンネルがあります。これらのチャ ンネルは、まとめてデフォルトチャンネルと呼ばれます。 You can use the **Channels** pane of the **Advanced Image Control** palette to show and hide all channels, to change the color and ink solidity of a selected spot-color channel or alpha channel, and to assign spot colors to selected indexed colors.たとえば、チャンネ ルに光沢、エンボス、打ち抜きなどの特殊効果を割り当てることができます。

# チャンネルの表示および非表示

取り込んだPSDファイル中の表示のチャンネルは画面上に表示して印刷できます。非表 示のチャンネルは画面上には表示されず、印刷できません。チャンネルの表示と非表示 の切り替え処理は、レイヤーの場合と同様です。 コンポジットチャンネルをクリックすると、CMYKやRGBなどのデフォルトチャンネル がすべて表示されます。

#### チャンネルのカラーおよび不透明度の変更

高度なイメージ制御を使用して、Photoshopで作成したスポットカラー、マスク、また はアルファチャンネルのカラー、シェードおよび不透明度を変更できます。コンポジッ トイメージをオーバープリントするチャンネルにスポットカラーを割り当てたり、チャ ンネルの画面表示およびカラーコンポジットの印刷時の不透明度を指定したりできます

Photoshopでマスクチャンネルとして指定されるチャンネルは、スポットカラーとして 指定されるチャンネルとは別に取り込まれます。Photoshopでは、マスクチャンネルと スポットチャンネルには不透明度の設定値が割り当てられます。PSD Importでは不透明 度がサポートされているので、マスクチャンネルの不透明度は0%として取り込まれま す。取り込んだPSDのマスクチャンネルを表示するには、**高度なイメージ制御**パレット の**チャンネル**タブでマスクチャンネルを手動で有効にする必要があります。一方、スポッ トカラーチャンネルはPSDファイルに保存されている不透明度値を保持し、デフォルト でQuarkXPressのカラーにマップされます。

**チャンネルオプション**ダイアログボックスを使用して、スポットカラーまたはアルファ チャンネルのピクセルのカラー、シェード、または不透明度を変更します。**チャンネル** オプションダイアログボックスを表示するには、高度なイメージ制御パレット(ウィン ドウメニュー)のチャンネルペインで、チャンネルをダブルクリックします。

#### インデックスカラーチャンネルの使用

デフォルトでは、QuarkXPressでPSD Importを使用して色分解を印刷する場合、イン デックスカラーイメージのカラーはCMYKに分解されます。デフォルト設定を上書きす るには、**編集>カラー**でスポットカラーまたはMulti-Inkカラーを作成し、画像で選択し たインデックスカラーに適用します。高度なイメージ制御では、インデックスカラーイ メージのカラーからスポットカラーを作成することもできます。変更しないインデック スカラーは、引き続きCMYKに分解されます。

# PSDパスの使用

PSD Importを使用して、クリッピングおよび回り込みを指定するための埋め込みパスを 選択することもできます。**高度なイメージ制御**パレットの**パス**ペインから、QuarkXPress のクリッピングパス機能およびテキスト回り込み機能に簡単にアクセスできます。

**パス**ペインを使用すれば、さまざまなクリッピングパスを選択して、テキスト回り込み の輪郭に使用できます。テキスト回り込みの輪郭を選択するには、最初の列で空のボッ クスをクリックします。**テキスト回り込み**アイコンが表示され、テキストがクリッピン グパスの輪郭に回り込みます。

テキストを回り込ませるには、画像ボックスがテキストの前面に配置されている必要があります。テキストが回りこんでいない場合は、画像ボックスを選択し、アイテム > ひとつ前へまたはアイテム > 前面へ出すを選択します。

また、パスペインを使用し、Photoshopで作成したクリッピングパスを選択して、イメージの表示を制御することもできます。クリッピングパスを選択するには、2番目の列で空のボックスをクリックします。クリッピングパスアイコンが表示され、選択したクリッピングパス内の画像領域も表示されます。

PSD Importでパスに加えた変更は、元に戻すことができます。パスは、取り込まれた PSDファイルで作成されたときの、元の状態に戻ります。元の状態に戻すには、高度な イメージ制御パレットまたはコンテキストメニューから、パス復帰または全パス復帰を 選択します。

# PSD Importによる印刷

高度なイメージ制御を使用してレイアウトを印刷する場合は、印刷する各PSD画像内で、 レイヤー、チャンネル、およびパスを指定できます。 高度なイメージ制御パレットの目 のアイコン[®]は表示と印刷の両方を制御するため、画像は表示されたとおりに印刷されま す。

-

# クロス参照

ドキュメント内のクロス参照は、そのドキュメント内で別の場所に存在する関連資料を 指し示すテキストです。クロス参照をハイパーリンクとして挿入し、そのドキュメント をPDFとして書き出した場合、読者がそのクロス参照をクリックすると、ドキュメント内 で指定された場所へのリンクをたどることができます。

クロス参照は、脚注、文末脚注、および番号付きアイテムへのみリンクできます。脚注 および文末脚注へのクロス参照を使用する場合、それぞれの参照ポイントについて別々 の脚注や文末脚注を作成する必要はなく、同じ脚注や文末脚注へ複数の参照を設定でき ます。

# クロス参照の挿入

クロス参照を挿入するには、下記の手順に従ってください。

- 1 クロス参照を挿入する場所に挿入ポイントを置きます。
- 2 スタイル>クロス参照>クロス参照の挿入を選択します。クロス参照ダイアログボック スが表示されます。

相互参照		×
参照タイプ(T):	脚注	
対象の 脚注:		C
1 1 Edge Allan Poe, Evening S	tar	~
		$\sim$
参照先の挿入(R):	脚注番号 ~	
	□上/下を含める(N)	
	数値の区切り記号:	
	挿入 🗧	ャンセル

# クロス参照

- 3 参照タイプドロップダウンメニューで、挿入するクロス参照のタイプとして脚注、文末 脚注、または段落番号付きアイテムを選択します。
- 4 書き出されるPDFドキュメントにハイパーリンクとしてクロス参照を挿入するには、ハ イパーリンクとして挿入ボックスをチェックします。
- 5 クロス参照のタイプを選択すると、リンクに利用可能な参照のリストが表示されます。 リンク先の参照を選択します。
- 6 参照の挿入先ドロップダウンメニューからオプションを選択します。このドロップダウ ンメニューに表示されるオプションは、選択したクロス参照のタイプによって異なりま す。ここで選択した項目により、クロス参照リンクのテキストが決定されます。

参照先の挿入(R):	脚注番号	~
	脚注番号 脚注番号(フオーマット付き) ページ番号 脚注チキスト	

脚注参照タイプの参照の挿入先オプション

脚注番号(フォーマットあり/なしの状態で)、脚注が存在するページ番号、または脚 注自体のテキストの表示を選択できます。

^{参照先の挿入(R):}	段落番号	~
	段落番号 段落番号(コンテキストなし) 段落番号(フルコンテキスト) ページ番号 段落チキスト	

#### **段落番号付きアイテム参照タイプの参照の挿入先**オプション

段落番号付きアイテムの段落番号(コンテキスト付き/なし)、段落番号付きアイテム が存在するページ番号、またはアイテム自体のテキストの表示を選択できます。

参照先の挿入(R):	文末脚注番号	~
	文末脚注番号 文末脚注番号(フォーマット… ページ番号 文末脚注テキスト	

#### **文末脚注参照タイプ**の参照の挿入先オプション

文末脚注番号(フォーマットあり/なしの状態で)、文末脚注が存在するページ番号、 または文末脚注自体のテキストの表示を選択できます。

- 7 上/下を含めるボックスをチェックすると、クロス参照で参照されるアイテムが、レイ アウトでクロス参照の上/下のどちらに配置されるかが指定されます。
- 8 番号の区切りオプションは、段落番号付きアイテムにクロス参照を挿入するときのみ使 用できます。段落番号付きアイテムは階層構造になる場合があり、このオプションを使 用すると、選択した記号で段落番号を区切ることができます(3.2.1や3*2*1など)。
- アウトラインスタイルに接尾辞を指定している場合、それがデフォルトになります。アウトラインスタイルの接尾辞文字がクロス参照に適用され、番号の区切りフィールドに入力した文字は無視されます。

9 挿入をクリックします。

クロス参照がドキュメントに挿入されます。

➡ ショートカットキー(WindowsではCtrl/Alt/Shift+F12、Mac OS XではCmd/ Opt/Shift+F12)を使用して、クロス参照の親へ移動できます。クロス参照のテキスト 内にカーソルを置くか、クロス参照テキストの一部を選択してから、ショートカットキー を押します。

# クロス参照の同期

クロス参照の参照先コンテンツが変更されても、クロス参照を同期するまでは反映され ません。選択したクロス参照、またはドキュメントに含まれているすべてのクロス参照 を同期できます。

クロス参照を同期するには、下記の手順に従ってください。

- 1 1つのクロス参照を同期するには、そのクロス参照にカーソルを置きます。
- 2 スタイル>クロス参照>クロス参照の同期を選択すると、選択したクロス参照が同期され、スタイル>クロス参照>すべてのクロス参照の同期を選択すると、現在のドキュメントに含まれているすべてのクロス参照が同期されます。

参照先のコンテンツに加えられたすべての変更が、クロス参照に反映されます。

# カラー、不透明度、およびドロップ シャドウ

QuarkXPressでは、カスタムカラーの作成、いくつかの標準化カラーマッチングシステムからの色の選択、およびカラーの編集を行えます。テキストと画像にカラーとシェードの両方を適用できます。テキストの不透明度もテキストのカラーと同じ方法で制御できます。アイテムとテキストの両方にドロップシャドウを適用できます。

#### カラーの使用

一部のカラーは、自動的にカラーパレットに組み込まれます。他のカラーを使用するには、カラーダイアログボックスを使用してカラーを作成するか、既存のカラーを編集する必要があります。このダイアログボックスでは、カラーホイールや数値フィールド、カラーマッチングシステムを使用してカラーを作成できます。また、色の選択ツールを使用してプロジェクトにカラーを追加することもできます。

#### カラーパレット

**カラー**パレット(**ウィンドウ > カラー**)を使用して、プロジェクト用のカラーを追加、 作成、編集、複製、および管理できます。このパレットでは、オーバープリントやノッ クアウトの設定も制御できます。

	$\times$
+ / 🔲 🔺 🔲	Ē
シェード: 100% ∨ 🖬 100%	~
🔕 互 着 オーバープリント]	
検索	Q,
□ イエロ~	× ×
■シアン	
■ブラック	
■ マゼンタ	
■ <i>レジストレーション</i>	
	~
*	12
	- T

カラーパレットにより、カラーを作成、編集、削除できます。

# カラーダイアログボックス

**カラー**ダイアログボックス(**編集 > カラー**)を使用して、カラーを作成、編集、複製、 削除、および追加できます。

カラーの対象 プロジェクト1 >				
表示(W): 😭	1 <b>7</b> ~	~		
☐ 4 ± ₽ ~				
■シアン				
■マゼンタ				
■ <i>レジストレ</i> □ 白	マション			
4年八辺もこと		م ، <u>۵۷، م ، ۵۷، م</u>	TRAC	
4巴分離みファニシアン:0%; マセンタ:0%; イエロー: 入 100%; ブラック:0%				
			× .	
新規 <mark>(ℕ)</mark>	編集(E)	複製(U)	削除 <mark>(</mark> D)	
追加(A)		保存 <b>(</b> S)	キャンセル	

カラーダイアログボックスにより、カラー定義を作成、編集、削除できます。

# カラーの作成

カラーの作成時、いくつかのカラーモデル、または多数あるカラーマッチングシステム から選択できます。頻繁に使用するカラーがある場合、ファイルが開いていないときに、 アプリケーションのデフォルトカラーリストのカラーを作成できます。最大で1,000まで のデフォルトカラー、またはアーティクル固有のカラーを作成できます。カラーを作成 するには、**編集 > カラー**を選択して**カラー**ダイアログボックスを表示し、**新規**をクリッ クして**カラーの編集**ダイアログボックスを表示します。その後、**名前**フィールドに名前 を入力して新しいカラーのカラーモデルを指定します。**カラー**パレットの**新規**ボタンを クリックしてカラーを作成することもできます。

- RGB: この加法混色法カラーシステムは、スライドレコーダーやカラービデオモニ ターで最も多用され、デジタル出力にも適しています。赤、緑、および青の光を混 ぜ合わせ、ビデオ画面に色を表示します。
- HSB: このカラーモデルは色を混ぜ合わせる方法と似ているため、デザイナーに多く使用されます。色相はカラーピグメントを、彩度はカラーピグメントの量を、明度はカラーの黒の量を表します。
- LAB: このカラースペースは、モニターやプリンタの製造業者による解釈の違いに 依存しないように設計されています。LABカラースペースとも呼ばれるLABカラー モデルは、カラーを表現するための標準3次元モデルです。輝度座標(L)、および 2つのクロミナンス座標(緑色-赤色のA)、および(青色-黄色のB)でカラーを指定 します。
- Multi-Ink: このカラーモデルは、既存のプロセスやスポットインキの色調のパーセントを基にしています。
- CMYK: CMYKは、印刷機上でシアン、マゼンタ、黄色、および黒色インキを組み 合わせてカラーを再生成するために、プロフェッショナルプリンタで使用される減 法混色法カラーモデルです。
- カラーマッチングシステムからカラーを選択して、カラーリストに追加するには、
   モデルドロップダウンメニューから標準カラーマッチングシステムの1つを選択します。

#### マルチカラーブレンドの作成

ブレンドとは、あるカラーから別のカラーに変化していく状態です。**カラーブレンド**パ レット(**ウィンドウ > カラーブレンド**)を使用してマルチカラーブレンドを作成し、ブ レンドカラー、それぞれのシェード、不透明度、ブレンドのパターン、およびボックス に対するブレンドの相対角度を指定できます。ブレンドには、プロジェクトで使用でき るなら、どのカラーでも含めることができます。

マルチカラーブレンドを作成するには、下記の手順に従ってください。

1 カラーブレンドパレット(ウィンドウ>カラーブレンド)を開きます。

			X
▼ カ	ラーブレン	· P	P
種類:	なし		~
10		三完全な放射状	
4			
		_	
	50% ~		
5	50% ~		

- 2 レイアウト上で、ブレンドを適用するボックスを1つまたは複数選択します。選択したす べてのアイテムにブレンドが適用されます。
- 3 種類ドロップダウンメニューで、作成するカラーブレンドの種類として軸方向、同一方 向、方形、ダイアモンドのいずれかを選択します。
- ブレンドの種類を選択すると、ボックスについて選択したバックグラウンドカラーと黒色との 2色を使用して、デフォルトのブレンドが自動的に作成されます。ブレンドを選択すると、選択 内容について適切なオプションとコントロールも有効/無効になります。



ブレンドの種類はいつでも変更できます。**軸方向と同一方向**種類の間で切り替えを行った場合、定義済みのカラーとオプションはすべて保持されますが、**軸方向**または**同一方**向から**方形**やダイアモンドへ切り替えると、ブレンドの最初と最後のカラーのみ保持されます。

- 4 以下のオプションとコントロールを使用して、ブレンドを定義します。
  - **× 角度**: ブレンドの角度を定義します。
  - 逆順 题 アイコンをクリックすると、カラーブレンドが反転されます。
  - グラデーションスライダを使用して、ブレンド表示のプレビューを確認できます。 カラーストップアイコン(△)は、それぞれの2カラーブレンドの開始点と終了点に 配置されます。カラーストップをクリックしてドラッグすると、位置を変更できま す。または任意のカラーストップを選択してから、下のオプションを使用してカ ラー、シェード(■)、不透明度(△)、位置(△)を数値で定義することもでき ます。
     アイコンは、2つのカラーストップの中間点に配置されます。中間点アイ コンをクリックしてドラッグすると、位置を変更できます。または、アイコンを選 択してから数値を指定して位置を変更することもできます。

➡ 中間点アイコンの位置は、13%から87%の範囲内に保つ必要があります。この制限 範囲外にはドラッグできず、範囲外の値を入力することもできません。

カラーを追加するには、**グラデーションスライダ**を使用し、2つのカラーストップの 間のどこかをクリックして新しいカラーストップを追加します。新しいカラーストッ プを挿入できる場所へカーソルを移動すると、カーソルの横にプラス記号(下)が 表示されます。その状態で、新しいカラーストップのカラー、シェード、不透明度、 位置を定義できます。

- ➡ カラーを定義するときは、そのプロジェクトで使用可能な任意のカラーを選択でき、 ここで新しいカラーを作成することもできます。カラーストップを追加し、同時に 新しいカラーを定義するには、カラーストップを追加するときにShift+クリックし ます。カラーストップをダブルクリックすると、カラーの編集パレットが表示され、 既存のカラーを編集できます。
- ➡ カラーストップを削除するには、クリックして下へドラッグします。

方形およびダイアモンドのカラーブレンドを作成するときはカラーを追加できません。これらのブレンドは2つのカラーに制限されています。2つのカラーストップの カラー、シェード、不透明度は変更できますが、それぞれのカラーストップの位置や中間点は変更できません。

- 中央のカラーを広げてブレンドを柔らかくするには、完全同一方向をチェックします。このオプションは、同一方向のブレンドでのみ使用できます。
- ・ 

   縦横比:縦横比は、同一方向ブレンドの形状を定義し、制御するために使用されます。作成したそれぞれの同一方向ブレンドについて、デフォルトの縦横比は、選択したボックスの形状により異なります。選択したボックスのサイズや形状を変更すると、縦横比も自動的に調整されます。このオプションは、同一方向のブレンドでのみ使用できます。
- 5 次のオプションは、□ アイコンの下のドロップダウンメニューにあります。
  - カラーブレンドのコピー:このオプションを使用して、選択したボックスに適用されているカラーブレンドをコピーします。
  - カラーストップのコピー: このオプションを使用して、選択したボックスに適用されているブレンドに定義されているカラーストップのみをコピーします。その後で、これらのカラーストップ定義を他のブレンドに適用できます。
  - ブレンドのペースト:このオプションを使用して、コピーしたカラーブレンドを、 選択したボックスへペーストします。
  - カラーストップのペースト:このオプションを使用して、コピーしたカラーストップを、選択したボックスに存在するブレンドへペーストします。
  - ブレンドのオーバープリント:このオプションを使用して、ノックアウトを防止するためのオーバープリントオプションを設定します。

作成した混合ブレンドカラーは、そのカラーが適用されているボックスが選択されたとき、**カラー**パレットに **混合カラー**というバックグラウンドカラーとして表示されます。 ブレンドに含まれているすべてのカラーのシェードと不透明度は、**カラー**パレットを使 用して一度に変更できます。

# カラーの編集

既存のカラーを編集するには、**編集 > カラー**を選択して**カラー**リストで編集するカラー を選択し、**編集**をクリックして**カラーの編集**ダイアログボックスを表示します。**カラー** リストで編集するカラーをダブルクリックしても、**カラーの編集**ダイアログボックスを 表示できます。



**カラーの編集**ダイアログボックス

#### カラーの複製

既存カラーを複製するには、編集>カラーを選択してカラーリストから複製するカラー を選択し、複製をクリックして複製するカラーの編集ダイアログボックスを表示します。

#### 色の削除

デフォルトカラーの一部は削除できませんが、作成した新しいカラーや複製カラーは削除できます。カラーリストからカラーを削除するには、**編集 > カラー**を選択し、**カラー** リストから削除するカラーを選択して、**削除**をクリックします。

#### 色の選択ツールを使用してカラーを追加する

**カラー**パレットにある色の選択ツールを使用して、プロジェクトに含まれているアイテ ムや画像からネイティブのカラーを抽出し、利用可能なカラーのリストに追加できます。

ツールで抽出される値は、カラーの抽出対象であるアイテム/画像によって異なります。

- ラスターのみの画像すべてと、QuarkXPressのオブジェクト/アイテムでは、画像 からソースカラーの値が抽出されます。
- 取り込まれたベクトル画像では、画面のRGB値が抽出されます。
- ベクトルとラスターの組み合わせ(たとえば、一部のPDF画像)で、ユーザーがベクトルオブジェクトをクリックすると、警告が表示され、選択された画像にはベクトルグラフィックが含まれているためツールではRGB値が抽出されることを、ユーザーへ通知します。



 同様なベクトルとラスターの組み合わせで、ユーザーが下にラスターのあるベクト ルオブジェクトをクリックすると、警告が表示され、選択された画像にはベクトル グラフィックが含まれていることが通知され、Shift+クリックを使用して下のラス ター画像からソース値を抽出するよう勧告されます。



複数のカラーを抽出してから、どのカラーを保存するか、破棄するかを決定できます。

追加されたこれらのカラーはプロジェクトで利用可能になり、テキスト、ライン、ボッ クスに使用でき、カスタムのカラーブレンドの作成にも使用できます。

色の選択ツールを使用してプロジェクトにカラーを追加するには、下記の手順に従って ください。

1 **カラー**パレットを開きます。

	$\times$
+ / 🔲 🔺 🔲	Ē
シェード: 100% 🗸 🔛 100%	~
🔕 互 着 オーバープリント]	
検索	Q,
	<b>X</b> ^
シアン	<b>–</b>
	<u> </u>
■レジストレ <b>ア</b> ション	
	· ·
A	85.
	- T

- 2 きの選択ツールをクリックします。
- 3 プロジェクト内で、追加するネイティブカラーをクリックします。そのカラーが、**カラー** パレットの下端に表示されます。



4 個別のカラーを追加するには、カラーをダブルクリックします。個別のカラーを削除するには、Altキーを押しながらカラーをクリックします。



➡ デフォルトのカラー名は、カラーモデルの値とともに追加されます。RGBは255までの 値、CMYKはパーセンテージ単位です。

0				\$
▼ カラー				
+ 🖉				Ĩ
100%		• 🔯	100%	\$
0 📕 📕	[ノックアウト]			
Q. 検索				
C=22.35 M=1	9.22 Y=67.45 K=5	88		<b>X</b>
R=93 G=92 B	=84			
☐ 1ID-				
📃 シアン				
📄 ブラック				
- マゼンタ				
レジストレーシ	ョン			
*				
				+

- ⁵ Alt/Option+Shiftキーを押したまま ^{**} アイコンをクリックすると、色の選択ツール で選択されているすべての色を同時に追加できます。
- 別アーティクルやプロジェクトからのカラーの取り込み

別アーティクルやプロジェクトのカラーを追加するには、**カラー**ダイアログボックス(**編 集 > カラー**)または**追加**コマンド(**ファイル > 追加**)を使用します。

カラーの一括変換

あるカラーが適用されたすべてのアイテムを別のカラーに一括変換するには、カラーを 目的のカラーに編集するか、**編集 > カラー**を選択して**カラー**ダイアログボックスを表示 し、編集するカラーの名前を選択して**編集**をクリックし、変更を加えます。

- ➡ あるカラーが適用されたすべてのアイテムとテキストを別のカラーに一括変換する場合は、実行前に必ず作業を保存してください。こうすることで、不適切なカラーに変換されてしまった場合に、ファイル>復帰を選択するだけで不適切な変更を取り消すことができ、他の作業が影響を受けることもありません。
- カラーとシェードの適用

ボックス、フレーム、および画像にカラーとシェードを適用するには、下記の3つの方法 があります。

- (Windowsのみ) アイテム>設定メニューを選択して設定ダイアログボックスを 開き、ボックスおよびフレームタブを使用します。
- カラーパレット(ウィンドウ>カラー)を使用します。
- **メジャー**パレットを使用します。

白黒ビットマップやグレースケールフォーマットの画像を含む画像ボックスがアクティ ブになっている状態で、スタイル>カラーにあるカラーコマンドを選択すれば、これら の画像の暗い領域にカラーを適用できます。

# カラーおよびシェードをテキストに適用

カラーおよびシェードをテキストに適用するには、下記の5つの方法があります。

- カラーおよびシェードは、スタイル>カラーおよびスタイル>シェードコマンドを 使用して適用できます。
- **カラー**パレット(**ウィンドウ > カラー**)を使用します。
- スタイル>文字スタイルシートにある文字スタイルシートコマンドを使用すれば、
   作成した文字スタイルシートを使用している選択済みテキストに、カラーおよびコマンドを適用できます。
- (Windowsのみ) スタイル>文字メニューで表示される文字属性ダイアログボッ クスを使用できます。
- メジャーパレットを使用します。

#### ラインへのカラーとシェードの適用

ラインにカラーとシェードを適用するには、下記の4つの方法があります。

- (Windowsのみ) 設定ダイアログボックス(アイテム>設定)のラインタブのコ ントロールを使用します。
- カラーパレット(ウィンドウ>カラー)を使用します。
- カラー、シェード、およびラインギャップ設定を適用するには、スタイル>カラー およびスタイル>シェードコマンドを使用します。
- **メジャー**パレットを使用します。

#### 不透明度の使用

不透明度はカラーレベルで適用されるため、ブレンドの第1および第2カラーを含め、カ ラーを適用可能な対象すべてに対して不透明度を指定できます。これは、同じアイテム の異なる属性で不透明度を有効にできることを意味し、たとえば、テキストボックスフ レーム、バックグラウンド、画像、およびテキストのそれぞれの文字に、異なる不透明 度を適用することができます。

# 不透明度の指定

不透明度の指定は、カラーのシェードの指定と同様に、簡単に行えます。実際に、カラー パレット、メジャーパレット、スタイルメニュー、設定ダイアログボックスの各種タグ など、カラーを選択可能な場所ではどこでも、不透明度の値を0%(完全に透明)から 100%(完全に不透明)までの間で、0.1%単位で入力できます。

画像の不透明度を指定するには、下記の操作を行ってください。

• (Windowsのみ) 画像タブ (アイテム>設定) の不透明度フィールドに値を入力 します。 • (Mac OS Xのみ) メジャーパレットの画像ボックスタブの不透明度フィールドに 値を入力します。

# グループの不透明度の指定

不透明度が異なるアイテムをスタックすると、カラーが混ざり合い、意図しないオーバー プリントが起きることがあります。たとえば、不透明度100%のシアンのボックスの前 面に不透明度30%のイエローのボックスを配置すると、前面のボックスはわずかに緑が かってしまいます。

アイテムをグループ化し、個々のアイテムの不透明度ではなく、グループの不透明度を 指定すれば、色の重なりを制御できます。このためには、 Windowsではアイテムメ ニューから設定ダイアログボックスを開き、グループタブのグループ不透明度フィール ドを使用します。 Mac OS Xでは、メジャーパレットのホームタブを使用します。目的 の効果によっては、個々のアイテムの不透明度フィールドを100%に戻す必要がある場 合もあります(戻さない場合、グループの不透明度に各アイテムの不透明度が加算され ます)。



ここに示すグループ化された3つのアイテムで、アイテムの不透明度とグループの不透明 度を比較してみます。左の例では、各アイテムが50%の透明度で、前面のアイテムは後 面にあるアイテムと混ざり合っています。右の例では、各アイテムの不透明度は100% ですが、グループの不透明度は50%に設定されています。そのため、グループ全体はバッ クグラウンドと混ざり合っています。ただし、グループのアイテムには、グループの不 透明度だけでなく、アイテムごとの不透明度も設定できます。

#### 透明度のあるブレンドの作成

白色ではなく、**なし**で色をブレンドできます。**カラー**パレットで、ブレンドの1番目また は2番目のカラーに**なし**を選択します。**Windows**では、**設定**ダイアログボックス(**アイ テム**メニュー)のボックスタブも使用できます。

# カラーマネージメント

QuarkXPressは、ユーザー入力がほとんど不要なICCベースのカラーマネージメントツー ルを通じて、狙いどおりのカラーを生成するという課題に対応します。カラーに精通し ているユーザーなら、QuarkXPRessでカラーマネージメントのさまざまな側面を自在に 制御できます。カラーマネージメントの実装を合理化するだけでなく、多様な機器での 出力をシミュレートできるプレビューを使用して、真のソフトプルーフを実行できます。

# ソースセットアップおよび出力セットアップ

QuarkXPressでのカラーマネージメントの実装により、カラー担当者は、ソースセット アップおよび出力セットアップと呼ばれる、カラーマネージメント設定の「パッケージ」 を作成し、細かく調整できるようになりました。**ソースセットアップ**では、RGBやCMYK、 LAB、およびグレイスケールのカラースペースでのソリッドカラーや画像のプロファイ ルとレンダリング方法を個別に指定します。また、名前付きカラーのソースカラースペー スや、インキの基底カラースペースも指定します。**出力セットアップ**では、出力プロファ イルとカラーモデルを指定し、スクリーンでさまざまな出力をシミュレーションするた めのプルーフオプションを設定します。

# カラーマネージメントの紹介

作業を行うとき、実証済みのデフォルト設定を使用する、カラーの専門家が作成したソー スセットアップと出力セットアップを実装する、レガシーカラーマネージメント環境内 で作業するなど、さまざまな方法を使用できます。

#### デフォルトのカラーマネージメント環境での作業

デフォルト設定は、ほとんどの状況で正確なプレビューと美しい出力が得られるように 設計されています。設定を行う必要はありません。デフォルト設定を確認する場合は、 QuarkXPress/編集メニューを選択して環境設定ダイアログボックスを開き、ディスプ レイおよびカラーマネジャーの選択内容を調べてください。

#### モニタープロファイルの指定

ディスプレイペインには、使用しているモニタープロファイルが表示されます。デフォ ルト設定の自動は、 Mac OS Xまたは Windowsで認識されている現在のモニターを示 しています。モニタープロファイルドロップダウンメニューから、別のプロファイルを 選択できます。たとえば、モニター用のカスタムプロファイルがある場合や、ノートPC とデスクトップコンピュータで切り替えながら同じ表示環境をシミュレーションする場 合など、デフォルトのモニタープロファイルを変更できます。

#### ソースセットアップの指定

**カラーマネジャー**ペインの**ソースオプション**領域には、デフォルトのソースセットアッ プであるQuarkXPress 7.0デフォルトが表示され、最新で実証済みのカラーマネージメ ント環境を提供します。QuarkXPress 7.0以前のバージョンのカラーマネージメント環 境を使用する場合には、**ソースセットアップ**ドロップダウンメニューからQuarkXPress Emulate Legacyを選択します。

#### デフォルトのプルーフ出力セットアップの指定

印刷レイアウトでカラーを表示するためのデフォルトの出力セットアップを指定するに は、**出力のプルーフ**ドロップダウンリストからオプションを選択します。

#### レンダリング方法の指定

レンダリング方法ドロップダウンメニューには、1つのカラースペースから別のからス ペースにカラーを変換するときに使用する方法が表示されます。デフォルト設定の相対 的な色域を維持では、ソースとターゲットの両方の範囲内の色が維持されます。唯一変 更されるソースカラーは、ターゲットの範囲内に収まらないソースカラーです。たとえ ば、写真ではなく線画とPantoneカラーに重点が置かれている場合など、その作業の種 類によって、レンダリング方法ドロップダウンメニューから別のオプションを選択でき ます。

#### マルチカラースペースEPSおよびPDF画像のカラー管理

一部のEPSおよびPDFファイルに、異なるカラースペースを使用する要素を含めることができます。たとえば、PDFまたはEPSファイルに、RGBカラースペースを使用する画像と、CMYKカラースペースを使用するカラーが含まれていることがあります。指定した出力セットアップを使用してQuarkXPressでこれらの多様な要素を適切に管理するには、以降に取り込んだEPSやPDFの画像で、新規のベクトルEPS/PDFをカラー管理するをオンにします。

アクティブなプロジェクトで既に取り込まれているEPSおよびPDFファイルでベクトルコ ンテンツの色を管理するには、配置済みのベクトルEPS/PDFを含むチェックボックスを オンにします。

#### カラーエキスパートからのソースセットアップと出力セットアップの使用

カラーエキスパートが、ユーザーのワークフローに固有の、または個々のジョブまたは クライアントに固有のカスタムソースセットアップやカスタム出力セットアップを作成 する場合は、環境設定、表示オプション、出力設定、およびJob Jacketからそれらの設 定を簡単に使用できます。たとえば、出力サービスや印刷所は、自社の装置にとって適 切な出力になるようにするため、ユーザーに設定方法を指導する場合があります。

#### ソースセットアップの追加

作業対象のプロジェクト用にソースセットアップを作成すると、ソースセットアップを 他のプロジェクトに追加できます。ソースセットアップにナビゲートして選択するには、 ソースセットアップダイアログボックスにある追加ボタン(編集>カラーのセットアッ プ>ソース)を使用します。

#### 出力セットアップの取り込み

出力セットアップがユーザー向けに作成されている場合、出力セットアップダイアログ ボックス(編集>カラーのセットアップ>出力)で出力セットアップを取り込めます。 出力セットアップファイルをナビゲートして選択するには、取り込みボタンを使用しま す。

#### ソースセットアップおよび出力セットアップの選択

カスタムのソースセットアップおよび出力セットアップを使用するには、下記のように さまざまなカラーマネージメントメニューからその設定を選択します。

- カラーソース:カスタムソースセットアップを使用するには、QuarkXPress/編集 メニューの環境設定ダイアログボックスにあるカラーマネージメントペインのソー スセットアップドロップダウンメニューからそのレイアウトの設定を選択します。
- カラーディスプレイ:プルーフ用のカスタム出力セットアップを使用するには、表示メニューの出力のプルーフサブメニューから設定を選択します。
- カラー出力:印刷用および他の種類の出力用のカスタム出力セットアップを使用するには、ファイル>印刷の印刷ダイアログボックスのカラーペインにある設定ドロップダウンメニューから設定を選択します。

# ジョブジャケットでのソースおよび出力セットアップの使用

ジョブジャケットファイルからプロジェクトを作成する場合には、適切なソースセット アップと出力セットアップが自動的に取り込まれ、選択されます。この場合でも、追加 セットアップをインポート、追加、および作成し、それらの追加セットアップを選択し て表示および出力することができます。

# レガシーカラーマネージメント環境での作業

QuarkXPress 7.x、8.x、または9.xのプロジェクトを開くと、そのカラーは従来どおり に表示および出力されます。

また、QuarkXPressのバージョン7.x、8.x、または9.xのレガシーカラーマネージメント 環境での作業は継続できます。レガシーカラーマネージメント環境での作業を選択した 場合、QuarkXPressでのソフトプルーフ機能を利用できます。

QuarkXPress/編集メニュー > 環境設定のカラーマネジャー環境設定で、ソースセット アップをQuarkXPress 7.0デフォルト(またはカスタムオプション)に変更すれば、簡 単にQuarkXPress 7 メソッドにアップグレードできます。ソースセットアップはレイア ウト固有なので、複数レイアウトのプロジェクトを開く場合は、各レイアウトのソース セットアップを変更できます。次に、編集 > カラーのセットアップ > 出力で使用する出 力セットアップを確認し、以前のバージョンのプロファイルではなく、QuarkXPress 7.0 デフォルトプロファイルを指定します。

# 画面上でのカラーのプルーフ(ソフトプルーフ)

QuarkXPressには、出力範囲のソフトプルーフには十分な、正確なディスプレイシミュ レーションが用意されています。柔軟なシミュレーションオプションでは、ソース設定、 出力設定、および画像に適用された異なるプロファイルなど、他のカスタム設定を使用 して、同じレイアウトが異なるメディアに出力されたり、異なる印刷方式であったりし た場合にどのように表示されるかを示します。

ソフトプルーフを実行するには、表示メニューの出力のプルーフサブメニューからオプ ションを選択します。メニューでは、レイアウトで利用可能な出力設定がすべて一覧に なるので、カラーエキスパートからカスタム出力設定をインポートした場合、ここで一 緒に表示されます。オプションを選択すると、ウィンドウメニューのカラーパレットと、 QuarkXPress全体に渡って表示されるカラースウォッチとともに、レイアウト全体がそ のカラースペースで表示されます。

# カラー、不透明度、およびドロップシャドウ



表示メニューの出力のプルーフサブメニューには、各カラーがどのように出力されるの かを確認できるディスプレイシミュレーションオプションが用意されています。たとえ ば、スポットカラーをプロセスカラーに変換したり、RGBレイアウト全体をグレイスケー ルで出力したりする予定がある場合に、選択内容がどのように見えるのかをプレビュー できます。

# エキスパート向けカラーマネージメント

QuarkXPressは特別な設定をしなくても、ワークフロー全般に渡って高品位なカラーを 実現するようにに設計されています。カラー処理に詳しい上級ユーザーであれば、いつ でも特定のジョブや印刷機、出力工程に応じてカラーマネージメント設定をカスタマイ ズしたり、微調整したりできます。カラー理論や、プロファイルとレンダリング方法な どのカラーマネージメント用語に精通しているユーザーなら、特定のワークフローを反 映するカスタムソースセットアップや出力セットアップを作成できます。設定は移行で きるため、他のユーザーと設定を共有して、画面や印刷機によって色の違いが生じるの を防ぐことができます。

# ソースセットアップの作成

**ソースセットアップ**は、出力前のレイアウトのカラー(つまり、カラーの派生元)を示 します。ソースセットアップには、RGB、CMYK、LAB、およびグレースケールでのカ ラーと画像の両方のプロファイルとレンダリング方法が含まれます。また、名前付きカ ラー(Pantone Process Coatedカラー)やインキ(シアンやマゼンタ、黄色、黒色と 複数インキ)などの基底のカラースペースに関する情報も含まれます。クライアントの 標準ワークフローや特定のプロジェクトに応じてソースセットアップを作成できます。 ソースセットアップの作成を始めるには、デジタルカメラやスキャナのタイプなど、ク ライアントのワークフローに関わるハードウェアとソフトウェアの詳細を把握し、関連 プロファイルが利用可能であることを確認する必要があります。サンプルプロジェクト を見て、ロゴ、チャートやグラフ、写真、Duotone、SWOPへの出力など、どのような 種類の画像、カラー、インキ、機器などに対応したものかを確認することも役立ちます。

ソースセットアップを作成するには、**編集 > カラーのセットアップ > ソース**を選択しま す。

#### 出力セットアップの作成

出力セットアップでは、出力デバイスの各種機能と多様な出力シナリオでのカラーの処 理方法を指定します。出力セットアップは、言わば「カラーの出力先」です。出力セッ トアップは、コンポジットや分版出力、出力モード、出力プロファイルを指定します。 表示シミュレーション用(表示>出力のプルーフ)に1つ、そして印刷やPDF、その他 フォーマットでの実際の出力用に1つ、それぞれ出力セットアップを作成します。

ソースセットアップの場合と同様に、出力セットアップを作成するには、あらかじめ一 般的ジョブや出力方法、機材の詳細を知っておく必要があります。たとえば、コンポジッ ト印刷機の名前やプロファイルを調べておくと役立ちます。QuarkXPressには、以下の ような、多様なワークフローに対応するデフォルトの出力セットアップが用意されてい ます。

- グレイスケール
- グレースケール100K
- コンポジットRGB
- コンポジットCMYK
- コンポジットCMYKおよびスポット
- カラー変更なし
- In-RIP分版

出力セットアップを作成するには、編集>カラーのセットアップ>出力を選択します。

#### ソースおよび出力のセットアップの共有

ソース設定および出力設定は移動可能であるため、カラー担当者は簡単にその設定をユー ザーやワークグループに配信できます。ソースセットアップは他のプロジェクトから追 加でき、出力セットアップは個別ファイルとしてエクスポートして出力スタイルに保存 できます。ソースと出力、どちらの種類のセットアップも、ジョブジャケットに追加し て共有できます。ワークグループまたはクライアントにセットアップを配信する前に、 標準的なジョブでセットアップを必ずテストしてください。

- セットアップを共有、追加、エクスポートまたはインポートするには、編集>カラーのセットアップを選択し、対応する設定を変更します。
- ジョブジャケットに設定を組み入れ、ジョブジャケット構造またはジョブチケット に使用されるソースと出力の設定を指定するには、補助メニューのジョブジャケッ トマネジャーダイアログボックスで、下記の操作を行ってください。
- 1 (Windowsのみ) 詳細設定ボタンをクリックします。

- 2 左側に表示されるリストから、ソースまたは出力設定を含むプロジェクトを選択します。
- **3** ソースまたは出力設定を、目標のジョブジャケット構造、またはジョブチケットに ドラッグします。

また、特定の出力セットアップを含む出力スタイルも選択できます。

・印刷用および他の種類の出力用のカスタム出力セットアップを使用するには、編集
 >出カスタイル>新規/編集の出カスタイルダイアログボックスにあるカラーペインの設定ドロップダウンメニューからその出力設定を選択します。

#### 個々の画像のカラーマネージメントの微調整

画像ごとにプロファイルやレンダリング方法を指定する必要がある場合、QuakrXPress の以前のバージョンと同じ方法で指定できます。これは、QuarkXPressのデフォルト設 定や選択したソースセットアップより優先されます。たとえば、EPSロゴのレンダリング 方法を彩度に変更し、レイアウトの残りの画像(主に写真)は視覚的のままにしておく ことができます。

個々の画像のカラーマネージメントコントロールにアクセスするには、最初に環境設定 ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のカラーマネジャーにある画像プ ロファイルへのアクセスを可能にするをオンにして、機能を利用可能にします。画像の プロファイルの適用と変更を行うには、下記の操作を行ってください。

- ・ 画像の取り込み: 画像の取り込みダイアログボックス(ファイルメニュー)には、 選択した画像のプロファイルとレンダリング方法を指定できる、カラーマネージメ ントペインがあります。
- プロファイルの変更:プロファイル情報パレット(ウィンドウメニュー)には、選択した画像のタイプとカラースペースに関する情報が表示されます。このパレットを使用して、画像のプロファイル、レンダリング方法、および[デバイスのタイプ]の場合も管理する設定を簡単に変更できます。

#### プロファイルの管理

カラーマネージメントは、基本的にプロファイルで行われます。新しいワークフローを 導入したり、新しいデバイスを追加したり、出力のトラブルシューティングを行ったり する場合、新しいプロファイルをインストールし、使用可能にするプロファイルを制御 し、レイアウト全体での個々のプロファイルの使用方法を決定する必要があります。こ れらの作業は、プロファイルマネジャーおよびプロファイル使用状況機能を使用して実 行できます。

プロファイルマネジャーとプロファイル使用状況機能は、詳細カラーマネージメント機 能とされています。

#### プロファイルのインストール

製造業者から新規プロファイルを取得したとき、それらのプロファイルがシステムレベルに自動的にインストールされない場合は、プロファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダ内の"Required Components"フォルダにある"Profiles"フォルダにドラッグできます。

➡ 新しいプロファイルを使用するには、システムを再起動する必要があります。

次回にQuarkXPressを起動すると、該当するカラーマネージメントドロップダウンメ ニューでプロファイルが利用できます。プロファイルマネジャーダイアログボックス (**ユーティリティ**メニュー)を使用して、新規プロファイルフォルダも指定できます。

# プロファイルの読み込み

特定のワークフローに対して必要以上のプロファイルがある場合には、QuarkXPressで 使用可能なプロファイルを整備できます。プロファイルを整備するには、**補助**メニュー の**プロファイルマネジャー**ダイアログボックスを使用します。

#### プロファイルの使用状況の確認

他のユーザーのレイアウトを作業している場合には、**使用状況**ダイアログボックス(**ユ**-**ティリティ**メニュー)のプロファイルペインを調べれば、他のユーザーがどのようにカ ラーマネージメントを実装したかを簡単に確認できます。画像の使用状況およびフォン トの使用状況と同様に、プロファイルの使用状況では、プロファイルが利用できるレイ アウトでの位置、およびプロファイルがソース/出力セットアップで指定されているか どうか、または画像にプロファイルが適用されているかどうかを確認できます。画像に 適用されているプロファイルの場合、プロファイルを別のプロファイルに置換できます。

#### ドロップシャドウの使用

ドロップシャドウは、カラーに似たアイテムの属性で、**メジャー**パレットを使用して適 用します。**Windows**では、**アイテム**メニューから**設定**ダイアログボックスを開き、**ド ロップシャドウ**タブで適用することもできます。アイテムがどのようにフォーマットさ れているかに応じて、アイテムやフレーム、テキスト、画像などにドロップシャドウを 作成できます。



# QuarkXPressでは、自動ドロップシャドウを作成できます。

➡ ドロップシャドウを使用するには、DropShadow XTensionsソフトウェアをロードして おく必要があります。

#### ドロップシャドウの適用

ドロップシャドウを適用するには、アイテムを選択して**メジャー**パレットの**ドロップシャ** ドウタブにある**ドロップシャドウを適用**をオンにするか、 (Windowsのみ) 設定ダイ アログボックス (**アイテム**メニュー)を使用します。アイテムにバックグラウンドカラー が適用されている場合、ボックス、ライン、テキストパス、テーブルなどのアイテムの 形状にドロップシャドウを適用できます。ボックスバックグラウンドの不透明度が100% 未満の場合、テキストにドロップシャドウを適用できます。クリッピングパス、または アルファマスクが選択され、バックグラウンドがなしの場合、画像の輪郭にドロップシャ ドウを適用できます。グループに対し、グループに属す全アイテムの共通の形状を反映 するドロップシャドウを適用できます。

# ドロップシャドウのカスタマイズ

メジャーパレットのコントロール、または Windowsでは設定ダイアログボックス(ア イテムメニュー)のドロップシャドウタブにあるコントロールを使用して、アイテムか らの距離、元のアイテムとのサイズ比、オフセット、光源の角度、カラー、シェード、 不透明度、ぼかしなど、ドロップシャドウの表示方法をカスタマイズできます。レイア ウトにある別のドロップシャドウと角度を同期することで、レイアウト全体で重要な光 源を維持し、ドロップシャドウがさらに自然に見えるようにすることもできます。

# アイテムとのドロップシャドウの結合

ハンドルの不透明度およびテキストの回り込みを含めた、ドロップシャドウのアイテム との相互作用を追加オプションで制御します。これらのオプションは他のコントロール と同様に、設定ダイアログボックス(アイテムメニュー)のメジャーパレット、または Windows ではドロップシャドウタブにあります。

- バックグラウンドとフレームで不透明度が違うように、アイテムによって異なる不 透明度をドロップシャドウに適用するには、アイテムの不透明度を継承するを使用 します。
- シャドウがボックスから姿を出さないようにするなど、シャドウがアイテムの半透明領域に表示されないようにするには、アイテムがドロップシャドウに優先を使用します。
- テキスト回り込みの輪郭にドロップシャドウを含めるには、ドロップシャドウに回り込みを使用します。
- アイテムの不透明度を継承するとアイテムがドロップシャドウに優先とを組み合わせると、これらの設定の組み合わせに基づいて、ここに示すような各種の結果を得られます。



左端では、**アイテムの不透明度を継承する**と**アイテムがドロップシャドウに優先**はオフ になっています。左から2番目では**アイテムの不透明度を継承する**のみがオンになってい ます。右端では、両方のオプションがオンになっています。
## カスタムブリード

**ブリード**とは、完成したページのエッジまで印刷されているアイテムを指す用語です。 Custom Bleeds XTensionsソフトウェアは、ユーザーがアイテムのブリードをさらに制 御できるように、QuarkXPressにブリードの拡張機能を提供します。

QuarkXPressでブリードを作成するには、ページのエッジがペーストボードまではみ出るアイテムを作成し、ページのエッジ外のどこまでの領域を印刷するかを指定します。 ブリードには下記の3種類があります。

- 均等ブリードは、レイアウトページの各エッジからそれぞれ同じ距離だけはみ出します。
- 不均等ブリードは、ページの各エッジに異なるブリードの量を指定します。
- ページアイテムブリードは、ページのエッジからはみ出るすべてのアイテムをその まま印刷します。

**ブリード方形**は、ブリードがページの境界からはみ出る距離で、ユーザーが入力するブ リード値によって定義されます。たとえば、2パイカの均等ブリードを作成する場合、ブ リード方形は、そのページの各エッジから2パイカ以内を取り囲みます。カスタムブリー ド機能によってブリード方形が自動的に作成されますが、その領域内にアイテムを自動 的にはみ出さないことに注意することが重要です。ブリードを作成するには、レイアウ トページのエッジからはみ出るように、ユーザーがアイテムの位置を設定する必要があ ります。

フィルムにレイアウトを出力する前に、レイアウトをプレビューし、ブリードが期待どお りに出力されることを確認してください。ファイル>印刷>概要を選択します。右上の 画像ページアイコンには、レイアウトの最初のページの裁ち落とし領域が表示され、レイ アウトまたはブリードが印刷可能領域の外側にあるかどうかが示されます。レイアウトサ イズと印刷可能領域を比較するときに、レイアウトの大きさに裁ち落とし領域を必ず追加 します。

## カスタムブリードの使用

Custom Bleeds XTensionsソフトウェアを使用して、印刷するとき、EPSファイルとし てページを保存するとき、PDFファイルとしてレイアウトを書き出すとき、およびPPML フォーマットでレイアウトを書き出すときに、ブリードを作成できます。この手順は、 これらの出力オプションの手順に似ていますが、一部のブリードのオプションは、特定 の出力方法でのみ利用できます。

## カスタムブリード

- ・印刷:ブリードの種類ドロップダウンメニューは、印刷ダイアログボックスのブリードペインにあります。
- EPS:ブリードの種類ドロップダウンメニューは、EPSファイルでページ保存ダイアログボックスにあります。EPSファイルとしてページを保存するとき、ページアイテムおよびブリード限度でクリップオプションは使用できません。これは、これらのオプションによって、ページからはみ出すアイテムを含める境界ボックスが作成されるためです。このため、レイアウト内で、各ページに異なる境界ボックスが作成される可能性があり、出力が不正確になる場合があります。
- PDF: ブリードの種類ドロップダウンメニューは、PDFとして書き出しダイアログ ボックスにあります。

## ブリード限度でのクリップの使用

均等または不均等なブリードを作成するとき、**ブリード限度でクリップ**チェックボック スを使用して、クリップアイテムにブリード値を使用するかどうかを定義できます。

- ブリード限度でクリップをオンにすると、QuarkXPressは、少なくとも部分的にブリード方形内にあるすべてのレイアウトページアイテムおよびペーストボードアイテムを印刷し、クリップアイテムにブリード値を使用します。
- ブリード限度でクリップをオフにすると、QuarkXPressは、少なくとも部分的にブリード方形内にあるすべてのレイアウトページアイテムおよびペーストボードアイテムを印刷し、印刷デバイスの印刷可能領域の限度をはみ出さないかぎり、これらのアイテムをクリップしません。ブリード方形内にないペーストボードアイテムは印刷されません。
- ペーストボード上にアイテムを保存する場合は、均等または不均等なブリードを使用する ときに必ずブリード方形の外側にアイテムが配置されるようにします。これらのアイテム がブリード方形の内側にある場合、ペーストボードアイテムは最終的な出力に印刷されな い場合があります。

# DejaVu XTensionsソフトウェア (Windowsのみ)

DejaVu XTensionsソフトウェアは、ファイルメニューの下部またはファイル>開くサ ブメニューの階層メニューとして、最近開かれたプロジェクトのリストを追加します。 このリストによって、より迅速かつ簡単に、プロジェクトにアクセスできます。DejaVu を使用すると、テキストおよび画像を取得するためのデフォルトフォルダ、およびプロ ジェクトを開いて保存するためのデフォルトフォルダを指定することもできます。

ファイルリスト機能は、ファイルメニューの下部に、またはファイル>開くサブメニュー の階層メニューとして、最近開かれたプロジェクトのリストを追加します。最近編集お よび保存した3つから9つのファイルを表示するように選択できます。ファイルリスト設 定を変更するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の ファイルリストペインにあるコントロールを使用します。

デフォルトパス機能を使用して、**開く、取り込み、保存**、および**新規保存のファイル**メ ニューコマンドに使用するデフォルトフォルダを指定します。

デフォルトパス機能は、ユーザーがデフォルトパスを指定するまで機能しません。そのためには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のデフォルトパスペインを表示します。ファイルメニューコマンド用にデフォルトパスを指定すると、そのコマンドを実行するときは常にアプリケーションでそのパスが使用されます。

## ドキュメントの構築

レイヤー機能を使用すると、オブジェクトのグループを簡単に表示/非表示にでき、そ のグループを印刷しないようにすることもできます。リスト機能を使用すると、目次や 他のリストを作成できます。索引機能を使用すると、レイアウトの索引を自動的に生成 できます。ライブラリ機能を使用すると、頻繁に使用する要素を使いやすい位置に配置 できます。

#### 自動ページ番号設定の使用

自動ページ番号をすべてのページに挿入するには、下記の手順に従ってください。

- 1 ページ>表示メニューの表示サブメニューからマスターページ名を選択するか、ドキュ メントウィンドウの左下隅にあるアイコンをクリックして、マスターページを表示しま す。
- 2 ページ番号を表示する場所にテキストボックスを作成します。
- 3 Command+3/Ctrl+3を押します。現在のページ番号を表す文字<#>が入力されます。 このマスターページに基づくレイアウトページでは、現在のページ番号がこの場所に表 示されます。
- 4 現在のページ番号を表す文字<#>を選択し、文字属性を指定します。

## 自動テキストボックスの作成

自動テキストボックスでは、ページからページへのテキストのフローを自動的に行えま す。自動テキストボックスを作成するには、下記の手順に従います。

- 1 表示サブメニュー(ページ>表示)で名前を選択して、マスターページを表示します。
- 2 自動テキストボックスを表示する場所にテキストボックスを作成します。

- 4 ページの左上隅にある、自動テキストボックスアイコンであったクリックします。
- 5 手順2で作成したボックスをクリックします。

このマスターページに基づくすべてのページに自動テキストボックスが含まれます。こ のボックスに挿入されたテキストは、自動的にページからページにフローします。

#### マスターページの使用

マスターページは、各ページのテンプレートのようなものです。同じヘッダー、フッ ター、背景、ページ番号の配置などを複数のページで使用する場合、マスターページに これらの要素を作成すると、必要なレイアウトページにマスターページを適用するだけ で済みます。スプレッドの一方の側に異なる設定のページコンテンツを使用する場合で も、同じようにできます。1つのレイアウトに複数のマスターページを指定することもで きます。この結果、同じレイアウト内の異なる場所に自動的にフォーマットを適用でき ます。

以下のトピックで、マスターページについて詳しく説明します。

## マスターページの作成

マスターページについて最も効果的に説明できる方法は、実例を挙げることです。この 例では、自動テキストボックス、フッターの自動ページ番号、広い内側のマージンを配 置した、見開きのマスターページを作成します。このマスターページを作成するには、 下記の手順に従ってください。

- 1 自動テキストボックスを配置した、新しい見開きページのレイアウトを作成します。
- 2 ウィンドウ>ページレイアウトを選択します。ページレイアウトパレットが表示されます。



**ページレイアウト**パレット

既に、**A-マスターA**と言う名前の、デフォルトのマスターページがあります。パレット の下部にあるページアイコンに**A**と表示されていることから、このマスターページが先頭 のページに適用されていることがわかります。

3 空白シングルページ アイコンをパレット上部のマスターページ領域にドラッグすると、 シングルページのマスターページを作成できます。見開きページのドキュメントの場合 は、空白(見開き)ページ アイコンをマスターページ領域にドラッグすることで、見 開きのマスターページも作成できます。空白(見開き)ページ 金ドラッグします。B-マスターBと言う名前の、新しい見開きのマスターページがパレットに表示されます。



ページレイアウトパレットと新しいマスターページ

4 新しいマスターページを編集用に表示するには、B-マスターBのアイコンをダブルクリックします。メインウィンドウにマスターページが表示されます。このマスターページは見開きのマスターページなので、左側ページと右側ページの2つのページが含まれている

0 0	Project1 : Layout 1	
Layout 1 Dankada alian danka danka danka danka danka	Tri kana kani kana kani kana kani kana kani kana kana	ก่อนกับเป็นเป็นไปเป็นไป
ije	dja	

ことに注意してください。また、左上にリンク切れのアイコンもあります。

空白(見開き)のマスターページ

5 ページ番号を追加するには、以下のように、左下と右下に2つのボックスを作成します。 それぞれのボックスで、テキストコンテンツツール をクリックして、補助>文字を挿 入>特殊文字>現在のボックスのページ番号を選択します。この操作によって、文字が 挿入されます。この文字が、レイアウトページに現在のページ番号として表示されます。 文字のフォーマットや両端揃えは自由に設定できます(もちろん、ページ番号を配置す る場所も自由に指定できます)。

2	লোম	
<#>		<#>

見開きマスターページの両側のページ番号文字

6 テキストの表示範囲を指定するには、ガイドを作成して、以下のように2つのテキスト ボックスを作成します。

300		👸 Project		rout 1	e)
Cayout 1 Haradaaaalada	to of the land of the land	n mainta atri kantani ata kasia	ul a la la	การในรายประกะวัดประกะนับสระบะนำมีไปสระโตประกิณีการประกันที่สามารถเรื่องประกะนี้สามาร	
dia .			đb		1
	illi i				1
					ł
					1
					1
					ł
*			_	Kan.	
					ľ
1	Manufacture and a second s				

ガイドとテキストボックスを配置したマスターページ

7 今度は、テキストボックスを自動テキストチェーンと連結する必要があります。テキス
 ト連結ツールを選択して、左側ページの上部にあるリンク切れのアイコンを
 クリックしてから、左側ページのテキストボックスをクリックします。次に、ページの

ガイドを 2016 年 7 月 QUARKXPRESS を更新 ¦ 295

空白部分をクリックします。最後に、右側ページの上部にあるリンク切れのアイコン をクリックしてから、右側ページのテキストボックスをクリックします。これで、 2つのマスターページのテキストボックスが自動テキストチェーンと連結されました。

- 8 ページレイアウトパレットでマスターページの名前をダブルクリックして、名前を"B-マ スターB"から"B-本文スプレッド"に変更します。
- 9 ページ>表示>レイアウトを選択します。表示がレイアウトページに戻ります。
- **10 テキストコンテンツ**ツール**工**で、ページ1のテキストボックス内をクリックします。
- 11 新しいマスターページを使用する新規ページを2つ追加するには、ページ>挿入を選択します。ページの挿入ダイアログボックスが表示されます。

ページの挿入	
挿入: 1 ページ	
<ul> <li>指定ページの前:</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>レイアウトの末尾</li> </ul>	
□ 現在のテキストチェーンに連結	
マスターページ: B-マスターB +	
キャンセル OK	

ページの挿入ダイアログボックス

- ➡ Option/Altキーを押しながらマスターページをページレイアウトダイアログボックスの 下部の必要な場所にドラッグする方法でも、ページを追加できます。
  - 12 ページフィールドに4を入力して、指定ページの後をクリックし、マスターページドロッ プダウンメニューからB-本文スプレッドを選択します。マスターページを選択してから、 現在のテキストチェーンに連結をオンにして、OKをクリックします。4つの新規ページ がレイアウトに追加されました。どのページにも、マスターページで作成したテキスト ボックスとページ番号があります。

新しいマスターページがマスターテキストチェーンと連結されていることを確認するに

は、**テキストコンテンツ**ツール を使用して、いずれかのメインテキストボックス内を クリックし、**補助 > プレースホルダテキストを挿入**を選択します。テキストチェーン全 体にテキストが入力されます。

ÉD	eje	
Anton calification town (Measure general and a strategy of the strategy of		Pedronen son salte dema angude, artikelt i sembler ki. Regno Antaka cakili Gare investa penginaseri- negnoji un perina perinano perinano athenas operina perina perinano perinano athenas operina perinano athena perinano athenas operina perinano athena athena athena athena athena perinano athena athena athena athena perinano athena athena athena athena perinano athena athena athena athena perinano athena athena athena perinano athena athena athena perinano athena athena athena perinano athena athena perinano athena athena athena perinano athena athena athena perinano athena perinano athena perinano athena athena perinano athena perinan

マスターページ全体に、プレースホルダテキストが入力されます。

## マスターページの適用

マスターページをレイアウトページに適用する方法は、下記のように2つあります。

- ページレイアウトパレット(ウィンドウメニュー)の上部から、パレットの下部の 対象ページにマスターページをドラッグします。
- ページレイアウトパレットの下部で対象ページを選択して、Option/Altキーを押しながら、パレット上部にある、必要なマスターページをクリックします。

#### マスターページの更新

マスターページの内容を変更すると、そのマスターページを使用しているレイアウトページに対して、自動的にその変更内容が適用されます。つまり、マスターページでページ 番号のボックスを移動すると、そのマスターページを使用している各ページで、自動的 にページ番号のボックスの位置が変更されます。

レイアウトページでマスターページアイテムを変更すると、マスターページが再度適用 され、下記の2つのうちのどちらかの状態になります。

- マスターページアイテムの設定が変更箇所保持(QuarkXPress/編集>環境設定
   >印刷レイアウト>一般ペイン)の場合、変更したアイテムはそのまま残りますが、 マスターページとはリンクされなくなり、マスターページからアイテムのコピーが 追加されます。
- マスターページアイテムの設定が変更箇所消去(QuarkXPress/編集>環境設定
   >印刷レイアウト>一般ペイン)の場合、変更したアイテムは削除され、マスターページからのアイテムのコピーに置き換えられます。

## マスターページとレイアウトファミリー

マスターページとレイアウトファミリーの連携は、レイアウトファミリーの一部ではな いレイアウトの場合とは若干異なります(レイアウトファミリーについての詳細は、『A Guide to App Studio』の「レイアウトファミリーの理解」を参照してください)。

- レイアウトファミリー内でマスターページの追加、削除、名前の変更を行うと、そのレイアウトファミリー内のすべてのレイアウトで、マスターページの追加、削除、 名前の変更が行われます。
- レイアウトファミリーのいずれかのレイアウトに特定のマスターページを使用してページを追加すると、その同じマスターページを使用したページが、レイアウトファミリー内の他のレイアウトに追加されます。
- レイアウトファミリーのいずれかのレイアウト内にあるレイアウトページにマスターページを適用しても、レイアウトファミリーの他のレイアウト内にある対応するページにはそのマスターページは適用されません。このため、レイアウトファミリー内で、縦方向のバージョンと横方向のバージョンに対して異なるマスターページを使用できます。
- レイアウトファミリーのいずれかのレイアウト内にある特定のマスターページを変更しても、その変更内容は、他のレイアウト内の同じ名前のマスターページには反映されません。このため、レイアウトファミリーのページデザインごとにマスターページをカスタマイズできます。

## レイヤーの使用

レイヤーパレットは、レイヤーの「コントロールセンター」です。このパレットで1回ク リックすれば、レイヤーを隠したり、表示したり、ロックしたり、ロック解除したりで きます。また、このパレットを使用して、新しく描画されたオブジェクトが配置される アクティブレイヤーを指定したり、レイヤーの重なり順を変更したり、1つのレイヤーか ら別のレイヤーにオブジェクトを移動したりもできます。

作成した各レイヤーに対して、**レイヤー**パレットに一意のカラースウォッチが表示され ます。レイヤー上にアイテムを作成すると、そのアイテムの境界ボックスとハンドルが、 そのレイヤーのカラーを使用します。

レイヤーパレットを表示するには、表示>レイヤーの順に選択します。

	×
▼ v1+~	Ð
+ 5 1	Ē
● 🔒 νí∀	
・ レイヤー2 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
<ul> <li>レイヤー1</li> </ul>	
● ■ デフオルト	1

レイヤーは**レイヤー**パレットで使用できます。

各レイアウトには、**デフォルト**レイヤーがあります。**デフォルト**レイヤーにアイテムを 追加したり、アイテムを削除したりできますが、**デフォルト**レイヤーを削除することは できません。

レイアウトには、最大256のレイヤーを含むことができますが、この数には**デフォルト**レ イヤーも含まれます。

#### レイヤーの理解

QuarkXPressのレイヤーは、レイアウトの各ページ上のクリアなオーバーレイに似てい ます。レイヤー上には、画像ボックス、テキストボックス、線、テーブル、インタラク ティブなオブジェクト、その他のQuarkXPressアイテムをはじめ、あらゆるものを配置 できます。

レイヤーは、さまざまな場面で役立ちます。

- ・
   ・
   画像をすべて1つのレイヤーに、テキストをすべて別のレイヤーに置くと、ボックス が重なっている場合に作業が簡単になります。
- 別々のレイヤー上にドキュメントの異なる翻訳を配置すれば、そのドキュメントの すべての言語バージョンを同じレイアウトに保存できます。レイアウトを印刷する ときは、印刷する言語が配置されたレイヤーを除き、すべてのレイヤーを隠すこと ができます。
- クライアントにデザインを提示するときに、さまざまなデザインテーマを簡単に切り替えることができるように、別々のレイヤーにさまざまなバージョンのデザインを配置できます。
- レイヤーのロックを使用すれば、変更してはいけないページ要素を含んだレイヤーを、誤って変更してしまうことがなくなります。たとえば、あらかじめレターヘッドとバックグラウンド画像が印刷された在庫に印刷しようとする場合も、最終的な印刷結果を確認できるように、レイヤーにレターヘッドとバックグラウンド画像を配置しておき、印刷時にそのレイヤーをロックすれば、レターヘッドとバックグラウンド画像が印刷されることはありません。

Adobe Photoshopなどの画像処理アプリケーションを使用したことがあれば、既にレイヤーの概念には慣れていることでしょう。ただし、QuarkXPressのレイアウトでは、レイヤーには、画像処理アプリケーションにはない別の意味合いもあります。

- 前面に表示されているレイヤーでも、手動でアクティブレイヤーに変更しない限り、
   そのレイヤーの空白部分を「通してクリック」し、下にあるレイヤーのアイテムを 選択することはできません。
- 各レイヤーは、あるページまたはスプレッドに固有のものではなく、QuarkXPress レイアウトの各ページに存在します。このため、長いレイアウトの各ページでも、 アピアランスを簡単に制御できます。
- ・背面のレイヤーにあるテキストは、前面レイヤーにあるオブジェクトを回り込めます。

## レイヤーの作成

レイヤーを作成するには、**レイヤー**パレットの新規レイヤーボタン やをクリックします。 新規レイヤーは、アクティブレイヤーの前の位置でレイヤーパレットに追加されます。 新規レイヤーはデフォルトでアクティブです。これは、作成する任意のアイテムがこの レイヤーに配置されることを意味します。

新規アイテムを特定レイヤー上に作成するには、**レイヤー**パレットでレイヤー名を先に クリックしてそのレイヤーをアクティブにします。 その後、標準アイテム作成ツールの いずれかを使用して、レイヤー上にアイテムを作成します。

### レイヤーの選択

**レイヤー**パレットに**編集**アイコン**2**が表示されていれば、そのレイヤーがアクティブレ イヤーであることがわかります。アクティブレイヤーとは、新規作成した任意のアイテ ムを配置できるレイヤーです。下記の2つの方法でアクティブレイヤーを設定できます。

- レイヤーパレットでレイヤー名をクリックします。
- ページ上のアイテムを1つ選択します。そのアイテムのレイヤーが、自動的にアク ティブレイヤーになります。

同時に複数のレイヤー上のアイテムを選択したとしても、アクティブになるレイヤーは1 つだけです。ただし、たとえばレイヤーを統合する場合などは、同時に複数のレイヤー を選択できます。複数のレイヤーを選択するには、下記のいずれかを実行します。

- たとえば、ページ上のすべてのアイテムを選択するなどして、複数のレイヤーから アイテムを選択します。
- パレット内の連続したレイヤーを選択するには、選択する範囲の最初のレイヤーと 最後のレイヤーをクリックするときにShiftキーを押します。
- パレット内の連続しないレイヤーを選択するには、選択するレイヤーをクリックするときにCommand/Ctrlキーを押します。

➡ 複数のレイヤーが選択されているときに、そのうち1つのレイヤーの選択を解除するには、Command/Ctrlキーを押しながら選択解除するレイヤーをクリックします。

#### レイヤーの表示および非表示

レイヤーパレットの表示コラムのでは、指定したときに表示するレイヤーを制御します。 表示コラムに表示アイコンのが表示されているときは、レイヤーは表示された状態です。

- レイヤーを表示または非表示にするには、そのレイヤー名の左にある表示コラムを クリックします。また、レイヤーをダブルクリックすると、そのレイヤーの属性ダ イアログボックスが表示されるので、ダイアログボックスで表示をオンまたはオフ にしてOKをクリックします。
- レイアウトのすべてのレイヤーを同時に表示または非表示にするには、1つのレイ ヤー名を選択し、レイヤーパレットコンテキストメニューからすべてのレイヤーを 表示またはすべてのレイヤーを隠すを選択します。
- アクティブレイヤー以外のすべてのレイヤーを隠すには、アクティブにするレイヤーの名前を選択してから、レイヤーパレットのコンテキストメニューで他のレイヤーを隠すを選択します。代わりに、表示するレイヤーの表示アイコンをクリックするときにControl/Ctrlキーを押せば、他のすべてのレイヤーが隠されます。
- アクティブレイヤー以外のすべてのレイヤーを表示するには、レイヤーパレットの コンテキストメニューで他のレイヤーを表示を選択します。

**検索/置換**機能を使用すると、表示されているレイヤーだけでなく、非表示のレイヤー も検索されます。非表示レイヤーで一致する項目が見つかった場合、非表示のテキスト ボックスまたはテキストパスが一時的に表示されます。

レイアウトまたはストーリーでスペルをチェックすると、レイアウトまたはストーリー にあるすべてのレイヤーが検索されます。非表示レイヤーでスペルミスが見つかった場 合、非表示のテキストボックスまたはテキストパスが一時的に表示されます。

レイヤーが非表示の場合、**印刷**ダイアログボックスの**レイヤー**ペインではデフォルトで オフになっているため、**印刷**ダイアログボックスでそのレイヤーを手動でオンにしない 限り、印刷されません。

非表示のレイヤーにアイテムを作成すると、そのアイテムは選択解除するまで表示されたままになります。

#### アイテムが存在するレイヤーの判断

アイテムが存在するレイヤーを判断するには、下記の2つの方法があります。

- オブジェクトの境界ボックスとハンドルを確認します(表示 > ガイドで確認します)。デフォルトレイヤーを除いた各レイヤーは、レイヤーパレットに一意のカラースウォッチが割り当てられていて、そのレイヤー上のオブジェクトの境界ボックスとハンドルはレイヤーのカラーで表示されます。
- レイヤーパレットを確認します。ページアイテムを選択すると、選択したアイテム を含むレイヤー名の隣のレイヤーパレットに、アイテムアイコンごが表示されます。
   異なるレイヤー上にある複数のアイテムを選択すると、選択したアイテムを含む各レイヤーの隣にアイテムアイコンが表示されます。

#### レイヤーの削除

デフォルトのレイヤーは削除できませんが、その他のレイヤーはすべて削除できます。 レイヤーを削除するときに、そのレイヤーに含まれるアイテムを削除するか、別のレイ ヤーに移動するかを選択できます。レイヤーの削除については、下記の手順に従ってく ださい。

- 1 レイヤーパレットで、削除するレイヤーを選択します。
- 2 **レイヤー削除**ボタン**間**をクリックします。
- 3 削除するレイヤーにアイテムが含まれている場合は、**レイヤー削除**ダイアログボックス が表示されます。オプションを選択します。
  - レイヤーに含まれているアイテムを削除する場合は、選択したレイヤーのアイテム を削除チェックボックスをオンにします。
  - レイヤーに含まれているアイテムを別のレイヤーに移動する場合は、選択したレイ ヤーのアイテムを削除チェックボックスをオフにして、アイテムの移動先レイヤー ドロップダウンメニューから移動先のレイヤーを選択します。
- 4 OKをクリックします

レイアウト内で使用されていないレイヤーをすべて削除するには、パレットメニューか ら**不使用レイヤーを削除**を選択します。 レイヤーオプションの変更

**属性**ダイアログボックスで、選択したレイヤーに関する下記のオプションを制御できま す。

- 名前: レイヤーの名前で、レイヤーパレットに表示されます。
- レイヤーカラー: レイヤーの上の境界ボックスとハンドルに使用されるカラーです。
- 表示: QuarkXPressでレイヤーが表示されるかどうかを制御します。
- •出力しない:レイヤーの印刷時にレイヤーを印刷するかどうかを制御します。この 設定は印刷ダイアログボックスで個別指定できます。
- **ロック**:オブジェクトをこのレイヤー上で操作できるかどうかを制御します。
- 回り込み保持:このレイヤー上のオブジェクトの回り込みが、このレイヤーが非表 示の場合に下のレイヤーに適用されるかどうかを制御します。

レイヤーの**属性**ダイアログボックスを表示するには、**レイヤー**パレットにあるレイヤー の名前をダブルクリックするか、パレットでレイヤー名を選択してパレットメニューか ら**レイヤーの編集**を選択します。

属性 X
名前(N): レイヤー1
レイヤ <b>ー属</b> レイヤーカラー 🔲
☑表示(V) □出力しない(U)
□□ック(L) ☑回り込み保持(R)
OK キャンセル

属性ダイアログボックスでレイヤーオプションを制御できるようになります。

新規レイヤーの**表示、ロック、出力しない**、および**回り込み保持**チェックボックスのデ フォルト値は、**環境設定**ダイアログボックスのレイヤーペイン(QuarkXPress/編集メ ニュー)で設定できます。

## 別のレイヤーへのアイテムの移動

レイヤーパレットには、既存のアイテムを別のレイヤーに移動するための方法が3つ用意

されています。アイテムツールを使用するには、移動するアイテムを選択し、下記のいずれかを実行します。

- アイテムをレイヤーへ移動ボタンや
   アイテムの移動ダイアログボックスで移動先レイヤーを選択します。
- **アイテム**アイコン を移動先レイヤーにドラッグします。
- アイテムを現在のレイヤーからカットし、移動先レイヤー上にペーストします。

別のレイヤーにアイテムのコピーを配置するには、**レイヤー**パレットで**アイテム**アイコン ジン を移動先レイヤーにドラッグしている間にControl/Ctrlキーを押します。

レイアウトページのマスターページアイテムを、デフォルトレイヤーから別のレイヤーに 移動できますが、この移動を実行すると、移動したアイテムはマスターページアイテムで はなくなります。

## レイヤー間でのアイテムのコピーとペースト

レイヤーパレットでは、コピー元のレイヤーにペーストのオプションを設定できます。



#### **レイヤー**パレットのイメージのプレースホルダ

このオプションは、デフォルトでオンの状態です。このオプションがオンのとき、アイ テムがコピーされペーストされると、その要素はコピー元と同じレイヤーにペーストさ れます。レイヤー一致は名前で行われるため、そのアイテムが別のドキュメントからの もので、レイヤー名が異なっている場合、その名前を持つ新しいレイヤーが作成されま す。

この設定がオフの場合、すべてのアイテムは、現在アクティブなレイヤーにペーストされます。

#### レイヤーのスタック順の変更

レイヤー上へのスタックは、「標準」ページへのスタックと同じように動作します。レ イヤー内では、各アイテムにはスタック順があります(レイヤー上で前から後の順)。 レイヤー上にアイテムを描画すると、新規アイテムはそのレイヤーの既存アイテムの前 にスタックされます。背面へ送る、ひとつ後ろへ、前面へ出す、およびひとつ前へコマ ンド(アイテムメニュー)を使用すると、レイヤー内でのスタック順は変更できますが、 これらのコマンドを使用してもアイテムは別のレイヤーに移動しません。ただし、前の レイヤーのすべてのアイテムが後のレイヤーのすべてのアイテムの前に表示されます。

レイヤーのスタック順を変更するには、**レイヤー**パレットでレイヤーを新しい位置まで ドラッグします(**レイヤー**パレットの最上位のレイヤーはレイアウトの最前面のレイヤー です)。

#### レイヤーおよびテキストの回り込み

QuarkXPressでは、レイヤー上のアイテムは、標準的な回り込みルールに従います。テキストは、テキストの前面にあるアイテムの周囲に回り込むことだけができます。たとえば、テキストの列の中央に小さい画像ボックスを描いた場合、デフォルトでは、テキストがその画像ボックスの周囲に回り込みます。

また、QuarkXPressは、アイテムの周囲にテキストを回り込ませるかどうかを判断する ときに、アイテムメニューの設定ダイアログボックスの回り込みタブにある種類設定を評 価します。

レイヤーを隠すときは、そのレイヤー上のアイテムを妨害することによって発生したテ キストの回り込みを表示する、または隠すのいずれかを選択できます。デフォルトでは、 隠されたアイテムによるテキストの回り込みは保持されます。

- ・隠されたレイヤー上のアイテムによるテキストの回り込みを隠すには、レイヤーパレットにある隠されたレイヤーをダブルクリックし、属性ダイアログボックスを表示してから、回り込み保持のオフにして、OKをクリックします。
- 新規レイヤーで、このデフォルトの回り込み設定を変更するには、QuarkXPress/ 編集メニューにある環境設定ダイアログボックスのレイヤーペインで回り込み保持 をオフにします。

#### レイヤーの複製

レイヤーを複製するには、**レイヤー**パレットでレイヤーを選択し、**レイヤー**パレットメ ニューから**レイヤーの複製**を選択します。新規の複製レイヤーは元のレイヤーの前面に 直接配置されます。

リンクされている、別のレイヤーに配置されたテキストボックスがあるストーリーを複 製すると、下記の動作が見られます。

- ストーリーの最初のボックスを含むレイヤーを複製すると、そのボックスのすべてのテキストと、残りのストーリーを含むリンクされたボックスのテキストが複製されます。最初のボックスは複製されたレイヤーに表示され、オーバーフロー記号が表示されます。
- ストーリーの途中にあるボックスの1つを含むレイヤーを複製すると、そのボックスのすべてのテキストと、残りのストーリーを含むリンクされたボックスのテキストが複製されます。途中のボックスは複製されたレイヤーに表示され、オーバーフロー記号が表示されます。ストーリーのそれより前のボックスのテキストは、複製されたレイヤーにはコピーされません。
- ストーリーの最後のボックスのみを含むレイヤーを複製すると、最後のボックスに あるテキストのみが複製されたレイヤーにコピーされます。ストーリーのそれより 前のボックスのテキストはコピーされません。

## レイヤーの統合

複数のレイヤーを統合する場合は、すべてのレイヤーのすべてのアイテムを同じレイヤー に移動します。統合したレイヤー内およびレイヤー間のスタック順序は維持されます。 つまり、前面のレイヤー内のアイテムはすべて後方レイヤー内のアイテムより前に配置 されます。レイヤーの統合については、下記の手順に従ってください。

1 レイヤーパレットで、統合するレイヤーを選択します。

- 2 レイヤーパレットのレイヤーを統合ボタン ゆをクリックします。レイヤーを統合ダイア ログボックスが表示されます。
- 3 移動先レイヤードロップダウンメニューからターゲットレイヤーを選択します。
- 4 OKをクリックします。統合されるアイテムのビジュアルインジケータに、統合先のレイ ヤーのカラーが表示され、選択したターゲットレイヤーが削除されます。
- ➡ 選択したレイヤーのうち1つでもロックされていると、レイヤーは統合されません。
- デフォルトレイヤーのアイテムを統合することもできますが、デフォルトレイヤーは統合 によって削除されることはありません。

#### レイヤー上のアイテムのロック

誤ってレイヤー上のアイテムを変更しないように、**レイヤー**パレットを使用してレイヤー 全体をロックできます。

レイヤーのロックは、アイテムのロックから独立しています。**アイテム>ロック**を使用 してアイテムをロックしても、アイテムを選択したり編集したりすることはできます。 ただし、ロックされたレイヤーは、選択できなくなります。**アイテム>ロック**を使用し てレイヤー上のアイテムをロックし、さらにレイヤーをロックおよびロック解除すると、 レイヤーのロックが解除された後もアイテムはロックされたままになります。

レイヤーパレットにあるロック列口は、レイヤーのロックを制御します。レイヤーをロックするには、下記のいずれかの方法を使用します。

- レイヤーをロックまたはロック解除するには、レイヤー名の左にあるロック列をクリックします。また、レイヤーをダブルクリックすると、そのレイヤーの属性ダイアログボックスが表示されるので、ロックをオンまたはオフにしてOKをクリックします。
- 1つを除いてすべてのレイヤーをロックするには、Command/Ctrlキーを押し、編 集するレイヤーの隣のロック列をクリックします。
- すべてのレイヤーをロックするには、パレットメニューからすべてのレイヤーをロックを選択します。

#### レイヤー付きマスターページの使用

マスターページでレイヤーを使用することもできます。マスターページからのアイテム で、同じレイヤーに存在するものは、常にドキュメントページのアイテムの後ろに配置 されることに注意してください。

➡ QuarkXPress 9はマスターページ上でのレイヤーをサポートしていません。このため、 ページをQuarkXPress 9用に保存した場合、マスターページ上のアイテムはすべてデフォ ルトレイヤーに配置されます。このため、QuarkXPress 10とは重なり順が異なったもの になる可能性があります。

#### レイヤーを印刷しない

**設定**ダイアログボックスを使用して、画像ボックスなどのアイテムを印刷しないように 設定できるように、レイヤーも印刷しないように設定できます。レイヤーを印刷しない ようにするには、レイヤーパレットでそのレイヤーをダブルクリックします。属性ダイ アログボックスで印刷しないをオンにしてから、OKをクリックします。

レイヤーで**印刷しない**がオンになっている場合、そのレイヤーは、**印刷**ダイアログボッ クスの**レイヤー**ペインではデフォルトでオフになって表示されますが、**印刷**ダイアログ ボックスでそのレイヤーを手動でオンにしない限り、印刷されることはありません。

	レイアウト 1を印刷	
プリンタ:     Adobe PDF 9.0     :       印刷書式:     係存した設定     :       部数:     1     ページ選択:     全て       ページ:     全て     :     縮小率:     100%     :	<ul> <li>□ 丁合い</li> <li>□ スプレッド</li> <li>□ 逆順</li> <li>□ 印刷領域に合わせる</li> <li>?</li> </ul>	
アパイス     ページ       ハラー     画像       フォント     ション       トンボ     ブリード       透明度     リロド       リロド     速化レイヤーの使用カラー版:       詳細設定     選択なし		
「用紙設定…」 プリンタ…」 保	R存して閉じる (キャンセル) 印刷	

**印刷**ダイアログボックスには、印刷するレイヤーを制御するための設定が用意されています。

- 新しいレイヤーのデフォルトの印刷設定を変更するには、QuarkXPress/編集メニューの環境設定ダイアログボックスにあるレイヤーペインの印刷しないをオンにします。
- レイヤーの印刷しない設定は、アイテムメニューの設定ダイアロボックスにある印刷しないおよび画像を出力しないからは独立しています。

## PDFレイヤーの使用

PDFファイルとしてレイヤーが含まれているレイアウトを書き出す場合、下記の設定を個別に制御できます。

- 書き出すPDFファイルに、どのレイヤーを含むか
- QuarkXPressのレイヤーをネイティブのPDFレイヤーとして書き出すかどうか

詳細は、「PDF形式でのレイアウトの書き出し」を参照してください。

## リストの使用

リスト機能により、特定の文字または段落スタイルシートが適用されている段落のテキ ストを収集できます。リスト機能は、目次の作成で最も多く使用されますが、出版物で 使用される図や画像のリストを作成するために使用することもできます。

## リストの準備

リストを作成する前に、ドキュメント内にスタイルシートを作成して適用する必要があ ります。まず、「チャプター名」、「セクション名」、「本文のテキスト」など、目次 で使用するスタイルシートを作成します。次に、フォーマットされた目次に別の段落ス タイルシートを作成します。

#### リストにスタイルシートを追加する

リストの作成の最初の手順として、まずリストに含めるスタイルシートを決定します。 目次には、一般的にチャプタータイトルおよびその該当ページ番号が記載されるため、 目次を作成するには、チャプターおよびセクションのスタイルシートをリストに含めま す。リストには、段落および文字のスタイルシートを含めることができます。

#### リストのレベルの指定

リストの作成前に、段落スタイルシートの各レベルの定義方法についても決めておく必 要があります。たとえば、チャプターの見出しを第1レベルに、チャプター内の標題を第 2レベルにそれぞれ設定します。また、アプリケーションに関するマニュアルを作成して いて、マニュアル内のあるチャプターに「ファイルメニュー」というタイトルが付いて いる場合、「ファイルメニュー」という見出しのチャプターをリストの第1レベルに設定 します。さらに、「新規」、「開く」、「閉じる」、「保存」などのアイテムは、「ファ イルメニュー」チャプターのサブ見出しとなり、これを第2レベルに設定できます。あら かじめこのように決定しておけば、リストの作成プロセスが簡単になります。

## リストの作成

ドキュメントでスタイルシートを作成して適用し、リストに含める内容を決めたら、リ ストの作成を開始できます。編集>リストを選択して新規をクリックし、リストの編集 ダイアログボックスを表示して、名前フィールドに名前を入力します。

スタイル一覧に、アクティブなプロジェクトの全スタイルシートが一覧されます。リストに使用する各スタイルシートを選択して追加をクリックして、利用スタイルリストに追加します。たとえば、「Heading 1」および「Heading 2」スタイルシートを使用するすべての見出しを目次に含める場合、この2つのスタイルシートを利用スタイルリストに追加します。

目次に入る内容を指定するスタイルシートを指定すると、目次のフォーマット方法を指 定できるようになります。利用スタイルリストの各スタイルに対し、レベル、ページ番 号オプション、およびスタイルスタイルシートを選択します。

- レベルは、リストのコンテンツがリストパレットでどのようにインデントされるか を指定します(レベルを高くするとさらにインデントされます)。
- ページ番号は、スタイルシートの各オカレンスのページ番号をリストに含めるかどうかとその位置を制御します。
- スタイルでは、自動的に生成される目次の各レベルにスタイルシートを適用できま す。



リストの編集ダイアログボックスを使用して、自動目次のようなリストを作成できます。

## 別のドキュメントからのリストのインポート

QuarkXPressでは、リストを別のドキュメントから、または**編集>リスト**にある**リスト** ダイアログボックスや**ファイル>追加**にある**追加**コマンドを使用して追加できます。

## リストでのナビゲーション

リストを表示するには、**ウィンドウ**メニューの**リスト**パレットを表示して、**リスト名**ドロップダウンメニューにあるリストを選択し、**更新**をクリックします。選択したリストが**リスト**パレットに表示されます。

		X
▼ リスト		P
表示リス	作業中レイアウト 🗸 🗸	
リスト名:	Table of Contents 🗸	
検索:	<b>更新</b> 作成	
L		

## リストパレットを使用して、レイアウト内をナビゲートできます。

アーティクルに複数のレイアウトを含んでいる場合、表示リストドロップダウンリストから別のレイアウトを選択できます。

アクティブリスト内の特定の行を探すには、パレットの**検索**フィールドにその行の語を 入力します。パレットのリストが、指定した語のリスト内での最初の出現場所にスクロー ルします。 特定の段落にジャンプするには、**リスト**パレットでその段落をダブルクリックします。 ウィンドウが、レイアウト内のその段落の場所にスクロールします。

リストの作成

レイアウト中に目次(またはその他のタイプのリスト)を作成するには、リストの配置 先にテキストの挿入ポイントを配置し、**リスト**パレットにある**作成**をクリックします。 リストが自動的に作成されます。**スタイル**ドロップダウンメニュー(**新規リスト**ダイア ログボックス)でリスト用に選択したスタイルシートが自動的に適用されます。

ドキュメントのテキストがペーストボードにある場合、作成されるリストではページ番号の代わりに、ダガー記号(Mac OS X)や「PB」という文字列(Windows)がテキストの横に表示されます。

## リストの更新

**リスト**パレットは、パレットで作業しても自動的には更新されません。テキストを変更 したときは、最新の状態になるようにリストを更新する必要があります。**リスト**パレッ トの**更新**ボタンをクリックすると、リストアイテムのドキュメントがスキャンされ、**リ スト**パレットのリストが再構築されます。

既にテキストボックスにフローしたリストを更新するには、そのボックスを選択し、更 新をクリックしてリストが最新の状態になっていることを確認してから、作成をクリッ クします。アプリケーションは、レイアウトに既にそのリストのコピーがあることを検 出し、リストの新しいコピーを挿入するのか、または既存のバージョンを置換するのか を尋ねる警告を表示します。既存のリストを更新するには、置換をクリックします。

## 索引の使用

QuarkXPressでは、ドキュメントの単語に、第1~第4レベルの索引見出し語としてマー カーを付けることで索引を作成します。クロス参照を作成したり、索引見出し語が含む テキストの範囲として1つの単語や複数の段落、テキスト選択範囲、特定のスタイルシー ト内の全テキストなどを指定することができます。索引を作成する際には、多様なレベ ルで階層構造の有無、約物、マスターページ、スタイルシートを指定します。この作業 の後で、索引を作成し、書式を整えます。

ソフトウェアで自動化できるのは、入力や書式設定、索引のページ番号の更新だけです。 分かりやすくて利用価値の高い索引を作るための見出し語をリストアップする作業は人 の手で行なわなくてはなりません。索引の作成プロセスを完全に自動化するのは不可能 なので、索引作成に多少の手間がかかるのは避けられません。ただし、読者が必要な情 報を簡単に見つけられるようになるのであれば、やるだけの価値はあります。

## 索引マーカの色の指定

索引に単語を追加すると、QuarkXPressはそれをブラケットまたはボックスで囲んでタ グ付けをします。これらのブラケットまたはボックスを索引マーカと呼びます。ウィン ドウ>索引を選択して索引パレットを開くと、ドキュメントに索引マーカが表示されま す。索引マーカの色は、索引の環境設定ダイアログボックスを使用してカスタマイズで きます。

1 QuarkXPress/編集 > 環境設定 > 索引を選択します。

- 2 索引マーカの色ボタンをクリックして、色の選択機能を表示します。
- **3** スライダ、矢印、フィールド、またはカラーホイールを使用して、索引マーカの色を指 定します。
- 4 OKをクリックして色の選択機能を閉じ、さらにOKをクリックして索引の環境設定ダイ アログボックスを閉じます。
- テキストの範囲を指定して索引を設定すると、ブラケットでマークされます。テキストに テキスト挿入バーを置いて索引見出し語を登録すると、その場所がボックスでマークされ ます。

#### 索引の見出し語の作成

索引の各アイテムは、単語数に関わらず、見出し語と呼びます。各見出し語にはレベル が割り当てられます。レベルは見出し語の第1から第4までの階層を示します。最初のレ ベルの見出し語は最も一般的であり、4番目のレベルの見出し語は最も詳細です。

QuarkXPressでは、入れ子の索引に4レベルの索引見出し語、追い込み索引に2レベルの 索引見出し語を作成できます。

#### 第1レベル索引見出し語の作成

第1レベル見出し語は、索引内でアルファベット順に配列される主要見出しです。

- 索引に語句を追加する前に、階層付き索引と追い込み索引のどちらを作成するのかを決め る必要があります。階層付き索引には、深さ4レベルまでの情報が含まれ、見出し語は段 落改行とさまざまなスタイルシートによって区分されます。追い込み索引には2つのレベ ルの情報が含まれ、第2レベルの見出し語は第1レベルの見出し語の直後に同じ段落内に 続きます。
  - 1 テキスト中にテキスト挿入バーを置くか、またはテキストの範囲を選択して、索引付け するテキストの先頭を指定します。
  - 2 第1レベル見出し語のテキストを索引パレット(表示メニュー)のテキストフィールドに 入力するには、ドキュメント内のテキストを選択するか、またはフィールドにテキスト を入力します。
- 3 見出し語のアルファベット順索引を無効にするには、読みフィールドにテキストを入力 します。たとえば、見出し語が「20世紀」の場合は、読みを「にじゅっせいき」として 配列することができます。これによって索引見出し語の綴りに影響が出ることはありま せん。
- **4 レベル**ドロップダウンメニューで**第1レベル**を選択します。
- 5 ページ番号またはクロス参照に適用されているデフォルトの文字書式設定を無効にする には、スタイルドロップダウンメニューで別の文字スタイルシートを選択します。デフォ ルトの書式設定は、見出し語テキストの文字スタイルです。
- 6 範囲ドロップダウンメニューからオプションを選択して、索引見出し語によって包含さ れるテキストの範囲を指定します。
- 7 索引パレットで追加ボタン ゆをクリックします。第1レベルの見出し語がアルファベット順に見出し語リストに表示されます。ドキュメント内の索引付けされたテキストには、

ブラケットまたはボックスによるマークが付きます。全て追加ボタンは、をクリックして、選択したテキストのすべての出現を見出し語リストに追加することもできます。

索引見出し語は、ドキュメントでテキストを選択し、コンテキストメニューを表示し、それから索引へ追加を選択することによって追加できます。見出し語は、選択されたレベル、スタイル、および範囲を使用して追加されます。表示されるコンテキストメニューは、索引へ追加を除いて、テキストボックスのコンテキストメニューと同じです。

単語を選択する場合、その単語を索引に追加してから、もう一度その選択した単語を(た とえば、別のレベルで)索引に追加しようとすると、「索引参照は既にこの場所に存在 しています。」という警告メッセージが表示されます。索引で同じ単語を複数回使用す るには、単語にテキスト挿入バーを置き、それから**テキスト**フィールドに対象の単語を 入力します。第2索引見出し語に、索引マーカーとしてボックスとブラケットが表示され ます。

Option/Altキーを押すと、追加ボタンが逆順追加 認に変わります。逆順追加ボタンを 使用すると、見出し語リストに見出し語が逆順で追加され、見出し語にカンマが追加さ れます。たとえば、逆順追加ボタンをクリックすると、「Elaine DeKooning」は 「DeKooning, Elaine」として追加されます。「Lila Cabot Perry」は「Perry, Lila Cabot」として追加されます。

Option/Altキーを押すと、全て追加ボタンが全て逆順追加 以に変わります。全て逆順 追加ボタンをクリックすると、選択したテキストのすべての出現が見出し語リストに逆 順で追加されます。

## 第2、第3、または第4レベルの索引見出し語の作成

階層付き索引では、第2レベル、第3レベル、および第4レベルの見出し語が、第1レベル 見出し語の下に新しい段落で配置されます。追い込み索引では、第2レベルの見出し語が 同じ段落で第1見出し語に続きます。

- 1 索引にするテキスト範囲の先頭位置にテキスト挿入バーを置きます。
- 第1レベルの索引見出し語を作成するときと同様に、テキスト、読み、スタイル、および 範囲の各コントロールを使用します。
- 3 見出し語リストの左側列にある見出し語の横をクリックし、その見出し語が、その下に 第2、第3、または第4レベルの見出し語が続く上位レベルの見出し語であることを指定 します。
- ➡ 組み込み索引で使用される段落スタイルシートに左インデント値がある場合には、第2、 第3、および第4レベルの見出し語がインデントされます。
- 4 レベルドロップダウンメニューから、第2レベル、第3レベル、または第4レベルを選択します。

矢印ゆの位置により、選択可能なレベルオプションが決まります。第2レベルオプション は第1または第2レベルの見出し語の横に矢印がある場合に選択でき、第3レベルオプショ ンは第1、第2、または第3レベルの見出し語の横に矢印がある場合に選択でき、また第4 レベルオプションは第1、第2、第3、または第4レベルの見出し語の横に矢印がある場合 に選択できます。

- 5 追加ボタン 協をクリックします。新しい索引見出し語は、アルファベット順に配列され、適切な見出し語の下にインデントされます。
- ➡ 索引の見出し語をより多くのレベルの情報を包含する見出しとして使用する場合は、範囲 ドロップダウンメニューでページ番号なしを選択します。たとえば、料理の本を作成する 場合には、「ケーキ」という見出し語を作成し、ページ番号を無効にし、それから第2ま たは第3レベルの見出し語として「チョコレート」や「レモン」などのケーキの種類を列 挙できます。

## クロス参照の作成

索引の見出し語にページ番号を一覧できるほか、その他のトピックを参照することもで きます。たとえば、「活版印刷」への参照欄に「フォントも参照」と表示できます。こ れには、クロス参照を作成します。索引の既存見出し語へのクロス参照を作成でき、ク ロス参照用に新しい見出し語を追加できます。**索引**パレット(**表示>索引パレット表示**) を使用してクロス参照を作成します。

### 新規索引見出し語のクロス参照の作成

新規索引見出し語のクロス参照を作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 テキスト内の任意の位置にテキスト挿入バーを置きます(この見出し語のページ番号は リストに表示されないので、位置は重要ではありません)。
- 2 索引パレットのテキストフィールドに、見出し語のテキストを入力します。
- 3 それ以外の索引見出し語を作成するときには、読みおよびレベルコントロールを使用します。
- 4 範囲ドロップダウンメニューからクロス参照を選択します。ドロップダウンメニューから、指定するクロス参照のタイプ(参照、参照(追加)、または以下を参照)を選択します。
- 5 フィールドにテキストを入力するか、またはリストに既存の見出し語をクリックして、 クロス参照される索引見出し語を指定します。
- 6 追加ボタンをクリックします。見出し語を展開してクロス参照テキストを確認します。

## 既存索引見出し語のクロス参照の作成

既存索引見出し語のクロス参照を作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 テキスト内の任意の位置にテキスト挿入バーを置きます(この見出し語のページ番号は リストに表示されないので、位置は重要ではありません)。
- 2 見出し語リストで見出し語を選択します。選択した見出し語は、テキストフィールドに 自動的に取り込まれます。
- 3 **索引**パレットで編集ボタン *✓*をクリックし、見出し語をダブルクリックするか、または 見出し語を選択してコンテキストメニューを表示します。
- 4 範囲ドロップダウンメニューからクロス参照を選択します。ドロップダウンメニューから、指定するクロス参照のタイプ(参照、参照(追加)、または以下を参照)を選択します。

- **5** フィールドにテキストを入力するか、またはリストに既存の見出し語をクリックして、 クロス参照される索引見出し語を指定します。
- 見出し語リストのクロス参照テキストをページ番号参照と一緒に表示するには、見出し語を展開します。
- 索引を作成すると、ページ番号参照のすぐ後にクロス参照が続きます。クロス参照は、索 引環境設定ダイアログボックス(編集>環境設定>索引)で指定した文字スタイルシー トに従って書式設定されます。見出し語のスタイルを指定すると、クロス参照では参照元 の見出し語と同じスタイルシートが使用されます。スタイルドロップダウンメニュー(索 引パレット)を使用してクロス参照の文字スタイルシートを指定すると、索引環境設定ダ イアログボックスで指定したスタイルシートが無効になります。クロス参照フィールドに 入力するテキストにはそのスタイルシートが適用されますが、クロス参照の「参照」、 「参照(追加)」、または「以下を参照」の部分には適用されません。

クロス参照の前に置かれる区切り文字は、**索引環境設定**ダイアログボックス (QuarkXPress/編集 > 環境設定 > 索引)のクロス参照の前フィールドで指定されま す。クロス参照の後に区切り文字を入れる場合は、索引パレットで入力したクロス参照 テキストの後に入力してください。

## 索引見出し語の編集

索引見出し語を選択して、**テキスト**フィールド、または**読み**フィールドの情報を編集で きます。クロス参照やページ番号参照を選択して、**スタイル**または**範囲**ドロップダウン メニューの情報を編集することもできます。また、見出し語のレベルも変更できます。

- 1 見出し語リストから見出し語または参照を選択します。参照を表示するには、見出し語 を展開します。
- 2 索引パレットの編集ボタン をクリックして見出し語をダブルクリックするか、コンテキストメニューから編集を選択します。

編集モードの使用中、編集ボタン // は反転表示されます。

- 3 選択した見出し語または参照に変更を加えます。他の見出し語や参照を選択して編集す ることもできます。
- 4 編集モードを終了するには、編集ボタン ∕∕をもう一度押します。

## 索引見出し語の削除

索引見出し語の削除、およびテキストからの索引マーカーの消去については、下記の手 順に従ってください。

- 1 見出し語リストから見出し語または参照を選択します。参照を表示するには、見出し語 を展開します。
- 2 コンテキストメニューを表示して**削除**を選択するか、**索引**パレットで**削除**ボタン ■をク リックします。

索引で使用する約物の指定

**索引の環境設定**ダイアログボックスを使用して、索引の作成時に自動的に挿入する約物 を指定できます。

- 1 QuarkXPress/編集 > 環境設定 > 索引を選択します。
- 2 区切りキャラクタフィールドに、前後のスペースも含めた索引約物およびクロス参照ス タイルシートを入力します。
  - 見出し語の後は、索引の各見出し語の直後に挿入する約物を指定します。通常はコロンです。たとえば、"QuarkXPress: xii, 16-17, 19"では、索引見出し 語"QuarkXPress"の後にコロンとスペースを使用しています。

索引見出し語の後にクロス参照が続く場合は、**見出し語の後**キャラクタではなく、**クロ** ス参照の前キャラクタを使用します。

- ページ番号の間は、ページ番号のリストを区切るために使用される単語または約物 を指定します。通常は、カンマまたはセミコロンです。たとえば、"QuarkXPress: xii, 16-17, 19"では、ページ番号の間にカンマとスペースを使用しています。
- ページ範囲の間は、ページの範囲を示す単語または約物を指定します。通常は、en ダッシュまたは単語"to"で、前後にスペースを挿入して" to "のようにします。たと えば、"QuarkXPress: xii, 16-17, 19"では、ページ範囲の表記にenダッシュを使 用しています。
- クロス参照の前は、クロス参照の前に使用される単語または約物を指定します。通常は、ピリオド、セミコロン、またはスペースです。たとえば、"QuarkXPress: xii, 16-17, 19. See also Page Layout"では、クロス参照の前にピリオドを使用しています。
- クロス参照スタイルは、クロス参照で使用するスタイルシートを指定します。この スタイルシートは、"参照"、"参照(追加)"、および"以下を参照"にのみ適用できま す。
- 見出し語の項目間は、追い込み索引の見出し語レベルの間に使用される単語または 約物を指定します。通常はセミコロンまたはピリオドです。追い込み索引は、索引 見出し語の項目またはサブ項目を、ネストされたタブではなくパラグラフで一覧表 示します。たとえば、"QuarkXPress: xii, 16–17, 19; Printing from: 62–64; Typesetting in: 32, 34"では、見出し語の間にセミコロンを使用しています。

ネストされた索引では、**見出し語の項目間**キャラクタが各パラグラフの末尾の約物として使用されています。

- 3 OKをクリックします。
- 作成した索引は、インデックステキストでなく、フォーマットテキストで構成されます。 テキスト、または見出し語リストの編集を続ける場合は、索引を再度作成する必要があり ます。
- 区切りキャラクタフィールドには最大72文字まで入力できます。区切りキャラクタフィー ルドでは、一部の「XPress Tag」を使用することもできます。たとえば、見出し語の後 フィールドに「¥t」と入力すると、索引の作成時に見出し語の後にデフォルトタブが自 動的に挿入されます。

#### 索引の作成

**索引作成**ダイアログボックスを使用して、**索引**パレットのコンテンツから索引を作成します。

索引を作成する際、QuarkXPressは、リストをコンパイルし、ユーザーの仕様に従って 形式を整え、選択するマスターページに基づいてそのリストをページに流し込みます。 ドキュメントが開いている状態で設定すると、索引の環境設定はドキュメント固有の設 定になります。

索引を作成する前に、索引用の自動テキストボックスを配置したマスターページを作成 します。次に、索引で使用されるセクション見出しおよびすべてのレベルの段落スタイ ルシートを作成します。通常、レベルはさまざまなインデントによって区別されます。

索引を作成するには、下記の手順に従ってください。

- 1 補助>索引作成を選択するか、索引パレットのコンテキストメニューを表示して索引作 成を選択します。
- 2 形式として、階層付きまたは追い込みを選択します。索引が2レベル以上の情報で編成される場合は、階層付き索引を作成してください。追い込み索引を作成する場合は、見出し語の情報レベルすべてが、階層なしで同じ段落に表示されます。
- 3 既存の索引を上書きするには、既存の索引を置換をオンにします。
- 4 索引のアルファベット別セクションそれぞれに見出しを付けるには、見出し文字を追加 をオンにし、ドロップダウンメニューからスタイルシートを選択します。
- 5 索引のマスターページを選択します(自動テキストボックスが配置されているマスター ページのみがリストに表示されます)。QuarkXPressは、ドキュメントの最後に必要な ページを自動的に追加して索引を作成します。見開きのマスターページを指定すると、 見開きの右側が最初に追加されます。
- 6 レベルスタイルドロップダウンメニューから、索引の各レベルのスタイルシートを選択します。形式として追い込みをクリックした場合は、第1レベルドロップダウンメニューのみが選択可能になります(これは、すべてのレベルが同じ段落に流し込まれるためです)。
- 7 OKをクリックして索引作成ダイアログボックスを閉じ、索引を作成します。
- 2つのバージョンの索引を比較する必要がある場合は、索引作成ダイアログボックス(補助メニュー)で既存の索引を置換をオフにします。

## 最後の索引の編集

索引を作成したら、内容を細かくチェックする必要があります。索引見出し語に抜けが ないか、クロス参照は適切か、レベル付けは論理的かを確認してください。また、約物 やフォーマットが見苦しくないかどうかも確認します。初めて作成した索引が完璧であ ることはめったにありません。テキストの部分的な修正で済む場合もありますが、場合 によっては索引を作成し直す必要がある場合もあります。

#### 索引のテキストが印刷されない

ブラケットで囲まれたテキストが印刷されない場合は、テキストがペーストボードにある、別のアイテムの下に隠れている、ボックスに収まりきらないなどの原因が考えられます。このような場合、索引の見出し語テキストの横にはページ番号ではなく、ダガー

記号 † (Mac OS X) またはBの後ろにスペースの付いた「PB」 (Windows) という 文字が表示されます。

MacOSXのみ:ダガー記号を検索するには、編集メニューの検索/置換ダイアログボッ クスにある検索フィールドに「Option+T」と入力して、ドキュメント内で問題を解決で きるかどうか、または索引からダガー記号を削除するだけでいいのかを確認します。

(Windowsのみ):「PB」文字を検索するには、編集メニューの検索/置換ダイアロ グボックスにある検索フィールドに、スペースを含めて「PB」と入力して、ドキュメン ト内で問題を解決できるかどうか、または索引から文字を削除するだけでいいのかを確 認します。

#### 索引の編集と再作成

約物、索引の見出し語、または索引の構成に関する問題を解決するには、**索引**パレット、 **索引の環境設定**ダイアログボックス(QuarkXPress/編集 > 環境設定 > 索引)、また は**索引作成**ダイアログボックス(ユーティリティメニュー)に戻ります。必要な変更を 行い、索引を再作成します。

#### 索引の更新

索引を作成した後に索引付きドキュメントを編集する場合、索引を再度作成する必要が あります。QuarkXPressは索引テキストを自動的には更新しないため、ドキュメントの 完成が確実になったときにのみ、最終的な索引を作成してください。

#### 索引への部分的な変更の適用

索引が完成し、レイアウトにもこれ以上の変更がなさそうな場合は、索引を部分的に変 更して最終的な調整を行います。たとえば、見出し「W」、「X」、「Y」、および「Z」 の見出しの下にそれぞれ1つしか見出し語がないような場合には、「W-Z」という見出 しで各項の見出し語をまとめることができます。また、**検索/置換**ダイアログボックス (編集メニュー)を使用して、特定の単語に書式を適用することもできます。この段階 で見出し語の削除や変更を行っても、その変更は以降に作成する索引には反映されませ ん。

#### ブックの使用

複数ドキュメントで構成される出版物は、管理が難しいものです。関連するドキュメントは相互に近い場所に保存しておく必要がありますが、あくまで別個のものです。この ような場合にブックが役立ちます。

ブックとは、チャプターと呼ばれる個々のドキュメントへのリンクを含んだウィンドウ として表示されるQuarkXPressファイルです。ブックにチャプターが追加されると、**ブッ ク**パレットを介してチャプターを開いたり、閉じたり、トラッキングしたりできます。 QuarkXPressでは、ブックのチャプターで使用されるスタイルシートや他の仕様を同期 し、**ブック**パレットからチャプターを印刷し、チャプター間にまたがるページ番号を自 動的に更新したりできます。

QuarkXPressでは、同時に最大25までのブックを開くことができます。また、同時に複数のユーザーでブックを開くことができるので、ワークグループのメンバーは、異なる チャプターにアクセスできるのです。ブックを閉じるかQuarkXPressを終了するまで、 ブックは開いた状態のままになります。ブックパレットを閉じるかQuarkXPressを終了 するときに、ブックに加えられた変更が保存されます。 チャプターを追加したり、並べ替えたりしたブックへの変更内容は、ブックを閉じたと き、またはQuarkXPressを終了したときに自動的に保存されます。チャプターを開いて 編集する場合、チャプタードキュメントは、スタンドアロンQuarkXPressプロジェクト と同様に、**ファイル**メニューの**保存**コマンドを使用して保存する必要があります。

たとえば、ワークグループのメンバーが、ブックのチャプターを開いたり並べ替えたりしてブックへの変更を行うと、ブックが更新されて、その変更内容が反映されます。強制的に更新するには、ブックパレットの任意の場所をクリックします。

## ブックの作成

QuarkXPressでは、ドキュメント(チャプター)の集まりをブックと呼びます。新規ブッ クは、いつでも作成できます。新規ブックの作成については、下記の手順に従ってくだ さい。

- 1 ファイル>新規>ブックを選択します。
- ダイアログボックスのコントロールを使用して、新規ブックファイルの場所を指定します。
- 3 ブック名/ファイル名フィールドに、ブックの名前を入力します。
- **4 作成**をクリックします。開いているすべてのドキュメントの前面に、新しいブックがウィンドウとして表示されます。
- ブックファイルを共有の場所に保存すると、複数のユーザーがブックを開いてチャプター を編集できます。マルチユーザー環境でブックの機能を使用するには、すべてのユーザー が同じパスを使用してそれぞれのコンピュータからブックにアクセスする必要がありま す。つまり、ブックは、そのブックにアクセスする任意のユーザーのコンピュータ上では なく、共通のネットワークサーバー上に保存する必要があります。

#### チャプターの使用

ブックには、チャプターと呼ばれる個々のQuarkXPressドキュメントが含まれます。チャ プターを作成するには、開いたブックにドキュメントを追加します。チャプターは、**ファ イル**メニューの開くコマンドではなく、**ブック**パレットで開きます。ブック内でチャプ ターを並び替えたり、ブックからチャプターを削除したりできます。ブックのチャプター は、そのブックと同じボリュームに保存する必要があります。

## ブックへのチャプターの追加

1つのブックにはチャプターを1,000個まで追加できます。開いているブックにチャプ ターを追加するには、下記の手順に従ってください。

- 1 **ブック**パレットで**チャプターの追加**ボタン¹をクリックします。
- 2 ダイアログボックス内のコントロールを使用して、ブックに追加する最初のドキュメントの場所を指定します。ブックに追加する最初のチャプターは、デフォルトでそのブックのマスターチャプターになります。マスターチャプターにより、ブック全体で使用されるスタイルシート、カラー、ハイフネーション&ジャスティフィケーション仕様、リスト、およびダッシュ&ストライプが定義されます。これらの属性は、マスターチャプターに固有のものであり、マスター以外のチャプターの属性はマスターチャプターの属性に依存しません。

- 3 リストでドキュメントを選択し、追加をクリックします。ドキュメントが以前のバージョンのQuarkXPressで作成されている場合は、ドキュメントを追加すると現在の形式に更新されることを示す警告メッセージが表示されます。OKをクリックすると、ドキュメントが更新され、QuarkXPressのブックチャプターとして再保存されます。
- 4 手順1~3を繰り返してブックに他のチャプターを追加します。

チャプターを追加すると、それらのチャプターが**ブック**パレットのリストに表示されま す。**チャプターの追加**ボタン¹¹をクリックするときに**ブック**パレットでチャプターが選 択されていると、そのチャプターの直後に次のチャプターが自動的に追加されます。チャ プターが選択されていない場合は、リストの最後に次のチャプターが追加されます。

チャプターは1つのブックにのみ属することができます。別のブックのチャプターも使用 する場合は、新規保存コマンド(ファイルメニュー)を使用してドキュメントのコピー を作成します。ドキュメントのコピーを他のブックに追加します。別のブックのチャプ ターを配置すると、ブックのページ番号設定が変更されることがあります。

### チャプターの状況

ブックにチャプターを作成すると、**ブック**パレットを使用して、チャプターを開いたり 閉じたり、追跡できるようになります。**ブック**パレットの**状況**列には、各チャプターの 現在の状況が表示されます。

- •利用可能は、チャプターを開けることを示します。
- **開く**は、コンピュータ上でチャプターが既に開いていることを示します。
- [**ユーザー名**]は、他のユーザーがチャプターを開いていることを示します。ユーザー 名は、ユーザーのコンピュータに割り当てられている名前です。ファイル共有とコ ンピュータの命名については、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください。
- 変更は、ブックのチャプターが別途開かれ、編集されていることを示します。状況 を利用可能に更新するには、ブックパレットでチャプターを再度開いて閉じます。
- 移動は、チャプターのファイルがブックに追加されてから移動していることを示し ます。チャプター名をダブルクリックしてダイアログボックスが表示されたら、ファ イルを探してください。

## ブック内でチャプターを開く

複数のユーザーで同じブックを開くことはできても、1つのチャプターは同時に1人しか 開けません。チャプターを開くには、**状況**欄にそのチャプターが**利用可能**または**変更**と 表示されている必要があります。利用可能なチャプターを開くには、そのチャプターの 名前をダブルクリックします。

## ブックの外からチャプターを開く

ブックが保管されているネットワーク外のコンピュータで作業する必要がある場合、た とえば、自宅でチャプターを編集する必要がある場合など、そのブックから独立してチャ プターのコピーで作業できます。そのチャプターの作業が完了したら、ネットワーク上 の元の場所にコピーして戻します。この場合、**ブック**パレットには**変更**として表示され ます。 コピーの編集中に、別のユーザーが元のチャプターを編集してしまわないように、元の チャプターを別のフォルダに配置すれば、そのチャプターの状況は、ブックパレットで移 動と表示されます。

#### ブック内のチャプターを並べ替える

ブック内のチャプターの順序は、状況に関係なくいつでも入れ替えることができます。 チャプター順を変えると、自動ページ番号が更新されます。チャプター名をクリックし て選択し、**ブック**パレットの**チャプターを移動**ボタン**介、**◆をクリックします。選択し たチャプターが1行上または下に移動します。

#### ブックからのチャプターの消去

チャプターは、いつでもブックから消去できます。チャプター名をクリックして選択し、 次に**チャプターの消去**ボタン 一をクリックします。チャプター名が**ブック**パレットから 消去され、そのチャプターへのリンクが切れます。そのチャプターは、通常のQuarkXPress ドキュメントになります。

#### ページ番号の制御

セクションがある(ページ>セクション)チャプターをブックに追加した場合、セクショ ンとページ番号は維持されます。たとえば、ブックの各チャプターを新しいセクション にすることができます。チャプターにセクションがない場合、ブックの続きページ番号 がチャプターに割り当てられます。たとえば、ブックの最初のチャプターの長さが10ペー ジの場合、2番目のチャプターは11ページから始まります。

セクションの追加と削除を行うことで、ブックのページ番号を変更できます。ドキュメ ントページに自動ページ番号文字がある場合、そのページには適切なページ番号が表示 されます。

## セクション分けされたチャプターの使用

チャプターにセクションスタートが設定されている場合、セクションのページ番号設定 は、QuarkXPressが新しいセクションスタートを検出するまで、ブック全体で有効な状 態が続きます。たとえば、ブックの最初のチャプターが、ページ番号に接頭辞「A」が付 いているセクションである場合は、QuarkXPressが新しいセクションを検出するまで、 後続のチャプターのすべてのページに接頭辞「A」が付けられます。この例では、2番目 のチャプターが接頭辞「B」の付いた新しいセクションになります。

ブックのチャプターのセクションは、いつでも追加、変更、および削除できます(**ペー** ジ>セクション)。ブック内のすべてのチャプターからすべてのセクションを削除する と、そのブックは連続ページ番号設定を逆転させます。

ブックパレットでチャプターのページ番号を表示するには、自動ページ番号設定を使用する必要があります。

#### セクションを含まないチャプターの使用

チャプターにセクションが含まれていない場合、QuarkXPressは各チャプターの最初の ページで「ブックチャプタースタート」を作成します。ブックチャプタースタートがあ ると、そのチャプターのページ番号は、直前のチャプターの最終ページ番号の次から始 まります。ブックチャプタースタートを無効にしてセクションを作成するには、チャプ ターを開いてページ>セクションを選択します。チャプターにページを追加したり、チャ プターの順序を並べ替えたり、またはチャプターを削除したりすると、後続のページや チャプターはこのセクションスタートに応じて番号付けされます。

出力されるチャプターページにブックのページ番号設定が正確に反映されるようにするため、ページ番号は現在のページ番号文字を使用して挿入してください。

ブックを開くユーザーは、チャプターを追加、並べ替え、および削除できます。また、 チャプターにセクションを追加して、連続ページ番号設定を無効にしたり、チャプター を同期したりすることもできます。このような作業はひとりのユーザー(編集者など) に割り当て、他のユーザーには、パレットでチャプターを開いたり閉じたりする作業だ けを行うよう依頼できます。

関連付けられたQuarkXPressブックの外部でチャプターを開く、つまり**ブック**パレット を使用してチャプターを開かなかった場合は、ページ番号が一時的に変更されます。チャ プターの区切りを越えてページ番号を自動的に更新するブックチャプタースタートが含 まれている場合は、ブックの外部で編集している間、そのチャプターのページ番号は1か ら始まります。**ブック**パレットを使用して同じチャプターを再び開くと、ページ番号は 自動的に更新されます。チャプターに通常のセクションスタートがある場合は、ブック の外部で編集するときでもページ番号は変わりません。

#### チャプターの同期

ブックのチャプターで使用されているスタイルシート、カラー、H&J(ハイフネーショ ンジャスティフィケーション)、リスト、ダッシュおよびストライプをすべて統一する には、マスターチャプターの仕様に一致させます。デフォルトでは、ブックの最初のチャ プターがマスターチャプターになりますが、マスターチャプターはいつでも変更できま す。

チャプターを同期すると、各チャプターのすべての仕様がマスターチャプターの仕様と 比較され、必要に応じて変更されます。チャプターを同期した後は、ブックの各チャプ ターは、マスターチャプターと同じスタイルシート、カラー、H&J、リスト、ダッシュ およびストライプを持つようになります。

## マスターチャプターの指定

デフォルトでは、ブックに追加する最初のチャプターがマスターチャプターになります。 マスターチャプターは、**ブック**パレットのチャプター名の左にMが付いて示されます。 マスターチャプターを変更するには、新しいマスターチャプターをクリックして選択し ます。次に、そのチャプター名の左の空白の領域をクリックすると、マスターチャプター アイコンのMが新しいチャプターに移動します。

### 仕様の同期

ブック内の仕様を同期する前に、まずスタイルシート、カラー、ハイフネーションとジャ スティフィケーションの仕様、リスト、およびダッシュとストライブが現在のマスター チャプターで正しく定義されていることを確認してください。次に、下記の手順に従っ てください。

- 1 ブックのすべてのチャプターの状況が、**利用可能**になっていることを確認します。利用 可能になっていない場合、そのチャプターの仕様は同期されません。
- 2 同期するチャプターを選択します。連続するチャプターの範囲を選択するには、最初の チャプターをクリックした後に、Shiftキーを押しながら範囲の最後のチャプターをクリッ

クします。連続しない複数のチャプターを選択するには、Command/Ctrlキーを押しながら、それぞれのチャプターをクリックします。

- 3 **ブック**パレットで**ブックを同期**ボタン たクリックします。選択チャプターを同期ダイ アログボックスが表示されます。
- 4 スタイルシート、カラー、H&J、リスト、またはダッシュ&ストライプタブをクリック して、リストから仕様を選択します。利用可能リストに適切な仕様がすべて表示されま す。同期する仕様を選択してダブルクリックするか、矢印をクリックしてそれらを使用 列まで移動します。
- 5 選択チャプターを同期ダイアログボックスですべての仕様を同期するには、全て統一ボ タンをクリックします。
- 6 OKをクリックします。ブックの各チャプターが開かれ、マスターチャプターと比較され た後、必要に応じて変更され、保存されます。チャプターを同期すると、下記のように 変更が行われます。
  - 同じ名前の仕様が比較されます。必要に応じて、マスターチャプターの仕様と一致 するようにチャプター仕様が編集されます。
  - マスターチャプターに含まれてる仕様が他のチャプターに含まれていない場合は、 追加されます。
  - 他のチャプターに含まれている仕様で、マスターチャプターで定義されていないものは変更されません。
- ブックの仕様に影響を及ぼす変更を行う場合は、チャプターを再同期する必要があります。
- ブックの仕様に対して一括変更を行う場合は、同期を使用できます。たとえば、ブック全体で使用するスポットカラーを変更する場合は、カラーの定義をマスターチャプターで変更してから、ブックを同期ボタン型をクリックします。

## チャプターの印刷

**ブック**パレットには、同じ設定を使用する複数のチャプターをすばやく印刷する機能が 用意されています。**ブック**パレットでは、ブック全体を印刷することも一部のチャプター のみを印刷することもできます。開いているブックのチャプターの印刷については、下 記の手順に従ってください。

- 1 印刷するチャプターの状況が、**利用可能**または**オープン**になっていることを確認します。 状況が**移動**になっているチャプターや、現在他のユーザーによって使用されているチャ プターは印刷できません。
- 2 ブック全体を印刷する場合は、チャプターを選択しないようにしてください。1つのチャ プターを選択する場合は、そのチャプターをクリックします。連続する複数のチャプター を選択する場合は、Shiftキーを押しながらチャプターをクリックします。連続しない複 数のチャプターを選択する場合は、Command/Ctrlキーを押しながらチャプターをク リックします。
- 3 **ブック**パレットのチャプター印刷ボタン 巻をクリックして、印刷ダイアログボックスを 表示します。

- 4 選択した全チャプターのすべてのページを印刷するには、ページドロップダウンメニューから全てを選択します。
- 5 他の印刷設定を指定するか、**印刷書式**ドロップダウンメニューからオプションを選択し ます。すべてのページまたはチャプターが、ここで設定した値を使用して印刷されます。
- 6 OKをクリックします。QuarkXPressは、すべてのチャプターを開き、印刷してから、 各チャプターを閉じます。チャプターが移動されている場合や他のユーザーによって使 用されている場合は、ブックは印刷されません。
- 印刷ダイアログボックスなどのページ番号を入力するフィールドでは、接頭辞も含む完全なページ番号、または絶対ページ番号を入力する必要があります。絶対ページ番号とは、ドキュメントのセクション分けの方法に関係なく、ドキュメントの最初のページに対する相対的な位置を表したものです。ダイアログボックスで絶対ページ番号を指定するには、ページ番号の前にプラス(+)記号を入力します。たとえば、ドキュメントの最初のページを表示する場合は、「+1」と入力します。

### ブックからPDFを生成する

**ブック**パレットでは、PDFを簡単に生成できます。ブック全体に基いて単一のPDFを生成 することも、選択した章について別々のPDFを生成することもできます。PDFを生成する には、下記の手順に従ってください。

- 1 PDFに含めるチャプターの状況が、利用可能またはオープンになっていることを確認します。状況が移動になっているチャプターや、現在他のユーザーによって使用されているチャプターは使用できません。
- 2 ブック全体を含める場合は、チャプターを選択しないようにしてください。1つの章を選択する場合は、そのチャプターをクリックします。連続する複数のチャプターを選択する場合は、Shiftキーを押しながらチャプターをクリックします。連続しない複数のチャプターを選択する場合は、Command/Ctrlキーを押しながらチャプターをクリックします。
- 3 PDFとして書き出しボタンの横には、単一ファイルチェックボックス × があります。
  - チェックボックスをオンにすると、すべてのチャプター、または選択したチャプター について単一のPDFが生成されます。PDFのファイル名を入力するよう求められま す。
  - チェックボックスをオフのままにすると、章ごとに複数のPDFが生成されます。PDFのファイル名を入力するよう求められ、最初の章はその名前で書き出され、以後の章はその名前に_002、_003などの接尾辞が付けられます。
- 4 ブックパレットのPDFとして書き出しボタン をクリックして、PDFとして書き出し ダイアログボックスを表示します。
- 5 選択した全チャプターのすべてのページを印刷するには、ページドロップダウンメニュー から全てを選択します。
- 6 PDFのスタイルドロップダウンメニューからオプションを選択します。すべてのページ またはチャプターが、ここで設定した値を使用して印刷されます。

- **7 書き出し後にPDFを開く**チェックボックスをオンにすると、ファイルが書き出された後 でPDFが開きます。
- 8 他のPDF出力オプションを指定するには、オプションをクリックします。
- 9 OKをクリックします。QuarkXPressはすべての章を開き、PDFを生成してから各チャ プターを閉じます。章が移動されている場合や他のユーザーによって使用されている場 合は、PDFは作成されません。
- PDFとして書き出しダイアログボックスなどのページ番号を入力するフィールドでは、 接頭辞も含む完全なページ番号、または絶対ページ番号を入力する必要があります。絶対 ページ番号とは、ドキュメントのセクション分けの方法に関係なく、ドキュメントの最初 のページに対する相対的な位置を表したものです。ダイアログボックスで絶対ページ番号 を指定するには、ページ番号の前にプラス(+)記号を入力します。たとえば、ドキュメ ントの最初のページを表示する場合は、「+1」と入力します。

## ブックの索引と目次の作成

QuarkXPressでは、ブック全体の索引と目次を生成できます。これらの機能は**ブック**パレットではなく、リストと索引機能によって実現されています。ただし、完全なリストや索引を生成するには、ブックのすべてのチャプターが**利用可能**である必要があります。

#### ブックの索引

Index QuarkXTensionsが読み込まれていると、索引機能が利用できます。索引を作成 するには、**索引**パレット(**表示**メニュー)を使用して、テキストを索引見出し語として タグ付けします。索引の約物は**索引の環境設定**ダイアログボックス(**QuarkXPress/編 集 > 環境設定 > 索引**)で指定します。ブックが完成したら、**索引の作成**ダイアログボッ クス(**ユーティリティ** メニュー)を使用して索引を生成します。

## ブックのリスト

QuarkXPressでは、リストは、特定の段落スタイルシートでスタイル設定されたテキス トを編集したものです。たとえば、「チャプター名」スタイルシートのすべてのテキス トおよび「セクションヘッド」スタイルシートのすべてのテキストをコンパイルして、2 つのレベルを持つ目次を作成できます。リストは目次だけに限定されるものではありま せん。たとえば、キャプションに使用されているスタイルシートからイラストのリスト を作成できます。リストの作成には、**編集**メニューの**リスト**ダイアログボックスおよび **表示**メニューの**リスト**パレットを使用します。

## ライブラリの使用

ライブラリは、ロゴ、出版物の発行人欄、登録商標の表記、および写真などの頻繁に使用されるページアイテムを保管するのに便利です。個々のライブラリにはアイテムを2000まで保存できます。ライブラリのアイテムは、テキストボックス、テキストパス、画像ボックス、ライン、複数選択されたアイテム、またはグループです。ライブラリーのアイテムを出し入れするには、単にドラッグするか、またはカット/コピー&ペーストを実行します。

ライブラリは、レイアウトで随時必要とされるアイテムを保管するのに便利です。たと えば、会社のロゴ、法的情報、一般によく使用される画像やテキスト、図表の書式、お よびクリップアートは、すべて一般的なライブラリアイテムに含まれます。記憶するのが難しい書式のアイテムもライブラリに保存できます。

**ライブラリ**パレットのスクロールバーを使用して、ライブラリのアイテム全体を縦方向 にスクロールします。サイズを変更するには、**ライブラリ**パレットの右下にあるサイズ 変更ボックスをドラッグします。**ライブラリ**パレットは、ズームボックスをクリックし て拡張できます。もう一度ズームボックスをクリックすると、前の表示に戻ります。

My Library.qxl	$\Box \times \Box$
名前(L) 編集(E)	
ппп	
nnnn	
•	

## **ライブラリ**パレット

QuarkXPressのライブラリはクロスプラットフォームではないため、ライブラリを開く には、作成されたときのプラットフォームを使用する必要があります。

## ライブラリの作成

新規ライブラリはいつでも作成できますが、その時点で開いているファイル数が25より 少ない場合に限ります。新規ライブラリの作成については、下記の手順に従ってください。

- 1 ファイル > 新規 > ライブラリを選択します。
- ➡ 作成した新規ライブラリは、手動で閉じるまで開いたままです。QuarkXPressを起動す ると、以前に開いていたライブラリーパレットが自動的に再度開かれ、デフォルトのライ ブラリ位置に置かれます。
  - **2** ダイアログボックスのコントロールを使用して、新規ライブラリファイルの場所を指定 します。
  - 3 ライブラリ名/ファイル名フィールドに、ライブラリの名前を入力します。
- 4 作成をクリックします。
- ライブラリアイテムの追加

ライブラリにアイテムを追加すると、アイテムのコピーがライブラリに配置され、サム ネールとして表示されます。元のアイテムはドキュメントから削除されません。ライブ ラリにアイテムを追加するには、下記の手順に従ってください。

- 1 アイテムツールを選択します。
- 2 ライブラリに配置するアイテムまたはアイテムのグループを選択します。複数のアイテムを選択するには、Shiftキーを押しながら各アイテムをクリックします。ただし、複数のアイテムを選択すると、別個のアイテムとしてではなく1つのアイテムとしてライブラリに保存されます。
- **3** ライブラリにアイテムまたはグループをドラッグし、ライブラリポインタGPが表示され たらマウスボタンを放します。ライブラリアイテムが矢印アイコンの間に配置されます。

### ライブラリアイテムの検索

ライブラリアイテムをドキュメントに配置するには、任意のツールを選択してライブラ リアイテムをクリックします。アイテムをドキュメントにドラッグします。ライブラリ アイテムのコピーがドキュメントに配置されます。

### ライブラリアイテムの操作

ライブラリのアイテムを並び替えたり、アイテムを1つのライブラリから別のライブラリ に移動したり、ライブラリアイテムを置換または削除したりすることができます。

- ライブラリのアイテムを並び替えるには、アイテムをクリックして新しい位置にド ラッグします。
- アイテムを1つのライブラリから別のライブラリにコピーするには、アイテムをク リックし、開いた別のライブラリにドラッグします。
- ライブラリのアイテムを置き換えるには、ドキュメントで置き換えるアイテムを選 択してから、編集>コピーを選択します。ライブラリのアイテムをクリックして選 択し、編集>ペーストを選択します。
- Mac OS Xでライブラリからアイテムを削除するには、アイテムをクリックしてから編集>クリア、編集>カットを選択するか、Deleteキーを押します。Windowsでライブラリからアイテムを削除するには、ライブラリパレットメニューの編集> 削除または編集>カットを選択します。
- (Windowsのみ): Windowsでライブラリのアイテムをコピー、ペースト、または削除するには、ライブラリパレット上部の編集メニューを使用します。
- ドキュメントに高解像度の画像をインポートした後で、その画像を移動する場合、ライブ ラリアイテムをドキュメントに移動するときに補助メニューの使用状況コマンドで画像へ のパスを更新する必要があります。

## ラベルの使用

QuarkXPressでは、ライブラリアイテムにラベルを適用して管理できます。複数のアイ テムに同じラベルを適用できます。また、そのラベルに従ってライブラリアイテムを選 択して表示できます。たとえば、ライブラリに企業ロゴが多数保存されている場合、そ れぞれのアイテムに該当する企業名をラベル付けできます。

### ライブラリアイテムの命名

ライブラリアイテムの1つに名前を付けた後、その名前を他のアイテムにも使用できま す。または、ライブラリアイテムのそれぞれに固有の名前を付けることもできます。ラ イブラリアイテムの命名については、下記の手順に従ってください。

- ライブラリアイテムをダブルクリックして、ライブラリ登録ダイアログボックスを表示します。
- 2 名前フィールドに記述名を入力するか、名前リストから選択します。ライブラリアイテ ムの名前を変更するには、新しい名前を入力するか、リストから別の名前を選択します。
- **3 OK**をクリックします。

### 名前別のライブラリ見出し語の表示

見出し語を名前別に表示するには、**ライブラリ**パレットの左上にあるドロップダウンメ ニュー(Mac OS X)、または**ラベル**メニュー(Windows)をクリックします。表示 する、見出し語に関連付けられた名前を選択します。

- メニューには全ての、名前なし、および作成して見出し語に適用したすべてのラベルが一覧されます。
- 複数の名前を選択して、複数カテゴリの見出し語を表示できます。この場合、選択した各名前の隣にチェックマークが表示されます。
- Mac OS Xでは、複数の名前を選択すると、ドロップダウンメニューに混合ラベル が表示されます。Windowsでは、ラベルメニューを選択すると、パレットに表示 されている名前の横にチェックマークが表示されます。
- •名前に関わらずすべてのライブラリ見出しを表示するには、全てのを選択します。
- 名前が適用されていない見出しを表示するには、**名前なし**を選択します。別の名前 に加えて、**名前なし**を選択できます。
- ラベルが適用されている見出し語を非表示にするには、再度名前を選択します。

#### ライブラリの保存

ライブラリパレットの閉じるボックスをクリックすると、ライブラリに対して行った変 更が自動的に保存されます。ライブラリへの自動保存機能を使用して、各変更をオンザ フライで保存することもできます。ライブラリへの自動保存機能の使用については、下 記の手順に従ってください。

- 1 QuarkXPress/編集 > 環境設定を選択して、左側にあるリストから保存をクリックして、保存ペインを表示します。
- 2 ライブラリへの自動保存チェックボックスをオンにします。
- 3 OKをクリックします。

### Guide Manager Pro XTensionsソフトウェア

Guide Manager Proを使用すると、オンスクリーンガイドの作成および編集において精度の高い制御を行えます。ガイドの位置、水平または垂直方向、ページまたはスプレッド全体への適用、表示カラー、およびガイドが表示されるときの表示倍率を指定できます。ガイドの編集、コピー、ペースト、ガイドの左右反転、グリッドおよびガイドの行と列の作成、ボックスからのガイドの作成、ブリードおよびセーフティガイドの追加を行えます。

このXTensionsによって、QuarkXPressに**ガイド**パレット(**ウィンドウ**メニュー)が追加されます。

「*ガイドの使用*」を参照してください。

### ガイドパレットの使用

ガイドパレットによって、ガイドを強力に操作できます。

÷ 🖶 🗄		🗹 🔁 🗆		ť
スプレッド	ページ	ロケーション	カラー	縮小率
₹1				
		-3p.999	📃 🔶	0%
	1	-3p.999	<b>•</b> •	0%
	1	-51p.999	🗖 🗧	0%
<b>≥</b> 2				
▶ 3				
▶ 4				
▶ 5				
▶ 6				
▶ 7				
▶ 8				
▶ 9				

## **ガイド**パレット

ガイドパレットは下記のとおり機能します。

- パレット上部全体を左から右まで制御します。新規ガイドの作成、ガイドの左右反 転、水平ガイドの表示、垂直ガイドの表示、現在のガイドのみの表示、およびガイ ドの削除を行えます。
- 属性でガイドを並べ替えるには、並べ替える属性の列の見出しをクリックします。
- パレットに情報の列を追加するには、列のリストの右側にある**列選択**ボタンからオ プションを選択します。
- スプレッド列に、レイアウトのページ番号またはスプレッド番号が表示されます。
   ページまたはスプレッドを表示するには、スプレッド列でそのスプレッドをクリックします。パレットにスプレッドのガイドを表示するには、スプレッドの隣の矢印をクリックします。ガイドを編集するには、そのガイドをダブルクリックします。
- 編集オプションのコンテキストメニューを表示するには、各列でControlキー+ク リック/右クリックします。たとえば、ガイド列のコンテキストメニューには、ガ

イドをカット、ガイドをコピー、ガイドをペースト、ガイドを削除、およびすべて のガイドを選択オプションが含まれます。

パレットメニューのオプションについての詳細は、「*ガイドパレットメニュー*」を参照 してください。

ガイドがオンスクリーンで表示されているかどうかに関係なく、下記のように、ガイド パレット(ウィンドウメニュー)でこれらを使用できます。

- ページまたはスプレッドのガイドを表示するには、ガイド列のそのページまたはスプレッドの隣にある矢印をクリックします。
- すべてのページまたはスプレッドのガイドを表示するには、スプレッドの隣にある 矢印をOptionキー/Altキー+クリックします。
- ・ 垂直または水平ガイドのみを表示するには、パレットメニューから垂直ガイドを表示または水平ガイドを表示を選択します。すべてのガイドを表示するには、両方を選択します。
- ページガイドのみ(単一行に制限された水平ガイド)またはスプレッドガイドのみ (スプレッド内のすべてのページを含む水平ガイド)を表示するには、パレットメニューからページガイドを表示またはスプレッドガイドを表示を選択します。すべてのガイドを表示するには、両方を選択します。
- プロジェクトウィンドウに表示されるページまたはスプレッドにガイドのみを表示 するには、パレットメニューから現在のガイドのみを表示を選択します。

### ガイドパレットメニュー

ガイドパレットメニューには、下記のオプションが含まれます。

- 新規ガイド:新規ガイドを作成できます。「Guide Manager Proを使用したガイ ドの作成」を参照してください。
- ガイドをカット:選択されたガイドを切り取ります。
- ガイドをコピー:選択されたガイドをクリップボードにコピーします。
- ガイドをペースト:アクティブなページまたはスプレッドに、現在クリップボード に保存されたガイドをペーストします。
- すべて選択:アクティブなページまたはスプレッドのすべてのガイドを選択します。
- ガイドを左右反転:ページまたはスプレッドの反対側に、選択したガイドをコピー します。
- ガイドを削除:選択したガイドを削除します。
- グリッドの作成:グリッドを作成できます。「Guide Manager Proを使用したグ リッドの作成」を参照してください。
- 行と列の作成:ガイドの行と列を作成できます。「ガイドの行と列の作成」を参照 してください。
- ボックスからのガイドの作成:ボックスからガイドを作成できます。「Guide Manager Proを使用したガイドの作成」を参照してください。
- ブリードとセーフティガイドの作成:ブリードおよびセーフティガイドを作成できます。「ブリードとセーフティガイドの作成」を参照してください。
- 垂直ガイドを表示/隠す:垂直ガイドを表示する、または隠します。

- **水平ガイドを表示/隠す**:水平ガイドを表示する、または隠します。
- ページガイドを表示/隠す:アクティブなページのガイドを表示する、または隠します。
- スプレッドガイドを表示/隠す:アクティブなスプレッドのガイドを表示する、または隠します。
- ガイド前面:ページコンテンツの前とページコンテンツの後ろのいずれかにガイド およびページグリッドを切り替えます。
- ガイドへの吸着:ガイドへの吸着機能をオンまたはオフにします。
- ガイド吸着距離:ガイドへの吸着機能のガイド吸着距離を制御します。
- カラーの編集: Guide Manager Proで作成されたガイドに利用できるカラーを編 集できます。
- **取り込み**:書き出されたガイドファイルのガイドを取り込みます。
- 書き出し:別のファイルにガイドを書き出します。

「*ガイドの使用*」も参照してください。

### Guide Manager Proを使用したガイドの作成

Guide Manager Proでは、2つの方法によってガイドを作成します。

・ Guide Manager Proを使用して数的にガイドを作成するには、ガイドパレットの 上部にある新規ガイドの作成ボタンをクリックするか、パレットメニューから新規 を選択します。ガイド属性ダイアログボックスを使用して、ロケーション、効果、 およびガイドタイプを指定します。また、ガイドが表示される表示倍率を指定する こともできます(デフォルト値の0%で、ガイドは常に表示されます)。ガイドの色 を選択し、マウスでガイドが移動できないようにガイドをロックするかどうかを指 定します。プレビューをクリックしてガイドを作成する前に画面上で確認し、OKを クリックします。

位置: 384 px	方向: 🔵 水平方向
	• 垂直方向
種類: • ページ	カラー: 📘 デフォルト 🗘
○ スプレッド	表示倍率: 0% 🗌 ロック
	and the second

#### ガイド属性ダイアログボックス

ガイド属性ダイアログボックスは、レイアウトの既存のガイドをダブルクリックして表示 することもできます。 ボックスの境界から自動的にガイドを作成するには、ボックスを選択してから、パレットメニューからボックスからのガイドの作成を選択します。ボックスからのガイドの作成コントロールを使用して、ボックスの上、下、左、および右に配置されるガイドの位置を調整します。その他のコントロールもガイド属性ダイアログボックスと同様に機能します。

ボックス	からグリッドを作成する
ボックス	
✓ ⊥: 129 px	☑ 左: 222 px
✓下: 512 px	✓ 右: 600 px
種類: <ul> <li> ページ </li> <li> スプレッド </li> </ul>	カラー: <b>フォルト キ</b> 表示倍率: 0% ロック
□ プレビュー	キャンセル OK

**ボックスからのガイドの作成**は、任意の図形ボックスの方形境界周囲にガイドを作成す るためのオプションを提供します。

# Guide Manager Proを使用したグリッドの作成

Guide Manager Proを使用すると、ページおよびスプレッドに、均等間隔のガイドのグリッドを素早く作成することができます。

000	プロジェクト1:	レイアウト 1		H.
↓ 0 17ウト 1 ↓ 0 100 20 ↓ 100 100 100	40 60 80 100	120 140 1	60	00
				Ξ.
20				
4				
<u>6</u>				
1 2 0				
1				
1 8 1				
2				
20-				
2			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1				
2-6-				
				-
2-8-0-				
100% 1				

Guide Manager Proによって、このようなグリッドを簡単に作成できます。

アクティブなページまたはスプレッドへのグリッドの作成については、下記の手順に従っ てください。

1 ガイドパレットメニューからグリッドの作成を選択します。

	グリット	この作成	
グリッドライン			
☑ 水平方向		☑ 垂直方向	
□ 始点:	0 px	🗌 始点:	0 px
□ 最後:	1004 px	🗌 最後:	768 px
本数 💠	5	本数 💠	5
種類: ● ページ ○ スプレッド 範囲: ○ 現在 ● 開始: 1 ○ 全て	終了: 1	カラー: 🚺 デン 表示倍率: 0%	7オルト ÷
□ プレビュー		キャンセ	ОК

### **グリッドの作成**コントロール

- 2 グリッドライン領域で、水平方向または垂直方向をオンにします。
- 3 マージン内などの特定の位置からガイドを開始する場合は、**始点**または**終点**フィールド をオンにし、ページのエッジからガイドの始点および終点までの距離を入力します。
- 4 均等間隔のガイドを作成するには、数を選択し、フィールドに配置するガイドの数を入 力します。特定の距離間隔でガイドを作成するには、ガイド間の距離を選択して、フィー ルドに距離を入力します。
- 5 ガイド属性ダイアログボックスを使用するときに、種類、範囲、カラー、表示倍率およびロックコントロールを使用します(「Guide Manager Proを使用したガイドの作成」 を参照してください)。
- 6 プレビューをクリックしてグリッドをオンスクリーンで確認し、OKをクリックします。

### 行と列の作成

Guide Manager Proでは、コラム間隔を使用して、均等間隔のガイドの行と列を作成できます。アクティブなページまたはスプレッドにおけるガイドの行と列の作成については、下記の手順に従ってください。

1 ガイドパレットメニューから行と列の作成を選択します。

	行と列	を作成する
行数:	5 列数: 5	範囲: 💿 ページ境界
間隔:	0 mm 間隔: 0 mm	○ マージン
種類:	<ul> <li>● ページ</li> </ul>	カラー: 🚺 デフォルト 🔹
	○ スプレッド	表示倍率: 0% 🗌 ロック
範囲:	○ 現在	
	• 開始: 1 終了: 1	
	○ 全て	
□ プレビュー		キャンセル OK

### 行と列の作成ダイアログボックス

- 2 行数フィールドに水平方向の行の数を入力します。行間を空けるには、コラム間隔フィー ルドに値を入力します。
- 3 列数フィールドに垂直方向の列の数を入力します。列間を空けるには、コラム間隔フィー ルドに値を入力します。
- **4** マスターガイド内にガイドを作成するには、マージンをクリックします。作成しない場合は、ページの境界を選択された状態にします。
- 5 ガイド属性ダイアログボックスを使用するときに、種類、範囲、カラー、表示倍率およびロックコントロールを使用します(「*Guide Manager Proを使用したガイドの作成*」を参照してください)。
- 6 プレビューをクリックしてガイドをオンスクリーンで確認し、OKをクリックします。

### ブリードとセーフティガイドの作成

ブリードやセーフティガイドが必要な場合、ページサイズを変更したり、独自のガイド を描画したりせずに、Guide Manager Proを使用してブリードやセーフティガイドを追 加することができます。

հասերություն		հաստեսու	سسليس
	 		_

ここでは、赤のブリードガイドが、ページから9pt外側に配置されており、緑のセーフ ティガイドが、ページから9pt内側に配置されています。

アクティブなページでのブリードとセーフティガイドの作成については、下記の手順に 従ってください。

- 1 ガイドパレットメニューからブリードとセーフティガイドの作成を選択します。
- 2 ブリードガイドについては、ブリードをオンにし、ページ外側にどれくらいの距離でガ イドを配置するかを指定するコラム間隔フィールドに値を入力して、カラーメニューか らオプションを選択します。
- 3 セーフティガイドについては、セーフティをオンにし、ページの内側にどれくらいの距離でガイドを配置するかを指定するコラム間隔フィールドに値を入力して、カラーメニューからオプションを選択します。
- 4 ガイド属性ダイアログボックスを使用するときに、表示倍率およびロックコントロール を使用します(「*Guide Manager Proを使用したガイドの作成*」を参照してください)。
- 5 複数のページにブリードおよびセーフティガイドを適用するには、スプレッド範囲コン トロールを使用します。

ブリードガー	イドと安全性ガイドを作成する
₫ ブリード	□ 安全性
間隔: 0 pt	間隔: 0 pt
カラー: 📕 赤	カラー: □ デフォルト      キ
スプレッド範囲: ① 現在 ○ 開始: <u>1</u> ④ 全て	表示倍率: 0% 終了: 1
□ プレビュー	キャンセル OK

ブリードおよびセーフティガイドは、マスターページおよびレイアウトページに追加で きます。

6 プレビューをクリックしてガイドをオンスクリーンで確認し、OKをクリックします。

## Scale XTensionsソフトウェア

Scale XTensionsソフトウェアを使用すると、描画プログラムがオブジェクトのサイズ を変更するのと同様に、QuarkXPressのレイアウト、アイテム、コンテンツのサイズを すばやく変更できます。サイズ変更設定ダイアログボックスを使用して、サイズ変更の 対象であるテキスト、フレーム、オフセット、ラインの太さなどを指定できます。

Scale XTensionsソフトウェアにより、下記の機能がQuarkXPressに追加されます。

- アイテム>サイズ変更では、選択したアイテム(単数および複数)やグループに幅、 高さ、またはその両方を新たに指定できます。
- ウィンドウ>サイズ変更では、サイズ変更パレットが表示され、サイズ変更コマンドと同じ制御機能が利用できます。また、サイズ変更パレットを使用すると、レイアウト全体のサイズを変更できます。パレットメニューからサイズ変更(拡大)またはサイズ変更(縮小)を選択して、選択したアイテム(単数および複数)、グループ、レイアウトのサイズを5%ずつ拡大または縮小することもできます。

サイズ変更     X	× サイズ変更
幅: 100% パー・・・ / 『 縦: 100% パー・・・ / 『 設定・・・	幅: 100% パー ∨ 縦: 100% パー ∨ 編集前: 8.5" x 14"
編集前 サイズ変更 ―― 幅: 4.646" 幅: 4.646" 縦: 3.833" 縦: 3.833" OK キャンセル	サイズ変更 8.5" x 14" ☑ レイアウI サイズ変更

#### サイズ変更ダイアログボックスとサイズ変更パレット

サイズ変更ダイアログボックスとサイズ変更パレットはともに下記の機能を提供します。

- 現在のアイテムのサイズに対する割合(パーセント)、または現在の長さ単位で、 新しいサイズを指定して変更できます。幅および高さフィールドの右側にあるメニューからパーセントまたは単位を選択してから、フィールドに適切な値を入力します。
- 縦横比を保持しながらアイテムのサイズを変更するには、制限ボタンをクリックします。比率を制限した場合、高さオプションは使用できず、アイテムは幅フィールドの入力値に従って垂直方向および水平方向に同じ比率で拡大または縮小します。
- アイテムやグループの境界ボックスの編集前とサイズ変更後の大きさが表示されます(現在の単位で)。幅または高さフィールドで値を変更すれば、いつでもこれらの値を更新できます。
- サイズ変更設定を変更するには、サイズ変更ダイアログボックスの設定ボタンをクリックするか、サイズ変更パレットメニューからサイズ変更設定を選択します。サイズ変更設定ダイアログボックスが表示されます。各チェックボックスによって、特定のアイテムまたは属性がサイズ変更されるかどうかが制御されます。

サイズ語	変更設定
☑ テキストをサイズ変更	✓ 物理的な画像ポックスをサイズ変更
✓ 縦横比率の変更を許可	✓ 画像をサイズ変更
✓ 段落設定をサイズ変更	✓ フレームの幅を変更
☑ テキストチェーン全体をサイズ変更	✓ ラインの長さを変更
🗌 スタイルシートをサイズ変更	✓ ラインの幅を変更
☑ 物理的なテキストポックスをサイズ変更	□ 空のボックスのコンテンツをサイズ変更
☑ 回り込み始点を変更	○ 相対的な位置を保持
✓ テキストボックスの開始位置を変更	○ アイテムの中心に合わせる
✔ テキストポックスのコラム間隔を変更	✓ 物理的なテーブルをサイズ変更
✔ アンカーボックスをサイズ変更	✓ テーブルのグリッドをサイズ変更
	_
	キャンセル OK

#### **サイズ変更設定**ダイアログボックス

**サイズ変更**パレットでは、レイアウトチェックボックスをオンにすることでレイアウト 全体とその中のすべてについてサイズを変更できます。

Scale XTensionsでは、QuarkXPressが許可する範囲を超えて縮小または拡大されるようにアイテムのサイズを変更できます。こうしたアイテムは正しく表示されますが、

QuarkXPressのツールやコマンドで変更しようとすると、エラーメッセージが表示され ます。

- Scale XTensionsでは、同期されたすべてのアイテムがコンテンツパレット(ウィンドウ >コンテンツ)で使用できるわけではありません。共有アイテムのインスタンスは、Scale XTensionsの幅と高さのみを継承します。また、コンポジションゾーンを含むレイアウ ト全体のサイズ変更は実施しないでください。
- ➡ 回転したアイテムは、元のジオメトリに従ってサイズ変更されます。たとえば、45度回転している正方形ボックスの幅のみをサイズ変更する場合、期待していたであろう幅広の 菱形ではなく、回転した方形が作成されます。

### クローナーXTensionsソフトウェア

クローナーXTensionsソフトウェアを使用すると、選択したアイテムを別のページの同 じ場所や別のプロジェクトにコピーできます。また、個別のプロジェクトにページをコ ピーすることもできます。

クローナーを使用するには、最初に、クローンを作成するアイテムを選択します。ページのクローンを作成する場合は、すべてのアイテムを選択解除します。次に、**補助>ク**ローナーを選択して、**クローナー**ダイアログボックスを表示します。

クローナー
クローンのソース
○ 選択
<ul> <li>● ページ: すべて</li> </ul>
クローンの出力先
対象: 作業中レイアウト キ
開始ページ: 1 回数: 1
□ セクションを作成
・ 連続セクション
○ セクションを分割
▶ スタイルシートをコピー
[キャンセル] OK

#### **クローナー**ダイアログボックス

**クローンのソース**領域で、クローンを作成する対象を選択できます。選択したアイテム のクローンを作成するには、**選択**をクリックします。絶対位置で指定した、ページ範囲 のクローンを作成するには、ページをクリックします。

**クローンの出力先**領域で、クローンとして作成されたコンテンツの出力先を選択できます。対象ドロップダウンメニューから以下のオプションを選択します。

- 作業中レイアウト:選択したアイテムをこのレイアウト内の別の場所にコピーします。
- 既存プロジェクト:選択したアイテムまたはページを既存のQuarkXPressプロジェ クトにコピーします。

- 新規プロジェクト:選択したアイテムまたはページを新規QuarkXPressプロジェクトにコピーします。
- 新規レイアウト:選択したアイテムまたはページをこのQuarkXPressプロジェクトの新規レイアウトにコピーします。
- 単一ページに分割:指定した各ページから、1ページのプロジェクトファイルを作成 します。
- レイアウトをプロジェクトに分割:このプロジェクトの各レイアウトから、単一レイアウトのプロジェクトを作成します。
- すべての開いているレイアウト:選択したアイテムをこのプロジェクト内のすべてのレイアウトにコピーします。
- [**レイアウト名**]: 選択したアイテムまたはページを、指定したレイアウトにコピー します。

開始ページフィールドに対象ページを入力します。

選択内容のクローンを作成する場合は、**回数**フィールドを使用して、選択したアイテム に対して必要なコピー数を入力します。たとえば、**開始ページ**に2を設定し、**回数**に5を 設定した場合、2、3、4、5、6のページのコピーが作成されます。見開きページレイア ウトの場合、スプレッドの両側のコピーが作成されます。

ページのクローンを作成するときに、ページのクローンにセクションを作成するには、 **セクションを作成**をオンにして、下記のオプションを選択します。

- 連続セクション:別のセクションからのクローンであっても、ページのコピーはすべて、出力先のレイアウトで単独レイアウトとして保持します。
- セクションを分割:指定したページ範囲にセクション分割が含まれている場合、そのセクション分割をコピー内で保持します。

新規プロジェクトにクローンを作成する場合や、プロジェクトに分割する場合は、スタ イルシートをコピーをオンにして、新規レイアウトまたはプロジェクトに、ソースレイ アウトからのスタイルシートがすべて含まれるようにします。このボックスをオンにし ない場合は、使用されているスタイルシートのみがコピーされます。

## イメージグリッドXTensionsソフトウェア

イメージグリッドXTensionsソフトウェアを使用すると、イメージファイルのフォルダ からイメージのグリッドを自動的に作成できます。



### リンクスターで作成されたページ

アクティブなレイアウトでイメージグリッドを使用するには、**補助 > イメージグリッド** を選択します。**イメージグリッド**ダイアログボックスが表示されます。

イメージグリッド
新規ポックスのサイズと配置
ボックスのサイズ: 144 px 幅 144 px 高さ ギャップ: 5 px
● 自動サイズ調整: 4 行 3 列
○ 固定サイズ
○ 限界まで固定サイズでページをオートフィル
□ 画像情報を追加
□ 名前のみ □ 情報テキストのサイズ: 9 pt
□ ドロップシャドウを適用 オフセット: 5 px
ポックスの形状
〇         ツールの環境設定を使用
画像のサイズ
○ 取り込み倍率: 100% □ ボックスを画像に合わせる
<ul> <li>ボックスに合わせる(縦横比を保持)</li> </ul>
○ ボックスに合わせる
□ サブフォルダを含む
フォルダ キャンセル OK

### **イメージグリッド**ダイアログボックス

グリッドを構成するボックスのサイズを手作業で指定するには、ボックスのサイズフィー ルドに値を入力して、固定サイズをクリックします(自動サイズ調整をクリックした場 合は、ボックスのサイズの値は無視されます)。ギャップフィールドに、イメージとイ メージの間に必要なギャップを指定します。 グリッド内の行と列の数を指定してアプリケーションで自動的にボックスのサイズを合わせられるようにするには、自動サイズ調整をクリックして、行と列のフィールドに値を入力します。

縦横比に応じて自動的にボックスのサイズを合わせるには、ボックスのサイズ領域の値 を最大のサイズにして、限界まで固定サイズでページをオートフィルをクリックします。

画像情報を追加をオンにすると、各画像ボックスの下にキャプションのテキストボック スが追加され、画像ファイルの名前、解像度、ピクセル寸法、ファイルフォーマット、 カラースペースが表示されます。このキャプションを画像ファイルの名前だけにする場 合は、名前のみをオンにします。キャプションのテキストのサイズを制御するには、情 報テキストのサイズをオンにします(このボックスをオンにしない場合は、Normal文字 スタイルシートで指定したフォントサイズが使用されます)。

画像ボックスに自動ドロップシャドウを適用するには、**ドロップシャドウを適用**をオン にして、**オフセット**フィールドにドロップシャドウのオフセットを入力します。

**ボックスの形状**コントロールを使用すると、画像ボックスの形状を指定できます。ツー ルの環境設定(QuarkXPress/編集>環境設定>ツールタブ)で指定されている画像 ボックスの属性のデフォルト値を使用するには、ツールの環境設定を使用をオンにしま す。このボックスをオンにしない場合は、画像ボックスのバックグラウンドは白になり ます。

**画像のサイズ**領域では、下記のオプションのいずれかを使用できます。

- 取り込み倍率:画像を取り込むときの倍率を指定できます。画像に合うようにボックスのサイズも変更するには、ボックスを画像に合わせるをオンにします。この指定によって、新規ボックスのサイズと配置領域の一部の設定が上書きされる場合があります。
- ボックスに合わせる(縦横比を保持):縦横比を保持したまま画像をボックスに合わせます。
- ボックスに合わせる:縦横比を保持しないで画像をボックスに合わせます。

**サブフォルダを含む**をオンにすると、ターゲットフォルダのサブフォルダ内の画像も対 象になります。

ターゲットフォルダを選択してプロセスを開始するには、**プロセスフォルダ**をクリック します。現在選択されているターゲットフォルダでプロセスを開始するには、**OK**をク リックします。

### リンクスターXTensionsソフトウェア

リンクスターXTensionsソフトウェアでは、リフローを発生させずにテキストボックス とのリンクの設定やリンク解除ができます。

リンクスターを使用するには、最初に、リンクするアイテムまたはリンクを解除するア イテムを選択します。次に、**補助>リンクスター**を選択して、**リンクスター**ダイアログ ボックスを表示します。

リンクスター	
範囲	
○ 選択	
● ページ: すべて	
アクション	
• リンクを解除	
💿 45 🔀 5) 🕓 45 🔀 45)	
୦ <mark>ଓ ପ୍ରି</mark> ନ 🔿 କିନ୍ତି ନ	
) פעע	
<ul><li>テキストを同じボックスに保持</li></ul>	
(キャンセル) OK	

#### **リンクスター**ダイアログボックス

選択したアイテムのリンクを解除するには、**選択**をクリックします。絶対位置で指定した、ページ範囲のリンクを解除するには、ページをクリックします。

ストーリーのリンクを解除するには、**リンクを解除**をクリックしてから、以下のオプションのいずれかを選択します。

オプション1では、3つのストーリーが作成されます。選択したボックスの前のボックスに1つ、選択したボックスに1つ、選択したボックスの後のボックスに1つ作成されます。

## <-b Kg -->

オプション2では、2つのストーリーが作成されます。選択したボックスの前後のボックスに1つと、選択したボックスに1つ作成されます。

# <<u>6</u> 5

オプション3では、2つのストーリーが作成されます。選択したボックスの前のボックスと選択したボックスに1つと、選択したボックスの後のボックスに1つ作成されます。

## •⊊<mark>></mark>িি_ ি

オプション4では、2つのストーリーが作成されます。選択したボックスの前のボックスに1つと、選択したボックスと選択したボックスの後のボックスに1つ作成されます。

### <দ <mark>ি</mark>_ি্দ)

テキストボックスをリンクするには、**リンク**をクリックします。ページが選択されてい る場合、このオプションでは、リンクスターによってリンクが解除されたボックスのみ リンクされます。**選択**が選択されている場合、リンクスターでは、選択したボックスを、 選択した順序でリンクしようとします。

**テキストを同じボックスに保持**をクリックすると、リンク後の同じボックスにテキスト が保持されます。



レビューのためレーザープリンタでプルーフコピーを印刷する場合や、高解像度のイメージセッタやプレートセッターでフィルムや版の最終的な出力が必要な場合、QuarkXPress によって常に満足できる結果が得られます。QuarkXpress9およびそれ以降のバージョ ンではホストベースの分解がサポートされていませんが、In-RIP分解またはコンポジッ ト出力を使用して出力を続行できます。

## 印刷レイアウト

出版環境の多くでは、デスクトップのインクジェットプリンタからオフィスのレーザー プリンタやハイエンドのプレートセッタまで、さまざまな出力デバイスを使用して印刷 できます。以下のトピックでは、QuarkXPressを使用した印刷方法について説明します。

### 画像パスの更新

QuarkXPressでは、取り込まれた画像について、低解像度と高解像度の2種類の情報が 使用されます。低解像度の情報は、画像のプレビュー表示に使用します。印刷時に元の 画像ファイルに含まれる高解像度の情報は、その画像へのパスを使用してアクセスでき ます。

画像へのパスは、画像を取り込むときに確立されます。アプリケーションは、各画像パ スに関する情報と、画像の最終変更日の情報を保持します。

取り込み後に画像を移動または変更すると、**出力**コマンド(印刷、PDF、EPS、またはデ ジタル出力)、または**出力用ファイルの収集**コマンド(**ファイル**メニュー)を実行した ときに、警告メッセージが表示されます。

➡ 画像をプロジェクトと同じフォルダに保存する場合は、画像パスを維持する必要はありません。画像をアーティクルと同じフォルダに保存する場合は、画像パスを維持する必要はありません。アプリケーションでは、ドキュメントと同じフォルダに格納されている画像であれば、その画像が取り込み時に同じフォルダに格納されたかどうかに関係なく、常に「検索」できます。

## 印刷ダイアログボックスの制御に関する設定

印刷レイアウトでの印刷については、下記の手順に従ってください。

**1 ファイル>印刷**(Command+P/Ctrl+P)を選択します。**印刷**ダイアログボックスが表示されます。

- プリンタドライバを選択するには、プリンタドロップダウンメニューからオプションを 選択します。
  - Windows only: Clicking the Properties button opens a dialog box with controls specific to the selected printer driver.このダイアログボックスのオプ ション、またはプリンタのインストール方法についての詳細は、Microsoft Windows ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 以下のいずれかの方法で出力オプションを指定します。
  - 既存の印刷出力スタイルを使用するには、**印刷書式**ドロップダウンメニューからオ プションを選択します。
  - 手動で印刷オプションを構成するには、ダイアログボックス下部のコントロールを 使用します。印刷ダイアログボックスのこの部分はいくつかのペインに分かれてい ます。ペインを表示するには、左下のリストから名前をクリックします。詳細は、 「印刷ダイアログボックス」を参照してください。
  - 選択した印刷オプションを新しい出力スタイルとして保存するには、**印刷書式**ドロッ プダウンメニューから新規印刷出力スタイルを選択します。
- 4 印刷部数を指定するには、部数フィールドに値を入力します。
- 5 印刷対象のページを指定するには、ページフィールドに値を入力します。You can enter ranges of pages, non-sequential pages, or a combination of ranges and non-sequential pages for printing. Use commas and hyphens to define a sequential or non-sequential range of pages.たとえば、20ページのレイアウトがあり、3~9ページ、12~15ページ、および19ページを印刷する場合、ページフィールドに「3-9,12-15,19」と入力します。
- 6 奇数ページのみを印刷するか、偶数ページのみを印刷するか、すべてのページを印刷するかを指定するには、ページ選択ドロップダウンメニューからオプションを選択します。 全ての(デフォルト設定)を選択すると、関連ページがすべて印刷されます。奇数ページを選択すると、奇数ページのみが印刷されます。偶数ページを選択すると、偶数ページのみが印刷されます。
- 7 ドキュメントの印刷を拡大または縮小するには、**縮小率**フィールドに割合を入力します。 デフォルトは100%です。
- 8 レイアウトを2部以上印刷する場合で、1部ずつページ順に出力する場合、**丁合い**チェックボックスをオンにします。**丁合い**チェックボックスをオフにすると、各ページが一度に複数部印刷されます。
- **9** フィルムまたは用紙に横一列にスプレッド印刷する(隣接するページを平行に印刷する) には、**スプレッド**チェックボックスをオンにします。
- **10** 複数のページを含むレイアウトを逆の順に印刷するには、逆順チェックボックスをオン にします。レイアウトの最後のページが最初に印刷されます。
- 11 印刷領域に合わせるチェックボックスをオンにすると、選択したメディアの印刷可能領域に合わせてドキュメントでページのサイズが拡大または縮小します。
- **12** *Mac OS X only:* Click the **Printer** button to open the **Printer Driver** dialog box. 詳細は、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。
- 13 レイアウトを印刷するには、印刷をクリックします。

- 14 設定を保存しない場合、またはレイアウトを印刷しない場合は、キャンセルをクリック して印刷ダイアログボックスを閉じます。
- ➡ (Windowsのみ) 印刷ダイアログボックスの右上に、ページのプレビュー領域があり ます。この画像を使用して、出力デバイスでのページの表示方法をプレビューできます。

(Mac OS X only) The Print dialog has been enhanced to show the actual preview

### 印刷ダイアログボックス

印刷ダイアログボックスのペインについては、以下のトピックで説明します。

### デバイスペイン

PPDの選択やページの配置など、デバイス固有の設定を行うには、**デバイス**ペインを使用します。

- PPDを指定すると、用紙サイズ、横、および縦フィールドに、PPDから供給される デフォルトの情報が自動的に入力されます。イメージセッタでPPDを選択すると、 ページ間隔と用紙のオフセットフィールドも使用できるようになります。Windows では、PPDマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を使用して、PPDド ロップダウンメニューで使用できるPPDのリストをカスタマイズできます。 Mac OS Xでは、MAC HD > Library > Printers > PPDsフォルダにPPDをインストール し、QuarkXPressを再起動する必要があります。これで、印刷ダイアログボックス のPPDリストに、すべてのPDDが表示されるようになります。適切なPPDがない場 合、類似する汎用の組み込みPPDが選択されます。
- プリンタで使用するメディアのサイズを指定するには、用紙サイズドロップダウン メニューからサイズを選択します。
- プリンタでメディア縦横のサイズをカスタマイズするには、用紙サイズドロップダウンメニューからその他を選択し、横および縦フィールドに値を入力します。連続給紙または非ドラム式のイメージセッタに出力を送信する場合、縦フィールドを自動に設定します。
- 選択した出力メディアでドキュメントの位置を指定するには、設定位置ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- 選択したPPDのデフォルトの解像度が解像度フィールドに自動的に入力されます。
- イメージセッタの場合のみ:用紙のオフセットフィールドに値を入力し、ページの 左端がロールメディアの左端からオフセット(またはインセット)される距離を指 定します。
- イメージセッタの場合のみ:ページ間隔フィールドに値を入力し、ページをロール に印刷する場合のレイアウトのページ間隔を指定します。
- •ページ画像のネガを印刷する場合、ネガ印刷チェックボックスをオンにします。
- 出力中に報告されるPostScriptのエラー出力を受信するには、PostScriptエラーハンドラをオンにします。

ページペイン

ページ方向、タイリング、ページのフリップなどの関連オプションを指定するには、ペー ジペインを使用します。

- 縦置きモードと横置きモードのどちらで印刷するかを指定するには、方向ラジオボタン(縦置きまたは横置き)をクリックします。
- 空白のページを出力に含める場合は、空白ページを含むチェックボックスをオンにします。
- レイアウトの複数のページをサムネール表示(縮小)で印刷するには、サムネール チェックボックスをオンにします。
- 出力を縦と横のどちらかにフリップさせるには、ページフリップドロップダウンメニューからオプションを選択します。

セクション(タイル)に大きなレイアウトを印刷するには、ページタイリングドロップ ダウンメニューからオプションを選択します。アプリケーションでは、チェックマーク と位置情報がタイルごとに印刷されるため、組み直しの場合に便利です。

- ルーラーの元の位置を指定してページのタイリング方法を制御するには、手動を選 択します。
- アプリケーションでレイアウトのサイズ、メディアのサイズ、絶対オーバーラップ をオンにするかどうか、およびオーバーラップ幅フィールドの値に応じて、各ドキュ メントの印刷に必要なタイル数を決定するには、自動を選択します。オーバーラッ プ幅フィールドで入力する値は、アプリケーションで必要に応じてタイルを作成す る場合にページの拡大に使用する値です。絶対オーバーラップをオンにすると、ペー ジを拡大してタイルを作成する場合に、アプリケーションでオーバーラップ幅フィー ルドの値のみが使用されます。絶対オーバーラップをオフにすると、タイルの作成 時にアプリケーションでオーバーラップ幅フィールドの最小値が使用されますが、 より大きな値を必要に応じて使用する場合もあります。最終的な組み立てタイルの 中央にレイアウトを配置する場合は、絶対オーバーラップチェックボックスをオフ にします。

### 画像ペイン

画像の印刷方法を制御するには、画像ペインを使用します。

- ・ 画像の印刷方法を指定するには、出力ドロップダウンメニューからオプションを選択します。標準を選択すると、画像のソースファイルのデータを使用して高解像度で画像が出力されます。低解像度を選択すると、画像が画面のプレビューどおりの解像度で印刷されます。ラフを選択すると、画像が出力されず、フレーム付のボックスとその中の「X」がブレンドして印刷されます。そのため、画面では空の画像ボックスのように表示されます。
- ・印刷データの形式を指定するには、データドロップダウンメニューからオプションを選択します。バイナリ形式の場合、ドキュメントの印刷速度が上がりますが、
   ASCIIオプションの方が、さまざまなプリンタやプリントスプーラで読み取り可能な標準形式であるため簡単です。クリーン8ビットオプションでは、ASCIIとバイナリがさまざまなポータブルファイル形式で組み合わせられます。
- (EPSファイルのオーバープリント設定に関係なく)黒の要素すべてをEPS画像に強制的に取り込んでオーバープリントさせるには、EPSブラックのオーバープリント チェックボックスをオンにします。
- 1ビットのTIFFをフル解像度で(デバイスリストアイテムで指定した解像度を超えない範囲で)印刷するには、プリンタ解像度でTIFF出力チェックボックスをオンにし

ます。プリンタ解像度でTIFF出力チェックボックスをオフにすると、1ビットを超え る画像が1インチ当たりのライン数(lpi)設定でサブサンプリングされます。

フォントペイン

出力時に含めるフォントを指定するには、フォントペインを使用します。このペインの オプションの多くは、PostScript出力デバイスへの印刷時のみ使用できます。

- プリンタのPPDファイルからダウンロード済みのフォント一覧を読み取るには、PPD フォント設定を使用チェックボックスをオンにします。PPDファイルの一覧にある フォントはダウンロードされません。このボックスをオンにすると、このタブにあ るほかのコントロールの多くが無効になります。
- PostScriptレベル3またはそれ以降の出力デバイス、またはPostScriptレベル2バージョン2015またはそれ以降を使用するデバイスに印刷する場合、フォント形式の最適化チェックボックスをオンにします。
- レイアウトで使用するフォントをすべてダウンロードするには、レイアウトフォントをダウンロードチェックボックスをオンにします。ダウンロードするフォントを制御するには、レイアウトフォントをダウンロードチェックボックスをオフにしてから、ダウンロードするフォントごとにダウンロードチェックボックスをオンにします。表示ドロップダウンメニューのオプションを選択しても、一覧にあるフォントを制御できます。
- 取り込んだPDFおよびEPSファイルで必要なすべてのフォントをダウンロードするには、インポートされたPDF/EPSフォントをダウンロードチェックボックスをオンにします。
- アクティブなプリンタに含めるフォントのリストを取得するには、プリンタの検索 をクリックします。このプロセスには時間がかかります。PPDフォント設定を使用 チェックボックスをオンにして、プリンタメーカーのPPDファイルを使用しなけれ ばならない場合もあります。

### カラーペイン

カラーペインを使用してカラー出力を制御します。

- 1つのページにすべてのカラーを印刷するには、モードドロップダウンメニューから コンポジットを選択します。In-RIP分版に対応しているデバイスに印刷するには、 モードドロップダウンメニューから色分解を選択します。コンポジット出力につい ての詳細は、「カラーコンポジットの印刷」を参照してください。色分解について の詳細は、「色分解の印刷」を参照してください。
- 出力デバイスの出力設定を指定するには、設定ドロップダウンメニューからオプションを選択します。カラーマネージメントについての詳細は、「ソースセットアップおよび出力セットアップ」を参照してください。
- デフォルトのハーフトーン図形および線数を指定するには、ハーフトーンおよび線数ドロップダウンメニューを使用します。ハーフトーンドロップダウンメニューでプリンタオプションを選択すると、出力デバイスがすべてのハーフトーン設定を決定します。

## トンボペイン

切り抜きマーク、トンボ、ブリードマークなどを出力に含めるには、**トンボ**ペインを使用します。**切り抜きマーク**を選択すると、短い縦横の線がページの最終的なトリムサイ

ズの外側に印刷されます。このマークはページの切り取り位置を示します。**トンボ**は、 版のオーバーレイ調節に使用する記号です。**ブリードマーク**は、ページのブリード範囲 を示します。

- 切り取りマークとトンボをすべてのページに含めるには、モードドロップダウンメニューからセンターまたはオフセンターを選択します。
- センターまたはオフセンターを選択すると、幅、長さ、およびオフセットの各フィールドが使用可能になります。幅と長さフィールドの値により、切り取りマークの幅と長さが決まります。オフセットフィールドの値により、ページの端から切り取りマークまでの距離が決まります。
- ブリードの位置を示すマークを含めるには、ブリードマークを含むオプションを選択します。

### レイヤーペイン

出力するレイヤーと出力しないレイヤーを指定するには、レイヤーペインを使用します。

印刷およびPDF出力ダイアログボックスのみ:レイヤーペインの設定をレイアウトに適用するには、レイヤー属性を適用チェックボックスをオンにします。

### ブリードペイン

**ブリード**ペインを使用すると、印刷時にアイテムをブリード(ページの端を拡大)でき ます。ブリード設定はレイアウト内のすべてのページに適用されます。

レイアウトページの端からどのくらいブリードを拡大するかを定義してブリードを作成 するには、**ブリードの種類**ドロップダウンメニューから**均等**または**不均等**を選択します。

- 各ページの端から均等な距離で拡大してブリードを作成するには、均等を選択して 量フィールドに値を入力し、ブリードの距離を指定します。
- 各ページの端から異なる距離で拡大してブリードを作成するには、不均等を選択して上揃え、下揃え、左揃え、右揃えの各フィールドに値を入力し、ブリードの距離を指定します。
- 印刷およびPDF出力のみ:ページの境界を越えて広がるページアイテムをすべて囲 むようにブリードを拡大するには、ページアイテムを選択します。
- 印刷およびPDF出力のみ:ブリードされるアイテムをブリードの端で切り取るか、 それらのアイテムをすべて印刷できるようにするかを定義するには、ブリード限度 でクリップチェックボックスをオンにします。
- ➡ ブリードペインは、Custom Bleeds XTensionsソフトウェアがインストールされている 場合のみ使用できます。

### 透明度ペイン

書き出し時の透明度の処理方法を指定するには、透明度ペインを使用します。

透明度の関係においてベクトルデータが発生した場合、そのデータを含む画像のラスタライズに使用する解像度を指定するには、ベクトル画像コントロールを使用します。ベクトル画像には通常細い線が含まれていて、この線が低解像度ではギザギザに見えるため、この値を高くすることをお勧めします。

- ブレンドコントロールでは、透明度の関係においてブレンドが発生した場合に、その解像度を指定できます。通常ブレンドには鋭角が含まれていないため、比較的低解像度でラスタライズされます。
- ドロップシャドウコントロールでは、ドロップシャドウのラスタライズの解像度を 指定できます。ぼかしなしでドロップシャドウを作成しない限り、この値は比較的 小さくできます。

これらのいずれかのフィールドで低解像度の値を選択すると、平滑化に必要な時間が短縮し、レイアウトを出力へ送信する場合の処理時間も節約できます。

透明度の関係に関わる回転または傾斜しているアイテムは、RIPへ送信する前にラスタラ イズする必要があります。回転または傾斜の方向によっては、低解像度で行うと画質が 低下する傾向があるため、QuarkXPressはこのようなアイテムをアップサンプリングし てから回転または傾斜させます。これにより画質の低下を最小限に抑えることができま す。透明度の関係に伴う、回転または傾斜したアイテムおよび画像のアップサンプリン グの解像度を手動で設定する場合、回転/傾斜のアップサンプルチェックボックスをオ ンにします。低解像度値を使用したために、回転または傾斜したアイテムの表示にムラ ができて画質が低下する場合、このチェックボックスをオンにしてからアップサンプル の値フィールドに値を入力します。アップサンプルの値フィールドの値は、ベクトル画 像、ブレンド、およびドロップシャドウフィールドの最大解像度の値以上である必要が あります。

dpi (次よりも画像が小さい場合) フィールドでは、回転または傾斜したアイテムをアッ プサンプリングする上限の値を指定できます。このフィールドの目的は、回転/傾斜の アップサンプル値の値に近い回転または傾斜したアイテムが不要にアップサンプリング されないようにすることです。一般的にこの値は、回転/傾斜のアップサンプル値より も約100dpi低く設定します。

不透明度を考慮に入れずにアイテムを印刷するには、透明効果を無視チェックボックス をオンにします。すべてのアイテムは、不透明度の値に関係なく100%不透明として扱 われます。また、ドロップシャドウおよび画像のマスクは無視されます。このオプショ ンは、透明度関連の出力の問題解決に役立ちます。

取り込まれたPDFファイルとAdobe Illustratorファイルで、平滑化された透明度の解像 度を制御するには、**平滑化解像度**フィールドに値を入力します。

フラットナは、ドロップシャドウ、ブレンド、半透明の画像、またはアルファチャンネル でマスクされた画像など、ラスター要素が領域に含まれている場合にその領域をラスタラ イズします。フラットナは、ソリッドカラーの領域にラスター要素が重なっていない限 り、(半透明レイヤー処理の結果に関係なく)その領域はラスタライズしません。

### JDFペイン

プロジェクトのジョブジャケット構造からJDFファイルを保存するかどうかを指定するに は、JDFペインを使用します。JDFを出力チェックボックスをオンにすると、ジョブジャ ケットの連絡先を含めるドロップダウンリストが使用可能になります。プロジェクトの ジョブジャケット構造にある連絡先一覧から連絡先を選択します。

#### 詳細設定ペイン

詳細設定ペインでは、出力デバイスのPostScriptレベルを指定できます。

概要ペイン

概要ペインには、他のペインの設定の概要が表示されます。

#### ページのプレビュー領域

Windowsでは印刷レイアウトの場合、**印刷**ダイアログボックス(**ファイル**メニュー)に ページのプレビュー領域という出力ページの画像があります。このページプレビュー領 域には、レイアウトページや指定したページの実際のアイテムは表示されず、ターゲッ トメディアとの相対関係でページの形状と方向が表示されます。

Mac OS Xでは、ページのプレビュー領域が拡張されています。ページのプレビュー領域には、レイアウトページや指定したページの実際のアイテムが表示され、実際のページが表現されます。

- 青い方形はレイアウトページを表します。
- 緑の方形は選択したメディアの印刷可能領域を表します。
- 黒の方形は、PPDドロップダウンメニュー(デバイスペイン)から給紙デバイスを 選択したときのメディア領域を表します。
- レイアウトを囲むグレイの領域は、Custom Bleeds XTensionsソフトウェア(ブ リードペイン)を使用してブリード設定を選択した場合のブリードを表します。
- 切り取りマークまたはブリードマークを含むページサイズが、印刷メディアの印刷 可能領域よりも大きい場合、印刷可能領域の外側にあるレイアウトの赤い領域の部 分が切り取られます。ページペインで自動タイリングを有効にすると、赤い領域が 表示されません。
- Rはネガ印刷用の表示です。ページは用紙の方向とサイズに応じて回転されます。
- グラフィックプレビューの左の矢印は、フィルムまたはページの給紙方向を示します。
- グラフィックプレビューの左側に、2つの小さなアイコンがあります。カットシート アイコンは、PPDドロップダウンメニュー(デバイスペイン)からカットシート型 の出力デバイスを選択したことを示します。一方、ロール給紙アイコンは、PPDド ロップダウンメニューからロール給紙型の出力デバイスを選択したことを示します。 疑問符は、ページのプレビュー領域で使用する色の凡例を表示するドロップダウン 形式のボタンです。
- トンボペインでトンボをオンにすると、これらもページのプレビュー領域に表示されます。
- (ページペインで)サムネールチェックボックスをオンにすると、プレビューがサムネールで表示されます。

### 色分解の印刷

色分解で印刷を行うには、下記の手順に従ってください。

- 1 印刷ダイアログボックス(ファイルメニュー)のカラーペインを表示します。
- 2 モードドロップダウンメニューから**色分解**を選択します。
- 3 設定ドロップダウンリストからオプションを選択します。

- In-RIP分版オプションを選択すると、プロセスカラーとスポットカラーの版がすべて印刷されます。この場合の出力形式はコンポジットです。ただし、印刷するPostScriptファイルには色分解の情報が含まれます。PostScriptレベル3のデバイスを使用する場合は、In-RIP分版オプションを選択する必要があります。また設定ドロップダウンメニューには、デフォルト出力セットアップダイアログボックス(編集>出力セットアップ)のリストにある色分解ベースの出力設定がすべて含まれています。
- 4 ハーフトーンドロップダウンメニューから以下のオプションを選択します。
  - 指定するハーフトーン設定を使用するには、計算値を選択します。
  - RIPに組み込まれているハーフトーン設定を使用するには、プリンタを選択します。
     このオプションを選択すると、このペインのハーフトーンコントロールは無効になります。
- 5 デフォルト以外の線数の値を指定するには、線数フィールドに1インチ当たりのライン数 (lpi)の値を入力するか、または線数ドロップダウンメニューからオプションを選択し ます。
- 6 カラーペインの下にあるリストには、デフォルトのハーフトーン、線数、角度、および 網点形状の設定のほかに、レイアウトで使用する版が表示されます。一般的に、版のリ ストにあるデフォルト設定で、適切な印刷結果が得られます。ただし、これらの設定を 調整しなければならない場合もあります。列のダッシュ記号は、その列のエントリが編 集不可であることを示しています。
  - モードドロップダウンメニューから色分解を選択すると、版列のリストにドキュメントのスポットカラーとプロセスインキが表示されます。カラーペインの上部にある設定ドロップダウンメニューで、リストに表示するレイアウト版を指定します。
  - ハーフトーンドロップダウンメニューでは、スポットカラーに対してさまざまな画面の角度を割り当てることができます。スポットカラーに対するデフォルトの画面の値は、カラーの編集ダイアログボックス(編集>カラー>新規)のハーフトーンドロップダウンメニューで指定します。
  - 線数列には、ライン画面の線数の値が表示されます。これは1インチ当たりのライン (lpi)の値で、カラー版ごとに適用されます。版のデフォルト値を使用しない場合、
     線数ドロップダウンメニューからその他を選択し、線数/その他ダイアログボック スを表示します。
  - 角度列のリストには、カラー版ごとの画面の角度が表示されます。デフォルト値を 使用しない場合、角度ドロップダウンメニューからその他を選択し、角度/その他 ダイアログボックスを表示します。
  - 印刷画面で別のドット形状を指定するには、網点形状列のドロップダウンメニュー からオプションを選択します。

### カラーコンポジットの印刷

(色分解ではなく)カラーコンポジット出力で印刷するには、下記の手順に従ってくだ さい。

1 印刷ダイアログボックス(ファイルメニュー)のカラーペインを表示します。

- **2 モード**ドロップダウンメニューから**コンポジット**を選択します。
- 3 設定ドロップダウンリストからオプションを選択します。
  - グレイスケール
  - グレースケール100K
  - コンポジットRGB
  - コンポジットCMYK
  - コンポジットCMYKおよびスポット(コンポジットPostScriptで印刷、In-RIP分版 をサポートするデバイス向け)
  - カラー変更なし(ソースのカラースペースを使用してカラーアイテムを描く、 PostScriptコンポジットカラーデバイスへの出力向け)
- また設定ドロップダウンメニューには、デフォルト出力スタイルダイアログボックス(編集>出力スタイル)のリストにあるすべての出力スタイルが含まれています。
- 4 ハーフトーンドロップダウンンメニューから、計算値またはプリンタを選択します。計算値オプションを選択すると、QuarkXPressで計算されたハーフトーンの画面の値が使用されます。プリンタオプションを選択すると、選択したプリンタで指定するハーフトーン画面の値が使用されます。この場合、QuarkXPressからハーフトーンの情報が送信されません。
- 5 デフォルト以外の線数の値を指定するには、**線数**フィールドに1インチ当たりのライン数 (lpi)の値を入力するか、または**線数**ドロップダウンメニューからオプションを選択し ます。

### レイアウトの書き出し

**書き出し、印刷、**およびその他のコマンドにより、ファイルを以下の形式で出力できます。

- 画像 (PNGまたはJPEG)
- PostScript (PS)
- EPS (Encapsulated PostScript)
- PDF (Portable Document Format)、PDF/X認証ありまたはなし
- XSL (Extensible Stylesheet Language)
- XSLT (Extensible Stylesheet Language Translator)
- HTML5出版物(詳細は『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください)。
- ePub(詳細は『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください)。
- Kindle(詳細は『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』を参照してください)。

書き出しのオプションにアクセスするには、ファイル>書き出しを選択するか、または 書き出しボタン[▲]をクリックします。

### EPS形式でのレイアウトの書き出し

EPS(Encapsulated PostScript)ファイルとしてレイアウトページを書き出すと、ファ イル名と場所を指定して、(カスタムコントロールまたはEPS出力スタイルから)複数の EPS書き出しパラメータを設定できます。基本的なEPS書き出しコントロールを使用する には、下記の手順に従ってください。

- 1 ファイル>書き出し>EPS形式のページを選択します。EPS形式のページダイアログボッ クスが表示されます。
- 2 ページフィールドにページの範囲を入力します。
- 3 既存の出力スタイルを使用するには、EPSスタイルドロップダウンメニューからオプショ ンを選択します。
- 4 出力設定を変更するには、オプションをクリックします。書き出されたファイルの形式 を制御するには、表示されるダイアログボックスのペインを使用します。
  - EPS出力スタイルを使用するには、EPSスタイルドロップダウンメニューからオプションを選択します。現在の設定でEPS出力スタイルを作成するには、新規EPS出力スタイルを選択します。
  - EPSファイルの大きさ、EPSファイルのプレビュー形式、データ形式(ASCII、バイ ナリ、またはクリーン8ビット)、EPSファイルでページの白い領域を透明にするか 不透明にするか、およびEPSファイルをスプレッド印刷で出力するかどうかを指定 するには、一般ペインを使用します。
  - EPSファイルの出力設定および出力に含める版を選択するには、カラーペインを使用します。
  - 書き出されるEPSファイル内に埋め込むフォントを指定するには、フォントペイン を使用します。
  - EPSファイルでトンボの位置、幅、および長さを指定するには、**トンボ**ペインを使用します。
  - ブリードの種類を均等と不均等のどちらにするか、またEPSファイルの周囲のブリードの距離を指定するには、ブリードペインを使用します。
  - 透明度の設定をオンまたはオフにする場合、またEPSファイルで平滑化されたアイ テムの解像度を制御するには、透明度ペインを使用します。
  - EPSファイルの作成と同時にJDF (Job Definition Format) ファイルを作成するか どうかを指定するには、JDFペインを使用します。このオプションを選択するのは、 JDFワークフローでジョブジャケットを使用する場合です。
  - EPSをPostScriptレベル2またはPostScriptレベル3のどちらに準拠させるかを選択 するには、詳細設定ペインを使用します。
  - •概要ペインには、前のペインで行ったすべての選択について、概要が表示されます。
- 5 OKをクリックします。EPSファイルを作成せずに現在の設定を保存するには、保存して 閉じるをクリックします。
- 6 保存をクリックします。

#### PDF形式でのレイアウトの書き出し

PDF形式でアクティブなレイアウトを書き出すには、下記の手順に従ってください。

- 1 ファイル>書き出し>PDF形式のレイアウトを選択します。PDFとして書き出しダイア ログボックスが表示されます。
- 2 ページフィールドにページの範囲を入力します。
- 3 既存の出力スタイルを使用するには、PDFのスタイルドロップダウンメニューからオプ ションを選択します。
- **4 書き出し後にPDFを開く**チェックボックスをオンにすると、ファイルが書き出された後 でPDFが開きます。
- 5 出力設定を変更するには、オプションをクリックします。書き出されたファイルの形式 を制御するには、表示されるダイアログボックスのペインを使用します。
  - PDFの出力スタイルを使用するには、PDFのスタイルドロップダウンメニューから オプションを選択します。現在の設定を使用してPDFの出力スタイルを作成するに は、新規PDF出力スタイルを選択します。
  - PDF/X認証を使用するには、認証ドロップダウンメニューからオプションを選択します。使用可能なオプションは、PDF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4です。PDF/X-1a認証で使用できるのはCMYKおよびスポットカラーのみですが、PDF/X-3では、他のカラースペースを使用するカラーおよび画像と、ICCカラープロファイルを含めることができます(これらはカラーマネージメントのソースおよび出力セットアップで定義されます)。PDF/X-4ではネイティブの透明度を使用できますが、PDF/X-1aとPDF/X-3では使用できません。
  - コンポジット出力または色分解のどちらを作成するかを指定する、PDFファイルの 出力セットアップを選択する、および出力に含める版を選択するには、カラーペイ ンを使用します。
  - PDFファイルのさまざまな画像タイプの圧縮オプションを指定するには、**圧縮**ペインを使用します。
  - スプレッドで書き出すかどうか、各ページを個別のPDFファイルとして書き出すか どうか、空白ページを含めるかどうか、およびPDFファイルのサムネールを埋め込 むかどうかを指定するには、ページペインを使用します。
  - PDFファイルでトンボの位置、幅、および長さを指定するには、トンボペインを使用します。
  - レイアウト書き出しのリンクおよびリストの方法、およびハイパーリンクをPDFに 表示する方法を指定するには、ハイパーリンクペインを使用します。また、このペ インを使用してPDFファイルのデフォルトの表示倍率を指定できます。
  - Adobe Acrobat Readerの文書のプロパティダイアログボックスにある詳細設定タ ブで詳細情報を表示するには、メタデータペインを使用します。
  - 書き出されるPDFファイル内に埋め込むフォントを指定するには、フォントペイン を使用します。
  - PDFファイルでブリードの処理方法を指定するには、ブリードペインを使用します。
  - PDFファイルに含めるレイヤーや、QuarkXPressレイアウトでレイヤーからPDFレイヤーを作成するレイヤーを指定するには、レイヤーペインを使用します。

透明アイテムを平滑化する方法を制御するには、透明度ペインを使用します。平滑化を無効にし、書き出されるPDFで透明度の関係を維持するには、ネイティブの透明度で書き出しをクリックします。不透明度を考慮に入れずにアイテムを出力するには、透明度を無視をクリックします。平滑化をオンにするには、透明度を平滑化をクリックします。

平滑化をオンにした場合、透明度の関係にベクトルデータを含む、画像のラスタライズ に使用する解像度を指定できます。これを行うには、ベクトル画像ドロップダウメニュー をクリックしてdpiの値を選択または入力します。この制御は平滑化をオンにした場合に のみ適用されます。

平滑化がオンであるかどうかに関係なくブレンドの解像度を指定するには、**ブレンド**ドロップダウメニューをクリックしてdpiの値を選択または入力します。平滑化がオンであるかどうかに関係なくドロップシャドウのラスタライズの解像度を指定するには、**ドロップシャドウ**ドロップダウメニューをクリックしてdpiの値を選択または入力します。

平滑化をオンにした場合に、回転または傾斜したオブジェクトの解像度を指定するには、 回転/傾斜のアップサンプルをクリックしてアップサンプルの値フィールドに値を入力 します。アップサンプルの値フィールドの値は、ベクトル画像、ブレンド、およびドロッ プシャドウフィールドの最大解像度の値以上である必要があります。

取り込まれたPDFファイルとAdobe Illustratorファイルで、平滑化された透明度の解像 度を制御するには、**平滑化解像度**フィールドに値を入力します。

- ➡ 認証ドロップダウンメニューで、PDF/X-1a: 2001またはPDF/X-3: 2002を選択した場合、ネイティブの透明度で書き出しは使用できません。この機能は、カラーペインのモードドロップダウンメニューから色分解を選択した場合も使用できません。
  - PDFファイルの作成と同時にJDF (Job Definition Format) ファイルを作成するか どうかを指定するには、JDFペインを使用します。このオプションを選択するのは、 JDFワークフローでジョブジャケットを使用する場合です。
  - 選択したPDF書き出しオプションの概要を表示するには、概要ペインを使用します。
- 6 OKをクリックします。(PDFファイルを作成せずに現在の設定を保存するには、保存して閉じるをクリックします)。
- 7 保存をクリックします。
- ➡ サードパーティ製のディスティラープログラムを使っていて、PostScriptファイルを作成 する場合、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のPDFペイン で設定を変更します。詳細は、「環境設定 - アプリケーション - PDF」を参照してください。

#### PostScriptファイルの作成

PostScriptファイルをレイアウトから作成するには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集>環境設定)のPDFペインを表示して、PostScriptファイルを 一時作成チェックボックスをオンにします。ファイル>書き出し>PDF形式のレイアウ トを選択すると、PDFファイルが作成されるのではなく、QuarkXPressにより、ユーザ が指定した名前と場所にPostScriptファイルが生成されます。 レイアウトページを画像ファイルとして書き出すとき、ファイル名と場所を指定し、各種の画像書き出しオプションを設定できます。 レイアウトを画像として書き出すには、 下記の手順に従ってください。

- 1 ファイル>書き出し>画像を選択します。ページを画像として書き出しダイアログボッ クスが表示されます。
- 2 ファイル名ドロップダウンメニューから、書き出すレイアウトを選択します。
- 3 出力設定を変更するには、オプションをクリックします。 書き出される画像の形式を設 定するには、表示されるダイアログボックスのペインを使用します。
  - 解像度フィールドに値を入力します。
  - フォーマットドロップダウンメニューから、画像フォーマット(PNGまたはJPEG) を選択します。
  - 圧縮ドロップダウンメニューから、圧縮の値を選択します。
  - 透明バックグラウンドを選択すると、画像のバックグラウンドが透明になります。
  - スプレッドを書き出すには、スプレッドを選択します。
  - 画像に画面ガイドを含めるには、ガイドを含めるを選択します。
  - 画像にテキストグリッドを含めるには、テキストグリッドを含めるを選択します。
- 4 OKをクリックします。
- 5 保存をクリックします。

## Using Collect for Output

To use the **Collect for Output** feature:

- 1 Display the **Fonts** pane of the **Usage** dialog box (**Utilities** menu) to confirm that all fonts are available. Then check the **Pictures** pane of the **Usage** dialog box to confirm that all imported pictures are linked to the document and display a status of **OK**.
- 2 Choose File > Collect for Output. The Collect for Output dialog box displays.
- 3 Display the Collect for Output tab. When you use this feature, a report is generated automatically. To generate only this report, check Report Only in the Collect for Output tab. If you uncheck this box, you can check one or more of the following boxes:
  - The **Layout** option copies the project file to the specified target folder. In the selection box you can see all layouts of your project. Check or uncheck the ones you want to collect.
  - The Linked Pictures option copies imported picture files that must remain linked to the document for high-resolution output. When QuarkXPress collects pictures with the document, the path to each collected picture is updated to reflect the new file locations in the "Pictures" folder within the

target folder. If you have more than one layout selected, then all images of all selected layouts will be collected.

- The **Color Profiles** option copies any International Color Consortium (ICC) profiles associated with the document or imported pictures. If you have more than one layout selected, then all ICC profiles used in all selected layouts will be collected.
- *Mac OS X only:* The **Screen Fonts** option copies any screen fonts required for displaying the document. If you have more than one layout selected, then all screen fonts used in all seelcted layouts will be collected.
- *Mac OS X only:* The **Printer Fonts** option copies any printer fonts required for printing the document. If you have more than one layout selected, then all printer fonts used in all selected layouts will be collected.
- *Windows only:* The **Fonts** option copies any fonts required for printing the document. If you have more than one layout selected, then all fonts used in all selected layouts will be collected.
- On Mac OS X, TrueType fonts function as both screen fonts and printer fonts. If your document uses only TrueType fonts, QuarkXPress will collect them either when you check Screen Fonts or when you check Printer Fonts. If your document uses a combination of TrueType and Type 1 fonts, or uses only Type 1 fonts, check both Screen Fonts and Printer Fonts to be sure the Type 1 fonts are collected completely.

### 4 Click Save.

- When you choose to collect fonts, QuarkXPress will also collect fonts within imported EPS files, if those fonts are active on your computer.
- The Collect for Output feature is not designed for use with layouts that have been customized for export in the App Studio issue formats. You can use this feature with such layouts, but it will not collect all of the assets used in App Studio interactivity, and it will not collect every layout in a layout family.

### 出力スタイルの使用

出力スタイルを使用すると、印刷、PDF、ePUB、App Studio、Kindle、EPS形式の出 力設定を保存できます。出力スタイルは、ファイル>印刷、ファイル>書き出し>PDF 形式のレイアウト、ファイル>書き出し>プロジェクトとしてレイアウトを書き出し、 ファイル>書き出し>EPS形式のページ、ファイル>書き出し>ePub形式のレイアウ ト、ファイル>書き出し>Kindle形式のレイアウトのいずれかのコマンドで使用できま す。QuarkXPressには、すべての出力オプションのデフォルト設定が含まれています。 これらの設定は、必要に応じたカスタマイズの基礎となります。または、出力スタイル を最初から作成することもできます。

出力スタイルの作成については、下記の手順に従ってください。

1 編集>出カスタイルを選択します。出カスタイルダイアログボックスが表示されます。

• • •	出力スタイル
表示: 全ての 出力ス	<i>、</i> タイル +
デフォルトApp Stud	io 出力スタイル
デフォルトEPS 出力ス	スタイル
デフォルトePub 出力	コスタイル
デフォルトKindle 出	カスタイル
デフォルトPDF 出力	スタイル
デフォルト印刷 出力	スタイル
PDF/X-1a:2001	
PDF/X-3:2002	
PDF/X-4	
プレス - 高品質/高額	解像度
印刷 - 中品質/中解(	象度
画面 - 中品質/低解(	象度
フタイルタ・デフォル	ト App Studio 出力フタイル
X91//4.7 74//	···
出力メディア:App St	udio
新規 ▼	編集 複製 削除
取り込み 書	き出し [キャンセル ] 保存 ]

出力スタイルを作成、取り込み、書き出し、編集、または削除するには、**出力スタイル** ダイアログボックスを使用します。

- 2 新規ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- 3 名前フィールドに出力スタイルの名前を入力します。
- 4 各ペインで設定を指定します。EPSオプションについての詳細は、「EPS形式でのレイア ウトの書き出し」を参照してください。PDFオプションについての詳細は、「PDF形式で のレイアウトの書き出し」を参照してください。App Studio、ePub、Kindle、および HTML出版物のオプションの詳細は、『QuarkXPressによるデジタルパブリッシング』 を参照してください。
- 5 OKをクリックします。
- 6 保存をクリックします。

## App Studioの出力スタイル

App Studioの出力スタイル設定を指定するには、下記の手順に従ってください。

• • •	出力スタイル
*=: A70	uh7671
表示: (主ての	тихэли +
デフォルトApp	Studio 出力スタイル
デフォルトEPS	出力スタイル
デフォルトePul	o 出力スタイル
デフォルトKind	ile 出力スタイル
デフォルトPDF	出力スタイル
デフォルト印刷	出力スタイル
PDF/X-1a:200	1
PDF/X-3:2002	
PDF/X-4	
プレス – 高品質	[/高解像度
印刷 - 中品質/	'中解像度
画面 - 中品質/	'低解像度
スタイルタ・デフ	7オルトApp Studio 出力スタイル
出力メディア・ヘ	nn Studio
щлилти	pp statio
新規▼	編集 複製 削除
EV D 32 ZH	(書き出し) キャンセル 保存
447.6507	

## **出カスタイル**ダイアログ

 App Studioの出力スタイルを編集するには、出力スタイルを選択して編集をクリックします。新しい出力スタイルを追加するには、新規ドロップダウンメニューからApp Studioを選択します。App Studio書き出しオプションダイアログが表示されます。

App Studio Export Options		
App Studio Style:	Captured Settings	٢
Pictures	Image Resolution for Retina/HiDF 2x 3x	PI displays
		<b>x</b>

## App Studio書き出しオプションダイアログ

2 App Studioスタイルフィールドにスタイルの名前を入力します。

- 3 画像ペインで、Retina/HiDPIディスプレイ用の適切な画像の解像度を指定します。
- **4 OK**をクリックします。

### トラップの使用

オーバープリントやノックアウトは**カラー**パレットで制御できます。

#### 平滑化の理解と製品の問題点

**平滑化**とは、ページ要素を変更して目的のデザインを生成することにより透明度をシミュ レーションするプロセスです。平滑化は、印刷エンジンに送られる、またはPDFへ書き出 される、出力ストリームのアイテムにのみ行われ、QuarkXPressのレイアウトが実際に 変更されることはありません。QuarkXPressの平滑化の仕組みは以下のとおりです。

まず、ボックスが分解されて透明度の要素が識別されます。その後不連続な形状(テキ ストのアウトラインを含む)の関係が分解されます。ラスタライズされない領域に、既 存の色を融合して作成される新しい色が入力されます(不透明度なしおよび0%の領域 は、ブレンドや画像で使用しない限り平滑化する必要はありません)。

ラスタライズの必要がある領域により、クリッピングパスが作成されます(ページ要素 に重なっている半透明画像、ドロップシャドウ、半透明ブレンド、および半透明アイテ ムはラスタライズする必要があります)。

**印刷**ダイアログボックス(**ファイル**メニュー)の**透明度**ペインの設定により、透明度の 効果またはドロップシャドウによりラスタライズされるページ要素の出力解像度が制御 されます。詳細は、「*透明度ペイン*」を参照してください。

一般的に、透明度の関係を使用する場合、トラップは不要です。

▶ PDFを書き出す場合、透明度の関係にあるアイテムの平滑化、ネイティブPDFの透明度の 使用のいずれかを選択できます。ネイティブPDFの透明度とともにPDFを書き出す場合、 透明度の関係にあるベクトル画像はベクトルフォーマットのまま残ります。これによって 出力が早くなり、カラーマネージメントも簡単になります。

### PDF Filter XTensionsソフトウェア

PDF Filter XTensionsソフトウェアを使用して、下記の2つを行えます。

- ポータブルドキュメントフォーマット(PDF)ファイルとして、QuarkXPressレイ アウトのページまたはページの範囲を保存します。詳細は、「PDF形式でのレイア ウトの書き出し」を参照してください。
- ・画像ボックスにPDFファイルのページを取り込みます。詳細は、「画像ボックスへのPDFファイルの取り込み」を参照してください。

### 画像ボックスへのPDFファイルの取り込み

アクティブな画像ボックスへのPDFファイルの取り込みについては、下記の手順に従って ください。
- 1 ファイル > 画像の取り込みを選択します。
  - TrimBox:トリム実行後のページのサイズを使用します。このオプションはトンボ を含まず、PDFが作成されたときにレイアウトスペースに適用されるブリードによっ て影響されません。
  - CropBox:ページサイズと指定したブリードのスペースおよびトンボ用に割り当て られたスペースを足したサイズを使用します。CropBoxは、PDF Boxer XTソフト ウェアスタンドポイントのレイアウトスペースのサイズに等しくなります。
  - BleedBox:ページサイズとブリードのスペースを足したサイズを使用します。
  - MediaBox : ブリードまたはトンボのスペースを含まないページのサイズを使用します。
- **2 開く**をクリックします。
- 画像の取り込みダイアログボックスでPDFファイルの異なるページをプレビューするには、プレビューチェックボックスをオンにしてからPDFページフィールドにページ番号を入力します。
- ➡ PDFファイルのどのページがレイアウトに取り込まれたかを確認するには、使用状況ダイ アログボックス(補助メニュー)の画像ペインを表示してから、詳細をオンにします。

# グループ作業およびシングルソース

同期機能を使用すると、複数のチャンネルを介して複数のフォーマットで配布する同一 の情報を簡単にパッケージ化できます。印刷するのかウェブ上で公開するのかなど、メ ディアに応じてデザインをカスタマイズできるだけでなく、複数のレイアウトサイズを 含むプロジェクトを作成することもできます。特に、任意の種類のレイアウト間でコン テンツを自動的に同期することによって、作業を合理化できます。

## 共有コンテンツの使用

複数の場所にある同じコンテンツをまったく同一に維持する必要のあるプロジェクトを 使用したことがあるユーザーであれば、ある程度のリスクが伴うことは理解しているで しょう。ドキュメントの印刷バージョンが更新されても、デジタルバージョンが更新さ れない場合はどうなるのでしょうか。この問題を解消するために、QuarkXPressには**共 有コンテンツ**機能が含まれています。この機能では、プロジェクトファイル内で異なる 場所に使用されているコンテンツをリンクできます。コンテンツのコピーが変更される と、その他のコピーは、それらの変更を反映するように、ただちに自動的に更新されま す。

QuarkXPressでは、ほとんどの同期アイテムについて、**共有コンテンツライブラリ**と呼ばれるプロジェクトファイルの表示されない領域で、マスターバージョンが管理されています。レイアウト内の任意の同期アイテムに変更を適用すると、まずその変更は共有コンテンツライブラリ内のマスターバージョンに書き込まれます。その後、プロジェクト内の対象アイテムのすべての同期コピーにその変更が反映されるように、QuarkXPressによって更新されます。つまり、アイテムAを更新すると、アイテムBは共有コンテンツライブラリのマスターアイテムを介して自動的に更新され、アイテムBを更新すると、同様にアイテムAが更新されます。

共有コンテンツライブラリは、画像、ボックス、ライン、フォーマットおよびフォーマットなしテキスト、一連のテキストボックス、グループ、およびコンポジションゾーンを 格納できます。共有コンテンツライブラリに何かを追加するとき、そのコンテンツまた はアイテムのどの部分を **同期し**(すべてのインスタンスを同一に維持)、どの部分を **同 期しない**かを制御できます。



共有コンテンツライブラリには、プロジェクト内の異なるレイアウトで使用できるテキ スト、画像、ライン、コンポジションゾーン、およびアイテムが含まれます。レイアウ トで共有コンテンツライブラリアイテムのインスタンスを変更すると、これらのインス タンスは共有コンテンツライブラリのマスターバージョンにリンクされているため、す べてのレイアウトにあるすべてのインスタンスは自動的に更新されます。

共有コンテンツライブラリのアイテムは、**コンテンツ**パレットに表示されます。下記に 示すとおり、このパレットを使用して、異なるレイアウト間でコンテンツを複製して同 期できます。



共有コンテンツライブラリのアイテムには、**コンテンツ**パレットからアクセスできます。 ここで「印刷レイアウト1」は、「トップストーリー画像ボックス」と、その中の画像を 使用していますが、「印刷レイアウト2」は画像だけを使用しています(より大きな画像 ボックス内)。いずれかのレイアウトで画像が変更されると、両方のレイアウトは自動 的に更新されます。

単一プロジェクトに異なるタイプのレイアウトを含める方法についての詳細は、「プロ ジェクトとレイアウト」を参照してください。

## コンテンツの共有および同期

ボックス、ライン、グループ、コンテンツの共有および同期については、下記の手順に 従ってください。

- 1 ウィンドウメニューで、コンテンツパレットを表示します。
- 2 同期するアイテムを選択します。
- 3 コンテンツパレットで、アイテムの追加 かをクリックします。1つのアイテムが選択されると、共有アイテムのプロパティダイアログボックスが表示されます。複数のオブジェクトが選択されると、複数アイテムの共有ダイアログボックスが表示されます。

共有アイテムのプロパティ	×
名前(N): 画像アイテム	]
<ul> <li>✓ボックス属性を同期(B)</li> <li>✓ コンテンツの一致(C)</li> </ul>	
<ul> <li>● コンテンツと属性(A)</li> <li>○ コンテンツのみ(O)</li> </ul>	
OK キャンセル	]

**共有アイテムのプロパティ**ダイアログボックスを使用して、個々のアイテムを共有および同期します。

複数アイテムの共有		×			
☑ 選択したアイテムをレイ	アウトに自動表:	_			
名前	共有のプロパティ ~~~ジ				
🛛 🖂 画像アイテム	☑ ボックス属性を同期 1	^			
■ 画像	🔽 コンテンツの一致				
	コンテンツと属性 🗧 🕈				
日 🖪 テキストアイテム	☑ ボックス属性を同期 1				
Aa ストーリー	☑ コンテンツの一致	¥			

**複数アイテムの共有**ダイアログボックスを使用して、複数のアイテムを共有および同期 します。

➡ 選択したアイテムをレイアウトに自動表示をオンにしている場合、リスト内のアイテムの 名前をクリックして、そのアイテムにナビゲートできます。 ➡ 共有されたラインの属性のみが同期されます。

- 4 選択されたアイテムの特徴を共有するには、対象のアイテムのボックス属性を同期をオンにします。
- 5 選択されたアイテムのテキストまたは画像を共有するには、対象のボックスのコンテン ツの一致をオンにします。テキストまたは画像とそれぞれのフォーマットを共有するには、コンテンツと属性をクリックまたは選択します。テキストまたは画像のみを共有するには、コンテンツのみをクリックまたは選択します。ボックスおよびコンテンツのオプションについての詳細は、「同期オプションの理解」を参照してください。
- 6 OKをクリックして、選択したアイテムをコンテンツパレットに追加します。

	×
▼ コンテンタ	G
共有済み 🕈 🍈 I 🖍 🗵	Ē
🛛 🔟 画像アイテム	
■ 画像	
▶情報	

共有コンテンツライブラリのアイテムおよびコンテンツには、**コンテンツ**パレットから アクセスできます。

テキストボックスのコンテンツを共有すると、テキスト全体が共有されます。テキストの 一部のみを共有することはできません。テキストの一部のみを共有する必要がある場合 は、コンテンツ変数を使用する必要があります。コンテンツ変数では、カスタム変数を使 用してこの動作を実現できます。

#### 同期オプションの理解

**コンテンツ**パレットにアイテムおよびコンテンツを追加する場合、共有アイテムのプロ パティダイアログボックスでさまざまな同期オプションを選択できます。

- ボックスまたはパス自身を同期せずに、選択されたテキストボックス、テキストパス、または画像ボックスのコンテンツを同期するには、ボックス属性を同期をオフにし、コンテンツの一致をオンにします。この方法で同期されたテキストをテキストボックスまたはパスにドラッグし、画像を画像ボックスにドラッグする必要があります。
- テキストや画像およびそのコンテンツ属性(テキストのフォーマットおよび画像の 比率、回転、効果など)は、コンテンツと属性をクリックまたは選択して同期でき ます。
- コンテンツのみをクリックまたは選択すると、固有のコンテンツ属性の編集を許可した状態で、テキストまたは画像を同期できます。これを行うと、プロジェクトの異なる部分に、テキストまたは画像を別々にフォーマットできます。ただし、1つの

位置でテキストの編集または画像の更新を行うと、その変更はすべてに適用されま す。

 コンテンツを同期せずにテキストボックス、テキストパス、画像ボックス、および その属性を同期するには、ボックス属性を同期をオンにし、コンテンツの一致をオ フにします。たとえば、テキストまたは画像ボックスでこの操作を行い、そのボッ クスから2つのコピーをドラッグするとします。この後で、コピーしたボックスの1 つのサイズを変更し、フレームを追加すると、もう1つのボックスも自動的にサイズ 変更され、同じフレームが追加されます。ただし、各ボックスに異なるコンテンツ を取り込むことができます。

アイテム属性、コンテンツ、およびコンテンツ属性を同期するには、ボックス属性を同期およびコンテンツの同期をオンにし、コンテンツと属性をクリックまたは選択します。 この方法で2つのボックスを同期すると、片方に適用される変更(ボックスのサイズ、コ ンテンツ、およびフォーマットへの変更を含む)は、自動的にもう一方にも適用されま す。

#### 同期アイテムの配置

同期アイテムまたはグループの配置については、下記の手順に従ってください。

- 1 コンテンツパレットで、ターゲットのエントリを選択します。
- 2 コンテンツパレットのエントリを、ページにドラッグします。

## 同期コンテンツの配置

同期コンテンツの配置については、下記の手順に従ってください。

- 1 テキストボックス、テキストパス、または画像ボックスを選択します。
- 2 コンテンツパレットでテキストまたは画像コンテンツのエントリを選択し、挿入をクリックします。アイテムのサイズ変更ハンドルが同期シンボルに変化します。また、コンテンツパレットから、アクティブなテキストボックス、テキストパス、または画像ボックスに、テキストまたは画像のエントリをドラッグできます。

また、**コンテンツ**パレットから、アクティブなテキストボックス、テキストパス、また は画像ボックスに、テキストまたは画像のエントリをドラッグできます。

#### 共有コンテンツライブラリへのコンテンツの取り込み

テキストや画像をテキストや画像ボックスへ取り込む他に、コンテンツパレットの取り 込みボタン を使用して、コンテンツを直接コンテンツパレットへ取り込むことができ ます。ただし、このボタンは、コンテンツパレットでテキストコンテンツアイコンAaまた は画像コンテンツアイコン が選択されている場合にのみ使用できます。

この方法で取り込まれたテキストは、プロジェクトファイルに埋め込まれており、ソース テキストファイルへのリンクは維持されません。ただし、この方法で取り込まれた画像 は、使用状況ダイアログボックスの画像ペインで表示および更新されます。

## **Composition Zonesの使用**

下記のトピックは、チームメンバーが同時にQuarkXPressプロジェクトの作業を行うことで、Composition Zonesがどうやって既存のワークフローを合理化できるかを説明します。

## コンポジションゾーンの理解

コンポジションゾーンアイテムは、他のQuarkXPressユーザーと共有できるレイアウト、 またはレイアウト内のユーザー定義領域です。

QuarkXPressでコンポジションゾーンを使用するには、Composition Zones XTensions ソフトウェアをロードしておく必要があります。

ある雑誌のQuarkXPressプロジェクトファイルを担当するレイアウトアーティストがい るとします。レイアウトアーティストは、コンポジションゾーンを使用して、執筆者、 編集者、グラフィックアーティスト、および遠隔地でQuarkXPressを使用して作業する 担当者とコンテンツを共有できます。

レイアウトアーティストはQuarkXPressを使用して、**コンポジションゾーン**ツールで広 告プロジェクトのエリアを「描き」、そのコンポジションゾーンアイテムを別のファイ ルとして書き出します。書き出されたファイルには正しい仕様が含まれるため、この方 法によって、リモート広告作成者がファイルを受け取るときの手順が省略されます。広 告作成者は、QuarkXPressでコンテンツを追加してから、必要な画像やフォントと共に そのファイルをレイアウトアーティストに返却します。レイアウトアーティストは更新 されたファイルを適切なフォルダに格納し、広告を表示するようにレイアウトが自動的 に更新されます。また、コンポジションゾーンアイテムはQuarkXPressレイアウトとまっ たく同様に機能するため、レイアウトアーティストはそのファイルを開いて編集できま す。

この間、レイアウトアーティストは、記事に使用する別のコンポジションゾーンアイテムを広告と同じページ上に指定できます。レイアウトアーティストは、ヘッドライン用、 記事の本文用、および画像用の3つのボックスを作成します。Shiftキーを使用して3つの ボックスをすべて選択し、これらのボックスから新しいコンポジションゾーンファイル を作成します。そのファイルを書き出してから、ファイルがスタッフの共有ネットワー クフォルダにあることを執筆者に通知します。執筆者がそのファイルで作業し、更新さ れたバージョンを保存するたびに、更新内容がレイアウトアーティストのプロジェクト に表示されます。また、広告と同様に、記事も後で編集できます。

# グループ作業およびシングルソース



上:メインのレイアウトアーティストは、プロジェクトの一部をコンポジションゾーン として書き出し、リモート広告デザイナーに電子メールでファイルを1つ送信して、もう 1つのファイルをローカルネットワーク上のサーバーに配置します。中央:メインのレイ アウトアーティスト、レポーター、および広告デザイナーは、ページ上の各担当部分を 同時に編集します。下:完成した広告を広告デザイナーが電子メールメッセージでメイ ンのレイアウトアーティストに送信すると、ページが自動的に更新され、レイアウトが 完成します。

上記のシナリオではコンポジションゾーンの主な用途が説明されていますが、この機能 によって、その他のグループ作業ワークフローの問題も解消されます。たとえば、さま ざまな理由により、コンポジションゾーンは定義されたプロジェクトに制限されている 場合があります。レイアウトアーティストがある広告をプロジェクト内の2つ以上の位置 で使用したいと考えており、その広告には複数のテキストや画像ボックスが含まれてい る場合、**コンテンツ**パレットを使用してアイテムのグループを同期することはできませ ん。しかし、レイアウトアーティストが、選択された複数のアイテムを基にコンポジショ ンゾーンアイテムを作成した場合、そのコンポジションゾーンアイテムは同期され、プ ロジェクト全体で使用できるようになります。そのため、レイアウトアーティストは、 印刷される雑誌に1つのレイアウトを指定し、その広告が含まれるデジタルページの同じ プロジェクトに、もう1つのレイアウトを使用できます。レイアウトアーティストは、コ ンポジションゾーンアイテムの使用を1つのプロジェクトに制限できますが、広告は、印 刷物とデジタル出力とで完全に一致させることができます。

## コンポジションゾーンの用語

コンポジションゾーンには、レイアウトに配置すると**アイテム**のように動作し、コンテ ンツを編集する場合は**レイアウト**のように動作する、特有な特徴があります。

- コンポジションゾーンアイテム:さまざまな箇所に存在するレイアウトのコンテン ツを表示するアイテムです。コンポジションゾーンアイテムは、異なるレイアウト のコンテンツを参照できる「ウィンドウ」として捉えることができます。コンポジ ションゾーンアイテムに表示されるレイアウトは、コンポジションレイアウトと呼 ばれます(次の定義を参照)。各コンポジションゾーンアイテムは、単一かつ唯一 のコンポジションレイアウトからコンテンツを取得します。
- コンポジションレイアウト:コンポジションゾーンアイテムにコンテンツを提供するためだけに使用される特殊なレイアウトです。コンポジションレイアウトは、言わばコンポジションゾーンアイテムの「ウィンドウ」を介して表示できるレイアウトです。同期された複数のコンポジションゾーンアイテムは、1つのコンポジションレイアウトのコンテンツを表示できます。ただし、コンポジションレイアウトを複数のユーザーが同時に編集することはできません。



QuarkXPressでは、コンポジションゾーンアイテムを作成すると、コンポジションレイ アウトが自動的に作成され、そのコンポジションゾーンアイテムにコンテンツが提供さ れます。



コンポジションレイアウトにコンテンツを追加すると、対応するコンポジションゾーン アイテムは自動的に更新されます。更新内容は、コンポジションゾーンアイテムが含ま れるレイアウトに設定されている環境設定に基づいて、ただちに、印刷時に、またはプ ロジェクトを開くときに、コンポジションゾーンアイテムに表示されます。

- 元のコンポジションゾーンアイテム:コンポジションゾーンアイテムが作成された 初期レイアウトまたはユーザー定義領域です。
- 配置済みのコンポジションゾーンアイテム:コンテンツパレットを使用してレイア ウトに配置したコンポジションゾーンアイテムです。
- 元のホストレイアウト:コンポジションゾーンアイテムが作成されたレイアウトです。
- ホストレイアウト:コンポジションゾーンアイテムが配置されているレイアウトです。

## Composition Zonesアイテムの作成

Composizion Zonesアイテムおよび対応するコンポジションレイアウトを作成するには、3つの方法を使用できます。

- 複数のオブジェクトを選択し、アイテム > Composition Zones > 作成を選択します。
- レイアウト全体をComposition Zonesアイテムとして指定できます。
- Composition Zonesツールを選択し、Composition Zonesアイテムのスペースの アウトラインを手動で描きます。

下記のトピックでは、Composition Zonesアイテムの作成方法として、上記の3つの方 法を説明します。ここでは、1つのプロジェクト内または**単一プロジェクトのコンポジ** ションレイアウト内での排他的な使用を例としています。

## 選択した複数アイテムからのコンポジションゾーンアイテムの作成

選択した複数のアイテムに基づいたコンポジションゾーンアイテムを作成する方法については、下記の手順に従ってください。

1 アイテムツールまたはコンテンツツール 正 こ を選択してShiftキーを押し、2つ 以上のアイテムを選択します。

- 2 アイテム>コンポジションゾーン>作成を選択します。グループの境界のサイズに等し いボックスがそのグループに置き換わります。
- 3 コンポジションゾーンアイテムの作成を完了するには、アイテム>共有を選択するか、 ウィンドウメニューでコンテンツパレットを表示してアイテムの追加をクリックします。 いずれの方法でも、共有アイテムのプロパティダイアログボックスが表示されます。

7 <del>44</del> .			-
180:	U179F2		_
	可用性: このプロジェク	トのみ	÷
	位置: 内部	外部に保	存
	□ プロジェクト	ウィンドウにタブを表示 <u>キャンセル</u>	<mark>OK</mark>

**共有アイテムのプロパティ**ダイアログボックスを使用して、コンポジションレイアウト に名前を付け、利用可能性を指定します。

- 4 名前フィールドにコンポジションレイアウトの名前を入力します。
- 5 有効性ドロップダウンメニューでこのプロジェクトのみを選択します。
- 6 プロジェクトウィンドウにタブを表示をオンにすると、プロジェクトウィンドウの下部 にあるレイアウトタブからコンポジションレイアウトにアクセスできます。
- 7 OKをクリックしてコンポジションレイアウトを保存します。
- 1つ以上の選択されたアイテムがロックされている場合(アイテム>ロック> 設定位置)、コンポジションゾーンアイテムを作成できません。

# レイアウトからのコンポジションゾーンアイテムの作成

レイアウト全体に基づいてコンポジションゾーンアイテムを作成する方法については、 下記の手順に従ってください。

- コンポジションゾーンアイテムとして指定するレイアウトを表示します(「レイアウト 1」など)。
- 2 レイアウト > 詳細レイアウトプロパティを選択します。
- 3 レイアウトの共有をオンにします。

詳細レ	イアウトプロパティ	r i
✓ レイアウトの	共有	
有効性: このプ	ロジェクトのみ	\$
🗹 703	ジェクトウィンドウにな	9プを表示
	キャンセル	ОК
	キャンセル	OK

**詳細レイアウトプロパティ**ダイアログボックスを使用して、レイアウト全体に基づいた コンポジションレイアウトの共有を指定します。

- 4 有効性ドロップダウンメニューでこのプロジェクトのみを選択します。
- 5 プロジェクトウィンドウにタブを表示をオンにすると、プロジェクトウィンドウの下部 にあるレイアウトタブから簡単にアクセスできるようにコンポジションレイアウトを表 示できます。プロジェクトウィンドウにタブを表示をオフにすると、コンポジションゾー ンアイテムを選択してアイテム>コンポジションゾーン>編集を選択することによって、 コンポジションレイアウトにアクセスできます。
- 6 OKをクリックします。コンポジションレイアウトが**コンテンツ**パレットに表示されま す。
- コンポジションレイアウトには、複数のページが含まれる場合があります。ページメニュー またはページレイアウトパレットを使用して、ページを追加、削除、または移動できま す。
- コンポジションゾーンツールを使用したコンポジションゾーンアイテムの作成

コンポジションゾーンアイテムを手動で定義する方法については、下記の手順に従って ください。

- 1 **ツール**パレットでコンポジションゾーンツールを選択します。
- 2 ドラッグしてコンポジションゾーンアイテムを描画します。
- 3 コンポジションゾーンアイテムの作成を完了するには、アイテム > 共有を選択するか、 ウィンドウメニューでコンテンツパレットを表示してアイテムの追加 ♀ をクリックします。いずれの方法でも、共有アイテムのプロパティダイアログボックスが表示されます。

¢
存
ħ

**共有アイテムのプロパティ**ダイアログボックスを使用して、コンポジションレイアウト に名前を付けます。さらに、有効性を指定して、プロジェクトウィンドウの下部にタブ を表示するかどうかを指定します。

- 4 名前フィールドにコンポジションレイアウトの名前を入力します。
- 5 有効性ドロップダウンメニューでこのプロジェクトのみを選択します。
- 6 OKをクリックします。コンポジションレイアウトが**コンテンツ**パレットに表示されま す。

## コンポジションゾーンアイテムの配置

**コンテンツ**パレットにコンポジションレイアウトを追加した後で、そのコンポジション レイアウトに基づいたコンポジションゾーンアイテムをページに配置できます。コンポ ジションゾーンアイテムの配置については、下記の手順に従ってください。

1 ウィンドウメニューで、コンテンツパレットを表示します。

	×
▼ コンテンツ	P
共有済み 🕈 🍈 🏾 🖍 🗵	
🖂 🔟 画像アイテム	
■ ■像	
▶情報	

**コンテンツ**パレットには、コンポジションレイアウトや、他の共有コンテンツのリスト が表示されます。

- 2 配置するコンポジションレイアウトを選択します。
- 3 コンテンツパレットからそのレイアウトに、コンポジションレイアウトをドラッグします。

## 配置したComposition Zonesアイテムでの複数ページの管理

コンポジションレイアウトには、複数のページが含まれる場合があります。ただし、そのコンポジションレイアウトに基づいたComposition Zonesアイテムは、一度に1ページのみ表示できます。Composition Zonesアイテムに表示するページの指定については、下記の手順に従ってください。

- 1 Composition Zonesアイテムを選択します。
- 2 アイテム>設定を選択して、レイアウトタブをクリックします。
- 3 ページドロップダウンメニューからページを選択します。

ox	Frame	Runaround	Layout	Drop Shadow		
	Page:	1	•	Layout Opacit	y: 100%	•
Offse	et Across:	1				
Offs	set Down:	3				
	Scale:	4				
	ánale:	0.0	-			
Su	uppress O	utput				

設定ダイアログボックスのレイアウトタブにあるページドロップダウンメニューを使用 して、配置されたComposition Zonesアイテムにコンポジションレイアウトの特定の ページを指定します。

4 **OK**をクリックします。

# Composition Zonesアイテムの属性の編集

Composition Zonesアイテムの属性の編集については、下記の手順に従ってください。

- 1 Composition Zonesアイテムを選択します。
- 2 アイテム > 設定を選択します。
- 3 設定ダイアログボックスのボックスタブを使用して、設定位置、サイズ、行揃え、カ ラー、不透明度、および印刷の機能を指定します。
- **4 フレーム、回り込み、**および**ドロップシャドウ**タブを使用して、その他の構造上の調整 を行います。
- 5 レイアウトタブを使用して、ページ間のナビゲーション、印刷の無効化または有効化、 レイアウトの不透明度の調整を行います。

## コンポジションゾーンアイテムから画像への変換

コンポジションゾーンアイテムから外部画像ファイルを作成するには、**アイテム>コン** ポジションゾーン>画像へ変換を選択します。選択すると、コンポジションゾーンが作 成されたレイアウトタイプ内に、適切な画像が作成されます。

画像に変換する前のコンポジションゾーンアイテムは、使用状況ダイアログボックス(補助メニュー)のComposizion Zonesペインに表示されます。ただし、アイテム>コン ポジションゾーン>画像へ変換を選択すると、Composizion Zonesアイテムは同期さ れないことを示す警告が表示されます。変換された画像は、使用状況ダイアログボック スの画像ペインに表示されますが、コンポジションレイアウトは、コンテンツパレット に残ります。

#### コンポジションゾーンアイテムの同期の解除

コンポジションゾーンアイテムの同期を解除しても、そのコンポジションレイアウトは プロジェクト内で引き続き使用できます。コンポジションゾーンアイテムの同期の解除 については、下記の手順に従ってください。

- 1 レイアウトウィンドウでコンポジションゾーンアイテムを選択します。
- 2 アイテム>同期の解除を選択します。コンポジションレイアウトは、将来使用するため コンテンツパレットに保持されます。ただし、同期が解除されたレイアウトウィンドウ のコンポジションゾーンアイテムへの後続の変更は、同期されません。

## コンポジションレイアウトの編集:コンテンツ

コンポジションレイアウトを編集する場合、コンテンツを変更してレイアウトレベルの 属性を調整できます。

コンポジションレイアウトのコンテンツの編集については、下記の手順に従ってくださ い。

1 プロジェクトウィンドウの下端にあるレイアウトタブの、レイアウト名をクリックします(プロジェクトウィンドウにタブを表示チェックボックスがオンになっている場合のみ利用可能です)。コンポジションレイアウト名がレイアウトタブに表示されていない

場合は、**アイテム**ツール を選択し、コンポジションゾーンアイテムをダブルクリックします。

- 2 コンポジションレイアウトが表示されたら、すべてのコンポジションレイアウトのコン テンツを編集できます。テキスト、画像、およびアイテムを変更するにはメニューおよびパレットのコマンドを使用し、コンテンツを追加するにはツールを使用できます。
- 3 ウィンドウを閉じると、コンポジションゾーンのアイテムのコンテンツが更新されます。

#### コンポジションレイアウトのコンテンツの編集

編集するコンポジションレイアウトにアクセスする方法は、**詳細レイアウトプロパティ** ダイアログボックスのプロジェクトウィンドウにタブを表示設定で決定します。プロジェ クトウィンドウにタブを表示をオンにすると、プロジェクトウィンドウの上部にあるレ イアウトタブからコンポジションレイアウトにアクセスできます。コンテンツとレイア ウト属性を編集するコンポジションレイアウトをアクティブ化するには、そのタブをク リックします。

**プロジェクトウィンドウにタブを表示**をオンにしない場合は、アイテムツールを選択し、 元のコンポジションゾーンアイテムをダブルクリックします。コンポジションレイアウ トが表示されます。

レイアウト全体から作成されたコンポジションレイアウトについては、そのレイアウト に簡単にアクセスできるように、**詳細レイアウトプロパティ**ダイアログボックスの**プロ** ジェクトウィンドウにタブを表示をオンにします。オンにしない場合は、コンテンツパ レットでコンポジションレイアウトを選択し、編集をクリックしてからプロジェクトウィ ンドウにタブを表示をオンにする必要があります。

#### コンポジションレイアウトの同期の解除

コンポジションレイアウトの同期を解除すると、コンポジションレイアウトと、そのコ ンポジションレイアウトに基づく既存のコンポジションゾーンアイテム間のリンクがす べて解除されます。プロジェクトに含まれているコンポジションゾーンアイテムのすべ てのインスタンスの同期を解除するには、コンテンツパレットで対象のコンポジション レイアウトを選択して、すべて同期解除ボタン をクリックします。ただし、後でコン ポジションレイアウトを変更し、それに基づく新しいコンポジションゾーンアイテムを 配置すると、その新しいコンポジションゾーンアイテムに変更が適用されます。

## コンポジションレイアウトの削除

コンポジションレイアウトの削除については、下記の手順に従ってください。

- 1 コンテンツパレットを表示します。
- 2 パレットでコンポジションレイアウトを選択し、**削除** をクリックします。

# ノート

ノート機能を使用して、実際のプロジェクトのコンテンツに影響を与えることなく、プロジェクトにコメントを保存できます。 ノートを使用してコンテンツに警告やコメントを追加したり、プロジェクトにURLを追加したりできます。 開いたノートはハードコピー に張り付ける付箋のように見えます。

 Quark Publishing Platformで使用する場合、ノート機能ではQuark Publishing Platform で定義済みの設定が使用されます。 詳細は、『A Guide to Quark Publishing Platform』を参照してください。

# ノートの作成

ノートを操作するには、まず**表示>ノートの表示**を選択してノートが表示されているこ とを確認します(このメニューアイテムが**ノートを非表示にする**と表示されていれば、 ノートがすでに表示されています)。このオプションをオフにすると、テキストでノー トアイコンが表示されなくなり、ノートを操作するメニューアイテムが無効になります。

ノートを作成するには、ノートを入力するテキスト挿入ポイントの場所を指定し、編集 >ノート>挿入を選択します。ノートウィンドウが表示され、WYSIWYG表示ではテキ

スト挿入ポイントの右側に**ノート**アイコン も表示されます。ノートのテキストをノート ウィンドウに入力します。

➡ Mac OS Xでは、ノートアイコンとノートウィンドウとの間にリンクも表示され、新た に作成されたノートはアーティクル領域に表示されず、代わりにペーストボード領域に表 示され、アーティクルテキストを隠しません。

Always place a note a	at the beginning	or end
place a note a	talyn 😮	N
note at the be	ocumentation.	th
the beginning		n
ainning or end		e

ノートを使用してプロジェクトにコメントを保存できます。

実際、ノートアイコンは特殊なテキスト文字です。ノートアイコンはテキストフローに影響しませんが、別の方法で通常のテキスト文字のような動作をします。たとえば、ノート

アイコンを含むテキストの範囲を選択してから文字入力を開始すると、**ノート**アイコンを 含むテキストが入力した文字に置き換わり、ノートが失われてしまいます。

➡ ノートの書式を変更するには、ノート環境設定を使用します。 詳細は、「環境設定 - ア プリケーション - ノート」を参照してください。

## ノートの使用

**アイテム>ノート**サブメニューのコマンドを使用して、ノートからノートに移動し、個々のノートを作成および削除し、プロジェクト内のすべてのノートを開いたり閉じたりすることができます。

## ノートの開始と終了

ノートをレビューコメントとして開いたり閉じたりするには、下記の手順を実行します。

- 既存のノートを開くには、ノートアイコン↓をクリックして、アイテム>ノート>
   ノートを開くを選択します。
- プロジェクトのすべてのノートを開くには、アイテム>ノート>すべてのノートを 開くを選択します。
- ノートを閉じるには、ノートウィンドウの左上隅(Mac OS X)または右上隅 (Windows)の閉じるボックスをクリックするか、またはアイテム>ノート>ノー トを閉じるを選択します。
- プロジェクトの開いているすべてのノートを閉じるには、アイテム>ノート>すべてのノートを閉じるを選択します。
- テキスト挿入ポイントをテキスト内の次のノートへ移動させるには、アイテム>ノート>次へ進むを選択します。テキスト挿入ポイントをテキスト内の前のノートへ移動させるには、アイテム>ノート>前へ戻るを選択します。

### ノートの表示および非表示

非表示のノートを表示するには、**表示>ノートの表示**を選択します。表示されているノートを非表示にするには、**表示>ノートを非表示にする**を選択します。

#### ノートの削除

ノートを削除するには、下記のいずれかを実行します。

- ノートアイコン をクリックしてから、アイテム > ノート > 削除を選択します。
- 開いているノートウィンドウをクリックしてから、アイテム>ノート>削除を選択します。
- ノートアイコンの右側にテキスト挿入バーを配置して、DeleteキーまたはBackspace キーを押します。
- ノートアイコンを含むテキストの範囲を選択して、DeleteキーまたはBackspace キーを押します。

ノートおよびテキストの相互変換

選択したテキストをノートに変換するには、 アイテム>ノート>選択をノートに変換を 選択します。

#### 作成者、日付、名前、または色別のノートの表示

特定の作成者別または作成された日付別にノートを表示するには、**表示>ノートの表示** を選択してノートを有効にし、アイテム>ノート>ノートを開く(条件指定)・・・を 選択して開いたノートダイアログボックスを表示し、すべてのノートをクリックして、 すべてのノート領域のコントロールを使用します。

名前別または色別にノートを表示するには、 **アイテム>ノート>新規ドキュメント内の** すべてのノートを開く を選択して、名前別サブメニューまたは色別サブメニューからオ プションを選択します。 ノートがテキストとして新規プロジェクトに表示されます。

#### ノートの移動とサイズ変更

ノートウィンドウを移動するには、タイトルバーをドラッグします。 ノートウィンドウ はプロジェクトアーティクル内のどこにでも移動できます。 Windowsでは、ノートの ■ボタンをクリックして、移動されたノートを元の場所に戻すことができます。

ノートのサイズを変更するには、ノートウィンドウの右下にあるサイズ変更ボックスを クリックしてドラッグします。

#### ノートの印刷

プロジェクトを印刷するとき、ノートを含めるかどうか、およびどのようなフォーマットにするかを選択できます。印刷ダイアログボックス(ファイルメニュー)で左のリストにあるノートをクリックすると、ノートペインが表示されます。次にノートを印刷をオンにして、出力にノートを含めます。 すべてのノートを含めるか、開いているノートのみを含めるかを選択できます。

#### PDFのノート

ノートを含むプロジェクトからPDFを作成する場合、PDFでノートを表示するかどうかを 選択できます。ノートがPDFノートとして含まれます。

ノートをPDFファイルに含めるには、**PDFとして書き出し**ダイアログボックス(**ファイ** ル>書き出し>PDF形式のレイアウト)のオプションをクリックし、左側に表示される リストのノートをクリックして、PDFにノートを含めるをオンにします。

変更履歴

ドキュメントのレビュー環境では、管理編集者やコピー編集者などのレビュー担当者が プロジェクトに変更を加えます。 変更履歴はそれらの変更点を追跡するための機能で、 これにより執筆者、編集者、プロジェクトマネジャー、および他のユーザーは、プロジェ クトの変更内容を確認し、その変更が適切かどうかを判断できます。 変更履歴機能を使 用して、プロジェクトに加えられた挿入や削除の部分を参照し、その変更を受け入れる か拒否するかを決定できます。

Quark Publishing Platform®で使用する場合、変更履歴機能ではQuark Publishing
 Platformで定義済みの設定が使用されます。詳細は、『A Guide to Quark Publishing
 Platform』を参照してください。

# トラッキングの切り替え

トラッキングをオンにするには、下記のいずれかを実行します。

- 補助 > 変更履歴 > トラッキングするがオンになっていることを確認します。
- ・変更履歴ツールバー(補助>変更履歴>ツールバーを表示する)を表示し、トラッキングするボタン



**変更履歴**ツールバーを使用して、トラッキングのオンとオフを切り替えることができます。

トラッキングをオンにすると、QuarkXPressは、アクティブなプロジェクトのテキスト に加えられるすべての変更をトラッキングします。削除されたテキストはWYSIWYG表 示に表示されませんが、削除内容は引き続きトラッキングされます。削除内容は、ゲラ および全画面表示で見ることができます。 Always place a note at the beginning or end of a word place the note in the middle of a word, the hidden text causes QuarkCopyDesk to treat it as two separate wo word count.

変更履歴機能を使用して、自分が行った変更をトラッキングできます。

➡ フォーマットの変更はトラッキングされません。

## トラッキングされた変更内容の表示

すべてのトラッキングされた変更内容を表示するには、下記のいずれかを実行します。

- 補助 > 変更履歴 > ハイライトするがオンになっていることを確認します。
- ・変更履歴ツールバー(補助>変更履歴>ツールバーを表示する)を表示し、ハイラ イトするボタン

コンポーネントに対する変更内容の中では、**変更履歴**ツールバーのナビゲーションボタン(前へ ⇔および次へ ⇒)を使用して移動できます。

表示される変更の種類を指定するには、変更履歴ツールバーのハイライト表示オプショ ン シ をクリックします。ハイライト表示オプションダイアログボックスが表示されます。 ハイライトするドロップダウンメニューでは、挿入個所のみ、削除個所のみ、または挿 入個所と削除個所を表示するように選択できます。確認者を選択リストを使用して特定 の確認者によって加えられた変更内容のみを表示したり、すべてをオンにしてすべての 確認者による変更内容を表示したりできます。

表示オプシ	ヨン	
ハイライ	挿入個所と削除個所	~
確認者を □ <b>▽ 全て</b> □ <b>▽</b> 4	選択: I admin	~
		~
, 	OK キャン	セル

**表示オプション**ダイアログボックスを使用して、どの確認者の編集内容を表示するか指定したり、挿入個所、削除個所、またはその両方を表示するように指定したりできます。

ハイライト表示されるのは、トラッキングするが有効になっている間にコンポーネントに 対して行われた挿入個所と削除個所だけです。 ◆ 変更内容のトラッキングフォーマットのアピアランスを変更するには、アプリケーション 環境設定ダイアログボックス(編集 > 環境設定(Windows)または(QuarkXPress > 環境設定(Mac OS X))の変更履歴ペインのコントロールを使用します。

## 変更内容の同意および拒否

挿入に同意すると、ハイライトが削除され、コンポーネントのコンテンツにテキストが 追加されます。削除に同意すると、コンポーネントからコンテンツが削除されます。変 更内容に同意するには、変更対象のテキストを選択し、**同意する** ドロップダウンメ ニュー(**変更履歴**ツールバー)からオプションを選択します。

- 変更内容に同意する: 選択された変更を受け入れます。
- 表示されているすべての変更内容に同意する: コンポーネント内でハイライトされ ているすべての変更を受け入れます。
- **すべての変更内容に同意する**: レビューアによって行われたすべての変更を受け入 れます。

挿入を拒否すると、コンポーネントからテキストが削除されます。削除を拒否すると、 ハイライトが削除され、テキストが通常のテキストとしてコンポーネントに残されます。 変更内容を拒否するには、変更対象のテキストを選択し、**拒否** ドロップダウンメニュー (**変更履歴**ツールバー)からオプションを選択します。

- 変更内容を拒否する: 選択された変更を拒否します。
- 表示されているすべての変更内容を拒否する: コンポーネント内でハイライトされ ているすべての変更を拒否します。
- **すべての変更内容を拒否する**: レビューアによって行われたすべての変更を拒否します。

# ジョブジャケット

ジョブジャケット機能は、プリフライトに替わる革新的な機能です。印刷ジョブが、**作** 成された時点から印刷機により出力されるまでのすべての工程にわたり、仕様に準拠し て、逸脱しないように管理します。また、スタイルシートやカラー、ページサイズ、カ ウントまでを含めて同期され、動的にアップデート可能なデザインにプロジェクトをリ ンクすることで、これまで個々のユーザーレベルで考えられていたジョブ仕様順守の概 念を拡大しました。

## ジョブジャケットの理解

ジョブジャケットには、下記の2つの目的があります。

- ジョブの定義者が、印刷レイアウトおよびデジタルレイアウトの詳細仕様を作成で きるようにします。
- レイアウト担当デザイナーが、これらの仕様を基にプロジェクトおよびレイアウト を作成し、他のレイアウト担当デザイナーと仕様を共有して、レイアウトが仕様に 従っているかどうかを確認できるようにします。

レイアウトの作成や出力へのレイアウトの正常な送信が複雑な作業であるため、ジョブ ジャケットが作り出されました。

たとえば、印刷レイアウトの作成者がある問題で困っているとします。印刷機によって 機能は異なるため、最新のページレイアウトアプリケーションではこれらの機能すべて をサポートする柔軟性が必要になります。単純な人為的ミスの可能性も排除できないた め、予想外なことが数多く起きる可能性もあります。そのいくつかの例を見てみます。

- レイアウト担当デザイナーが、依頼先の印刷業者で正確に再現できない可能性のあるカラーやインポート済み画像を使用することがあります。
- 100ページを想定して予算の組まれたドキュメントが、出力用に送信されたときに は112ページになっていることがあります。
- 必要な画像ファイルやフォントが含まれていない状態でプロジェクトが出力デバイスに送信されることもあります。
- スポットカラーの小さいテキストが使用されたレイアウトが4色印刷に送信され、テキストが読めなくなってしまうことがあります。
- カラーマネージメント設定が、出力デバイスに対して正しく設定されていないため、 予期しない結果になることがあります。

大型で複雑な印刷作業では、ミスの発生する可能性も高くなり、ミスによるコストが増 大します。ジョブジャケットにより、最初に印刷不可能な作業や正しく構築されていな い作業が発生することを防ぎます。

# ジョブジャケットとは

技術的な面から言えば、ジョブジャケットとは、QuarkXPressレイアウトを作成して検 査するための仕様とルールを含むXML構造です。概念としては、ジョブジャケット構造 は、さまざまな種類のプロジェクトとレイアウトだけでなく他の種類の情報も記述する ジョブチケットを含んだフォルダと比較することができます。

ジョブジャケットは、JDF (Job Definition Format) スキーマの最新バージョンに基づ いています。QuarkXPress関連の仕様を制御できるようにするだけでなく、ジョブジャ ケットにより、バインディングやクロスオーバー設定など、JDFが網羅する他のさまざま な仕様に値を設定できます。出力にレイアウトを送信するときには、ダウンストリーム システムが自動化の情報および情報目的の情報を使用できるように、レイアウトのJDF情 報を含めるオプションが用意されています。また、ジョブジャケットの使用は拡張可能 であるため、JDF互換システムの開発者は、ジョブジャケットアップストリームをレイア ウト担当デザイナーに渡す前に、自身の仕様に固有の設定をジョブジャケットに埋め込 むことができます。これらの設定は、その後ジョブジャケットファイルに保存され、 XTensionsソフトウェア、JDF対応アプリケーション、その画のシステムがこの設定を使 用して、非常に多様な処理を自動化および効率化します。

また、ジョブジャケットは、ワークグループ内での共同作業に役立つこともあります。 仕様の同一セットを共有するレイアウトで作業している数人のレイアウト担当デザイナー は、自身のプロジェクトを共有ジョブジャケットファイルにリンク付け、1人のレイアウ ト担当デザイナーがスタイルシートなどに変更を加えた場合、他のレイアウト担当デザ イナーのレイアウトにも同じ変更内容が自動的に伝わるようにできます。

#### ジョブジャケットの構造

ジョブジャケットとは、仕様とルールを含んだXML構造です。下記のトピックでは、これらの仕様とルールがジョブジャケット内で編成される方法を説明します。

## リソース

ジョブジャケットには**リソース**が入っています。リソースには下記のものがあります。

- 1 プロジェクトレベルリソース:個々のプロジェクトに適用できる、スタイルシート、カ ラー、出力スタイル、およびカラーマネージメント設定などの要素です。
- 2 レイアウトレベルリソース:個々のレイアウトに適用できるリソースで、下記のものが あります。
  - レイアウトの仕様:レイアウトに特定のサイズや方向などを割り当てるために使用 される設定です。
  - ルールおよびルールセット:レイアウトを検査するためのテストで、仕様に準拠しているかどうかを検証します。

ジョブジャケットには、上記で説明したリソースの他に、下記のような情報リソースを 含めることができます。

- ジョブの説明:このカテゴリには、ジョブ番号、リビジョン、説明、ノート、およびキーワードなとが含まれます。
- 連絡先:ジョブの定義者やジョブに関連するその他の連絡先情報です。連絡先を含 めておくと、問題が発生した場合により早く適切な担当者に連絡することができま す。

#### ジョブチケット

ジョブジャケットのリソースは、1つ以上の**ジョブチケット**で構成されています。各ジョ ブチケットには、QuarkXPressのプロジェクトに適用できる、特定リソースのセットが 含まれています。

ジョブチケットでは、リソースは下記のように分類されます。

- 1 プロジェクト設定値: プロジェクトレベルのリソースで、単一のプロジェクトに適用できます。プロジェクト設定値には、スタイルシート、カラー、出力スタイル、およびカラーマネージメント設定などがあります。各ジョブチケットには、1組のプロジェクト設定値が含まれています。
- 2 レイアウト定義:レイアウトレベルのリソースセットで、それぞれが1つのレイアウト に適用できます。ジョブチケットに、レイアウト定義を含めることができます。レイア ウト定義には、下記の項目を含めることができます。
  - レイアウトの仕様(ページサイズ、方向など)
  - 出力仕様(特定の出力デバイス用の設定)
  - ルールセット (レイアウトの検査用)
  - メディアタイプ(印刷またはデジタル)
  - カラーマネージメント設定(ソースセットアップおよび出力セットアップ)
  - プルーフ仕様(出力のプルーフおよびプルーフ方法)
  - 情報リソース(説明、ジョブの説明など)



リソースは、ジョブジャケット構造に定義および保存されます。ジョブチケットには、 各プロジェクトタイプ用のプロジェクト設定値、およびレイアウト用のレイアウト定義 が含まれています。リソース定義は、ジョブチケットには「常駐」していません。ジョ ブチケットは、ジョブジャケット構造に常駐しているリソース定義を「参照」します。

# ジョブチケットおよびジョブチケットテンプレート

ジョブチケットには下記の3種類があります。

- ジョブチケットテンプレートは、「マスター」ジョブチケットの定義です。ジョブ チケットテンプレートには、マスターページやQuarkXPressテンプレートファイル に似たところもあります。
- アクティブジョブチケットは、特定のプロジェクトに関連付けられたジョブチケットテンプレートのコピーです。
- 無効ジョブチケットは、プロジェクトに関連付けられていたが、現在はそのプロジェ クトに関連付けられていないジョブチケットテンプレートのコピーです。プロジェ クトを保存せずに閉じた場合などが該当します。



ジョブジャケットファイルには、ジョブチケットの定義を含んだジョブチケットテンプ レート、特定のプロジェクトに関連付けられたアクティブジョブチケット、およびある プロジェクトに関連付けられていたが、今はそのプロジェクトに関連付けられていない 無効ジョブチケットを含めることができます。

複数のプロジェクトのジョブチケットを作成するときに、各ジョブチケットテンプレートを使用できます。各ジョブチケットは、1つのプロジェクトにのみ適用できます。ジョ ブチケットをプロジェクトに適用すると、そのジョブチケットのリソースがプロジェクトで使用可能になります。たとえば、プロジェクトは、ジョブチケットにリストされているすべての色、スタイルシート、レイアウト定義を継承します。

ジョブチケットをプロジェクトに適用する方法は2つあります。

- ・プロジェクトの作成時に、ファイル>新規>チケットからプロジェクト作成の順に 選択し、次にジョブチケットテンプレートを選択します。QuarkXPressが、ジョブ チケットテンプレートの情報を新規プロジェクトの新規ジョブチケットにコピーし ます。新規プロジェクトは、ジョブチケットテンプレートにある各レイアウト定義 のあらかじめ設定されたレイアウトを自動的に含め、さらにジョブチケットテンプ レートで定義されたすべてのプロジェクト設定も含めます。
- プロジェクトを作成するか、既存のプロジェクトを開き、ファイル>ジョブジャケット>プロジェクトのリンクの順に選択してから、ジョブチケットテンプレートを選択します。QuarkXPressは、再度ジョブチケットテンプレートの情報をこの特定プロジェクトの新規ジョブチケットにコピーします。そのプロジェクトは、ジョブチケットテンプレートで定義されたすべてのプロジェクト設定を取得し、ジョブチケットテンプレートにある各レイアウト定義に対して、あらかじめ設定されたレイアウトが新たに作成されます。
- ジョブチケットでは、作成元のジョブチケットテンプレートへのリンクは保持されません。ジョブチケットテンプレートに加えられた変更は、既存のジョブチケットには反映されません。

## リンクジョブジャケットおよび埋め込みジョブジャケット

それぞれのQuarkXPressプロジェクトは、ジョブジャケット構造に関連付けられます。 プロジェクトのジョブジャケット構造は、そのプロジェクトに埋め込まれるか、ローカ ルファイルシステムのXMLジョブジャケットファイルに保存されます。プロジェクトの ジョブジャケット構造の場所は、プロジェクトの作成方法によって異なります。詳細は、 「プロジェクトへのジョブチケットテンプレートの適用」を参照してください。

# ジョブジャケット



#### 埋め込みジョブジャケット構造



ジョブジャケット構造は、ファイルシステムにXMLファイルとして含めることも、プロ ジェクトファイルに埋め込むこともできます。

デフォルトでは、非埋め込みジョブジャケットファイルは、QuarkXPress/編集メニュー にある環境設定ダイアログボックスのジョブジャケットペインで指定した場所に保存さ れます。また、ジョブジャケットファイルは好きな場所に保存することもできます。た とえば、ワークグループのレイアウト担当デザイナー間で1つのジョブジャケットを共有 している場合(「共有ジョブジャケットファイル」を参照)、それぞれがネットワーク 経由でアクセスできるように、共有しているジョブジャケットファイルをファイルサー バーに配置できます。

ジョブジャケットの保存先となるデフォルトの場所を変更するには、QuarkXPress/編 集メニューにある環境設定ダイアログボックスのジョブジャケットペインに移動し、 Select the pathをクリックしてから選択ボタンをクリックし、対象ディレクトリを指 定します。

## ジョブジャケットのワークフロー例

本トピックでは、ジョブジャケットのワークフローについて説明します。ここで説明す るのは、実行可能なワークフローの1つであり、ジョブジャケットの使用方法を説明する ための一例です。使用されている用語の定義は下記のとおりです。

- ジョブの定義者:ページ番号、サイズ、カラーなどの印刷ジョブに必要な設定に精 通しているユーザーです。
- 出力担当者:印刷ジョブの作成方法、および目的の印刷機で正しく印刷するための 設定方法を熟知しているユーザーです。
- レイアウト作成者: QuarkXPressで実際にレイアウトを作成するユーザーです。

ジョブジャケットのワークフローは下記のとおりです。

出力担当者とジョブの定義者が共同で、印刷ジョブ(または関連する印刷ジョブのセット)に適した出力仕様とルールを定義します。これには、ページサイズ、ページ数、カラーリスト、トラップ設定、スタイルシート、ラインの太さおよび取り込む画像のカラースペースの有効範囲などが含まれます。

- 2 ジョブの定義者は、これらの仕様やルールに従って、ジョブジャケットファイル内にジョ ブチケットテンプレートを作成します。ジョブチケットテンプレートは、個々のプロジェ クトについて記述したもので、そのプロジェクト内の各レイアウトについてさまざまな 仕様やルールを含めることができます。ただし、ここでは、ジョブチケットテンプレー トにレイアウトが1つしか定義されていない場合を想定しています。ジョブジャケット ファイルを作成し終えると、ジョブの定義者はそのファイルをレイアウト作成者に渡し ます。
- 3 レイアウト作成者は、ファイル>新規>チケットからプロジェクト作成コマンドを使用して、ジョブチケットテンプレートからプロジェクトを作成します。QuarkXPressは、自動的にジョブチケットテンプレートからジョブチケットを作成して、そのジョブチケットをプロジェクトに関連付けます。QuarkXPressは、ジョブチケットを読み込み、自動的にジョブチケットのすべてのリソース(カラー、スタイルシート、カラーマネージメント設定など)をプロジェクトに挿入します。また、QuarkXPressは、ジョブチケット内で定義されたすべてのレイアウトを自動的に作成します。
- 4 レイアウト作成者は、ジョブチケットを一組のガイトラインとして使用して、レイアウトを作成します。レイアウト作成者は、定期的にファイル>ジョブジャケット>レイアウトを評価を選択して、ジョブチケットに定義されているガイドラインに準拠していることを確認します。レイアウトの評価を実行すると、ダイアログボックスに従ってジョブチケットに定義されているルールに違反している設計要素を特定し、そこに移動することができます。これにより、レイアウト作成者は、プリプレスまで問題を放置しておくのではなく、問題の発生時にその問題を修正することができます。
- 5 レイアウトが完成すると、レイアウト作成者は、直接印刷、出力ファイルの収集、PDF (またはPDF/X)への書き出しなどの方法で出力に送信します。ジョブジャケットファ イルに出力仕様が含まれている場合は、それらの出力仕様のフォーマットおよび設定値 を使用してジョブを出力に送信できます。レイアウトはジョブチケットテンプレートに 指定された仕様に準拠して作成されているため、印刷時には正しいレイアウトになりま す。

## ジョブジャケットの使用

ジョブジャケット情報は、XML形式で保存されます。ただし、QuarkXPressには、ジョ ブジャケットの作成と変更を簡単に行える総合的なインターフェイスが用意されていま す。次のトピックでは、ジョブジャケットユーザーインターフェイスの基本を説明して います。

#### 基本モードと詳細設定モード

➡ 基本モードは Windowsでのみ利用できます。

ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(ユーティリティ>ジョブジャケット マネジャー)には、ジョブの定義者がジョブジャケットとジョブジャケットを構成する コンポーネントの作成と設定を行える、統一されたインターフェイスが提供されていま す。

デフォルトで**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックスには、ジョブジャケット フォルダにあるジョブジャケット(「デフォルトのジョブジャケットファイル」を参 照)、および開いているすべてのプロジェクトに関連するジョブジャケットが表示され

# ジョブジャケット

ます。アクティブなプロジェクトが存在する場合、アスタリスク付きで太字で表示され ます。

ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスには、以下に挙げる2つのモードがあります。

- (Windowsのみ) 基本モードは、ジョブジャケットの詳細JDF機能を使用する必要 のない、レイアウト作成者やジョブの定義者向けの機能です。基本モードでは、ジョ ブジャケットの作成や管理、共有に必要なすべてのコントロールが用意されていま す。
- 詳細設定モードは、ワークフローの統合部分を自動化するのにJDFの機能が必要な製品管理者向けです。詳細設定モードは、基本モードに加え、ルールなどの追加リソース、および製本およびクロスオーバーの仕様などのJDFのみのリソースにアクセスできる、別のユーザーインターフェイスを使用します。

(Windowsのみ) 詳細設定モードを使用するには、ジョブジャケットマネジャーダイ アログボックス(補助メニュー)を開き、詳細設定ボタンをクリックします。基本モー ドに戻すには、基本設定ボタンをクリックします。

* * / • • • • •			
名前		リソース:プロジェクト1	
∃ 🗃 New Job Jacket	~	Tandem Bindings	
Default Job Ticket		ぶら下がり文字クラス (8)	
Default Job Ticket 1:Project2		ぶら下がり文字セット (4)	
∃ 🔂 New Job Jacket 2		アウトラインスタイル (3)	
Default Job Ticket		カラー (6)	
一目 チケット		グリッドスタイル (1)	
 目 チケット 2			—
∃ 🗃 New Job Jacket 3			
Default Job Ticket			
∃ @ プロジェクト1 Job Jacket		<u> </u>	状況
Default Job Ticket			プロジェ キノ
「目 Default Job Ticket 1:プロジェ		<b>ブ</b> ラック	プロジェ キ
🚰 プロジェクト 1*			ブロジェ キ
			ノロジェー・
			/¤シュ +
		限度内で最も明るいカラー。	
	~		
甘本設宁			(存在(5) 関いる

ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(ユーティリティ>ジョブジャケット マネジャー)では、ジョブの定義者がジョブジャケットファイルとコンポーネントを操 作できます。このダイアログボックスには、基本モード(上)と詳細設定モード(下) があります。

## ジョブジャケットファイルの作成

まず、ジョブの定義者は、**どのような場合**に、**どのような理由で**ジョブジャケットファ イルを作成する必要があるでしょうか。特に厳密な規則はなく、必要に応じて、すべて の印刷ジョブのジョブチケットを1つの大きなジョブジャケットファイルに入れることが できます。ただし、独立したジョブジャケットファイルが必要となる場合を示すガイド ラインがいくつかあります。

- 同一リソース(カラー、スタイルシート、トラップ設定、カラーマネージメント設定、およびページサイズ)を共有する多数の印刷ジョブを作成する場合、このような印刷ジョブすべてに対して1つのジョブジャケットファイルを作成します。それぞれが独自のビジュアルアイデンティティを持つ、いくつかの異なるクライアントを抱えるデザイン事務所の場合は、各クライアントに1つのジョブジャケットファイルを作成します。
- ・設計グループを担当し、プロモーションキャンペーンなどの特定プロジェクトで作業する各レイアウト作成者が同一リソースを使用するようにする場合、ジョブジャケットファイルと、リソースを含むジョブチケットテンプレートを作成して、レイアウト作成者全員がそのジョブジャケットファイルを共有するようにします。
- 出力プロバイダーであり、特定要件を持つ特定印刷機がある場合、カスタマーの印 刷機の要件をキャプチャしたジョブジャケットファイルを作成することで、要件範 囲の超過を避けることができます。印刷機の要件を含むジョブジャケットファイル を、印刷機の製造元からダウンロードすることもできます。

### ジョブジャケットファイルの作成:基本モード (Windowsのみ)

基本モードを使用してジョブジャケットファイルを作成するには、下記の手順に従って ください。

- ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助> ジョブジャケットマネジャー) を開きます。
- 2 ダイアログボックスに複数のリストが表示される場合は、**基本設定**をクリックして基本 設定画面を表示します。
- 3 新規ジョブジャケットボタン 一をクリックします。新規ジョブジャケットダイアログボックスが表示されます。
- 4 名前フィールドにジョブジャケットファイルの名前を入力します。
- 5 複数のユーザーがこのジョブジャケットファイルを共有できるようにする場合は、この ジャケットを共有をオンにします。このチェックボックスをオンにしない場合は、その ジョブジャケットファイルがアクティブなプロジェクト(存在する場合)に埋め込まれ ます。詳細は、「*共有ジョブジャケットのグループ作業*」を参照してください。
- 6 前の手順でこのジャケットを共有をオンにした場合は、保存位置ドロップダウンメニュー からオプションを選択することによって、ジョブジャケットファイルを保存するロケー ションを指定します。
  - デフォルトのロケーションを使用する場合(「リンクジョブジャケットおよび埋め 込みジョブジャケット」を参照)は、デフォルトジャケットフォルダを選択してく ださい。
  - アクティブなプロジェクトと同じフォルダに共有ジョブジャケットファイルを保存 するには、プロジェクトフォルダを選択します。
  - 別の場所に共有ジョブジャケットファイルを保存するには、その他を選択してター ゲットディレクトリ(すべてのレイアウト作成者がアクセス可能なネットワーク接 続されたボリュームなど)を参照します。
- 7 設定コントロールをクリックして、チケット、スタイル設定、連絡先、およびレイアウトの仕様タブを表示します。



**新規ジョブジャケット**ダイアログボックスでは、新規ジョブジャケットファイルにリソー スを追加できます。

- 8 **チケット**タブでは、ジョブジャケットファイルにジョブチケットテンプレートを追加し ます。 詳細は、「ジョブチケットテンプレートの作成:基本モード (Windowsのみ) 」を参照してください。
- 9 スタイル設定タブでは、ジョブジャケットファイルにリソースを追加します。追加元オ プションを使用して、さまざまなソースからプロジェクトレベルのリソースを追加でき ます。
  - アプリケーションのデフォルト設定からリソースを追加するには、アプリケーションをクリックします。
  - プロジェクトファイルまたは別のジョブジャケットファイルからリソースを追加するには、その他をクリックし、次に選択をクリックしてターゲットファイルに移動します。

ジョブチケットテンプレートにリソースをコピーするには、ダイアログボックスの下部 にある3つのリストを使用します。最初のリストからリソースの種類を選択し、次に2番 目のリストから特定のリソースを選択し、ボタンをクリックして選択したリソースを3番 目のリストにコピーします(3番目のリストにはジョブチケットテンプレート内にあるこ の種類のリソースが表示されます)。

ジョブジャケットファイルからリソースを削除するには、最初のリストからリソースの 種類を選択し、次に3番目のリストで特定のリソースを選択して、**消去**ボタンをクリック します。

10 連絡先を指定すれば、QuarkXPressファイルを使用する作業者は、問題が生じたときに ジョブの定義者とすぐに連絡を取ることができます。ジョブジャケットファイルにJDF連 絡先情報を追加するには、連絡先タブをクリックし、次に新規アイテムボタン クして連絡先を追加します。新規連絡先の横にある展開ボタンをクリックしてフィール ドを表示し、各フィールドに詳細を入力します。

11 レイアウトの仕様では、自動生成されるレイアウトのページサイズやページ数のような 属性を設定できます。ジョブジャケットファイルにレイアウトの仕様を追加するには、 レイアウトの仕様タブをクリックし、次に新規アイテムボタン□ をクリックします。新 しいレイアウトの仕様の横にある展開ボタンをクリックしてフィールドを表示し、フィー ルドごとに詳細を入力します。

12 OKをクリックします。

ジョブジャケットファイルの作成:詳細設定モード

詳細設定モードを使用してジョブジャケットファイルを作成するには、下記の手順に従っ てください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- 2 ダイアログボックスにリストが1つだけ表示される場合は、**詳細設定**をクリックして詳細 設定画面を表示します。
- 3 新規ジョブジャケットボタン 一をクリックします。新規ジョブジャケットダイアログボックスが表示されます。
- 4 ジョブジャケットファイルの名前を入力し、ターゲットディレクトリに移動して、保存 をクリックします。複数のレイアウト作成者が同じジョブジャケットファイルにアクセ スできるようにする場合は、すべてのレイアウト作成者がネットワークからジョブジャ ケットファイルにアクセスすることが可能なディレクトリを選択できます。
- 5 「ジョブジャケットファイルへのリソースの追加:詳細設定モード」の説明に従って、 ジョブジャケットファイルにリソースを追加します。

## ジョブジャケットファイルへのリソースの追加:詳細設定モード

下記の手順は、既存のプロジェクトのリソースを使用してジョブジャケットファイルを 作成する場合に便利です。たとえば、去年のパンフレットプロジェクトのコピーがあり、 そのパンフレットプロジェクトのスタイルシートやカラーなどをすべて新規のジョブジャ ケットファイルで使用する場合は、この手順を実行してください。また、この手順を使 用して、ジョブジャケットファイルから別のジョブジャケットファイルにリソースをコ ピーすることもできます。

詳細設定モードでジョブジャケットファイルにリソースを追加するには、下記の手順に 従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- 2 ダイアログボックスにリストが1つだけ表示される場合は、**詳細設定**をクリックして詳細 設定画面を表示します。
- 3 リソースのコピー元を指定します。
  - ジョブジャケット構造、ジョブチケットテンプレート、またはジョブチケットから リソースをコピーするには、左側のリストでソースアイテムを選択します。
  - 開いているプロジェクトからリソースをコピーするには、左側のリストでそのプロジェクトを選択します。

- アプリケーションのデフォルトからリソースをコピーするには、アプリケーション
   リソースの読み込みボタン
   シをクリックします。
- 4 右上のリストでリソースカテゴリを選択します。
- 5 右下のリストから左側のリストにある対象のジョブジャケットアイコンに、個々のリソー スをドラッグ&ドロップします。
- ➡ ジョブチケットまたはプロジェクトにリソースをドラッグすることもできます。

ジョブジャケット内でのリソース位置の変更についての詳細は、「*リソースの場所の指定:詳細設定モード*」を参照してください。

## ジョブチケットの使用

ジョブチケットとは、1つ以上のQuarkXPressプロジェクトに適用できる仕様およびルー ルであるリソースのセットです。各ジョブチケットには名前があり、特定のジョブジャ ケット構造に保存されます。ジョブチケットには、カラー、スタイルシート、およびカ ラーマネージメント設定などのプロジェクトレベルリソースと、レイアウト仕様および レイアウト定義などのレイアウトレベルリソースの両方が含まれています。

ジョブチケットには下記の3種類があります。

- ジョブチケットテンプレートは、「マスター」ジョブチケットの定義です。ジョブ チケットテンプレートには、マスターページやQuarkXPressテンプレートファイル に似たところもあります。
- アクティブジョブチケットは、特定のプロジェクトに関連づけられたジョブチケットテンプレートのコピーです。
- 無効ジョブチケットは、プロジェクトに関連づけられていたが、現在はそのプロジェ クトに関連付けられていないジョブチケットテンプレートのコピーです。プロジェ クトを保存せずに閉じた場合などが該当します。

## ジョブチケットテンプレートの作成

ここでは、独立したジョブチケットテンプレートを作成する場合のガイドラインを示します。

- ニュースレターや雑誌などの何度も行う印刷ジョブがある場合、そのジョブのジョ ブチケットテンプレートを作成できます。
- 単一のキャンペーンやテーマを基にして、何種類かのレイアウト(ポスター、ポストカード、デジタルメディアなど)を作成する場合、各レイアウトのジョブチケットテンプレートを作成して、すべてのジョブチケットテンプレートを単一のジョブジャケットファイルに格納できます。このようにして、すべてのレイアウトが同一スタイルシート、カラーなどを共有できます。
- 広告フォーマットなどの多数のユーザーが使用する標準フォーマットがある場合、 ジョブチケットテンプレートを使用して、ガイドラインに従った広告をカスタマー が作成するようにできます。
- レイアウト作成者のグループで、全員が同じスタイルシート、カラー、またはその 他リソースを使用し、リソースが万が一変更されてもレイアウト作成者間でリソー

スが同期されるようにする必要がある場合、共有ジョブジャケットファイルを介し てレイアウト作成者がリソースにアクセス可能となるように、リソースをジョブチ ケットテンプレートに格納します。このアプローチは、大きな組織で企業ブランド 規格を維持するのに役立ちます。

## ジョブチケットテンプレートの作成:基本モード (Windowsのみ)

基本モードを使用してジョブジャケット構造にジョブチケットテンプレートを追加する には、下記の手順に従ってください。

1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助>ジョブジャケットマネジャー) を開きます。ダイアログボックスに複数のリストが表示される場合は、基本設定をクリッ クして基本設定画面を表示します。

ジョブジャケットマネージャー			
5° (° () (° (° (° (° (° (° (° (° (° (° (° (° (°			
名前	変更日付	共有中	
🖃 🁰 Projet1 Job Jacket	Friday, April 29, 2016	共有なし	A
Default Job Ticket			
Default Job Ticket 1:Projet1			
Cross reference*			
			× .
詳細設定		保存 <mark>(</mark> S)	閉じる

ジョブチケットテンプレートは、**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックス(**補** 助メニュー)の基本設定画面で作成できます。

- 2 ジョブチケットテンプレートを含めるジョブジャケット構造を選択します。
- 3 新規チケットのテンプレートボタン 「たクリックします。新規ジョブチケットダイアロ グボックスが表示されます。

所規ジョブチケット				
チケット名: チク	<u>&gt;</u> ト			
関連するジョブジャ Projet	1 Job Jacket			
スタイル設定 レイアウト	の設定			
	追加元: 現在のジ	■ブジャケット 〜		
リソース: 文字スタイルシート 段落スタイルシート カラー ダッシュ&ストライプ	<u>利用可能</u>	· · · · ·	追加済み:	^
H&Js リスト	~			~
	4	全てを含む	全てを消去	
			OK ¥	ャンセル

**新規ジョブチケット**ダイアログボックスでは、新規ジョブチケットテンプレートにリソー スを割り当てることができます。

**4** 「ジョブチケット内のリソースの使用:基本モード (Windowsのみ)」の説明に従っ て、新規ジョブチケットテンプレートを設定します。

## ジョブチケットの編集:基本モード (Windowsのみ)

プロジェクトのアクティブなジョブチケットを編集するには、プロジェクトを開いて、 ファイル > ジョブジャケット > ジョブチケットの変更を選択します。ジョブジャケット の編集ダイアログボックスが表示されます。ジョブチケットの編集ダイアログボックス の使用方法についての詳細は、「ジョブチケット内のリソースの使用:基本モード (Windowsのみ)」を参照してください。

# ジョブチケット内のリソースの使用:基本モード (Windowsのみ)

本トピックでは、新規ジョブチケットダイアログボックスまたはジョブチケットの編集 ダイアログボックスを使用して、ジョブチケットまたはジョブチケットテンプレートの リソースを追加および削除する方法を説明します。上記の2つのダイアログボックスは基 本的に同じものですが、ジョブチケットの編集ダイアログボックスは、ジョブチケット で作業する場合とジョブチケットテンプレートで作業する場合で画面が多少異なります。
ジョブチケットの編集	Ę				×
チケット名: 関連するジョブジャ スタイル設定 レイ	Default Job Ticket プロジェクト1 Jo アウトの設定	1:プロジェクト1 b Jacket			
リン <b>~</b> ス: 文字スタイルシー 段落スタイルシー カラー ダッシュ&ストラ H&Js リスト	追加元: ト ト イプ	参照 C:\Users\admin\Deskto 利用可能: Green Red イエロー シアン ブラック マゼンタ	p Wew folder Pro	oject1.qxp 追加済み: Red イエロー マゼンタ	~
		全てを含む		全てを消去 OK	キャンセル

**新規ジョブチケット**および**ジョブチケットの編集**ダイアログボックスで、ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットにリソースを追加できます。

**新規ジョブチケット**または**ジョブチケットの編集**ダイアログボックスを使用したリソー スの割り当てについては、下記の手順に従ってください。

1 プロジェクトレベルのリソースを追加または削除するには、スタイル設定タブ(ジョブ チケットテンプレートの場合)、またはプロジェクト設定タブ(アクティブおよび無効 ジョブチケットの場合)のコントロールを使用します。

追加元ドロップダウンメニューを使用して、さまざまなソースからプロジェクトレベル のリソースを追加できます。

- ジョブチケットの親ジョブジャケット構造からリソースを追加する場合は、現在の ジャケットを選択します。
- アクティブプロジェクトからリソースを追加するには、現在のリンクしたプロジェクトを選択します。
- アプリケーションのデフォルトからリソースを追加するには、アプリケーションを 選択します。
- プロジェクトファイル、またはジョブジャケットファイルからリソースを追加する
   には、その他を選択してから選択をクリックして、追加先のファイルに移動します。

リソースをジョブチケットにコピーするには、ダイアログボックスの下部にある3つのリ ストを使用します。最初のリストでリソースのタイプを選択し、2番目のリストで特定の リソースを選択して右向き矢印をクリックし、リソースを3番目のリストにコピーしま す。3番目のリストには、選択したタイプのリソースで既にレイアウト定義に入っている ものが表示されています。

ジョブチケットからリソースを削除するには、最初のリストでリソースのタイプを選択 してから、3番目のリストで削除するリソースを選択し、左向き矢印をクリックします。

2 レイアウト定義がある場合、QuarkXPressは、このジョブチケットがプロジェクトに適用されると自動的にレイアウトを作成します。レイアウト定義を作成するときに、レイ

アウトの仕様(ページサイズやページ数などの情報を含む)、メディアタイプ(印刷ま たはデジタル)、ルールセット、および出力仕様を指定できます。

レイアウト定義をジョブチケットに追加するには、レイアウトの設定タブをクリックしてから**+**ボタンをクリックします。これでレイアウト定義がリストに追加されます。

選択したレイアウト定義を設定するには、まず、**レイアウトプロパティ**コントロールを クリックして、レイアウトプロパティコントロールを表示します。

- レイアウト定義に名前を付けるには、レイアウト名フィールドに名前を入力します。
   この名前は、自動的に生成されるレイアウトに適用されます。
- レイアウト定義にページサイズおよびページ数などの情報を指定するには、レイアウトの仕様ドロップダウンメニューからオプションを選択します。ただし、レイアウトの仕様がジョブジャケット構造内に存在していないと、レイアウトの仕様を選択することはできません。「ジョブジャケットファイルの作成」を参照してください。
- このレイアウト定義を使用して自動的に作成するレイアウトのタイプを指定するには、メディアタイプドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- ルールセットおよび出力仕様を親ジョブジャケット構造からレイアウト定義にコピー するには、ダイアログボックスの下部にある3つのリストを使用します。最初のリス トでリソースのタイプを選択し、2番目のリストで特定のリソースを選択してボタン をクリックし、リソースを3番目のリストにコピーします。3番目のリストには、選 択したタイプのリソースで既にレイアウト定義に入っているものが表示されていま す。

レイアウト定義を削除するには、定義を選択して
ポタンをクリックします。

3 ジョブチケットの設定が終了したら、OKをクリックします。

#### ジョブチケットテンプレートの作成:詳細設定モード

詳細設定モードを使用してジョブジャケット構造にジョブチケットテンプレートを追加 するには、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助>ジョブジャケットマネジャー) を開きます。ダイアログボックスにリストが1つだけ表示される場合は、詳細設定をク リックして詳細設定画面を表示します。
- 2 新規ジョブチケットテンプレートの保存先を指定するには、左側のリストでジョブジャ ケットアイコンを作成または選択します。
- 3 新規チケットのテンプレートボタン 値をクリックします。選択したジョブジャケット構造にジョブチケットテンプレートが追加されます。
- **4** 「ジョブチケット内のリソースの使用:詳細設定モード」の説明に従って、新規ジョブ チケットテンプレートを設定します。

#### ジョブチケット内のリソースの使用:詳細設定モード

ジョブチケットのリソースは、下記のような場合に使用します。

既存のプロジェクト内のリソースを使用してジョブチケットテンプレートを作成する場合。たとえば、去年のパンフレットのプロジェクトで使用したスタイルシート、

カラーなどのすべてを、新しいジョブチケットテンプレートまたは既存のプロジェ クトでアクティブになっているジョブチケットでも使用する場合には、この方法を 使用します。

- リソースを1つのジョブチケットから別のジョブチケットへコピーする場合。
- リソースをジョブジャケット構造またはプロジェクトからジョブチケットにコピー する場合。

詳細設定モードを使用したリソースのジョブジャケット構造への追加については、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- 2 ダイアログボックスにリストが1つだけ表示される場合は、**詳細設定**をクリックして詳細 設定画面を表示します。
- 3 リソースのコピー元を指定します。
  - リソースをジョブジャケット構造、ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットからコピーするには、左上のリストからソースアイテムを選択します。
  - 開いているプロジェクトからリソースをコピーするには、左側のリストでそのプロジェクトを選択します。
  - アプリケーションのデフォルトからリソースをコピーするには、アプリケーション
     リソースの読み込みボタンをクリックします。
- 4 右上のリストでリソースカテゴリを選択します。
- 5 個々のリソースを右下のリストからコピー先である左側のリストのジョブチケットテン プレートまたはジョブチケットにドラッグ&ドロップします。

#### ジョブチケットへのレイアウト定義の追加:詳細設定モード

レイアウト定義は、いくつかの仕様を含む1つのグループであり、それらの仕様が組み合わさって単一のレイアウトが記述されます。レイアウト定義には、メディア(出力)タイプ(印刷またはデジタル)、出力仕様、ルールセットなどのリソースがあります。

ジョブチケットテンプレートからプロジェクトを作成する場合、QuarkXPressは、ジョ ブチケットテンプレートでレイアウト定義ごとにレイアウトを自動的に作成します。レ イアウト定義にレイアウトの仕様が含まれていない場合は、QuarkXPressに**新規プロジェ クト**ダイアログボックスが表示されるので、ページのサイズや余白などを指定できます。

レイアウト定義をアクティブなジョブチケットに追加すると、そのレイアウト定義に基づいてレイアウトが作成され、対応するプロジェクトに自動的に追加されます。

ジョブチケットテンプレートにレイアウト定義を追加するには、下記の手順に従ってく ださい。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助>ジョブジャケットマネジャー) を開き、左側のリストで対象のジョブチケットを選択します。
- 2 リソースのコントロール類を表示するには、詳細設定ボタンをクリックします。
- 3 右上のリストでレイアウトを選択します。ジョブチケット内のレイアウト定義は、すべ て右下のリストに表示されます。

- 4 右下のリストの上にある新規アイテムボタン□をクリックします。"レイアウト"という名前のレイアウト定義が追加されます(レイアウト定義に付ける名前は、プロジェクトを作成するときに実際のレイアウトに適用される名前です。レイアウト定義の名前を変更するには、名前をダブルクリックして新しい名前を入力します)。
- 5 レイアウト定義名の横にある展開ボタンをクリックして、レイアウト定義のフィールド を表示します。
- 6 使用するフィールドの値を指定または入力します。
- 7 保存をクリックします。

レイアウト定義の使用についての詳細は、「*プロジェクトへのレイアウト定義の適用*」 を参照してください。

#### プロジェクトへのジョブチケットテンプレートの適用

ジョブチケットテンプレートをプロジェクトに適用するには、下記の2つの方法がありま す。

- ジョブチケットテンプレートからプロジェクトを作成します。
- 既存プロジェクトをジョブチケットテンプレートにリンクします。

いずれの場合も、ジョブチケットはジョブチケットテンプレートから作成され、新規ジョ ブチケットインスタンスが新規プロジェクトに適用されます。下記のトピックでは、両 方のアプローチについて説明します。

## ジョブチケットテンプレートからのプロジェクトの作成

ジョブチケットテンプレートからプロジェクトを作成する場合、常にそのジョブチケットテンプレートからジョブチケットを作成します。ジョブチケットの保存先として、共 有ジョブジャケットファイルか、またはプロジェクトファイル内の埋め込みジョブジャ ケット構造のいずれかを選択できます。

ジョブチケットテンプレートからプロジェクトを作成するには、下記の手順に従ってく ださい。

1 ファイル > 新規 > チケットからプロジェクト作成を選択します。チケットから新規プロ ジェクト作成ダイアログボックスが表示されます。

チケットから新規プロジェクト作成
💎 🥶 New Job Jacket 🥚
📄 空のチケット
Default Job Ticket
Default Job Ticket 1:Projet3
🔻 🥶 New Job Jacket 2
📄 空のチケット
Default Job Ticket
🔻 🥶 New Job Jacket 3
□ 空のチケット
Default Job Ticket
🔻 🥶 New Job Jacket 4
□ 空のチケット
参照
選択: New Job Jacket
✓ ジャケットの共有 キャンセル 選択

**チケットから新規プロジェクト作成**ダイアログボックスを使用して、新規プロジェクト 用のジョブチケットテンプレートを選択します。

- 2 必要なジョブジャケット構造が表示されない場合は、参照をクリックし、ジョブジャケットファイルに移動して**開く**をクリックします。
- 3 リストで対象のジョブチケットテンプレートを選択します(無効ジョブチケットを選択 することもできます)。
- 4 下記の操作を行って、ジャケットの共有チェックボックスをオンまたはオフにします。
  - 外部のジョブジャケットファイルにこのプロジェクトのアクティブなジョブチケットを保存し、ジョブチケットがそのジョブジャケットファイルの他のユーザーとリソースを共有できるようにするには、ジャケットの共有をオンにします(詳細は、「共有ジョブジャケットのグループ作業」を参照してください)。
  - プロジェクトファイルの埋め込みジョブジャケット構造にこのプロジェクトのジョ ブチケットを保存するには、ジャケットの共有をオフにします。
- 5 選択をクリックします。新規プロジェクトはジョブチケットテンプレートのプロジェクト設定を継承し、ジョブチケットテンプレート内のレイアウト定義に従ってレイアウトが自動的に作成されます。
- ジョブチケットをデフォルトのジョブジャケット構造に保存することはできません。した がって、デフォルトのジョブジャケット構造にあるジョブチケットテンプレートからプロ ジェクトを作成し、ジャケットの共有をオンにする場合は、新規ジョブジャケットファイ ルをファイルシステムに保存するように指示されます。

## ジョブジャケットファイルへの既存のプロジェクトのリンク

既存のプロジェクトをジョブジャケットファイルにリンクするには、現在プロジェクト でアクティブになっているジョブチケットを削除して、そのプロジェクトを他のジョブ ジャケットファイルのジョブチケットテンプレートで作成された新しいジョブチケット にリンクします。この方法は、たとえば、既存のプロジェクトを他のレイアウト作成者

によってアクティブにされたジョブチケットが入っているジョブジャケットファイルに リンクして、両方のレイアウト作成者が使用しているリソースを同期する場合に選択し ます。詳細は、「*共有ジョブジャケットのグループ作業*」を参照してください。

既存のプロジェクトへのジョブチケットの適用については、下記の手順に従ってください。

- 1 プロジェクトを作成するか、開きます。
- ファイル>ジョブジャケット>プロジェクトのリンクを選択します。プロジェクトのリンクダイアログボックスが表示されます。
- 3 必要なジョブジャケットが表示されない場合は、参照をクリックしてそのファイルに移動して、**開く**をクリックします。
- 4 リストで対象のジョブチケットテンプレートを選択します
- 5 下記の操作を行って、ジャケットの共有チェックボックスをオンまたはオフにします。
  - このプロジェクトのジョブチケットを、ターゲットのジョブチケットテンプレート が含まれているジョブジャケットファイルに保存するには、ジャケットの共有チェッ クボックスをオンにします。
  - プロジェクトファイルの埋め込みジョブジャケット構造にこのプロジェクトのジョ ブチケットを保存するには、ジャケットの共有をオフにします。
- 6 リンクをクリックします。プロジェクトでは、ジョブチケットテンプレートのプロジェクト設定値が継承され、レイアウト作成時に、自動的にそのジョブチケットテンプレートのレイアウト定義が適用されます。
- ジョブチケットテンプレートをデフォルトのジョブジャケット構造で使用し、かつジャケットの共有チェックボックスをオンにする場合は、新しいジョブジャケットファイルをファイルシステムに保存することを促すメッセージが表示されます。これは、ジョブチケットは、デフォルトのジョブジャケット構造には保存できないためです。

#### ジョブチケットの関係の表示

**補助**メニューの**ジョブジャケットマネージャー**ダイアログボックスには、ジョブジャケット、ジョブチケットテンプレート、ジョブチケット、およびプロジェクトの間の関係を 表示できます。このダイアログボックスに表示されるアイコンは、下記のとおりです。

- ジョブジャケット構造(リンク付き)
- ジョブジャケット構造(埋め込み)
- ジョブチケットテンプレート
- アクティブジョブチケットまたは無効ジョブチケット
- プロジェクト(太字のプロジェクト名は、アクティブプロジェクトであることを示します)

アクティブジョブチケットにリンクされているプロジェクトは、下記のように表示され ます。



## アクティブジョブチケットにリンクされているプロジェクト

無効ジョブチケットには、**回**アイコンがついていますが、プロジェクトにはリンクされて いません。つまり、プロジェクトは移動、削除された、または保存されなかったと考え られます。

#### プロジェクトへのレイアウト定義の適用

レイアウト定義では、一連の設定を組み合わせてレイアウトを定義します。これらの設 定には、メディアタイプ(印刷またはデジタル)、ルールセット、出力セットアップ、 およびカラーマネージメントソースセットアップを含めることができます。レイアウト 定義には、ページサイズやページ数などのレイアウトの仕様を含めることもできます(レ イアウトの仕様はジョブジャケットレベルに作成する必要があります)。

プロジェクトをジョブチケットテンプレートに関連付けると、各レイアウト定義のレイ アウトがそのジョブチケットテンプレートに自動的に作成されます。このようなレイア ウトには、基のレイアウト定義と同じ名前が付けられます。

レイアウト定義をプロジェクトに適用するには、下記の2つの方法があります。

- 「ジョブチケットテンプレートからのプロジェクトの作成」の説明に従って、レイ アウト定義が含まれるジョブチケットからプロジェクトを作成します。
- プロジェクトを作成したら、「ジョブジャケットファイルへの既存のプロジェクトのリンク」の説明に従ってジョブチケットをアクティブなプロジェクトにリンクします。

いずれのアプローチを使用しても、定義されたレイアウトが自動的に作成されます。

## ジョブチケットの書き出しと取り込み

ジョブの定義者が、ジョブチケットテンプレートやジョブチケットをジョブジャケット ファイルから別のジョブジャケットファイルにコピーしたり、ジョブジャケット構造の ジョブチケットテンプレートとジョブチケットすべてを別のジョブジャケット構造に取 り込んだりする必要がある場合があります。ジョブチケットの書き出し機能と取り込み 機能で両者とも実行できます。

## ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットの書き出し

ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットの書き出しについては、下記の手順 に従ってください。

- 1 補助メニューのジョブジャケットマネージャーダイアログボックスを開き、左側のリストから書き出しを行うジョブチケットを1つ以上を選択します。
- 2 左側のリストの上のチケットの書き出しボタン→をクリックします。新規ジョブチケットダイアログボックスが表示されます。
- 3 名前と場所を指定して、保存をクリックします。選択したすべてのジョブチケットが、 指定したファイル名および必要なリソースと一緒にジョブジャケットファイルに保存されます。

#### ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットの取り込み

ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットのジョブジャケット構造への取り込 みについては、下記の手順に従ってください。

- 1 補助メニューのジョブジャケットマネージャーダイアログボックスを開き、左側のリストから取り込み先のジョブジャケットのアイコンを選択します。
- 2 左側のリストの上の取り込みボタン ◆をクリックします。ジョブジャケットファイルの 選択ダイアログボックスが表示されます。
- 3 ジョブジャケットファイルを選択して、開くをクリックします。選択したファイル内の すべてのジョブチケットテンプレートおよびジョブチケットが、必要なリソースと一緒 に、選択したジョブジャケット構造に取り込まれます。

## デフォルトのジョブジャケットファイル

QuarkXPressをインストールすると、デフォルトのジョブチケットテンプレートが含ま れる「DefaultJacket.xml」という名前のデフォルトのジョブジャケットファイルもイン ストールされます。このファイルは、QuarkXPress/編集メニューの環境設定ダイアロ グボックスにあるジョブジャケットペインで指定した場所にインストールされます。

**ファイル > 新規 > プロジェクト**を選択してプロジェクトを作成すると、下記の処理が実 行されます。

- 「Default Job Jackets」という名前でこのデフォルトのジョブジャケットファイルのコピーが作成され、新しいプロジェクトに埋め込まれます。埋め込まれたジョブジャケット構造には「*[filename]* Job Jackets」という名前が付けられます。
- 埋め込まれたジョブジャケット構造では、「Default Job Ticket」という名前のデフォルトのジョブチケットテンプレートからジョブチケットが作成されます。新規ジョブチケットには、「[*filename*] Ticket」という名前が付けられます。
- 埋め込まれたジョブジャケット構造のジョブチケットは、新しいプロジェクトに関 連付けられます。

デフォルトのジョブジャケットファイルを使用すれば、新しいQuarkXPressプロジェクトで使用するリソースを制御できます。また、ファイル>新規>プロジェクトで作成したプロジェクトが使用するデフォルトのジョブチケットテンプレートも編集できます。 このトピックでは、両方の手順を説明します。

新しいジョブチケットは、デフォルトのジョブジャケットファイルには保存できません。 詳細は、「ジョブチケットテンプレートからのプロジェクトの作成」を参照してください。

#### デフォルトジョブチケットテンプレートの編集:ファイルメニュー

デフォルトジョブチケットテンプレートは、ファイル > 新規 > プロジェクトの手順で作 成するプロジェクトで使用されます。デフォルトジョブチケットテンプレートを編集す る方法は、2つあります。

**ファイル**メニューからのデフォルトジョブチケットテンプレートの編集については、下 記の手順に従ってください。

- 1 開いているプロジェクトをすべて閉じます。
- 2 ジョブチケットの変更ダイアログボックスでデフォルトジョブチケットテンプレートを 開くには、ファイル>ジョブジャケット>ジョブチケットの変更を選択します。
- 3 ジョブチケットの変更ダイアログボックスのコントロールを使用して、デフォルトジョ ブチケットテンプレートを設定し、OKをクリックします。

## デフォルトジョブチケットテンプレートの編集:補助メニュー

ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスからのデフォルトジョブチケットテン プレートの編集については、下記の手順に従ってください。

- 1 補助メニューのジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを表示します。
- ジャケットを開くボタンをクリックしてデフォルトジョブジャケットファイルに移動し、 開くをクリックします。
- 3 デフォルトジョブジャケット構造を展開し、リストから**"デフォルトジョブチケット"**という名前のジョブチケットテンプレートを選択します。
- 4 編集ボタン€をクリックします。ジョブチケットの編集ダイアログボックスが表示されます。
- 5 ジョブチケットの編集ダイアログボックスのコントロールを使用して、デフォルトジョ ブチケットテンプレートを設定します。
- 6 OKをクリックします。

次回に**ファイル > 新規 > プロジェクト**の手順で作成するプロジェクトでは、変更後のデ フォルトジョブチケットテンプレートが使用されます。

#### デフォルトジョブジャケットファイルの編集

デフォルトのジョブジャケットファイルを使用すれば、新しいQuarkXPressプロジェクトで使用するリソースを制御できます。デフォルトジョブジャケットファイルの編集については、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- ジャケットを開くボタンCPをクリックし、デフォルトジョブジャケットファイルに移動して、開くをクリックします。
- **3** リストから、「デフォルトジョブジャケット」という名前のジョブジャケット構造を選 択します。
- 4 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスのコントロールを使用してデフォルト ジョブジャケット構造を設定し、OKをクリックします。

リソースについての詳細は、「ジョブチケット内のリソースの使用:詳細設定モード」 を参照してください。

## リソースの使用:詳細設定モード

「リソース」は、ジョブジャケットおよびジョブチケットを構成するほとんどのコンポーネントについて説明する一般カテゴリです。リソースには、スタイルシートからページサイズ仕様までのすべてが含まれます。下記のトピックでは、ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)の詳細設定画面でリソースを表示、作成、および更新する方法を説明します。

ジョブの定義者は、さまざまな目的でこの手順を頻繁に使用します。ただし、レイアウト 作成者はこの手順を実行する必要はありません。

#### リソースへのアクセス:詳細設定モード

リソースを操作するには、まずリソースにアクセスする必要があります。リソースにア クセスするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- 2 ダイアログボックスにリストが1つだけ表示される場合は、詳細設定をクリックして詳細 設定ペインを表示します。
- 3 左側のリストで、ジョブジャケットファイルを開くごか、または作成じします。ジョブジャケットファイルのリソースカテゴリは、右上のリストにアルファベット順に表示されます。
- 4 ジョブジャケット構造に固有のリソースで作業するには、左側のリストでターゲットの ジョブジャケット構造を選択します。使用できないリソースのカテゴリは、ジョブチケッ トレベルで指定する必要があるリソースを表しています。
- 5 ジョブチケットに固有のリソースを使用して作業するには、ジョブジャケット構造を展開し、ジョブチケットの作成で、複製で、または取り込みでを行います。次いで、左側のリストでターゲットジョブチケットが選択されていることを確認します。輪郭がはっきりしないリソースのカテゴリは、ジョブジャケットレベルで指定する必要があるリソースを表します。
- 6 右上のリストでリソースタイプを選択します。選択したタイプの既存のリソースが右下 のリストに表示されます。

名前 曰 译• New Job Jacket 目 Default Job Ticket 目 Default Job Ticket 1:Project2	^	リソース: プロジェクト1 Tandem Bindings ぶら下がり文字クラス (8) ぶら下がり文字セット (4)	,
□ Gendalt of Neter In Noject2 □ G New Job Jacket 2 □ Default Job Ticket □ チケット		アウトラインスタイル (3) カラー (6) グリッドスタイル (1)	
<ul> <li>目 チケット 2</li> <li>□ 愛・New Job Jacket 3</li> <li>□ Default Job Ticket</li> </ul>			
□ [〕 プロジェクト1 Job Jacket □ Default Job Ticket □ Default Job Ticket 1:プロジェ		▲ ク    □ 白    □ ブラック    シアン	プロジェ ↓ プロジェ ↓ プロジェ ↓
┫プロジェクト1*		<ul> <li>マゼンタ</li> <li>イエロー</li> <li>レジストレーション</li> </ul>	プロジェ ≑ プロジェ ≑ プロジェ ≑
		限度内で最も明るいカラー。	
	~		

ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを使用して、リソースの表示、作成、 複製、削除、取り込み、および書き出しを行います。

## リソースの設定:詳細設定モード

**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックスでリソースに移動して、そのリソース を設定できます。このダイアログボックスには、次に示すとおり、さまざまなタイプの リソースに対してさまざまなオプションが用意されています。

- ほとんどのリソースの場所を指定できます。
- ほとんどのリソースを削除できます。
- 一部のタイプのリソースを作成および設定できますが、それ以外のリソースは、 QuarkXPressユーザーインターフェイスの他の部分を使用して作成および設定する 必要があります。
- ジョブジャケット構造のレイアウト定義、出力仕様、レイアウトの仕様、ジョブの 説明、連絡先、段落罫線、ルールセットを、作成、複製、削除、および設定できま す。
- ジョブジャケットでは、App Studioレイアウトはデジタルレイアウトリソースによって 示されます。

リソースで許可されている場合は、下記の手順に従って、**ジョブジャケットマネジャー** ダイアログボックスでそのリソースを作成および設定できます。

- 1 右上のリストで選択したタイプのリソースを作成するには、右下のリストで新規アイテムボタンをクリックします。リソースの名前を変更するには、その名前をクリックします。
- 2 リソースに展開アイコンが付いている場合は、そのアイコンをクリックしてリソースを 展開し、表示されるフィールドで設定します。一部のリソースにはドロップダウンメ

ニューを含むフィールドが表示され、別のリソースには値を手動で入力できるフィールドが表示されます。

3 リソースに ・ボタンがある場合は、そのボタンをクリックしてリソースの追加インスタンスを作成します。たとえば、レイアウトの仕様を作成する場合は、スポットカラーリソースでこのボタンをクリックして、追加のスポットカラーを作成できます。

## リソースの場所の指定:詳細設定モード

リソースは、複数の場所に保存できます。

- ジャケット内:ジョブジャケット構造内に保存されますが、そのジョブジャケット 構造のジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットでは使用されません。
- チケット内:ジョブジャケット構造に保存され、ジョブチケットテンプレートまた はジョブチケットに関連付けられます。"チケット内"のリソースが、プロジェクトに 関連付けられているジョブチケットテンプレートにある場合、リソースはそのプロ ジェクトでも使用できます。
- プロジェクト内:プロジェクト内に保存されますが、ジョブジャケット構造または ジョブチケットには関連付けられません。

リソースの場所の指定については、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを使用してリソースにアクセスします。 詳細は、「リソースへのアクセス:詳細設定モード」を参照してください。
- 2 右下のリストでリソースを選択します。
- 3 状況列のドロップダウンメニューから場所を選択します。
  - ・ 左側のリストでジョブジャケット構造を選択した場合、選択できるのはIn Jacketの みです。
  - 左側のリストでジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットを選択した場合は、In Jacketまたはチケット内を選択して、リソースをそのジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットに関連付けるかどうかを指定できます。
  - ・ 左側のリストで選択したアイテムがプロジェクトである場合は、状況にプロジェクト内を指定して、リソースをそのプロジェクト内のみで定義するように指定するか、 状況にチケット内を指定して、定義をプロジェクトのアクティブなジョブチケット で使用するかを指定できます。

		リッチス・プロジェクト1	
T in New Job Jacket	- 1	ぶら下がり文字セット (4)	
T ( New Job Jacket 2		r - r - r - r - r - r - r - r - r - r -	
1 1 1 New Job Jacket 3		カラー (6)	
日 🍯 プロジェクト1 Job Jacket		グリッドスタイル (1)	
Default Job Ticket		コールアウトスタイル (1)	
 □ Default Job Ticket 1:プロジェ		ジョブの説明	Y
			チケット内
		■ ブラック ■ ムマン	▼ プロジェクト
		■ <i>シ</i> / <i>シ</i>	プロジェ キ
			プロジェ キ
		■レジストレーション	プロジェ 🗧
		限度内で最も明るいカラー。	^

**補助**メニューの**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックスを使用して、リソースの保存場所を指定します。

## レイアウト仕様の使用

レイアウトの仕様によって、ページサイズ、ページ数、マージン、スプレッド情報、ブ リード情報、製本情報など、レイアウトに固有の情報を定義することができます。

レイアウトの仕様を定義するための標準的な手順は下記のとおりです。

- 1 レイアウト仕様を作成します。詳細は「*レイアウトの仕様の作成:詳細設定モード*」を 参照してください。通常、この作業はジョブの定義者によって行われます。
- 2 ジョブチケットテンプレートまたはジョブチケットを使用して、レイアウトの仕様をレ イアウトに関連付けます。通常、この作業はレイアウト作成者によって行われます。

上記の手順についての詳細は、下記のトピックで説明します。

## レイアウトの仕様の作成:詳細設定モード

レイアウトの仕様はリソースであるため、「リソースの使用:詳細設定モード」の説明 に従って、**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックスで作成する必要があります。

ジョブジャケットマネージャー			
Ĕ <u>Ĕ</u> / ⊑ E E D ₪			
名前		リソース: プロジェクト1 Job Jacket	
🕀 😥 New Job Jacket	$\wedge$	ユーザー辞書 (1)	~
🕀 🈥 New Job Jacket 2		リスト	
🕀 😥 New Job Jacket 3		パール (1)	
日 🍘 プロジェクト1 Job Jacket		ルールセット	
Default Job Ticket		レイアウト	
「目 Default Job Ticket 1:プロジェ		レイアワトの仕様 (1)	×
🚰 プロジェクト 1*			
			_
		日レイアントの仕様	<u> </u>
			1
		2 ジ帽 (12) ジージの直さ (1音)	
		下マージン 任意	Υ.
			~
	$\vee$		$\sim$
基本設定		保存(S) 閉じる	ò

**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックス(**ユーティリティ**メニュー)を使用して、レイアウトの仕様を作成できます。

## レイアウトへのレイアウトの仕様の適用

レイアウトの仕様をレイアウトに関連付けるには、ジョブチケットテンプレートからレ イアウトを作成するか、またはレイアウトの仕様を既存のレイアウトのアクティブなジョ ブチケットに適用するという2つの方法があります。

通常は、実際のプロジェクトやレイアウトを作成する**前に**レイアウトの仕様をジョブジャ ケットファイルにあるレイアウト定義に追加します。レイアウトの仕様はリソースであ るため、レイアウトの仕様は他のリソースと同じ方法でレイアウト定義に追加できます (「*リソースの使用:詳細設定モード*」を参照してください)。

ジョブジャケットマネージャー			
ti i / L t t L L t			
名前		リンデス: Default Job Ticket	
⊞ 😥 New Job Jacket	~	フォントセット	
⊞		ユーザー辞書	
⊞		リスト	
🗆 间 Projet1 Job Jacket		11-11	
Default Job Ticket		ルールセット	
Default Job Ticket 1:Projet1		レイアウト (1)	Υ.
Cross reference*			
			_
		V177N	
		" ソースカラー設定 なし ◆	^
		出力のブルデフレンなし	
		レンダリング力法のブ… 仕恵	
		Publication Specification	1
		Publication Layout Target t/L +	¥
			~
	$\sim$		$\vee$
-			
基本設定		保存(S) 閉じる	,

特定のレイアウトの仕様に従うレイアウトを自動的に作成するようにジョブチケットテンプレートを構成するには、ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを使用してレイアウトの仕様をレイアウト定義に関連付けます。

プロジェクトとレイアウトを作成したら、レイアウト作成者はジョブチケットの編集ダ イアログボックス(ファイル>ジョブジャケット>ジョブチケットの変更)を使用して、 レイアウトの仕様をレイアウトのアクティブなジョブチケットに適用できます。レイア ウトの仕様をアクティブなジョブチケットに追加するには、レイアウトの設定タブをク リックして、レイアウトリストにあるレイアウトを選択してから、レイアウトの仕様ド ロップダウンメニューからオプションを選択します。

	ショノテツット	の加米	
チケット名: デフォノ	ルトジョブチケット 1:プロジェク	<u>۲</u> 2	
するジョブジャケット: プロジェ	クト2 lob lacket		
	or a job jacket		
夏定 レイアウトの設定			
± 🗉			
レイアウト名 iPad (約7)	レイアウトの仕様	ルールセット	
iPad (##)			
017013			
r レイアウトプロパティ			
▼ レイアウトプロパティ			
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦)			
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦)			
マレイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) ハイアウトの仕様: なし	÷)	メディアタイブ: 任意	
マレイアウトプロパティ レイアウト名: IPad (縦) ハイアウトの仕様: なし	÷)	メディアタイブ: 任意	*1.
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) レイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	+)	メディアタイブ: 任意	<u>څ</u> ې:
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) レイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	*)	メディアタイブ: 任意 追加:	<u>я</u> ду:
▼レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) ノイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	÷)	メディアタイブ: 任意  追加]	育み:
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) ハイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	+)	メディアタイブ: 任意   追加]     追加]	ňð:
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) レイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	+)	メディアタイブ: 任意   追加2   「」   通	<u>а</u> ду:
▼ レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) レイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	*)	メディアタイブ: 任意	<u>த</u> ீல்:
レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) イアウトの仕様: なし リソース: ルールセット		メディアタイブ: 任意   追加]   回	^Ř ð:
レイアウトプロパティ レイアウト名: iPad (縦) ノイアウトの仕様: なし リソース: ルールセット	<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	メディアタイブ: 任意	<b>育み:</b> 全てを消去
▼ レイアウトブロバティ レイアウト名: iPad (縦) ・イアウトの仕様: なし   リソース: ルールセット	÷)   利用可能: 	メディアタイブ: 任意   追加2   ゆ	<b>斉み:</b> 全てを消去

ジョブチケットの編集ダイアログボックス(ファイル>ジョブジャケット>ジョブチケットの変更)を使用して、レイアウトの仕様をアクティブなプロジェクトのレイアウトに割り当てることができます。

## ルールおよびルールセットの使用

**ルール**は、アクティブなレイアウトに対して行うテストで、実行するには**ファイル>ジョ ブジャケット > レイアウトを評価**を選択します。

1つのルールで1つの条件をテストします。たとえば、ルールによって、すべてのテキス ト文字をオーバープリントすることを指定できます。ルールには、説明、ポリシー(そ の条件が必須、推奨、または禁止であるのかをレイアウト作成者に示します)、および 問題が発生した場合の修正手順を含めることもできます。

ルールまたはルールセットを使用するときの標準的な手順は下記のとおりです。

- 1 ルールを作成して(「ルールの作成:詳細設定モード」を参照)、それらをルールセットに追加します(「ルールセットへのルールの追加:詳細設定モード」を参照)。通常、この作業は出力担当者と共同作業をしているジョブの定義者によって行われます。
- 2 ジョブチケットテンプレートを使用して、ルールセットをレイアウトに関連付けます。 「レイアウトへのルールセットの適用」を参照してください。通常、この作業はジョブの定義者によって行われます。
- **3** ルールセットを使用してレイアウトを評価します。「*レイアウトの評価*」を参照してく ださい。通常、この作業はレイアウト作成者によって行われます。

上記の手順についての詳細は、下記のトピックで説明します。

#### ルールの作成:詳細設定モード

ルールを作成するには、まず、**ジョブジャケットマネジャー**ダイアログボックスのルー ルリソースに移動します。「リソースの使用:詳細設定モード」を参照してください。 その後、下記の手順に従ってルールウィザードを使用します。

- 1 新規ボタン□をクリックします。ルールの編集ダイアログボックス(ルールウィザードの最初の画面)が表示されます。
- 2 名前フィールドにルールの名前を入力します。
- 3 ルールに適用するオブジェクトの種類を指定するには、表題ドロップダウンメニューからオプションを選択します。表題一覧には、すべてのボックス、テキストボックス、画像ボックス、テキスト文字、ライン、テキストパス、画像およびフォントが含まれます。

ルールの編集			
名前: <mark>ルール</mark>			
計 <b>会。</b> 18 . トー			
201家: ホックス			~
条件: □ バックグラウンド			~
ロシェード			
□ 不透明度 □ ブレンド			
□設定位置			
● トラップ			
□出力しない			
			~
キャンセル	∢ 戻る	次~~ジ~ ▶	完了

**ルールの編集**ダイアログボックスを使用して、ルールを作成します。

4 ルールによってチェックする内容を指定するには、条件領域で、オプションのチェック ボックスをオンにします。使用できる条件は、選択した表題によって異なります。

ルールに含める条件それぞれについて、この手順を繰り返します。条件は、論理AND演算子と組み合わせて使用します。たとえば、テキストボックスのバックグラウンドが青50%であることを指定するルールを作成するには、テキストボックスを選択して、バックグラウンドとシェードの両方のチェックボックスをオンにします。

5 次へをクリックして、ルールウィザードの次のダイアログボックスを表示します。この ダイアログボックスでは、ルールを起動する条件(たとえば、"オーバープリントではな い"または"10pt未満")を指定します。各条件を設定するには、展開ボタンをクリックし てリスト内のアイテムを展開し、オプションを選択してフィールドに値を入力します。

<ul> <li>              Aワックスクリットタイプ             Bフレーム内側のタイプ             Bフレーム中側のタイプ             Bフレーム外側のタイプ             Bマレーム外側のタイプ             Eマンーム外側のタイプ             Eマップ内側のタイプ             E ギャップ内側のタイプ      </li> </ul>	《の条件 *     なの条件 *     ながす	

ルールウィザードの2番目のダイアログボックスを使用して、ルールを設定します。

条件に●ボタンが付いている場合は、このボタンをクリックして条件にさらに節を追加 できます。節は、論理OR演算子と組み合わせて使用します。たとえば、アイテムの色を CMYKカラーまたはスポットカラーにすることを指定するには、最初の行で**CMYK**を チェックするように設定してから、2行目を追加して、スポットインキをチェックするよ うに設定します。

6 Nextをクリックして、ルールウィザードの3番目であり最後のダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスを使用して、ルールの設定内容、ルールに違反している場合にどのようなアイコンを表示するかを決定するポリシー、および問題の修正に関する説明を指定します。説明に入力する情報は、ルールに違反している場合にレイアウト作成者がレイアウトを評価を選択すると表示されます。

ルールの編集	
ルールの説明: All text must be set to overprint.	^
ポリシ 🚫 禁止	· ·
説明: Magually set text to overprint where peressary	
Plandally Set text to overprint where necessary.	
	~
詳細:	
名前: ルール 対象: ボックス; 条件: トラップ;	^
	~
キャンセル ◆戻る 次ページへ ▶	完了

ルールウィザードの3番目のダイアログボックスを使用して、ルール違反の場合の対応方 法を管理します。

## ルールセットへのルールの追加:詳細設定モード

ルールは、ルールの名前付きコレクションである**ルールセット**に含める必要があります。 ジョブの定義者は、ジョブチケットテンプレートのレイアウト定義に1つ以上のルール セットを含めることができます。そのレイアウト定義を基準とするレイアウトで作業す るレイアウト作成者は、それらのルールセットのルールを使用してレイアウトを評価で きます(「*レイアウトの評価*」を参照してください)。ルールセットにルールを追加す るには、下記の手順に従ってください。

- 1 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)を開きます。
- 2 ダイアログボックスにリストが1つだけ表示される場合は、詳細設定をクリックして詳細 設定ペインを表示します。
- 3 ジョブジャケット構造を作成または選択します。
- 4 右上のリストで**ルールセット**を選択します。
- 5 ルールセットを作成するには、新規ボタンをクリックします。ルールセットの編集ダイ アログボックスが表示されます。

名前: ルールセット	
利用可能:	追加済み:
全てを含む レールの詳細:	全てを消去

ルールセットの編集ダイアログボックスを使用して、ルールセットを編集します。

- 6 名前フィールドにルールセットの名前を入力します。
- 7 利用可能リストで必要なルールを選択してボタンをクリックするか、またはすべてを含 むをクリックして、利用可能リストのルールすべてをアクティブなルールセットに追加 します。
- 8 OKをクリックします。

#### レイアウトへのルールセットの適用

ルールセットがレイアウトのジョブチケットテンプレートインスタンスに関連付けられ ると、レイアウト作成者は、レイアウトをルールセットに対して評価できるようになり ます(「*レイアウトの評価*」を参照してください)。ルールセットをレイアウトに関連 付けるには、下記の2つの方法があります。

通常は、実際のプロジェクトやレイアウトを作成する**前に**ルールセットをジョブジャケットファイルにあるレイアウト定義に追加します。ルールセットはリソースであるため、 ルールセットは他のリソースと同じ方法でレイアウト定義に追加できます(「*リソース* の使用:詳細設定モード」を参照してください)。

ジョブジャケットマネージャー								
5° 5° 7 6° 2° 6° 6° 6°								
名前		リン <b>ニ</b> ス: Default Job Ticket						
⊞ 🔂 New Job Jacket	~	フオントセット					~	
⊞		ユーザー辞書						
🕀 🔂 New Job Jacket 3		リスト						
🗆 🗊 Projet1 Job Jacket		パール						
Default Job Ticket		ルールセット					_	
☐ Default Job Ticket 1:Projet1		レイアウト (4)					×	
Cross reference*				=				
_								
			4.5.4		-			
		Publication Layout Target	なし		Ŧ		^	
			14 L					
		の防ちパイマン	±21		±			
		日レイアウト 2	-a-C				- 10	
		ヨレイアウト3						
		ヨレイアウト 4					¥	
							~	
	Υ.						× .	
基本設定				保存(S)	Ē	閉じ	3	

レイアウトの作成後、すぐにルールセットをレイアウトで利用できるようにするには、 ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを使用してルールセットをレイアウト 定義に関連付けます。

プロジェクトとレイアウトをした**後で**、ルールセットをレイアウトに追加できるように なります。この方法についての詳細は、「*ジョブチケット内のリソースの使用:基本モー ド*(*Windowsのみ*)」を参照してください。

	ジョブチケットの	編集
チケット名: デフォ	ルトジョブチケット 1:プロジェクト	2
するジョブジャケット・プロジ	エクト2 Job Jacket	-
	1 9 1-2 JOD Jacket	
設定 レイアウトの設定		
± 🗉	and a state of the second second	
レイアウト名 iPad (約7)	レイアウトの仕様	ルールセット
iPad (微)		ルールセット
IPad (復)		
U179F3		
レイアウト名: iPad (縦)		
レイアウトの仕様: なし	\$	メディアタイプ: 任意
リソース:    _    -    -    -    -    -    -    -	利用可能:	追加済み:
10-1029F	<i>N-N29</i> F	
		<u>(a</u>
	全てを含む	全てを消去
	全てを含む	全てを消去
	全てを含む	<u>全</u> てを消去

レイアウト作成者は、**ジョブチケットの編集**ダイアログボックス(**ファイル>ジョブジャ** ケット>ジョブチケットの変更)を使用して、ルールセットをアクティブなプロジェク トのレイアウトに割り当てることができます。

## レイアウトの評価

ルールセット、レイアウトの仕様、および出力仕様では、レイアウトがジョブの定義者 によって作成された仕様を順守しているかどうかを評価するためのテストが用意されて います。**レイアウトを評価**コマンドによって、これらのテストを実行して、違反の有無、 違反している場合はその内容を特定できます。また、このコマンドは、レイアウト定義 と照らし合わせて、レイアウトのメディアタイプ(印刷またはデジタル)およびカラー マネージメント設定を検証します。違反が特定されると、レイアウト作成者がそれにど う対処するかを決定します。

- ➡ レイアウトを評価する前に、プロジェクトが、アクティブなレイアウトのルールセットまたは出力仕様を定義しているジョブチケットに関連付けられていることを確認してください。
- ▶ レイアウトを評価機能の目的は、レイアウトの問題を明らかにし、その問題をどのように 修正することができるかを示すことです。しかし、この機能では、レイアウト作者がジョ ブチケットに定義された仕様やルールに違反するような変更を行うことを防ぐことはでき ません。

レイアウトの表示については、下記の手順に従ってください。

1 ファイル>ジョブジャケット>レイアウトを評価を選択します。レイアウトの評価ダイ アログボックスが表示され、適用可能なルールセット、レイアウトの仕様、および出力 仕様が一覧表示されます。ルールセット、レイアウトの仕様、および出力仕様を展開し てそのコンポーネントルールを確認するには、それぞれの横にある展開アイコンをクリッ クします。

≤	ルールの説明	結果
1	▼iPad (縦)	
3	▶ルールセット	
11	-ルの編集 新規ルール	結果を表示  44 ◀ ▶ ▶
10		
说明		
光明_		
花明 羊細		
説明 ¥細 前回	]の評価:	
新期 ¥細 面 後	]の評価: た保存されたプロジェクト: 6:16 PM	
第一日 第一日 第一日 第一日 第 十 日 日 第 一 日 第 一 第 一 第 一 第 一 日 二 第 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	]の評価: とに保存されたプロジェクト: 6:16 PM *後変更されたプロジェクト: はい	

レイアウトの評価ダイアログボックスを使用して、アクティブなレイアウトをルールセット、レイアウトの仕様、および出力仕様と照らし合わせて評価します。

- 2 選択したルールを編集するには、ルール名をクリックして、**ルールの編集**ボタンをクリックします。ルールに対して行った変更はすべてジョブジャケットファイルに書き込まれ、 そのジョブチケットを使用するほかのプロジェクトに適用されます。
- 3 個々のルールをチェックするように指定するには、各ルールの横にあるチェックボック スをオンにします。ルールセット、レイアウトの仕様、および出力仕様のすべてのルー ルをチェックするように指定するには、それぞれのルールセット、レイアウトの仕様、 および出力仕様の名前の横にあるチェックボックスをオンにします。
- 4 オンにしたルールとアクティブなレイアウトを照合して評価するには、評価をクリック します。結果列が更新され、ドキュメントが各ルールチェックに合格したかどうかが表示されます。
- 5 違反しているルールの詳細を表示するには、ルールの名前をクリックして、説明ボック スと詳細ボックスを確認します。説明ボックスには、ルールの作成者によって書かれた 説明が表示され、詳細ボックスには、プロジェクトに関する情報(前回の評価の後に変 更されたかどうかなど)が表示されます。

1	ルールの説明	結果
1	▼iPad (横)	失敗
3	▼ルールセット 3	失敗
1	Font	<b>\$</b> 0
1	Images	◎ 任意
μ-	-ルの編集 新規ルール	結果を表示:  44   ●  ▶
<i>I</i> -	-ルの編集 新規ルール	結果を表示:  44   ● ●
μ-	-ルの編集 新規ルール	結果を表示:  14  ◀   ▶  ▶
ル- 明	- ルの編集 新規ルール	結果を表示:  ・・・   ●
ル- 明	-ルの編集 新規ルール	結果を表示:     ◀   ▶  ▶
ル- 調	-ルの編集 新規ルール	結果を表示:   ・・  ●   ●
ル- 明	- ルの編集 新規ルール	結果を表示:   ・・  ●   ●
ル- 調	-ルの編集) 新規ルール	結果を表示:   -(  ◀   ▶  ▶
ルー 明細	-ルの編集) 新規ルール	結果を表示:   -(  ◀   ▶  ▶
ル- 湖明 細 ポリ	-ルの編集 新規ルール リシー: 禁止	結果を表示:   (  ◀   ▶  ▶
ル- 湖 細 り回	ールの編集 新規ルール リシー: 禁止 回の評価: 6:19 PM	結果を表示:   -(-  ◀   ▶   ▶
ルー明細い「前最	ールの編集 新規ルール リシー: 禁止 回の評価: 6:19 PM &に保存されたプロジェクト: 6:16 PM	結果を表示:   -(-  ◀   ▶   ▶
ルー 明細 ポ 前最保	-ルの編集 新規ルール リシー: 禁止 回の評価: 6:19 PM &に保存されたプロジェクト: 6:16 PM 疹後変更されたプロジェクト: (はL)	結果を表示:   -(   ◀   ▶  ▶

**レイアウトの評価**ダイアログボックスには、合格したルールと違反しているルールが表示されます。

- 6 ルールに違反しているレイアウトの場所までスクロールするには、結果を表示ボタンを クリックします。これによって、ルール違反の修正が容易になります。
- プロジェクトを開いたとき、プロジェクトを保存するとき、プロジェクトを閉じるとき、 およびレイアウトを出力用に送信するときに、自動的に各レイアウトを評価するように設 定できます。詳細は、「環境設定 - アプリケーション - ジョブジャケット」を参照してく ださい。

## ジョブジャケットのロック

2人が同時にリソースを編集しないようにするため、QuarkXPressは下記の条件の下、 共有ジョブジャケットファイルをロックします。

- ジョブジャケットファイルを共有するプロジェクトのユーザーがジョブチケットの 編集ダイアログボックス(ファイル>ジョブジャケット>ジョブチケットの変更) を表示すると、QuarkXPressはそのジョブジャケットファイルをロックします。
- ユーザーがジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(ユーティリティメ ニュー)を表示すると、QuarkXPressはジョブジャケットマネジャーダイアログ ボックスに表示されているすべてのジョブジャケットファイルをロックします。

ジョブジャケットファイルを共有するプロジェクトのユーザーが、共有ジョブジャケットファイル内でリソースの作成、複製、編集、または削除を行うと、QuarkXPressはそのジョブジャケットファイルをロックします。たとえば、Taraが"Product List"ジョブジャケットファイルを共有するプロジェクトで作業しているときに、編集>カラーを選択してプロジェクトのジョブチケットにあるカラーを変更しようとすると、QuarkXPressは"Product List"ジョブジャケットファイルにあるすべての共有リソースをロックして、Taraのみが変更できるようにします。

ジョブジャケットファイルがロックされている場合の制限事項

- そのジョブジャケットファイルにあるジョブチケットテンプレートで、プロジェクトは作成できません。
- ジョブジャケットファイルにプロジェクトはリンクできません。
- ジョブジャケットファイルを共有するプロジェクトのジョブチケットの編集ダイア ログボックス(ファイル>ジョブジャケット>ジョブチケットの変更)は表示でき ません。
- ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(ユーティリティメニュー)は表示できますが、ロックされたジョブジャケットファイルやその任意のジョブチケットは編集できません。
- ジョブジャケットファイルにある共有リソースは編集できません。たとえば、Tara が"Product List"ジョブジャケットファイルをロックしている場合に、Samuelが編 集>カラーを選択して、プロジェクトのジョブジャケットにあるカラーを変更しよ うとしても、Taraがジョブジャケットファイルをロック解除するまで、カラーは淡 色表示され変更できません。
- ジョブジャケットファイルを共有するプロジェクト内で、レイアウトの追加や、既存レイアウトの名前の変更はできません。
- レイアウトの評価ダイアログボックス(ファイル>ジョブジャケット>レイアウト
   を評価)でルールを編集できません。

ロックされたジョブジャケットファイルは、以下に挙げる時点でロック解除されます。

- ロックしたユーザーがジョブチケットの編集ダイアログボックスを閉じたとき。
- ロックしたユーザーがジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを閉じたとき。
- ロックしたユーザーが、共有ジョブジャケットファイルにあるリソースの編集を完 了したとき。上記例では、Taraが共有カラーの変更後、カラーダイアログボックス で保存またはキャンセルをクリックした場合が該当します。
- ジョブジャケットのロックがあるため、必要な場合に限りジョブチケットの編集および ジョブジャケットマネジャーダイアログボックスを表示し、必要な作業を終えたらすぐに 閉じることが重要です。
- ジョブジャケットマネジャーダイアログボックス(ユーティリティメニュー)を表示して も、プロジェクトに関連付けられているジョブジャケットファイルが編集できない場合 は、そのジョブジャケットファイルは別のユーザーによってロックされていることがほと んどです。

## JDF出力での印刷

出力用にプロジェクトを送信する場合に、JDFファイルを作成して出力ファイルの保存場 所に保存するように指示できるようになりました。ただし、出力デバイスで直接印刷す る場合、JDFファイルは作成されません。

Layout 1を印刷	刷	×
プリンタ(№): 印刷書式(I):	· \\printserver\\HP LaserJet8150-C1D1	
部数(C): ページ(A): ページ選択	<ul> <li>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</li></ul>	
縮小率(S):		
デベース スペラの アマブレノ変 透 フマブレイ 一更明 ア 一 、 や ト 履度 10 F 講 歌 観 観 要	JDFオプシ □ JDFを出力(O) ジョブジャケットの連絡先を含 なし ×	-
プロパティ()	(P) 印刷 キャンセル 保存して閉じる	

JDF準拠のXMLファイル形式の出力時にジョブジャケット情報を含めるには、**印刷**ダイアログボックスの**JDF**ペインを使用します。

## 多言語の使用

QuarkXPressは、複数の言語設定で使用できます。言語設定でサポートされていれば、 次の機能を使用できます。

- サポートされている文字言語を使用するプロジェクトを開いて編集する。文字言語 とは、属性の1つで、テキストに適用してそのテキストで使用する自動ハイフンとスペルチェックのルールを指定することができます。文字言語は文字レベルで適用で きます。そのため、たとえ1つの文に2つの言語の単語が含まれていても、すべての 単語に対して正しくハイフネーションとスペルチェックを行うことができます。詳細は、「文字言語の適用」を参照してください。
- (Windowsのみ) ユーザーインターフェイスとキーボードコマンドを、サポート されている任意の表示言語に変更できます。表示言語とは、アプリケーションメ ニューやダイアログボックスで使用される言語のことです。表示言語はユーザーイ ンターフェイスにのみ影響します。スペルチェックや自動ハイフンには影響しません。詳細は、「表示言語の変更」を参照してください。
- (MacOSXのみ)表示言語はインストール時に、OS言語に従って決定されます。 UIの言語を変更するには、OS Xのシステム環境設定で表示言語を変更してから、 QuarkXPressを再起動します。
- QuarkXPressのすべての言語版で、CJK機能を使用するプロジェクトを開く、表示する、 および出力することが可能です。ただし、CJK機能を使用するテキストは、CJK環境設定 を有効にしているときのみ編集できます(QuarkXPress/編集 > CJK)。

#### 文字言語の適用

文字言語属性は、スペルチェックに使用される辞書および自動ハイフンに使用されるルー ルと例外を決定します。複数の言語を使用するテキストのスペルをチェックする場合、 各単語が、割り当てられた言語辞書を使用してチェックされます。複数の文字言語を使 用するプロジェクトで自動ハイフンが有効な場合、各単語には、その言語の該当する自 動ハイフンルールと例外ハイフンを使用してハイフネーションが行われます。

テキストに文字言語を適用するには、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ) 文字属性ダイアログボックス (スタイル>文字) の言語ドロッ プダウンメニューを使用します。
- •スタイルシートと、メジャーパレットの文字/文字属性ペインを使用します。

## 表示言語の変更

表示言語を指定するには、下記の操作を行ってください。

- (Windowsのみ) 編集 > 表示言語サブメニューからオプションを選択します。
- (MacOSXのみ)表示言語はインストール時に、OS言語に従って決定されます。 UIの言語を変更するには、OS Xのシステム環境設定で表示言語を変更してから、 QuarkXPressを再起動します。

メニュー、ダイアログボックス、およびパレットが選択した言語に変更されます。キー ボードコマンドは表示言語に基づいています。

➡ 表示言語が、自動ハイフンとスペルチェックに影響を与えることはありません。

# XTensionsソフトウェア

XTensionsモジュールを使用して、実行するほぼすべてのアクティビティを拡張するパレット、コマンド、ツール、およびメニューなどの機能を追加できます。

## XTensionsモジュールの使用

QuarkXPressには、本章に記載されているデフォルトのXTensionsモジュールのセット が同梱されています。また、Quarkまたはサードパーティによって開発されたその他の XTensionsソフトウェアをインストールすることもできます。

◆ 多くのXTensionsには、2つの要素があります。1つはXTensionsモジュールの機能用の ファイルで、もう1つはユーザーインターフェイス用のファイルです。ユーザーインター フェイスのモジュールの名前は、通常、最後が「UI」です。ユーザーインターフェイス のないXTensionsモジュールには、UIファイルは必要ありません。

## XTensionsモジュールのインストール

XTensionsモジュールをインストールするには、アプリケーションフォルダ内 の"XTensions"フォルダにモジュールを配置します。新たにインストールされたXTensions モジュールは、次回起動時に読み込まれます。

## XTensionsの有効化と無効化

メモリ不足のときに、またはトラブルシューティング時に、XTensionsモジュールを無 効にする場合があります。XTensionsモジュールを有効化または無効化するには、まず、 補助>XTensionsマネジャーを選択し、XTensionsマネジャーダイアログボックスを表 示します。

## XTENSIONSソフトウェア

も用	名前	ステータス
1	AppStudioCoreXT	オン
2	AppStudioDesigner	オン
1	AppStudioDesignerUI	オン
1	AppStudioUIXT	オン
1	AutoUpdate	オン
1	Callout	オン
3	CalloutUI	オン
3	Cloner	オン
1	CompositionZone	オン
3	CompositionZoneUI	オン
J	CopyDeskArticleXT	オン

**XTensionsマネジャー**ダイアログボックスを使用して、XTensionsモジュールを有効化および無効化できます。

モジュールを有効化するには、**使用する**コラムのモジュール名の横にあるボックスをオンにします。モジュールを無効化するには、このボックスをオフにします。この変更は、 アプリケーションの次回起動時に適用されます。

## XTensionsセットの使用(Windowのみ)

XTensionsモジュールの特定のグループを頻繁に有効化および無効化する場合、XTensions セットを作成して、これらのグループを簡単に切り替えることができます。

XTensionsグループを作成するには、まず、XTensionsマネジャーダイアログボックス (補助メニュー)を表示して、グループに含めるXTensionsモジュールを有効にします。 次に、新規保存をクリックして、グループの名前を入力します。このグループに切り替 える場合は、XTensionsマネジャーダイアログボックスを表示し、セットドロップダウ ンメニューからメニューそのグループの名前を選択します。

また、その他のユーザーとXTensionsセットを共有する場合には、**取り込み**および**書き** 出しボタンを使用して、XTensionsセットを取り込みおよび書き出しすることもできま す。

#### Item Styles XTensionsソフトウェア

アイテムスタイルでは、パレットから適用できる名前付きスタイルとして、カラー、フ レームスタイル、ライン幅、画像の縮小率、およびテキストとの間隔などのアイテム属 性コレクションを保存できます。

ItemStyles XTensionsソフトウェアは、アイテムスタイルパレット(ウィンドウ>アイ テムスタイル)、アイテムスタイルの編集ダイアログボックス(編集 > アイテムスタイ ル)、およびアイテムスタイルの使用状況ダイアログボックス(補助 > アイテムスタイ ルの使用状況)を追加します。

- アイテムスタイルは、アイテムのロックされた属性(位置、ストーリー、または画像)に 影響しません。たとえば、位置がロックされているアイテム(アイテム > ロック > 設定 位置)にアイテムスタイルを適用する場合、そのアイテムは、アイテムスタイルで指定さ れたX,Y値に従って移動することはありません。アイテムが選択されると、アイテムスタ イルの名前の隣に+が付いて表示されます。
- アイテムスタイルは、共有コンテンツおよびコンポジションゾーン機能とともに使用する ことはできません。

➡ アイテムスタイルは、テーブルをサポートしません。

## アイテムスタイルパレットの使用

選択したすべてのアイテムにアイテムスタイルを適用するには、そのアイテムスタイル の名前を**アイテムスタイル**パレットでクリックします。新規
・および削除
・ボタンで、 アイテムスタイルを追加および削除できます。更新
・ボタンで、適用されたアイテムス タイルへのローカルの変更に基づき、アイテムスタイル定義を更新できます。

また、スタイル > アイテムスタイルサブメニューからアイテムスタイル名を選択し、選択したアイテムにアイテムスタイルを適用することもできます。

	×
▼ アイテムスタイル	G
+100	Ē
検索	Q,
スタイル解除	
Box Style	

#### **アイテムスタイル**パレット

アイテムスタイルを適用するには、ターゲットアイテムを選択して、**アイテムスタイル** パレットにあるアイテムスタイルの名前をクリックします。また、アイテムスタイル名 の右側に表示されているキーボードコマンドを押すこともできます。

選択したアイテムに適用されているアイテムスタイルがあれば、アイテムスタイルパレット内でボールドで表示されます。その名前の隣に+が表示されている場合、そのアイテムは、アイテムスタイルに定義されているフォーマットとは異なるローカルフォーマットが使用されています。アイテムからローカルフォーマットを消去するには、そのアイテムを選択し、アイテムスタイルパレットの上部にあるスタイル解除をクリックしてから、そのアイテムスタイル名をもう1度クリックします。アイテムスタイル名をOptionキー/Altキー+クリックすることによっても、ローカルフォーマットを消去できます。

アイテムスタイルの作成、編集、複製、削除、取り込み、または書き出しを行うには、 アイテムスタイルダイアログボックス(編集>アイテムスタイル)を使用します。アイ テムスタイルの編集は、アイテムスタイルパレット内のアイテムスタイル名をOption キー/Altキー+クリックするか、アイテムスタイルを選択して、アイテムスタイルパレッ トメニューから編集を選択して行うこともできます。

「*アイテムスタイルの作成*」および「*アイテムスタイルの使用状況の確認*」も参照して ください。

## アイテムスタイルの作成

アイテムスタイルは、フォーマットされたアイテムを基に作成するか、初めから作成す ることができます。アイテムスタイルの作成については、下記の手順に従ってください。

1 フォーマットされたアイテムを使用するには、そのアイテムを選択します。初めから作 成するには、アイテムが選択されていないことを確認します。 2 アイテムスタイルパレットで新規 ポタンをクリックします。パレットメニューから新 規を選択するか、編集 > アイテムスタイルを選択してからダイアログボックスで新規を 選択することもできます。

and the second se		-			1					
g ボックス	フレーム	ライン	画像	テキスト	回り込み	クリッピン	17	ドロップシャド	ウ	_
		名前:	無題	4						
	十一書	りり当て:	C		クリックし	て、ショート	カッ	トを記録してく	ださい	
		ペース:	スタ	マイル 解除	8					;
設定内容										
オフ										

#### **アイテムスタイルの編集**ダイアログボックス

- 3 一般タブで、名前フィールドにアイテムスタイルを説明する名前を入力します。
- 4 キーボードショートカットを割り当てる場合は、キー割り当てフィールドに入力します。 Mac OS Xでは、Commandキー、Optionキー、Controlキー、およびShiftキーを、数 字キーパッドの数字またはファンクションキーと組み合わせて使用できます。Windows では、ControlキーおよびAltキーを数字キーパッドの数字と組み合わせるか、Control キー、Altキー、およびShiftキーをファンクションキーと組み合わせて使用できます。
- ファンクションキーを使用すると、QuarkXPressのコマンドおよびシステムレベルのコ マンドが無効になります。
- 5 別のアイテムスタイルに基づいてこのアイテムスタイルを作成するには、**ベース**ドロッ プダウンメニューからオプションを選択します。
- 6 選択したアイテムを使用してアイテムスタイルを作成している場合は、設定内容領域に リストされている属性を確認するか、タブをクリックして各設定を確認します。
- **7** アイテムスタイルを変更する場合は、タブをクリックしてから下記の操作を行ってください。
  - アイテムスタイルのタブの属性を含めるには、適用をオンにします。次に、含める 各属性をオンにし、必要に応じて変更します。
  - タブ全体のいずれの属性も含めない場合は、適用をオフにします。
  - アイテムスタイルから属性を消去するには、各属性をオフにします。

## アイテムスタイルの使用状況の確認

**アイテムスタイル**の使用場所、およびローカルオーバーライドが発生する場所を確認す るには、補助 > アイテムスタイルの使用状況を選択します。アイテムスタイルの使用状 況ダイアログボックスには、使用されているアイテムスタイル、ページ番号、および使 用状況がリストされます。

名前	 	 ~~?	状況	
Green Round Box		1	変更	^
Square Box w 2-pt Frame		1	変更	

## **アイテムスタイルの使用状況**ダイアログボックス

使用状況ダイアログボックスのオプションは、下記のように機能します。

- アイテムスタイルを使用するアイテムにスクロールするには、名前列でそのアイテムをクリックしてから表示をクリックします。
- 選択されたアイテムが変更としてリストされている場合、アイテムにはローカルオーバーライドがあります。更新をクリックして、すべてのローカルオーバーライドを 取り除きます。
- アイテムスタイルの使用状況にエラーが含まれている場合は、**エラーを表示**をクリックします。

## Script XTensionsソフトウェア

Script XTesnsionsソフトウェアがロードされている場合、スクリプトダメニューは QuarkXPressメニューバーに表示されます。このメニューから、QuarkXPressアプリ ケーションフォルダの"Scripts"フォルダにある任意のAppleScriptスクリプトを実行でき ます。Script XTensionsソフトウェアによって、デフォルトでこのメニューから一連の AppleScriptスクリプトを使用できるようになり、独自のAppleScriptスクリプト を"Scripts"フォルダに追加して、メニューに追加することができます。

Script XTensionsソフトウェアを使用するには、スクリプト を選択すると、スクリプトが実行されます。提供されるデフォルトのスクリプトは、サ ブメニューにまとめられています。

これらのスクリプトは、可能なかぎりの数のワークフローで実行するように設計されて いますが、ワークフローの設定によっては、正しく動作しない場合があることに注意し てください。したがって、レイアウトに影響するスクリプトを実行する前に、レイアウ トを保存しておくことをお勧めします。 ➡ Script XTesnsionsソフトウェアは、 Mac OS Xのみを対象としています。

Script XTensionsソフトウェアは、スクリプトがQuarkXPressから起動されるか、デス クトップなどの別の場所から起動されるかに関係なく、QuarkXPressに影響する AppleScriptスクリプトを実行する前にロードされている必要があります。

その他の必要なコンポーネントには、下記が含まれます。

- Standard Additions Scripting Addition
- AppleScript Extension

## ボックスツールサブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプトジメニューのボックスツールサブメニューから利用できるAppleScriptスクリプト を説明します。

- 切り抜きマークを追加を使用して、選択したボックスの周囲に切り抜きマークを配置します。
- **簡易バナー**を使用して、選択したボックスの左上に「バナー」(テキストボックス) を作成し、バナーのテキストを指定します。
- キャプションボックスを作成を使用して、選択したボックスの下にキャプションボックス(テキストボックス)を作成します。
- センターで縮小または拡大を使用して、ボックスの原点(座標0,0)ではなく、ボックスのセンターからボックスのサイズを変更します。

#### グリッドサブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・メニューの**グリッド**サブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトを説明 します。

**ボックスを分割**を使用して、選択したボックスの大きさに基づいてボックスのグリッド を作成します。

#### イメージサブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・メニューのイメージサブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトについ て説明します。

- ファイルに選択した画像のPICTプレビューを保存するには、PICTファイルに変換を 使用します。
- 特定のフォルダに選択した画像ボックスの画像のコピーを保存するには、フォルダ
   にコピーを使用します。
- 選択した画像ボックスに特定のフォルダの画像ファイルを取り込むには、フォルダ から選択画像ボックスへを使用します。画像は、アルファベット順に取り込まれます。

## 画像ボックスサブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・メニューの画像ボックスサブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトに ついて説明します。

- アクティブな画像ボックスの周囲に切り抜きマークを配置し、その画像ボックスの下のテキストボックスに画像ファイルの名前を入力するには、切り抜きマーク&名前を使用します。
- 画像を含む画像ボックスの下のテキストボックスに画像の名前を入力するには、名 前を入力を使用します。
- レイアウトのすべての画像のバックグラウンドカラーをなしに変更するには、すべてのバックグラウンドをなしに設定を使用します。
- レイアウトのすべての画像のバックグラウンドカラーを特定のカラーおよびシェードに変更するには、すべてのバックグラウンドを設定を使用します。

## 保存中サブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・メニューの保存中サブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトを説明し ます。

カラーTIFFプレビュー付きの個別のEPSファイルとしてレイアウトの各ページを保存する には、各ページをEPSとして保存を使用します。

- EPSファイルとしてアクティブなレイアウトのページを保存するには、オンをクリックします。
- 異なるプロジェクトにレイアウトのページを保存するには、選択をクリックしてファイルを選択ダイアログボックスを表示し、ターゲットプロジェクトに移動して選択をクリックします。スクリプトは、プロジェクトが最後に保存されたときにアクティブであったレイアウトのページを保存します。

## 特殊サブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト ジメニューの特殊サブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトを説明しま す。

- "Scripts"フォルダ内の選択されたフォルダに、選択したAppleScriptスクリプトをコ ピーまたは移動するには、スクリプトフォルダに移動を使用します。
- "A Guide to Apple Events Scripting.pdf"を開くには、Apple Events Scripting PDFを開くを使用します。このPDFには、QuarkXPressのAppleScriptスクリプトの記述についての詳細情報が含まれます。
- QuarkXPressフォルダ内の特定のフォルダを開くには、QuarkXPressフォルダを 開くを使用します。

## XTENSIONSソフトウェア

## ストーリーサブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・ジメニューのストーリーサブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトを説 明します。

- 選択されたテキストボックスをリンクするには、選択されたテキストボックスをリンクを使用します。テキストチェーン順は、テキストボックスのスタック順に基づきます。
- ・選択したボックスのテキストをXPress Tagsコードに、またはXPress Tagsコード からフォーマットテキストに(テキストは、XPress Tagsコードを使用してフォー マットされます)変換するには、XPress Tagsとの変換を使用します。このスクリ プトを使用するには、"XPress Tags"フィルタが読み込まれている必要があります。
- テキストチェーンのテキストの位置を維持しながら、選択されたテキストボックス 間のリンクを解除するには、選択されたボックスのリンクを解除を使用します。

#### テーブルサブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・メニューのテーブルサブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトを説明 します。

テーブルの行または列に特定のカラーおよびシェードを交互に適用するには、行または列のカラーを使用します。

## 組版サブメニュー

このトピックは、Script XTensionsソフトウェアがインストールされている場合にスク リプト・メニューの組版サブメニューから利用できるAppleScriptスクリプトを説明しま す。

- ベースライングリッドのサイズ(グリッドライン間のスペース)を1ポイントずつ増 やすには、ベースライングリッド+1ptを使用します。
- ベースライングリッドのサイズ(グリッドライン間のスペース)を1ポイントずつ減らすには、ベースライングリッド-1ptを使用します。
- 選択したテキストボックスの列幅およびコラム間隔(コラム間のスペース)を設定するには、列幅&コラム間隔を使用します。
- スラッシュの前または後にあるすべての数値インスタンス(1/2など)をフォーマットされた分数に変換するには、分数の作成を使用します。
- 選択したテキストボックスの各サイドにテキストボックス開始位置値を指定するには、テキストボックスの開始位置を設定を使用します。

## Word Filter

Word Filterを使用すると、ドキュメントを.docxフォーマットで取り込みまたは書き出しできます。
- ➡ 取り込みの問題を回避するには、Microsoft Wordの高速保存(オプションダイアログボックスの保存タブ)をオフにするか、名前を付けて保存コマンドを使用して、取り込まれるWordファイルのコピーを作成します。
- .docxフォーマットで書き出すには、形式ドロップダウンメニューからWord文書を選択します。

### XTensionsのその他のモジュール

このトピックは、QuarkXPressとともにインストールされる追加のXTensionsモジュー ルをリストします。

- コンポジションゾーン:コンポジションゾーン機能を有効にします (「Composition Zonesの使用」を参照してください)。
- Design Grid:デザイングリッド機能を有効にします(「デザイングリッド」を参照してください)。
- EA Text:ルビ文字、グループ化された文字、CJK文字揃え、圏点、およびCJK文字 数などのCJK組版機能を使用するプロジェクトを開くことができます。
- オリジナルを編集:デフォルトアプリケーションを使用して画像を開き、画像ボックスおよび画像セルに対してオリジナルを編集および更新コマンドを使用して変更された画像を更新できます。Edit Original XTensionsソフトウェアがロードされる

と、**画像コンテンツ**ツールを使用してオリジナルを編集ダイアログボックスを 表示し、取り込まれた画像を含む画像ボックスをダブルクリックできます。

- Error Reporting:アプリケーションが予期せずに終了した場合は、Quarkにレポートを送信できます。
- 字形パレット: 字形パレットを有効にします(「字形パレットの使用」を参照してください)。
- デハイフネーション: "Resources"フォルダのDieckmann自動ハイフンリソースを 有効にし、参照します。
- Hyph_CNS_1, Hyph_CNS_2, Hyph_CNS_3 (Mac OS Xのみ): Circle Noetics リソースを有効にします。レガシードキュメントのみサポートされます。
- Index:索引機能を有効にします(「<u>索引の使用</u>」を参照してください)。
- Jabberwocky: ランダムテキストを作成します。ランダムテキストを作成するには、テキストコンテンツツールでテキストを選択し、補助>プレースホルダテキストを挿入を選択します。
- Kern-Track:カスタムカーニングテーブルおよびトラッキングセットを有効にします(「自動カーニング」および「トラッキングテーブルの編集」を参照してください)。
- Mojigumi: CJKプロジェクトで文字組み機能を有効にします(「文字組み」を参照 してください)。
- PNG Filter:ポータブルネットワークグラフィックス(PNG)フォーマットで画像 を取り込むことができます。

### XTENSIONSソフトウェア

- PSD Import: 高度なイメージ制御機能を有効にします(「PSD画像の使用」を参照してください)。
- RTF Filter:リッチテキストフォーマット (RTF) でテキストを取り込みおよび書き 出しすることができます。
- Special Line Break: QuarkXPressの禁則文字機能を有効にします。
- XTensionsフォルダには、これ以外にも多くのXTensionsが含まれており、XTensions マネジャーダイアログで管理できます。このダイアログでは、XTensionの名前をダブル クリックすると説明が表示されます。



環境設定では、QuarkXPressのデフォルトの動作を制御します。

#### 環境設定の理解

環境設定コマンド(QuarkXPress/編集 > 環境設定)を実行すると、環境設定ダイア ログボックスが表示されます。環境設定ダイアログボックスにはいくつかのペインが含 まれており、これらのペインでは、アプリケーションのさまざまな機能のデフォルト設 定を指定できます。ペインを表示するには、左のリストから名前をクリックします。環 境設定には下記の3種類があります。

- アプリケーションの環境設定はアプリケーションに適用され、プロジェクトすべての処理方法に影響します。
- プロジェクトの環境設定は、アクティブなプロジェクトのレイアウトすべてに影響します。ただし、プロジェクトが開かれていない状態でプロジェクトの環境設定を変更すると、新しい環境設定がすべての新規プロジェクトのデフォルト設定になります。
- レイアウト環境設定は、アクティブなレイアウトのみに影響します。ただし、プロジェクトが開かれていない状態でレイアウト環境設定を変更すると、新しい環境設定がすべての新規レイアウトのデフォルト設定になります。

その他のペインおよびオプションは、特定のXTensionsソフトウェアを読み込んだ場合に環境設定サブメニューに表示されます。

### 環境設定が一致しませんという警告

現在の環境設定ファイルにある設定とは異なるカーニングテーブル情報、トラッキング テーブル情報、または例外ハイフンで前回保存したプロジェクトを開くと、**環境設定が** 一致しませんという警告が表示されます。プロジェクトの設定、または環境設定ファイ ルの設定を使用するオプションを選択できます。

• XPress Preferencesを使用をクリックすると、プロジェクトと一緒に保存された 環境設定情報は無視され、すべてのレイアウトが環境設定ファイルにある環境設定 に変更されます。異なる自動カーニングやトラッキングの情報、または例外ハイフ ンを使用すると、テキストがリフローする可能性があります。プロジェクトがアク ティブであるときに行ったこれらの設定に対する変更は、プロジェクトと環境設定 ファイルの両方に格納されます。XPress Preferencesを使用機能の利点は、カー ニングテーブル情報、トラッキングテーブル情報、例外ハイフンを他のプロジェク トと共有できることです。 プロジェクト設定値を使用をクリックすると、プロジェクトは各レイアウトについて以前に指定された環境設定を保持します。テキストはリフローしません。プロジェクトがアクティブであるときに行われた、自動カーニング、トラッキング、または例外ハイフンの変更は、そのプロジェクトにのみ格納されます。テキストリフローの危険を伴わずにレイアウトを開いて印刷する場合に、プロジェクト設定値を使用の機能が便利です。

### QuarkXPress環境設定への変更

QuarkXPress環境設定への変更は、以下の方法で処理します。

- •環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)でアプリケーション 環境設定を変更すると、開いているプロジェクトの有無に関わらず、変更内容は環 境設定ファイルに保存され、開いているすべてのプロジェクト、および今後開くす べてのプロジェクトにただちに影響します。
- XTensionsマネジャー設定(補助メニュー)を変更すると、開いているプロジェクトの有無に関わらず、変更内容は環境設定ファイルに保存され、QuarkXPressの再起動後にすべてのプロジェクトに影響します。
- (Windowsのみ) PPDマネジャー設定(補助メニュー)を変更すると、開いているプロジェクトの有無に関わらず、変更内容は環境設定ファイルに保存され、開いているすべてのプロジェクト、および今後開くすべてのプロジェクトにただちに影響します。
- プロジェクトを開いた状態で環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)でレイアウト環境設定を変更すると、アクティブなプロジェクトにのみ変更内容が保存されます。
- プロジェクトを開いた状態で別のユーザー辞書を選択すると、アクティブなプロジェクトにのみ変更内容が保存されます。
- 新規プロジェクトでカーニングテーブル情報、トラッキングテーブル情報、例外ハイフンを変更すると、アクティブなプロジェクトと環境設定ファイルにこれらの変更が保存されます。

プロジェクトを開いて環境設定が一致しません警告が表示されたときに、XPress Preferencesを使用をクリックすると、カーニングテーブル情報、トラッキングテーブ ル情報、および例外ハイフンは、そのプロジェクトと環境設定ファイルの両方に格納さ れます。

### 環境設定ファイルの内容

環境設定ファイルの内容は下記のとおりです。さまざまな環境設定の保存方法に応じて、 リストは3つのグループに分かれます。

#### グループA

グループAには下記の情報が含まれています。

- カーニングテーブル(補助>カーニングエディタ)
- トラッキングテーブル(補助>トラッキングの編集)
- 例外ハイフン(補助 > 例外ハイフン)

プロジェクトが開かれていない状態でグループAの設定を変更すると、環境設定ファイル にその変更が保存され、以降作成されるすべてのプロジェクトで使用されます。

プロジェクトを開いて**環境設定が一致しません**という警告が表示され、XPress Preferencesを使用をクリックした場合、以降グループAの設定を変更すると、その変 更がプロジェクトと環境設定ファイルの両方に保存されます(XPress Preferencesを 使用をクリックすると、プロジェクトの元のグループA設定は破棄されます)。

プロジェクトを開いて**環境設定が一致しません**という警告が表示され、**ドキュメント設 定を保持**をクリックした場合、以降グループAの設定を変更すると、その変更がプロジェ クトのみに保存されます。

#### グループB

グループBには下記の情報が含まれています。

- デフォルトスタイルシート、カラー、ダッシュおよびフレーム、リスト、およびハイフネーション&ジャスティフィケーション仕様(編集メニュー)
- 環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定)のプロジェクト ペインの設定
- ユーザー辞書のデフォルトパスの情報:Windowsでは補助>ユーザー辞書、Mac OS Xでは補助>英文スペルチェック>ユーザー辞書)

プロジェクトが開かれていない状態でグループBの設定を変更すると、環境設定ファイル にその変更が保存され、以降作成されるすべてのプロジェクトで使用されます。プロジェ クトが開いている状態でグループBの設定を変更すると、変更はそのプロジェクトのみに 保存されます。

#### グループC

グループCには下記の情報が含まれています。

- 出力スタイル(編集 > 出力スタイル)
- XTensionsマネジャーダイアログボックスの設定。
- (Windowsのみ) PPDマネジャーダイアログボックス(補助メニュー)の設定。
- 環境設定ダイアログボックスのアプリケーションペインの設定(QuarkXPress/編集>環境設定)

グループCの設定を変更すると、プロジェクトが開いているかどうかに関係なく、変更は 常に環境設定に保存されます。

### アプリケーションの環境設定

環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定)のアプリケーション ペインにあるコントロールは、プロジェクトの表示方法と保存方法など、QuarkXPress での全プロジェクトの使用方法に影響します。これらの設定は、アプリケーションに保 存され、プロジェクトには保存されません。

#### 環境設定 - アプリケーション - 表示

すべてのプロジェクトで、アプリケーションのペーストボードとその他の要素を画面上 でどのように表示するかを指定するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress /編集メニュー)の表示ペインを使用します。

ペーストボード領域にある設定は、以下のとおりです。

- 印刷レイアウト上のページやスプレッドのいずれかの側にあるペーストボードの幅を指定するには、ペーストボードの幅フィールドを使用します。ペーストボードの幅は、レイアウトの幅に対する割合として測定されます。
- ペーストボードのカラーを指定するには、カラーコントロールを使用します。
- アクティブなスプレッドのペーストボードを別な色で表示するには、ペーストボードのカラーを変えて、アクティブなスプレッドを表示します。
   るカラーコントロールでカラーを選択します。
- トリムビューモード(表示>トリムビュー)のときにペーストボードを別のカラー で表示させるには、トリムビューのペーストボードのカラーをオンにして、対応す るカラーコントロールでカラーを選択します。

**表示**領域にある設定は、以下のとおりです。

- テキストボックス編集時にテキストボックスを一時的に不透明にするには、テキス トボックス編集時の不透明化をオンにします。
- (Windowsのみ) 画面上にドキュメントが最適に表示されるようにモニターを調整するには、解像度(DPI)フィールドを使用します。
- モニタープロファイルドロップダウンメニューからモニターに合ったプロファイル を選択するか、自動を選択します。プロファイルは、QuarkXPressアプリケーショ ンフォルダ内の"Profiles"フォルダに配置できます(カラーマネージメント環境設定 についての詳細は、「環境設定-レイアウト-カラーマネジャー」を参照してください)。
- 適応型解像度領域を使用して、画質とパフォーマンスのいずれかを選択します。画 質を選択すると、可能な最高画質で画像がレンダリングされます。パフォーマンス を選択すると、画像を操作するときのパフォーマンスが向上します(移動やパンが 高速になるなど)が、画像の品質は低下します。
- ▶ この環境設定は、プロジェクトが開いていないときのみ設定できます。

### 環境設定 - アプリケーション - カラーテーマ

➡ Mac OS Xのみ。

QuarkXPressのカラーテーマを指定するには、環境設定ダイアログボックス( QuarkXPress/編集 メニュー)のカラーテーマペインを使用します。

**カラーテーマ**ドロップダウンメニューを使用して既存のカラーテーマを選択するか、

各カテゴリのカラーを指定するには、カラーコントロールを使用します。

### 環境設定 - アプリケーション - キーショートカット

➡ Mac OS Xのみ。

QuarkXPressのキーショートカットをカスタマイズするには、環境設定ダイアログボッ クス(QuarkXPress/編集メニュー)のキーショートカットペインを使用します。

**キーショートカット設定**ドロップダウンメニューを使用して既存のキーショートカット 設定を選択するか、アイコンをクリックして既存の設定を複製します。

すべてのキーショートカットを表示するには**すべて**を、 QuarkXPress メニューアイテムに関連するショートカットのみを表示するにはメニューを、メニューアイテムに関連しないすべてのショートカットを表示するにはメニュー以外を選択します。

Preferences				
<ul> <li>▼ Application         <ul> <li>Display</li> <li>Color Theme</li> <li>Key Shortcuts</li> <li>Input Settings</li> <li>Font Fallback</li> <li>Open and Save</li> <li>XTension Manager</li> <li>Sharing</li> <li>Fonts</li> <li>East Asian</li> <li>Index</li> <li>Job Jackets</li> <li>Notes</li> <li>PDF</li> <li>Redline</li> <li>Spell Check</li> <li>Tables</li> </ul> </li> </ul>	Preferences Key Shortcut Sets Default  A Menu Non-Menu Q Commands			
Fraction/Price  Project General	Save Save As Revert to Saved	₩S 		
		Cancel OK		

環境設定ダイアログボックスのキーショートカットペイン

#### 環境設定 - アプリケーション - 入力設定

スクロールとその他の「オンザフライ」アクションをカスタマイズするには、環境設定 ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の入力設定ペインを使用します。

- レイアウトをスクロールできるスピード、および画面上でのレイアウトの更新方法 を指定するには、スクロール領域を使用します。(Windowsのみ)レイアウトウィ ンドウのスクロールバーのスクロールボックスをドラッグするとき、同時にレイア ウト表示が更新されるようにするには、ライブスクロールをオンにします。スクロー ル時にライブスクロールのオン/オフを切り替えるには、スクロールボックスをド ラッグするときにAltキーを押します。
- 引用符記号の変換と入力のスタイルを選択するには、形式ドロップダウンメニューと引用符の自動変換チェックボックスを使用します。引用符の自動変換機能、および取り込みダイアログボックス(ファイル>取り込み)にある引用符を変換オプションで使用されるデフォルト文字を指定するには、引用符ドロップダウンメニューでオプションを選択します。フィート記号とインチ記号('と')を入力した引用符記号に自動的に変換するには、引用符の自動変換をオンにします。

- ハイフンとカンマは、印刷レイアウトの印刷ダイアログボックスのページフィールドで、連続、および不連続の範囲を指定するときに使用する、デフォルトのセパレータです。セクションダイアログボックス(ページメニュー)にページ番号の一部としてカンマやハイフンを指定した場合、ここでデフォルトセパレータを変更する必要があります。たとえば、ページ番号が「A-1、A-2」である場合、ページフィールドにハイフンを使用して範囲を指定することはできなくなります。セパレータを編集するには、連続および非連続フィールドに新しい文字を入力します。
- (Mac OS Xのみ): Controlキーでの操作内容を制御するには、キーを押すと有

**効**領域を使用します。Controlキーで一時的に**ズーム**ツール・を起動するには、 ズームをクリックします。Controlキーでコンテキストメニューを開くには、コンテ キストメニューをクリックします(Control+Shiftキーを押すと、選択されていない 機能が実行されます)。

- Windowsのみ: クリックとドラッグによりライブリドローが行われるまでの遅延時間を設定するには、ライブリドロードラッグまでのディレイフィールドを使用します。ライブリドローには、アイテムの移動によって起こる回り込みの変化がリアルタイムに表示されます。このオプションがオンになっている場合、サイズ変更ハンドルが表示されなくなるまでマウスボタンを押してからアイテムをドラッグすることによって、ライブリドローをアクティブにできます。
- ストーリーのテキストのカット、コピー、およびペーストを、メニューやキーボードコマンドではなくマウスを使用して行うには、テキストのドラッグ&ドロップをオンにします。 Mac OS Xでは、ドラッグを開始する前にControl+Commandを押すことで、この機能を一時的にオンにできます。カットしてペーストするには、テキストを選択してから、新しい位置にドラッグします。コピーしてペーストするには、テキストを選択してから、Shiftを押しながら新しい位置にドラッグします。
- (Windowsのみ) ツールやパレットアイコンの上にポインタを置いたときにアイ コンの名前を表示するには、ツール・ヘルプをオンにします。
- 新規画像をボックスに取り込むとき、縮小率とその他の属性を画像ボックスにデフォルトで「記憶させる」には、画像ボックス属性を保持をオンにします。
- (Windowsのみ)デフォルトでは、CJK文字を入力するためシステムで提供されているウィンドウに入力するのと同じ方法で、テキストボックスにテキストを直接入力できます。この機能を無効にするには、インライン入力をオフにします。
- (Windowsのみ) OTFプリンタフォント検索を行うをオンにすると、ファイルメニューの印刷ダイアログボックスにあるフォントペインでプリンタの検索をクリックしたとき、OpenTypeフォントも検索されるようになります。

#### 環境設定 - アプリケーション - 未定義キャラクタの代替

不足フォントが使用されるプロジェクトをアプリケーションで開いたときの動作を設定 するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の未定義キャ ラクタの代替ペインを使用します。

未定義キャラクタの代替機能を有効にするには、**未定義キャラクタの代替**をオンにしま す。この機能をアクティブにすると、現在のフォントでは表示できない文字が使用され た場合、その文字を表示できるフォントの検索を試みます。

アプリケーションでプロジェクトを開いたときに不足フォントが見つかると、このペインの環境設定で使用する代替フォントを決定します。

文字を既存のプロジェクトに追加しようとして、その文字がフォントでサポートされていない場合、その文字を表示できるシステムのフォントが検索されます。

アクティブストーリーで使用する適切なフォントをアプリケーションに検索させるには、 検索をオンにします。特定の範囲に検索を限定するには、最後をオンにして、段落フィー ルドに数値を入力します。フォントが見つからない場合に、ストーリー全体にまで検索 を広げるには、アクティブストーリーをオンにします。

他のフォントが見つからない場合に使用する代替フォントを指定するには(検索設定を 考慮して)、スクリプト/言語リストに表示される各スクリプト/言語のフォントコラ ムでオプションを選択します。

レイアウトをトンボ付きで印刷するときに、スラグラインで使用するフォントを指定す るには、ページ情報フォントドロップダウンメニューでオプションを選択します。

#### 環境設定 - アプリケーション - 取り消し

**・** Windowsのみ。

複数取り消しオプションを設定するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress /編集メニュー)の取り消しペインを使用します。

- やり直しコマンドを呼び出すキーボードコマンドを指定するには、「やり直し」キー
   ドロップダウンメニューを使用します。
- 取り消し履歴に格納できるアクションの回数を指定するには、「取り消し/やり直し」アクションの最大回数フィールドを使用します。取り消し履歴には100回までの操作が保持されます。

#### 環境設定 - アプリケーション - 開く&保存

アプリケーションでの保存とバックアップの実行方法をカスタマイズするには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の開く&保存ペインを使用します。

- システムまたは電力の障害から作業を保護するには、自動保存をオンにします。このオプションをオンにすると、プロジェクトフォルダにある一時ファイルに変更内容が、指定した時間間隔で自動的に記録されます。間隔(分)フィールドに間隔を分数で入力します。指定できる最短時間間隔は、0.25分です。自動保存がオンの場合、デフォルト設定は5分間隔です。手動で保存(ファイル>保存)しない限り、元のファイルは上書きされません。システムが中断された後にプロジェクトを開くと、プロジェクトが最後に自動保存されたバージョンに復元される旨の警告が表示されます。
- ・自動バックアップをオンにして、リビジョンを保持フィールドに値を入力すると、1 プロジェクトにつき最大100のリビジョンを保持できます。手動で保存(ファイル> 保存)するたびに、以前に手動で保存したバージョンが、指定した保存フォルダに コピーされます。自動バックアップのデフォルト設定はオフです。プロジェクトと 同じフォルダにリビジョンを保存するには、プロジェクトフォルダをクリックしま す。別のフォルダにリビジョンを保存するには、その他のフォルダをクリックして から参照をクリックします。各バックアップを表す連番がファイル名に追加されま す。最新リビジョン(5個のうちの5番目など)が作成されると、フォルダで最も古

いリビジョンが削除されます。保存フォルダからバックアップを取得するには、リ ビジョンファイルを開きます。

- プロジェクトウィンドウのサイズ、位置、および縦横比をアプリケーションに自動的に保存するには、レイアウト位置の保存をオンにします。
- Unicode以外のテキストの文字の表示方法を指定するには、Unicode以外のサポートの下にあるエンコーディングドロップダウンメニューからオプションを選択します。

### 環境設定 - アプリケーション - XTensionsマネジャー

XTensionsマネジャーダイアログボックスが表示されるタイミングを設定するには、環 境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のXTensionsマネジャー ペインを使用します。

### 環境設定 - アプリケーション - 共有

新規共有コンテンツのデフォルトオプションを設定するには、環境設定ダイアログボッ クス(QuarkXPress/編集メニュー)の共有ペインを使用します。これらのオプション の意味についての詳細は、「コンテンツの共有および同期」を参照してください。

共有コンテンツスペースに複数アイテムを追加するときに、このペインで指定したオプ ションを常に使用するには、**複数のアイテムを共有する際ダイアログを表示しない**をオ ンにします。

### 環境設定 - アプリケーション - フォント

下記の環境設定を指定するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メ ニュー)のフォントペインを使用します。

対応するフォントに各フォント名を表示するには、**フォントプレビュー**領域で、**フォン** トメニューに表示チェックボックスをオンにします。

フォントマッピング領域で、以下の操作を実行します。

- 不足フォントダイアログボックスを非表示にするには、不足フォントダイアログを 表示しないをオンにします。置換フォントが定義されていない不足フォントを含む プロジェクトを開いたときの動作を、このチェックボックスの下にあるラジオボタ ンで決定します。
- デフォルトの置換フォントを指定するには、デフォルト置換フォントを指定します
   をオンにし、デフォルト置換フォントドロップダウンメニューから置換フォントを 選択します。
- デフォルトの置換フォントを指定するには、デフォルト置換フォントを指定します
   をオンにし、欧文およびCJKドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- 中国語(繁体字)エンコーディングのUDA/VDA(ユーザ定義領域/ベンダー定義 領域)範囲にある文字を強調表示して、該当文字を視覚的に確認できるようにする には、フォントメーカーによって定義された繁体字の文字範囲に入っている文字を ハイライトするをオンにします。

環境設定 - アプリケーション - テキストのハイライト

➡ Windowsのみ。

下記の環境設定を指定するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メ ニュー)のテキストのハイライトペインを使用します。

**不足フォントのバックグラウンド**領域で、下記の操作を行ってください。

- **カラー**コントロールを使用してカラーを指定します。
- **不透明度**コントロールを使用して、不透明度の値を0%(完全に透明)から100% (完全に不透明)の間で指定します。

#### 環境設定 - アプリケーション - 東アジア

東アジア言語の機能を有効にするには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/ 編集メニュー)のCJKペインを使用します。

### 環境設定 - アプリケーション - ダイナミックガイドのカラー

(Windowsのみ) 環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/Editメニュー)の ダイナミックガイドのカラーペインを使用して、ダイナミックガイドの種類ごとにカラー を指定できます。

**カラー**コントロールを使用して、ダイナミックガイドの下記の種類ごとにカラーを指定します。

- ダイナミックガイド:アイテムの中央
- ダイナミックガイド:ページの中央
- ダイナミックガイド:アイテムのエッジ
- ダイナミックガイド:同じ寸法
- ダイナミックガイド:同じ間隔

#### 環境設定 - アプリケーション - ファイルリスト

Windowsでのみ使用できます。 Mac OS Xでは、OSレベルの環境設定が継承されます。

ファイルメニューで、最近開いて保存したファイルの表示をカスタマイズするには、環 境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のファイルリストペインを 使用します。

- 最近開いて保存したファイルの表示数を指定するには、最近表示したファイルの数 フィールドを使用します。
- 最近開いたファイルのリストを表示するメニューを選択するには、ファイルリストの位置領域を使用します。
- アルファベット順でファイルリストを表示するには、名前をアルファベット順にを オンにします。
- ファイルの位置を表示するには、フルパス表示をオンにします。

[➡] Windowsでのみ使用できます。 Mac OS Xでは、環境設定ダイアログボックスのカラー テーマペインを使用して、ダイナミックガイドのカラーを設定できます。

### 環境設定 - アプリケーション - デフォルトパス

(Windowsのみ) 開く、保存/新規保存、取り込みコマンド用に、ファイルシステム またはネットワーク上のデフォルトの場所を定義するには、環境設定ダイアログボック ス(QuarkXPress/編集メニュー)のデフォルトパスペインを使用します。

### 環境設定 – アプリケーション – 索引

索引ペインで、作成した索引マーカの色および約物をカスタマイズできます。

索引マーカの色を変更するには、索引マーカの色ボタンをクリックします。

作成した索引の約物の方法を制御するには、区切りキャラクタ設定を使用します。

- 索引の各見出し語の直後に挿入する約物を指定するには、見出し語の後フィールド に文字を入力します。
- ・ 索引のページ番号のリストを分割する単語や約物を指定するには、ページ番号の間 フィールドに文字を入力します。
- ・ 索引のページ範囲を分割する単語または約物を指定するには、ページ範囲の間フィールドに文字を入力します。
- クロス参照の前に使用される単語または約物(通常は、ピリオド、セミコロン、またはスペース)を指定するには、クロス参照の前フィールドに文字を入力します。
- クロス参照に適用する文字スタイルシートを選択するには、クロス参照スタイルドロップダウンリストを使用します。このスタイルシートは、「参照」、「参照(追加)」、および「以下を参照」にのみ適用され、見出し語や参照には適用されません。
- 追い込み索引の見出し語の間や、階層付き索引の段落の最後に挿入される単語や約 物を指定するには、見出し語の項目間フィールドに文字を入力します。

### 環境設定 - アプリケーション - ジョブジャケット

自動レイアウト評価用の環境設定を指定し、ジョブジャケットファイルのデフォルトの 場所を指定するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の ジョブジャケットペインを使用します。

QuarkXPressがファイル>レイアウトの評価コマンドを自動的に実行するタイミングを 制御するには、レイアウトの評価領域にあるオプションを使用します。たとえば、出力 の際にをオンにすると、出力用に送信する前に、常にレイアウトを評価するように設定 できます。オプションは下記のとおりです。

- オープン時
- 保存時
- 出力時
- 終了時

ジョブジャケットファイルのデフォルトの保存先を指定するには、**ロケーション**領域に あるオプションを使用します。デフォルトの場所にジョブジャケットファイルを保存す るには、**共有ジャケット用のデフォルトパスを使用**をクリックします。デフォルトの場 所は、**Mac OS X**では"Documents"フォルダ、Windowsでは"My Documents"フォル ダです。

#### 環境設定 - アプリケーション - ノート

ノートの表示方法を設定するには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集)のノートペインを使用します。

付箋の属性セクションで、下記の操作を行います。

- **フォント**ドロップダウンメニューでフォントを選択します。
- **サイズ**ドロップダウンメニューでフォントサイズを選択します。
- 行送りフィールドを使用して、行間隔を指定します。
- バックグラウンドセクションのカラードロップダウンメニューを使用して、バック グラウンドカラーを指定します。

#### 環境設定 - アプリケーション - PDF

PDF書き出しの環境設定を行うには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のPDFペインを使用します。

PDFファイルの作成方法を指定するには、**PDFのワークフロー**領域にあるオプションを 使用します。

- QuarkXPressにPDFファイルを作成させるには、PDF作成をクリックします。
- PDFマーク付きでPostScriptファイルを書き出すには、PostScriptファイルを一時 作成をクリックします。このオプションを使用することで、他社製PDF作成アプリ ケーションを使用してPDFファイルを作成できます。このオプションをオンにする と、監視フォルダを使用もオンにして、PostScriptファイルが保存されるディレク トリ(PDF作成ツールの自動処理用)を指定できます。監視フォルダを使用をオン にしないと、PostScriptファイルの保存場所を指定するように指示されます。

(Mac OS Xのみ): PDF書き出し処理中に、大きなPDFファイルのレンダリングに使用するための仮想メモリの容量を増やすには、仮想メモリフィールドの値を増やします。

書き出されたPDFファイルのデフォルト名を選択するには、**デフォルト名**ドロップダウン メニューを使用します。

PDFファイル作成中のエラー(ある場合)のログを作成するには、**ログエラー**をオンにします。このオプションがオンの場合、**ログフォルダの使用**をオンにしてログファイルの保存先を指定します。**ログフォルダの使用**がオフの場合、書き出されたPDFファイルと同じディレクトリにログファイルが作成されます。

### 環境設定 - アプリケーション - 変更履歴

挿入されたテキストと削除されたテキストの表示方法を設定するには、環境設定ダイア ログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の変更履歴ペインを使用します。

環境設定			×
環境設定 アプリケーション ディスプレイ 入力設定 未定義キャラクタの代替 取り消し 開く&保存 XTensionsマネジャー 共有 フォント テキストのハイライト CJK	▲ カラ スタイ	<ul> <li>■マゼンタ ~</li> <li>アンダー ~</li> <li>挿入</li> </ul>	×
ダイナミックガイドの ファイルリスト デフオルトパス 索引 ジョブジャケット ノート PDF 変更履歴 スペルチェック テーブル 分数 価貨			
	•		OK キャンセル

#### 環境設定ダイアログボックスの変更履歴ペイン

WYSIWYG表示領域で、下記の操作を行います。

- **カラー**コントロールを使用してカラーを指定します。
- スタイルドロップダウンを使用してスタイルを指定します。

### 環境設定 - アプリケーション - スペルチェック

スペルチェックのオプションを設定するには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集メニュー)のスペルチェックペインを使用します。

スペルチェックの例外領域で、以下の操作を実行します。

- スペルチェックから数字を含む単語を除外するには、数字を含む単語を無視をオンにします。
- スペルチェックから電子メールアドレスおよびURLを除外するには、インターネットおよびファイルアドレスを無視をオンにします。
- スペルチェックの際、ドイツ言語に適用されている大文字小文字の区別および単語 間スペースの確認を無効にするには、ドイツ語で大文字化を無視をオンにします。
   ドイツ言語とは、ドイツ語、スイスドイツ語、ドイツ語(新正書法)、スイスドイ ツ語(新正書法)です。
- スペルチェックの際、非ドイツ言語に適用されている大文字小文字の区別および単 語間スペースの確認を無効にするには、ドイツ語以外で大文字化を無視をオンにし ます。

ドイツ語文字でタグ付けされたテキストをスペルチェックする場合にドイツ語(新正書

法)を使用するには、新正書法の適用される言語領域にあるドイツ語(新正書法2006年

**版)を使用**をオンにします。

#### 環境設定 - アプリケーション - テーブル

アンカーテーブルに自動分割を許可機能を有効/無効にするには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のテーブルペインを使用します。

#### 環境設定 - アプリケーション - 分数/通貨

分数と通貨を自動的にフォーマットするには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集メニュー)の分数/通貨ペインを使用します。

- 分子領域では、オフセットオプションにより、ベースラインを基準にして分子が配置されます。縦比率オプションでは、フォントサイズのパーセントで分子の高さを指定します。横比率オプションでは、通常の文字幅のパーセントで分子の幅を指定します。カーニング値オプションで、文字とスラッシュ間の間隔を調整します。
- ・分母領域では、オフセットオプションにより、ベースラインを基準にして分母が配置されます。縦比率オプションでは、フォントサイズのパーセントで分母の高さを指定します。横比率オプションでは、通常の文字幅のパーセントで分母の幅を指定します。カーニング値オプションで、文字とスラッシュ間の間隔を調整します。
- スラッシュ領域では、オフセットオプションにより、ベースラインを基準にしてス ラッシュが配置されます。縦比率オプションでは、フォントサイズのパーセントで スラッシュの高さを指定します。横比率オプションでは、通常の文字幅のパーセン トでスラッシュの幅を指定します。カーニング値オプションで、文字とスラッシュ 間の間隔を調整します。スタイル > 文字飾り > 分数の作成を選択した場合に、タイ プサイズを保持するには、分数用スラッシュをオンにします。
- 通貨領域では、 ( にアンダーラインを適用オプションでセント記号( ( ) の下にア ンダーラインを配置し、Radixの削除オプションで通貨から小数点やカンマ記号を 削除します。

### プロジェクトの環境設定

環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定)のプロジェクトペイ ンは、アクティブなプロジェクトのレイアウトすべてに影響します。ただし、プロジェ クトが開かれていない状態でプロジェクトの環境設定を変更すると、新しい環境設定が すべての新規プロジェクトのデフォルト設定になります。

#### 環境設定 - プロジェクト - 一般

自動画像取込み、単独レイアウトモード、およびOpenTypeカーニング(OpenTypeフォ ントの場合)のデフォルト設定を指定するには、**環境設定**ダイアログボックス

(QuarkXPress/編集メニュー)の一般ペインでプロジェクトバージョンを使用します。

レイアウトを最後に開いてから変更された画像をアプリケーションで自動的にアップデー トするかどうかを設定するには、**自動画像取込み**ドロップダウンメニューを使用します。

• 自動画像取込み機能を有効にするには、オンをクリックします。プロジェクトを開くと、変更済みの画像が自動的に再度取り込まれます。

- 自動画像取込み機能を無効にするには、オフを選択します。
- アプリケーションで変更済み画像を取り込む前に警告を表示するには、確認するを クリックします。

プロジェクトが開かれていない状態で単独レイアウトモードチェックボックスをオンに すると、新規プロジェクトダイアログボックスの単独レイアウトモードチェックボック スが自動的にオンになります。

OpenTypeフォントのデフォルトのカーニング値を有効にするには、**OpenTypeのカー** ニング情報を使用チェックボックスをオンにします。OpenTypeカーニングがアクティ ブな場合、そのカーニングがOpenTypeフォントのカーニングエディタ(補助メニュー) で指定したすべてのカーニングよりも優先されます。

混合カラーテキストでOpenType変換を許可するをチェックボックスをオンにすると、 ユーザーが混合カラーテキストに対してOpenType変換を適用できるようになります。

全角文字のOpenTypeカーニングを無効にするには、**全角文字をカーニングしない**をオンにします。

➡ このオプションはCJK設定でのみ利用できます。

#### レイアウト環境設定

環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集>環境設定)のレイアウトペイン の設定は、テキストオーバーフロー時にページを自動挿入するかどうか、およびカラー のトラップ方法など、特定のQuarkXPress機能でのドキュメントの使用方法に影響しま す。

#### 環境設定 - レイアウト - 一般

環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の一般ペインでレイアウトバージョンを使用すると、ガイドの吸着距離やハイパーリンクおよびアンカーの色な ど、ページレイアウトのさまざまなデフォルト設定を指定できます。

表示領域で、下記の操作を行ってください。

- グリークテキスト(<)チェックボックスをオンにしてフィールドに値を入力すると、 「グリーキング」によりQuarkXPressの画面の再描画速度が上がります。グリーキ ングとは、指定したサイズよりも小さなテキストの代わりにグレイのバーを表示す る処理のことです。グリーキングは印刷や書き出しには影響しません。テキストの グリーキングは表示率の影響を受けます。
- 画像グリーキングチェックボックスをオンにすると、取り込んだ画像をQuarkXPress にグレイのボックスで表示できます。グリーキングされた画像を含むボックスを選 択すると、画像が普通に表示されます。このチェックボックスはデフォルトでオフ になっています。

アンカーアイコンおよびハイパーリンクの色を選択するには、**ハイパーリンク**領域を使用します。ハイパーリンクアイコンとアンカーアイコンのカラーは両方とも、印刷およびデジタルレイアウトで使用できます。

マスターページを適用した場合にマスターアイテムの動作を制御するには、マスターペー ジアイテム領域を使用します。新しいマスターページは、次のいずれかの場合に常にレ イアウトページに適用されます。(1)マスターページのアイコンをレイアウトパレット のマスターペー図図域からレイアウトパレット(ウィンドウ>レイアウト表示)のレイア ウトページアイコンへドラッグ&ドロップした場合、(2)レイアウトパレットを使用し てレイアウトページに適用されたマスターページを削除した場合、または(3)見開き ページレイアウトの奇数ページを追加、削除、または移動した場合。

- 新しいマスターページが適用されたときに現在のレイアウトページに変更済みのマスターアイテムを残す場合、変更箇所保持をクリックします。保持されるアイテムはマスターアイテムではなくなります。
- 新しいマスターページが適用されたときに現在のレイアウトページに変更済みのマスターアイテムを削除する場合、変更箇所消去をクリックします。

フレームをテキストボックスおよび画像ボックスの内側と外側のどちらに配置するかを 指定するには、**フレーム**領域を使用します。

- 内側をクリックすると、テキストとフレームの距離がボックスのテキストとの間隔 (アイテム>設定)の値により決まります。フレームを画像ボックスの内側に配置 すると、そのフレームが画像と重なります。
- 外側をクリックすると、フレームがボックスの外側に配置され、ボックスの幅と高 さが大きくなります。フレームのサイズがボックスまたはペーストボードの制限を 超えないようにする必要があります。

**CJK文字のジャスティフィケーションを許可**をチェックすると、H&Jに指定されている EA Punct、Han、Kana/Hangul/ZhuYinのCJKテキストカテゴリのジャスティフィ ケーション設定が有効になります。

印刷レイアウトのみ:自動テキストボックス、または(自動テキストボックスを含むマ スターページに関連付けられたページの)連続するテキストボックスからテキストがは み出さないようにするために、ページを自動的に挿入するかどうかを決定するには、自 動ページ挿入オプションを使用します。ドロップダウンメニューからもページを挿入す るかどうかを指定できます。

#### 環境設定 - レイアウト - 単位

レイアウトルーラーおよびメジャーパレットのデフォルトの単位を指定するには、環境 設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の単位ペインを使用します。

- レイアウトウィンドウの上と左に沿って表示されるルーラーの基準単位を指定する には、水平方向および垂直方向ドロップダウンメニューを使用します。水平方向は 上のルーラーに対応し、垂直方向は左のルーラーに対応します。
- メジャーパレットのデフォルトのX座標やY座標を含むその他いくつかのユーザーインターフェイスの縦横比は、これら2つのドロップダウンメニューにより決まります。フォントのサイズ、フレームの幅、行送り、線の幅などは、選択した単位に関係なくQuarkXPressにより自動的にポイント単位に変換されます。
- 72ポイント/インチのデフォルト値を上書きするには、ポイント/インチフィールドを使用します。QuarkXPressでは、このフィールドの値をすべてのポイントおよびパイカとポイント/インチ変換およびパイカ/インチ変換の単位の基本として使用します。DTPのポイント/インチ変換の基準は72です。ただし、大部分の組版用の

金属製ルーラーで使用されていた従来の組版基準は、約72.27または72.307ポイン ト/インチ(範囲は60~80pt、基準単位はポイント、最小増分値は0.001)です。

- シセロからセンチメートルへの変換値を標準の2.1967(範囲は2~3c、基準単位は シセロ、最小増分値は0.001)とは異なる値に指定するには、シセロ/cmフィール ドを使用します。
- ・水平方向のルーラーの増分値をページごとにゼロから繰り返すか、スプレッド全体 を通じて続けるかを指定するには、ルーラー適用範囲ボタンを使用します。この設 定によりフィールドに表示されるアイテムの座標が決まります。デフォルトのオプ ションはページです。
- 新規レイアウトのデフォルトの単位を設定するには、単位ドロップダウンメニュー を使用します。

### 環境設定 - レイアウト - 段落

さまざまな段落レベルの設定を制御するには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集メニュー)の段落ペインを使用します。

行間隔を自動的に設定するには、**行送りの自動設定**機能を使用します。**段落設定**ダイア ログボックス(**スタイル > 行送り**)の**行送り**フィールドに「auto」または「0」を入力 すると、この設定を段落に適用できます。行送りが絶対的な設定になっている段落(す べての行で行間隔が等しい段落)とは異なり、行送りが自動設定されている段落の場合、 フォントやフォントサイズが同じ段落内で混在している場合、行間隔の異なる行が含ま れている場合があります。

行送りの自動設定では、行送りの基本値から始まります。この基本値は、自動設定の行 送りの行とその上の行で使用するフォントに組み込まれたアセントおよびディセントの 値を検証することにより、QuarkXPressが計算します。ただし、ユーザーが指定するテ キストサイズ(**スタイル > サイズ**)の場合、行送りの基本値を決定するときの最大要素 となります。最後に、**行送りの自動設定**フィールドでユーザーが指定した値を行送りの 基本値に追加すると、行送りの合計値に到達します。

行送りの自動設定をパーセントで指定するには、0%から100%までの値を1%刻みで入 力します。上の行の最大フォントサイズにこの割合の値を掛けた結果で、2つのテキスト 行間の行送りの値が決定されます。その結果を、2行間の行送りの自動設定の基本値に追 加します。フォントのデザインによってはこの処理が複雑になる場合もありますが、そ の例を簡単に示します。10ポイントのテキストで、スタイル設定を一貫して「標準」フォ ントにし、**行送りの自動設定**を20%に設定した場合、行送りは12ポイントとなります (10pt+[10ptの20%]=12pt)。行送りの自動設定を増分値で指定するには、値の前 にプラス記号(+)またはマイナス記号(-)を付けて入力します。範囲は-63ポイントか ら+63ポイントまでで、単位は任意です。「+5」と入力すると、5ポイントの行送りが行 送りの自動設定の基本値に追加されます。「+5 mm」と入力すると、5ミリメートル追 加されます。

列またはボックスで障害物の直下にあるテキスト行の配置を制御するには、**行送り値の** 保持チェックボックスをオンにします。**行送り値の保持**チェックボックスをオンにする と、行のベースラインが適用された行送り値に従って配置されます。**行送り値の保持** チェックボックスをオフにすると、行のアセントが障害物または適用した回り込み値(**ア** イテム > 回り込み)の下にきます。

**グリッド固定のベース**領域で、下記の操作を行ってください。

- 文字のアセンダーおよびディセンダーに応じてテキストをグリッドに対して固定するには、アセントおよびディセントをクリックします。
- 文字の仮想ボディのサイズに応じてグリッドにテキストを固定するには、フォント サイズ(仮想ボディ)をクリックします。

例外ハイフン辞書で対応する見出し語が見つからない場合に、QuarkXPressが段落の自動ハイフネーションに使用する方法を指定するには、自動ハイフンリスト言語ごとに、 自動ハイフン領域の方法ドロップダウンメニューを使用します。ここで選択する設定は、 自動ハイフン(編集 > H&J)が有効な段落のみに影響します。

- バージョン3.1以前のQuarkXPressに組み込まれているアルゴリズムを使用してハイフネーションを実行するには、標準チェックボックスをオンにします。
- 拡張および拡張、3.3互換オプションは、いずれかの言語について、これらの ハイフネーションのいずれかが適用されているレガシープロジェクトを QuarkXPress 2016で開いたときのみ利用できます。新規プロジェクトでは、 このオプションは利用できません。
- Extended 2では、Dieckmannの例外リソースとアルゴリズムをハイフネーション に使用します。このオプションを母言語で使用可能な場合、これがQuarkXPressで 作成されたプロジェクトのデフォルト方式となります。

#### 環境設定 - レイアウト - 文字設定

新規共有コンテンツのデフォルトオプションを設定するには、環境設定ダイアログボッ クス(QuarkXPress/編集メニュー)の共有ペインを使用します。QuarkXPressによ る上付き字形および下付き字形などの組版スタイルの構成方法を指定するには、環境設 定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)の文字設定ペインを使用しま す。

- ・上付き文字の配置と縮小率(サイズ)を制御するには、上付き字形領域を使用します。オフセット値で、上付き文字の配置位置をベースラインからの下方向の距離を指定します。オフセット値は、フォントサイズの割合で測定されます。デフォルト値は33%です。縦比率値で、文字の縦サイズを指定します。フォントサイズの割合で表されます。横比率値で、横幅を指定します。フォントデザイナによって指定された通常の文字の幅の割合で表されます。両方の縮小率のデフォルト値は60%です(範囲は0~100%、測定はパーセント方式、最小単位は0.1)。
- ・下付き文字の位置と縮小率(サイズ)を制御するには、下付き字形領域を使用します。オフセット値で、下付き文字の配置位置をベースラインからの上方向の距離を指定します。オフセット値は、フォントサイズの割合で測定されます。デフォルト値は33%です。縦比率値で、文字の縦サイズを指定します。フォントサイズの割合で表されます。横比率値で、横幅を指定します。フォントデザイナによって指定された通常の文字の幅の割合で表されます。両方の縮小率のデフォルト値は100%です(範囲は0~100%、測定はパーセント方式、最小単位は0.1)。
- スモールキャップスタイプスタイルが適用されている文字の縮小率を制御するには、 スモールキャップス領域を使用します。縦比率値で、文字の縦サイズを指定します。 フォントサイズの割合で測定されます。横比率値で、横幅を指定します。フォント デザイナによって指定された通常の文字の幅の割合で測定されます。両方の縮小率 のデフォルト値は75%です(範囲は0~100%、測定はパーセント方式、最小単位 は0.1)。

- ・ 肩文字の縮小率を制御するには、肩文字領域を使用します。縦比率値で、文字の縦 サイズを指定します。フォントサイズの割合で測定されます。横比率値で、横幅を 指定します。フォントデザイナによって指定された通常の文字の幅の割合で測定さ れます。両方の縮小率のデフォルト値は60%です(範囲は0~100%、測定はパー セント方式、最小単位は0.1)。
- フォントに組み込まれた合字を使用するには、合字領域を使用します。合字とは、 特定の複数文字を組み合わせて単一字形にする組版手法です。大抵のフォントには、 「f」とそれに続く「i」、「f」とそれに続く「I」のための合字が含まれています。 カーニング(>)で分割フィールドで、合字への組み合わせが行われるカーニングとト ラッキングの上限値(単位は1/200 emスペース)を指定できます。たとえば、大 きなトラッキング値を含む見出しに合字が含まれることはありません。デフォルト 値は1です(範囲は0~10、測定方法は0.005(1/200)全角スペース、最小単位は 0.001)。「office」および「waffle」などの「ffi」と「ffl」にある2番目の2文字 が合字に組み合わされないようにするには、"ffi"または"ffl"は使用しないをオンに します。このように3文字を組み合わせた合字は、従来のタイプセッティングシステ ムによく見られます。しかし、 Mac OS X用にデザインされたフォントではこのよ うな合字が標準化されていません。このため、3文字のうちの2文字のみを組み合わ せるのではなく、3文字すべてを別々にしておくことを望む組版作成者もいます。多 くのPostScriptフォントには「ffi」および「ffl」合字はありませんが、ほとんどの OpenTypeフォントにはあります。このチェックボックスはデフォルトでオフになっ ています。
- 文字間隔を制御するために、ほとんどのフォントに組み込まれているカーニングテーブルを使用するには、自動カーニング(>)をオンにします。自動カーニング(>)フィールドで、自動カーニングを使用する必要があるポイントサイズの下限を指定できます。自動カーニング(>)機能には、選択したフォントのトラッキング値ダイアログボックス(補助>トラッキングの編集)で指定する、カスタムトラッキング情報も実装されています。このオプションはデフォルトでオンになっていて、4ポイントのしきい値が設定されています(範囲は0~72ポイント、測定方法はインチ、ポイント、cmなど、最小単位は0.001)。
- テキストのポイントサイズに等しいemスペース(たとえば、24ポイントのテキストでは24ポイントのemスペース)を指定するには、標準emスペースをオンにします。標準emスペースがオフの場合、現在のフォントの2つのゼロの幅が全角スペースの幅として使用されます。このオプションは、デフォルトでオンになっています。 Option+スペースキー/Ctrl+Shift+6を押して、テキストに全角スペースを挿入できます。
- フレックススペース幅のデフォルト値50%を変更するには、フレックススペース幅フィールドを使用します。改行のあるフレックススペースを作成するには、 Option+Shift+スペースキー/Ctrl+Shift+5を押します。改行のないフレックススペースを作成するには、Command+Option+Shift+スペースキー/Ctrl+Alt+Shift+5を押します。フレックススペース幅の値は、指定されたフォントとフォントサイズの通常のenスペースの割合で表されます(範囲は0~400%、測定はパーセント方式、最小単位は0.1)。
- オールキャップスタイプスタイルが適用されているアクセント付き文字にアクセント記号を含めるかどうかを指定するには、オールキャップスのアクセント記号チェックボックスを使用します。このオプションは、デフォルトでオンになっています。
- 中国語、日本語、または韓国語の文字と隣接する欧文文字との間に含める間隔の大きさを指定するには、CJK/欧文間スペースフィールドを使用します。

### 環境設定 - レイアウト - ツール

**ズーム**ツール および**アイテム**ツール のデフォルトの特性を指定したり、アイテム作成ツールで作成されたアイテムのデフォルト設定を行うには、環境設定ダイアログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のツールペインを使用します。

### Windows

- **アイテム**ツールのオプションを構成するには、アイテムツールを選択してから 設定をクリックします。アイテムツールによりアイテムを少しずつ動かすためのピ クセル数を制御するには、Shiftキーを使って少しずつ増分領域を使用します。ボッ クスをダブルクリックしたときの動作を決定するには、ボックスをダブルクリック したときのアクションの下にあるラジオボタンを使用します。アイテムツールから 適切なコンテンツツールに切り替えるか、設定ダイアログボックスを開くかを選択 できます。
- **ズーム**ツールの表示変更の範囲と増分を制御するには、**ズーム**ツールを選択してから設定をクリックします。
- テキストコンテンツおよび画像コンテンツツールのドラッグオプションを構成するには、この2つが結合したコンテンツツールを選択して設定をクリックします。 選択したコンテンツツールを使用してドラッグしたときに新規ボックスを作成するには、ボックスを作成をクリックします。選択したコンテンツツールを使用してドラッグしたときにボックスを選択するには、ボックスを選択をクリックします。
- 1つ以上の関連するアイテム作成ツールで作成されたアイテムのデフォルトの属性を 変更するには、ツールを選択してから設定をクリックします。
- ツールの環境設定を変更していて、その環境設定をデフォルトに戻したい場合は、 ツールをリストから選択して復元をクリックします。複数のツールの環境設定を変 更していて、それらすべてのツールの環境設定をデフォルトに戻すには、すべて復 元をクリックします。

### Mac OS X

レイアウトを行うツールのデフォルトの環境設定は、ボックスから直接設定できます。 ツールの環境設定を行うには、希望するようにボックスを設定してから、編集 > 選択内 容からツールの環境設定を設定を使用して、ボックスの属性をツールの環境設定に適用 します。編集 > ツールの環境設定をデフォルトに復元を使用すると、ツールの環境設定 をデフォルトに戻すことができます。

### 環境設定 - レイアウト - ガイドとグリッド

ガイドやデザイングリッドのさまざまなデフォルト設定を指定するには、環境設定ダイ アログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のガイドとグリッドペインを使用しま す。

ガイド吸着距離フィールドでは、6ピクセルのデフォルトの吸着距離を変更できます。ガ イドへの吸着チェックボックス(表示メニュー)をオンにすると、この距離でオブジェ クトがページガイドに吸着します(範囲は1~216、基準単位はピクセル、最小増分値は 1です)。 ガイド領域で、下記の操作を行ってください。

- デフォルトのマージンとガイドの色を指定するには、マージンの色ボタンとガイドの色ボタンを使用します。
- ルーラーガイドおよびページガイドをページアイテムの前後どちらに配置するかを 指定するには、コンテンツの前またはコンテンツの後ろをクリックします。

ページグリッド領域で、下記の操作を行ってください。

- マスターページグリッドとテキストボックスグリッドを表示できるズームの最小倍 率を制御するには、ズーム表示倍率フィールドに値を入力します。
- マスターページグリッドをページアイテムの前後どちらに配置するかを指定するには、コンテンツの前またはコンテンツの後ろをクリックします。コンテンツの前を クリックすると、マスターページグリッドをガイドの前後どちらに配置するかも指定できます。

#### 環境設定 - レイアウト - グリッドセルの塗りつぶし

デザイングリッドセルの塗りつぶし方法を制御するには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集メニュー)のグリッドセルの塗りつぶしペインを使用します。

グリッドスタイルまたはマスターページグリッドの表示設定タブ(デザイングリッド: 表示設定タブを参照)で塗りつぶしセルを表示チェックボックスをオンにすると、シー ケンスのセルの1つをグリッドの他のセルのアウトラインを描く色で塗りつぶすよう指定 できます。シーケンス内でセルの番号や位置を指定するには、環境設定ダイアログボッ クス(QuarkXPress/編集>環境設定)のグリッドセルの塗りつぶしペインのコント ロールを使用します。

- 塗りつぶすセルを指定するには、増幅値チェックボックスをオンにしてフィールド に値を入力します。たとえば、セル4、セル8、セル12を塗りつぶすには、4と入力 します。
- テキストボックスの各行の先頭からセルのカウントを再開するには、ラインの開始
   をクリックします。段組みの先頭からセルのカウントを開始し、以降は改行に関係
   なくカウントを続行する場合、ストーリーの開始をクリックします。

### 環境設定 - レイアウト - カラーマネジャー

すべての機器で一貫した表示や出力を行えるように色を定義するには、環境設定ダイア ログボックス(QuarkXPress/編集メニュー)のカラーマネジャーペインを使用しま す。

**ソースオプション**領域で、下記の操作を行ってください。

- ソースセットアップドロップダウンメニューを使用して、画像のソースカラースペースとQuarkXPressで使用する色を指定します。
- ウィンドウメニューのプロファイル情報コマンドと画像の取り込みダイアログボックスのカラーマネージメントタブを有効にするには、画像プロファイルへのアクセスを可能にするチェックボックスをオンにします。このオプションにより、プロファイルに関する情報を表示できます。

**印刷レイアウトのみ:表示>出力のプルーフ**サブメニューを使用するとき、レイアウト がどのように表示されるかを指定するには、**ソフトプルーフ**領域で下記のオプションを 使用してください。

- デフォルトのプルーフ出力セットアップを指定するには、出力のプルーフドロップ ダウンメニューからオプションを選択します。
- ・ソフトプルーフのレンダリング方法を指定するには、レンダリング方法ドロップダウンリストからオプションを選択します。視覚的を選択すると、すべての色がターゲットの範囲内に収まるように、ソースの範囲内ですべての色を調整します。相対的な色域を維持を選択すると、ソースとターゲットの両方の範囲内の色が維持されます。唯一変更されるソースカラーは、ターゲットの範囲内に収まらないソースカラーです。彩度を選択すると、ソースカラーの彩度を考慮して、ターゲットの範囲で相対的な彩度が同じ色に変更します。絶対的な色域を維持を選択すると、ソースとターゲットの両方の範囲内の色が維持されます。ターゲットの範囲外の色は、白紙に印刷されたときの外観に合わせて調整されます。ソースによる定義では、すべての色および画像に対してソースのセットアップで定義したレンダリング方法を使用します。

**印刷レイアウトのみ: ベクトルEPS/PDFファイル**領域で、下記の操作を行ってください。

- 取り込んだEPSおよびPDFファイルでベクトルコンテンツの色を管理するには、新規のベクトルEPS/PDFをカラー管理するチェックボックスをオンにします。この環境設定は、このチェックボックスをオンにしてから取り込まれたEPSおよびPDFファイルのみに適用されます。
- アクティブなプロジェクトで既に取り込まれているEPSおよびPDFファイルでベクト ルコンテンツの色を管理するには、配置済みのベクトルEPS/PDFを含むチェック ボックスをオンにします。

#### 環境設定 ― レイアウト ― レイヤー

新規レイヤーの作成時に使用する設定を指定するには、環境設定ダイアログボックス (QuarkXPress/編集メニュー)のレイヤーペインを使用します。

- 新規レイヤーをデフォルトで表示するには、可視チェックボックスをオンにします。
- デフォルトで新規レイヤーを印刷しないようにするには、出力しないをクリックします。
- 新規レイヤーをデフォルトでロックするには、ロックチェックボックスをオンにします。
- 表示されているレイヤーが隠されたレイヤー上のアイテムに回り込むよう、新規レイヤーの回り込みを維持するには、回り込み保持をクリックします。

# 法律上の注記

©2022 Quark Software Inc. and its licensors.All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quark口ゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.と Quark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のす べての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

索引

# Α

App Studio 358 App Studioレイアウト 60, 407 AppleScript 429, 430, 431, 432

# С

CMYK 271 Collect for Output 356 Composition Zones 367, 370, 373, 374 Composition Zonesアイテム 370, 373, 374 Compressed Image Import 433

# D

DejaVu 291 Design Grid 433 docx 127, 432, 433

# E

EA Text 433 emスペース、標準 451 EPS 353 Error Reporting 433 Excelスプレッドシート 124 Excelチャート 113, 124 Excelテーブル 112

# G

Guide Manager Pro 327, 328, 329, 330, 332, 333

# Н

HSB 271 HTML5 44 Hyph_CNS_1 433 Hyph_CNS_2 433 Hyph_CNS_3 433 HyphDieckmann 433

# Т

ICCプロファイル 280 Ichitaro import 433

# J

Jabberwocky 433 JDF 349, 384, 422 JPEG 356

# Κ

Kern-Trackエディタ 433

# L

LAB 271

# 0

OpenTypeカーニング 447 OpenTypeスタイル 196 OpenTypeフォント 195, 200 OTFプリンタ検索 439 output 356 output setups 281, 282, 283, 284

# Ρ

PDF 354, 360, 445 PDF Filter 360 PDF/X-4 354 PDFレイヤー 306 Photoshopの取り込み 39 Photoshopファイル 263, 264, 265, 266, 433 PNG 356 PostScript 355 PSD Import 39, 263, 264, 265, 266, 433

# Q

QuarkVista 433

### R

RGB 271 RTF Filter 433

# S

Scissors 21 Script XTensionsソフトウェア 429, 430, 431, 432 Shape of Things 22 Special Line Break 433 Super Step and Repeat 90 SWF Import 433 SWF Toolkit 433

# Т

Table Import 124 Type Tricks 247, 248, 249 TypeTricks 247

# U

Unicode 43

# W

Word 432 Word 6-2000 Filter 432

# Х

XTensions 425, 426, 433, 442 XTensionsセット 426

### あ

アイテム 77, 78, 85, 98, 99, 100, 101, 102, 103, 190 アイテムスタイル 426, 427, 429 アイテムツール 18 アイテム検索/置換 83 アプリケーションの環境設定 435, 437, 438, 439, 440, 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447 アルファマスク 262 アンカー 250, 252, 253, 254 アンカーカラー 448 アンカーボックス 103, 195 アンカーライン 195

### い

イメージグリッド 338 イメージマップ 433 インタラクティブレイアウト 433 インデックスカラー 265 インデント 150 インラインテーブル 114 インライン入力 439

# う

ウィドウ 152 ウィンドウ 56 ウィンドウの分割 56

### お

オーサリング表示 58 オーファン 152 オールキャップスのアクセント記号 451 オリジナルを編集 433

# か

カーニング 154 ガイド 65, 66, 67, 327, 328, 329, 330, 332, 333, 453 ガイドへの吸着 225 カスタムアンダーライン 249 カット 99 カラー 40, 88, 89, 143, 258, 270, 271, 272, 275, 278, 279, 347 カラーエンジン 281 カラーコンポーネント 52, 280, 281, 282, 283, 284, 287 カラーテーマ 438 カラーマネージメント 281, 284, 285, 286, 287, 454 カラーマネージメント、EPS 281 カラーマネージメント、PDF 281 カラーマネージメント、レガシー 283 カラーマネージメント、画像 286

# き

キーコマンド 18 キーショートカット 439

# <

グリーキング 448 グリッド 330 グリッドスタイル 221, 223 グリッドライン 118 グリッド固定 450 クリッピングパス 90, 259, 261, 265 グループ 101, 120, 280 グループルビ 226 グループ化 100 グループ作業 362 グループ作業設定 366 クローナー 337 クロス参照 312

### 2

コールアウト 104
コピー 99, 195
コンテキストメニュー 38
コンテンツ 77
コンテンツ変数 41, 73, 74
コンポジションゾーン 367, 369, 370, 371, 372, 373, 375, 376, 433
コンポジションゾーンアイテム 367, 369, 370, 371, 372, 373, 375
コンポジションレイアウト 369, 370, 375, 376

### さ

サイズ変更 86, 97, 101

# し

シェイプメーカー 91 シェード 143, 258, 278, 279 ジャスティフィケーション 155 ジョブジャケット 383, 384, 385, 386, 387, 388, 389, 390, 391, 393, 394, 395, 396, 398, 399, 400, 401, 403, 404, 405, 406, 407, 408, 409, 410, 412, 413, 415, 416, 418, 420, 444 ジョブジャケット、共有 404 ジョブチケット 282, 384, 385, 386, 389, 394, 395, 396, 398, 399, 400, 402, 403, 404, 422 ジョブチケットテンプレート 386, 395, 396, 398, 400, 401, 402, 403, 404, 405 ジョブの定義者 388 シングルソース 362

# す

ズーム 55 ズームツール 18 スタイルシート 52, 167, 172, 173 スタックの順序 100 ストーリーエディタ表示 57 スペース 204 スペルチェック 137, 139, 446 スポイト 275 スモールキャップス 451

### せ

セクション 319 セル全体のボックス 206 セル揃え 218 センター 96 センターライン 206

# そ

ソースセットアップ 281, 282, 283, 284 ソフトプルーフ 283

### た

ダイナミックガイド 443 ダイナミックガイドのカラー 443 タブ 152

### ち

チャプター 317, 318, 319, 320 チャンネル 264, 265

# つ

ツール 53, 453 ツール・ヘルプ 439 ツールパレット 18, 53

### τ

テーブル 31, 53, 77, 109, 111, 112, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 122, 447
テーブルスタイル 115
テーブルツール 18
テキスト 73, 125, 126, 127, 132, 134, 137, 139, 189, 190, 191, 192, 193, 195
テキストコンテンツツール 18
テキストとの間隔 188
テキストのドラッグ&ドロップ 125, 439
テキストのボックス化 189
テキストの値置 187
テキストの挿入ポイント 125
テキストパス 190, 193
テキストフォーマット 26

### 索引

テキストボックス 85, 89, 187, 191 テキストボックスグリッド 207, 211, 223 デザイングリッド 206, 207, 210, 211, 212, 214, 215, 217, 218, 221, 223, 224, 225, 453, 454 デジタルレイアウトリソース 407 デフォルトパス 444 テンプレート 62

# と

```
ドイツ語(新正書法2006年版) 446
トップライン 206
トラッキング 166
トラッキングテーブル 167
トラップ 360
トリムビュー 33, 438
ドロップキャップス 194
ドロップシャドウ 82, 287, 288
```

### の

ノート 445 ノートを非表示にする 33 ノートを表示する 33

# は

ハイパーリンク 250, 251, 252, 253, 254 ハイパーリンクカラー 448 ハイフネーション 155 ハイフネーション設定 450 はさみツール 18 はじめに 418 パス 265 バックグラウンドカラー 258 パレット 38 パレットグループ 53 パレットセット 53 パンツール 18 ハンドル 78

# υ

ひとつ後ろへ 100 ひとつ前へ 100

### እ

ファイルリスト 443 フォント 141, 189, 347 フォントサイズ 141 フォントセット 144

フォントマッピング 205, 442 ブック 39, 316, 317, 318, 319, 320, 321, 322, 323 フッター 122 ぶら下がり文字 236, 239, 240 ぶら下がり文字クラス 236, 239 ぶら下がり文字セット 236, 240 ぶら下がり約物 236 ブリード 289, 290, 333, 348 フリーハンドラインツール 18 フリップ 258 フレーム 88, 448 フレックススペース幅 451 プレビュー 350 ブレンド 89, 272, 280 ブレンドモード 264 プロジェクト 60, 62, 65 プロジェクトの環境設定 435, 447 プロジェクト設定値 385 プロファイル 52, 286, 287

# $\boldsymbol{\wedge}$

```
ページ 30
ページグリッド 221, 224
ページセパレータ 439
ページレイアウトパレット 51
ページ番号 319
ペースト 99, 195
ベースライン 206
ベースライングリッド 187
ベースラインシフト 143
ベジエ 80, 87, 89, 96, 97
ベジエツール 18
ベジエボックス 85, 189
ヘッダー 122
ヘルプ 37
```

# ほ

ポイント 80 ポイント削除ツール 18 ポイント選択ツール 18 ポイント追加ツール 18 ポィント変換ツール 18 ボックス 77, 78, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 99, 100, 101, 102, 103 ボックスのアンカー解除 195 ボトムライン 206

### ま

マーク 347 マージン揃え 236 マスターチャプター 320 マスターページ 51, 293, 298, 305 マスターページアイテム 448 マスターページグリッド 207, 210, 221, 224 マスターページトグル 55

### め

メジャーパレット 47

### も

モニタープロファイル 281 モノルビ 226, 231

### や

やり直し 68

### ゆ

ユーザー辞書 139

# 6

ライブスクロール 439 ライブラリ 323, 324, 325, 326 ライン 28, 77, 96, 97, 98, 99, 100, 101, 102, 103, 190, 279 ラインセグメント 80 ラインチェック 248 ラインツール 18 ラインのアンカー解除 195 ランダムテキスト 433

# Ŋ

リスト 47, 306, 307, 308, 309, 323 リソース 65, 384, 385, 393, 394, 395, 396, 398, 399, 400, 405, 406, 407, 408, 409, 410 リンクスター 340 リンク先 250, 251, 253, 254

# る

ルール 412, 413, 415, 418 ルールセット 412, 415, 416, 418 ルビ 226 ルビ専用仮名 226 ルビ文字 226, 228, 231, 232, 234

### れ

レイアウト 31,60,62,64,65,343,352,371, 373 レイアウトの仕様 409,410 レイアウトの書き出し62 レイアウトファミリー 298 レイアウト環境設定 435,448,449,450,451, 453,454,455 レイアウト作成者 388 レイアウト定義 385,399,403 レイヤー 46,263,264,298,299,300,301, 302,303,304,305,348,455 レンダリング方法 281

# ろ

ロック 103, 305, 366